QC
990
.U3
O85
1914

LIBRARY
MAR 1 9 1915
Weather Bureau

LIBRARY
MAR 2000
National Oceanic &
Atmospheric Administration
U.S. Dept. of Commerce

National Oceanic and Atmospheric Administration

Environmental Data Rescue Program

ERRATA NOTICE

One or more conditions of the original document may affect the quality of the image, such as:

Discolored pages
Faded or light ink
Binding intrudes into the text

This document has been imaged through the NOAA Environmental Data Rescue Program. To view the original document, please contact the NOAA Central Library in Silver Spring, MD at (301) 713-2607 x124 or www.reference@nodc.noaa.gov.

Information Manufacturing Corporation
Imaging Subcontractor
Rocket Center, West Virginia
September 14, 1999

大正四年二月二十五日印刷
仝　年二月二十八日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

一天氣圖	同年十一、十二月	二 ジカウエー觀測所	一通俗衛生	第百九十六、七號	二 大阪府衛生會
一低氣壓進路圖	同年九、十月	二 同所	一浪華津	第十七號	一 大倉商業學校
一英國地震學會紀要	同年一、[illegible]月	二 ギルドホード觀測所	一貿易通報	十一、十二月號	二 大阪商業會議所
一英國地震學會會報		一 同所	一養鶏指針	第百三十三號	一 重枝養禽園
一地震報告	同年七、八月	二 サンフエルナンド觀測所	一關西學報	第五號	一 關西大學
一地震報告	同年九月	一 マニラ觀測所	一沖商會月報	第百三十三號	一 沖商會大阪出張所
一天氣月報	同年八月	一 カナダ觀測所	一商船學校校友會雜誌	第百九十號	一 商船學校校友會
一地震報告	同上	一 グラナダ觀測所	一紡織界	自第五卷七號 至第六卷一號	七 工業教育會
一地震報告	同年九、十月	二 ストニハースト觀測所	一精常	自第十五號 至第十七號	三 精常會
一天氣圖	同年八、九月	二 羅馬觀測所	一精常特別講演號		一 同會
一學鐙	第十八年十一十二號別刊	三 丸善株式會社大阪支店	一遞信公報	十二月	遞信省

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緣威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	西區中日町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三一	二三	八	〇	八七
	天氣	三一	二八	三	〇	九五
	溫度	〇	一	一	一	一
暴風警報		二	二	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一福島縣氣象月報　大正三年十月　一福島測候所
一岐阜縣氣象月報　同上　一岐阜測候所
一秋田縣氣象月報　同上　一秋田測候所
一氣象報　同上　一愛知縣測候所
一山形縣氣象月報　同上　一山形測候所
一境測候所氣象月報　同上　一境測候所
一富山縣氣象報　同上　一伏木測候所
一氣象月報　同上　一濱田測候所
一千葉縣氣象報　同上　一銚子測候所
一石卷測候所要報　同上　一石卷測候所
一新潟縣氣象報　同上　一新潟測候所
一氣象報告　同上　一福岡測候所
一山梨縣氣象報告　同上　一甲府測候所
一對馬氣象月報　同年九、十月　二嚴原測候所
一奉天氣象表　同年十一月　一奉天觀測支所
一大連氣象表　同上　一關東都督府觀測所
一旅順氣象表　同上　一關東都督府觀測所
一別子山氣象表　同上　一住友別子鑛業所
一新居濱氣象表　同上　一同所
一四阪島氣象表　同上　一同所
一氣象略報　同上　一多度津測候所
一愛媛縣氣象月報　同上　一松山觀測所
一大正三年十一月臺灣氣象概況　一臺北測候所
一滋賀縣氣象月報　同年十、十一月　二彥根測候所
一氣象要覽　同上　二中央氣象臺
一中央氣象臺月報　同年四月　一同臺
一大正二年中央氣象臺年報　氣象之部　一同臺
一天氣圖　大正三年十一月　同臺
一氣象要報　同年五、六月　二神戶測候所
一大正二年大分縣氣象報　一大分測候所
一石川縣管內氣象月報　大正二年自七月至十二月　六金澤測候所
一晚夏初秋神奈川縣下暴風雨被害概況　大正三年　一神奈川縣測候所
一神奈川縣氣象月報　同年自七月至九月　三同所
一埼玉縣氣象月報　同年八、九月　二熊谷測候所
一北海道氣象月報　同年九月　一札幌測候所
一大正二年沖繩縣氣象年報　一那覇測候所
一日用便覽　大正四年　一朝鮮總督府觀測所
一大正二年朝鮮總督府觀測所氣象年報　一同所
一廣島縣氣象年報　大正元年　一廣島測候所
一廣島每時氣象十年報　自明治三十四年至同四十三年　一同所
一天氣圖　千九百十四年十月　一アルゼンチン觀測所

滿潮ノ極	二三〇糎	一八三糎	一七〇糎
其日時	二十日午後六時五十分	二十日午後九時十五分	十五日午後五時二十五分
干潮ノ極	四〇糎	三六糎	二四糎
其日時	二十二日午前三時三十分	十九日午前三時	二十一日午前四時
最大干滿差	一六二糎	一四五糎	一三四糎
其日	二十日	二十日	二十一日
最小干滿差	六二糎	二四糎	二四糎
其日	二十九日	二十二日	二十九日

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　二尺一寸八分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　一尺三寸七分

十二月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	〇、八	〇、六五	〇、五	〇、四五
二日	〇、八〇	〇、六五	〇、四五	〇、五〇
三日	〇、八五	〇、六五	〇、五	〇、四八
四日	〇、八五	〇、六〇	〇、五〇	〇、四五
五日	〇、八〇	〇、六〇	〇、五〇	〇、四五
六日	〇、八〇	〇、六五	〇、五〇	〇、五三
七日	〇、九五	〇、七〇	〇、七	〇、七〇
八日	〇、八〇	〇、七〇	〇、六五	〇、五五
九日	〇、八〇	〇、七〇	〇、六〇	〇、五
十日	〇、八	〇、七〇	〇、六四	〇、五四

十二月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	〇、八	〇、六五	〇、六	〇、五
十二日	〇、七五	〇、六五	〇、六	〇、五
十三日	〇、七五	〇、六五	〇、六〇	〇、四八
十四日	〇、七〇	〇、六〇	〇、五八	〇、五〇
十五日	〇、七〇	〇、六五	〇、五五	〇、五
十六日	〇、八〇	〇、五	〇、五三	〇、四八
十七日	〇、八	〇、六	〇、五五	〇、四三
十八日	〇、八五	〇、六	〇、五	〇、四五
十九日	〇、八五	〇、五五	〇、六	〇、四
二十日	〇、七五	〇、五〇	〇、五五	〇、四

平均水位　廣瀬　零尺八寸一分
最高水位　廣瀬　一尺六寸五分（二十四日午前六時）　大日　零尺六寸三分　一尺五寸三分（二十四日午前六時）

十二月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	〇、八	〇、五	〇、四九	〇、四
二十二日	〇、七五	〇、五五	〇、五	〇、四
二十三日	〇、九五	一、〇五	〇、八	〇、九
二十四日	一、六五	一、一五	一、五三	一、三
二十五日	一、一五	〇、八	一、	〇、八
二十六日	一、	一、三	〇、八五	〇、八三
二十七日	一、二五	一、一五	一、一	一、〇
二十八日	一、一五	〇、八五	一、三	〇、八五
二十九日	一、一五	一、七	〇、九	〇、七
三十日	一、	〇、六	〇、八	〇、六
卅一日	〇、九五	〇、八五	〇、八五	〇、八五

十米以上百米未滿	五日
十米未滿	一
合計	四十二日

●大阪府管内の初雪

本府管内の初雪は十一月二十八日北部豐能郡天王及妙見山にありしを最早とし孰れも平年及昨年より早く越ゑて十二月八日豐能郡東郷に仝二十四日東部河内の山間地方に仝二十七日には南部泉北郡の長承寺にあり平年及昨年より遲かりし而して其他の地方にありては年内に初雪なかりし爾後一月十三日に至り攝河の平坦部に初雪あり之れを平年に比すれば二十日内外遲く又昨年に比すれは一ヶ月以上遲き所あり即ち次表に示すか如し又近畿地方を看るに神戸、津は一月九日、八木は一月十三日、潮岬は一月十四日にして平年及昨年より二十日以上遲かりし

地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ	地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ	地名	本年	平年ヨリ	昨年ヨリ
天王	十一月廿八日晩	一日早	二日	長野	十二月廿四日晩	四日晩	八日	大阪	一月十三日晩	二十二日晩	二十八日
妙見山	仝	早二日	仝二日	長承寺	十二月廿七日	仝八日	仝十一日	福島	仝	仝	仝
東郷	十二月八日晩	七日	仝八日	堺	一月十三日	仝二十二日	仝四十日	天王寺	仝	仝十八日	仝
田原	十二月廿四日	仝一日晩	八日	富田林	仝	仝二十六日	仝二十八日				

●大阪港の潮汐觀測

	十月	十一月	十二月
平均潮位	一二三、五糎	一一四、八糎	一〇五、九糎
平均干滿差	一〇〇、四糎	九四、九糎	一〇一、七糎

たるものと云ふべし今其階級を記すれば

符號	霧の濃度の階級を水平の方向に於て物體の全く見ゐざる最小距離
0 ≡	千米以上
1 ≡	百米以上千米未滿
2 ≡	十米以上百米未滿
(2 ≡)	十米未滿

而して當所に於ては土地の狀況に依り左の標準に基き大正三年一月より觀測を實施せり

0 ≡	一千米以上	六甲山が霧の爲めに見ゐざるもの
1 ≡	百米以上一千米	安治川北岸の櫻島停車場倉庫の見ゐざるもの 全　南岸井上倉庫の見ゐざるもの 築港棧橋暴風雨標柱の見ゐざるもの
2 ≡	十米以上百米	附近の家屋の見ゐざるもの
(2 ≡)	十米未滿	觀測露場の百葉箱の見ゐざるもの

此觀測に依れば大正三年中に霧のありたる總日數は四十二日にして六月最も多く八日、之れに亞くは十月及十二月の六日にして八月及九月は一日もなし又濃度に就て云へば千米以上の物体の見ゐざるもの三十日、百米以上千米未滿は七日、十米以上百米未滿は五日、十米未滿は一日もなかりし即ち左に記するが如し

霧の濃度の階級

水平の方向に於て物體の全く見ゐざる最小距離	霧日數
千米以上	三十日
百米以上千米未滿	七日

れたる由

此地震の本所地動計に感じ始めたるは廿八日午後一時三十三分二十一秒にして震動時間は一時四十四分五十七秒に亘りたり

第三は仝四十三年六月七日伊太利「アベリエノ」「カンパーニア」の両州（「メッシナ」の北方約七十五里余）に發したる大震にして死傷者三十名余を出し伊國皇帝は親しく震災地を見舞はれたる由

此地震の本所地動計に感じ始めたるは七日午前十一時卅九分廿五秒にして震動時間は五十六分三十七秒に亘れり

第四は大正三年五月八日伊太利南部「シシリー」島に發したる大震にして家屋の破壞、水道鐵管の破裂等其他被害甚しく多數の死傷者を出したる由

此地震の本所地動計に感じ始めたるは八日午後八時五十二分五十二秒にして震動時間は三十五分五十四秒に亘れり

第五は今回の大震にして明治四十一年十二月二十八日「メッシナ」「レッジオ」海峽に發したる大震と相伯仲し頗る激烈なるものにして或は「メッシナ」大震以上なりと云ふものもあれども「メッシナ」大震の時に於ける死傷者は約十二萬、今回の死傷者は今日までに知られたる數は約十一萬なりし、

●霧の觀測

技手　圓岡平太郎

本邦の如き地勢にありては霧の發現甚た多く爲めに航海者は常に困難せる所なり故に我々氣象觀測に從事する者は須らく注意觀測し霧の發生を豫知し得らるゝ樣したきものなり然れども大阪地方は霧の現象少く濃霧の如きは一年を通じて漸く四五回あるのみ其四五回も僅に一時間内外の發現に過ぎざるなり然り而して霧の比較的少き地方にありては偶々稍々深き霧あるときは直に取りて以て濃霧とする樣のことなしとせず又之れに反し霧の多き地方にありては少し位の霧には余り頓着せざるやの傾ありて稍々統一を缺くの虞あらんか夫れかあらぬか中央氣象臺に於ては霧の濃度の階級案を作り大正三年一月より仝國一定の標準の下に觀測することゝなりたるが之れは誠に機宜に適し

後漸次に微となり靜止せしが總振動時間は東西動は一時三十六分二十三秒、南北動は一時三十四分五十一秒に亘りたり即ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
初期微動 P	一六時一三分四二秒		
初期微動 S	仝 一四分一四秒		
主要動 L	仝 二五分五九秒		
主要動 M	仝 四二分二一秒	一八七	一八、二
終期 F	一七時四〇分〇五秒		

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅	振動期
初期微動 P	一六時〇三分四二秒		
初期微動 S	仝 一四分一四秒		
主要動 L	仝 二五分五九秒		
主要動 M	仝 四四分三四秒	一九七	一九、二
終期 F	一七時三八分三三秒		

前表に依りて震央地迄の距離を計算するに大阪より二千三百七十里にして伊國中部に至る實際の距離に略ほ符合し又震源より大阪まで震波を傳達し來たる時間を計算するに十二分十六秒を要せり而して伊國は日本中央標準時より八時間後るゝ中央歐羅巴標準時を用ゆるが故に震央地方の發震時刻は十三日午前七時五十一分十六秒頃となるべし

伊國は古來大震甚だ多く本所に於て明治三十四年地動計を据付て以來同地方の大震を觀測したること五回、

第一は明治三十八年九月八日伊國南部「カラブリア」附近に發したるものにして其最も激しかりしは「チレニア」海に面せる「サン、ユヘミヤ」灣内の「モンテレオネ」市にして死者數千を出し其慘狀見るに忍びず又村落は廢れて荒野となり家屋倒壞し人民のあるなく地面は所々數哩に亘る大龜裂を生じたり

此地震の本所地動計に感じ始めたるは八日午前十一時五十六分三十一秒にして震動時間は一時二十三分四十秒に亘りたり

第二は仝四十一年十二月二十八日伊太利南部「メッシナ」「レッジオ」海峽に發したる大震にして頗る激烈を極め海嘯を起し「メッシナ」市及其對岸の「レッジオ」市等の沿岸地方は未曾有の慘狀を極め伊國皇帝は親しく震災地を見舞は

も日本海沿岸は曇天にして就中北陸道より北海道に至る沿岸地方は雨又は雪の所多く近來稀なる暴風雨雪となれり大阪にては概して晴勝にして十八日午前四時より西の强風吹き起り漸次强烈となり午後八時最も强く毎秒速度八十米三に達し後稍々減力せしも十九日午後十一時まで吹き續けり其强風以上の時間は三十八時にして內强風は三十一時間烈風は七時間なり而して大阪に於ける氣壓の最低は十八日午前四時にして七百五十九粍六を示し低氣壓の經過後高氣壓迫し來り爲めに著るしく寒冷となり二十日朝大阪市內に初氷ありたり

(三十二月二十六日より二十八日に至る暴風概況　十二月二十五日支那東海南部に顯はれたる低氣壓は北東に進み二十六日朝土佐沖に來りたるか故に本邦中部は一帶に雨天、東北地方は降雪となれり爾後低氣壓は北東に進み午後二時八丈島附近を經て太平洋に去り高氣壓は支那北部より揚子江に亘りて七百七十四粍を示し其一端は支那東海より本邦西部に迫りたるか故に氣壓の勾配は急となり本邦沿海地方は一般に西乃至北西の强烈風吹き太平洋岸及內海地方は晴天となりしも日本海沿岸は陰曇にして北越以北は風雪强く暴風雪となれり大阪にては二十六日午後七時より北西の强風吹き起り後西に轉し强烈風吹き續き二十七日午後七時最も强く毎秒速度十七米一に達し後稍々減力せしも二十八日午後七時まで吹き續けり其强風以上の吹續時間は四十時にして內强風は三十五時間烈風は五時間なり

●伊太利中部の大地震觀測

拔手　圓岡平太郎

外電の報する所に依れば一月十三日朝伊國中部一帶に大地震あり其最も激烈なりしは羅馬の東方約五十哩にある「アヴッエノザノ」市及「フシノ」湖地方にして多數の都市破壞せられ爲めに死者三萬五千負傷者七萬五千余に達し軍隊出動し被害者の救護に盡力し又伊國皇帝は親しく震災地を見廻はれたる由にして近來の大地震なりし

此地震の本所地動計に感じ始めたるは一月十三日午後四時三分四十二秒にして第一初期微動の繼續時間は十分三十二秒、第二は十一分四十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後四時四十二分二十一秒に於て百八十七「ミクロン」振動期十八秒二、南北動は午後四時四十四分三十四秒に於て百九十七「ミクロン」振動期十九秒二を現し

四斗二升八合多く即ち一割九分強の增收を示し前年に比すれは三斗六升八合多く即ち一割七分弱の增收を示せり又氣象は最近十年間に觀さる所の高温多照にして降雨は少かりしも時々潤雨ありて稀なる良好なるものなりし

●十二月中の暴風概況

技手　藤川秀吉

冬季寒冷となるに從ひ大陸の高氣壓は著るしく發達し本邦に壓迫し來るか故に北乃至西風增勢し數日間强烈風吹き續くとあり特に大阪地方は地勢の關係上西風最も强く船舶荷役の不可能なること尠からさりしか大正三年十二月は比較的强烈なる暴風少く强風以上に達したる時數は平年より一時間昨年より四十三時間少かりし而して十二月中に於て稍々顯著なりしは七八日、十八十九日及廿六日より廿八日に至る三回の暴風とす今其概況を記すれは左の如し

(一)十二月七日八日の暴風概況　十二月六日朝紀伊半島の沖合に低氣壓顯はれ爲めに本邦は一般に曇天となり京阪以西九州に至るまて一帶に雨天となり琉球諸島は北の暴風雨なりしか爾後低氣壓は東北東に進み仝日午後關東地方に暴風雨を起し七日朝銚子沖に去り高氣壓は支那北部にありて著るしく發達し七百七十六粍を示し支那東海に擴張し來り九州及內海西部地方は天候恢復し晴天となりしか西乃至北西の强烈風吹き起り大阪にては七日午前六時より强風吹き始め仝日午後九時及夜半最も强く每秒速度十七米九に達し後稍々減力せしも八日午前五時まて强風吹き續けり其時間は二十一時にして內强風は十四時間烈風は七時間なり而して大阪に於ける氣壓の最低は六日午後一時にして七百五十九粍二を示し六日午前一時四十八分より仝十一時十三分まて降雨あり其量十粍七なり

(二)十二月十八日十九日の暴風概況　十二月十六日午後支那北部に顯れたる低氣壓は南東に進み仝夜渤海を經て十七日朝黃海に來り進路を東に轉し朝鮮を橫きり日本海に入り著しく發達し北東に進み十八日朝北海道利尻島附近に到りたり此低氣壓中心の示度は黃海にありたる時は七百六十二粍なりしか北海道附近に到りたる時は七百四十粍以下に降れり而して當時高氣壓は支那北部より楊子江に亘りて七百七十二粍を示し支那東海に擴張し來りたるか故に氣壓の傾斜即ち勾配は甚た急となり仝國一般に西乃至北西の强烈風吹き九州より關東に至る太平洋岸は快晴なれと

	平均氣溫	日照時數	降水日數	降水量
晩稻	▲一、〇	▲一、三	▲四五、三	▲一、〇
	一九、〇	二、六	三	一、三
	三六九、七			全し一
	二〇			二、六
	二二七、八			一九、三

之れを要するに本年の稻作期間は氣温高く日照時數多く降水量は少かりしも時々潤雨ありたるを以て稻禾の發育を良好ならしめ頗る氣候は適順なりし、又特に本府管内にありては大したる暴風なく靜穩に經過せり

更に最近十年間に於ける稻作に最も關係ある期節即ち七、八、九月の氣象と大阪府管内の米收穫高とを對照すれば左の如し

年次＼種別	氣溫 七月	氣溫 八月	氣溫 九月	日照時數 七月	日照時數 八月	日照時數 九月	降水量 七月	降水量 八月	降水量 九月	米收量 作付反別	米收量 總收穫高	米收量 一反歩平均收量
明治三十八年	二六、五	二五、二	二三、三	一二五、八	一四七、四	一二〇、〇	二五、二	一九、九	一四、四	五一、九六	一、九五六、六	三、七四
全 三十九年	二五、八	二七、二	二三、九	一四六、二	一九八、二	一四〇、〇	一九、九	二、二	一八、九	五五、五三	二、〇七、七二	三、七
全 四十年	二五、三	二七、〇	二三、六	一二〇、二	二〇二、〇	一二〇、一	一四、六	一六、七	一四、四	五四、九五	二、〇〇六、四九	三、七六
全 四十一年	二四、七	二六、六	二三、六	一二三、八	一四二、一	一四、二	一六、七	一六、七	一四、四	五五、九五	二、〇五、〇〇	三、七
全 四十二年	二三、三	二七、五	二三、八	一二五、八	一二三、二	一四六、六	一二、四	一二、四	一二、四	五五、七八七	二、〇四、四	三、七四
全 四十三年	二六、二	二六、二	二三、四	一四九、八	一〇〇、二	六三、二	一五、二	一五、二	一四、四	五六、九九	二、〇八、九	三、七四
全 四十四年	二五、七	二六、六	二四、五	一二三、二	一八六、二	一九九、八	一四、四	一九、〇	一四、〇八	五四、九四	二、〇五、〇九	三、七四
全 四十五年 大正元年	二五、二	二七、二	二五、二	一九五、六	二八、四	一二七、六	一五、七	七、六	一五、一九	五四、一九	二、〇四、九四	三、七四
大正二年	二六、〇	二三、三	二五、七	二二五、四	二二、四	一八、五	一〇、八	一〇、八	一五、〇	五四、九六八	二、〇七、四二	三、七
全 三年	二六、〇	二四、七	二六、八	二四、九	二四、九	八、七	九四、四	一〇七、二	二四、四	五四、七七六	二、〇七、二四	三、八四
平均	二五、七	二五、三	二六、九	二四、五	二六、二	一六、二	九、五	一九、五	一九、五	五三、七七六	二、〇七、二六	三、七四

是れに依りて看れば大正三年度の米收穫高は平均一反歩に付二石六斗四升一合にして最近十年間の平均に比すれば

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
早稲 平均氣溫	二七、九	▲二、五	▲一、八
早稲 日照時數	五六五、〇	▲四、四	▲一二〇、六
早稲 降水日數	二〇	▲六	四
早稲 降水量	一九八、七	▲九五、〇	八九、七
中稲 平均氣溫	二七、九	▲二、八	▲一、八
中稲 日照時數	六七二、三	▲一二、五	▲一五〇、五
中稲 降水日數	二二	▲四	六
中稲 降水量	一九九、八	▲五三、二	一二二、四
晚稲 平均氣溫	二七、九	▲二、〇	▲一、八
晚稲 日照時數	七一五、〇	▲三八、一	▲一六九、四
晚稲 降水日數	二二	▲一	八
晚稲 降水量	一九九、八	▲三二、六	一六五、六
中稲 平均氣溫	二三、七	▲二、四	▲一、二
中稲 日照時數	三四二、三	▲四九、六	▲八五、〇
中稲 降水日數	一三	六	六
中稲 降水量	一四一、七	八九、四	一一五、六
中稲 平均氣溫	二〇、四	▲〇、八	▲一、五
中稲 日照時數	三三一、九	▲三九、一	▲六八、八
中稲 降水日數	一五	五	五
中稲 降水量	一四八、七	七七、七	一二一、六

成熟期　本期間は出穂より成熟するまでの間にして專ら稻の成熟の作用を營むを以て生育期と同じく氣象の關係は甚大にして高溫多照なれは子實の充實を良好ならしむるも之れに反する時は粃籾を生し其結果收穫を減するの虞なしとせす、而して本期間は早、中、晚稻期を通して氣溫は平年及前年より高くして日照時數多く降水日數及其水量は少し即ち左に記するか如し

して生育、成熟の両期に比すれは氣象の關係は稍々少しと雖も而かも氣象の影響に依り苗の軟弱又は齊一を缺き延ひて移植期を遲延せしむる虞なしとせす、

今此期間の氣象を看るに氣温は前年及平年より高くして日照時數は少く降水日數及其水量は多し即ち左に記するか如し　但し▲は高又は多なるを示す以下皆同し

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣温	二〇、二	▲ 一、一	▲ 〇、四
日照時數	二七七、七	三〇、一	二九、五
降水日數	二九	▲ 三	▲ 一〇
降水量	四二九、三	▲ 一五八、四	▲ 一九八、八

生育期　本期間は移植より出穂に至る間即ち六月二十五日より早稻は八月二十七日、中稻は九月七日、晩稻は九月十二日に至る間にして稻の生育上最も肝要なる時期にして氣象の關係も亦著大なりとす、

今此期間の氣象を叙述せんに早、中、晩期を通して氣温は平年及前年より高くして日照時數多く降水日數及其水量は平年より少かりしも前年より多し（但し前年は近年稀なる寡雨の年なりし）而して此期間は稍々長きか故に更に梅雨季、土用中、土用後の三期に分ちて詳記するに本年の梅雨は上半は降雨多く稍々冷氣なりしか下半は降雨少く暑氣烈しく全く盛夏の狀態を呈し、土用に入りては倍々暑氣加わり頗る高温を示し日照時數は多くして降水量は少かりし又土用後も引續き高温を持續し降雨少く日照時數多く夏季の氣候としては極めて良好に經過せり即ち左に記するか如し

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方

●大正三年度稻作期間の氣象概況

技手　山田顯吉

抑も稻禾の生育を左右するに最も有力なるものを溫熱とす之れに亞きて同化作用を營むに必要なるものを日光とす、又光、熱と相俟て發育に欠くべからさるものを水分とす、蓋し農植物には孰れも適當の溫度ありて此溫度を得るにあらされは決して完全なる發育を營み得るものにあらす元來稻は熱帶の產物なるか故に比較的高溫を要し同化作用の盛なるは二十五度乃至三十度の間を恰好溫度とす、斯るか故に氣象要素中にありても溫度、日照、降水等を以て關係の著大なるものとす、

今左に大正三年度に於ける稻作期間の氣象を調査し之れを平年及前年に比較し其差異を示して當業者の參考に資せんとす、

稻種及稻作期間　農商務省農事試驗場畿內支場に於て豐凶考照試驗に使用せられたる稻種及大正三年度の播種より成熟に至る期間は左の如し

稻種				
早稻	信州	石白	一本早稻	
中稻	三把	滿願寺	豐前穗	
晚稻	竹成	信力	長島撰	

種類	苗代期 播種より移植まで	生育期 移植より出穗まで	成熟期 出穗より成熟まで
期間 早稻	五月九日より六月二十五日	六月二十五日より八月廿八日	八月二十八日より十月十二日
期間 中稻	仝	六月二十五日より九月八日	九月八日より十月二十八日
期間 晚稻	仝	六月二十五日より九月十三日	九月十三日より十一月六日

苗代期　本期間は播種より苗の熟して本田に移植するまでの間即五月九日より六月二十四日に至る四十七日間に

一六〇　十二月廿六日午前二時六分五十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時八分三十五秒に於て百三十二「ミクロン」振動期四秒三南北動は午前二時八分四十秒に於て百九十五「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十八分零秒南北動は十八分四十五秒なり

附記　此地震は鹿島洋に發したるものにして震域廣く北方は北海道の南部に南方は銚子附近に達し南西方は加賀の金澤邊より濱松附近に及びて長徑九十五里短徑六十里を有し弱震を感じたる面積は二千七百十二方里微震を感じたるは一萬七千六百七十方里に亘れり而して横濱、水戸にては性質急なる弱震を感じ東海岸一帶に微震を感じたり

一六一　十二月廿六日午前三時十九分八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時二十一分二十三秒に於て九十「ミクロン」振動期五秒〇、南北動は午前三時二十二分二秒に於て百〇二「ミクロン」振動期四秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十分二十秒、南北動は十九分三十五秒なり

附記　此地震は宮古沖に發したるものにして震域北方は北海道の南部に達し南西方は駿河の沼津附近に及び長徑百十里にして弱震を感したる面積は六千二百方里に亘れり而して石卷、宮古、秋田にては性質急なる弱震を感じ青森、金山、福島、山形、函館、筑波、横濱等にては微震を感じたり

一六二　十二月二十九日午前一時二十分十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十四秒にして主要動となり最大振幅は午前一時二十三分四十七秒に於て十九「ミクロン」振動期四秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十四分四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は九州南部に發したるものにして日向の宮崎及大分にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

水澤	仝	一一時二〇分〇五秒
大阪	仝	一一時二〇分一九秒
福岡	仝	一一時二〇分一九秒
シカウエー（支那上海）	仝	一一時二一分〇二秒

一五九　十二月二十二日午後五時五十八分三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後六時零分四十四秒に於て百四十五「ミクロン」振動期六秒七南北動は午後五時五十分十三秒に於て二百十二「ミクロン」振動期五秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十七分五十一秒、南北動は二十七分五十八秒なり

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道の中部に南方は八丈島に達し南西方は加賀の金澤邊に及びたり而して北海道の札幌、帶廣及陸前金華山にては性質急なる弱震を感じ家屋動搖せり又東北地方は一帶に微震を感じ微動は遠く支那上海附近に達したり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時と初期微動の繼續時間とを列記すれば左の如し

地名	發震時	初期微動の繼續時間
函館	午後五時五五分二四秒	零分二一秒
水澤	仝　五時五六分二八秒	零分四四秒
水戸	仝　五時五七分一〇秒	一分一〇秒
筑波	仝　五時五七分一五秒	一分一〇秒
銚子	仝　五時五七分一〇秒	一分一四度
東京	仝　五時五七分〇五秒	一分二〇秒
彦根	仝　五時五七分二六秒	一分三九秒
大阪	仝　五時五八分〇三秒	一分四一秒
福岡	仝　五時五八分四九秒	二分二九秒
シカウエー	仝　六時〇〇分二〇秒	

一五六　十二月十一日午前三時三十六分五十一秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前三時四十二分二十一秒に於て七「ミクロン」振動期五秒〇を現し全振動時間は十四分三十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は微にして未だ震源は詳ならざれども水澤の地動計にも感じたれば本州東海岸沖の地震なるべし

一五七　十二月二十日午後零時四十八分四十一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時五十分零秒に於て百七十「ミクロン」振動期二秒四南北動は午後零時五十分二十六秒に於て二百六十五「ミクロン」振動期二秒九を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十分五秒南北動は二十分三十三秒なり

附記　此地震は銚子沖に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道の南部に南方は八丈島附近に達し西方は伊勢の津附近より金澤邊に及び長徑六十五里短徑五十里を有し弱震を感じたる面積は三千五百三十四方里、微震を感じたるは一萬七十五方里に亘れり而して銚子にては强震を感じ上下動あり東京、横濱、横須賀、前橋、熊谷等にては弱震を感じ家屋動搖せり又微動は遠く支那上海附近に達したり

一五八　十二月二十日午後十一時二十分十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は九分三十秒、第二は八分四十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時四十三分二十六秒に於て四十五「ミクロン」振動期二十四秒、南北動は午後十一時四十四分十八秒に於て五十七「ミクロン」振動期十九秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十四分二十九秒南北動は一時三十二分十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝じ

廟	館	午後一一時一九分五一秒

雨降り岸和田、長承寺、富田林に雷雨、尾崎、大阪に強風吹けり●十九日概ね晴天所々に霜あり尾崎、大阪に強風吹けり●二十日概ね晴天所々に霜あり●二十一日概ね晴天所々に霜あり●二十二日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る尾崎に強風吹けり●二十三日前日來の雨深日、尾崎は霰、天王は雪を混し概ね午前歇む●二十四日概ね晴天田原、長野に雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十五日晴曇相半し妙見山に雪、富田林、長野に雨降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十六日未明より雨(妙見山、天王は雪)降り概ね午前歇み尾崎、大阪に強風吹けり●二十七日概ね晴天所々に霜あり長承寺に雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十八日概ね晴天所々に霜あり尾崎、大阪に強風吹けり●二十九日概ね晴天所々に霜あり●三十日概ね晴天各所に霜あり●三十一日概ね曇天一般に雨降り尾崎、大阪に強風吹けり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動仝上、Lは長波即ち主要部仝上、Mは主要部の最大動、eは終期の最大動、Tは振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分ノ一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は七回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものも亦一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは六回即ち銚子沖、三陸沖、鹿島洋、宮古沖、東海岸沖、九州南部の各一回なり又遠距離地震は一回にして未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

中二日	二九、二	三〇、四	三二、六	三五、四	三四、五	三二、八	一九、六	一八、二	一七、五	一八、四	一六、九	一六、〇	一七、〇	一六、五	一八、二	一九、〇	一八、〇	二二、三	二五、〇	二四、五	二九、五	三四、二	二二、〇	二二、〇	二〇、〇	一六、五	一六、〇	一五、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
廿三日	一、六	二、二	九、〇	〇、二		〇、五		〇、〇		〇、二								〇、二																	
廿四日																																			
廿五日	一六、四	一五、五	一三、二	一二、一	一二、〇	一二、三	一〇、三	一〇、二	一〇、一	一一、〇	一〇、五	一二、〇	一〇、〇	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、八	一三、五	一二、八	一〇、〇	一〇、〇	九、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
廿六日				二、四	二、八	一、四		〇、五		〇、八	二、五	二、〇		〇、五		〇、五	一、〇							〇、五											
廿七日																																			
廿八日																																			
廿九日																																			
三十日														〇、五																					
廿一日	五九、〇	六七、八	六一、二	五七、四	五六、〇	五三、五	五〇、二	四八、二	四七、一	五〇、四	五七、八	五九、四	五四、二	五一、二	五二、〇	五六、七	四七、二	六二、三	五五、九	五四、七	六八、二	七二、六													
全月																																			

管内天氣摘要

●一日概ね晴天池田、天王に霜あり●二日概ね晴天妙見山、天王、清水に微雨あり尾崎大阪に強風吹けり●三日概ね晴天天王、清水に雨降り尾崎に強風吹けり●四日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●五日前日來の雨午前歇み妙見山に濃霧あり●六日未明より雨降り概ね午前歇む●七日晴曇相半し尾崎、長承寺、堺、大阪、柏原に強風吹けり●八日概ね曇天天王寺、妙見山に霰、東郷、天王に雪降り尾崎、堺、大阪に強風吹けり●九日概ね晴天所々に霜あり堺に霰、大阪に微雨あり●十日概ね晴天所々に霜あり●十一日概ね曇天尾崎、岸和田、天王に微雨あり尾崎、大阪に強風吹けり●十二日概ね曇天天王に霰、東郷に微雨あり尾崎、長承寺、大阪に強風吹けり●十三日概ね晴天南部は雨に霰を交ゑ大阪、清水に雨、妙見山、天王に雪降れり●十四日概ね晴天所々に霜あり長承寺、堺、大阪、東郷に微雨、尾崎、大阪に強風吹けり●十五日晴曇相半し所々に雨降り、尾崎、長承寺、大阪に強風吹けり●十六日概ね晴天所々に霜あり尾崎、長承寺、大阪に強風吹けり●十七日概ね晴天所々に霜あり●十八日概ね晴天所々に

第五表　管内降水日量

十二月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日										〇・三		六・五	二・八	二・〇		一・五						
二日														〇・六		〇・三						
三日																						
四日	一・〇	二・二	七・〇	三・三	二・八	三・四	四・四	三・六	四・七	三・四	三・五	一・三	〇・〇	三・〇	一・五	一・五	四・五	五・三	二・四	三・〇	一・〇	一・八
五日	九・九	一〇・三	〇・四	七・五	八・六	九・二	一〇・〇	一〇・五	一二・三	一二・四	一〇・〇	九・五	三・〇	九・九	三・五	五・〇	一〇・三	一〇・〇	一〇・六	九・四	八・五	九・五
六日					〇・二	〇・二	〇・五											一・五	一・六			
七日								〇・〇					〇・七	一・八								
八日													二・〇	〇・〇				〇・三				
九日		一				〇・〇		〇・〇														
十日																						
十一日														〇・二								
十二日		二・二	二・五	一・六	〇・二	〇・二		〇・三			一・五		三・〇	一・五	一・〇							
十三日	〇・〇	一・二		〇・三	三・九	〇・五				〇・〇				〇・〇								
十四日							〇・八	〇・二	〇・五			三・七	三・九	〇・七						〇・六		
十五日		二・二	二・五	二・七	〇・四	二・〇	二・〇	四・二	二・〇	四・二	二・四				二・〇	三・〇	一・五	〇・二	二・〇	三・〇	六・二	三・五
十六日																						
十七日		二・二	四・〇	〇・七								一・五	六・三	一・二			一・〇	三・四		〇・〇	三・二	
十八日																						
十九日																						
二十日																						
廿一日												〇・三										

觀測所	空氣ノ温度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水量 總量 本年	平年比較	最多日量	起日	午前十時(柏原ハ午前九時) 氣温	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	一三、八	四、九	九、四	▲一、三	二一、六	三	(一)〇、三	三〇	五九、〇	▲六、一	一九、一	三	一二、九	五九	六、三	北	五	二	二	〇	一	〇		五	一四	〇
尾崎	一三、二	五、〇	九、一	▲一、一	二〇、〇	三	〇、一	三〇	六七、八	▲一九、五	二〇、四	三	一〇、七	七三	六、七	西	九	〇	二	〇	二	〇	〇	五	七	一〇
岸和田	一二、四	四、五	八、五	▲〇、九	一八、九	一	(一)〇、一	二四	六一、三	▲一九、一	二一、三	二	九、六	六三	五、四	西	九	[illegible]	一	[illegible]	二	一	〇	七	一〇	〇
長承寺	一二、五	三、二	七、八	▲〇、六	二〇、一	三	(一)一、八	二〇	五七、四	▲一二、九	二五、四	三	一〇、二	六八	四、九	西	一二	一		[illegible]	四	一	[illegible]	三	一一	四
濱寺	一三、三	二、五	七、九	—	二〇、八	三	(一)三、三	三〇	五六、〇	—	二四、五	三	九、四	七七	五、〇	西	一〇	—	—	—	—	—	—	三	一四	一四
堺	一二、四	三、八	八、一	▲〇、七	二〇、三	三	(一)一、三	三〇	五三、五	▲一一、一	二三、八	三	九、〇	七一	五、〇	西東	一二		二	[illegible]	一三	〇	〇	三	一	〇
天王寺	一一、七	三、一	七、四	▲〇、九	一九、三	三	(一)一、八	二〇	五〇、一	▲一二、五	一九、六	三	七、九	六九	四、三	西	九	〇	一	[illegible]	六	〇	[illegible]	四	一	[illegible]
大阪	一二、二	四、二	八、二	▲一、八	一九、四	三	(一)一、三	三〇	四八、一	▲四、六	一八、一	三	八、四	六六	五、六	西	九		[illegible]	[illegible]	九	〇	〇	二	一	八
福島	一二、三	三、三	七、八	▲〇、六	二〇、三	三	(一)二、五	二〇	四七、一	▲三、六	一七、五	三	八、三	七三	四、四	西東	七	〇			五	〇	[illegible]	一	一五	〇
新庄	一二、一	一、七	六、九	▲〇、一	一九、五	三	(一)二、五	三〇	五〇、四	▲八、四	一八、四	三	八、二	七一	五、五	東	九		[illegible]		一三	[illegible]	〇	三	一三	[illegible]
池田	一二、六	二、〇	七、三	▲一、八	二〇、四	三	(一)三、六	三〇	五七、八	▲一五、一	二二、五	二五	九、一	六八	五、一	北西	七	〇	[illegible]	〇	五	[illegible]	[illegible]	七	一三	〇
妙見山	五、五	(一)一、二	二、一	〇、一	一三、四	三	(一)六、〇	二九	五九、四	▲六、二	一六、〇	三	三、五	九〇	五、〇	西	一二	一三	一		一三	〇	[illegible]	二	一三	[illegible]
東郷	九、八	(一)〇、七	四、五	〇、二	一六、〇	二	(一)六、二	三	五四、一	▲二、九	一七、〇	三	七、四	七六	四、九	西	一二	一	〇	[illegible]	一七	〇	[illegible]	一二	九	[illegible]
天王	八、二	(一)一、一	三、五	▲〇、四	一五、九	二	(一)七、〇	三	五一、二	一三、七	一六、五	三	五、九	七二	五、四	西	五	四	[illegible]		九		[illegible]	九	九	
茨木	一二、二	一、六	六、九	▲〇、三	二一、五	二	(一)三、三	三	五三、〇	▲五、六	一八、〇	三	八、五	八一	四、九	西	七				七		[illegible]	三	三	
淸水	一一、七	一、一	六、四	▲〇、五	一九、四	三	(一)四、二	三〇	五六、七	▲三、〇	一九、二	三	九、〇	七七	五、一	東南	[illegible]		[illegible]		八			六	六	[illegible]
枚方	一二、六	一、九	七、三	▲〇、四	二〇、三	三	(一)二、五	三	四七、二	▲四、二	二一、〇	三	九、二	八四	五、五	北	七	〇	[illegible]		八	〇	〇	一	一四	[illegible]
田原	一一、七	(一)〇、五	五、六	▲〇、四	一九、二	三	(一)五、六	三	六二、三	▲一〇、三	二三、三	三	八、〇	七二	五、七	西	一二	一	[illegible]		一三	〇	[illegible]	六	一二	[illegible]
八尾	一二、三	二、五	七、四	▲〇、六	二〇、〇	二	(一)一、二	三〇	五五、九	▲九、四	二五、〇	三	八、九	六九	四、四	西	七	[illegible]	[illegible]		五	〇	〇	三	八	〇
柏原	一二、一	一、五	六、八	▲〇、三	二一、三	三	(一)三、八	三	五四、七	▲一、五	二四、五	三	七、四	八六	五、二	西北	八	[illegible]	[illegible]		五		[illegible]	一	一二	[illegible]
富田林	一一、八	二、七	七、三	▲〇、八	一九、七	三	(一)二、〇	三〇	六八、三	▲一六、二	二九、五	三	九、八	八四	五、四	西	九	[illegible]			一〇	一		九	[illegible]	[illegible]
長野	一一、六	二、四	七、〇	—	一九、八	三	(一)一、九	三〇	七三、六	—	三四、三	三	八、八	七三	六、〇	北	八	[illegible]	一		八	〇	[illegible]	八	一四	〇

に達せしか下旬に入りて漸く順に復し沿海部地方には霰、東部の山間には雪降り氣温も亦北部天王に於て最低零下七度〇を示すに至れり又降水量は北部天王を除く外一般に平年より多量を示せり要するに本月の氣候は平年に比し氣温高く降水量も亦多き方にあり更に氣温、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は南部深日の九度四より北部妙見山の二度一の間にありて之れを平年に比すれは一般に高く其差大なるは一度八に達せり而して最高は概ね二日に現はれ南部深日の二十一度六を高極とし西部茨木の二十度五、北部池田の二十度四之れに亞き其他は二十度乃至十九度なりしか北部の山間は十六度乃至十三度なりき又最低は概ね二十一日乃至三十日に現はれ北部天王の零下七度〇を低極とし東郷の零下六度一仝妙見山の零下六度〇東部田原の零下五度六之れに亞き其他は零下四度〇より零下零度二の間を示し獨り尾崎は零下に達せさりき要するに本月の氣温は最高二十一度六より最低零下七度〇の間にありて其較差は二十八度六に達せり

降水

總量は東部長野の七十二粍六より西部福島の四十七粍一枚方の四十七粍二大阪の四十八粍一の間にありて之れを平年に比すれは一般に多量を示せしか天王のみは平年より少なかりき而して日量の最多は二十二日午後より二十三日朝に亘る降雨の際にありて其最も多きは東部長野の三十四粍二にして之れに亞くは南部尾崎の三十粍四なり又日量の二十粍以上なりしは深日、岸和田、長承寺、濱寺、堺、池田、枚方、田原、八尾、柏原、富田林の十一ヶ所其他は十九粍より十六粍の間にあり

雷雨

十八日午前五時頃沿海部地方及東部富田林に雷鳴ありしも暫次にして東方に經過し去れり

（表中▲印は高又は多）

大阪府管内氣象概況

前既に述たるか如く本月は全く冬季の狀態を呈し寒氣凛冽となり霜は管内各地に亘り山間部には概ね降雪あり平坦部にありても往々雪霰を降すことあれとも降水量は前月に比すれは著しく減少し所謂低温寡雨に經過するを常とす而して本年十二月の氣候を調査するに上旬より中旬は温暖にして特に二日は最も著しく南部深日に於て二十一度六

時量最多	蒸發量	日照時數	地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	百二十糎	三百糎	五百糎	七百糎	風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
			地中温度																				
—	一七、六 ▲	一五七、〇〇 ▲	六、四六 ▲	八、六六 ▲	九、六二 ▲	一〇、五七 ▲	三、四八 ▲	一五、五五 ▲	一八、六三 ▲	一七、六八 ▲	一六、七二 ▲	北	全シ	一六、九	一六、四	平年に比し	一、八	一、四 ▲	一、五 ▲	一、〇	〇、三七	一、〇六 ▲	〇、七八
—	二、一 ▲	四、六七	〇、〇四 ▲	〇、八四	〇、八七	一、一四	〇、九七	一、〇七 ▲	〇、五六	〇、〇九	全シ	北東	一八	一五	一六	降水量	〇、七 ▲	三、七	〇、九七 ▲	〇、七 ▲	一、二 ▲	七、八二 ▲	五、六
三、九	四、五	八、〇	二〇、一	三、五	一五、〇	一五、三	一四、五	一七、五	一九、一	一六、一	一九、〇	東	三	五三	三	平年に比し	〇、三	一、四	一、三	一、二	一、五	一、〇	〇、七
三	一八	三、九	二	二	二	二	二	一	一	二	二	南東	四	四	四	降水量	〇、三	〇、七 ▲	〇、四 ▲	〇、七 ▲	一、七 ▲	六、九	一、四 ▲
—	〇、五	—	〇、九	四、六	七、九	一〇、一	一〇、一	一三、六	一六、六	一八、一	一六、四	南	六	三	六	日照時數	一、四 ▲	一、七 ▲	〇、七	一、二	二、七 ▲	二、二	一、八 ▲
—	三	鮑差	平年に比し ▲	平年に比し	平年に比し	雲量	平年に比し	日照時數	平年に比し ▲	風速度	平年に比し	南西	▲ 二	▲ 一四	▲ 四九	三〇、三〇	一九、七七	三五、〇〇	〇、九七 ▲	〇、七 ▲	三五、六五	六、三四	五、六
濕度	平年に比し ▲	二、五八	〇、三	〇、〇	五、六七 ▲	三、九	五、一	三〇、六五	五、四九	三、四六	四、七五	西	三	四九	三	一五、六二	七、一六	五、九七 ▲	七、一六	一、二	六、九	四、六〇	三、五
七四、五	〇、七 ▲	二、四三	〇、七 ▲	五、二	五、一	六、六	一、七 ▲	一、四 ▲	七、五九	三、七七	〇、八	北西	四	三	一	一九、七七	〇、七 ▲	〇、七 ▲	一、〇	二、七 ▲	一、五	二、八七	一、〇八 ▲
七六、六	三、七	二、七二	〇、四二 ▲	〇、〇	〇、四	四、六	〇、七	三〇、〇〇	三〇、六五	一四、七七	一五、四九	靜穩	—	北三六度四		三六、六五	九、四五 ▲	七、八二 ▲	二、七 ▲	七、八四	二、七	二、一四	三、四〇
六九、三	三、五	三、五	〇、五九 ▲	四、四	三、七	四、八	一、五	一九、七〇	一六、六五	六、三四	五、九六	平均方向	北三六度四			三六、五	七、八二 ▲	四、六〇	二、一	六、九	一、八六 ▲	〇、四	三、五
六三、一	六、〇	三、五	〇、三七	—	二、七	一、三	二、七 ▲	三六、六五	九、四五 ▲	六、三四	五、九六	百分率	三六			三、五	五、六	六、五六	〇、四	五、八	三、五	三、四〇	六、一

觀測回數	平年比較
一三六	▲ 一五
一五八	一〇
五三	四〇
三	六
三	▲ 二
六八	▲ 一四
二四五	▲ 四九
四一	三
—	三

廿二日	五、八	七、三	八、三	九、三	一一、四(一)	〇、三		朝霜あり、午前五時三十分より九時五十五分迄霧あり、午前十一時四十五分より降雨翌日に亘る
廿三日	三、六	七、九	八、五	九、三	一一、三(一)	〇、四		前日來の降雨斷續して午後四時十二分歇む。午後四前強風吹けり
廿四日	五、三	七、三	八、三	九、三	一一、一(一)	二、三		午後一時乃至二時強風吹けり
廿五日	六、一	七、七	八、四	九、三	二、〇	〇、八		午前六時強風吹けり、午後五時五十分より七時四十五分迄月暈現る、夜薄露あい
廿六日	五、八	七、八	八、五	九、三	一〇、九	一、九		午前二時三十五分より午後四時三十五分迄小雨、午後七時より夜半迄強風吹けり
廿七日	三、八	六、九	八、一	九、一	一〇、九	一、三		午前一時より夜半迄強風吹けり、午後七時三十五分より十時三十二分迄月暈現る
廿八日	三、九	六、六	七、七	八、七	一〇、七(一)	二、七		午前一時より正午迄及午後六時より七時迄強風吹けり、午後五時三十分より九時二十五分迄月暈現る
廿九日	三、二	六、〇	七、七	八、四	一〇、六(一)	六、〇		朝霜多し夜露及夜半霜あり
三十日	三、三	五、七	七、〇	八、一	一〇、四(一)	四、七		朝霜多し夜露及夜半霜あり
卅一日	四、三	六、一	七、一	八、一	一〇、三(一)	〇、三		(朝露あり、午前十時十分より午後七時三十分迄小雨斷續せり、正午より午後二時迄強風吹けり午後十一時三十五分より夜半迄月暈現る)
全月	六、五	八、七	九、六	一〇、六	一一、五	〇、二		

第三表　全月及半旬期觀測成績

(表中▲印は高又は多、強)

全月觀測成績

種目	平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七六、七	一、六	七一、六		七四、七	
氣溫 平均	七、六八▲	〇、七〇	—	—	—	—
氣溫 最高	一二、三三▲	〇、八二	一九、四四	二	三、〇	二
氣溫 最低	三、六九▲	〇、六九	—	—	一、三	(一)
氣溫 較差	八、五五▲	〇、一五	三、四四	—	三、〇	—
水蒸氣張力	五、四五▲	〇、〇九	一一、四	二	二、九	二
濕度	六九、二	一、六	—	—	三七	八
飽差	二、六四▲	〇、三六	八、三	一	〇、三	六
降水 日量最多	四九、六	二、九	—	—	—	—
降水 月量	—	—	八、〇	三	—	—

半旬期觀測成績

種目	自十一月廿七日至十二月一日	自十二月二日至十二月七日	自十二月八日至十二月十二日	自十二月十三日至十二月十六日	自十二月十七日至十二月廿一日	自十二月廿二日至十二月廿六日	自十二月廿七日至十二月三十一日
氣壓	七七、三六	七三、三	七五、九六	七二、五	七六、一	七二、四	七九、三
氣溫 平年に比し	▲〇、三	一、〇	一、六五	三、八	〇、九五	四、九九▲	一、五八
氣溫 最高	八、七七	一〇、六	七、七五	八、一六	六、三	六、三	五、三五
氣溫 最低	一、七▲	〇、〇五▲	〇、九二▲	〇、三三	一、三▲	一、七▲	一、七
氣溫 最高氣溫	一四、五三	一五、〇	一二、四三	一二、六八	三、六八	一、八	一、八
氣溫 平年に比し	▲一、六五▲	▲一、三三▲	▲〇、四五▲	▲〇、二一▲	▲〇、六二▲	▲〇、三▲	▲〇、三
氣溫 最低氣溫	三、六六	七、八八	三、六六	三、九八	一、六六	三、四六	一、五八
水蒸氣張力	一、三▲	二、一▲	一、三▲	〇、四	〇、三▲	一、三	〇、四
水蒸氣張力 平年に比し	▲一、四▲	一、九▲	一、九	一、九	一、九	一、四▲	一、四
濕度	六、三三	七、三九	五、六六	五、六六	四、六六	四、七七	四、四七
飽差	一、六	一、三	一、三	一、三	一、三	一、四	一、三
降水 日量最多	—	—	—	—	—	—	—
降水 月量	—	—	—	—	—	—	—

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十二月	地中温度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
一日	一〇、四	一〇、八	一一、三	一三、一	一四、二	三、八	午前零時四十五分より一時四十分迄及午後六時五分より九時五十分迄月光環現る
二日	一三、五	一三、三	一三、三	一三、七	一四、二	八、七	朝薄露より、夜半強風吹けり
三日	九、二	一三、〇	一三、七	一三、二	一四、四	〇、七	朝薄露あり
四日	七、九	一〇、四	一一、七	一三、八	一四、四	〇、八	朝露あり、午前十時五十分より十一時二十五分迄日暈現る、午後四時五分より降雨翌曉に到る
五日	一一、一	一一、五	一一、九	一三、六	一四、三	六、四	前夜來の降雨午前五時十五分歇む
六日	一〇、〇	一一、七	一三、三	一三、九	一四、二	七、五	午前一時四十分より十一時十三分迄小雨、夜薄露あり
七日	八、六	一一、三	一三、一	一三、八	一四、二	四、五	午前二時五分より六時十五分迄月暈現る、午前七時乃至八時、及十一時より強風吹き翌日に亘る
八日	六、六	九、九	一一、二	一三、三	一四、一	(一)一、七	前日來の強風午前六時迄吹續午前九時二十分より九時三十分迄微雨、午後二時及四時強風吹けり、夜微霜あり
九日	六、四	九、〇	一〇、四	一一、六	一三、八	(一)二、九	朝霜多し午前六時十分より九時十分迄薄霧あり、午前十時烟霧あり、午後三時五十分より三時五十七分迄微雨、夜薄露あり
十日	六、三	八、八	一〇、〇	一一、三	一三、五	(一)二、二	朝微霜あり、午前八時二十分より十時十分迄薄霧あり、夜薄露あり
十一日	七、三	九、一	一〇、〇	一一、一	一三、二	一、三	朝薄露あり、午前六時三十分より十時三十分迄薄霧あり、午後三時より七時迄強風吹けり
十二日	六、六	九、四	一〇、二	一一、二	一三、〇	〇、〇	午前十時強風吹けり、夜薄露あり
十三日	六、七	八、八	九、九	一一、〇	一三、九	一、六	午前一時薄露あり仝一時乃至二時、五時乃至七時及午後八時より強風吹き翌日に亘る、午前二時五分より二時四十五分迄小雨
十四日	五、八	八、七	九、七	一〇、八	一三、七	(一)〇、八	前日來の強風午前六時迄吹き續き又午後二時乃至三時強風吹けり、午後零時四十五分より一時十分迄微雨、夜薄露あり
十五日	六、七	八、五	九、五	一〇、六	一三、六	一、四	朝薄露あり、午前二時五分より降雨斷續し午後四時十五分歇む、午前十一時烟霧あり、午後一時乃至二時強風吹けり、夜薄露あり
十六日	七、一	八、九	九、六	一〇、五	一三、四	(一)二、二	午前一時薄露あり、午前六時より正午迄強風吹けり、夜微霜あり
十七日	五、七	八、二	九、三	一〇、四	一三、四	(一)三、七	朝霜多し午前六時四十分より、十時二十分迄薄霧あり、夜薄露あり
十八日	五、七	八、五	九、四	一〇、三	一三、二	〇、七	朝薄露あり、午前五時より七時迄及十一時より強風吹續し翌日に亘る、午後零時五分より二十五分迄日暈現る
十九日	四、〇	七、四	八、八	一〇、〇	一三、〇	(一)〇、七	前日來の強風正午迄吹續し午後三時より十一時迄強風吹けり
二十日	三、七	六、八	八、二	九、五	一一、八	(一)五、四	朝微霜あり、（當所構内に結氷す之れを本冬季の初氷とす）午前九時より十時迄烟霧あり、夜薄露あり
廿一日	五、〇	七、一	八、二	九、三	一一、六	(一)一、七	午前四時十分より十時十分迄薄霧あり、正午より午後一時迄烟霧あり、夜露あり

七日	七六二、八	一〇、七▲	三、五	一三、〇	七、一	五、九	五、六	六八	四、一	三、一	一七、九	西	西	五、三	五、[illegible]	〇、三	—	四、三
八日	七六六、四	六、六	仝シ	一二、二	三、五	七、七	四、六	六五	二、七	七、二	一六、二	西	北北西	三、五	五、五▲	〇、六	〇、〇	[illegible]、一
九日	七六九、六	六、三	〇、三	一三、三	一、九	一〇、四	五、一	七三	二、二	二、六	五、二	北北西	北	二、七	五、六	[illegible]、五	〇、[illegible]	[illegible]
十日	七六八、四	六、六	〇、一	一五、二	一、八	一二、四	五、四	七七	二、一	二、一	三、七	北東	北	三、一	八、[illegible]▲	[illegible]、六	—	[illegible]、八
十一日	七六三、七	八、五▲	一、七	一三、三	四、〇	八、三	六、〇	七三	二、五	五、九	一二、五	西南西	西	八、七	〇、[illegible]	二、四	—	[illegible]、四
十二日	七五九、九	八、七▲	〇、四	一二、二	五、〇	六、二	五、〇	六〇	三、五	六、八	一〇、二	西	西	七、[illegible]	一、四	一、[illegible]	[illegible]	一、九
十三日	七六一、六	七、五	〇、三	一二、一	四、九	六、二	四、六	六〇	三、二	八、四	一四、一	西	西	四、[illegible]	五、四▲	[illegible]	[illegible]	[illegible]、六
十四日	七六三、〇	七、八▲	〇、四	一二、一	三、四	七、八	四、五	五八	三、五	八、二	一三、四	西	西	[illegible]、四	五、[illegible]▲	[illegible]、六	〇、[illegible]	[illegible]
十五日	七六一、三	七、九▲	一、二	一三、二	三、〇	九、二	五、九	七四	三、二	五、三	一二、八	南西	西	七、七	一、[illegible]	〇、[illegible]	四、[illegible]	[illegible]
十六日	七六四、五	八、八▲	一、五	一三、七	三、五	九、三	五、二	六一	三、四	七、〇	一一、一	西	西	一、九	六、五▲	一、五	—	[illegible]、七
十七日	七六五、三	六、八▲	〇、四	一三、三	一、八	一二、五	五、四	七五	二、三	三、一	五、四	西南西	北東	[illegible]	八、[illegible]▲	[illegible]	—	[illegible]、七
十八日	七六三、九	八、三▲	一、五	一三、〇	三、六	九、四	四、六	五六	三、七	一二、〇	一八、三	西	西	五、一	四、八	[illegible]	—	四、[illegible]
十九日	七六五、八	六、〇	三、[illegible]	八、九	三、〇	五、九	三、五	五〇	三、六	一二、九	一七、四	西	西	[illegible]、〇	八、六▲	三、[illegible]	—	三、[illegible]
二十日	七六六、六	五、〇	一、八	一二、四 (-)	〇、六	一三、〇	四、三	六六	二、六	三、三	九、一	西	北東	一、[illegible]	七、七▲	一、〇	—	一、九
廿一日	七六四、三	六、九▲	一、一	一四、三	一、〇	一三、三	五、六	七五	二、三	二、四	三、八	南南東	南南西	一、[illegible]	七、五▲	三、六	—	[illegible]、三
廿二日	七五七、八	六、八▲	〇、二	一〇、三	三、五	六、八	六、五	八八	〇、九	二、四	四、〇	南東	東北東 北東	七、[illegible]	[illegible]	[illegible]	一八、[illegible]	[illegible]、五
廿三日	七五五、一	六、二▲	〇、五	八、五	二、七	五、八	四、八	六九	二、三	六、九	一〇、九	北北西	北北西	七、八	四、[illegible]	[illegible]	〇、四	三、二
廿四日	七六六、五	六、六▲	一、九	一〇、〇	二、五	七、五	四、五	六一	三、〇	五、六	一〇、五	西南西	西	五、[illegible]	六、九▲	二、八	—	[illegible]、四
廿五日	七六八、四	七、六▲	三、一	一二、九	四、一	七、八	五、二	六七	二、七	五、一	一三、九	西	西	六、八	四、二	〇、八	—	一、四
廿六日	七六四、一	五、九	〇、四	九、七	四、五	五、二	五、三	七七	一、七	四、五	一二、三	西	北東	八、一	〇、九	[illegible]	一、[illegible]	三、三
廿七日	七六八、八	五、八	〇、七	八、六	四、五	四、二	三、六	五五	三、四	一三、〇	一七、一	西	西	[illegible]、一	八、四▲	[illegible]、四	—	[illegible]、七
廿八日	七七〇、一	五、九▲	〇、五	八、九	三、三	五、七	三、九	五七	三、三	一〇、六	一五、二	西	西	六、七	六、五▲	三、五	—	三、四
廿九日	七六九、八	四、四	〇、七	一〇、三 (一)	〇、九	一二、一	四、三	七六	二、一	三、四	九、[illegible]	西南西	北北東	[illegible]	八、[illegible]▲	二、[illegible]	[illegible]	一、七
三十日	七七〇、〇	四、六	一、一	一三、一 (一)	一、三	一三、四	四、八	七七	一、八	二、[illegible]	[illegible]、六	北東	北東	[illegible]、五	八、六▲	[illegible]	[illegible]	[illegible]、九
卅一日	七六七、三	六、[illegible]▲	一、一	一三、三	二、四	一〇、八	五、八	八〇	一、三	四、五	三、[illegible]	北北西	北	八、四		[illegible]、四	[illegible]、六	[illegible]
全月	七六四、七	七、七▲	〇、七	一二、六	[illegible]、七	八、五	五、四	六九	二、六	五、七	八、[illegible]	西	西	四、八	[illegible]▲	[illegible]、八	四[illegible]、六	[illegible]

第二表　大阪每日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

十二月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	本年平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風 速度 平均	速度	最大 方向	全日 方向	最多 方向	雲量 平均	日照時數 本年	平年比較	降水量	蒸發量
正午	七四〇四	一〇、八七	五、六七	五七、〇七	四、二〇	五、七四	五、四	一九、〇	〇、二	二五、八八	八、九九	九、四〇	一、四五	二、四六					
午前一時	七二、九八	一一、三一	五、六七	五六、二五	四、四五	六、六四	五、五五	二五、〇〇	〇、四	三、八八	八、九七	九、四〇	一、四八	二、四六					
二時	七二、八六	一一、三三	五、六二	五六、〇七	四、五〇	六、六七	六、〇七	一八、〇五	〇、四	一、八	七、六六	九、四六	一、四七	二、四七					
三時	七二、九〇	一一、〇六	五、六二	五六、〇二	四、四〇	六、六九	六、〇四	一六、〇〇	〇、四	一、八	九、二五	九、四四	一、四七	二、四七					
四時	七四、一一	一〇、三九	五、六二	五九、〇〇	三、九五	六、六九	五、八	一三、五〇	四、六六	四、六六	七、七一	九、四四	一、四七	二、四七					
五時	七四、二九	九、四五	五、六六	五六、二一	三、三三	六、三三	五、〇	—	三、八八	二、八	六、六六	九、四八	一、四七	二、四七					
六時	七四、〇〇	八、九二	五、六〇	五六、〇七	三、〇四	六、一四	四、六六	—	二、八	一、八	五、八〇	九、四四	一、四七	二、四七					
七時	七四、八二	八、三七	五、六四	六〇、〇〇	三、六六	五、九二	三、八	—	四、四四	三、三	五、四〇	九、四四	一、四七	二、四七					
八時	七四、九七	七、六七	五、五一	六〇、七八	二、四四	五、五八	三、八	—	二、九	二、九	五、二三	九、四四	一、四七	二、四七					
九時	七五、〇七	七、〇四	五、四六	七一、八八	二、二七	五、四一	三、一	—	一、七	三、二	四、四七	九、〇七	一、四七	二、四七					
十時	七五、〇四	六、六八	五、三三	七二、二二	二、二六	五、三二	二、九	—	一、七	一、七	四、四七	九、三五	一、四七	二、四七					
十一時	七四、九三	六、一七	五、三五	七四、四四	一、九二	五、五	三、〇	—	二、四	二、四	四、二六	八、八八	一、四七	二、四七					
夜中	七四、七五	五、九七	五、二七	七二、二一	一、七五	五、三	四、〇	—	一、六	一、六	四、二二	八、八五	一、四七	二、四七					
平均	七四、七〇	七、六八	五、四二	五七、〇七	二、六四	五、六七	四、八	二五、〇〇	四、九六	八、六六	六、四六	八、六五	一、四七	二、四七					

十二月	一日	二日	三日	四日	五日	六日
氣壓 平均	七六、〇一	七二、九	七六、〇	七四、二	七二、〇	七二、六
空氣ノ溫度 平均	二、六▲	一四、二▲	九、六	八、一▲	二、九	一〇、七▲
本年平年比較	三、六	二、九	仝シ	〇、四	三、九	二、五
最高	一九、一	一九、四	一四、二	二、四	一七、〇	二、四
最低	六、五	一〇、〇	四、九	三、九	八、一	八、九
較差	一二、六	九、四	九、三	七、五	八、九	八、〇
水蒸氣張力 平均	七、四	七、〇	五、九	六、二	八、〇	八、七
濕度 平均	七四	七五	六八	七	八一	八
飽差 平均	三、二	三、二	三、〇	二、二	二、〇	一、八
風 速度 平均	二、八	四、三	三、九	四、一	三、六	三、九
速度	三、五	一〇、〇	八、七	四、一	五、四	七、〇
最大 方向	南	北	北	北東	北	四
全日 方向	北東	南西	北	北東	北	北東
最多 方向	五、五	四、九	五、〇	八、三	七、五	七、五
雲量 平均	七、▲	七、六▲	四、三	一、一	六、二	一、四
日照時數 本年	二、一	二、七	一、一	四、一	一、二	一、五
平年比較	三、二	—	—	三、四	一、四	一、七
降水量	一、八	三、〇	一、八	一、四	三、四	一、七
蒸發量	一、七	一、四	一、八	一、八	一、四	一、七

りては午後九時、同三十糎にありては午前一時及三時に生し、最低は地皮にありては午前七時地中十糎にありては午前九時、同二十糎にありては午前十時、同三十糎にありては午後二時乃至四時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地温　平均は零度一二にして平年に比すれは零度六一高く月中の最低は二十九日午前五時の零下六度〇なり、而して零下に降りたる日數は十六日にして平年に比すれは四日少し

天氣日數　快晴は七日にして平年に比すれは一日多く曇天は四日にして平年に比すれは一日少く霜は十日にして平年に比すれは四日少し

尚詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すべし

第一表　大阪毎時氣象觀測成績

十二月	氣壓平均	氣温平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中温度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前 一時	七六四、六六	五、七二	五、二六	七六、一	一、八二	五、二三	三、七	—	〇、七	四、一八	八、六五	九、八〇	一〇、七一	一三、五七
二時	七六四、六一	五、六〇	五、一三	七七、一	一、七一	五、五八	四、七	—	〇、三	四、〇七	八、五三	九、七四	一〇、七	一三、五五
三時	七六四、六一	五、五三	五、三〇	七七、七	一、六五	五、五三	四、七	—	一、六	四、〇八	八、四〇	九、六九	一〇、七一	一三、五五
四時	七六四、四三	五、四八	五、二五	七七、三	一、六四	五、四八	五、一	—	一、八	四、一〇	八、三〇	九、六六	一〇、六九	一三、五三
五時	七六四、四七	五、四六	五、一八	七六、四	一、七五	五、九〇	五、二	—	二、六	四、〇六	八、二〇	九、六〇	一〇、六七	一三、五三
六時	七六四、七三	五、二六	五、一八	七七、四	一、六五	五、五一	四、八	—	三、二	三、九三	八、一四	九、五五	一〇、六四	一三、五二
七時	七六五、〇二	五、一六	五、一九	七八、三	一、五七	五、四四	五、三	一、五三	四、〇	三、八八	八、一三	九、四七	一〇、六一	一三、五一
八時	七六五、二九	五、六三	五、二五	七六、八	一、七三	四、九六	五、八	一四、六	四、九	四、五九	七、九六	九、四三	一〇、五八	一三、五一
九時	七六五、五七	七、〇	五、二八	七一、七	二、二四	四、七〇	五、九	一九、三五	二、九	五、九五	七、八八	九、四	一〇、五五	一三、五〇
十時	七六五、五四	八、四四	五、五三	六六、四	二、八八	五、一	五、六	二一、〇五	一、	九、一一	七、九四	九、二七	一〇、五一	一三、四八
十一時	七六五、[illegible]	一、[illegible]	五、六五	六一、三	三、六四	五、一五	四、八	二一、〇五	二	一一、八	八、一三	九、一九	一〇、五一	一三、四八

蒸發總量は七十四粍六にして平年に比すれは二粍一多く一日中の最多量は十八日の四粍五なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は六度四六にして平年に比すれは零度〇四高く月中の最高は二日正午乃至午後一時の二十度一、最低は二十日午前七時の零下零度九なり又地皮溫度の零下に降りたる日數は二日にして平年に比すれは一日多し、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は正午にありて十二度八八最低は午前七時にありて三度八八を示し其較差は九度〇〇なり

地中十糎の溫度　平均は八度六六にして平年に比すれは零度八四高く月中の最高は二日午後六時の十三度五、最低は三十日午前九時乃至十時の四度六なり又月平均に就き一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて九度四八、最低は午前九時にありて七度八八を示し其較差は一度六〇なり

地中二十糎の溫度　平均は九度六一にして平年に比すれは零度八七高く月中の最高は二日午後八時乃至夜半及三日午前一時乃至三時の十三度〇、最低は三十日午前九時乃至午後二時の六度七なり、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時にありて九度八〇最低は午前十時にあり九度三七を示し其較差は零度四三なり

地中三十糎の溫度　平均は十度五七にして平年に比すれは一度一四高く月中の最高は三日午後五時乃至十一時の十三度三、最低は卅日午後一時乃至二時の七度九なり、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時及三時にありて十度七一、最低は午後二時乃至四時にありて十度四七を示し其較差は零度二四なり

地中六十糎の溫度　平均は十二度四八にして平年に比すれは零度九七高く月中の最高は三日午後五時乃至夜半及四日午前一時乃至三時の十四度五、最低は三十一日午後十時乃至夜半の十度一なり、但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては正午地中十糎にありては午後五時、同二十糎にあ

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は五粍四三にして平年に比すれは零粍〇九高く月中の最高は二日午後六時の十一粍四最低は十九日午後十時の二粍九なり、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて五粍七二最低は午前五時乃至六時にありて五粍一八を示し其較差は零粍五四なり濕度の平均は六十九、二にして平年に比すれは一、六少く月中の最少は十八日午後三時の三十七なり、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前七時にありて七十八、三最少は午後二時にありて五十五、五を示し其較差は二十二、八なり

飽差の平均は毎立方米中に二瓦六四にして平年に比すれは零瓦二六多く月中の最多は一日午後三時の八瓦三最少は六日夜半の零瓦二なり、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて四瓦五二最少は午前四時にありて一瓦六四を示し其較差は二瓦八八なり

風

平均速度は毎秒五米六七にして平年に比すれは零米〇五強く月中の最大速度は十八日午後八時にありて毎秒十八米三（一間平方面を垂直に壓する力は三十五貫四百目）の西風なり又強風以上の吹きたる日數は十八日にして平年に比すれは一日多く其吹續時間は百四十一時にして平年に比すれは一時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時乃至四時にありて六米六九最小は午前九時にありて四米七〇を示し其較差は一米九九なり、風向は西風最も多く北東風之れに亞き南東風は最も少し之れを平年に比すれは西方の風は多くして東方の風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、八にして平年に比すれは〇、一多く日照時數は百五十七時〇〇にして平年に比すれは四時七六多く一日中日照時間の最も長かりしは十九日、三十日の八時六〇なり

降水及蒸發量

降水日數は四日にして平年に比すれは三日少く其水量は四十九粍六にして平年に比すれは十一粍九少く一日中の最多量は二十二日の十八粍〇、一時間の最多量は二十二日午前七時の三粍九なり、又

大阪測候所月報

大正三年十二月 大阪氣象概況

冬季大陸の冷却するに從ひ氣壓增高し此月は支那北方に著大なる高氣壓を生し北太平洋即ち北海道の東方に低壓部ありて氣壓は西より東に急減せるを以て西乃至北西の風優勢となり寒氣を吹送せるを以て氣候は此風に支配せられ氣溫著しく降り寒氣增進し雪霰を降らし嚴霜又は結氷を看るに至る然れとも此大陸性の風は乾燥せるか故に天氣は概して晴燥寡雨なるを常とす、然り而して本氣候を調査するに氣溫は平年より高く日照時數は平年より多く降水日數及其水量は平年より少し

但本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

氣壓

平均は七百六十四粍七〇にして平年に比すれば一粍六二低く日々の變化は氣象圖に示すが如く顯著なる昇降は三回にして其他は微少なり、而して月中の最高は卅日午前九時の七百七十一粍六最低は廿三日午前一時乃至三時の七百五十粍五なり又月平均に就て一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十五粍五七第一の最低は午後二時にありて七百六十三粍八六を示し第二の最高は午後九時にありて七百六十五粍〇七第二の最低は午前四時にありて七百六十四粍四三を示し其主なる最高低の較差は一粍七一なり

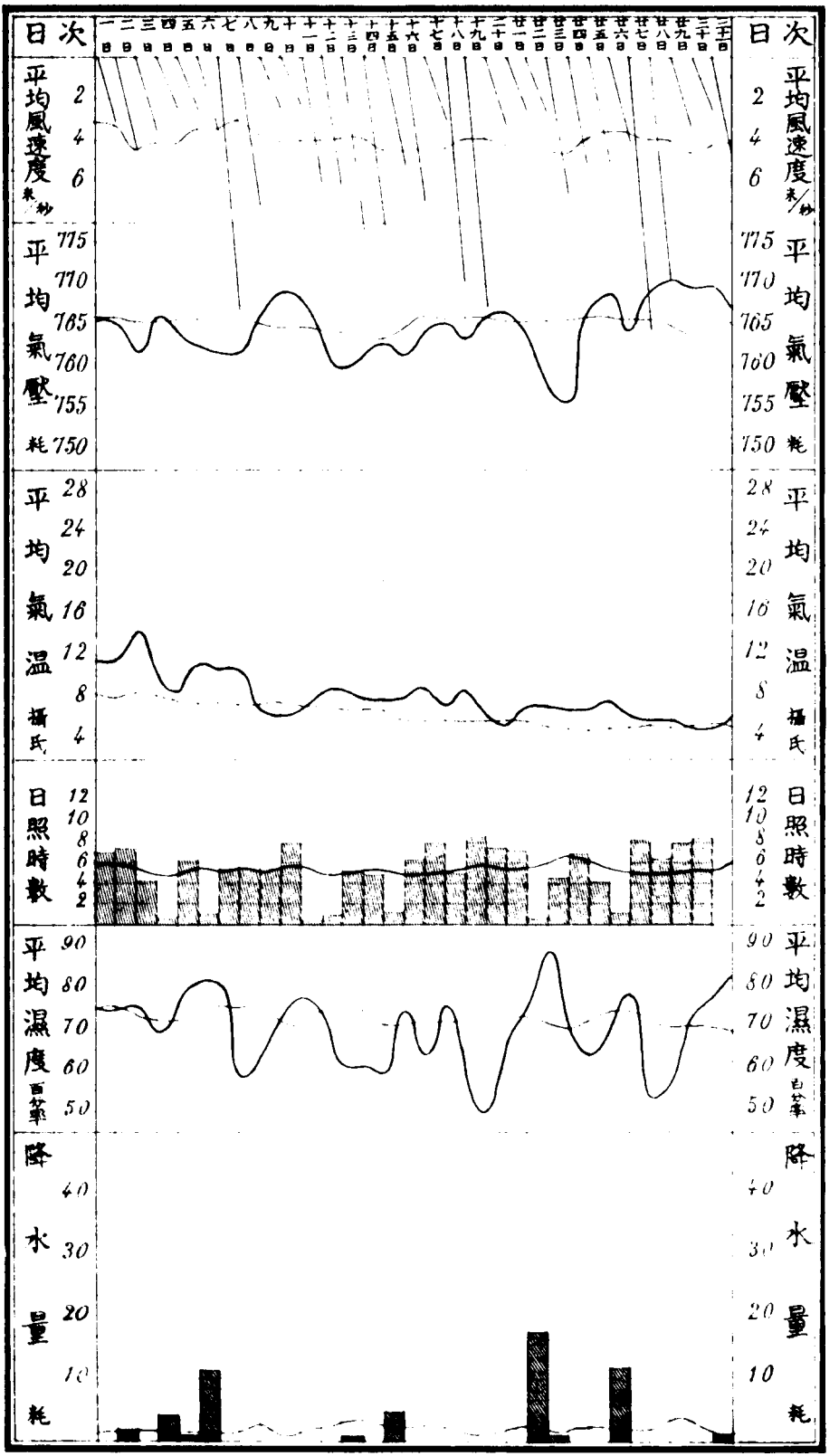
氣溫

平均は七度六八にして平年に比すれは零度七〇高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すか如く一ヶ月を通して平年より溫暖に經過せり而して月中の最高は二日午後三時の十九度四最低は三十日午前七時の零下一度三なり又最低氣溫の零下に降りたる日數は三日にして平年より一日多し而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十一度三三最低は午前七時にありて五度一六を示し其較差は六度一七なり

大正三年十二月

大阪氣象圖

December. 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年——平年——日照時數ハ本年▬平年——降水量ハ本年▬平年——

大正三年大阪測候所月報總目次

毎月定時記事

一大阪氣象概況、大阪府管内氣象概況　一大阪地震觀測概況、淀川水位　一地方天氣豫報、仝暴風警報、臨時豫報適否調査、新刊寄贈書目　號　頁

雜　錄

櫻島大噴火ト大阪地動並降灰　一　二四
櫻島大噴火概報　一　二七
寒中ノ氣象概況　一　三七
本年一月ノ暴風概況　一　四〇
大阪港ニ於ケル荷役不可能ト天候　一　四八
大阪市ノ煤煙　一　五二
大阪府管内ノ氣候一般　二　七六
二月ノ高溫ニ就テ　二　八三
櫻島強震及秋田地震ノ震源地ノ測定　二　八五
羽後國仙北郡ノ強震ト大阪ノ地動　二　八五
三月二日ノ暴風雷雨概況　三　一一八
三月七日ノ暴風概況　三　一二〇
大阪ノ季節風　三　一二一
遠距離ノ大震　三　一二四
淀川ノ水位　三　一二五
大阪港潮汐觀測　三　一二七
出水豫報ニ就テ　四　一四九
本年四月上、中二旬ノ冷氣ニ就テ　四　一五〇
四月二日ノ暴風概況　四　一五四
四月十六日ノ暴風雷雨概況　四　一五六
樹ノ生長ト降水量トノ關係　五　一八五
五月八日ヨリ仝十日ニ亘ル天空異狀ニ就テ　五　一八七
南洋ノ大震　五　一八九
日照計ニ就テ　五　一九二
大阪市ノ煤煙　五　一九三
本年ノ梅雨實況　六　二一六
六月三日ヨリ四日ニ至ル暴風雨概況　六　二一八
六月三十日ヨリ七月一日ニ至ル暴風雨概況　六　二二〇
南洋「スマトラ」ノ大震　六　二二一
大正三年六月二十六日朝ノ遠震　六　二二二
大流星　六　二二三
大阪港潮汐觀測　六　二二三
本年土用中ノ氣象概況　七　二二四
七月十三日、十四日臺灣暴風雨概況　七　二二四
七月二十四日ヨリ二十八日ニ至ル暴風雨概況　七　二二四
本年七月ノ高溫ニ就テ　七　二二四
淺間山ノ狀況ニ就キテ　七　二二五
大流星　七　二二五
八月ノ顯著暴風雨　八　二二七
本年土用後ノ氣象概況　八　二二七
大阪府管内ノ初霜季節　八　二二八
九月中ノ顯著暴風雨　九　三〇二
當所ノ公開　九　三〇六
亞細亞土耳其ノ地震　九　三一一
大阪府管内ノ初雪季節　九　三一二
本年初霜　九　三一三
本年ノ初雪　九　三一四
大阪港潮汐觀測　九　三一四
十月二十日ヨリ二十一日ニ至ル暴風概況　一〇　三三八
特別大演習ト測候所　一〇　三四〇
高層氣流觀測ト天氣豫察ニ就テ　一〇　三四二
本年十一月上中二旬ノ高溫ニ就テ　一〇　三五一
大阪府管内ノ初霜及初雪　一〇　三五二
大正三年豫作期間ノ氣象概況　一一　三七七
十一月二十七、二十八日ノ暴風概況　一一　三八一
十二月モ亦タ溫暖ニ經過セリ　一一　三八三
本府管内ノ初霜　一一　三八三
大阪ノ初雪　一一　三八四
大正三年度稻作期間ノ氣象概況　一二　四〇四
十二月中ノ暴風概況　一二　四〇八
伊太利中部ノ大地震觀測　一二　四〇九
霧ノ觀測　一二　四一一
大阪府管内ノ初雪　一二　四一三
大阪港潮汐觀測　一二　四一三

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零点二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下晴天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯度東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝鑑
尾崎	仝 國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	仝 國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	仝 國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝 國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝 國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	摂津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝 國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝 國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝 國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田豐照
池田	仝 國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	仝 國豐能郡	根根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝 國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝 國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝 國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	仝 國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝 國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	仝 國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝 國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

December 1914

大阪測候所月報

大正參年十二月

第拾五年第十二號

目次

○本年十二月大阪氣象概況　附圖
○本年十二月大阪府管內氣象概況
○本年十二月大阪地震觀測概況
○大正三年度稻作期間ノ氣象概況
○十二月中の暴風概況
○伊太利中部の大地震觀測
○霧ノ觀測
○大阪府管內の初雷
○大阪港潮汐觀測
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報圖否
○新刊書籍書目

大正四年一月二十五日印刷
仝　年一月三十一日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

一養鶴指針　第百二十二號
一貿易通報　十月號
一大阪府立農學校第二十二次年報　別刊
一學燈　第二卷第一號
一帝國飛行協會々報

一重枝養禽園
一大阪商業會議所
一大阪府立農學校
一丸善株式會社大阪支店
一帝國飛行協會

一沖商會月報　第百三十二號
一大阪府立圖書館增加和漢圖書目錄　第六冊
一商船學校々友會雜誌　第百八十九號
一大正四年曆
一逐信公報

一沖商會大阪出張所
一大阪府立圖書館
一商船學校々友會
一中央氣象臺
一逐信省

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡	市町村	緯度	經度	取扱官廳
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度三十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三〇	二四	六	〇	九〇
天氣豫報 天氣	三〇	二六	四	〇	九三
天氣豫報 溫度	〇	一	一	一	一
暴風警報	一	〇	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一山形縣氣象月報　大正三年九月　一山形測候所
一富山縣氣象報　同上　一伏木測候所
一千葉縣氣象報　同上　一銚子測候所
一氣象月報　同上　一岐阜測候所
一秋田縣氣象月報　同上　一秋田測候所
一新潟縣氣象報　同上　一新潟測候所
一氣象報告　同上　一福岡測候所
一山梨縣氣象月報　同上　一甲府測候所
一氣象月報　同上　一濱田測候所
一靜岡縣氣象略報　同上　一沼津測候所
一靜岡縣氣象月報　同上　一濱松測候所
一氣象要覽　同上　一中央氣象臺
一中央氣象臺月報　同年三月　一同　臺
一大正三年十月臺灣氣象月報　一臺北測候所
一滋賀縣氣象月報　同年九月　一彥根測候所
一滋賀縣氣象年報　大正二年　一同　所
一濱田測候所氣象年報　大正二年　一濱田測候所
一氣象月報　大正三年八、九月　二高知測候所
一北海道氣象月報　同年八月　一札幌測候所
一奉天氣象表　同年十月　一奉天觀測支所
一氣象略報　同上　一多度津測候所
一朝鮮氣象月報　同上　一朝鮮總督府觀測所
一愛媛縣氣象月報　同上　一松山測候所
一氣象報　同上　一愛知縣測候所
一調査報告書　第一輯　一新潟測候所
一旅順氣象表　大正三年十月　一關東都督府觀測所
一大連氣象表　同上　一同　所
一滿洲氣象概況　同年七月　一同　所
一氣象略報　同年自四月至六月　三德島測候所
一京都府氣象月報　大正元年十一、十二月　二京都府測候所
一京都府氣象年報　大正元年　一同　所
一神戸測候所年報　大正二年　一神戸測候所
一三重縣氣象月報　大正三年五、六月　二津測候所
一天氣圖　大正三年十一月　中央氣象臺
一天氣月報　千九百十四年一、二月　二北東合衆國天氣局
一天氣圖　同年八、九月　アルゼンチン觀測所
一天氣圖　同年十一月　ジカウエー觀測所
一地震報告　同年自五月至八月　四バタビヤ觀測所
一地震及氣象報告　同年自一月至四月　四ナポリ觀測所
一地震報告　同年八、九月　二ギルドホールド觀測所
一氣象及地震月報　同年三、四月　二モンテカシノ觀測所

深日	十二月三十日晩	三十二日晩	二十一日	福島	十一月廿三日晩	十三日晩	十二日	清水	十一月廿三日晩	十八日晩	二十七日
尾崎	十一月廿九日全	八日全	二十五日	新庄	十一月廿二日全	十三日全	二十六日	枚方	十一月廿二日全	十一日全	十二日
岸和田	十一月廿二日全	十日全	二十日	池田	十一月廿二日全	十四日全	二十六日	田原	十一月廿二日全	二十[illegible]日全	二十六日
長承寺	十一月廿二日全	十一日全	二十日	妙見山	十一月廿日全	十二日全	二十四日	八尾	十一月廿三日全	十[illegible]日全	十[illegible]日
堺	十一月廿三日全	十日全	二十七日	東郷	十一月廿二日全	二十五日全	二十六日	柏原	十一月廿三日全	十一日全	十一日
天王寺	十一月廿三日全	十一日全	十二日	天王	十月廿三日早	六日早	二日	富田林	十一月廿三日全	十六日全	二十一日
大阪	十一月廿三日全	十三日全	十二日	茨木	十一月廿三日晩	十六日晩	二十一日	長野	十一月廿三日全	十八日全	二十七日

●大阪の初雪

當市に於ける初雪は既往の觀測に據れば平均十二月二十二日なりしが大正三年十二月は温暖なりし爲め初雪を看さりし超へて大正四年一月十三日に至り西の寒風吹き荒み飛雪紛々として至れり之れを本冬季の初雪とす平年に比すれば二十二日昨年に比すれば二十八日孰れも遲し斯く晩れたるは本所創立以來明治三十六年の一月三十一日に初雪ありしものゝ外未だ曾て看さる所の現象なり

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　二尺四寸八分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　一尺七寸一分

十一月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	十一月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	十一月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一、八〇	一、四〇	二、二〇	一、九五	十一日	一、一〇	一、〇〇	一、〇〇	〇、八五	二十一日	〇、八〇	〇、九〇	〇、六〇	〇、五五
二日	一、四五	一、二〇	一、五〇	一、二三	十二日	一、一〇	一、〇〇	〇、九〇	〇、七五	二十二日	一、〇〇	〇、八〇	〇、七〇	〇、六五
三日	一、二五	一、二〇	一、三〇	一、二〇	十三日	〇、九〇	〇、九五	〇、八〇	〇、七〇	二十三日	〇、九〇	〇、七五	〇、七〇	〇、六〇
四日	一、二〇	一、一〇	一、二五	一、〇五	十四日	一、〇〇	〇、九〇	〇、七〇	〇、六五	二十四日	〇、八〇	〇、七〇	〇、六〇	〇、五〇
五日	一、一〇	一、一五	一、〇五	一、〇〇	十五日	〇、九五	〇、九〇	〇、七〇	〇、七五	二十五日	〇、八〇	〇、七〇	〇、六〇	〇、五八
六日	一、六〇	一、五五	一、二五	一、六五	十六日	〇、九五	一、〇〇	〇、七〇	〇、九五	二十六日	〇、八〇	〇、七〇	〇、七〇	〇、六〇
七日	一、四〇	一、二〇	一、六〇	一、二三	十七日	一、二五	〇、九五	一、〇〇	〇、八〇	二十七日	〇、八〇	〇、七〇	〇、六〇	〇、五〇
八日	一、二五	一、二五	一、六〇	一、〇〇	十八日	〇、九〇	〇、九五	〇、八〇	〇、七五	二十八日	〇、七五	〇、六五	〇、五五	〇、四五
九日	一、二五	一、二〇	〇、九〇	〇、八〇	十九日	〇、八五	〇、八五	〇、七〇	〇、六五	二十九日	〇、八五	〇、六〇	〇、五五	〇、四八
十日	一、二〇	一、〇〇	〇、九五	〇、八〇	二十日	〇、九〇	〇、九〇	〇、六〇	〇、五〇	三十日	〇、七五	〇、六〇	〇、五〇	〇、四八

平均水位　廣瀬　一尺
最高水位　一尺八寸（一日午前六時）　大日　九寸　二尺二寸（一日午前六時）

●十二月も亦た溫暖に經過せり

技手　藤川秀吉

大正三年十一月上中二旬の溫暖なりしことは既に前號に記せしか十一月下旬は氣候順に復し稍々寒冷となりしか十二月に入り又溫暖となり平均氣溫は七度七にして平年より一度五高く最高は十九度四にして平年より二度五最低は零下一度三にして平年より一度〇孰れも高し而して冬季の主風なる西の强風は百四十一時にして平年より一時間昨年より四十三時間少く日照時數並に降雨は平年と大差なかりし

今大正三年十二月と最近五年間との氣溫を對比すれは左の如し

氣溫＼年	大正三年	仝二年	仝元年	明治四十四年	仝四十三年	仝四十二年	平年
平均	七、七	六、八	六、八	六、六	五、九	五、五	六、三
最高	一九、四	一八、四	一八、六	一八、四	一七、五	一六、七	一六、九
最低	(一)一、三	(一)〇、三	(一)一、五	(一)一、五	(一)一、八	(一)三、四	(一)二、三

但し表中(一)を附したるは零下の度なり

●本府管内の初霜　本冬季に於ける本府管内の初霜は十月二十三日北部天王にありしものを最早とし平年より六日昨年より二日孰れも早く爾後十一月中旬までは非常に溫暖なりしため結霜するに至らさりしか仝下旬に入り氣候順に復し二十日妙見山に初霜あり翌々二十二日及二十三日には始て仝管内に亘りて初霜ありたり之れを平年及昨年に比すれは孰れも十日乃至二十日内外遲し即ち次表に示すか如し

地名	本年	平年より	昨年より	地名	本年	平年より	昨年より	地名	本年	平年より	昨年より

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
十一月廿七日	午前六時	七六五、三	五、四	東北東	二、四	—	快晴
仝	仝七時	七六五、四	五、一	北北東	二、一	—	快晴
仝	仝八時	七六五、六	六、七	北北東	二、六	—	快晴
仝	仝九時	七六五、五	九、一	北東	二、六		快晴
仝	仝十時	七六五、二	一一、八	北東	一、四	—	快晴
仝	仝十一時	七六四、六	一五、三	西南西	一、八	—	快晴
仝	正午	七六三、八	一六、五	西南西	六、六	—	快晴
仝	午後一時	七六二、一	一六、二	西南西	八、四	—	快晴
仝	仝二時	七六二、八	一五、七	西南西	一〇、八	—	曇
仝	仝三時	七六二、九	一六、一	西南西	八、七	—	晴
仝	仝四時	七六二、八	一五、一	西	八、四	—	曇
仝	仝五時	七六二、七	一四、八	西	九、〇	—	曇
仝	仝六時	七六二、八	一四、三	西	八、七	〇、〇	雨
仝	仝七時	七六三、一	一四、〇	西	一〇、三	〇、〇	晴
仝	仝八時	七六三、六	一三、九	西	一三、六		晴
仝	仝九時	七六三、八	一一、八	西	一六、五	—	快晴
仝	仝十時	七六四、〇	一一、一	西	一五、七	—	快晴
仝	仝十一時	七六四、三	一〇、三	西	一三、四	—	快晴
仝	夜半	七六四、三	九、七	西	一六、六	—	快晴
十一月廿八日	午前一時	七六四、三	九、一	西	一五、一	—	快晴
仝	仝二時	七六四、五	九、五	西	一五、五	—	快晴

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
仝	仝三時	七六四、二	八、九	西	二〇、三	—	晴
仝	仝四時	七六四、四	七、七	西	一八、〇	—	快晴
仝	仝五時	七六四、七	七、五	北西	一〇、六	—	快晴
仝	仝六時	七六五、三	七、一	北	七、二		曇
仝	仝七時	七六六、二	七、七	北西	六、六	—	晴
仝	仝八時	七六六、九	七、三	西	八、八	—	晴
仝	仝九時	七六七、五	九、〇	西	八、九	—	快晴
仝	仝十時	七六七、九	八、九	西	九、三	—	晴
仝	仝十一時	七六八、〇	九、〇	北西	七、二	—	曇
仝	正午	七六七、七	八、九	北北西	六、五	—	曇
仝	午後一時	七六七、六	九、三	北北西	七、一	—	晴
仝	仝二時	七六七、八	一〇、六	北北西	八、八	—	快晴
仝	仝三時	七六八、一	八、四	北	九、六		晴
仝	仝四時	七六八、八	七、七	北	一一、二	—	快晴
仝	仝五時	七六九、二	七、七	北北西	八、九	—	快晴
仝	仝六時	七六九、九	六、五	北	六、六	—	快晴
仝	仝七時	七七〇、〇	五、三	北	四、〇	—	快晴
仝	仝八時	七七〇、三	四、五	北	三、〇	—	快晴
仝	仝九時	七七〇、四	三、九	北	二、〇	—	快晴
仝	仝十時	七七〇、一	三、六	北	一、二	—	快晴

仝四十五年	二九、〇四六六	四五、五六一六	一、五六九	二、一〇五	一、四七八	一、[illegible]
大正元年	三〇、四五〇〇	四八、五六五三	一、五九五	二、一六四	一、五一〇	一、[illegible]
大正二年	三一、一四七八	三八、九一五〇	一、四七七	一、七三五	一、一五六	一、[illegible]
仝三年	三〇、六二八六	四五、一五七三	一、四七七	二、二四九	一、三九三	一、[illegible]
平均						

前表に依り本年の本府管内平均一反歩收穫高を看るに一石四斗七升七合にして前年に比すれは一斗一升八合即ち約一割少く最近十ヶ年間に於て凶作なりし明治三十八年及び四十三年より多く仝三十九年に近似し其の他の年よりは少し

●十一月二十七、二十八日の暴風概況　十一月二十七日朝能登沖にありたる低氣壓（七百六十四粍）は東に進み本州中部を横きり仝夜鹿島洋に入り後北東に進み二十八日朝千島南部に到りて發達し七百五十六粍を示せり當時高氣壓は楊子江域より黄海及支那東海に擴張して七百七十六粍を示し其一端は内海より京阪附近に迫り本邦は氣壓の勾配急にして北西風強く北陸及奥羽一帶は降雪甚たし然れとも太平洋に面する地方及内海にては快晴にして寒氣強し大阪にては概して晴勝にして北東の軟風なりしか二十七日午前十一時風向北東より西南西に順轉し俄然風力増勢し午後二時より強風となり後風向西となり強烈風吹き續き二十八日午前三時最も強く毎秒速度二十米三に達し後稍々減力せしも仝五時まて強風吹けり其強風以上の吹續時間は十二時にして内強風は五時烈風は七時なり而して大阪の氣壓最低は二十七日午後五時に於て七百六十二粍七を示せり

因に記す此低氣壓の通過すると同時に高氣壓は壓迫し來りたるか故に一般に寒冷となり本府管内にては二十七日南河内の富田林に初霰あり二十八日には豐能郡天王及妙見山に初雪あり又二十九日には南河内の富田林に初氷ありたり

今當所に於ける毎時觀測の結果を表記すれは左の如し

種別 / 年	自播種至發芽 平均氣溫	自播種至發芽 日照時數	自播種至發芽 降水量	自發芽至出穗 平均氣溫	自發芽至出穗 日照時數	自發芽至出穗 降水量	自出穗至成熟 平均氣溫	自出穗至成熟 日照時數	自出穗至成熟 降水量
明治三十八年	七、九	四七、二	一、四	七、三	七四一、五	三九二、四	一九、二	二八一、六	二六一、七
仝 三十九年	一〇、五	五七、五	二、五	七、〇	七七〇、五	三三五、六	一八、六	三二五、九	二六、五
仝 四十年	六、一	四七、三	一一、〇	六、九	八八八、六	三二六、一	一八、三	三五二、一	二二二、四
仝 四十一年	五、八	四〇、三	八、九	七、〇	七〇〇、五	四〇六、六	一八、六	三四五、八	二一一、三
仝 四十二年	七、六	五九、五	四、九	六、九	七七七、九	四五五、三	一八、七	三五〇、一	二八六、四
仝 四十三年	八、一	五七、〇	七、七	六、六	七五二、五	三三九、六	一九、三	二八三、一	二三三、一
仝 四十四年	八、七	五六、七	二四、八	七、三	八四一、五	三七六、二	一八、四	三三七、〇	二一九、九
仝 四十五年 大正元年	一〇、〇	四八、九	五、二	七、九	八二九、〇	四六八、一	一八、六	三九六、六	一六九、八
大正二年	七、九	五七、三	三、八	七、二	八二二、九	三四三、三	一八、〇	三一四、〇	二九二、八
仝 三年	九、六	三九、一	三七、八	七、七	八二〇、三	四〇一、二	一九、三	三一四、二	三四六、九
平年	八、四	五〇、四	一七、五	七、〇	七七五、六	三九五、〇	一八、六	三一四、一	二二八、四

又參照の爲め大阪府管內最近十年間の麥收穫高を列記すれは左の如し

種別 / 年	作附反別	總收穫高	平均一反歩收量	平均一反歩の收量 大麥	平均一反歩の收量 裸麥	平均一反歩の收量 小麥
明治三十八年	三二、五八〇八 万反	四五、四四七六 万石	一、三九六 石	一、九七三 石	一、三二一 石	一、二二四 石
仝 三十九年	三二、七三八三	四七、七八六〇	一、四六〇	二、〇一七	一、三八七	一、一八四
仝 四十年	三一、三七九五	四七、七四四五	一、五二一	二、〇九九	一、四五一	一、二二七
仝 四十一年	三〇、〇八八六	四五、〇一六八	一、四九六	二、〇九八	一、四一〇	一、二二六
仝 四十二年	二九、七八七二	四五、〇六八六	一、五一三	二、〇七三	一、四四一	一、二一六
仝 四十三年	二九、三七九八	四〇、一四九六	一、三六七	一、九二四	一、二八二	一、一九四
仝 四十四年	二八、七五五一	四四、五三〇五	一、五四九	二、一一九	一、四四五	一、四四六

降水日數			
自十二月五日至仝三十一日	七	▲一	一
一月中	七	仝じ	二
二月中	一二	▲七	▲三
三月中	一三	▲二	仝じ
四月中	一五	一	一
總日數	五四	▲七	▲一

降水量			
自十二月五日至仝三十一日	五一、一	四一、九	▲一一、四
一月中	二三、五	一七、六	二六、九
二月中	八三、九	▲六、二	▲三〇、六
三月中	一六七、一	▲一〇九、四	▲六五、一
四月中	七五、六	二八、二	七四、〇
總量	四〇一、二	▲五七、九	▲六、二

出穗より成熟に至る期間は氣象の關係著大にして晴天持續し日照時數多き年は成熟良好なるも之れに反する年は成熟宜しからす今此期間を看るに成熟の早きは五月二十五日遲きは六月十七日なり故に便宜上此期間を五月一日より六月十七日に至る四十八日間として氣象を調査するに次表に示すが如く氣溫の平均は十九度三にして前年及平年より高く日照時數は三百十四時二にして前年及平年に略ぼ等し降水日數は二十五日にして前年より一日少く平年より五日多く其水量は三百四十六粍九にして前年より五十四粍一平年より百十八粍五孰れも多し即ち左の如し

自出穗至成熟

（表中▲印は高又は多）

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣溫 五月中	一八、二	▲一、五	▲〇、八
自六月一日至仝十七日	二二、〇	▲一、七	▲〇、四
總平均	一九、三	▲一、三	▲〇、七
降水日數 五月中	一六	▲一	▲一
自六月一日至仝十七日	九	▲三	▲一
總時數	二五	一	▲五

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
日照時數 五月中	一九八、一	三八、九	一〇、二
自六月一日至仝十七日	一一六、一	▲九、一	▲一、〇
總時數	三一四、二	▲一、二	仝じ
降水量 五月中	二五〇、五	▲三八、一	▲一五、一
自六月一日至仝十七日	九六、四	▲一六、〇	▲六、六
總量	三四六、九	▲五四、一	▲一八、五

更に最近十年間麥作期間の氣象を列記すれは左の如し

自播種至發芽前日

（表中▲印は高又は多）

氣象	本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣溫	九、六	▲ 一、七	▲ 一、二
日照時數	三九、一	一八、二	一一、一
降水日數	四	▲ 三	▲ 一
降水量	三七、八	▲ 三四、〇	▲ 二〇、三

發芽より出穗に至る期間は氣象の關係顯著なるか故に各月に分ちて前年及平年に比せんに先つ其期日を看るに出穗は早きは四月二十四日遲きは五月十二日なり故に其中庸を取り此期間を大正二年十二月五日より仝三年四月三十日に至る百四十七日間として氣象を調査するに次表に示すか如く氣溫の平均は七度七にして前年及平年より高く日照時數は八百二十時三にして前年より二時六少く平年より四十四時七多く降水日數は五十四日にして前年より七日、平年より一日多く其水量は四百〇一粍二にして前年より五十七粍九、平年より六粍二孰れも多し然れとも四月は冷氣にして日照時數多く降雨少かりし即ち左の如し

自發芽至出穗

（表中▲印は高又は多）

氣象		本年	前年に比し本年の方	平年に比し本年の方
平均氣溫	自十二月五日至仝三十一日	六、五	〇、二	▲ 〇、五
	一月中	五、一	▲ 一、二	▲ 一、〇
	二月中	五、二	▲ 〇、四	▲ 一、一
	三月中	九、八	▲ 三、五	▲ 二、五
	四月中	一一、八	二、五	一、
	總平均	七、七	▲ 〇、五	▲ 〇、八
日照時數	自十二月五日至仝三十一日	一三四、三	▲ 一一、六	▲ 〇、五
	一月中	一七七、六	▲ 二一、三	▲ 五、
	二月中	一二四、三	四三、八	二一、八
	三月中	一七八、〇	一六、九	▲ 一〇、七
	四月中	二六、一	▲ 二五、二	▲ 二二、三
	總時數	八二、一	一、六	▲ 四四、七

●大正三年麥作期間の氣象概況

本年度の麥作は大正二年十一月に播種し同三年六月に收穫したるものにして此期間の氣象を前年及平年に比し概記せんに播種より發芽に至る期間は溫暖にして日照時數少く降雨多かりし●發芽より出穗に至る期間は概して溫暖にして多雨なりしか四月は冷氣にして降雨少く日照時數多かりし●出穗より成熟に至る期間は溫暖にして日照時數は前年及平年に比し略ほ等しきも降雨は頗る多かりし

尙詳細に調査せんか爲め先つ農商務省農事試驗場畿內支場の豐凶考照試驗に係る麥の種類及播種より成熟に至る各期日並に一反步收量を左に掲く

種類		播種期	發芽期	出穗期	成熟期	一反步收量
裸麥	豐年	十一月二十五日	十二月五日	四月二十七日	六月一日	一、二八二
	丹波白	全	全	全	全	一、一九〇
	オソメ	全	全	全	五月二十九日	一、二三一
大麥	倍取	全	全	四月二十六日	全	一、五二四
	交野	全	全	全	二十七日	五月二十五日
小麥	和歌山	全	全	全	三十日	六月八日
	フルツ	全	全	五月十二日	全十七日	一、〇七七
	廣島シブレー	全	全	四月二十八日	全八日	一、一九〇

前表に依りて看るに播種は大正二年十一月二十五日にして發芽は全年十二月五日なれは其前日即ち十二月四日に至る十日間は種子の土中にありたるものにして氣象の關係は著しからさるも此期間の氣象を記すれは氣溫の平均は九度六にして前年及平年より高く日照時數は三十九時一にして前年及平年より少く降水日數は四日其水量は三十七粍八にして孰れも前年及平年より多し即ち左の如し

大連	午後一〇時二二分五八秒
水澤	仝　一〇時二二分五六秒
函館	仝　一〇時二四分一四秒

一五四　十一月二十九日午後二時六分三十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時十六分五秒に於て五十「ミクロン」振動期七秒二南北動は午後二時十五分四十七秒に於て三十七「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十八分三秒、南北動は三十六分八秒なり

附記　此地震は臺灣の南東方洋底に發したるものにして恒春、名瀬にては人身に感覺なきも地震計に感じたり又微動は遠く支那上海及北海道の南部に達したり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

臺北	午後二時〇四分四七秒
ジカウエー	仝　二時〇五分四二秒
大阪	仝　二時〇六分三七秒
彦根	仝　二時〇六分四六秒
水澤	仝　二時〇七分二七秒
函館	仝　二時〇八分四二秒

一五五　十一月廿九日午後五時二十六分三十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分四十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後五時二十八分零秒に於て百四十「ミクロン」振動期四秒八、南北動は午後五時二十八分零秒に於て百四十五「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十三分零秒南北動は二十分四十一秒なり

附記　此地震は常陸國の西部に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は東京附近に達し水戸、筑波山にては微震を感じ東京、宇都宮、福島、函館等にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

附記

此地震は奄美大島附近に發したるものにして震域頗る廣く九州、四國、本州及北海道の南部に亘り名瀬、鹿兒島、宮崎、大分、高知にては弱震を感じ名瀬にては地鳴を伴ひ鹿兒島にては振子時計の運轉を停止し熊本、松山、廣島にては微震を感じ長經百六十里、短經九十里を有し有感覺微震部は四萬四千六百四十方里に亘れり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

名		
瀬	午後七時	四五分四三秒
長崎	仝	七時四六分二八秒
大阪	仝	七時四七分一〇秒
シカウエー(支那上海)	仝	七時四七分四〇秒
臺北	仝	七時四七分五八秒
大連	仝	七時四八分一六秒
國館	仝	七時五〇分〇三秒
大泊	仝	七時五〇分一五秒

一五三　十一月二十八日午後十時二十一分十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十時二十六分四十九秒に於て四百二十「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午後十時二十六分五十四秒に於て三百四十七「ミクロン」振動期七秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十三分四十五秒、南北動は五十五分五十秒なり

附記

此地震は前記地震と全震源帶に發したるものにして鹿兒島、宮崎にては性質緩なる微震を感じ名瀬、大分にては人身に感覺なきも地震計に感じたり又微動は遠く北海道の函館、臺北、大連、支那上海等に達したり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

名		
瀬	午後一〇時	一九分五〇秒
長崎	仝	一〇時二〇分四五秒
大阪	仝	一〇時二一分一六秒
シカウエー	仝	一〇時二一分五四秒
臺北	仝	一〇時二二分一八秒

大　泊　　仝　八時五八分五六秒

但し父島は普通地震計岐阜及彦根は簡單微動計の觀測

一五一　十一月二十六日午前十時五十九分四十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時二分九秒に於て二十三「ミクロン」振動期五秒二、南北動は午前十一時一分四十一秒に於て四十二「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十二分三十五秒、南北動は十二分五十六秒なり

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は水戸附近に達し長徑百里短徑六十里を有し有感覺微震部は一萬八千六百方里に亘れり而して石卷、秋田、筑波山等にては性質緩なる微震を感じたれども水戸、福島、函館にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一五二　十一月二十八日午後七時四十七分十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時五十二分十四秒に於て八百三十五「ミクロン」振動期十九秒二、南北動は午後七時四十九分十六秒に於て千二百九十七「ミクロン」振動期二十一秒六を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十分五十四秒、南北動は一時十九分四十三秒なり即ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測

		發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動	P	一九時四七分一〇秒	—	—
	S	—	—	—
主要動	L	一九時四八分五六秒	—	—
	M	仝　五二分一四秒	八三五	一九、二
終期	F	二一時　八分〇四秒	—	—

南北動地動計觀測

		發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動	P	一九時四七分一〇秒	—	—
	S	—	—	—
主要動	L	一九時四八分五六秒	—	—
	M	仝　四九分一六秒	一二九七	二一、六
終期	F	二一時〇六分五三秒	—	—

時十四分四十三秒なり即ち次表に示すか如し

東西動地動計觀測

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	二〇時五六分五〇秒		
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	二〇時五九分二四秒	—	—
主要動 M1	二〇時五九分三六秒（十）	三八五	一六、八
主要動 M2	二一時〇九分一三秒（十）	九一二	七、〇
終期 F	二三時一四分〇一秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	最大振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動 P	二〇時五六分五〇秒		
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	二〇時五九分二四秒	—	—
主要動 M1	二一時〇〇分四一秒	八三	七、七
主要動 M2	全 〇八分五八秒	五四〇	七、二
終期 F	二三時一一分三三秒	—	—

附記

此地震は本邦一帶に微弱震を感じ就中小笠原島にては弱震を感じ家屋動搖し地鳴あり而して各地の發震時は小笠原島最も早く北乃至四方に至るに從ひ遲延せり之れに依りて看れば震源は小笠原島の南方洋底に發したるものなるべし今參考の爲め各所の報告に依りて發震時と震央地までの距離を左に記すべし

地名	發震時	發央地までの距離（粁）
父島	午後八時五六分三〇秒	—
岐阜	全 八時五六分二六秒	一八〇五
大阪	全 八時五六分五〇秒	一七二七
水戸	全 八時五六分五一秒	一六四九
彦根	全 八時五六分五九秒	一七五〇
長崎	全 八時五七分〇五秒	一七四〇
水澤	全 八時五七分一七秒	一九一七
臺北	全 八時五七分五六秒	二〇九二
鹿館	全 八時五七分五九秒	二〇七四
仁川	全 八時五八分〇一秒	二一〇〇
大連	全 八時五八分〇六秒	二四〇二

屋根石の落下したる所ありたるが幸に人畜には死傷なかりし

一四八　十一月十六日午前十時三十分三十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時三十五分五十六秒に於て八十七「ミクロン」振動期五秒八、南北動は午前十時三十四分十八秒に於て九十二「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十六分三秒、南北動は二十四分四十五秒なり

附記　此地震は九州南部に發したるものにして日向の宮崎にては弱震を感じ鹿兒島、大分、名瀨にては人身に感覺なきも地震計に感ぜり

一四九　十一月二十二日午後五時二十七分二十秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分四十三秒、第二は八分二十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後五時五十一分四十八秒に於て二十「ミクロン」振動期十九秒二、南北動は午後五時五十一分二十八秒に於て二十「ミクロン」振動期二十四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十九分四十五秒、南北動は五十八分十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

但し時刻は日本中央標準時に據る以下仝じ

臺北	午後五時二六分〇六秒
大阪	仝　五時二七分二〇秒
仁川	仝　五時二八分〇八秒

一五〇　十一月二十四日午後八時五十六分五十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分三十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時五十九分三十六秒に於て三千八百五十「ミクロン」振動期十六秒八、南北動は午後九時零分四十一秒に於て八百三十「ミクロン」振動期七秒七を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時十七分十一秒、南北動は二

二十倍の觀測）

附記　此地震は山城國の西部に發したるものにして京都にては性質急なる微震を感じ地鳴を伴ひたり又本府管内豐能郡東郷村にても微震を感じ微動は本州中部に及べり

一四五　十一月四日午前十一時七分三十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時十分五秒に於て六十三「ミクロン」振動期二秒九、南北動は午前十一時十分六秒に於て三十六「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分二十三秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は九州南部に發したるものにして鹿兒島にては性質稍々急なる微震を感じ大分にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一四六　十一月七日午後三時四十四分五十秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午後三時五十三分四十六秒に於て二十五「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午後三時五十四分五秒に於て三十二「ミクロン」振動期五秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十九分十一秒、南北動は三十九分四十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならず

一四七　十一月十五日午後十時二十九分二十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分四十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十時三十分五十三秒に於て百九十七「ミクロン」振動期三秒二、南北動は午後十時三十一分八秒に於て二百二「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十一分十秒、南北動は二十分五十五秒なり

附記　此地震は越後の高田市附近に發したる強震にして震域頗る廣く北方に北海道の南部に南東方は東京、横濱實邊に達し南西方に畿内附近に亘りて長徑六十里、短徑四十里を有し強震を感じたる面積は高田市を中心として三百十四方里弱震を感じたる面積は新潟、長野、伏木に亘りて二千四十六方里、有感覺微震部は七千四百四十方里なり而して震央地附近にありては壁の龜裂せしもの頗る多く所々

一般に霜あり●二十四日概ね曇天一般に雨降れり●二十五日概ね晴天深日、尾崎を除く外一般に霜あり●二十六日晴曇相半し所々に雨降り天王に霜あり●二十七日概ね晴天所々に雨降り富田林は霰を交に尾崎、長承寺、堺、大阪、枚方、八尾に強風吹けり●二十八日晴曇相半し尾崎、岸和田、大阪に雨、妙見山、天王に雪降り尾崎、堺、大阪、枚方に強風吹けり●二十九日概ね晴天、深日を除く外一般に霜あり所々に結氷せり●三十日概ね晴天所々に霜あり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し尚微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Tは終期の最大動、Eは振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十二回にして人身に感覺ありたるものは一回もなかりしが人身に感覺なく普通地震計に感じたるものは十一月十五日高田附近、仝二十四日小笠原島の南方洋底、仝二十八日奄美大島近海に發したるもの各一回なり無感覺地震にして地動計又は微動計に感じ其震源本邦内にありたるものは七回即ち九州南部二回、三陸沖、常陸國の西部、山城國の西部、奄美大島近海、臺灣の南東方洋底各一回なり又遠距離地震は二回にして未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一四四　十一月三日午前二時三十二分二十九秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分九秒にして主要動となり最大振幅は午前二時三十三分四秒に於て十六「ミクロン」振動期一秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分三十六秒なり　南北動微動計百

全月	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日
六二、五	—	四、一	四、九	—	〇、七	—	—	—	—
五七、九	—	二、三	三、一	—	一、二	—	—	—	—
三四、二	〇、〇	二、三	一、二	〇、四	—	二、〇	—	—	—
四六、六	—	一、五	—	—	〇、四	〇、七	—	—	—
三二、五	—	一、七	一、九	—	—	—	—	—	—
四一、一	—	一、六	一、六	—	—	〇、四	—	—	—
三三、八	〇、〇	二、〇	一、六	〇、二	〇、二	—	—	—	—
四〇、五	〇、〇	二、二	一、四	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	—	—
三四、七	—	一、四	〇、〇	—	—	—	—	—	—
二九、四	〇、〇	一、四	一、四	—	〇、一	〇、一	—	—	—
四一、〇	—	二、〇	—	—	—	—	—	—	—
四九、九	—	五、五	—	—	—	—	—	—	—
五五、四	—	三、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	—
六二、六	〇、二	二、六	〇、四	—	—	一、八	〇、二	—	—
二六、三	—	〇、五	—	—	—	—	—	—	—
三六、四	—	一、〇	—	—	—	—	—	—	—
二九、一	—	一、三	—	—	—	—	—	—	—
四九、二	—	二、二	三、四	—	〇、一	—	—	—	—
三一、五	—	一、五	二、〇	—	一、七	〇、二	—	—	—
四五、二	—	一、〇	二、七	—	一、	—	—	—	—
五六、三	—	四、五	二、〇	—	—	一、	—	—	—
五九、六	—	二、一	二、一	—	—	二、三	—	—	—

管内天氣摘要

●一日概ね晴天●二日概ね晴天●三日概ね晴天枚方に強風吹けり●四日概ね晴天、尾崎に強風吹き東郷、天王に雨降れり●五日未明より雨降り午後に至り歇む、尾崎、岸和田、長承寺、大阪に強風吹けり●六日概ね晴天●七日概ね晴天、天王に雨降れり●八日概ね晴天●九日概ね曇天、午後より雨降り翌日に亘る枚方に強風吹けり●十日前日來の雨未明歇み後概ね曇天、尾崎、大阪、枚方に強風吹けり●十一日概ね晴天●十二日概ね晴天●十三日概ね晴天●十四日概ね晴天、午後より雨降り翌日に亘る、枚方に強風吹けり●十五日前日來の雨未明歇み、後概ね曇天、大阪に強風吹けり●十六日概ね晴天●十七日晴曇相半し尾崎に強風吹けり●十八日概ね曇天、妙見山に雨降れり●十九日概ね曇天●二十日概ね曇天夜に入り一般に雨降り尾崎に強風吹き天王に霜あり●二十一日概ね曇天、深日、天王、富田林、長野に雨降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十二日概ね晴天、新庄、東郷、天王、田原に霜、岸和田に霰、深日、大阪、新庄、天王に雨降り尾崎、長承寺、大阪、枚方に強風吹けり●二十三日概ね晴天深日、尾崎を除く外

第五表　管內降水日量

十一月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日	九、二	六、二	一、二	二、八	〇、六	三、一	四、三	五、五	四、〇	五、	一三、二	二四、〇	一三、〇	一六、五	四、五	一〇、〇	四、三	四、四	三、	四、一	二、五	一、六
五日	二九、〇	二六、	一九、一	二六、七	一三、八	二三、五	一五、六	一八、四	一九、三	一〇、三	一六、	九、九	二八、〇	二、五	九、〇	一五、一	一五、〇	一四、〇	一四、九	二四、五	二四、五	三、三
六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九日	二、四	二、一	一、三	三、二	三、〇	三、四	二、三	二、六	一、八	一、二	二、六	四、五	四、五	六、八	二、〇	二、五	一、八	一六、三	三、三	四、一	四、	三、五
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	—	—
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十四日	八、七	一一、一	一、七	四、八	一、七	二、七	四、四	七、八	六、二	八、四	五、〇	六、〇	七、九	二七、〇	六、八	四、八	四、七	五、〇	一、八	三、三	四、五	七、〇
十五日	—	—	—	二、二	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、三	—
十六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二十日	三、五	五、七	五、〇	四、三	—	五、七	三、二	二、〇	二、〇	一、四	二、二	〇、〇	—	四、一	三、五	三、〇	二、〇	三、五	三、〇	四、五	七、五	一、八
廿一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、四	—	—	—	—	—	—	〇、八	—

觀測所	氣温 平均最高	氣温 平均最低	氣温 平均 本年	氣温 平均 平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	降水 本年平年差	最多日量	起日
深日	一八、九	一〇、四	一四、六	▲二、三	二六、一	四	三、六	二九	六三、五	二〇、八	二九、〇	五
尾崎	一八、七	九、五	一四、一	▲一、八	二六、九	四	一、二	二九	五七、九	三〇、七	二六、二	五
岸和田	一八、六	八、八	一三、七	▲一、五	二五、六	四	(一)〇、三	二九、三〇	三四、三	三三、四	一九、一	五
長承寺	一九、四	七、六	一三、五	▲一、七	二七、四	四	(一)一、四	二九	四六、六	一八、九	二六、七	五
濱寺	一八、六	八、二	一三、四	|	二七、五	四	(一)〇、八	二九	三三、五	|	一四、四	五
堺	一八、九	八、六	一三、八	▲一、九	二八、〇	四	〇、〇	二九	四一、二	三三、八	一三、五	五
天王寺	一八、三	八、六	一三、六	▲二、三	二六、五	四	〇、四	二九	三三、八	三四、七	一五、六	五
大阪	一八、五	九、四	一四、〇	▲二、六	二六、六	四	〇、七	二九	四〇、五	二七、六	一八、四	五
福島	一九、三	八、八	一四、一	▲二、一	二八、〇	四	一、二	三〇	三四、七	三三、四	一九、二	五
新庄	一八、三	八、〇	一三、五	▲二、〇	二六、九	四	(一)〇、五	二九	二九、四	四〇、六	一一、三	五
池田	一九、三	七、三	一三、三	▲二、〇	二六、〇	五	(一)一、四	三〇	四一、一	二二、五	一六、〇	五
妙見山	一三、六	四、三	八、四	▲〇、七	一九、一	四	(一)三、〇	二九	四九、九	三三、九	二四、〇	四
東郷	一七、一	六、三	一二、六	▲一、九	二五、〇	四	(一)三、一	二九	五五、四	三三、八	二六、〇	五
天王	一五、三	四、八	一〇、〇	▲二、一	二二、四	四	(一)三、五	二九	六三、六	九、三	二七、〇	一四
茨木	一九、三	七、八	一三、五	▲一、九	二五、一	五	(一)一、一	二九	二六、三	二六、九	九、〇	五
清水	一八、九	七、〇	一二、九	▲二、三	二五、六	五	(一)一、五	二九	二六、四	二二、七	一五、一	五
枚方	一八、七	八、三	一三、五	▲一、六	二六、〇	四	一、〇	二九、二六	二九、三	四、〇	一五、〇	五
田原	一八、四	五、三	一二、〇	▲二、一	二六、〇	四	(一)三、四	二九	四九、三	一九、七	一六、一	九
八尾	一八、九	八、一	一三、四	▲二、〇	二六、四	四	(一)一、一	二九	三三、五	二三、五	一四、九	五
柏原	一九、三	七、四	一三、三	▲一、九	二六、九	四	(一)一、〇	二九	四五、三	二六、三	二四、五	五
富田林	一八、三	七、五	一三、三	▲一、九	二七、五	四	(一)一、五	二九	五三、三	三〇、四	二四、五	五
長野	一八、一	七、三	一二、六	▲一、八	二六、四	四	(一)一、九	二九	五九、六	三〇、二	二二、二	五

觀測所	午前十時（柏原ハ午前九時） 氣温	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	快晴	曇天	暴風
深日	一七、一	六六	五、六	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	三	〇
尾崎	一五、七	七四	五、八	北東	八	〇	〇	〇	二	〇	〇	六	一二	九
岸和田	一五、八	六八	四、六	西	九	〇	一	〇	四	〇	〇	九	六	一
長承寺	一五、八	七七	四、四	東	九	〇	〇	〇	四	〇	〇	三	一〇	三
濱寺	一四、九	六九	五、三	南	六	〇	〇	〇	|	〇	〇	一五	一五	七
堺	一五、二	七四	五、一	東	八	〇	〇	〇	三	〇	〇	一〇	一四	二
天王寺	一四、八	七三	四、六	西	九	〇	〇	〇	三	〇	〇	一〇	九	〇
大阪	一五、〇	六九	五、五	北東	七	〇	〇	〇	五	〇	〇	一二	一三	七
福島	一五、〇	七三	四、九	北東	六	〇	〇	〇	三	〇	〇	一二	一二	〇
新庄	一四、五	七二	五、六	東	一〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	一三	一六	〇
池田	一五、〇	六六	四、四	東	六	〇	〇	〇	三	〇		七	六	
妙見山	一〇、〇	八四	四、七	北	五	二	〇	〇	三	〇		一四	一二	〇
東郷	一三、九	七六	五、三	西	五				四			一〇	一二	〇
天王	一二、五	七五	四、三	南	三	一	〇	〇	七	〇	一	一四	八	〇
茨木	一五、七	七四	五、三	東	六	〇	〇	〇	三	〇	〇	一〇	九	〇
清水	一五、五	六八	四、七	北	六		〇	〇	三	〇	〇	八	八	〇
枚方	一五、六	七四	四、九	北	六	〇	〇	〇	三	〇	〇	一四	一三	七
田原	一四、五	七二	五、一	東	九	〇		〇	五		〇	一一	一一	〇
八尾	一五、一	七五	四、四	西	九	〇	〇	〇	一	〇	〇	一四	一一	一
柏原	一四、二	七九	四、九	西	八	〇	〇	〇	三	〇	〇	一三	一三	〇
富田林	一五、六	八三	五、三	西北	一一	〇	一	〇	三	〇	〇	一一	一一	〇
長野	一四、七	七四	五、七	北	八	〇	〇	〇	三	〇	〇	六	一二	〇

るは本府管内觀測所創始以來未だ嘗て看さる所の現象なり而して下旬に入りては漸く順に復し二十三日には一般に初霜あり平年より稍々遲く又二十八日には北部の山間に初雪あり平年と大差なかりき降水量は一般に少なく平年の半に達せさる所あり之れを要するに本月の氣候は上中二旬は温暖にして下旬は順當に經過せり更に氣温、降水量等に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は南部深日の十四度六より北部妙見山の八度六の間にありて之れを平年に比すれは一般に二度内外の高温を呈せり而して最高は概ね四日に現はれ南部堺、西部福島の二十八度〇を高極とし東部富田林南部濱寺の二十七度五、仝長承寺の二十七度四之れに亜き其他沿海及平坦部地方は二十七度より二十六度を示し山間部は二十五度より十九度の間にあり又最低は概ね二十九日に現はれ北部天王の零下三度五、仝東郷の零下三度一、仝妙見山の零下三度〇を低極とし東部田原の零下二度四之れに亜き其他は零下一度九より零下零度三の間にありしが大阪市附近及和泉の南端は零下に降らさりき之れを要するに本月の氣温は最高二十八度〇より最低零下三度五の間にありて其較差は三十一度五に達せり

降水

總量は北部天王の六十二粍六、南部深日の六十二粍五より西部茨木の二十六粍三の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく就中天王寺、新庄、茨木、八尾は平年の半に達せさりき而して日量の最多は概ね五日の降雨の際にありて東部長野の三十粍二を最多とし之れに亜くは南部深日の二十九粍〇、北部東郷の二十八粍〇仝天王の二十七粍〇にして其他二十粍以上なりしは尾崎、長承寺、濱寺、堺、妙見山、柏原、富田林の七ヶ所にして他は十粍以上なりしも茨木は九粍〇に止まれり

第四表　管内氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

時量最多	蒸發量	日照時數	地皮	地中溫度 十糎	二十糎	三十糎	六十糎	百二十糎	三百糎	五百糎	七百糎	風向	觀測回數	平年比較
一	八、二 ▲	一六、三〇 ▲	三、五九 ▲	一四、四八 ▲	一五、二八 ▲	一六、三三 ▲	一七、五八 ▲	一九、二九 ▲	一九、一八 ▲	一七、四三 ▲	一六、七七 ▲	北	一八一	▲ 四六
一	六、一 ▲	三、五九 ▲	〇、六八 ▲	一、八八 ▲	一、五五 ▲	一、六六 ▲	一、三九 ▲	一、一四 ▲	〇、五五 ▲	〇、三三 ▲	〇、〇九 ▲	北東	二四〇	▲ 三
九、二	四、六	九、八〇	二七、五	一八、七	一九、〇	一九、〇	一九、三	二〇、五	一九、四	一七、七	一六、八	東	五〇	五〇
五	二	六	四	四	四	五	一	一	一	二四	四	南東	二五	二五
一	〇、三	一	一、九	八、二	一〇、一	一二、七	一四、二	一七、五	一八、九	一七、二	一六、九	南	一	一
一	二四	一	二、九	二、九	三、〇	三、〇	三、〇	三〇、〇	二六	一	三	南西	六八	▲ 二
飽差	平年に比し ▲	風速度	平年に比し ▲	降水量	平年に比し ▲	雲量	平年に比し ▲	日照時數	平年に比し ▲	風速度	平年に比し	西	六五	一
濕度	八四、四	七六、五	七三、六	七五、一	七五、九	七七、三	七七、九	七七、五	七七、一	七七、三	七七、〇	北西	二九	一
二、五五	五、九 ▲	三、九四	三、六八	三、九	三、三	六、六	〇、七 ▲	三、八〇	四、一七 ▲	三、八五	〇、〇九 ▲	靜穩	一	一
四、五五	一、八 ▲	三、八四	三、六八	三、六	三、九	四、八	〇、六 ▲	三、六五	〇、三九 ▲	四、二	〇、八	平均方向	北三度東	四七
七、〇	二、〇 ▲	三、三	七、四	三、三	三、七	六、八	一、五 ▲	三六、九	二、八	四、四	〇、三四 ▲	百分率	四七	

大阪府管內氣象概況

前既に述へたるか如く本月は北乃至西の季節風增勢し寒氣漸く加はりしも比較的好晴の天氣多く降水量は前月に比すれは稍々減少するを常とす而して本年十一月の氣候を調査するに氣温は上旬より中旬に亘りて著しく高く就中四日は其最たるものにして和泉の北部及大阪市にては最高二十八度〇に達したる所あり如斯本月に於て高温を呈した

廿二日	八、六	三、一	三、八	一五、一	七、〇	〇、四	前日來の強風午後四時迄吹續す、午後四時二分より四時五分迄微雨、夜薄露あり
廿三日	八、三	二、四	三、九	一四、四	六、六(一)	〇、八	朝微霜ありとれを本冬季の初霜とす、午前五時四十分より九時二十分迄薄霧あり、午後六時四十分より八時二十分迄月暈現る、夜薄露あり
廿四日	八、三	二、三	三、六	一三、九	六、三	二、八	朝露あり、午前五時五十五分より午後一時四十分迄小雨、夜露あり
廿五日	八、四	二、九	三、三	一五、五	五、九(一)	一、三	朝微霜あり、夜露あり
廿六日	八、四	〇、八	三、〇	一三、〇	五、六	〇、四	朝露あり、午前八時三十分より十一時四十分迄薄霧あり、午後九時四十五分より十時二十五分迄微雨、夜露多し
廿七日	九、三	二、二	三、一	一二、一	五、三	二、〇	朝露多し、午前九時より十時迄烟霧あり午後二時及七時より強風吹き起り翌曉に到る、午後五時五十分より六時五十五分迄微雨
廿八日	六、四	〇、六	二、九	一三、一	五、一(一)	三、三	前日來の強風午前五時迄吹續す、午前十一時五十分より午後零時十二分迄微雨、午後四時強風吹けり、夜微霜あり
廿九日	五、五	九、〇	一、七	一三、三	四、八(一)	三、三	朝霜あり、午前八時五十分より午後零時二十三分迄時々日暈現る、夜薄露あり、午後六時五分より七時十五分まで月暈現る
三十日	七、七	九、四	〇、六	一二、八	四、四(一)	〇、九	朝微霜あり、午後六時五十分より十一時三十分迄月光環現る夜薄露あり
全月	三、六	一、五	二、四	二、六	二、三	五、三	

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高又は多、強）

全月觀測成績

種目	氣壓	氣溫 平均	氣溫 最高	氣溫 最低	氣溫 較差	水蒸氣張力	濕度	飽差	月暈	降水 日量最多
平均	七五五、五九	一三、三九▲	一八、五四▲	八、八五▲	九、六九▲	八、八▲	七五、七▲	三、五▲	五九、一	—
不定に比し	〇、四二	一、三五	一、四九	一、三	〇、二八	〇、九七	一、七	〇、二	二、〇	—
最高又は最多	七三、一	—	二六、六	—	三、九	二、三	—	三、二	—	二四、二
起日	二	—	四	—	三	一五	—	三	—	五
最低又は最少	七五四、四	—	—	〇、七	—	四、三	四、三	一、〇	—	—
起日	一〇	—	—	二九	—	二八	八	二五	—	—

半旬期觀測成績

種目	氣壓	氣溫	最高氣溫	平年に比し	最低氣溫	平年に比し	水蒸氣張力	平年に比し
平年	七五五、六七	一、八五▲	一六、七七	一、九七▲	一三、八	一、九三▲	二、八七	二、五▲
十月二十七日	七五五、四八	〇、一五▲	一七、五六	二、四八▲	一二、七	三、四七▲	二、七	三、九▲
十月二十八日	七五七、七三	一、五五▲	一四、一八	一、八五▲	九、五三	一、六六▲	一、八四	一、四六▲
十月二十九日	七五七、七七	一、四四	一七、三	四、五五▲	一三、四	四、八▲	二、六	三、四▲
十月三十日	七五六、七七	一、四四	一六、三六	一、五五	九、八	一、四四	八、四	一、〇
十月三十一日	七五六、九九	一、四四	一四、三九	二、四二	四、二八	一、四四	六、九	〇、〇

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十一月	地中溫度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	一六、五五	一七、三	一七、八	一九、三	七、七	朝夜露あり
二日	一五、四	一六、九	一七、七	一八、三	七、三	朝露多し、夜露あり
三日	一五、九	一六、九	一七、五	一八、二	八、七	朝露多し、午後零時三分より一時三十分迄時々日暈現る
四日	一八、三	一八、〇	一八、〇	一八、四	一九、〇	午前零時十五分より三時五分迄月暈あり、夜薄露あり
五日	一六、七	一八、二	一八、六	一八、九	一九、一	午前一時二十三分より降雨時々大雨を交へ午後五時四十七分歇む、午後四時五十八分より五時三分迄虹霓現る午前十一時より午後九時迄強風吹けり
六日	一六、二	一七、三	一八、〇	一八、六	一九、一	朝夜露あり、午後八時四十五分より九時二十五分迄及十一時三十分より翌曉に亘り月暈現る
七日	一四、五	一六、四	一七、四	一八、二	一九、〇	前夜來の月暈午前一時五分消ゆ、朝露あり、夜半薄露あり
八日	一三、五	一五、七	一六、八	一七、七	一八、八	午前零時五十五分より一時十分迄及全二時十分より三時二十分迄月暈現る、夜露あり
九日	一四、五	一五、七	一六、五	一八、六	一九、一	朝薄露あり、午後零時五十分より十一時二十分迄小雨斷續せり
十日	一三、八	一六、〇	一六、六	一七、三	一六、五	午前一時三十分より三時四十八分迄微雨、午前十時より五時迄強風吹けり、午前十時三分より午後零時五十五分迄時々日暈現る、午後零時二十五分より三時十分迄微雨
十一日	一二、六	一四、四	一五、八	一六、八	二、三	朝薄露夜露あり
十二日	一三、三	一四、四	一五、三	一六、三	五、三	朝薄露あり、午前十時五十五分より午後三時五十分迄日暈現る
十三日	一四、六	一五、六	一六、〇	一七、八	一〇、五	午前四時三十分より五時五十分迄月暈現る、夜薄露あり
十四日	一六、二	一六、二	一六、四	一六、八	一一、七	朝薄露あり
十五日	一八、〇	一七、八	一七、五	一七、九	一五、八	午前零時八分より降雨斷續して同八時五十分歇む、午後九時強風吹けり
十六日	一五、三	一七、三	一七、七	一八、〇	一八、四	午後一時三十分より二時三十五分迄日暈現る、夜露多し
十七日	一三、三	一五、七	一六、七	一七、四	一八、一	朝露多し
十八日	一三、九	一四、九	一五、九	一六、七	一四、五	夜薄露あり
十九日	一四、三	一五、四	一六、〇	一六、六	一七、七	夜露あり
二十日	一三、〇	一四、二	一五、四	一六、三	一四、三	朝露あり、午後六時五十分より降雨時々大雨を交へ同十時四十分歇む
廿一日	一〇、〇	一三、七	一四、九	一五、九	一七、四	午前十一時及午後十時より強風吹き翌日に到る

七日	七六六、五	一四、四▲	〇、七	一〇、三	九、四	一〇、八	八、八	七[illegible]	三、七	四、七	九、四	西南西	北	三、九	八、三▲	三、三	—	四、〇
八日	七六九、九	一三、六▲	一、二	一八、九	九、三	九、六	八、〇	七二	三、七	[illegible]、六	四、七	北東	北北東	二、〇	九、一▲	一、五	—	三、四
九日	七六五、三	一五、七▲	三、九	一八、七	一一、三	七、四	二、五	八六	一、九	三、六	六、一	北東	北東	〇、〇	—	一、六	一、[illegible]	一、四
十日	七六五、八	一四、五▲	二、〇	一八、五	一〇、三	八、二	八、七	七[illegible]	三、七	六、六	六、三	北北西	北	八、[illegible]	四、一	〇、[illegible]	[illegible]	二、九
十一日	七七一、三	一三、一▲	一、五	一七、[illegible]	七、三	〇、〇	六、八	六六	三、九	三、五	五、〇	北北西	北東	一、七	九、一▲	[illegible]	—	[illegible]、四
十二日	七六九、六	一四、六▲	二、一	一〇、八	八、四	三、四	九、[illegible]	七[illegible]	三、五	三、五	六、六	北北東	北東 北	六、五	八、[illegible]▲	[illegible]、三	—	三、[illegible]
十三日	七六七、九	一七、〇▲	三、[illegible]	[illegible]、三	三、[illegible]	一〇、三	九、九	七三	四、七	四、六	六、八	東北東	北東	一、三	八、[illegible]▲	一、八	—	四、六
十四日	七五三、七	一八、八▲	五、一	一四、九	三、九	二、[illegible]	三、[illegible]	七五	四、四	四、六	六、九	北東	北東	四、五	五、四	〇、四		二、六
十五日	七六〇、九	一九、九▲	七、二	一三、一	七、七	五、四	一四、五	八四	二、八	四、七	一二、一	西	西	九、二	二、五	三、五	八、[illegible]	[illegible]
十六日	七六五、六	一六、四▲	四、〇	一九、一	一三、二	六、九	九、七	七三	四、二	四、八	九、三	西	西南西	八、二	二、五	二、三	—	一、九
十七日	七六六、四	一三、八▲	〇、六	一七、九	一〇、〇	七、九	八、九	七六	二、九	三、〇	四、八	北北西	東	七、六	三、九	〇、五	—	一、[illegible]
十八日	七六三、二	一三、三	〇、四	一六、六	九、七	六、九	八、八	七八	二、六	二、四	四、六	東	北東	七、[illegible]	〇、五	三、[illegible]	—	一、八
十九日	七六一、九	一四、五▲	一、七	一九、六	一〇、五	九、一	九、一	七六	三、三	二、[illegible]	五、八	北	北	五、二	四、六▲	一、[illegible]	—	三、〇
二十日	七五八、六	一三、六▲	一、〇	一六、三	七、八	八、五	八、九	八三	三、一	三、[illegible]	九、[illegible]	北	北東	七、三	一、[illegible]	三、七	二、三	二、[illegible]
廿一日	七五六、九	一〇、六	〇、三	四、三	七、[illegible]	六、三	六、三	六六	三、三	八、二	一四、六	西	北北西	六、〇	三、九	一、五	—	四、[illegible]
廿二日	七六三、八	八、九	一、九	三、四	四、九	八、五	五、五	六六	三、一	九、三	一四、七	西	西	一、八	六、九▲	二、二	[illegible]	二、九
廿三日	七六六、八	七、九	四、一	四、四	二、五	二、九	六、〇	七七	二、三	二、五	四、[illegible]	南西	北東	一、四	八、二▲	三、六	—	二、四
廿四日	七六三、八	八、五	三、五	三、三	五、八	六、四	七、一	八五	一、三	二、七	三、五	北東	北東	六、七	〇、五	三、六	三、五	[illegible]
廿五日	七五五、九	八、九	一、五	一五、九	三、七	三、二	六、[illegible]	七六	二、五	二、一	二、九	北東	西南西 東	〇、〇	八、七▲	一、〇	—	二、五
廿六日	七六六、八	九、三	〇、九	七、[illegible]	四、五	三、五	七、[illegible]	八三	一、九	[illegible]	三、[illegible]	北北東	北東 北	二、[illegible]	一、八	一、[illegible]	[illegible]	一、[illegible]
廿七日	七六四、七	一〇、九▲	〇、二	一六、八	五、〇	一一、八	六、八	七三	三、六	七、一	一六、六	西	西	二、五	六、八▲	[illegible]	[illegible]	四、五
廿八日	七六八、一	七、三	一、七	[illegible]	二、三	八、九	五、[illegible]	七〇	三、七	八、三	二、三	西	北	三、八	四、九	〇、[illegible]	[illegible]	三、一
廿九日	七六〇、三	五、二	一、八	九、九	〇、七	九、二	五、二	八〇	一、五	二、五	五、[illegible]	北北東	北東 北北東	六、[illegible]	四、〇	一、九	—	[illegible]、九
三十日	七五七、七	九、〇▲	一、七	五、六	二、三	一三、三	六、七	七九	二、二	三、〇	六、七	南西	北東	二、八	七、六▲	五、七	—	[illegible]、九
全月	七五[illegible]、六	[illegible]、四▲	一、[illegible]	一六、五	八、八	九、七	八、八	七六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	北東	[illegible]	[illegible]▲	[illegible]	[illegible]	[illegible]

正午	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	夜半	平均
七六五、三四	七六四、九〇	七六四、七五	七六四、六五	七六四、八二	七六四、九六	七六五、二二	七六五、五三	七六五、七二	七六五、八二	七六五、九二	七六五、八七	七六五、七八	七六五、五九
一七、一〇	一七、五四	一七、六六	一七、四六	一六、七四	一五、五六	一四、五五	一三、七八	一三、〇九	一三、五四	一三、〇九	一一、六三	一一、二七	一三、二九
九、〇〇	八、九〇	八、九七	九、〇七	九、〇三	九、三三	九、三三	九、一四	九、〇六	八、八〇	八、七二	八、六〇	八、五五	八、八〇
六〇、〇	五八、四	五八、六	五九、八	六三、四	六八、八	七三、六	七五、九	七九、〇	七九、三	八〇、八	八三、一	八三、四	七五、七
五、九〇	六、四〇	六、三九	六、〇〇	五、三〇	四、一五	三、三二	三、九三	二、四五	二、三三	二、一〇	一、九六	一、七五	三、一五
四、五八	四、九八	五、一七	五、二三	五、〇六	四、八五	三、九九	三、六七	三、七三	三、八二	三、五六	三、六八	三、七七	四、三三
五、七	五、六	六、	六、一	五、七	四、九	四、五	四、〇	四、三	四、〇	四、二	四、一	四、六	四、七
二〇、七	一九、七	一九、一五	一七、五〇	一四、一〇	六、九	—	—	—	—	—	—	—	一六、一〇
五、七	〇、七	〇、三	〇、七	二、一	〇、五	〇、一	〇、〇	〇、〇	一、六	〇、八	〇、四	〇、二	三九、一
一九、九	一九、一	一七、八三	一五、八四	一四、〇〇	一三、六九	一三、〇五	一二、五七	一二、六	一〇、八四	一〇、五七	一〇、三四	一〇、一八	一三、五九
一四、七	一四、六	一四、九	一五、三	一五、四	一五、五	一五、四	一五、八	一五、三	一四、九	一四、七七	一四、八	一四、四一	一四、四八
一五、三	一五、一八	一五、〇	一五、三	一五、三九	一五、四七	一五、五三	一五、五六	一五、五八	一五、五八	一五、五六	一五、五	一五、四八	一五、二八
一六、三	一六、一	一六、	一六、九	一六、九	一六、一三	一六、一六	一六、一九	一六、二	一六、二	一六、二	一六、二	一六、二	一六、二
一七、五六	一七、五六	一七、五六	一七、五五	一七、五五	一七、五四	一七、五三	一七、五三	一七、五	一七、五	一七、五	一七、五	一七、五	一七、五八

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

十一月	氣壓平均	空氣ノ溫度 平均 本年	平均 平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風 速度平均	最大速度	全上方向	最多方向	雲量平均	日照時數 本年	平年比較	降水量	蒸發量
一日	七七一、〇	一六、四▲	三、	二三、六	一一、六	一一、〇	一〇、七	七九	三、四	三、三	三、七	南西	北北東	三、	七、六▲	四、七	—	三、
二日	七七一、九	一六、〇▲	三、五	二二、九	一〇、六	一二、三	一〇、七	八〇	三、一	二、八	四、八	西南西	北東	〇、三	九、六▲	一、三	—	三、九
三日	七六九、九	一七、一▲	四、三	二五、三	一一、四	一三、九	一〇、七	七六	四、三	三、四	五、四	北東	北東	〇、八	七、六	全七	—	三、六
四日	七六三、九	一〇、一▲	六、〇	二六、六	一五、〇	一一、六	一三、五	七三	五、三	三、四	七、六	南南西	北東	八、一	四、八▲	〇、	—	三、
五日	七五八、九	一八、三▲	二、五	二二、七	一四、八	七、九	一三、一	八〇	三、〇	七、二	一四、八	西	西	九、七	—	六、六	四、一	一、四
六日	七六二、八	一六、三▲	一、〇	二二、四	一一、八	九、六	九、九	七三	四、一	三、四	四、五	南西	北	三、一	九、八▲	五、四	—	一、九

は午後八時乃至九時同三十糎にありては午前一時に生し最低は地皮にありては午前六時地中十糎にありては午前九時同二十糎にありては午前十一時同三十糎にありては午後三時乃至四時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地温　平均は五度二〇にして平年に比すれは一度一六高く月中の最低は二十三日午前五時の零下零度八なり而して零下に降りたる初日は二十三日にして平年より四日遲く其日數は五日にして平年より二日多し

天氣日數　快晴曇天は各六日にして平年に等しく霜は五日にして平年より一日多し

尚詳細は左に掲ぐる氣象觀測成績表を參照すへし

第一表　大阪毎時氣象觀測成績

十一月	氣壓平均	氣温平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中温度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前 一時	七六五、八四	一一、二二	八、五五	八三、三	一、七九	三、七〇	四、四	—	〇、一	一〇、二二	一四、五	一五、六四	一六、四一	一七、六八
二時	七六五、六七	一一、〇〇	八、五二	八四、六	一、五九	三、七四	四、四	—	二、九	一〇、〇九	一四、三八	一五、五九	一六、三九	一七、六八
三時	七六五、五四	一〇、七一	八、四五	八五、六	一、四七	三、九七	四、三	—	三、四	九、九三	一四、二五	一五、五四	一六、三九	一七、六六
四時	七六五、四五	一〇、五四	八、四二	八六、二	一、四〇	三、九四	三、九	—	一、七	九、七八	一四、一三	一五、四七	一六、三八	一七、六五
五時	七六五、五五	一〇、三〇	八、四四	八七、七	一、二三	三、八〇	二、九	—	三、〇	九、五五	一三、九九	一五、四〇	一六、三五	一七、六五
六時	七六五、七二	一〇、一五	八、三九	八七、八	一、二三	三、五五	四、二	—	二、五	九、四三	一三、八七	一五、三三	一六、三三	一七、六三
七時	七六六、〇六	一〇、二七	八、三〇	八六、三	一、三九	三、五二	四、六	—	〇、二	九、五八	一三、七二	一五、二三	一六、二五	一七、六二
八時	七六六、二九	一一、六二	八、六一	八二、一	一、九九	三、九〇	四、九	六、〇	〇、〇	一〇、七一	一三、六四	一五、一九	一六、二一	一七、六一
九時	七六六、四八	一三、三三	八、七九	七五、一	三、〇四	四、三	五、	一七、一	一、〇	一三、八	一三、五九	一五、一四	一六、一一	一七、六
十時	七六六、三三	一五、〇三	八、九八	六九、〇	四、二二	四、〇〇	五、五	一九、五五	一、三	一六、三	一三、七	一五、一三	一六、一八	一七、九九
十一時	七六五、九四	一六、三三	九、〇三	六四、〇	五、二三	四、五六	五、二	二、六	一、一	一八、八六	一三、九七	一五、一	一六、一五	一七、九九

すれは三時五九多く一日中日照時間も長かりしは六日の九時八〇なり

降水及蒸發量

降水日數は五日にして平年に比すれは四日少く其水量は三十九粍一にして平年に比すれは二十二粍二少く又一日中の最多量は五日の二十四粍一、一時間の最多量は同日午前一時の九粍二なり、又蒸發總量は八十一粍一にして平年に比すれは六粍一多く一日中の最多量は十三日の四粍六なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は十二度五九にして平年に比すれは零度六八高く月中の最高は四日午後一時の二十七度五、最低は二十九日午前五時乃至七時の一度九なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は正午にありて十九度〇九、最低は午前六時にありて九度四三を示し其較差は九度六六なり

地中十糎の溫度　平均は十四度四八にして平年に比すれは一度三八高く月中の最高は四日午後六時の十九度八、最低は廿九日午前九時乃至十時及卅日午前八時乃至九時の八度一なり又月平均に就て一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十五度三五、最低は午前九時にありて十三度五九を示し其較差は一度七六なり

地中二十糎の溫度　平均は十五度三八にして平年に比すれは一度五五高く月中の最高は四日午後十時の十八度七、最低は三十日午前十一時の十度一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至九時にありて十五度五八最低は午前十一時にありて十五度一一を示し其較差は零度四七なり

地中三十糎の溫度　平均は十六度二二にして平年に比すれは一度六六高く月中の最高は五日午前六時の十九度〇最低は三十日正午乃至午後五時の十一度七なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十六度四一最低は午後二時乃至四時にありて十六度〇九を示し其較差は零度三二なり

地中六十糎の溫度　平均は十七度五八にして平年に比すれは一度三九高く月中の最高は一日午前一時の十九度三、最低は卅日午後九時乃至夜半の十四度二を示せり但し此深さにありては殆んと一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては正午地中十糎にありては午後五時同廿糎にありて

は二十九日午前五時の零度七なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十七度六六、最低は午前六時にありて十度一五を示し其較差は七度五一なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は八粍八〇にして平年に比すれは零粍九七高く月中の最高は十五日午前十時乃至十一時の十六粍三、最低は二十八日午前一時の四粍三なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時乃至六時にありて九粍三三、最低は午前七時にありて八粍二〇を示し其較差は一粍〇三なり

濕度の平均は七十五、七にして平年に比すれは一、七多く月中の最小は八日午後二時及十一日午後三時の四十三なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午前六時にありて八十七、八、最小は午後一時にありて五十八、四を示し其較差は二十九、四なり

飽差の平均は毎立方米中三瓦一五にして平年に比すれは零瓦一二多く月中の最多は三日午後二時の十三瓦一、最少は二十七日午前七時及卅日午前五時の零瓦一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後一時にありて六瓦四〇最少は午前五時乃至六時にありて一瓦二二を示し其較差は五瓦一八なり

風

平均速度は毎秒四米一三にして平年に比すれは零米一四弱く月中の最大速度は二十八日午前三時にありて二十米三(一間平方面を垂直に壓する力は四十三貫六百目)の西風なり又強風以上の吹きたる日數は七日にして平年に比すれは二日少く其吹續時間は五十一時にして平年に比すれは一時多し又月平均に就きて一日中風速度の變化を看るに最大は午後三時にありて五米二三、最小は午前七時にありて三米五二を示し其較差は一米七一なり、風向は北東風最も多く南風は最も少し之れを平年に比すれは北、北東及南西風は多くして其他の風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、七にして平年に略ほ等しく日照時數は百六十一時三　にして平年に比

大阪測候所月報

大正三年十一月 大阪氣象概況

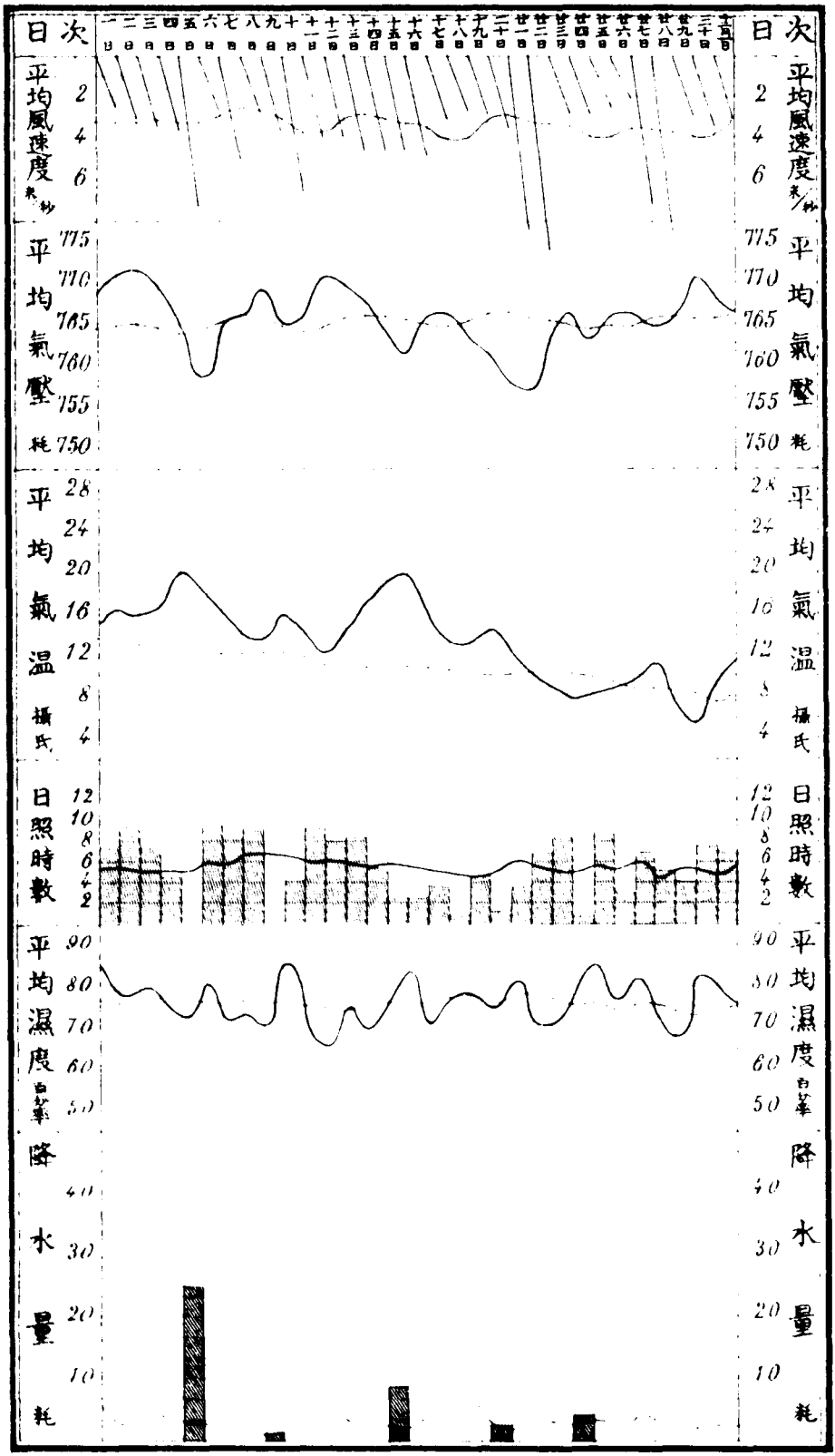
氣候漸く寒冷なるに從ひ大陸の冷却すると同時に太氣濃密となり氣壓增高し本月は亞細亞大陸に高氣壓を生し低壓部は北海道の東方にあるか故に主として北乃至西の風吹き寒氣增進し月末には殆んと全管内に亘り結霜を觀るに至り攝津北部及河内東部の山間部地方には往々雪霰を降らし結氷するとあり、然り而して本年十一月の氣候を調査するに上中の二旬は頗る溫暖なりしも下旬に入り稍々冷氣となり二十三日には當所構内に初霜あり平年より四日遲し又二十七日には南河内の富田林に初霰あり平年より三日早く翌二十八日には豐能郡の天王及妙見山に初雪あり平年より天王は一日遲きも妙見山は二日早し其翌二十九日には南河内郡の富田林に初氷あり平年より一日早し而して本月は平年に比すれは日照時數多くして降水日數及其水量は少し

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

氣壓 平均は七百六十五粍五九にして平年に比すれは零粍二四低く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は三回にして其他は微小なり而して月中の最高は二日午前八時の七百七十三粍一、最低は二十日午後九時の七百五十四粍四なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十六粍四八、第一の最低は午後三時にありて七百六十四粍六五又第二の最高は午後十時にありて七百六十五粍九二、第二の最低は午前四時にありて七百六十五粍四五を示し其主なる最高低の較差は一粍八三なり

氣溫 平均は十三度三九にして平年に比すれは一度三五高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すか如く上中の二旬は平年より著しく高く下旬は高低相半せり而して月中の最高は四日午後三時の二十六度六、最低



本圖八日平均又八合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣溫、濕度、八本年 —— 平年 —— 日照時數八本年 平年 —— 降水量八本年 平年 ——

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量幷に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管內氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝德
尾崎	仝 國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	仝 國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森內清次
長承寺	仝 國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝 國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝 國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝 國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝 國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝 國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田靈照
池田	仝 國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	仝 國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝 國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝 國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝 國北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	仝 國中河內郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝 國南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	仝 國南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度[illegible]分	松本幸太郎
長野	仝 國南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度三七分	松本達[illegible]

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

November 1914

大阪測候所月報

大正參年十一月

第拾五年第十一號

目次

○本年十一月大阪氣象概況　附圖
○本年十一月大阪府管內氣象概況
○本年十一月大阪地震觀測概況
○大正三年春作期間の氣象概況
○十一月廿七廿八日の暴風概況
○十二月も亦た溫暖に經過せり
○本府管內の初霜
○大阪の初雪
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否
○新刊書籍書目

大正三年十二月十七日印刷
仝　年十二月二十日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緣威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	香妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	西區中目町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

一天氣圖	大正三年十月	一	中央氣象臺
一大正三年八、九月臺灣氣象概況		二	臺北測候所
一境測候所氣象月報	第三十二年八、九號	二	境測候所
一石卷測候所要報	第三年八、九月	二	石卷測候所
一氣象要報	大正三年四月	一	神戸測候所
一京都府氣象月報	大正元年十月	一	京都府測候所
一朝鮮氣象月報	大正三年八、九月	二	朝鮮總督府觀測所
一新潟縣氣象報	第十年八號	一	新潟測候所
一奉天氣象表	大正三年九月	一	奉天觀測支所
一別子山氣象表	同上	一	住友別子鑛業所
一四阪島氣象表	同上	一	同所
一新居濱氣象表	同上	一	同所
一愛媛縣氣象月報	同上	一	松山測候所
一福島縣氣象月報	同上	一	福島測候所
一大連氣象表	同上	一	關東都督府觀測所
一旅順氣象表	同上	一	同所
一滿洲氣象概況	同年六月	一	同所
一對馬氣象月報	同年七月	一	嚴原測候所
一北海道氣象月報	同上	一	札幌測候所
一氣象月報	同上	一	高知測候所
一大正三年七月山梨縣氣象月報		一	甲府測候所
一大正二年岡山縣氣象報告		一	岡山測候所
一大正二年茨木縣氣象年報		一	水戸測候所
一氣象月報	大正三年七、八月	二	同所
一氣象略報	同上	二	多度津測候所

一石川縣氣象月報	大正三年自一月至七月	七	金澤測候所
一氣象報	第三[illegible]五號	一	愛知縣測候所
一群馬縣管內氣候月報	自大正二年十月至大正三年三月	六	前橋測候所
一氣象略報	第二二五、二二六號	二	多度津測候所
一埼玉縣氣象月報	大正三年六、七月	二	熊谷測候所
一氣象月報	同年一、二月	二	宮崎測候所
一奈良縣氣象年報	大正二年	一	八木測候所
一大正二年滿洲氣象報告		一	關東都督府觀測所
一鹿兒島縣氣象月報	大正三年自一月至六月	六	鹿兒島測候所
一天氣圖	千九百十四年自九月廿二日至十月十九日		ジカウエー觀測所
一地震報告	同年自五月至八月	四	同所
一低氣壓進路圖	同年自六月至八月	三	同所
一天氣圖	同年自七月廿四日至八月十四日		アルセンチン觀測所
一氣象年報	千九百十三年	一	キユバ觀測所
一地震報告	自千九百十三年十月至千九百十四年三月	六	パーケレー觀測所
一地震報告	千九百十四年七、八月	二	ストニーハースト觀測所
一貿易通報	九月號	一	大阪商業會議所
一養鶏指針	第百三十一號	一	重枝養禽園
一學鐙	別刊一、第十年十號	二	丸善株式會社大阪支店
一沖商會月報	第百三十一號	一	沖商會大阪出張所
一通俗衛生	第百九十五號	一	大阪府衛生會
一商船學校々友會雜誌	第百九十八號	一	商船學校々友會
一遞信公報	十月	一	遞信省

日				
一日	四、一五	八、三五	二、八〇	七、八[illegible]
二日	五、三〇	三、九五	五、七〇	四、二五
三日	三、一〇	二、八五	三、六〇	三、二七
四日	二、五五	二、三五	[illegible]	[illegible]
五日	二、一五	一、九五	二、六三	二、三〇
六日	一、八五	一、六五	二、二四	二、〇〇
七日	一、六五	一、五[illegible]	一、九七	一、九〇
八日	一、六〇	一、五五	一、八三	一、七三
九日	一、七五	一、五五	一、七三	一、七〇
十日	一、六五	一、四五	一、七六	一、六五
十一日	一、五〇	一、三[illegible]	一、五八	一、四三
十二日	一、四五	一、一五	一、三六	一、三三
十三日	一、三〇	一、一五	一、三三	一、〇九
十四日	一、三〇	一、〇五	一、二三	一、〇〇
十五日	一、二〇	〇、九五	一、〇八	〇、八三
十六日	一、二〇	〇、九五	〇、九五	〇、八三
十七日	一、二〇	〇、九〇	〇、九五	〇、七九
十八日	一、二〇	〇、九五	〇、九六	〇、七八
十九日	一、一五	一、一〇	〇、九五	〇、九四
二十日	一、二五	一、二〇	一、一四	一、〇四
二十一日	一、二五	〇、九五	一、一六	〇、八三
二十二日	一、一[illegible]	〇、九五	一、〇〇	〇、七七
二十三日	〇、九五	〇、九五	〇、八三	〇、七三
二十四日	〇、九五	〇、九五	〇、七六	〇、七三
二十五日	〇、八五	〇、九[illegible]	〇、七三	〇、七六
二十六日	〇、九〇	一、〇五	〇、七四	〇、七〇
二十七日	一、一一	一、[illegible]	〇、七九	〇、七七
二十八日	一、〇〇	一、〇〇	〇、八〇	〇、七六
二十九日	一、三五	一、〇五	〇、八五	〇、七七
三十日	一、二〇	一、六五	〇、九五	一、八〇
三十一日	三、一五	三、[illegible]五	三、九[illegible]	三、一七

平均水位 一尺七寸一分
最高水位 廣瀨 九尺七寸（十一日午後四時）

平均水位 一尺六寸七分
最高水位 大月 七尺八寸（一日午後六時）

地方天氣豫報暴風警報適否調查

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三一	二六	五	〇	九二
	天氣	三一	二七	四	〇	九四
	溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報		一	一	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一 富山縣氣象報 大正三年八月 一 伏木測候所
一 千葉縣氣象報 同上 一 銚子測候所
一 福島縣氣象月報 同上 一 福島測候所
一 岐阜縣氣象月報 同上 一 岐阜測候所
一 山形縣氣象月報 同上 一 山形測候所
一 滋賀縣氣象月報 同上 一 彥根測候所
一 福岡縣氣象月報 同上 一 福岡測候所
一 秋田縣氣象月報 同上 一 秋田測候所
一 氣象月報 同上 一 濱田測候所
一 對馬氣象月報 同上 一 嚴原測候所
一 靜岡縣氣象月報 同上 一 濱松測候所
一 靜岡縣氣象略報 同上 一 沼津測候所
一 山梨縣氣象月報 同上 一 甲府測候所
一 氣象要覽 同上 一 中央氣象臺
一 中央氣象臺月報 同年二月 一 同臺
一 雨量十年報 自明治卌四年至同四十三年 一 同臺

十一月二日	一六、〇	▲二、六	三、九	一〇、六
仝　三日	一七、一	▲三、九	一五、三	二、四
仝　四日	二〇、一	▲六、五	一六、六	一五、〇
仝　五日	一八、三	▲五、四	一三、七	一四、八
仝　六日	一六、三	▲六、八	一三、四	一一、八
仝　七日	一四、四	▲三、二	一〇、二	九、四
仝　八日	一三、六	▲一、三	一八、九	九、三
仝　九日	一五、七	▲一、六	一八、七	一二、三
仝　十日	一四、五	▲三、三	一八、五	一〇、三
十一月十二日	一四、六	▲三、三	二〇、八	八、四
仝　十三日	一七、〇	▲五、七	一二、〇	一三、〇
仝　十四日	一八、八	▲七、四	一四、九	一三、九
仝　十五日	一九、九	▲八、八	一三、二	一七、七
仝　十六日	一六、四	▲五、三	一九、二	一三、一
仝　十七日	一三、八	▲三、六	一七、九	一〇、〇
仝　十八日	一三、三	▲二、七	一六、六	九、七
仝　十九日	一四、五	▲四、一	一九、六	一一、五
仝　二十日	一三、六	▲一、四	一六、三	七、八
十一月二十二日	八、九	一、七	一三、四	四、九
仝　二十三日	七、九	二、六	四、四	一、五
仝　二十四日	八、五	一、七	一三、三	五、八
仝　二十五日	八、九	一、五	一五、九	三、七
仝　二十六日	九、三	▲一、三	七、一	四、五
仝　二十七日	一〇、九	▲一、一	六、八	五、一
仝　二十八日	七、三	一、五	一、三	三、三
仝　二十九日	五、一	二、四	九、九	七
仝　三十日	九、二	▲一、二	五、六	三、三

●大阪府管内の初霰及初雪

本府管内に於ける例年初雪季節は前號所報の如くなるか本冬季に於ては十一月二十七日南河内郡富田林に初霰あり平年より三日早く又翌二十八日豊能郡妙見山及天王に初雪あり妙見山は平年及昨年より二日早く天王は平年より一日遲かりしも昨年より二日早し更に各地の測候所にて觀測したる初雪月日を列記すれは左の如し

地名	本年	平年より	昨年より
宮古	十一月廿二日	晩一日	早九日
福島	仝	早一日	仝七日
山形	仝	晩六日	仝六日
別子	仝	仝九日	晩八日
帶廣	十一月廿二日	晩二十一日	晩二十三日
元山	十一月廿七日	仝十一日	早二日
名古屋	十一月廿八日	早十六日	仝十八日
金山	仝	同 [illegible]	仝二日
石巻	十一月廿八日	晩六日	同 [illegible]
金澤	仝	早三日	早十六日
伏木	仝	仝上	仝六日
新潟	仝	晩一日	同 [illegible]

●淀川の水位

十月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十月				
十月				

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺三寸一分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　二尺七寸五分

仝	二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	仝	仝	晴	仝	仝	仝
仝	二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	仝	仝	仝	仝	仝	仝
仝	三時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	晴	仝	曇	仝	仝	一
仝	三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	快晴	仝	仝	仝	仝	
仝	四時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	仝	仝	仝	仝	仝	一
仝	四時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	仝	仝	仝	仝	仝	一
仝	五時	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	仝	仝	仝	仝	仝	

以上表記したる所を通看するに高層氣流の方向と天氣の變化と多少相關係する所を發見したりと雖も僅に數日間の觀測を以て爰に喋々するは早計なれは尙觀測を重ねて他日其結果を報せんとす

●本年十一月上中二旬の高溫に就て

技手　藤川秀吉

十一月上中の二旬は恰も小春の如く著るしく温暖にして氣溫平均は日々平年より二度乃至九度も高く就中四日の最高は二十六度六を示し之れを平年に比すれは七度七昨年に比すれは九度二の過高を呈し人々奇異の思をなせりと云ふ斯く高溫を呈せしは當所創立以來既往三十一年間に於て十一月中には見ざる所の現象なりとす

今其概要を記せんに元來氣候の暖冷は氣壓の配布に關するものにして例年十一月は亞細亞大陸に高氣壓か生し低壓部は北海道の東方にありて北乃至西の風卓越せるか本年十一月上中の二旬は低氣壓の日本海を通過すること頻繁なりしと小笠原島附近に高氣壓現はれたるとに依り南方の風吹き所謂黑潮なる暖流上より太氣を吹送せるを以て著るしく溫暖となりたるものなるへし然れとも下旬に至り氣壓の配布漸く順に復し爲めに頓に氣候寒冷となり二十二日には大阪市内に初霜を看るに至れり其詳細は次表に示すか如し（表中▲印は平年より高きを示す）

種目	月日	平均	比平年にし	最高	最低
上旬氣溫	十一月一日	[illegible]	▲[illegible]	[illegible]	[illegible]
中旬氣溫	十一月十一日	[illegible]	▲[illegible]	[illegible]	[illegible]
下旬氣溫	十一月二十一日	[illegible]	▲[illegible]	[illegible]	[illegible]

時	濕度 十三日	濕度 十四日	濕度 十五日	濕度 十六日	濕度 十七日	濕度 十八日	天氣 十三日	天氣 十四日	天氣 十五日	天氣 十六日	天氣 十七日	天氣 十八日
午前七時	六五	五五	四九	四九	九七	八三	晴	快晴	美	曇	曇	晴
午前七時半	六七	五六	四八	四八	九五	八二	全	全	全	全	晴	全
午前八時	七二	六〇	五二	五二	一〇二	九五	全	全	全	全	全	全
午前八時半	七七	六五	五七	五七	一〇七	一〇〇	快晴	全	全	全	全	全
午前九時	七七	六五	五七	五七	一〇七	一〇〇	全	全	全	全	全	全
午前九時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午前十時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午前十時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午前十一時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午前十一時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後零時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後一時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後一時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全

時	濕度 十三日	濕度 十四日	濕度 十五日	濕度 十六日	濕度 十七日	濕度 十八日	天氣 十三日	天氣 十四日	天氣 十五日	天氣 十六日	天氣 十七日	天氣 十八日
午後二時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後二時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後三時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後三時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後四時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後四時半	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全
午後五時	七五	六三	五五	五五	一〇五	九八	全	全	全	全	全	全

時												
十時	七六七、四	七六四、八	七六〇、二	七六五、八	七六六、三	七六三、一	一九、九	二一、七	二一、四	一七、二	一五、八	一四、二
仝 十時半	—	七六四、三	七六〇、一	七六五、三	七六六、一	七六三、〇	—	二二、七	二二、六	一八、三	一六、一	一四、九
仝 十一時	七六七、四	七六三、九	七六〇、一	七六五、二	七六六、一	七六三、八	二〇、三	二二、九	二二、六	一九、九	一六、三	一四、七
仝 十一時半	—	七六三、〇	七六〇、〇	七六五、〇	七六五、二	七六三、四	—	二四、一	二二、二	一九、四	一六、四	一四、八
正午	七六七、一	七六二、九	七五九、九	七六四、九	七六五、〇	七六三、三	二一、五	二四、三	二三、	一八、七	一六、七	一五、三
午後零時半	—	七六三、三	七五九、八	七六四、八	七六五、一	七六三、〇	—	二三、三	二二、五	一八、二	一六、九	一五、七
仝 一時	七六六、九	七六二、八	七五九、八	七六四、三	七六五、〇	七六二、六	二二、三	二三、四	二二、五	一八、三	一六、九	一六、〇
仝 一時半	七六七、〇	七六二、七	七五九、四	七六四、三	七六四、九	七六二、三	二二、六	二三、四	二二、三	一八、一	一六、八	一六、〇
仝 二時	七六六、一	七六二、五	七五九、四	七六四、三	七六五、〇	七六二、〇	二二、〇	二二、九	二三、	一八、一	一六、五	一六、三
仝 二時半	七六六、〇	七六二、三	七五九、五	七六四、〇	七六五、〇	七六二、一	二二、四	二二、四	二一、三	一八、一	一六、二	一六、四
仝 三時	七六五、八	七六二、三	七五九、六	七六四、二	七六五、〇		二一、九	二二、一	二二、五	一七、六	一六、〇	
仝 三時半	七六五、九	七六二、三	七五九、八	七六四、一	七六五、	—	二一、二	二一、八	二一、	一七、三	一五、八	
仝 四時	七六五、九	七六二、三	七五九、九	七六四、三	七六五、	—	二〇、二	二一、六	二一、八	一六、八	一五、五	—
仝 四時半	七六六、三	七六二、三	七六〇、〇	七六四、四	七六五、一	—	一九、〇	二〇、三	二一、五	一六、一	一五、一	—
仝 五時	七六六、三	七六二、四	七六〇、一	七六五、〇	七六五、二	—	一八、二	一九、八	二一、〇	一五、七	一五、	—

風向及風速度

時 \ 日	十三日		十四日		十五日		十六日		十七日		十八日	
午前七時	北	五、二	北北東	四、五	北	二、五	—	[illegible]	—	〇、[illegible]	—	〇、三
仝 七時半	北	五、〇	北東	四、五	南西	二、〇	—	[illegible]	—	[illegible]	北東	一、一
仝 八時	北	四、八	北東	五、六	北	一、〇	東南東	〇、六	—	[illegible]	東北東	一、二
仝 八時半	北	七、五	北	五、三	北	〇、五	—	[illegible]		[illegible]	東	一、五
仝 九時	北	六、〇	北北東	五、七	—	二、〇	東南東	二、[illegible]	—	[illegible]	東	一、[illegible]
仝 九時半	北北東	八、〇	北東	五、三	—	〇、〇	南西	[illegible]	—	[illegible]	東	一、三
仝 十時	北東	六、五	北東	四、〇	—	〇、〇	南西	五、〇	東南東	一、六	東	一、八
仝 十時半	—	—	北東	三、三	—	〇、〇	西南西	三、二	東南東	一、〇	東	一、九

三四九

十一月十三日	本邦中部	七七〇	千島列島	七六四	東
	日本海全部	七七〇	臺灣の遙か南方	七六〇	不明
仝十四日	支那北部	七六六	黄海	七五六	東
	本州東海岸沖	七七〇	支那東海南部	七五八	東北東
仝十五日	支那北部	七六八	日本海北部	七五〇	東北東
	オコック海	七六四	呂宋	七五八	不明
仝十六日	支那北部	七六八	北海道遙か東方	七五二	東北東
		—	沖繩島の遙か南方	七五二	東北東
			楊子江上流	七六六	中
仝十七日	黄海	七六八	沖繩島の西方	七五四	北東
		—	オコック海	七五六	東北東
			臺灣の遙か南方	七五六	不明
仝十八日	北海道	七六八	小笠原の北方	七五六	北東
	日本海北部	七七〇	沖繩島の南東方	七五六	北東
			支那北部	七六二	東北東

又當測候所にては大阪城東練兵場航空部内に臨時出張所を設け十一月十三日より仝十八日迄臨時氣象觀測を實施せり其結果は左の如し

時＼日	氣壓 十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	氣溫 十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日
午前七時	七六七、七	七六五、六	七九九、三	七六五、三	七六六、二	七六三、九	一三、九	一四、九	一八、	一三、八	九、	九、九
仝七時半	七六七、八	七六五、六	七五九、一	七六五、六	七六六、二	七六三、[illegible]	一三、四	一六、	一七、九	一三、八	九、三	一一、八
仝八時	七六七、八	七六五、三	七九九、五	七六六、	七六六、二	七六三、一	一五、四	一六、五	一八、三	一四、四	一一、一	一一、六
仝八時半	七六七、七	七六五、四	七六、	七六六、	七六六、三	七六三、一	一六、三	一六、八	一八、八	一五、三	一三、九	一一、六
仝九時	七六七、七	七六五、三	七六、一	七六五、九	七六六、四	七六三、一	一七、九	一八、四	一九、四	一五、六	一四、九	一三、七
仝九時半	七六七、八	七四、八	七六、	七五、八	七六六、三	七六三、	一八、四	一九、四	[illegible]	一八、六	一四、二	一三、九

方向	北	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	北西	西	全	全	全	全	全
速度	一、七	二、〇	二、二	一、七	一、九	二、四	三、〇	五、二	六、一	八、〇	五、七	四、七	三、五	二、一	五、一	六、三	六、九	七、五	八、三	七、九	八、[illegible]

十一月十七日午後三時四十五分より仝四時〇二分迄

方向	北	北東	北	全	全	全	全	北東	全	全	全	全	東	北東	全	全	全
速度	五、〇	五、三	八、八	八、八	一三、六	一五、四	一三、三	五、九	一〇、三	九、四	七、七	七、五	一〇、〇	八、四	一一、九	九、四	九、四

十一月十八日午前七時十二分より仝七時二十三分迄

方向	北東	全	全	北	全	全	全	全	全	全	全
速度	四、九	六、七	七、四	八、七	一〇、五	一四、〇	一三、〇	九、六	九、八	九、二	七、一

十一月十八日午前九時十分より仝九時二十三分迄

方向	東	全	全	全	北東	全	北	全	全	全	北東	全	東
速度	一、四	四、三	四、二	四、〇	四、八	五、六	七、五	六、八	六、二	六、五	五、二	四、三	二、六

又十一月十二日より仝十八日迄の高低氣壓の位置は左の如し

高氣壓低氣壓

月日	位置	示度	位置	示度	進行方向
十一月十二日	本邦中部	七七四	樺太中部	七六〇	不明
	—	—	臺灣の遙か南方	七六〇	不明

十一月十六日午後一時五十分より仝二時十分迄

高（米）	方向	速度
百	南西	五、五
二	仝	六、〇
三	仝	三、四
四	仝	四、〇
五	仝	三、〇
六	西	二、四
七	仝	〇、七
八	仝	一、六
九	北	二、〇
千	仝	二、五
千	百	二、七
千	二	二、四
千	百	一、六
千	三	一、〇
千	百	〇、五
千	四	〇、二
千	百	〇、四
千	五	〇、六
千	百	〇、八
千	六	一、〇
千	百	一、二
千	七	一、四
千	百	一、六
千	八	一、八
千	百	二、〇
千	九	二、二
千	百	二、四
二	千	二、六
二	百	二、八
二	千二	三、〇
二	百二	三、二

十一月十七日午前七時〇五分より仝七時十二分迄

方向	速度
南東	一、三
北東	二、三
仝	四、三
北	三、五
仝	五、三
仝	七、〇
仝	七、三

十一月十七日午前八時二十二分より仝八時四十分迄

方向	速度
北東	三、三
仝	三、〇
北	三、八
仝	三、六
仝	五、六
仝	六、四
仝	六、〇
仝	八、〇
仝	五、三
仝	五、六
仝	五、六
仝	五、四
仝	六、〇
仝	五、四
仝	四、四
仝	三、四
仝	三、八
仝	四、〇
仝	四、五

十一月十七日午前九時五十分より仝十時十分迄

方向	速度
東	三、三
北東	二、〇
北	二、二
仝	二、三
仝	二、〇
仝	四、四
仝	五、六
仝	五、八
仝	五、三
仝	五、七
仝	五、一
仝	五、四
仝	五、〇
仝	五、三
仝	五、一
仝	五、一
仝	三、七
仝	四、七
仝	五、〇
北西	九、〇

十一月十七日午後一時五十九分より仝二時二十分迄

十一月十六日午前六時四十五分より仝六時五十七分迄

方向	北	仝	西	仝	仝	仝	仝	南西	仝	仝	北西	仝
速度	一八	二七	二一	一一	四四	三八	三[illegible]	二四	三三	三五	六六	六八

十一月十六日午前七時五十四分より仝八時十六分迄

方向	南東	仝	東	南西	西	南西	仝	仝	仝	仝	南	東	北東	仝	北	西	仝	仝	仝	仝	仝	仝
速度	二七	二一	一七	四二	四一	五三	六一	九三	三五	一五	〇六	〇八	二七	二五	三三	五八	六八	六五	六七	六五	九九	七五

十一月十六日午前九時二十分より仝九時四十二分迄

方向	南	西	仝	南西	仝	仝	仝	仝	南	東	仝	仝	仝	仝	北東	西	仝	仝	仝	仝	仝	南西
速度	一三	二八	一八	三四	四一	四六	五八	二	一六	二七	二七	四五	三一	二一	二六	二九	五四	六三	七五	七三	六八	八四

十一月十六日午前十時十六分より仝十時三十八分迄

方向	南	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	東	仝	仝	仝	仝	仝	西	仝	仝	仝	南	仝	西
速度	二三	三六	三二	三八	二六	四九	五五	四五	三	一五	三四	三三	三四	二三	〇四	四八	六三	六七	七三	七二	七八	五八

十一月十六日午前十一時四十六分より仝十一時五十六分迄

方向	南	仝	仝	仝	南西	西	仝	仝	北西	東
速度	二八	四八	四六	三五	二四	一九	一八	二三	一四	〇四

十一月十五日午前六時五十五分より仝七時四分迄

高(米)	百	二百	三百	四百	五百	六百	七百	八百	九百	千	千百	千二百	千三百	千四百	千五百	千六百	千七百	千八百	千九百	二千	二千百	二千二百
方向	北	北西	南西	仝	南	仝	仝	仝	仝													
速度	三、四	一、六	二、六	三、九	五、五	七、一	九、五	一五、八	一五、一													

十一月十五日午前八時三十分より仝八時四十二分迄

方向	北	西	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝
速度	二、一	一、九	四、二	四、七	八、六	九、四	九、五	九、七	九、一	七、七	六、六	六、一

十一月十五日午前九時四十九分より仝十時三分迄

方向	東	西	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝
速度	一、五	三、一	五、〇	七、二	七、一	七、二	七、三	六、七	五、二	五、八	五、七	六、五	七、七	八、七

十一月十五日午後一時四十五分より仝一時五十五分迄

方向	南西	仝	西	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝
速度	六、二	五、四	七、七	七、七	七、四	四、八	六、六	六、五	六、二	六、二

十一月十五日午後三時四十一分より仝三時五十六分迄

方向	南西	西	仝	西	仝	仝	仝	仝	仝	西	南西	仝	仝	仝	仝
速度	五、[illegible]	五、六	五、八	五、八	五、八	五、[illegible]	六、[illegible]	六、[illegible]	四、四	三、九	一、[illegible]	六、七	八、八	一、四	一、[illegible]

方向	北東	全東	全南東	全南	全南	全南西	全西	全	全	全	全	全	全
速度	五〇	四七	三八	二六	四四	四二	三八	四六	三五	三四	三七	三〇	三六	二八	五三	七一	五八	三七	二五	二五	二七	三七

十一月十三日午前九時三十分より全九時四十二分迄

方向	北東	全	全	全	東	全	全	全	全	全	東	全
速度	六八	七二	五九	七七	六二	八八	四七	四九	四九	五二	四七	六五

十一月十三日午前七時三十分より全七時四十二分迄

方向	北東	東	全	東	全	南東	南	南	南東	全	全	全
速度	五三	三八	四六	六三	七三	五八	四二	二五	二七	二二	三〇	三九

十一月十四日午前九時〇分より全九時十六分迄

方向	北	北東	東	全	全	南東	全	南	全	全	全	全	全	全
速度	三八	四五	四六	八〇	六八	三八	三三	四六	五九	六四	六七	六五	六四	七四	二四

十一月十四日午前十時十分より全十時二十二分迄

方向	北東	東	全	全	全	全	全	南東	全	全	全
速度	三〇	三六	二七	四二	六七	七八	三三	四七	五一	三五	六七	七八

驅の水を撒布したるに同じ）に過きされは恰も適度に撒水したるに等しく特に空氣を洗滌し塵埃の飛散を防く等頗る有益なりし

●高層氣流觀測と天氣豫察に就て

技手　芝野　甚

抑も高低氣壓は太氣の高層に其動原を有するを以て天氣豫報及暴風警報を發するには太氣の底部即ち地上に於ける觀測のみに依らす須く高層の氣象をも觀測するの必要起り先進諸國にては盛に此の高層氣象觀測をなしつゝある由なり然れ共之れ元より多額の費用を要するを以て未た我か國にては實施するに至らさるは遺憾とする所なり爰に於て乎測風氣球觀測は其結果充分ならすと雖も費用少なく且つ短時間にして高層の氣流を知ること得るを以て地上の觀測と両々相俟て以て研究するときは天氣豫報及暴風警報を發布する上に於て稗益する所尠からさるべしと信す左に去る十一月十五日より仝十八日迄攝河泉の野に於て特別大演習擧行せらるゝに際し航空部臨時氣象觀測所に於て試驗飛行の際及大演習中高層氣流觀測をなしたる成績を摘錄し參考に供せんとす

十一月十二日午前七時二十分より仝七時四十二分迄

高（米）	方向	速度
百	北東	五〇
二百	仝	四八
三百	東	三五
四百	仝	二八
五百	仝	四〇
六百	仝	三七
七百	南東	三七
八百	南	四三
九百	仝	五〇
千	仝	四二
千百	仝	三〇
千二百	仝	四三
千三百	仝	五八
千四百	南西	五八
千五百	仝	五七
千六百	仝	六二
千七百	仝	五七
千八百	西	六六
千九百	仝	四四
二千	仝	四〇
二千百	仝	四一
二千二百	仝	三五

十一月十二日午前八時〇分より仝八時二十二分迄

を一層確實にし成るべくは日々御發輦數時間前に提出せんとし午後十時の氣象實況報通報方を中央氣象臺に交渉せしか該通報は遂に得る能はさるに至り不得止午後二時の氣象實況報に依り天氣圖を調製し天氣概況並天氣豫報を作り日々午前六時頃に大本營を始とし各所に配付せり

此天氣圖、天氣概況、天氣豫報等謄寫の爲め山田藤川兩技手及萩原君も夜間臨時出頭せられたり

今回の特別大演習に中央氣象臺長中村理學博士並鈴木觀測士は航空部の用務を帶ひて出張高層氣流の觀測を施行せられ當所よりも芝野大橋両技手觀測援助として航空部の臨時觀測所へ出張せり

陛下御駐輦中は氣候頗る温暖にして强風少く降雨も亦た夜間に數時間ありたるのみにして好日和なりし

今十一月十三日より二十日に至る一週間の氣象を擧くれば左の如し

月日	氣温 平均	氣温 平年より	氣温 最高	氣温 最低	濕度 平均	濕度 最强	風 方向	雨量	天氣	記事
十一月十三日	一七、〇	高 五、八	一三、二	一三、〇	七〇、五	六、八	東北東	—	快晴	
仝 十四日	一八、八	高 七、四	二四、九	一三、九	七四、八	六、九	北東	—	晴	
仝 十五日	一九、九	高 八、九	二三、一	一七、七	八四、一	一二、三	西	八、一	雨	午前零時八分より八時五十五分まで雨斷續す 午後九時强風吹けり
仝 十六日	一六、四	高 五、三	一九、一	一二、三	七〇、九	九、三	西	—	曇	
仝 十七日	一三、八	高 二、六	一七、九	一〇、〇	七七、八	四、八	北北西	—	晴	
仝 十八日	一三、二	高 二、七	一六、六	九、七	七八、三	四、六	東	—	晴	
仝 十九日	一四、五	高 四、二	一九、六	一〇、五	七五、三	五、八	北	—	晴	
仝 二十日	一二、六	高 二、五	一六、三	七、八	八三、三	九、〇	北	二、三	雨	午後六時五十分より十時四十分まで雨斷續す

前表を看るに今回の大演習期間は頗る温暖にして風は十五日午後九時に一回强風以上に達したるのみにして其他は概して强風以下なりき雨は十五日午前零時八分より仝八時五十五分まで斷續し其量八粍一（一坪の地面に一斗五升

十月廿一日	午前七時	七五、三	一四、五	北	五、〇		晴
仝	仝 八時	七四、二	一四、九	北	九、三		晴
仝	仝 九時	七四、五	一六、一	北	七、三		曇
仝	仝 十時	七四、六	一五、九	北	九、五		曇
仝	仝 十一時	七四、六	一六、〇	北北西	九、〇		曇
仝	正午	七四、三	一七、〇	北北西	一〇、七		晴

十月廿一日	午後一時	七四、二	一八、二	北西	一〇、〇		快晴
仝	仝 二時	七四、三	一七、九	北	九、四		晴
仝	仝 三時	七四、〇	一七、三	北北西	一二、九		
仝	午後四時	七四、	一五、八	北	一一、		快晴
仝	仝 五時	七四、〇	一三、八	北	一一、三		快晴
仝	仝 六時	七六、〇	一一、三	北北西	七、		快晴

●特別大演習と測候所

技手　岡田平太郎

技手　稲森佐市郎

本年十一月攝河泉の野に於て特別大演習を擧行せらるゝに依り畏くも　聖上陛下には親しく御統裁の爲め大阪に行幸仰出たされ十一月十三日東京御發輦十四日午後二時四十分大阪御着輦大阪城内大本營へ入らせらる是れより先當所にては其筋の命に依り大阪十一月中の氣候を詳細調査し宮内省侍醫寮に提出し又　陛下の大阪行幸に際しては最近十年間毎年十一月の氣象對照圖を作り之れを大本營に提出せり御駐輦中は日々二回天氣概況、天氣豫報、天氣圖等を調製し大本營を始め統監部幕僚、管理部、外賓接待部、本府接待係等へ配付し天氣豫報は廣く皇族御旅館を始とし陪觀の方々にも悉く通報せり、而して十一月二十日午前九時三十分大阪御發輦還幸あらせらる御駐輦中は異常天候と認むるものなく頗る平穏に大演習中を經過したり

元來天氣豫報は平常にありては午前六時の氣象實況報に依り天氣圖を調製し天氣概況並天氣豫報を作りて之れを發布せしか其時刻は午前十一時前後にして之れを配付するは午後に渉るか故に更に最近の氣象實況報を得て天氣豫報

大阪にては二十日午前二時十五分より四時二十五分まで驟雨あり後晴天となり東の軟風なりしか仝六時頃風向南南西に順轉し俄然風力增勢し仝七時より烈風となり正午頃より西南西風となり尙吹き續き午後二時最も强く毎秒十六米七に達し後稍々減力せしも二十一日午後五時頃まで强風吹き續けり其强風以上の時數は二十五時にして內强風は二十時間烈風は五時間なり因に大阪に於ける氣壓の最低は二十日午前七時及午後一時乃至二時に於て七百五十五粍七を示せり

今當所毎時觀測の結果を詳記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
十月二十日	午前一時	七五六、七	八、六	東北東	二、三	—	快晴
仝	仝 二時	七五六、三	八、三	東北東	二、八	—	晴
仝	仝 三時	七五七、八	八、三	東北東	三、三	〇、九	雨
仝	仝 四時	七五六、八	八、二	東	三、三	一、六	雨
仝	仝 五時	七五六、三	八、八	東	三、六	〇、三	曇
仝	仝 六時	七五六、〇	三、五	南南西	四、三	—	曇
仝	仝 七時	七五五、七	三、六	南南西	五、二	—	曇
仝	仝 八時	七五五、八	三、八	南南西	五、三	—	快晴
仝	仝 九時	七五六、三	四、六	南南西	三、二	—	晴
仝	仝 十時	七五六、二	三、三	南南西	二、八	—	晴
仝	仝 十一時	七五五、八	三、八	南南西	二、〇	—	晴
仝	正午	七五六、〇	三、六	南南西	九、〇	—	快晴
仝	午後一時	七五五、七	三、四	南南西	三、八	—	快晴
仝	仝 二時	七五五、七	三、二	南南西	六、七	—	快晴
仝	仝 三時	七五五、八	三、二	南南西	三、二	—	晴

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
十月二十日	仝 四時	七五六、一	三、六	西	三、〇	—	曇
仝	仝 五時	七五六、七	三、八	西	三、五	—	曇
仝	仝 六時	七五七、四	三、三	西南西	三、九	—	曇
仝	仝 七時	七五七、九	三、九	西	三、三	—	快晴
仝	仝 八時	七五八、二	三、八	西南西	三、三	—	晴
仝	仝 九時	七五八、五	二、六	西	六、四	—	晴
仝	仝 十時	七五九、五	二、六	西北西	五、六	—	曇
仝	仝 十一時	七六〇、二	九、三	西	三、六	—	晴
十月廿一日	午前一時	七六〇、七	八、四	西	九、四	—	晴
仝	夜半	七六〇、三	八、八	西	九、四	—	晴
仝	仝 二時	七六〇、四	七、〇	西	二、八	—	快晴
仝	仝 三時	七六〇、五	六、九	西北西	三、〇	—	快晴
仝	仝 四時	七六〇、七	六、四	西	三、九	—	晴
仝	仝 五時	七六〇、二	五、九	西	二、三	—	快晴
仝	仝 六時	七六〇、六	四、五	西	九、五	—	快晴

附記　此地震は安房沖に發したるものにして震域頗る廣く北方は陸前の石卷邊に南方は八丈島に西方は伊勢の津附近に達し長徑七十里短徑七十里を有し地震を感じたる總面積は一萬五千百九十方里に亘り布良にては強震を感じ液体溢出し八丈島、横濱、横須賀等にては弱震を感じ家屋動搖せり又甲府、宇都宮、石卷等にても性質急なる微震を感じたり

一四二　十月二十七日午後十一時十九分五十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時二十二分十八秒に於て九十五「ミクロン」振動期二秒一、南北動は午後十一時二十分四十一秒に於て五十八「ミクロン」振動期二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分九秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は緩にして稍々大なる波動を呈し彦根、津、潮岬、大阪等の普通地震計にも感じたり

一四三　十月二十九日午前五時十三分二十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅（東西動）は午前五時十七分三十七秒に於て百九十五「ミクロン」振動期六秒二を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は二十六分五十九秒なり

附記　此地震は日向洋に發したるものにして震域北東方は丹後の宮津に北方は九州北部に達し長徑六十里短徑五十里を有し弱震部は二千七百九十方里有感微震部は九千三百方里に亘り宮崎にては強震を鹿兒島にては弱震を感じ家屋動搖せり又大分、熊本にても微震を感じたり

●十月二十日より二十一日に至る暴風概況

十月十八日四川省に顯はれたる低氣壓は東北東に進行し十九日黃海に入り朝鮮を斜に横きり日本海を通過し二十日樺太南部を横切り二十一日阿哥斯克海に去れり此低氣壓は最初勢力微弱なりしか東進するに從ひ著るしく發達し二十日午後樺太に接近するに及んで中心示度約七百三十八粍となれり當時支那大陸には高氣壓發達し七百七十四粍以上に昇りしを以て本邦一帶氣壓の傾配急峻となり全國に強き暴風雨を起せり

東西動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	一五時二四分五四秒	—	—
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	一五時三〇分二四秒	—	—
主要動 M	仝 三三分〇五秒	(十) 一一六二	二五、〇
終期 F	一七時二一分三五秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	一五時二四分五四秒	—	—
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	一五時三〇分二四秒	—	—
主要動 M	仝 三四分四一秒	(一) 三九一二	二五、四
終期 F	一七時二〇分三二秒	—	—

附記

此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所の觀測に依りて看るに震央地は臺北より二千粁大阪より二千九百粁、福岡より三千五百粁、函館より四千八百粁、長春より四千九百粁にして發震時は臺北最も早く北方に到るに從ひ遲延せるが故に其震源は南方にありて即ち南洋「ミンダナオ」島の東方洋底に發したるものならん今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

臺北	午後	三時二三分五一秒
ジカウエー	仝	三時二四分二九秒
福岡	仝	三時二四分四八秒
大阪	仝	三時二四分五四秒
水澤	仝	三時二五分五三秒
函館	仝	三時二六分一六秒
長春	仝	三時二八分二五秒

一四一　十月二十六日午前七時十四分三十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時十七分二秒に於て百〇一「ミクロン」振動期二秒二、南北動は午前七時十六分三十秒に於て八十二「ミクロン」振動期一秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分四十六秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十四分十六秒、南北動は二十五分二十八秒なり

附記　此地震は北海道の東方洋底に發したるものにして紗那にては弱震を感じ根室及常陸沿岸に於ては微震を感じ函館及陸羽地方は人身に感覺なきも地震計に感じたり

一三八　十月二十一日午前四時六分十七秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前四時六分三十七秒に於て四十「ミクロン」振動期一秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分三十九秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして潮岬にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一三九　十月二十一日午前九時二十九分二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時三十分十七秒に於て百二十三「ミクロン」振動期三秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分二秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は鹿島洋に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は東京邊に南西方は駿河の沼津附近に達し筑波山にては微震を感じたり

一四〇　十月二十三日午後三時二十四分五十四秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分三十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時三十三分五秒に於て千百六十二「ミクロン」振動期二十五秒〇、南北動は午後三時三十四分四十一秒に於て三千九百十二「ミクロン」振動期二十五秒四を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五十六分四十一秒、南北動は一時五十五分三十八秒なり即ち次表に示すが如し

臺北　午前一一時四三分〇四秒
シカウエー　仝　一一時四六分三七秒
大阪　仝　一一時四八分二四秒

一三五　十月十二日午前一時二十五分四十四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前一時三十四分十一秒に於て十「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は二十三分二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

シカウエー　午前一時二三分三一秒
大阪　仝　一時二五分四四秒
水澤　仝　一時二五分五四秒
圖館　仝　一時二六分〇六秒

一三六　十月十二日午前二時三十分三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十一秒にして主要動となり最大振幅は午前二時三十一分四十一秒に於て三十八「ミクロン」振動期四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分九秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は安房沖に發したるものにして震域廣く北方は陸前の石卷迄に南方は八丈島に西方は信州飯田迄に達し長徑五十里短徑三十五里を有し弱震を感じたる面積は五千四百二十五方里に亘り布良にては強震を感じ横須賀、横濱等にては弱震を感じ東京、氣波及八丈島にては性質急なる微震を感じたり

一三七　十月十七日午前七時十分二十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三分三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時十三分四十九秒に於て三十七「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午前七時十三分四十秒に於て二十五「ミクロン」振動

一三三二　十月七日午前四時二十九分八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前四時四十二分十四秒に於て十二「ミクロン」振動期七秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は三十八分十九秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

臺北	午前四時二八分一三秒	
ジカウエー	仝四時二八分三〇秒	
大阪	仝四時二九分〇八秒	

一三三三　十月八日午前十時四十分一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十時四十一分三十六秒に於て六十「ミクロン」振動期二秒四南北動は午前十時四十一分三十二秒に於て六十二「ミクロン」振動期二秒一を現し後微となり靜止せり全振動時間は六分十五秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は茨城縣下長附近に發したるものにして震域廣く北方は岩代の福島邊より越後の新潟附近に西方は福井邊より伊勢の津附近に達し長徑五十里短徑四十五里を有し弱震部は三千二百五十五方里微震部は六千九百七十五方里に亘り宇都宮、前橋邊より東京、横濱邊に至る一帶は性質急なる弱震を感じ家屋動搖せり

一三三四　十月九日午前十一時四十八分二十四秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分五十秒、第二は七分三十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時十分四十秒に於て百十二「ミクロン」振動期十八秒二、南北動は午後零時十分三十三秒に於て五十五「ミクロン」振動期十六秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時九分十九秒、南北動は一時五分四十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして震域東方は伊勢の津邊に西方は岡山附近に達し長徑二十五里短徑二十三里を有し有感覺微震部は千七百八十二方里に亘り和歌山、德島、多度津等にては性質急なる地震を感じたり

一三〇　十月四日午前二時四十一分三十八秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三十一分四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時三十二分三十七秒に於て二十七「ミクロン」振動期二十四秒〇南北動は午前三時二十九分十四秒に於て二十五「ミクロン」振動期二十八秒〇を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四十八分二十六秒南北動は一時四十三分三十四秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝じ

長崎	午前二時四一分二四秒	
大阪	仝	二時四一分三八秒
福岡	仝	二時四一分四五秒
函館	仝	二時四二分一五秒
ジカウエー（支那上海）	仝	二時四六分二六秒

一三一　十月四日午前七時十九分十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は十分四十四秒第二は八分四十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時五十六分一秒に於て百三十「ミクロン」振動期十六秒八、南北動は午前七時五十六分二十秒に於て百二十二「ミクロン」振動期十八秒七を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時四十六分十五秒南北動は一時四十五分二秒なり

附記　此地震は亞細亞土耳其「スミルナ」附近に發したる大震にして「イスバータ」「バーダ」兩市は最も烈しく死者頗る多かりしと云ふ（讀賣「亞細亞土耳其の地震」の項參照）

茨木に濃霧あり●二十八日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘る●二十九日前日來の雨午前或は午後に歇む●三十日未明より雨降り午後に至り歇む、尾崎に強風吹けり●三十一日概ね晴天田原に濃霧あり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

P は第一初期微動の發震時、S は第二初期微動全上、L は長波即ち主要部全上、M は主要部の最大動、e は終期の最大動、F は振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十五回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものは十月二十七日午後十一時十九分五十四秒近畿附近に發したるもの一回なり無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは八回即ち安房沖、紀伊水道各二回北海道の東方洋底、鹿島洋、茨城縣下妻附近、日向洋各一回なり又遠距離地震は六回にして四日午前七時十九分十八秒亞細亞土耳其に發したるものを最大とし二十三日午後三時二十四分五十四秒南洋「ミンダナオ」島に發したるもの之れに亞き其他の四回は未だ震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一二九　十月一日午後一時五十分四十四秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時五十一分五十二秒に於て五十九「ミクロン」振動期一秒八、南北動は午後一時五十一分十七秒に於て五十四「ミクロン」振動期一秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分二秒なり(簡單微動計六十倍の觀測)

廿二日																															
廿三日																															
廿四日	五四	六〇	三〇	二七	三六	三〇	三五	三〇	三六	四〇	三六	三五	三五	三五	三四	四三	三〇	三〇	三〇	三〇	三四	三〇	三五	四一	三〇	三五	三〇	三五	三〇	三五	三五
廿五日			五六	七〇	四八	三〇	二八	四〇																							
廿六日																															
廿七日																															
廿八日	二八	六六	四七	四二	四〇	四九	四〇	三七	三四	三〇	五八	五三	五〇	四七	八五	二八	九〇	五七	六〇	三六	三五	四一	三六	三五	三六	三五	二八	二八	二八	二八	二八
廿九日	二四八	三五	九七	三〇	三九	九七	三〇	二六	二五	二五	二五	二五	二六	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
三十日	五九	六五	一三	六九	四七	七二	七〇	六九	八〇	五〇	四〇	二〇	二〇	五〇	六六	二八	三五	九五	八四	三二	六五	九五	八四	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五
廿一日																															
全月	六九二	六三二	六六六	七九九	六〇九	七三二	七〇二	六九二	六四四	六五五	八〇六	七六五	七〇六	六六〇	六八八	六〇二	六〇二	六六四	六〇〇	六〇五	七〇二	六〇二	六〇二	六〇四	六〇〇	六〇五	六〇〇	六〇〇	六〇〇	六〇〇	七〇二

管内天氣摘要

●一日前日來の雨午前歇み所々に強風吹けり㊋二日概ね晴天●三日概ね晴天大阪、東郷に雨降れり●四日概ね晴天●五日概ね晴天●六日概ね晴天㊌七日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘り枚方に強風吹けり●八日前日來の雨午前或は午後歇み妙見山に濃霧あり㊎九日概ね晴天尾崎、大阪、枚方に強風吹けり●十日概ね晴天尾崎、大阪に強風吹けり●十一日概ね晴天天王に雨降れり●十二日概ね晴天大阪に強風吹けり㊍十三日概ね晴天●十四日概ね晴天●十五日概ね晴天堺、天王に雨降れり●十六日概ね晴天㊏十七日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●十八日前日來の雨概ね午後歇む●十九日概ね晴天長承寺、堺、茨木に濃霧あり所々に雨降れり●二十日未明雨降り後晴曇相半し南部及大阪、枚方、長野に強風吹けり㊐二十一日晴曇相半し池田、天王に雨降り深日、尾崎、大阪、新庄、枚方に強風吹けり●二十二日概ね晴天㊋二十三日概ね晴天天王に霜あり之れを以て本府管内の初霜とす㊌二十四日概ね晴天天王に霜あり●二十五日未明より雨降り午後に至り歇む㊎二十六日概ね晴天茨木に濃霧あり㊍二十七日概ね晴天

第五表　管内降水日量

十月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日				〇・五	二・五	〇・〇	〇・五	〇・三		〇・一	一・〇	〇・〇		〇・七						一・三		〇・四
二日																						
三日																						
四日																						
五日																						
六日																						
七日	四・九	四・〇	五・六	五・八	六・八	四・〇	四・一	四・五	四・三	四・八	七・二	八・〇	三・〇	三・〇	五・七	六・七	四・〇	四・〇	三・六	四・〇	四・五	四・〇
八日				一・三		一・九	〇・一	〇・〇						〇・九					二・六	四・八		
九日																						
十日																						
十一日								〇・〇						〇・五								
十二日																						
十三日																						
十四日								〇・〇						〇・三								
十五日						〇・〇																
十六日																						
十七日	八・一	五・四	二・八	〇・五	四・三	四・三	三・八	五・七	四・九	四・三	三・五	一・七	四・〇	六・三	七・〇	六・七	五・〇	二・一		三・五	二・五	一・〇
十八日	四・九	二・〇	九・三	六・五	六・一	五・二	四・五	三・五	三・三	四・〇	四・五	八・六	六・五	一・九	五・〇	六・〇	六・〇	六・七	四・八	六・三	八・五	一・〇・五
十九日	四・三	二・六	一・七	二・五	二・〇	二・二	二・二	二・七	三・〇	三・五	七・〇	九・五	八・〇	七・二	三・〇	五・四	一・六	一・七	一・九	一・五	一・〇	〇・九
二十日																						
廿一日																						

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	總量 平年ヨリ	最多日量	起日	午前十時（柏原ハ午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	23.3	13.2	18.3	▲0.5	27.0	20	7.9	24	69.1	79.0	24.8	29	20.9	77	4.7	北	8	0	0	0	0	0	0	9	8	3
尾崎	22.9	12.3	17.6	0.0	26.9	20	7.1	24 23	67.3	74.8	10.5	29	19.6	73	4.6	北	8	0	0	0	0	0	0	3	7	6
岸和田	22.2	12.0	17.1	0.3	26.9	20	6.9	24	63.6	53.4	29.7	29	19.5	66	3.8	北	9	0	0	0	0	0	0	9	8	1
長承寺	22.8	11.0	16.9	0.1	28.6	20	5.1	23	67.9	45.2	30.0	29	20.3	65	3.5	東	12	0	0	0	0	0	0	17	8	3
濱寺	22.7	11.0	16.8	—	27.7	20	5.9	23	62.0	—	31.9	29	19.7	66	3.8	西	10	0	0	0	0	0	0	17	9	4
堺	22.6	12.0	17.3	0.2	27.3	20	6.5	23	64.7	47.0	29.7	29	19.5	77	3.7	東	10	0	0	0	0	0	0	18	8	3
天王寺	22.0	11.9	16.9	0.1	27.0	20	7.0	24 23	72.6	35.8	21.0	29	19.5	77	3.6	北	12	0	0	0	0	0	0	19	7	1
大阪	22.3	12.5	17.4	▲0.1	26.3	20	8.0	24	70.2	46.5	26.7	29	19.4	65	5.1	北	10	0	0	0	0	0	0	10	13	6
福島	22.4	13.0	17.7	▲0.3	27.7	20	7.0	24	66.4	44.9	25.0	29	19.6	69	4.8	北東	9	0	0	0	0	0	0	14	10	0
新庄	22.4	11.3	16.9	0.2	27.5	20	5.9	24	75.5	40.7	25.0	29	19.1	69	5.6	東	10	0	0	0	0	0	0	12	15	1
池田	22.6	11.5	17.1	▲0.1	28.0	20	6.1	24	63.8	52.2	26.2	29	18.9	68	4.9	北西	9	0	0	0	0	0	0	5	6	0
妙見山	18.5	8.4	13.5	1.0	21.1	19	2.5	23	80.6	46.5	21.5	29	13.7	86	4.7	北	9	0	0	0	0	0	0	2	9	0
東郷	21.3	9.2	15.3	0.0	24.0	19	3.2	24	78.5	55.1	16.0	19	18.3	71	6.1	北東	8	0	0	0	0	0	0	7	16	0
天王	19.3	8.1	13.7	0.0	23.9	19	2.0	23	70.6	86.3	26.5	29	16.3	73	5.1	北西	14	0	0	0	2	0	0	7	9	0
茨木	21.9	12.3	17.0	0.2	28.6	20	5.3	24	65.0	57.4	26.0	29	19.8	70	3.9	北	8	0	0	0	0	0	0	13	6	1
清水	22.7	10.9	16.8	▲0.1	27.8	20	5.7	24	63.8	46.5	30.3	29	19.3	71	5.3	南	8	0	0	0	0	0	0	10	10	0
枚方	23.6	11.4	17.5	0.0	27.5	20	6.0	24	64.3	56.9	18.5	29	20.4	63	4.3	西	9	0	0	0	0	0	0	14	7	5
田原	22.4	8.6	15.5	0.2	27.4	20	4.0	13	67.2	64.3	30.0	29	18.9	69	5.5	西	9	0	0	0	0	0	0	4	12	1
八尾	23.4	10.9	17.2	▲0.1	26.0	19	4.6	23	66.4	47.7	29.1	29	20.5	70	3.7	北西	10	0	0	0	0	0	0	17	8	[illegible]
柏原	23.0	10.3	16.6	0.7	27.3	20	5.0	24	67.0	59.9	25.9	29	18.4	76	3.9	西	12	0	0	0	0	0	0	18	9	0
富田林	22.8	10.4	16.8	0.0	27.5	20 19	5.1	23	67.5	45.5	18.0	29	19.5	81	4.8	西	9	0	0	0	0	0	0	13	10	0
長野	21.8	10.1	16.0	0.1	28.0	20	5.2	24	77.3	73.3	29.1	29	18.7	68	4.7	北	10	0	0	0	0	0	0	6	8	1

頃より溫暖となり十九日及二十日に月中の最高を現はし二十二日には頓に寒冷となり二十三日朝北部天王にては最低氣溫二度〇に降り初霜を認むるに至り平年より六日昨年より二日孰れも早く翌二十四日には各地概ね月中の最低を示し後次第に順に復せり又降水量は上半月に於ては概ね七日に降雨ありしのみにして其他は殆んど晴天打續き下半月に於ても中旬の末及下旬の末に斷續的降雨ありしも其量極めて少なく平年の半に達せざる所あり更に氣溫、降水量に就き詳記すれは左の如し

氣溫

平均は南部深日の十八度二より北部妙見山の十二度五の間にありて之れを平年に比すれは殆んど伯仲の間にありて北部妙見山に一度〇東部柏原に零度七の過低を示し南部深日に於て零度五の過高に過きず而して最高は十九日及二十日に現はれ南部長承寺西部茨木の二十八度六を高極とし北部池田、東部長野の二十八度〇之れに亞き其他は二十七度內外なりしも北部の山間は二十四度乃至二十一度に止まれり又最低は概ね二十三、二十四の兩日に現はれ北部天王の二度〇仝妙見山の二度五仝東郷の三度二を低極とし東部田原の四度〇仝八尾の四度六之れに亞き其他は五度乃至八度を示せり之れを要するに本年十月の氣溫は最高二十八度六より最低二度〇の間にありて其較差は二十六度六に達せり

降水

總量は北部妙見山の八十粍六より南部濱寺の六十二粍〇の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく深日、尾崎、天王、田原、長野の如きは平年の半に達せす其他と雖も約四割の減量を呈せり而して日量の最多は二十九日の降雨の際にありて其最も多きは妙見山の三十一粍五、天王寺の三十一粍〇、清水の三十粍二、長承寺及田原の三十粍〇等にして其他は二十九粍七より二十粍五の間にあり

第四表　管內氣象觀測成績

（表中▲印に高又は多）

時量最多	蒸發量	日照時數	地中温度 地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	百二十糎	三百糎	五百糎	七百糎
｜	二三、七	一九九、五	一七、八	一八、六	一九、五六	二〇、三	二一、四	二三、〇	一九、三	一七、〇三	一六、九
｜	▲〇、八	▲一〇、一四	▲〇、三九	▲〇、三〇	▲〇、五四	▲〇、六五	▲〇、六九	▲〇、八四	▲〇、五八	▲〇、一〇	▲〇、〇四
七、四	七、七	一〇、七〇	一九、六	二一、一	二一、一	二二、二	二三、一	二四、五	一九、四	一七、三	一六、六
二〇	二〇	二	六	二	三二	二	二一	一	二四	二八	七
｜	〇、七	｜	九、一	一五、三	一七、一	一八、一	一九、二	二〇、六	一八、九	一六、七	一六、四
｜	一七	｜	二四	二四	二六	三	三	三	一	五	二四

濕度	平年に比し	飽差	平年に比し	降水量	平年に比し	雲量	平年に比し	日照時數	平年に比し	風速度	平年に比し
七六、八	▲一、〇	三、九四	〇、九一	九四、六	▲六七、〇	七、四	▲一、〇	一九、五〇	八、一七	五、三七	▲一、一七
七二、二	三、五	四、八八	▲〇、五〇	四、四	四二、八	五、〇	〇、八	三八、八〇	▲九、八〇	二、八九	一、八八
七七、四	五、四	五、二二	▲一、〇七	〇、七	八、九	四、九	一、五	一九、七〇	▲六、七九	五、一二	▲〇、四八
七一、三	四、四	四、五四	▲〇、五九	〇、五	一七、四	二、九	二、四	七七、八五	▲三、九六	三、〇四	一、〇六
七五、三	▲二、〇	三、九二	〇、二二	二一、六	▲八、七	四、六	▲一、九	三〇、〇	一、三九	五、二六	▲〇、八三
七九、九	▲五、八	二、九三	▲〇、六八	七、四	▲三、七	五、二	▲〇、九	二七、八五	三、八五	二、六六	〇、六八

風向	觀測回數	平年比較
北	一〇七	▲四九
北東	二三七	三
東	八六	五五
南東	一六	一五
南	二三	▲八
南西	六九	▲二九
西	七六	▲一〇
北西	二六	[illegible]
靜穩	二	三
平均方向	北三二度東	
百分率	四三	

大阪府管內氣象概況

前既に述へたるか如く本月は亞細亞大陸に氣壓增高して高壓部を生し北太平洋北部に低壓部ありて氣壓は西より東に向ひて漸次遞減せるか故に主として西乃至北西風吹き氣溫は日を逐ふて低下し山間部地方にありては結霜を看ることあり而して本年十月の氣候を調査するに氣溫は上旬より中旬に亘りては順當に經過せしか中旬の末即ち十八日

廿二日	一四、五	一七、〇	八、五	九、七	三、六		朝露あり、夜薄露あり
廿三日	一四、七	一六、九	八、一	九、一	二、五	四、三	同上
廿四日	一四、五	一六、五	七、七	八、八	三、二	五、〇	朝露多し、午前二時五十分より七時三十五分迄薄霧あり
廿五日	一四、五	一六、六	七、六	八、六	二、〇	九、三	午前一時三十四分より降雨斷續し午後八時二十五分歇む
廿六日	一六、〇	一六、九	七、六	八、三	九、七	七、三	朝露多し、午前二時十分より八時四十分迄霧あり、午前九時より十時迄烟霧あり、午後五時五十八分より六時七分迄月光環現る、夜露あり
廿七日	一六、六	一七、四	七、九	八、五	九、三	九、三	朝露あり、午前一時十分より七時三十分迄薄霧あり、午後八時烟霧あり、午後九時五十分より十時四十分迄月暈現る、夜露あり
廿八日	一七、四	一七、八	七、八	八、三	八、八	一〇、八	朝露あり、午後三時三分より降雨斷續して翌曉に到る
廿九日	一八、五	一八、八	八、八	九、一	一〇、六	一二、八	前日來の降雨斷續して午後三時十五分歇む、午後七時五十分より九時廿五分迄月暈現る、夜薄露あり
三十日	一四、九	一七、三	八、二	八、八	九、五	八、七	朝薄露あり、午前二時三分より降雨斷續して午後一時二十五分歇む、夜露あり
卅一日	一六、一	一七、一	七、六	八、三	九、〇	八、六	朝露多し、午前一時四十分より霧あり、同三時四十分より濃霧となりしが同七時二十分頃より稍々薄らぎ同九時二十分消散せり、夜薄露あり
全月	一七、二	一八、六	九、六	一〇、〇	二、二	九、二	

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高又は多、強）

全月觀測成績

種目	平均	氣溫 最高	氣溫 最低	氣溫 較差	水蒸氣張力	濕度	飽差	降水 月量	降水 日量最多
氣壓	七四、三▲	七二、一▲	三、〇▲	九、七▲	一〇、七六	七四、七	四〇、九▲	九六、七	—
平均	一、二六	〇、三	〇、二	〇、四	〇、九	〇、三	〇、二	一、二	—
氣溫	七二、五	—	二六、二	二三、二	八、七	—	四、八	—	三、〇
最高	七二、九	—	二、二	—	二、〇	—	〇、六	—	—
最低	一、四	—	八、三	一、六	六、六	三	〇、六	—	—
較差	二、二	—	二四	—	二	二六	平年に比し	水蒸氣張力	平年に比し
水蒸氣張力	一、六	一、四	平年に比し	最高氣溫	平年に比し	最低氣溫	平年に比し	平年に比し	平年に比し

半旬期觀測成績

種目	平均	氣溫 最高	氣溫 最低	氣溫 較差	水蒸氣張力	濕度	飽差	降水 月量	降水 日量最多
氣壓	七〇、三六	七四、九	七〇、四七	七七、八	七七、八	七七、七	三、六	七六、六	七六、六
平均	二、五六▲	二、七八	三、〇三▲	〇、六▲	〇、六六▲	一、四七	〇、六▲	一、五五	一、四〇
氣溫	一八、四八	一八、六	一七、五七	一七、三二	一七、二四	一七、七六	一七、七	一七、六〇	一七、八
最高	一、四四	一、三▲	〇、六▲	一、四▲	〇、四▲	〇、二	三、二▲	一、六六	一、七▲
最低	三、八三	三、四六	三、四四	三、四四	三、四四	三、二二	三、七	三、四	三、六▲
較差	二、九七▲	一、七▲	一、三▲	一、四▲	〇、四▲	〇、七	一、八	一、四	一、六▲
水蒸氣張力	五、〇	一、八六	一、八	一、二四	一、七六	一、七七	一、八	一、八〇	一、八
最低氣溫	一、九	一〇、九七	一、九	三、四▲	三、七	三、四	三、七	一、六	一、六▲
平年に比し	一、四▲	九、九九	一、八	一、七▲	一、六▲	一、四	一、四	一、四	一、六▲

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十月	地中溫度（平均）地皮十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	一八、五	一九、八	二〇、九	二二、二	二三、八	一〇、六	前日來の降雨午前十一時二十五分歇む、午前一時より六時迄及午前十時より午後一時迄強風吹けり、夜露あり
二日	一九、八	二〇、五	二二、四	二二、七	二二、〇	一〇、九	朝露多し夜露あり
三日	一九、一	二〇、五	二二、六	二二、〇	二二、六	八、七	朝露多し午前三時五十分より七時九分迄薄霧あり、午前八時四十分より九時四十分迄日暈あり、午後四時五十分より四時五十五分迄微雨あり、午後四時十分より四時三十分迄虹霓現る、午後十時五分より十時十分迄月光環現る、夜薄露あり
四日	一八、〇	一九、九	二二、四	二二、八	二二、九	七、三	朝露あり、午後七時より十時迄烟霧あり、夜薄霧あり
五日	一八、七	一九、九	二二、六	二二、七	二二、三	一〇、三	朝露あり、午後七時十分より月光環現はれ翌曉に至る、夜露あり
六日	一九、六	二〇、四	二二、三	二二、六	二二、五	一〇、九	前夜來の月光環零時十五分に至り消ぬ、朝薄露夜露あり
七日	一八、四	一九、九	二二、三	二二、七	二二、五	一〇、二	朝露あり、午前九時四十五分より十一時二十分迄日暈現る、午後六時五十五分より小雨翌日に到る
八日	二〇、〇	二〇、七	二二、六	二二、六	二二、四	一六、〇	前日來の小雨午前一時四十分歇む、午前二時五分より二時二十五分迄月暈現る、午前十時五十五分より十一時二十分迄及午後七時二十八分より七時三十二分迄小雨
九日	一九、一	二〇、六	二二、四	二二、四	二二、七	一二、七	午前十時及午後一時より六時迄強風吹けり
十日	一七、三	一九、五	二〇、八	二二、六	二二、四	八、八	朝露あり、午後二時強風吹けり
十一日	一六、六	一八、六	一九、九	二二、一	二二、一	七、六	朝露あり、午前十時五十分より十一時五十八分迄及午後四時十七分より四時廿一分迄微雨、夜薄露あり
十二日	一五、六	一七、八	一九、三	二〇、五	二一、九	四、八	朝露あり、午後三時より四時迄強風吹けり、夜露あり
十三日	一六、七	一七、七	一八、八	二〇、〇	二一、五	五、四	朝露あり、夜薄露あり
十四日	一六、七	一八、〇	一八、九	二〇、〇	二一、三	七、二	同上
十五日	一六、七	一八、〇	一九、〇	一九、九	二一、二	七、九	同上
十六日	一六、六	一七、七	一八、八	一九、七	二一、〇	六、三	朝露あり
十七日	一六、九	一七、九	一八、八	一九、六	二〇、八	二、四	午前十一時五十分より午後零時二十分迄及八時五十分より小雨翌曉に到る
十八日	一七、八	一八、七	一九、二	一九、七	二〇、七	一四、五	前日來の小雨斷續して午後七時三十分歇む
十九日	一〇、三	一九、七	一九、八	一〇、〇	二〇、七	二、五	朝薄露あり、午前六時二十五分より七時四十分迄薄霧あり、夜露あり
二十日	一〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、八	一、九	朝露あり、午前二時十五分より四時二十五分迄小雨、午前七時より午後十一時迄強風吹けり
廿一日	一四、八	一八、七	二〇、〇	二〇、七	二一、〇	六、二	午前二時より五時迄及正午より午後五時迄強風吹けり、夜薄露あり

七日	七六二、九	一八、八	〇、三	二四、〇	三、七	一一、三	一三、〇	七五	四、五	三、七	五、三	北東	北東	六、五	五、三	〇、三	四、四	三、三
八日	七五七、七	二〇、八▲	二、七	二三、五	一七、八	五、七	一四、四	七九	三、八	四、五	九、三	西南西	西南西	九、四	〇、三	〇、五	〇、七	四、〇
九日	七五九、七	二〇、三▲	一、五	二三、六	一五、三	八、三	一〇、二	五八	七、五	八、〇	一一、一	西南西	西	六、七	八、〇▲	二、四	—	七、三
十日	七六一、三	一六、七▲	〇、三	二二、八	三、四	九、四	八、五	六三	五、八	四、六	一二、二	北	北	[illegible]	六、五▲	〇、四	—	五、〇
十一日	七六〇、八	一五、三▲	〇、一	二三、二	一〇、七	一二、五	八、六	六九	四、五	四、〇	九、九	北	北	[illegible]	六、四▲	二、一	[illegible]	四、四
十二日	七六三、八	一四、五	一、一	二〇、六	九、五	一一、一	八、一	六九	四、四	四、五	一二、六	北	北	一、六	八、五▲	二、五	—	五、三
十三日	七六五、五	一五、三	一、三	二三、五	九、〇	一三、五	九、二	七三	四、一	三、一	五、三	北	北東	一、四	九、七▲	三、一	—	四、三
十四日	七六六、四	一六、〇	[illegible]	二三、六	一〇、〇	一三、六	九、三	七一	四、六	三、四	六、五	南西	北東	[illegible]	一三、一▲	四、八	—	四、三
十五日	七六六、九	一六、三	二、一	二三、二	一一、五	一〇、六	九、二	六九	四、七	三、二	六、九	北	北	三、七	八、四▲	四、一	〇、八	四、三
十六日	七六九、三	一六、五	〇、四	二四、一	九、九	一四、二	八、九	六七	五、八	二、五	三、九	北	北	一、三	九、六▲	四、五	—	四、五
十七日	七六九、八	一七、八▲	一、〇	二〇、九	一三、四	七、五	一一、五	七六	三、七	三、〇	五、六	北東	北東	九、三	—	三、六	〇、五	〇、七
十八日	七六五、八	一八、一▲	一、五	二二、〇	一六、一	一四、九	一四、一	九一	一、三	二、〇	[illegible]	南南東	北東	九、二	—	六、三	八、八	〇、八
十九日	七六三、四	二〇、五▲	三、八	二五、六	一五、七	[illegible]	一四、九	八四	三、三	二、三	三、七	西南西	北東	三、七	[illegible]	〇、三	—	四、三
二十日	七六七、六	一三、二▲	五、二	二六、三	一八、〇	八、二	一四、三	七一	五、七	一〇、八	一六、七	西南西	西南西	五、五	六、七	二、三	三、八	七、七
廿一日	七六五、〇	一五、〇	〇、九	一八、九	一〇、五	八、四	七、四	五九	五、四	八、二	三、九	西	北	三、一	六、七	二、〇	—	四、四
廿二日	七六八、一	一三、三	二、四	一九、四	八、二	一一、二	七、八	七〇	三、九	三、〇	五、七	北	北	一、六	八、九▲	〇、五	—	三、六
廿三日	七六八、八	一三、七	一、三	二〇、八	八、四	一三、四	八、一	七二	三、九	三、六	四、四	西南西	東北東	一、二	八、三▲	二、三	—	三、三
廿四日	七六九、七	一三、八	〇、九	一八、九	八、〇	一〇、九	八、六	七四	三、四	一、七	三、三	北東	東	七、八	五、三	[illegible]	—	一、八
廿五日	七六五、〇	一四、一	一、三	一六、一	一三、二	一三、九	一〇、五	八七	一、五	四、〇	六、八	北東	北東	八、九	〇、三	四、三	七、四	一、二
廿六日	七六四、七	一六、〇▲	〇、五	二三、一	一〇、八	一二、三	[illegible]	八五	二、五	二、三	四、六	西南西	北東	六、六	五、八	一、九	—	[illegible]
廿七日	七六四、七	一七、四▲	二、四	二五、二	一三、二	一二、一	一一、七	八一	三、三	三、八	六、七	南西	北東	一、六	八、三	一、三		[illegible]
廿八日	七六四、二	一八、五▲	二、八	二五、四	一三、六	九、八	一三、六	八一	三、四	[illegible]	四、一	北	北東	七、三	三、六▲	一、三	七、三	一、九
廿九日	七六二、四	一八、七▲	二、九	二五、九	一六、一	七、八	[illegible]	八七	三、一	三、七	七、二	南西	北東	九、七	一、九	二、六	七、三	一、八
三十日	七六三、五	一四、八▲	〇、一	一六、四	一三、二	一三、三	一一、三	九〇	一、二	三、四	六、三	東	北	八、四	〇、六	六、三	[illegible]	〇、七
卅一日	七六八、三	一五、四▲	〇、七	[illegible]	一二、五	九、五	一〇、六	八四	三、六	二、三	三、四	東北東	北	五、四	[illegible]	一、七		二、一
全月	[illegible]	[illegible]▲	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	七六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北北西	北東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

十月	氣壓 平均	氣溫 平均	氣溫 本年平年比較	氣溫 最高	氣溫 最低	氣溫 較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 平均	風速 最大	風速 最多方向	風速 全上方向	雲量 平均	日照時數 本年平年比較	降水量	蒸發量
一日	七四、八	一九、四	〇、八	二一、九	一五、一	七、六	一、一	七二	四、六	八、七	二、九	北北西	北	六、〇	四、一	全じ	四、六
二日	七四、五	一九、〇	一、五	二四、九	一五、一	九、九	一、一	七一	五、六	二、四	四、八	北	北北東	三、七	一、七▲	四、九	四、八
三日	七六、〇	一八、〇	二、七	二五、八	一三、五	一二、三	一、九	七二	四、九	二、九	七、二	北	北東 南西	四、七	八、一▲	五、二	四、五
四日	七六、〇	一七、〇	三、三	二五、七	一二、六	一三、一	九、九	七二	四、九	二、七	四、九	北	東北東 北	六、一	六、五▲	二、五	五、八
五日	七五、一	一八、一	〇、六	二四、〇	一三、五	一〇、八	二、一	七二	四、六	二、五	四、六	西南西 北	北	六、九	八、五▲	一、七	四、〇
六日	七四、九	一九、二▲	〇、五	二六、一	一四、〇	一二、〇	六、九	六六	五、八	二、九	五、一	西	北	〇、七	一〇、五▲	一、九	五、八

夜半 平均	午後 十一時	午後 十時	午後 九時	午後 八時	午後 七時	午後 六時	午後 五時	午後 四時	午後 三時	午後 二時	午後 一時	正午
七四、二五	七四、九六	七四、九八	七四、八六	七四、六七	七四、四四	七四、二三	七三、八七	七三、五五	七三、二五	七二、九二	七二、八〇	七二、五五
七四、八四	七五、四	七五、八四	七六、三四	七六、六二	七七、五五	七八、四九	七九、五四	八〇、六〇	八一、四一	八二、六七	八三、四九	二〇、八九
七七、三六	一〇、五五	一〇、八一	一〇、九八	一一、一四	一一、二六	一一、二四	一〇、九九	一〇、七一	一〇、五五	一〇、七九	一〇、六八	一〇、八八
七四、七	八、五四	八、一一	七、八六	七、一五	六、六六	六、七	六、八八	七、九一	八、三三	八、三二	八、三三	八、三三
四、九	二、三	二、六九	二、九五	三、一一	三、七八	四、七八	五、九五	七、九一	八、九一	八、四七	七、七〇	七、七〇
三、六	二、七五	二、九九	三、一八	三、五五	三、六八	四、三	五、〇七	五、三五	五、五五	五、三五	四、六九	四、六九
四、九	二、六	三、八	四、〇	三、四	四、二	五、二	六、二	六、七	六、六	六、三	六、三	六、三
二九、七五	—	—	—	—	—	二、〇	二、八	六、五	一八、七〇	二、二五	二、二五	二、二五
九五、七	一、二	二、九	三、五	三、四	〇、二	〇、二	〇、二	一、五	一、八	〇、三	一、八	一、五
七、六	四、七	四、六	一四、四	一五、三	一五、八	六、四	七、五	九、四	二、八五	三、七五	四、七五	二四、六
一八、八	一八、八	一九、五	一九、三	一九、六	一九、五	一九、六	一九、六	一九、六	一九、五	一九、二	一八、八九	一八、八〇
一九、五	一九、六	一八、八三	一九、三	一九、六	一九、八五	一九、八〇	一九、七	一九、八〇	一九、四一	一九、三六	一九、一	一九、二五
二〇、九	二〇、九五	二〇、九	二〇、二九	二〇、二五	二〇、二三	二〇、二九	二〇、二一	二〇、八	二〇、〇八	二〇、一六	二〇、六	二〇、九
二二、二四	二二、二	二二、三三	二二、三二	二二、三三	二二、三三	二二、三三	二二、三三	二二、三三	二二、三三	二二、二四	二二、二四	二二、二四

度二なり但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

以上列記する地中温度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後八時乃至九時同三十糎にありては午後十一時乃至夜半に生し最低は地皮にありては午前五時地中十糎にありては午前八時同二十糎にありては午前十一時同三十糎にありては午後二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地温　平均は九度一七にして平年に比すれは零度三三低く月中の最低は廿二日午前七時の二度六なり

天氣日數

快晴は七日にして平年より一日、曇天は六日にして平年より一日孰れも少し

尙詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すべし

第一表　大阪每時氣象觀測成績

十月	氣壓平均	氣温平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中温度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前 十一時	七六三、九六	一四、六〇	一〇、五九	八五、〇	一、九一	三、一三	三、六	—	九、八	一四、〇五	一八、五二	一九、八一	二〇、四一	二一、三二
午前 十時	七六四、九五	一四、二六	一〇、五四	八六、五	一、七〇	三、三五	三、五	—	一〇、六	一三、七五	一八、三五	一九、七二	二〇、三八	二一、三〇
午前 九時	七六四、七八	一三、八八	一〇、三九	八七、五	一、五九	三、二二	三、二	—	五、九	一三、四四	一八、一七	一九、六八	二〇、三七	二一、二九
午前 八時	七六四、八五	一三、五六	一〇、三八	八八、三	一、四九	三、一一	四、三	—	二、八	一三、四一	一八、〇四	一九、六三	二〇、三六	二一、二九
午前 七時	七六四、五九	一三、五七	一〇、三六	八八、二	一、三六	三、四二	四、九	—	八、二	一三、三三	一七、八七	一九、五三	二〇、三三	二一、二九
午前 六時	七六四、二五	一三、五三	一〇、三六	八九、一	一、四二	三、三一	六、四	—	六、九	一三、三八	一七、七五	一九、四六	二〇、二七	二一、二七
午前 五時	七六四、〇五	一三、七七	一〇、五九	八八、二	一、五二	三、一五	五、四	〇、六〇	一〇、四	一三、九八	一七、八〇	一九、八六	二〇、二二	二一、二六
午前 四時	七六三、七八	一三、八八	一〇、三九	八七、五	一、五九	三、二二	三、二	—	五、九	一三、四四	一八、一七	一九、六八	二〇、三七	二一、二九
午前 三時	七六三、九三	一三、七一	一〇、三八	八八、三	一、四九	三、一一	四、三	—	二、八	一三、四一	一八、〇四	一九、六三	二〇、三六	二一、二九
午前 二時	七六三、九五	一四、二六	一〇、五四	八六、五	一、七〇	三、三五	三、五	—	一〇、六	一三、七五	一八、三五	一九、七二	二〇、三八	二一、三〇
午前 一時	七六三、九六	一四、六〇	一〇、五九	八五、〇	一、九一	三、一三	三、六	—	九、八	一四、〇五	一八、五二	一九、八一	二〇、四一	二一、三二

降水及蒸發量

降水日數は十日にして平年に等しく其水量は九十五粍七にして平年に比すれは十粍一少く一日中の最多量は三十日の三十二粍二、一時間の最多量は一日午前二時の九粍八なり又蒸發總量は百十二粍七にして平年に比すれば零粍〇八多く一日中の最多量は二十日の七粍七なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は十七度二八にして平年に比すれは零度三九低く月中の最高は六日正午の廿九度六最低は二十四日午前四時乃至五時の九度一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて二十四度七五最低は午前五時にありて十三度三三を示し其較差は十一度四二なり

地中十糎の溫度　平均は十八度六三にして平年に比すれは零度三〇高く月中の最高は二十日午後五時の二十二度一最低は二十四日午前八時乃至九時の十五度三なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十九度七四最低は午前八時にありて十七度五一を示し其較差は二度二三なり

地中二十糎の溫度　平均は十九度五六にして平年に比すれは零度五四高く月中の最高は二日午後十時乃至十一時及三日午後七時乃至九時の二十二度一最低は二十六日午前八時乃至正午の十七度一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至九時にありて十九度八八最低は午前十一時にありて十九度一七を示し其較差は零度七一なり

地中三十糎の溫度　平均は二十度二二にして平年に比すれは零度六五高く月中の最高は二日午後十一時の二十二度二最低は二十六日午後一時乃至四時及二十一日午後一時乃至二時の十八度一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後十一時乃至夜半にありて二十度三二最低は午後二時にありて二十度〇五を示し其較差は零度二七なり

地中六十糎の溫度　平均は二十一度二四にして平年に比すれは零度六九高く月中の最高は一日午後七時乃至夜半二日午前一時乃至八時及午前十一時乃至午後三時の二十三度一最低は三十一日午後三時乃至四時の十九

ありて二十一度六九最低は午前五時にありて十三度五一を示し其較差は八度一八なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十粍七六にして平年に比すれは零粍〇九低く月中の最高は二十日午前十一時の十八粍七最低は二十一日正午乃至午後一時の六粍六なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後七時にありて十一粍二六最低は午前五時乃至六時にありて十粍三六を示し其較差は零粍九〇なり

濕度の平均は七十四、七にして平年に比すれは〇、二少く月中の最少は十六日午後三時の三十一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて八十九、二最少は午後二時にありて五十六、二を示し其較差は三十三、〇なり

飽差の平均は毎立方米中四瓦〇九にして平年に比すれは零瓦一一多く月中の最多は十六日午後三時の十四瓦五最少は三十一日午前二時乃至三時及五時乃至九時の零瓦〇なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて八瓦四七最少は午前五時にありて一瓦三六を示し其較差は七瓦一一なり

風

平均速度は毎秒三米七六にして平年に比すれは零米三六弱、月中の最大速度は一日午前一時乃至一時三十分の間にありて毎秒二十一米九（一間平方面を垂直に壓する力は四十六貫二百目）の北々西風なり又強風以上の吹きたる日數は六日にして平年に比すれは一日少く其吹續時間は四十三時にして平年に比すれは三時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時乃至二時にありて五米三五最小は夜半にありて二米七一を示し其較差は二米六四なり風向は北乃至北東風最も多く南風は最も少し之れを平年に比すれは北風多くして東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、九にして平年に比すれは〇、二少く日照時數は百八十九時七五にして平年に比すれは十時一四多く一日中日照時間の最も長かりしは二日の十時七〇なり

大阪測候所月報

大正三年十月 大阪氣象概況

十月は漸次寒冷となるに從ひ亞細亞大陸の氣壓增高し支那北部に高氣壓を生し北太平洋北部即ち北海道の東方は低壓部となり氣壓は西より東に向ひ漸減し爲めに西乃至北西の風卓越して吹き當地方も漸次冷氣となれり而して本月初旬には往々颱風襲來し暴風雨を起すことあり又此月の下旬には本府管內北攝及河內東部の山間地方は概ね初霜を觀るに至れり、然り而して本年十月の氣候を調査するに氣溫は平年より高く日照時數は平年より多く降水日數は平年に等しきも其水量は少し

今各氣象要素に就き詳記すれば左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

氣壓

平均は七百六十四粍三二にして平年に比すれは一粍二八高く日々の變化は氣象圖に示すが如く顯著なる昇降は四回にして其他は微少なり而して月中の最高は廿四日午前八時の七百七十一粍五最低は一日午前三時の七百四十三粍九なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十四粍九五、第一の最低は午後二時にありて七百六十三粍六三を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十四粍九八、第二の最低は午前三時にありて七百六十三粍七八を示し其主なる最高低の較差は一粍三五なり

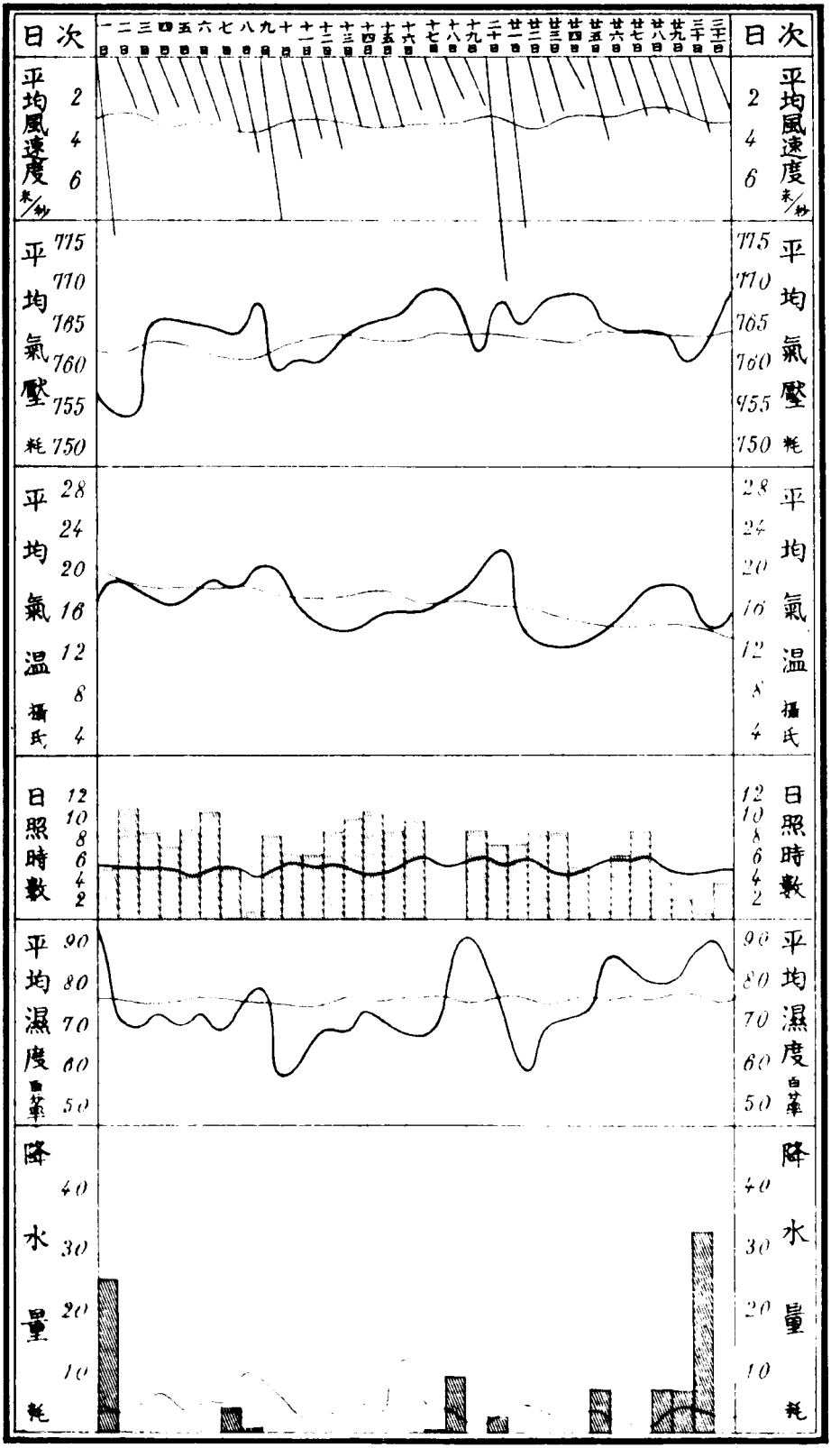
氣溫

平均は十七度一三にして平年に比すれは零度一二高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すが如く中旬及下旬に數日間冷氣のことありしも其他は概して溫暖なりし而して月中の最高は二十日午前十一時の二十六度二、最低は二十四日午前七時の八度〇なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時に

大正三年十月

大阪氣象圖

October 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年 ——— 平年 ——— 日照時數ハ本年 ▮▮▮ 平年 ——— 降水量ハ本年 ▮▮▮ 平年 ———

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す卽ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰霙の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡	市町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	三五度〇九分	三四度一九分	北野孝雄
尾崎	全國泉南郡	尾崎村	三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	全國泉南郡	岸和田町	三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	全國泉北郡	鳳村	三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	全國泉北郡	高石村	三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	全國堺市	車ノ町	三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	全國大阪市	西區一條通	三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	全國大阪市	北區上福島	三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	全國四成郡	新庄村	三五度三一分	三四度四五分	植田豐關
池田	全國豐能郡	池田町	三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	全國豐能郡	東鄕村	三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	全國豐能郡	東鄕村	三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	全國豐能郡	根根莊村	三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
木	全國三島郡	茨木町	三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
茨木	全國三島郡	清水村	三五度三六分	三四度五三分	山本義一
清水	全國三島郡	枚方町	三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
枚方	全國北河內郡	田原村	三五度四二分	三四度四三分	東尾兼藏
田原	全國北河內郡	八尾町	三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
八尾	全國中河內郡	柏原村	三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
柏原	全國南河內郡	富田林町	三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
富田林	全國南河內郡	長野町	三五度三五分	三四度二七分	松本速水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

October, 1914

大阪測候所月報

第拾五年第十號

大正參年十月

LIBRARY
JAN 18 1915
Weather Bureau

目次

○十本年十月大阪氣象概況　附圖
○十本年十月大阪府管內氣象概況
○十本年十月大阪地震觀測概況
○十月二十日より廿一日に至る暴風概況
○特別大演習と測候所
○高層氣流觀測と天氣豫察に就て
○本年十一月上中二旬の高溫に就て
○本年の初雪
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否
○新刊書籍書目

大正三年十二月三日印刷
仝　年十二月五日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

一石卷測候所要報	大正三年自二月至七月	六	石卷測候所
一震災豫防調査會歐文紀要	第六卷三號、七卷一號、第八卷一號	三	震災豫防調査會
一天氣圖	大正三年九月		中央氣象臺
一天氣圖	千九百十四年九月		シカウエー觀測所
一天氣圖	同年七月		アルゼンチン觀測所
一地震報告	同年自一月至四月	四	バタビヤ觀測所
一氣象及磁氣年報	千九百十一年	一	同　所
一地震報告	千九百十四年五、六月	二	ナポリ觀測所
一天氣月報		一	カーダ觀測所
一氣象、磁氣、地震報告	千九百十三年	一	サンフエルナンド觀測所
一天氣圖	千九百十四年七月	一	羅馬觀測所
一地震報告	同年六、七月	二	グラナダ觀測所
一地震報告	同年自六月至八月	三	ギルドホールド觀測所
一地震報告	同年一、二月	二	モンテカシノ觀測所
一財團法人大橋圖書館第十二年報		一	大橋圖書館
一養鵜指針	第百三十號	一	重枝養禽園
一貿易通報	八月號	一	大阪商業會議所
一學鐙	別刊	一	丸善株式會社大阪支店
一戰時に於ける船舶の注意		一	商船學校々友會
一沖商會月報	第百三十號	一	沖商會大阪出張所
一大正三年櫻島噴火記事		一	九州鐵道管理局
一通俗衛生	第百九十四號	一	大阪府衛生會
一遞信公報	大正三年九月		遞信省

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市町村	緑威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度二十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

地方天氣豫報暴風警報適否調查

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三〇	二五	五	〇	九一
	天氣	三〇	二五	五	〇	九一
	溫度	[illegible]	—	—	—	—
暴風警報		二	二	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一嚴原氣象月報	大正三年六月	一嚴原測候所
一氣象月報	同上	一高知測候所
一山梨縣氣象月報	同上	一甲府測候所
一北海道氣象月報	同上	一札幌測候所
一北海道氣象年報	明治四十五年 大正元年	一同所
一滋賀縣氣象月報	大正三年七月	一彥根測候所
一山形縣氣象月報	同上	一山形測候所
一秋田縣氣象月報	同上	一秋田測候所
一境測候所氣象月報	大正三年七月	一境測候所
一富山縣氣象報	大正三年七月	一伏木測候所
一氣象報告	同上	一福岡測候所
一氣象月報	同上	一濱田測候所
一靜岡縣氣象月報	同上	一濟松測候所
一靜岡縣氣象略報	同上	一沼津測候所
一朝鮮氣象略報	同上	一朝鮮總督府觀測所
一氣象要覽	同上	二中央氣象臺
一中央氣象臺月報	大三正年一月	一中央氣象臺
一新潟縣氣象報	大正三年七月	一新潟測候所
一千葉縣氣象報	大正三年七月	一銚子測候所
一大正二年中銚子地震年報		一同所
一大正二年中千葉縣管內氣象年報		一同所
一大正二年中銚子氣象年報		一同所
一大正三年七月臺灣氣象概況		一臺北測候所
一三重縣氣象月報	大正三年三、四月	二津測候所
一長崎縣氣象月報	同年一、二月	二長崎測候所
一京都府氣象月報	大正元年九月 大正二年九月	二京都府測候所
一氣象月報	大正三年七月	一岐阜測候所
一美濃國氣象年報	大正二年	一同所
一奉天氣象表	大正三年八月	一奉天觀測支所
一四阪島氣象表	同上	一住友別子鑛業所
一新潟濱氣象表	同上	一同所
一別子山氣象表	同上	一同所
一愛媛縣氣象月報	同上	一松山測候所
一大連氣象表	同上	一關東都督府觀測所
一[illegible]順氣象表	同上	一同所
一滿洲氣象概況	大正三年四、五月	二同所
一氣象略報	大正三年自一月至六月	六多度津測候所
一氣象略報	大正三年自一月至三月	三德島測候所
一氣象月報	大正三年十二月	一宮崎測候所
一氣象報	第三百四號	一愛知縣測候所
一下關測候所氣象報告	大正二年自一月至七月	七下關測候所

	七月	八月	九月
平均潮位	一二五、七糎	一三〇、五糎	一三四、二糎
平均干滿差	九七、一糎	一〇三、四糎	一〇九、一糎
滿潮ノ極	一九〇糎	二二九糎	二三二糎
其日時	二十八日午後十一時三十分	二十五日午後九時三十分	五八糎
干潮ノ極	三八糎	五〇糎	十四日午後三時五十五分
其日時	八日午後二時四十分	六日午後一時	二十日午後零時三十分
干滿差ノ最大	一四一糎	一三六糎	二十三日午前二時
其日	八日	二十三日	一六一糎
干滿差ノ最小	二二糎	六〇糎	二十日
其日	十五日	十三日	八〇糎
			十一日

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺五寸三分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺一寸五分

九月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	九月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	九月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一、九〇	一、八五	一、九〇	一、七〇	十一日	一、二〇	〇、九〇	〇、九三	〇、七六	二十一日	一、一五	〇、九五	一、〇二	〇、九〇
二日	一、八五	一、七〇	一、八〇	一、六九	十二日	一、〇五	〇、八五	〇、八四	〇、五二	二十二日	一、〇五	〇、九五	〇、九八	〇、九三
三日	一、七二	一、五五	一、七一	一、四三	十三日	一、〇〇	〇、九〇	〇、六三	〇、六八	二十三日	一、〇五	〇、九五	一、〇八	〇、九四
四日	一、七五	一、五五	一、四七	一、三二	十四日	一、〇〇	一、四五	一、〇〇	〇、一二	二十四日	一、〇〇	〇、九五	一、〇五	〇、八四
五日	一、五五	一、三五	一、三七	一、一五	十五日	二、九五	二、一〇	一、七〇	一、六八	二十五日	一、〇五	〇、八五	一、〇〇	〇、七五
六日	一、四五	一、二〇	一、一六	一、〇四	十六日	二、〇〇	一、五五	一、三七	一、八八	二十六日	一、〇五	〇、八〇	〇、九二	〇、七六
七日	一、三五	一、一〇	一、一七	一、〇三	十七日	一、六五	一、四五	一、七八	一、五〇	二十七日	一、〇〇	〇、八五	〇、九二	〇、七七
八日	一、三〇	一、二〇	一、一六	〇、九二	十八日	一、四五	一、三〇	一、七四	一、四五	二十八日	一、〇〇	〇、八五	〇、九三	〇、八〇
九日	一、二五	一、〇〇	〇、九八	〇、九〇	十九日	一、二〇	一、〇五	一、四一	一、一八	二十九日	〇、八五	〇、八五	一、〇〇	〇、七六
十日	一、二〇	〇、九〇	一、〇〇	〇、八〇	二十日	一、二五	一、〇〇	一、二〇	一、〇五	三十日	〇、九〇	一、〇五	一、〇〇	〇、八〇

平均水位　廣瀬　一尺二寸五分
最高水位　廣瀬　二尺九寸五分（十五日午前六時）　大日　一尺一寸二分　一尺九寸（一日午後六時）

●本年の初雪　本冬季の初雪は九月廿七日加賀の白山、擇捉島のチリップ山、越中の立山にありしを最早とし十月五日には樺太の敷香に仝十一日には吾妻山、月山、八甲田山及岩木山にありて立山を除く外は概して平年より早く越わて十月二十日には滿洲の長春朝鮮の中江鎮に翌二十一日には樺太の落合、眞岡、大泊にありて之れを平年に比すれは滿洲は晩きも樺太は早く仝二十三日には甲斐の國落合にも初雪ありたり今各測候所に於て觀測したる初雪月日を記すれは左の如し

地名	本年	平年より	昨年より	地名	本年	平年より	昨年より	地名	本年	平年より	昨年より
敷香	十月五日	早十六日	早一日	紗那	十一月二日	晩四日	晩五日	札幌	十一月七日	晩七日	晩七日
中江鎮	十月二十日			奉天	十一月三日	仝三日	仝十四日	壽都	仝	仝三日	仝十二日
長春	仝	晩九日	仝	大連	仝	早三日	早十日	旭川	十一月八日	仝十七日	仝十三日
落合	十月二十一日	早四日	早二日	芝罘	十一月六日	早五日	早七日	國館	仝	仝二日	仝八日
眞岡	仝	仝三日	仝二日	雄基	仝			網走	十一月十日	仝九日	仝十三日
太泊	仝	仝五日	仝三日	旅順	仝	仝	早二十日	平壤	十一月十七日	晩三日	晩三日
木浦	十一月二十日	早晩ナシ	早九日	筑波山	十一月廿一日	早十三日	早二十五日	長野	十一月廿二日	晩五日	早六日
城津	仝	晩十二日	仝七日	高山	仝	晩八日	晩十九日	松本	仝	早一日	仝九日
仁川	十一月廿一日	仝五日	仝八日	飯路	仝	仝八日	仝二十日				
京城	仝	仝三日	仝八日	秋田	仝	仝十一日	仝二十日				

●大阪港潮汐觀測

●本年初霜

本冬季の初霜は九月二十三日滿洲の長春及樺太の敷香にありしもの最も早く翌二十四日には樺太の大泊、落合、北海道帶廣仝二十五日には北海道の札幌にありて孰れも平年と大差なかりしか十月十一日には本州中部の飯田にあり仝十三日には金山、足尾、福島、山形にありて孰れも平年より早く仝十六日には四國の別子仝二十二日には九州熊本に初霜を看孰れも平年より十七日の早現なりき而して本府管内にありては十月二十三日攝津北部なる枳根莊村天王に初霜あり之れを平年に比すれは六日昨年に比すれは二日孰れも早かりし今各測候所に於て觀測したる初霜月日を記すれは左の如し

地名	本年	平年より	昨年より	地名	本年	平年より	昨年より	地名	本年	平年より	昨年より
眞岡	十月五日	晩二日	晩二十一日	平壤	十月廿一日	晩九日	晩十一日	高山	十一月十一日	晩二十一日	仝十八日
旭川	十月十一日	仝九日	仝二十七日	京城	仝	仝十二日	早一日	前橋	仝	仝十八日	仝十八日
飯田	仝	早二十日	早二十一日	元山	十月廿二日	仝七日	仝一日	岐阜	仝	仝八日	仝九日
金山	十月十三日	仝十二日	晩一日	城津	仝	晩八日	仝四日	名古屋	仝	仝十八日	仝九日
足尾	仝	仝二日	早七日	熊本	仝	早十七日	仝十日	熊谷	十一月十二日	仝九日	仝十二日
福島	仝	仝十三日	早十一日	水戸	仝	仝八日	仝十日	京都	十一月二十日	仝二十六日	仝二十四日
山形	仝	仝九日	晩一日	宮古	仝	仝一日	晩十日	廣島	十一月廿二日	仝八日	仝七日
網走	十月十四日	晩六日	晩二十九日	甲府	十月二十四日	早八日	同	東京	仝	仝十二日	仝二十日
釧路	十月十六日	晩十日	仝十一日	秋田	仝	晩二日	晩十二日	大阪	十一月廿三日	仝十三日	仝十二日
別子	仝	早十七日	早四日	函館	仝	仝十五日	仝十九日	津	仝	仝八日	仝二十日
本天	十月二十日	晩十七日	晩十五日	奉都	十月三十日	早四日	仝一日	濱松	仝	早十二日	早二十七日
警口	十月二十一日	仝七日	仝十二日	南京	十一月五日	仝十三日	早十日	銚子	仝	晩六日	晩十九日
大連	仝	早十日	早二日	仁川	十一月七日	仝五日	晩十一日	八木	仝	仝十九日	仝二十七日
龍摩浦	仝	晩十二日	晩二日	木浦	十一月八日	仝五日	仝五日	長崎	十一月廿五日	仝二日	仝十四日

ジカウエー（支那上海）	午前七時一八分三三秒	
仁川	仝 七時一八分三八秒	
臺北	仝 七時一九分〇七秒	
大阪	仝 七時一九分一八秒	
函館	仝 七時一九分二七秒	

●大阪府管内の初雪季節

本府管内の初雪期日を調査するに北部の山間地方最も早くして例年十一月下旬には初雪を看るも其他の地方は十二月中旬より下旬の間にあり而して管内観測所創始以來數年間の観測に就て看るに最も早かりしは北部一帶の十一月六日（明治三十七年）にして亞れに之くは西部茨木東部富田林の十一月十一日（明治四十一年）及北部池田の十一月十三日（明治四十一年）にして其他は概ね十一月下旬より十二月中旬の始めに亘れり即ち次表に示すか如し

観測所	平年	昨年	最も早きもの	創立年	観測所	平年	昨年	最も早きもの	創立年
深日	一月二日	十二月十六日	三十二年十一月廿七日	明治二十五年	東郷	十二月一日	十二月十六日	三十七年十一月六日	明治廿五年
尾崎	十二月廿四日	十二月十六日	三十三年十二月八日	仝 年	天王	十一月廿七日	十一月三十日	仝	仝 廿四年
岸和田	十二月廿二日	十二月十六日	四十一年十二月十四日	仝 二十四年	茨木	十二月廿二日	十二月十六日	四十一年十一月十一日	仝 廿四年
長承寺	十二月十九日	十二月十六日	四十一年十一月十六日	仝 年	清水	十二月十八日	仝	三十七年十一月六日	仝 廿四年
堺	十二月廿二日	十二月四日	二十一年十一月廿七日	仝 二十四年	枚方	十二月廿二日	仝	二十一年十一月廿七日	仝 廿四年
天王寺	十二月廿六日	十二月十六日	二十八年十二月十二日	仝 年	田原	十二月廿三日	仝	三十五年十二月四日	仝 廿一年
大阪	十二月廿二日	十二月十六日	三十四年十二月四日	仝 十五年	八尾	十二月廿七日	仝	二十八年十二月十一日	仝 廿四年
新庄	十二月廿四日	十二月十六日	二十八年十二月十一日	仝 三十六年	柏原	十二月廿二日	仝	三十六年十二月七日	仝 三十四年
池田	十二月十七日	十二月十六日	四十一年十一月十三日	仝 廿四年	富田林	十二月十八日	仝	四十一年十一月十一日	仝 二十四年
妙見山	十一月三十日	十一月三十日	三十七年十一月六日	仝 廿五年					

●亞細亞土耳其の地震

十月五日倫敦電報に依れば亞細亞土耳其「スミルナ」に大地震あり「イヌバーダ」「バーダ」両市は最も烈しく死者頗る多かりし由なるが此地震は大阪にも震波を傳達したれども震度微微なるか故に人身には感覺なかりし今當所地動計に感したる概要を記せんに四日午前七時十九分十八秒より緩なる微動を揺き始め第一の初期微動継續時間は十分四十四秒、第二は八分四十五秒に亘りて主要動となり最大振幅は東西動は午前七時五十六分一秒に於て百三十「ミクロン」振動期十六秒八、南北動は午前七時五十六分二十秒に於て百二十二「ミクロン」振動期十八秒七を現し後漸次に微となり靜止せり總振動の時間は東西動は一時四十六分十五秒、南北動は一時四十五分二秒に亘りたり即ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	七時一九分一八秒	—	— 秒
初期微動 S	仝 三〇分〇二秒	—	—
主要動 L	仝 三八分四七秒	—	—
主要動 M	仝 五六分〇一秒	一三〇（十）	一六、八
終期 F	仝九時〇五分三秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期
初期微動 P	七時一九分一八秒	—	— 秒
初期微動 S	仝 三〇分〇二秒	—	—
主要動 L	仝 三八分四七秒	—	—
主要動 M	仝 五六分二〇秒	一二二（十）	一八、七
終期 F	九時〇四分二〇秒	—	—

前表初期微動の継續時間に依りて震央地までの距離を計算するに大阪より約九千粁にして震央地より大阪まで震波を傳達するに要したる時間は十分以上なりき而して土耳其と大阪とは經度に於て七時間の差あるが故に此大震は土耳其にては三日夜半に發したるものなるべし

今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を記列すれば左の如し

球の位置を測り高層氣流の變化を航空者に知らしむる裝置を種々なる器械を以て示し之れに實際觀測したる結果を圖として添付し又高層氣象の觀測所として　故山階宮殿下御建設の筑波山觀測所の寫眞並に報告書、富士山頂、信州御嶽山の臨時氣象觀測所の寫眞並に報告等を示し山頂の觀測と自由空氣の高所に於ける觀測とは多少差異あるか故に大なる凧又は氣球に氣壓、氣溫、溫度、風速度等を自記する器械を附着して上層の氣象變化を觀測することを圖を示して知得せしめ且つ地上より五百米毎に二千米迄觀測したる結果を製圖し高所に至るに從ひ一日中氣溫の變化複雜となるを示し又北米合衆國天氣山觀測所にて測定したる地上五千米に至る各層の一年中氣溫の變化圖を示せり海上氣象にありては之れに使用する數種の器械を陳列して海上の氣象より海水の溫度、海流の方向觀測方法を示し海流の氣候に關係ある所を說明し且つ當所に於て低氣壓通過の際觀測したる氣壓と大阪港內にある自記驗潮儀の記象したるものを掲け以て低氣壓の通過するときは海水面は隆起する理由を實証したり

第七室は風力臺にして二階には「ダインス」風壓計及之れに關する記錄、三階には「ロビンソン」形風力計附鳴自記器、自記風信器及之れに關する記錄、大阪に於ける三十一年間觀測に係る各風向に對する風速度並に風向回數圖を掲け四階の露塲には「ジョールダン」形並に「カンベル」形日照計、煤煙計、五階には「ロビンソン」形風力計二器風壓計、風信器等なり

室外觀測露塲には日常每時觀測に用ゆる諸器械管內觀測所と同型式の諸器械、自記寒暖計、仝溫度計、雨量計、雹雨計其他各種の地中寒暖計等なり

又各室への通路南側には當所創立以來三十一年間の氣象と米麥の收獲高對照圖、全國各地の最高最低氣溫及雨量比較圖、梅雨中の雨量と盛夏の候に於ける雨量對照圖、大阪の平均氣溫一年中の變化一覽圖等を一目に見ゆる樣幅約六尺長さ三間乃至四間の大圖に製し掲けたり

本公開に關し製圖其他に就き山田技手外藤川大橋萩原君の援助せられたる所尠からず依て茲に記して感謝す

第四室は地震計室にして中央に大森式南北動微動計（實動を百二十倍に描く裝置）仝東西動及南北動地動計（両器とも實動を二十倍に描くもの）簡單微動計（東西並に南北動を各六十倍に描くもの）上下動地動計（二十倍）「グレー、ミルン」形普通地震計東西並に南北動（各五倍）上下動（十倍）大震計東西、南北、上下動（孰れも實動を描けり）及「リシャール」形自記微壓計等を配置し周圍には東京天文臺より直通の報時器、經線儀及特種地震の記錄、圖書、地球儀等を置き周圍の壁には大森理學博士の撮影に係る伊國「メッシナ、レッジオ」の震災大寫眞、今村理學博士の撮影に係る江濃大地震の震災寫眞、本邦地質大地圖其他當所觀測の遠近地震の記錄數十種を掲け一目にして遠地の地震と近距離地震とを此記錄に依りて識別するの便に供し又英領印度、北米桑港、南米智利、伊國「メッシナ」大地震の當所地動計記錄等を展へ之れに關する各國の報告並に寫眞等を添付し彼是參考に供し又大正元年九月二十三日颱風襲來の時に於ける地の脈動及　故山階宮殿下御觀測の地動計記錄及世界の地震分布圖等を掲け次の室には世界の地震帶圖並に本邦地震分布圖世界の大地震帶より起りたる近年の大地震を當所にて觀測したるものを震源帶別とし其年月日等を詳記したる一覽表を掲け其側には畿内附近の小地震帶を示したる圖を配置し其地震帶に起りたる顯著なる地震即ち慶長元年六月伏見の大地震、寛文二年五月及天保元年七月淀川流域の地震安政元年六月大和伊賀の大地震々域圖、寶永四年十月及安政元年十一月の地震大津浪の震域並に津浪の害を受けたる區域圖等を掲け又大阪にて人身に感覺ありたる地震回數並に地動計にて觀測したる地震回數統計圖を配置せり

第五室は圖書室にして外國及日本の氣象報告書並に天文、曆等に關する圖書を陳列して閲覽を自由たらしめ其附近の壁にモーハウスC彗星ハレー彗星デラヴワン彗星等の寫眞數種を列へ又世界地圖に各國の切手を貼付して本所と報告物の交換ヶ所を示し又下野所長が琉球諸島に測候所建設のため出張せられたるとき採集したる珍奇なる貝類を添列したり

第六室は高層氣象と海上氣象に關する參考品を配置し航空飛行機の飛揚前には測風氣球を飛はし經緯儀を以て其氣

一月大噴火をなしたる櫻島の熔岩、輕石、火山灰及其當時の實況寫眞、日本の火山帶、各火山の噴火寫眞、櫻島、伊豆大島、信州淺間の火山彈其他孔底孔緣等より採集したる熔岩を配列し又大正元年九月大阪を通過したる颱風の際當所にて觀測したる氣壓、風向、風力、雨量等を大圖となし暴風の襲來する時は氣壓は次第に低下し風は增々狂暴を逞すと雖も颱風中心に入りたるときは却て風力衰へ時として蒼天を見恰も暴風は歇みたる如くなるも其中心の移動するや忽ち大暴風雨となり建物の倒潰は大阪地方にありては多くは此の時に起るを知らし其側には大阪に於ける大洪水の雨量及河川の水位を示し又一方には自報寒暖計を置き之れに電鈴を附して結霜豫知用として頗る便利なる理由を說き其中央には「リシャール」形自記濕度計、仝蒸發計、「ヒース」形自記寒暖計、簡單濕度計、獨逸製晴雨人形、簡單測風器、「ロビンソン」風力計之れには電接回數自記器並に電氣盤に連結して實地觀測の模樣を見せしめ又自記雨量計も上部の漏斗に水を入れ之れを本器に注入せしめ降雨に模擬して雨量觀測を見せしめ「リシャール」形自記晴雨計及寒暖計は何れも新案なる揭示臺に載せ置き一般公衆に氣壓、氣溫の變化より濕度、蒸發の模樣、風、雨等の觀測狀況を目前に觀覽せしめ他方には「アスマン」通風乾濕計、最高最低寒暖計「メーゾン」形乾濕計、地中寒暖計其他數種を陳列したり

第三室は晴雨計室にして英國「キユウ」準基晴雨計、「カセトメートル」普通準基晴雨計、自記水銀晴雨計、測高用水銀晴雨計、船舶用水銀晴雨計、空盒晴雨計、數種空盒晴雨計檢定器「バロサイクロメートル」等を置き他の一方には六分儀水銀盤を置きて天体觀測に依りて時を檢する方法を示し周圍の壁には各國の天氣圖即ち英、佛、獨、墺、伊、白、「アルゼリア」北米合衆國、南米智利並に「アルゼンチン」、日本、支那の數種を配置し又二百十日の曆に載せたる由來、二百十日前後に暴風雨のある理由、颱風の發生地及其進路圖、颱風の大阪附近を通過したるときと九州附近及東京附近を通過したるときの當所に於ける氣壓、風の變化より降雨の模樣を比較したる圖、氣溫と人の死亡數との對照其他暴風雨の天氣圖と被害寫眞等を配列せり

數校の觀覽ありて其數實に千五百名に達せり今當所内に陳列したる器械圖書等を概記するに

室内を七室に分類し第一室は簡易通俗的に配列し本年夏は特に暑氣烈しかりしを以て本邦及支那東部に於ける各地の最高氣溫を圖に現はし其側に幅六尺竪七尺の夏の大天氣圖を作りて暑氣の起る原因を明にし又八九月の頃マリアナ群島附近より颱風發生し屢々本邦に襲來し大慘害を釀すを以て其一例を示さん爲め本年八月三十日濱松附近より上陸して北進したる颱風當時の仝形天氣圖を作り日本は世界にても有名なる暴風圖なることを示し其側には前日と當日の仝形天氣圖を作製して天氣の推移する模樣を了解せしめ次には萬國著名なる都市約百三十ヶ所を撰ひて平均氣溫及降水量を何れも二間以上の圖に現はし萬國に於ける溫度の高低より降雨の多寡を一目瞭然たらしめ其中央にはスエズ以東に冠たる大阪の煤煙降下實測の量を示し又寒暖計の良否は寒暖計試驗器を以て檢定することを知らしめ其他簡單雨量計、蒸發計、比重計、等を備へ天上には風及天氣の信號旗を交叉し周圍には信號燈、信號標を置きて信號方法を了解せしめたり

第二室は一室より通路を求め爰に入れは周圍には大なる世界地圖に本初子午線即ち萬國標準時及各國の標準時を配當し萬國標準時の正午のときには各國標準時は何時なるかを示し又日本中央標準時の正午には各國の標準時の何時なるかを現はし之れに時計仕掛にて廻轉しつゝある地球儀（此の地球儀は外環に日本標準の時を刻みありて其外に太陽の位置を示せる球を附着しあるを以て太陽の位置より各國の正午時を簡便に見得らるゝもの）日時計、正午計を添へ一目して各國の時刻及其差を知らしめ且つ本邦に於て標準時を實施したる明治二十一年の本暦をも參考の爲め配置せり其側には地中の溫度を地面より七米迄十二段に分ちて觀測したる結果により一日中並に一年中の變化を示し之れに地中溫度の不易層に達する深さ等の詳細なる說明を添付せり其右には大阪に於ける天氣の型式即ち晴天の時、天候險惡とならんとする時、梅雨及冬の季節風旺盛の時等の天氣圖を掲け氣壓の配布と天氣との關係を知らしめ又大正元年九月二十三日大阪灣を通過したる颱風の天氣圖、雲級圖及本邦の隆起地形圖等を掲け其次には本年

十月一日	午前二時	七四四、三	一七、八	北	一九、〇	九、八	雨
仝	仝三時	七四三、四	一八、六	北	一二、六	二、九	雨
仝	仝四時	七四七、七	二〇、三	西	四、四	〇、三	雨
仝	仝五時	七四九、一	二〇、三	西	一七、二	〇、一	雨
仝	仝六時	七五〇、三	一九、八	西	一三、三	〇、〇	雨
仝	仝七時	七五一、三	一九、四	西	七、〇	一、五	雨
仝	仝八時	七五二、一	二〇、三	西	六、九	〇、六	雨
仝	仝九時	七五三、一	二〇、三	西	六、八	〇、三	雨
仝	仝十時	七五四、三	二〇、一	北西	一〇、四	〇、〇	雨
十月一日	仝午前十一時	七五四、〇	二〇、三	北北西	一〇、九	〇、五	雨
仝	正午	七五五、五	二一、三	北北西	一一、七	〇、〇	晴
仝	午後一時	七五六、一	二一、三	北西	一五、三	—	曇
仝	仝二時	七五六、三	二一、六	北北西	九、二	—	曇
仝	仝三時	七五七、〇	二一、三	北北西	六、九	—	晴
仝	仝四時	七五七、六	二一、五	北	八、五	—	晴
仝	仝五時	七五八、三	二一、二	北	六、五	—	快晴
仝	仝六時	七五八、九	一九、三	北	七、三	—	快晴
仝							

技手　圓岡平太郎
技手　稻森佐市郎
技手　芝野　彊

●當所の公開

近時科學の進運に伴ひ氣象の應用は著しく增加し或は產業に或は工業に或は土功農業等種々の方面に密接なる關係を有するを以て當府の諸氏は測候所を訪ひ器械の設備より觀測したる結果を調査し以て各々事業を劃策せんとして來觀するもの頗る增加せり然るに當測候所は人少にして晝夜の觀測及其他の事務に忙殺せられ殆んと餘裕なきか故に時としては其意に應すること能はすして謝絶すること往々あり當事者は常に遺憾としつゝありしか昨秋種々都合をなし觀覽希望者及謝絶されたる人々の意を滿さんか爲め當所の器械圖書等全部を配列し開放せしとありしか豫想外の觀覽者ありて孰れも熱心に觀覽せられたり依て本年も十月二日より三日間正午より午後四時迄昨年の如く所內を公開し一般公衆の觀覽に供し且つ所員總掛にて持區を定め詳細に說明を加へ、觀覽者の數は次第に增し其雜沓甚しく警官數名警戒の任に當り入場者は二日に千名三日には二千名を超へ四日には尙一層多く二千五百名を超過し頗る盛況を呈したり又學生諸氏の團体見學申込は總て四日以後となせしに高等師範より小學校に至る各階級の學生日々

し就中被害の最も甚たしき鹿兒島縣にては住家の全倒百八十一戸全半倒二百五十五にして家屋の浸水七百五十七に及へり又神奈川縣下江之島附近の海上にては高浪の爲め漁船十九隻沈沒し乘組員生死不明のもの亦尠からさりし大阪地方は二十九日朝より小雨斷續し北東風吹き氣壓徐々下降せしか三十日午前二時五十分より雨勢加はり風向は北東にして午後より氣壓急降を始め仝九時頃より風雨となり十月一日午前一時より二時に至る間最も强く最大風速度は一日午前一時三十分に於て毎秒二十一米九を示し雨も亦た仝時最も烈しく一時間九粍八を豪注し氣壓は仝三時に於て最低七百四十三粍四を示せり今毎時觀測の結果を抄記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
九月三十日	午前一時	七六〇、二	一六、九	北東	六、一	—	雲
仝	二時	七五九、七	一六、九	北東	六、五	—	曇
仝	三時	七六〇、〇	一六、六	北東	五、六	〇、二	雨
仝	四時	七五九、七	一六、二	北東	五、二	一、四	雨
仝	五時	七五九、八	一六、二	北東	五、二	一、一	雨
仝	六時	七五九、八	一六、一	北東	四、五	三、七	雨
仝	七時	七五九、八	一六、一	北東	五、三	二、八	雨
仝	八時	七五九、五	一六、五	北い	五、三	二、五	雨
仝	九時	七五九、九	一六、七	北東	五、四	七、四	雨
仝	十時	七五九、一	一六、九	北東	六、五	二、七	雨
仝	十一時	七五九、〇	一七、二	北東	六、一	二、〇	雨
仝	正午	七五八、四	一七、三	北北東	六、一	二、〇	雨
仝	午後一時	七五七、八	一七、八	北東	六、二	二、六	雨
仝	二時	七五七、三	一七、八	北東	六、九	二、〇	雨
仝	三時	七五六、三	一八、二	北東	七、九	〇、五	曇
仝	四時	七五六、一	一八、〇	北東	七、五	〇、八	雨
仝	五時	七五五、七	一七、七	北東	八、二	五、三	雨
仝	六時	七五五、二	一七、八	北東	七、九	四、〇	雨
仝	七時	七五四、二	一七、六	北東	八、六	二、四	雨
仝	八時	七五四、七	一七、七	北東	八、五	一、九	雨
仝	九時	七五三、四	一七、五	北東	一〇、八	一、五	雨
仝	十時	七五二、七	一七、七	北北東	一一、九	—	雨
仝	十時三十分	七五〇、七	一七、六	北東	一二、五	七、九	雨
仝	十一時	七四九、八	一七、七	北北東	一三、五	—	雨
仝	十一時三十分	七四七、七	一七、六	北北東	一三、五	—	雨
仝	十二時	七四六、八	一八、一	北北東	一七、五	八、二	雨
仝	十二時三十分	七四六、五	一八、一	北北東	一三、八	—	雨
仝	夜半	七四四、七	一八、二	北	一二、九	五、五	雨
仝	午前零時三十分	七四四、三	一七、九	北	一四、八	—	雨
仝	一時	七四四、〇	一七、四	北	一〇、六	八、九	雨
仝	二時三十分	七四二、九	一七、九	北北西	一二、九	—	雨

紀州潮岬の南西方海上に到り遂に日向洋を突き十四日朝四國西部に上陸し方向を北東に轉し仝日午前九時頃松山附近を通過し內海に入り中國を斜に横きり仝夜能登半島を掠め十五日奥羽地方及北海道東部を經由し十六日千島南部に經過し去れり

此颱風は頗る優勢なるものにして其經路附近に著るしき暴風雨を起こし多大なる慘害を醸したり殊に東海道地方にては多量の降雨あり各地の河川氾濫して交通杜絶し人畜の死傷、家屋の潰倒等あり堤防破壞、橋梁流失、浸水家屋等は枚擧に遑あらす、高知縣にては西部幡多郡に於て家屋全潰千五十二戸、仝半潰八百二十一に達し中村町に於ては慘害最も甚たしく死者三名重輕傷者三名を出し宿毛町にては出漁船多かりし爲め十一名死亡し十五名行方不明となり其他漁舟船舶の遭難せしものも亦少からすと云ふ大阪地方は十三日午前五時二十分より小雨降り始め斷續し午後四時三十分より雨勢加はり時々大雨を交へしか風力弱く十四日午前十時五十五分雨歇み午後一時頃風向東より南東を經て南に變り風力增勢し仝三時過より强風となり仝十一時まて吹き續き夜に入り小雨ありしか仝十時二十五分歇み天候恢復し晴天となれり而して最低氣壓は十四日午後三時の七百五十粍七、最大風速度は仝日午後十時の每秒十五米三なり

第四の颱風は二十四日亞比島の北西方洋上に顯はれ北西に進み二十九日朝石垣島の南方洋上に來りて進路を北東に轉向し三十日午後九州南端大隅半島に殺到し土佐灘を通過し仝夜紀州半島を横きり十月一日朝東海道を通過し鹿島灘に入り二日千島南方洋上に經過し去れり

此颱風は猛烈なる暴風雨を伴ひ所により著るしき災害を醸したり石垣島にては九月二十九日午前六時二十分氣壓七百二十二粍六に降り仝日午前四時風速度每秒五十一米五に達し潮岬にては十月一日午前一時氣壓七百二十五粍三に下降し仝日午前二時風速度每秒四十二米四に及へり之れを以て九州より關東地方に亘りて堤防決潰、橋梁流失、家屋の潰倒等尠からす鐵道線路亦破壞し交通一時杜絶したる所あり海上にては漁舟船舶の沈沒又は遭難せるもの頗る多

附近より支那大陸に入り八日南京と鄱陽湖の中間に到りて北東に轉向し九日山東及遼東半島を掠め十一日滿洲北部に經過し去れり此颱風の通過に際し八重山群島及臺灣北部に猛烈なる暴風雨起り被害尠からす石垣島にては五日午後十一時四十分氣壓七百十一粍三に下降し六日午前三時風速度毎秒六十九米四に達せり臺灣にては風力の最も强暴なりしは基隆にして五日夜半頃より颶風に達し其最强は六日午前九時毎秒四十四米九に及ひ降雨の最も多かりしは臺北にして百九十二粍を測れり之れを以て臺灣島の被害は家屋の全潰せるもの六百十、半潰七百七十六、破損千二百八十八の多數に達し死者一人負傷七人を出せり又山東半島及遼東半島にては八日より九日に亘りて著るしき暴風雨となり芝罘にては八日午後六時風速度毎秒三十三米六に達し仝日午前六時より九日午後九時に至るまての雨量三百粍以上に上り爲めに仝市内にては家屋建物の潰倒、橋梁流失、道路崩壞人畜死傷等あり著るしき風水の害を被むれり

第二の颱風は七日馬利亞那群島の北西方洋上に顯はれ北西に進み九日の夜沖繩島を横きり支那東海に入り十一日朝朝鮮南方洋上に到りて北東に轉向し仝日午後朝鮮に上陸し十二日朝仁川と江陵との間を通過し日本海に入り補捉の南方を經て十三日樺太島を横斷し阿哥斯克海に經過し去れり

此颱風の通過に際し琉球及朝鮮にては著るしき暴風雨起り被害尠からす那覇にては九日午後十一時氣壓七百三十四粍九に降り仝日午後十時風速度毎秒二十一米八に達し木浦にては十一日午後十時氣壓七百三十四粍四に下降し仝日午後十一時風速度毎秒四十六米六に及へり朝鮮北部雄基にては十一日夜より十二日正午に亘りて近年稀なる豪雨あり雄基川溢して洪水を來たし爲めに仝地方にては家屋の浸水せるもの夥しく橋梁、家屋の流失、人畜死傷等あり交通一時杜絶するに至れり九州西部も亦た風力强かりしか大阪地方は十二日午前小雨ありしのみにして大したる風雨なかりし

第三の颱風は十一日馬利亞那群島の北方洋上に顯はれ北西に進み十二日朝小笠原列島の南方洋上を經て十三日午後

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時四十分四十一秒に於て二十六「ミクロン」振動期二秒九、南北動は午前九時四十分三十九秒に於て三十六「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は六分三十六秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は備後洋に發したるものにして讃岐の多度津にては微震を感じたりと云ふ

一二七　九月十七日午前五時三十五分三十一秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十五秒にして主要動となり最大振幅は午前五時三十六分十六秒に於て十九「ミクロン」振動期一秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は十二分四十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は備後洋に發したるものにして震域東方は紀伊の南部に達し南方は四國の南部に及びて長徑十五里短徑十五里を有し弱震を感じたる面積は六百九十八方里にして多度津、高知にては弱震を感じ家屋動搖したりと云ふ

一二八　九月二十二日午後零時五十三分五十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分九秒にして主要動となり最大振幅は午後零時五十五分五十二秒に於て二十四「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分四十二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は岩代國須賀川附近に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は東京灣沿岸に達し西方は駿河邊に及びて長徑四十里短徑三十里に亘りたれども孰れも微震にして有感震微震部は三千七百二十方里なり

●九月中の顯著暴風雨

本月は颱風の襲來稍々多く上半月に二回、月末に一回都合四回顯著なる颱風襲來し暴風雨を起せり

第一の颱風は二日亞比島の北西洋上に顯はれ北西に進み五日夜石垣島の西方を經て六日朝臺灣の北方を通過し福州

時五十八分零秒に於て九十「ミクロン」振動期五秒八、南北動は午前一時五十八分零秒に於て百五十七「ミクロン」振動期七秒二を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十八分五十二秒、南北動は二十八分五十六秒なり

附記　此地震は三陸沖に發したるものにして震域北方は北海道の函館に南方は水戸附近に達し石巻にては烈震を感じたり

一二四　九月十二日午後二時十四分十三秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時十五分八秒に於て四十七「ミクロン」振動期一秒九南北動は午後二時十五分十三秒に於て五十「ミクロン」振動期二秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十一分二十七秒南北動は十一分五十秒なり

附記　此地震は備後洋に發したるものにして震域西方は九州の東部に北東方は丹後の宮津邊に達し南方は四國全土に亘りて長徑三十五里短徑二十五里を有し弱震を感じたる面積は千四十二方里有感覺微震部は二千七百十二方里にして四國の北部は性質急なる烈震を感じ地鳴を伴ひたる所あり

一二五　九月十五日午前八時五十二分十秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども東西動は午前八時五十九分三十六秒に於て九十二「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午前八時五十九分五十六秒に於て四十七「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十一分十六秒、南北動は四十分二十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

大阪	午前八時五二分一〇秒	
仁川	仝 八時五二分二三秒	
ジカウエー（支那上海）	仝 八時五三分〇五秒	

一二六　九月十五日午前九時四十分八秒の地震

降り斷續して翌日に亘る●三十日前日來の雨繼續して翌日に亘り所々に强風吹けり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

P は第一初期微動の發震時、S は第二初期微動全上、L は長波又は主要部全上、M は主要部の最大動、E は終期の最大動、F は振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月は地震極めて少かりしも備後洋には稍々多かりし而して月中に地震を觀測したる數は七回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものも亦た一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは五回即ち備後洋三回、三陸沖、岩代國須賀川附近各一回なり又遠距離地震は二回にして未た震源詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一二二　九月三日午前五時二十五分二十八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども東西動は午前五時三十八分十六秒に於て十二「ミクロン」振動期九秒六、南北動は午前五時四十一分十三秒に於て十七「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十二分四十一秒南北動は四十三分四秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども函館の地動計にも感じたりと云ふ

一二三　九月十二日午前一時五十四分五十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分二十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一

廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	全月
六、四	—	一、五	〇、七	—	—	—	一三、六	八、六	一八〇、〇
六、五	—	二、一	三、三	—	—	—	一六、一	七、五	一八五、九
二、[illegible]	〇、五	〇、五	九、七	—	—	—	一四、四	六二、三	一四五、八
一、[illegible]	—	〇、八	三、五	〇、三	—	〇、一	三〇、三	六〇、三	一三五、四
〇、五	—	〇、六	四、〇	—	—	—	二三、三	五八、四	一三七、三
〇、九	—	〇、六	〇、七	—	—	〇、三	二〇、三	五三、一	一三三、三
〇、八	—	〇、四	一、三	—	—	一、〇	一九、七	六四、五	一二一、九
〇、三	—	〇、五	一、六	—	—	〇、五	二二、〇	六九、三	一二七、九
一、三	—	〇、八	〇、三	—	—	二、〇	二一、〇	五〇、六	一二三、四
三、六	—	〇、六	一、六	—	—	〇、九	二六、〇	六四、三	一三五、七
四、〇	—	一、〇	—	—	—	—	三五、三	五九、三	一三三、五
〇、九	—	一、五	—	—	—	—	二七、五	三六、四	一三〇、〇
三、〇	—	—	—	—	—	—	二一、〇	三五、〇	一二六、六
—	[illegible]	[illegible]	〇、一	—	—	一、〇	一五、五	七五、〇	一三六、一
—	—	—	—	—	—	五、〇	二四、五	四七、〇	一三五、五
—	—	—	—	—	—	〇、一	三六、〇	六六、六	一四一、三
二、三	—	—	—	—	—	二、四	二四、〇	六七、〇	一三六、四
—	—	〇、四	一、三	—	—	三、三	三三、一	六七、三	一三七、四
—	—	〇、三	—	—	—	—	三〇、[illegible]	六八、〇	一二四、九
〇、八	—	—	一、〇	—	—	—	一五、七	七〇、〇	一三八、〇
〇、八	—	一、五	七、五	—	—	—	二四、五	七五、〇	一二四、三
一〇、三	—	—	一、八	—	—	—	二四、三	七三、五	一六〇、三

管內天氣摘要

●一日晴曇相半し長承寺、大阪に雨降り大阪に強風吹けり●二日概ね晴天大阪に雨降れり●三日概ね晴天大阪に強風吹けり●四日概ね晴天大阪に強風吹けり●五日概ね晴天●六日概ね晴天茨木、清水、枚方に雨降れり●七日概ね晴天●八日概ね晴天●九日概ね晴天●十日概ね晴天●十一日概ね晴天大阪に強風吹けり●十二日概ね晴天大阪、妙見山、天王、清水に雨降れり●十三日概ね曇天一般に雨降れり●十四日概ね曇天一般に雨降り南部及大阪、東郷に強風吹けり●十五日晴曇相半す●十六日概ね晴天夜半雷鳴あり●十七日未明雷鳴と共に豪雨あり後概ね晴天大阪に強風吹けり●十八日概ね晴天茨木に濃霧あり●十九日概ね晴天●二十日概ね晴天長承寺、堺、大阪、茨木、富田林に雨降れり●二十一日概ね晴天清水に雨降り大阪に強風吹けり●二十二日概ね雨天●二十三日概ね晴天妙見山に雨降り大阪に強風吹けり●二十四日概ね晴天所々に雨降れり●二十五日概ね曇天所々に雨降り尾崎に強風吹けり●二十六日概ね晴天所々に雨降り尾崎に強風吹けり●二十七日晴曇相半す●二十八日晴曇相半す●二十九日午前より雨

第五表　管內降水日量

九月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	五、一	一、九	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	〇、五	〇、五	〇、二	〇、二	〇、一	〇、三	〇、四	〇、二	〇、三	一、六	—	—	—	〇、一	五、〇	四、八	一、〇	五、二	一、五	二、二	五、七	〇、〇
十三日	五一、〇	五三、七	二五、四	二〇、二	二八、四	三〇、八	一八、一	二八、〇	一六、九	一九、七	一七、一	二五、五	二一、〇	一九、〇	二一、五	一八、〇	二四、五	二一、九	一七、五	一六、一	二五、五	二三、二
十四日	一、四	—	二、一	四、八	五、〇	二、六	四、八	一、七	三、二	五、七	五、〇	五、二	七、〇	一三、二	八、〇	一五、一	五、七	六、四	四、八	七、六	七、一	三、五
十五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十六日	二三、八	二七、二	一九、〇	一三、四	一七、四	二〇、二	四、九	三、〇	一、八	一、八	六、〇	六、〇	一〇、六	八、四	二、五	二、二	四、〇	六、七	一六、五	一一、二	二三、一	一〇、八
十七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十九日	—	—	—	〇、二	〇、四	〇、二	〇、一	〇、〇	—	〇、二	—	—	—	—	一、〇	—	—	—	—	—	〇、〇	—
二十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廿一日	〇、五	—	—	〇、二	〇、二	二、三	六、〇	〇、〇	一四、三	—	一六、〇	一〇、〇	八、〇	一、四	一〇、〇	三、四	〇、〇	五、〇	六、〇	一、四	三、五	一、〇

觀測所	空氣ノ温度 平均最高	平均最低	平均	本年平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量	本年平年ヨリ	最多日量	起日
深日	二九、六	二〇、三	二五、〇	▲一、六	三四、九	二	一四、五	二四	一八〇、[illegible]	三三、四	八〇、六	三〇
尾崎	三〇、〇	一九、六	二四、八	▲一、五	三五、〇	一	一三、五	二八、二四	一八五、九	一二、四	七七、五	三〇
岸和田	二八、五	一九、九	二四、二	▲一、一	三三、六	一三	一四、〇	八	一四五、八	二五、一	六一、[illegible]	三〇
長承寺	二九、二	一八、八	二四、〇	▲〇、八	三四、一	一〇	一二、五	二八	一二五、四	四一、[illegible]	六〇、二	三〇
濱寺	三〇、五	二〇、一	二五、三	—	三七、〇	九	一三、〇	二八	一二七、三	—	五八、四	三〇
堺	三〇、〇	二〇、三	二五、一	▲一、五	三五、八	一三	一三、五	二八	一三三、三	二一、四	五三、一	三〇
天王寺	二九、九	二〇、七	二五、三	▲一、八	三五、四	一三	一三、二	二八	一三一、九	四七、六	六四、五	三〇
大阪	二九、四	二〇、七	二五、〇	▲一、四	三五、三	一三	一四、二	二八	一二七、九	五五、七	六九、三	三〇
鶴島	三〇、四	二〇、四	二五、四	▲二、二	三五、九	一三	一三、二	二八	一二一、四	六二、五	五〇、六	三〇
新庄	二九、二	一九、八	二四、五	▲一、三	三五、〇	一三	一三、〇	二八	一二五、七	六一、五	六四、三	三〇
池田	二九、九	一九、六	二四、八	▲一、五	三四、五	一三	一二、一	二八	一[illegible]、五	七一、九	五九、三	三〇
妙見山	二三、五	一六、〇	一九、七	▲〇、六	二八、六	一三、二二	五、九	二八	一三三、〇	八三、二	六六、四	三〇
東郷	二八、二	一七、二	二三、七	▲一、一	三三、二	四、二二	八、九	二八	一二三、六	九五、八	五六、〇	三〇
天王	二六、〇	一五、七	二〇、九	▲一、三	三一、八	一三	七、九	二八	一三六、一	一六六、八	七五、〇	三〇
茨木	三〇、六	一九、四	二五、〇	▲一、六	三六、三	一〇	一二、四	二八	一三五、五	六六、九	四七、〇	三〇
清水	二九、二	一九、四	二四、三	▲一、五	三四、三	六	一二、九	二八	一四一、[illegible]	五八、七	六六、六	三〇
枚方	三〇、一	一九、七	二四、九	▲一、三	三四、五	三	一三、〇	二八	一三三、四	五六、三	六七、〇	三〇
田原	二九、二	一七、六	二三、四	▲一、三	三四、〇	一三	一〇、二	二八	一二七、四	七六、三	六七、三	三〇
八尾	三〇、八	一九、五	二五、三	▲一、八	三六、五	一三	一二、八	二八	一二四、九	三四、五	六八、〇	三〇
柏原	三〇、五	一八、二	二四、三	▲一、一	三六、六	一三	一二、〇	八	一二六、[illegible]	四八、六	七〇、〇	三〇
富田林	二九、九	一八、六	二四、三	▲一、三	三五、五	一三	一二、四	二八	一七四、二	一〇、一	七四、二	三〇
長野	二八、三	一八、三	二三、三	▲一、四	三三、一	九	一三、二	二八	一六〇、二	四七、三	七二、五	三〇

觀測所	午前十時(柏原ハ午前九時) 氣温	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	二七、二	六五	四、六	北	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一三	九	二
尾崎	二六、〇	七一	四、四	北東	八		〇	〇	〇	一	〇	一〇	六	四
岸和田	二五、七	六八	三、二	北	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一九	六	二
長承寺	二六、七	六八	四、四	北東	一一	〇	〇	〇	〇	二	〇	一五	一〇	二
濱寺	二七、五	六〇	四、一	東	二	〇	〇	〇	〇	一	〇	九	二	一
堺	二六、六	六三	四、三	北東・東	一二	〇	〇	〇	〇	二	〇	一七	一二	二
天王寺	二七、〇	六三	四、三	西	一二	〇	〇	〇	〇	二	〇	一六	九	〇
大阪	二六、七	六三	四、七	北・東	一〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	一五	二	九
鶴島	二七、〇	六六	三、七	北東	二	〇	〇	〇	〇	二	〇	一八	八	〇
新庄	二六、五	六九	四、八	東	一三	〇	〇	〇	〇	一	〇	一四	二	〇
池田	二七、一	六七	四、一	南西	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	二	七	〇
妙見山	二〇、〇	八七	四、六	北	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	八	七	〇
東郷	二四、四	六五	四、七	北東・南	七	〇	〇	〇	〇	一	〇	一〇	六	二
天王	二二、三	七四	四、二	西	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一四	六	〇
茨木	二七、三	六六	四、一	東	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一四	九	〇
清水	二六、一	七一	四、五	東	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	七	〇
枚方	二七、二	六一	四、七	北・北東	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一四	一〇	〇
田原	二六、〇	七一	五、[illegible]	東	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	六	一〇	一
八尾	二七、六	六八	四、[illegible]	東	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	一七	九	〇
柏原	二六、五	六八	四、五	東	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一五	二	〇
富田林	二六、四	七四	五、二	北東	一〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一三	一四	〇
長野	二五、一	七三	五、二	北	九	〇	〇	〇	〇	一	〇	八	九	一

を豪注せり然れとも月平均氣温は孰れも平年より一度乃至二度の高温を示し降水量は平年の三分の二内外に止まれり更に項を追ふて氣温、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は西部福島の二十五度四より北部妙見山の十九度七の間にありて之れを平年に比すれは一般に一度乃至二度の高温を示せり而して最高は概ね三日に現はれ南部濱寺の三十七度〇東部柏原の三十六度六仝八尾の三十六度五西部茨木の三十六度二を高極とし西部福島の三十五度九、南部堺の三十五度八之れに亞き其他は三十五度より三十二度の間にありしか獨り妙見山は二十八度六に止まれり又最低は二十八日に現はれ北部妙見山の五度九を低極とし仝天王の七度九仝東郷の八度九之れに亞き其他は十度より十四度の間にあり之れを要するに本月の氣温は最高三十七度〇より最低五度九の間にありて其較差は三十一度一に達せり

降水

總量は南部尾崎の百八十五粍九より西部福島の百十二粍四の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく北部の山間は平年の約二分の一にして其他にも平年の三分の一に達せさる所あり而して日量の最多は三十日の豪雨の際にありて其最も多きは深日の八十粍六之れに亞くは尾崎の七十七粍五、天王及富田林の七十五粍〇、長野の七十二粍五、柏原の七十粍〇なり又日量の六十粍以上なりしは岸和田、長承寺、天王寺、大阪、新庄、清水、枚方、田原、八尾の九ヶ所にして其他は五十粍以上なりしも茨木は四十七粍〇、妙見山は三十六粍四に過きさりき

雷雨

十六日午後十一時頃大阪灣の西方より起り南方に進み和泉の沿岸より上陸して翌十七日午前三時頃東方に經過したるものあり此の中心經路に當りたる和泉沿岸地方は強雷となり豪雨を伴ひ暫時にして二十粍内外を降注せしか漸次東方に移動するに從ひ平穏に歸せり

（表中▲印は高又は多）

	時量最多	蒸發量	日照時數	地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	百二十糎	三百糎	五百糎	七百糎	風向	觀測回數	平年比較
	—	一八六、八	三四、九五	二七、一七	二六、八五	二七、五八	二七、七四	二七、一八	二五、三四	一八、四九	一六、三〇	一六、三二	北		
	—	三五、一	二六、六三	二、一一	一、九四	二、二四	二、二四	一、九七	一、三〇	〇、五四	〇、一三	〇、〇一	北東	一六六	▲ 三一
	八、一	一〇、四	一一、三〇	三一、六	三一、六	三〇、四	三〇、一	二八、四	二四、七	一九、〇	一六、八	一六、四	東	二〇六	三六
	三〇	八	五	二	三	二	五	八六五	二九	三〇	三〇	三〇	南東	六二	三〇
	—	一、二	—	一四、八	一九、〇	二三、五	二二、四	三一、七	二五、七	一八、〇	一六、二	一六、一	南	二九	四
	—	三〇	—	二六	三〇	二九	三〇	三〇	一七	二三	二四	一二	南西	三一	▲ 五
温度	平年に比し	飽差	平年に比し	降水量	平年に比し	雲量	平年に比し	日照時數	平年に比し	風速度	平年に比し		北西	二九	▲ 五五
七四、二	▲ 三、〇	七、二	▲ 〇、〇八	一、二	九、七	四、七	▲ 〇、一	四三、六〇	▲ 一、九五	六、一五	▲ 〇、四〇		北西	八〇	▲ 二
七一、五	三、六	八、三一	▲ 二、〇四	—	三、九	四、〇	〇、九	五一、九〇	▲ 二、一六	四、五四	▲ 〇、三〇		靜穩	一六	三
六六、八	八、七	九、五〇	▲ 三、七七	〇、〇	三、七	一、九	四、八	五〇、〇〇	▲ 二、〇三	四、八三	▲ 〇、三〇		平均方向	二	一
七五、四	二、八	六、一四	▲ 一、三三	四、三	〇、八	五、四	一、五	四四、三〇	五、大	四、八九	▲ 一、〇四		百分率	北四五度東	
七一、八	五、二	六、五九	▲ 一、七四	〇、三	五七、〇	三、七	二、八	三九、二五	▲ 二、八〇	三、八八	〇、四六				
六八、九	五、四	六、〇七	一、二五	二、三	三、四	六、三	〇、八	三七、三〇	三、六四	三、一九	一、〇一			四三	

大阪府管內氣象概況

前項に詳記せるか如く九月は暑候より寒候に遷らんとする所謂氣候變遷期なるを以て月の上半は夏季の狀態を呈し高溫連日に亘れとも下半は漸次秋季の狀態に遷り冷氣を催し降雨は前月に比すれは著しく增加するを常とす而して本年九月の氣候を調査するに月の上半は前月來の氣象を繼承して氣溫高く晴燥寡雨に經過したれとも下半に入りては稍々冷氣となり降雨多く月末に至りては一層冷氣を增し北部妙見山に於て五度九に降り三十日には一帶に大雨

全月	三〇、三	三六、八	三七、〇	三七、七	三七、三	一六、三	午前四時十一分より四時四十分迄小雨斷續せり
三十日	三〇、三	三〇、二	三三、六	三三、九	三四、三	一四、五	朝露あり午後二時乃至三時強風吹けり、夜露あり
廿九日	三六、二	三二、七	三三、六	三四、三	三五、〇	一三、九	朝薄露あり午後五時五十分より十一時二十五分迄微雨斷續せり
廿八日	三二、五	三三、五	三四、八	三四、七	三五、七	一二、八	午前零時二十三分より小雨斷續して翌曉に至る
廿七日	三二、九	三三、四	三四、七	三五、三	三五、六	一二、八	朝露あり
廿六日	三三、三	三四、四	三五、二	三五、五	三五、七	一四、三	前日來の小雨斷續して午前零時三十八分歇み午後五時十三分より十五分迄又小雨夜半薄露あり
廿五日	三三、五	三三、三	三五、三	三五、七	三六、〇	一六、三	同上
廿四日	三四、八	三四、二	三五、三	三五、九	三六、三	一二、九	午前一時五十九分より小雨斷續して午後七時十分歇む
廿三日	三四、三	三四、五	三五、八	三六、四	三六、五	三三、五	午前二時五十分より降雨斷續して夜半に至る、午後九時より夜半迄強風吹けり
廿二日	三三、九	三三、八	三六、八	三七、一	三六、七	一六、三	

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高又は多、強）

全月觀測成績

種目	平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七六〇、九七▲	〇、三五	七六五、三	一四	七四五、三	三
氣溫 平均	一四、六六▲	一、五二	—	—	—	—
氣溫 最高	一九、三六▲	一、八	二五、三	三	—	—
氣溫 最低	一〇、三三▲	一、三三	—	—	一四、三	六
氣溫 較差	八、四四▲	〇、四	一二、六	元	—	—
水蒸氣張力	一六、八▲	〇、六六	一三、八	一	九、七	三
飽和度	七三、一	一、六六	—	—	四一	三
飽和度 差	六、八八▲	一、四二	一、七	三	〇、五	三
降水 日量	一〇、三	四、六八	—	—	—	—

半旬期觀測成績

種目	自八月二十九日至九月二日	自九月三日至九月七日	自九月八日至九月十二日	自九月十三日至九月十七日	自九月十八日至九月二十二日	自九月二十三日至九月二十七日
氣壓	七六八、九九	七六一、七	七五九、八	七五六、三	七五二、一九	七五二、三五
氣溫 平均	一〇、九四▲	一、八四▲	一、三三▲	三、五五▲	二、三九▲	〇、五九▲
氣溫 最高	二六、五二	二六、三	二七、七三	二五、四九	二二、六六	二〇、九七
氣溫 最低	一、六六▲	二、九▲	二、九▲	一、九▲	一、六六▲	一、四四▲
氣溫 較差	二五、三三	二三、三	二三、五	二三、六六	二六、五六	二五、七六
水蒸氣張力	一〇、二六▲	三、五五▲	四、三三▲	二、一▲	一、八五▲	〇、六二▲
飽和度	二三、元▲	一、七六▲	一、三三▲	一、八六▲	八、八三	一六、八八
飽和度 差	二三、元▲	一、七六▲	一、三三▲	一、八六▲	八、八三	一〇、四六▲
降水 日量	二一、六六	九、六六	八、一	八、一	五、三	二、四六

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

九月	地中溫度（平均）地皮十糎	二十糎	二十糎六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	二二、六	二九、〇	二九、三	二三、九	午前二時四十五分より四時三十分迄小雨、午後三時強風吹けり
二日	二二、七	二九、八	二九、六	二四、〇	午前二時五十五分より三時十五分迄微雨
三日	二二、三	二九、九	二九、七	二三、一	朝露あり午後六時強風吹けり、午後九時五十五分より十時廿分迄月光環現る
四日	二二、八	二〇、〇	二九、八	二三、三	朝露あり午後六時強風吹けり、夜薄露あり
五日	二二、一	二九、五	二九、八	二〇、九	朝薄露あり
六日	二二、九	二九、四	二九、七	二〇、四	夜薄露あり
七日	二二、八	二九、四	二九、五	二一、一	朝露あり、午前九時五十分より十一時七分迄日暈現る、夜薄露あり
八日	二二、九	二九、三	二九、六	二〇、四	朝薄露あり
九日	二二、四	二九、一	二九、四	二一、三	—
十日	二二、三	二九、二	二九、四	二一、九	朝露あり
十一日	二二、五	二九、三	二九、四	二〇、六	朝露あり、午後二時強風吹けり
十二日	二二、二	二九、〇	二九、四	二〇、八	午前二時十五分より八時五十五分迄微雨あり、夜薄露あり
十三日	二二、九	二八、四	二九、〇	二〇、三	朝露あり、午前五時二十分より降雨時々大雨を交へ翌日に到る
十四日	二二、五	二八、三	二七、八	二〇、八	前日來の降雨午前十時五十五分一旦歇みたるも午後七時十分より又斷續して十時二十五分歇む午後四時より十一時迄強風吹けり
十五日	二二、二	二七、四	二七、六	一八、〇	朝夜薄露あり
十六日	二二、六	二七、九	二七、九	一六、九	朝露多し、夜薄露あり、午後十時五十分より西方に電雷起り翌曉に亘る前夜來の雷電午前二時三分南西に廻り二時二十分南を經て二時五十分南東に來り三時二分東方に於て收聲したれども電光に尚ほ四時三十二分迄繼續せり、午前一時五十九分より三時三十分迄雨、午後五時強風吹けり、夜薄露あり
十七日	二二、〇	二七、八	二七、三	一四、九	朝露、夜薄露あり
十八日	二一、八	二七、九	二七、三	一三、三	同上
十九日	二二、八	二七、〇	二七、〇	一四、三	朝薄露あり、午前六時五分より六時五十分迄微雨斷續し夜薄露あり
二十日	二二、九	二七、〇	二六、八	一七、二	朝露あり午後六時強風吹けり
廿一日	二八、〇	二六、九	二六、八	一六、九	

七日	七六一、三	二七、四	▲二、一	三一、八	三三、三	八、五	一九、〇	七二	八、〇	四、五	九、二	南西	西南西	四、五	▲二、〇	五、三	—	八、〇
八日	七六〇、三	二八、〇	▲三、〇	三三、四	三一、五	一〇、九	一七、六	六四	一〇、五	四、六	六、七	北東	北東	二、三	▲二、四	六、[illegible]	—	一一、四
九日	七六〇、〇	二八、三	▲二、四	三三、四	二四、六	九、一	一八、三	六六	一〇、〇	六、三	八、五	北東	北東	〇、六	▲二、五	五、[illegible]	—	九、五
十日	七六〇、九	二七、八	▲二、三	三五、〇	三三、一	一二、九	一八、八	六九	九、一	四、一	九、四	南西	東北東	一、九	▲八、八	三、[illegible]	—	八、三
十一日	七五九、九	二七、五	▲三、五	三二、八	三三、三	一〇、五	一八、一	六七	九、三	四、三	一〇、八	西南西	北東	一、三	▲一〇、[illegible]	五、[illegible]	—	七、四
十二日	七五七、九	二七、一	▲三、三	三二、〇	三三、五	八、五	一七、九	六九	八、六	四、九	九、八	南西	東	一、五	▲八、[illegible]	一、八	[illegible]	六、九
十三日	七五七、五	二七、一	▲一、八	三二、〇	三三、七	八、三	二一、四	八二	四、六	五、八	九、一	北東	北東	八、五	三、[illegible]	二、一	一四、[illegible]	五、〇
十四日	七五三、四	二六、二	▲三、三	二九、八	二四、五	五、三	二一、一	八一	五、二	八、一	一四、三	南南西	北東	九、三	二、九	三、[illegible]	一七、[illegible]	四、八
十五日	七五六、八	二六、九	▲二、四	三〇、八	三一、七	九、二	一七、一	七一	七、三	三、四	七、四	北	北	三、五	▲九、[illegible]	[illegible]	—	六、七
十六日	七五六、八	二五、六	▲一、五	三〇、五	一九、六	一〇、九	一六、二	七一	七、三	二、八	四、一	南西	北東	一、六	▲一一、六	四、四	—	六、[illegible]
十七日	七五七、〇	二四、八	▲〇、五	二九、二	一九、六	九、四	一五、九	七一	六、二	四、三	一〇、〇	北	北	四、〇	▲九、三	二、六	三、三	六、三
十八日	七六一、六	二五、九	〇、四	二八、一	一七、六	一〇、五	一四、二	七二	六、一	三、三	五、七	南西	北	一、七	▲一〇、三	四、[illegible]	—	六、八
十九日	七六五、九	二三、五	▲一、一	二九、三	一六、七	一三、六	一四、九	七一	七、[illegible]	四、[illegible]	八、九	南西	北北東	二、〇	▲一一、六	一三、〇	—	六、五
二十日	七六四、四	二五、〇	▲二、一	二九、八	二〇、九	八、九	一五、六	六九	七、九	三、[illegible]	七、四	南西	東	三、四	▲八、一	三、六	〇、[illegible]	六、六
廿一日	七六五、六	一四、九	▲二、四	二九、八	一九、四	一〇、四	一六、二	七〇	七、四	四、九	一〇、六	南西	南西	三、一	▲九、一	六、三	—	六、五
廿二日	七六二、三	二三、五	一、五	二五、九	一九、五	六、四	一五、八	七八	四、四	三、八	七、九	北	北	八、三	一、一	三、三	〇、三	三、四
廿三日	七六七、七	二〇、八	▲〇、一	二五、九	一七、二	八、七	一三、一	六七	六、二	四、二	一三、二	北	北	四、八	六、四	一、三	—	六、四
廿四日	七六四、七	二一、一	▲一、〇	二七、二	一五、四	一二、八	一二、一	六五	七、一	三、三	七、二	西	北	三、八	▲九、四	一、八	八、[illegible]	五、六
廿五日	七六五、八	二一、一	▲一、四	二四、五	一八、〇	六、五	一四、九	八一	三、七	一、九	二、七	南東	北北東 北	一〇、〇	三、三	一、九	三、三	三、三
廿六日	七六二、七	二一、九	▲一、三	二六、三	一八、三	八、一	一三、八	六七	六、七	四、一	七、五	西南西 南西	北	六、六	▲七、八	一、[illegible]	[illegible]	五、六
廿七日	七六三、四	一九、八	一、四	二四、九	一六、六	八、一	一〇、七	六四	六、六	二、五	五、三	北	北	六、一	三、三	四、[illegible]	—	四、五
廿八日	七六四、〇	一九、〇	一、三	二三、四	一四、三	九、三	一〇、九	六七	五、六	二、四	四、一	北	北	八、一	四、一	二、九	—	三、七
廿九日	七六二、六	一七、七	二、三	一九、五	一六、〇	三、一	一二、九	八〇	三、一	六、七	九、七	北東	北東	二、〇	—	三、九	三、[illegible]	二、〇
三十日	七六六、九	一七、三	二、五	一八、四	一六、三	一一、四	一三、五	九三	一、[illegible]	七、六	一五、五	北北東	北東	一、[illegible]	—	五、[illegible]	六、[illegible]	一、三
全月	七六二、〇	二四、七	▲一、五	二九、四	二一、七	八、六	一六、六	七二	六、九	四、五	一五、五	北北東	北東	四、七	▲[illegible]	[illegible]	一七、[illegible]	[illegible]

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ負又ハ零）

九月	氣壓平均	空氣ノ溫度 年平均	年平均比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力平均	濕度平均	雲量平均	風向	日照時數	降水量	蒸發量
一日	六〇、二▲	二、九	三、〇	三、〇	二、八	〇、二	一、〇	八、八	〇、一	南西	五、八▲	〇、〇	七、九
二日	六〇、〇▲	二、三	三、二	三、一	二、八	〇、三	一、〇	九、〇	〇、〇	南西	一、四	〇、〇	七、七
三日	六一、六▲	二、五	三、五	三、〇	二、〇	〇、五	一、〇	八、〇	一、四	南西	〇、七	〇、〇	七、五
四日	六〇、五▲	二、〇	三、〇	二、九	一、九	〇、〇	一、〇	七、六	〇、〇	南西	〇、〇	〇、〇	七、七
五日	六〇、〇▲	二、四	三、二	二、九	二、〇	〇、九	一、〇	九、〇	〇、九	南西	〇、九	〇、〇	七、四
六日	六〇、八▲	二、二	三、二	二、九	二、〇	〇、九	一、〇	八、七	〇、四	西南西	〇、〇	〇、〇	七、八

夜半平均	午後十一時	午後十時	午後九時	午後八時	午後七時	午後六時	午後五時	午後四時	午後三時	午後二時	午後一時	正午
六〇、九	六〇、〇	六〇、二	六〇、九	六〇、九	六〇、四	六〇、〇	六〇、〇	六〇、九	六〇、〇	六〇、三	六〇、四	六〇、九
三、四	三、六	三、〇	三、四	三、九	三、九	三、九	三、四	三、九	三、四	三、六	三、四	七、八
六〇、七	六〇、四	六〇、七	六〇、八	六〇、七	六〇、六	六〇、六	六〇、八	六〇、八	六〇、四	六〇、八	六〇、七	六〇、二
七、八	七、九	七、八	七、四	六、八	六、〇	六、七	七、九	七、八	七、六	七、五	七、三	五、八
一、四	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
四、七	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇
四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇
三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇
一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇	一、〇

ては午前八時同二十糎にありては午前十時乃至十一時同三十糎にありては午後三時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は十八度一七にして平年に比すれは一度二四高く月中の最低は二十八日午前五時の十一度二なり

天氣日數　快晴は五日にして平年より一日多く曇天は七日にして平年より五日少く電雷は二日にして平年より一日多し

尙詳細は左に揭ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

第一表　大阪每時氣象觀測成績

九月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前十一時	七六一、三九	二二、五三	一六、八七	八一、七	三、六五	三、二三	四、一	—	一、一	二二、八	二六、七四	二七、八五	二八、〇	二七、二五
午前十時	七六一、一九	二二、二四	一六、八六	八三、一	三、三二	二、九八	五、六	—	三、三	二二、八	二六、五三	二七、七九	二七、八六	二七、二五
午前九時	七六一、七七	二二、八九	一六、六三	八三、八	三、一四	三、二九	四、七	—	四、六	二二、七	二六、三五	二七、七三	二七、九五	二七、二四
午前八時	七六一、一五	二二、六六	一六、六五	八五、五	二、七九	三、〇一	四、三	—	三、〇	二一、四二	二六、一七	二七、六四	二七、九二	二七、二三
午前七時	七六一、二四	二一、三三	一六、六五	八六、九	二、四七	二、八六	五、八	—	六、一	二一、二五	二五、九九	二七、五五	二七、八八	二七、二三
午前六時	七六一、四四	二一、二六	一六、七〇	八七、八	二、三三	二、八〇	六、三	六、六五	六、八	二一、二五	二五、八七	二七、四五	二七、八八	二七、二三
午前五時	七六一、五九	二二、二六	一六、七四	八二、九	三、四七	三、二八	五、二	一八、一〇	三、九	二二、四一	二五、六八	二七、六七	二七、七六	二七、二二
午前四時	七六一、六四	二四、〇五	一六、四一	七二、九	六、一一	三、七三	四、九	二、〇	一、五	二八、九八	二五、六三	二七、七三	二七、九四	二七、二〇
午前三時	七六一、七一	二五、五三	一五、九九	六五、四	八、四九	三、九二	四、四	二、一五	七、六	二九、八五	二七、七三	二七、一一	二七、七二	二七、一九
午前二時	七六一、六六	二六、六九	一六、〇五	六一、八	一一、一一	三、七	四、七	二〇、七五	二、九	二三、九四	二七、九九	二七、一二	二七、八九	二七、一八
午前一時	七六一、四一	二七、二	一六、〇三	六〇、一	一一、八九	三、七	四、三	二二、七	五、一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

は四十六粍八少く一日中の最多量は三十日の六十八粍〇一時間の最多量は同日午後十一時の八粍一なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は二十七度一七にして平年に比すれは二度一一高く月中の最高は十一日正午の五十二度六最低は二十八日午前四時の十四度八なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は正午にありて三十九度三五最低は午前五時乃至六時にありて二十一度二五を示し其較差は十八度一〇なり

地中十糎の溫度　平均は二十六度八三にして平年に比すれは一度九四高く月中の最高は三日午後五時の三十一度六最低は三十日夜半の十九度〇なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて二十八度一五最低は午前八時にありて二十五度六三を示し其較差は二度五二なり

地中二十糎の溫度　平均は二十七度五八にして平年に比すれは二度二四高く月中の最高は二日午後八時三日午後八時乃至十時の三十度四最低は二十九日午後十時乃至翌午前一時の二十三度五なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時にありて二十七度八七最低は午前十時乃至十一時にありて二十七度二二を示し其較差は零度六五なり

地中三十糎の溫度　平均は二十七度七四にして平年に比すれは二度二四高く月中の最高は五日午後十時の三十度一最低は三十日夜半の二十一度四なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて二十八度〇〇最低は午後三時にありて二十七度五七を示し其較差は零度四三なり

地中六十糎の溫度　平均は二十七度一八にして平年に比すれは一度九七高く月中の最高は八日午前二時乃至四時の二十八度四最低は三十日午後十一時乃至夜半にありて二十二度七なり但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては正午地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後九時同三十糎にありては翌午前一時に生し最低は地皮にありては午前五時乃至六時地中十糎にあり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十六粍六〇にして平年に比すれは零粍六六高く月中の最高は一日午前二時の二十三粍八最低は二十七日午前十時の九粍七なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて十六粍九七最低は午前九時にありて十五粍九九を示し其較差は零粍九八なり

濕度の平均は七十二、一にして平年に比すれは三、六少く月中の最少は二十日の正午と二十四日の正午及午後二時の四十一なり而して月平均に就き一日中の變化を看るに最多は午前六時にありて八十七、八最少は午後二時乃至三時にありて五十六、三を示し其較差は三十一、五なり

飽差の平均は毎立方米中六瓦八八にして平年に比すれは一瓦四三多く月中の最多は三日午後三時の二十瓦七最小は三十日午前五時乃至七時及正午にありて零瓦五なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて十二瓦八七最少は午前六時にありて二瓦三三を示し其較差は十瓦五四なり

風

平均速度は毎秒四米四七にして平年に比すれは零米二一強く月中の最大速度は三十日夜半の毎秒速度十五米五（一間平方面を垂直に壓する力は二十五貫四百目）の北北東風なり又强風以上の吹きたる日數は九日にして平年に比すれは二日多く其吹續時數は十九時にして平年に比すれは二時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後六時にありて六米九九最少は午前六時にありて二米八〇を示し其較差は四米一九なり風向は北東風最も多く北風及南西風は之れに亞ぎ北西風は最も少し之れを平年に比すれは南西及北風は多く東及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、七にして平年に比すれは一、四少く日照時數は二百二十四時九五にして平年に比すれは三十六時六三多く一日中日照時間の最も長かりしは五日の十一時三〇なり

降水及蒸發量

降水日數は九日にして平年に比すれは五日少なく其水量は百零七粍二にして平年に比すれ

大阪測候所月報

大正三年九月 大阪氣象概況

九月は氣壓の配置漸く變換し亞細亞大陸内に氣壓增高し支那北部に高くして南洋に低きか故に主として北方の風吹き漸次秋冷を催ふすに至る而して此月は尚暴風季節にして往々猛烈なる颱風襲來し暴風豪雨を來たすことあり然り而して本年九月の氣候を調査し平年に比すれは溫暖にして日照時數多く降水日數及其水量は少し

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

氣壓

平均は七百六十粍九七にして平年に比すれは零粍六三高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は一回にして其他は極めて微少なり而して月中の最高は廿四日午前七時乃至九時の七百六十五粍三最低は三十日夜半の七百四十五粍二なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十一粍七〇第一の最低は午後四時にありて七百五十九粍九八を示し第二の最高は午後一時にありて七百六十一粍一五第二の最低は夜半にありて七百六十粍九五を示し其主なる最高低の較差は一粍七二なり

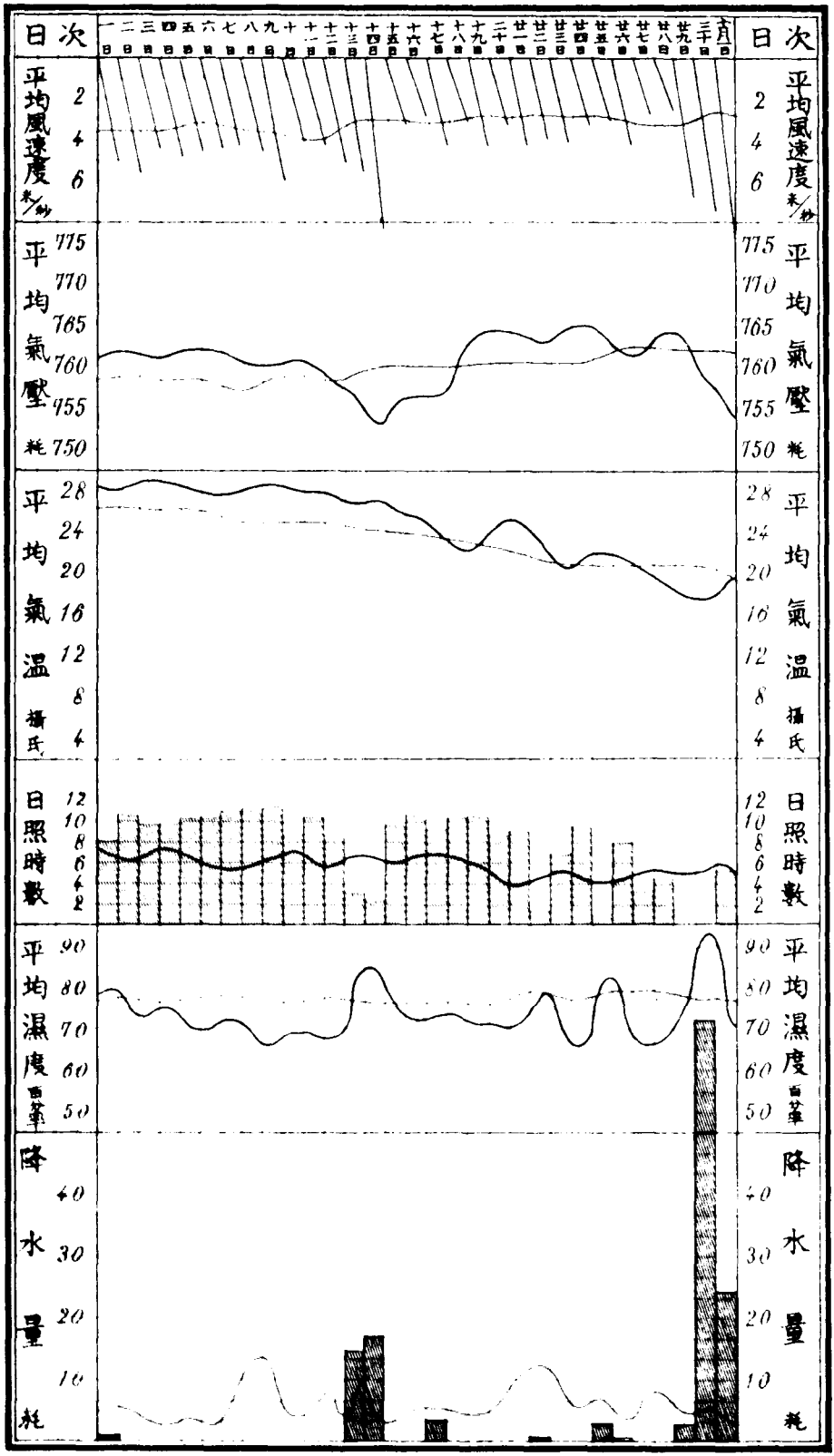
氣溫

平均は二十四度六六にして平年に比すれは一度五一高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すか如く平年より高度を示せしか漸次低下し下旬の下半は平年より低度となれり而して最高は三日午後四時頃の三十五度二最低は二十八日午前六時頃の十四度二なり又最高氣溫の二十度以上に昇りたる日數は十七日にして平年に比すれは十日多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて二十八度六二最低は午前六時にありて二十一度二六を示し其較差は七度三六なり

大正三年九月

大阪氣象圖

September 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年——平年—— 日照時數ハ本年▌平年—— 降水量ハ本年▌平年——

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三七）を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（一）を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零匁二七）にて示す

一溫度は窒氣の最も溫りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國	郡	市	町	村	緯	經	觀測主任
深日	和泉國	泉南郡	深日		村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝德
尾崎	全	國泉南郡	尾崎		村	一三五度一六分	三四度二三分	高尾章
岸和田	全	國泉南郡	岸和田		町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	全	國泉北郡	鳳		村	一三五度二七分	三四度二二分	前川由太郎
濱寺	全	國泉北郡	高石		村	一三五度二六分	三四度二二分	今井富次
堺	全	國堺	市	車ノ	町	一三五度二九分	三四度二五分	吉村正輔
天王寺	摂津國	大阪市	南區天王寺			一三五度三一分	三四度二九分	加藤昭
大阪	全	國大阪市	西區一條通			一三五度二六分	三四度二九分	府立大阪一等測候所
福島	全	國大阪市	北區上福島			一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	全	國西成郡	新庄		村	一三五度三一分	三四度四五分	植田鹽照
池田	全	國豐能郡	池田		町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	全	國豐能郡	東鄕		村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	全	國豐能郡	東鄕		村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	全	國豐能郡	根根莊		村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	全	國三島郡	茨木		町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	全	國三島郡	清水		村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國	北河內郡	枚方		町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	全	國北河內郡	田原		村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	全	國中河內郡	八尾		町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	全	國南河內郡	柏原		村	一三五度三七分	三四度三五分	農商農事試驗支場
富田林	全	國南河內郡	富田林		町	一三五度三七分	三四度三〇分	堺本幸太郎
長野	全	國南河內郡	長野		町	一三五度三五分	三四度二七分	松本連水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

September 1914

大阪測候所月報

第拾五年第九號

大正參年九月

LIBRARY
JAN 5 1915
Weather Bureau

目次

○本年九月大阪氣象概況 附圖
○本年九月大阪府管內氣象概況
○本年九月大阪地震觀測概況
○九月中の顯著暴風雨概況
○當所の公開
○亞細亞土耳其の地震
○大阪府管內の初雪季節
○本年の初霜
○本年の初雪
○大阪港潮汐觀測
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否調査
○新刊寄贈書目

大正三年十一月二十日印刷
仝　年十一月二十二日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雛波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署雛波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

一京都府氣象月報　大正二年一、二月　二　京都測候所
一鹿兒島縣氣象月報　大正三年自三月至五月　三　鹿兒島測候所
一靜岡縣氣象略報　同年五、六月　二　沼津測候所
一大分氣象一覽表　一　大分測候所
一氣象月報　大正二年自九月至十一月　三　宮崎測候所
一大正二年山形縣氣象年報　一　山形測候所
一靜岡縣氣象月報　大正三年年五、六月　二　濱松測候所
一天氣圖　千九百十四年八月　ジカウエー觀測所
一天氣圖　同年六月　アルゼンチン觀測所
一英國地震學會紀要　千九百十三年十二月　一　シャイド觀測所
一氣象月報　千九百十四年自一月至四月　四　ベーロット觀測所
一天氣月報　同年四月　一　加奈太天氣局
一地震報告　同年自一月至六月　四　サンタクララ觀測所
一地震報告　同年五、六月　二　ホリビヤ觀測所
一本年六月廿七日の地震　一　ダルムスダット觀測所
一地震報告　同年四、五月　二　コニグスベルヒ觀測所
一地震報告　同年自三月至六月　四　ストニーハウスト觀測所
一地震報告　同年三、四月　二　フラックホルト觀測所
一地震報告　同年四、五月　二　グラナダ觀測所
一氣象年報　千九百十一年十二月　一　智利觀測所
一天氣圖　千九百十四年六月　一　羅馬觀測所
一海の世界　第八卷八號　一　日本海員救濟會
一貿易通報　七月號　一　大阪商業會議所
一沖商會月報　第一二八、一二九號　二　沖商會大阪出張所

一學燈　別刊第十八年八號　二　丸善株式會社大阪支店
一養鶏指針　第百二十九號　一　重枝養禽園
一大阪府統計書　大正元年　一　大阪府知事官房
一通俗衛生　第一九三號　一　大阪府衛生會
一商船學校々友會雜誌　第一八七號　一　商船學校々友會
一同附錄節氣　一　同會
一遞信公報　八月　一　遞信省

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報（風向）	三一	二六	五	〇	九二
天氣豫報（天氣）	三一	二八	三	〇	九五
天氣豫報（溫度）	〇	一	一	一	一〇〇
暴風警報	三	三	〇	〇	

新刊寄贈書目

一氣象月報　大正三年六月　一　岐阜測候所
一富山縣氣象報　同　上　一　伏木測候所
一氣象月報　同　上　一　濱田測候所
一滋賀縣氣象月報　同　上　一　彦根測候所
一千葉縣氣象報　同　上　一　銚子測候所
一秋田縣氣象月報　同　上　一　秋田測候所
一山形縣氣象月報　同　上　一　山形測候所
一朝鮮氣象月報　同　上　一　朝鮮總督府觀測所
一氣象要覽　同　上　一　中央氣象臺
一中央氣象臺月報　大正二年十二月　一　同　臺
一天氣圖　大正三年八月　一　中央氣象臺
一大正三年六月臺灣氣象概況　一　臺北測候所
一大正三年七月二十六日の高氣溫　一　同　所
一氣象、地震、地震報告　一　同　所
一大正二年氣象年報（歐文）　一　水澤緯度觀測所
一北海道氣象月報　大正三年四、五月　二　札幌測候所
一福島縣氣象月報　大正三年六、七月　二　福島測候所
一氣象要報　同年三月　一　神戸測候所
一新潟縣氣象概況　第十年六月　一　新潟測候所
一奉天氣象表　大正三年七月　一　奉天觀測所
一別子山氣象表　同　上　一　住友別子鑛業所
一四阪島氣象表　同　上　一　同　所
一新居濱氣象表　同　上　一　同　所
一雙鴨縣氣象報告　同　上　一　松山測候所
一大連氣象表　同　上　一　關東都督府觀測所
一旅順氣象表　同　上　一　同　所
一滿洲氣象概況　同年三月　一　同　所
一氣象月報　同年五月　一　高知測候所
一山梨縣氣象月報　同　上　一　甲府測候所
一山梨縣氣象年報　大正二年　一　同　所
一氣象報　大正三年六月　一　愛知縣測候所
一廣島縣氣象月報　大正二年十一、十二月　一　廣島測候所
一境測候所氣象月報　大正三年六月　一　境　測候所
一境測候所氣象年報　大正二年　一　同　所
一氣象報告　大正三年六月　一　福岡測候所
一神奈川縣氣象月報　同年自二月至六月　一　神奈川縣測候所
一奈良縣風土編　明治四十五年　大正元年　增補訂正第一版　一　八木測候所
一奈良縣氣象年報　一　同　所
一雨雪　一　水戸測候所
一氣象月報　大正三年自四月至六月　三　同　所
一埼玉縣氣象月報　同年四、五月　二　熊谷測候所

堺	十一月十三日	十月廿七日	大正二年十月二十七日	仝年	茨木	十一月七日	十一月二日	卅二、卅四年十月廿四日	仝廿四年
天王寺	十一月十二日	十一月十一日	三十二年十月廿四日	仝年	清水	十一月五日	十月廿七日	大正二年十月廿七日	仝卅四年
大阪	十一月十日	十一月十一日	二十一年十月廿三日	仝十五年	枚方	十一月十二日	十一月十一日	二十四年十月廿八日	仝廿四年
新庄	十一月九日	十月廿七日	大正二年十月廿七日	仝三十六年	田原	十月卅日	十月廿七日	四十一年十月十三日	仝卅一年
池田	十一月八日	十月廿七日	仝	仝廿四年	八尾	十一月十日	十一月十一日	三十七年十月廿八日	仝廿四年
妙見山	十一月八日	十月廿七日	仝	仝卅五年	柏原	十一月十二日	十一月十一日	三十四年十月廿九日	仝三十四年
東郷	十月廿八日	十月廿七日	三十七年十月十二日	仝廿五年	富田林	十一月七日	十一月二日	二十四年十月十八日	仝二十四年
天王	十月二十九日	十月廿五日	大正元年十月八日	仝卅四年	長野	十一月五日	十月廿七日	大正二年十月廿七日	仝四十三年

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺〇寸七分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺〇寸八分

八月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後二時	大日 午前六時	大日 午後二時
一日	一、八五	一、六五	一、七五	一、四五
二日	一、六五	一、四五	一、四〇	一、二五
三日	一、五五	一、七五	一、二三	一、三二
四日	一、八〇	一、四五	一、八〇	一、四二
五日	一、六五	一、四〇	一、四八	一、三五
六日	一、六〇	一、四五	一、五〇	一、一五
七日	一、五五	一、二五	一、三四	一、〇八
八日	一、二五	一、〇〇	一、〇五	〇、七五
九日	一、二五	一、〇〇	〇、八八	〇、六八
十日	一、一〇	〇、九〇	〇、八〇	〇、五五

八月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後二時	大日 午前六時	大日 午後二時
十一日	〇、九五	〇、九五	〇、六八	〇、六二
十二日	一、〇五	〇、九五	〇、六四	〇、六〇
十三日	一、〇〇	一、〇五	〇、六五	〇、九〇
十四日	一、三五	一、〇五	一、三五	二、二〇
十五日	一、七五	一、〇五	二、三〇	一、二八
十六日	一、四五	〇、八五	一、一八	〇、八二
十七日	一、〇五	〇、九〇	〇、九四	〇、七三
十八日	一、〇〇	〇、八五	〇、七四	〇、七一
十九日	〇、九〇	〇、九五	〇、七三	〇、七二
二十日	〇、八五	〇、八〇	〇、六四	〇、四八

八月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後二時	大日 午前六時	大日 午後二時
二十一日	〇、九〇	〇、九〇	〇、五三	〇、六〇
二十二日	〇、九〇	〇、八五	〇、六〇	〇、五二
二十三日	〇、八五	〇、九五	〇、五二	〇、六〇
二十四日	五、一五	五、一五	二、七〇	四、五七
二十五日	四、〇五	三、一〇	四、四八	三、九七
二十六日	二、八〇	三、一〇	三、〇〇	三、二五
二十七日	三、七五	三、三〇	三、六八	三、五八
二十八日	二、六五	二、二五	三、一八	三、〇三
二十九日	二、〇五	一、八〇	二、六五	二、二〇
三十日	一、九	二、〇五	二、〇五	二、一二
卅一日	二、三五	二、一〇	一、五一	一、〇〇

平均水位　一尺六寸五分
最高水位　廣瀬　五尺五寸（二十四日午前七時）
大日　一尺五寸四分　四尺五寸七分（二十四日午後六時）

●本年土用後の氣象概況

本年は土用前より土用に掛けて降雨少く晴天多くして近年になき暑氣酷烈なりしことは既に前號に記せしか更に土用後即ち立秋（八月八日）より秋分（九月二十三日）に至る期間の氣候を概叙せんに氣壓の配置は依然盛夏の狀態を持續し氣温高く暑氣甚たしく最高は九月三日に於て三十五度二を示し平年より四度一、昨年より七度八の過高を呈し降雨少くして日照時數多く夏季の氣候としては極めて良好なりし特に畿内附近は著るしき暴風雨なく靜穩に經過せり

今本年立秋より秋分に至る日々の氣温及日照時數を平年及昨年に比し且つ昨今両年の降水量を並記し其詳細を示さんとす

（表中▲印ハ高又ハ多）

月日 ＼ 種目	空氣の温度 平均 本年	平均 平年より	平均 昨年より	最高 本年	最高 平年より	最高 昨年より	最低 本年	最低 平年より	最低 昨年より	日照時數 本年	日照時數 平年より	日照時數 昨年より	降水量 本年	降水量 昨年
立秋八月八日	二九、三	▲一、七	▲一、六	三三、〇	▲〇、四	〇、三	二六、〇	▲二、四	▲一、四	九、三	▲〇、七	▲四、三	—	〇、二
仝 九日	二八、六	▲一、〇	▲〇、八	三二、三	〇、二	▲〇、一	二五、一	▲一、五	〇、一	七、八	少〇、三	▲一、三	—	—
仝 十日	二八、八	▲一、三	▲一、五	三三、六	▲一、三	▲一、八	二四、八	▲一、一	▲〇、三	一一、二	▲二、七	▲〇、八	—	—
仝 十一日	二八、一	▲〇、六	▲〇、八	三三、一	▲〇、六	▲一、四	二三、五	〇、三	〇、〇	一一、七	▲三、八	▲一、八	—	—
仝 十二日	二八、四	▲〇、七	▲〇、六	三二、二	〇、四	〇、四	二四、四	▲〇、七	〇、一	四、〇	五、七	七、一	〇、四	一、四
仝 十三日	二六、一	一、三	二、四	二六、九	五、五	五、八	二四、八	▲一、四	〇、六	—	八、二	一〇、〇	一二、四	—
仝 十四日	二七、一	〇、四	一、一	三二、三	〇、四	▲一、二	二一、三	二、〇	四、六	一一、二	▲二、六	▲七、七	—	—
仝 十五日	二八、七	▲一、三	▲一、三	三二、七	▲〇、四	▲〇、九	二四、一	▲〇、七	▲〇、九	一〇、一	▲一、九	▲二、一	—	—
仝 十六日	二八、四	▲一、三	▲一、五	三二、七	▲〇、八	▲〇、四	二四、五	▲一、一	▲三、五	一〇、五	▲三、三	▲一、四	—	—
仝 十七日	二七、三	▲〇、一	〇、三	三二、八	▲〇、五	▲〇、四	二二、三	〇、八	〇、四	一〇、九	▲三、五	▲三、六	〇、〇	—
仝 十八日	二八、〇	▲一、〇	▲〇、八	三四、一	▲二、四	▲四、五	二三、四	▲〇、二	〇、六	一一、四	▲四、一	▲一〇、三	—	三五、七
仝 十九日	二八、三	▲一、一	▲二、五	三三、八	▲一、六	▲二、四	二三、七	▲〇、七	▲三、一	一一、二	▲二、一	▲〇、四	—	〇、一
仝 二十日	二八、四	▲一、四	▲三、四	三四、五	▲二、四	▲三、九	二三、四	▲〇、三	▲四、九	一〇、八	▲三、〇	▲〇、四	—	—

米一を吹送せしか後稍々減力し仝五時より風力頓に減殺し疾風となり仝六時より八時の間は毎秒七米内外に過きさりしか仝夜十時風向北西より南西に逆轉し仝十一時より再ひ强烈風吹き起り三十日午前三時最も强く毎秒十九米四に達し後稍々減力せしも仝六時まで强風吹けり雨は二十九日午後一時三分より降り始め仝七時十分歇む其雨量は僅かに零粍八に過きさりき更に當所毎時觀測の結果を表記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣	月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
八月廿九日	午前一時	七五七、二	二五、〇	北	三、三		快晴	八月廿九日	午後七時	七四八、六	二六、二	北西	七、二	〇、二	雨
仝	仝二時	七五七、〇	二四、九	北東	三、七		快晴	仝	仝八時	七四九、〇	二六、四	北西	七、〇	〇、〇	雲
仝	仝三時	七五六、九	二四、五	北東	二、六		快晴	仝	仝九時	七四八、九	二七、三	北西	七、八		雲
仝	仝四時	七五六、九	二四、四	北東	二、四		快晴	仝	仝十時	七四九、二	二七、二	西	八、七		雲
仝	仝五時	七五六、四	二四、二	東北東	二、六		晴	仝十一時	七四九、七	二六、九	西南西	三、二			雲
仝	仝六時	七五六、三	二四、二	東北東	二、七		晴	夜半	七五〇、七	二六、八	西南西	一四、二			雲
仝	仝七時	七五六、三	二五、五	北北東	三、三		晴	午前一時	七五一、三	二六、五	西南西	一五、六			雲
仝	仝八時	七五五、六	二七、三	北	六、一		快晴	仝二時	七五二、〇	二六、三	西南西	一七、八			雲
仝	仝九時	七五五、四	二八、三	北	一一、九		晴	仝三時	七五二、六	二六、〇	西南西	一九、四			雲
仝	仝十時	七五五、一	二七、三	北	三、四		晴	仝四時	七五三、四	二六、〇	西南西	二七、九			雲
仝	仝十一時	七五四、三	二八、八	北	一〇、九		晴	仝五時	七五四、二	二五、六	西南西	二、九			雲
仝	正午	七五三、〇	二九、〇	北	一四、二		晴	仝六時	七五五、〇	二五、六	西南西	一〇、一			雲
仝	午後一時	七五二、三	二八、三	北	一四、二		晴	仝七時	七五五、五	二六、〇	西南西	九、五			雲
仝	仝二時	七五一、二	二八、一	北	一五、三	〇、〇	雨	仝八時	七五六、三	二七、二	西北西	四、七			雲
仝	仝三時	七五〇、二	二七、七	北	一四、八	〇、〇	雲	仝九時	七五六、六	二七、九	南西	三、三			雲
仝	仝四時	七五〇、〇	二六、六	北	一五、六	〇、〇	雨	仝十時	七五六、九	二九、〇	南西	四、九			雲
仝	仝五時	七四九、六	二五、八	北	一三、四	〇、三	雨	仝十一時	七五七、二	二九、四	南西	四、九	快晴		快晴
仝	仝六時	七四八、九	二五、八	北	八、七	〇、四	雨	正午	七五七、二	三〇、二	南西	五、八			快晴

颱風は九州北部及中國西部を掠め日本海に入り二十六日朝隱岐島附近に到り日本海岸に沿ふて進み二十七日朝北海道の西方に去れり

此颱風の通過に際し其徑路附近の地方は猛烈なる風雨を起し多大なる災害を釀したり就中九州及關西地方は最も甚たしく家屋の潰倒人畜の死傷、堤防の破壞、橋梁の流失、浸水家屋等枚擧に遑あらす海上にては船舶の沈沒又は遭難せるもの頗る多し

今大阪の氣象を概記するに氣壓は二十五日午後五時及六時に於て最低七百四十九粍九を示し風は二十六日午前七時頃より南の强風吹き起り仝十時最强速度十二米七を示し後稍々減力せしも仝十一時まて强風吹けり雨は二十三日午前八時四十五分より降り始め時々大雨を交へ斷續し二十四日午前六時五十分一旦歇みて晴天となりしか二十五日午後一時十五分より再び小雨來り二十六日午前六時八分歇む此雨量は七十八粍三にして最も强かりし二十三日午後五時より六時に至る一時間には二十二粍〇を豪注せり

第三　八月二十八日より三十日に至る暴風雨概況

八月二十八日朝小笠原列島の南東方洋上に顯はれたる颱風は北西に進行し仝日午後仝島の西方を通過し二十九日朝八丈島の南西方洋上に到り著るしく發達し七百三十六粍を示し爾後北北西に進み遠州灘を襲ひ仝夜濱松附近より上陸して北北東に轉向し三十日朝新潟附近に到れり之れか爲め東海道、關東及東北地方は暴風雨となりしか爾後颱風は進路を北東に轉して奥羽地方を横きり太平洋に入りたるを以て天候恢復し晴天となれり此颱風は二十九日より三十日に亘り京阪以東關東に至る一帶の地方は猛烈なる暴風雨となり被害尠からさりしか特に關東地方は多量の降雨あり爲めに各地の河川氾濫して交通杜絶し家屋の潰倒、堤防の決潰、橋梁の流失、鐵道線路の破壞等尠からす

今大阪の氣象を概記するに氣壓は二十九日午後七時に於て最低七百四十八粍六を示し風は二十九日午前五時東の軟風なりしか仝七時北に逆轉し仝九時より强風となり午後零時三十分より更に烈風となり仝一時三十分には毎秒十七

島の西方を通過し倍々發達し十二日朝八丈島の南西方洋上に到りて七百二十粍を示し紀州より房總沖に至る一帶は風向北東に轉し概ね曇天となりしが仝夜八丈島を襲ひ十三日朝駿河灣に殺到し京阪以東常磐地方までは概ね暴風雨となり特に關東一帶の地方は最も劇しく東北地方は曇天にして天候不良に陷らんとする傾あり然れども京阪以西は天氣晴朗なり爾後颱風は沼津附近より上陸し進路を北東に轉し熊谷前橋間を經て仝夜仙臺附近を通過したるか故に東北地方も亦た暴風雨となり十四日朝金華山の東方洋上に到りたれとも仝地方は尙風雨稍々強く十五日朝根室沖に去りて關東以西は天候恢復し晴天となれり

此颱風の通過に際し其經路附近にては非常の暴風雨にて被害少なからす就中東海道及關東地方は最も甚たしく人畜の死傷、家屋の倒潰又は浸水、堤防、道路の破壞、橋梁の流失、列車の轉覆、交通機關の不通農作物の被害等枚擧に遑あらす

今大阪の氣象を概記するに氣壓は十三日午前四時に於て最低七百四十九粍七を示し風は十三日午前三時は北の疾風なりしか仝五時西に逆轉し仝八時より强風となり仝十一時には更に烈風となり正午に最强速度十六米四を示し爾後稍々減力せしも午後七時まて强烈風吹續せり雨は十二日午後九時四十二分より降り始め十三日未明より稍々增勢し一時は風雨となりしも暫時にして風力減殺し雨も亦た午後六時二十八分歇む此雨量は十三粍三なり

第一一　八月二十一日より二十七日に至る暴風雨概況

八月十六日馬利亞那群島に顯はれたる颱風は北西に進行し二十一日朝沖繩島の南東方約五十里の海上に來り稍々發達し七百四十六粍を示し二十二日朝奄美大島の南方に來りて著るしく發達し其中心は七百二十八粍を示し鹿兒島以南沖繩島までは暴風雨となり四國及九州は曇天となれり然れとも京阪地方は好晴なり爾後颱風は北北西に進み奄美大島と沖繩島との間を通過し倍々發達し二十三日朝九州の南西方洋上に來り七百二十四粍を示し京阪以西は風雨となり二十四日朝五島の南西方洋上に來り進路を北東に轉し二十五日朝九州の西岸に來り之れか爲め九州より內海西部に亘り一帶に暴風雨となれり而して

初期微動繼續時間より震源距離を求むれば二百五十五「キロメートル」となる而て震動の初めに於ける方向は東十八度北にして全時に上方動を伴ひたれば震源は東京の西々南に當り六十四里の距離即ち三河の西部地方なるべしと思はる。

本地震に先つこと十一分前即ち午後九時四分二十二秒初期微動十八秒主要動一分全震動時間八分許なる微震あり記象に於ける波動の性質によれば常陸の北部地方のものなるべし。

一二一　八月十九日午前十一時四十五分三十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時四十六分五十秒に於て三百四十二「ミクロン」振動期四秒三、南北動は午前十一時四十六分四十五秒に於て二百八十七「ミクロン」振動期三秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十七分二秒南北動は十八分三十六秒なり

附記　此地震は震域廣く北方は北海道の南部に南方は小笠原列島に達し西方は丹後の宮津及讃岐の多度津邊に及べり而して本州中部に於ては普通地震計に感じたる所多し

●八月の顯著暴風雨

本月は暴風雨季節にして颱風の襲來尠からざりしか就中第一、八月十三日、第二、仝二十五日及第三仝二十九日に襲來したるものは顯著なるものにして其第一、第三は東海道より關東、東北地方を荒らし鐵道線路を毀ち非常なる風水の害を與へ又第二は九州西部より山陰道に亘り風水の害頗る多かりしか大阪地方は幸に颱風の進路より遠かり居りたるを以て大したる被害なかりし今左に第一、第二、第三の暴風雨概況を擧くれは左の如し

第一　八月十三日より十五日に至る暴風雨概況

八月十日小笠原列島の南方洋上に顯はれたる颱風は北北西に進行し十一日朝小笠原島に接近して七百四十六粍を示し父島にては既に暴風雨となり仝日午後父

「ミクロン」振動期四秒六を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十一分二十二秒南北動は二十分三十秒なり即ち次表に示すが如し

東西動地動計觀測	發震時	振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動 S			
初期微動 P	九時一六分一〇秒	—	—
主要動 L	仝 一六分四一秒	—	—
主要動 M	仝 一六分四六秒	六二五（十）	四、八
終期 F	仝 三七分三二秒	—	—

南北動地動計觀測	發震時	振幅（ミクロン）	振動期 秒
初期微動 S			
初期微動 P	九時一六分一〇秒	—	—
主要動 L	仝 一六分四一秒	—	—
主要動 M	仝 一七分〇七秒	七二二（十）	四、六
終期 F	仝 三六分四〇秒	—	—

附記　此地震は當所地動計の示す所に依れば約二百二十粁を距る地に發したるものにして其方向は北六十二度東——南六十二度西に當り少しく上方動を伴ひたれば格別遠からざるべく其震源は三河の西加茂郡擧母町附近に發したるものならん而して震域は甚だ廣く東方は東京及水戸附近に北方は日本海岸に達し西方は岡山及德島邊に及びて長徑六十五里短徑四十里を有し强震を感したる面積は三百十四方里弱震を感したる面積は二千四百十八方里有感覺微震部は八千六十方里に亘れり而して微動は遠く水淨、福岡及支那上海等に達したり

又東京帝國大學地震學教室の大森理學博士より此地震觀測記を寄送せられたれば左に揭けて博士の好意を感謝す

大正三年八月十六日夜愛知地方の强震　　理學博士　大森房吉

大學構内微動計の記錄によれば發震時は十六日午後九時十六分三十二秒にして初期微動二十九、八秒の後主要動に入り三分間繼續したる後終期微動に移り初發より約十五分にして鎭靜に歸したり其最大水平動は東西〇、三五「ミリメートル」南北〇、二二「ミリメートル」にして東京にては微動を感じたる所もありしと云ふ。

分二十九秒に於て七十五「ミクロン」振動期十秒〇、南北動は午前五時零分十九秒に於て八十七「ミクロン」振動期九秒一を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十分零秒南北動は一時十五分二十一秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各地の觀測に依りて看るに小笠原島の南方に發したるものゝ如し今各地にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

大阪	午前四時五三分五六秒	
水澤	仝	四時五四分五五秒
福岡	仝	四時五四分五八秒
ジカウエー（支那上海）	仝	四時五六分三六秒

一一八　八月十六日午前四時十一分五十九秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前四時十四分七秒に於て八「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は十七分五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は鹿島灘に發したる微震にして水澤の地動計にも感したりと云ふ

一一九　八月十六日午後九時五分五十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後九時七分二十一秒に於て十五「ミクロン」振動期二秒四、南北動は午後九時七分十二秒に於て三十「ミクロン」振動期二秒九を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は八分四十六秒南北動は八分三十秒なり

附記　此地震は鹿島灘に發したるものにして震域北方は羽後の秋田附近に南方は東京、横濱邊に達し南西方は駿河の沼津に及ひて長徑四十八里短徑三十二里を有し總面積四千七百六十二方里に亘り水戸、福島、東京にては性質急なる微震を感じ家屋動搖せりと云ふ

一二〇　八月十六日午後九時十六分十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後九時十六分四十六秒に於て六百二十五「ミクロン」振動期四秒八、南北動は午後九時十七分十七秒に於て七百二十二

大阪　　仝　七時四八分三〇秒
函館　　仝　七時四八分四四秒

一一四　八月五日午後七時四十八分零秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は六分七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時五十六分十一秒に於て四十七「ミクロン」振動期七秒七南北動は午後七時五十六分三十三秒に於て五十「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十九分四十八秒、南北動は四十一分七秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども朝鮮の仁川支那上海及臺北の地動計にも感じたりと云ふ

一一五　八月六日午後一時十七分四十秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分卅三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時廿四分十八秒に於て六十二「ミクロン」振動期四秒三、南北動は午後一時二十四分六秒に於て百二十二「ミクロン」振動期五秒三を現し微後となり靜止せり全振動時間は東西動は四十一分十七秒南北動は四十二分二十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども北海道の南部及支那上海の地動計にも感じたりと云ふ

一一六　八月九日午前三時十六分二十秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十五秒にして主要動となり最大振幅は午前三時十七分五十七秒に於て十「ミクロン」振動期二秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分五十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は土佐沖に發したるものにして高知にては弱震を感じ又德島、多度津にては微震を感じ岡山、潮岬にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一七　八月十五日午前四時五十三分五十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前五時零

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前六時五十二分四十五秒に於て六十「ミクロン」振動期五秒〇、南北動は午前六時五十二分十六秒に於て六十七「ミクロン」振動期五秒〇を現はし後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十分三十秒、南北動は二十三分三十秒なり

附記　此地震は日向洋に發したるものにして震域北方は豊後の大分及伊豫の松山等に達し西方は鹿兒島に及びて長徑三十里短徑十八里を有し其面積は千六百七十四方里に亘れり而して微動は遠く朝鮮の仁川及支那上海附近に及びたり

一一二　八月四日午前七時五十六分二十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時零分三十一秒に於て五十七「ミクロン」振動期六秒〇、南北動は午前八時零分四秒に於て五十「ミクロン」振動期五秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十八分五十二秒、南北動は二十一分二十七秒なり

附記　此地震は前地震と全震源帶に發したるものにして微動は朝鮮の仁川、陸中の水澤及支那上海等に達したり

一一三　八月五日午前七時四十八分三十秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は五分三十八秒第二は四分十二秒にして主要動に移り二分十四秒時の後著大なる震波の來たりたるため描針圓筒外に逸出したれども約四分時の後再び圓筒内に入り稍々著しき震波を描出せり而して最大振幅(東西動)は午前八時零分三十四秒に於て千五百「ミクロン」以上に達し振動期二十一秒六を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は二時十二分三十八秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども當所地動計の示す所に據れば大阪より約四千五百粁の所に發したるものゝ如し今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

大連	午前七時四六分五八秒	
仁川	仝七時四七分一九秒	
臺北	仝七時四七分四六秒	
長崎	仝七時四八分〇〇秒	
福岡	仝七時四八分一三秒	

見山に強風吹けり●二十七日概ね晴天新庄、妙見山、東郷に雨降れり●二十八日概ね晴天天王に雨降れり●二十九日概ね曇天にして所々に驟雨あり岸和田、堺、大阪、福島、天王に強風吹けり●三十日概ね晴天岸和田、長承寺に雨降り尾崎、長承寺、大阪、福島に強風吹けり●三十一日概ね晴天大阪に雨降れり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波即ち主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fに振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十二回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものは八月十六日午後九時十六分十秒三河の西加茂郡擧母町附近に發したるもの一回なり無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは七回即ち鹿島洋、日向洋各二回、紀伊沖、若狹灣附近各一回震源未詳一回なり又遠距離地震は四回にして未だ震源は詳ならず今其觀測概況を列記すれば左の如し

一〇　八月三日午前一時三十分二十六秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分九秒にして主要動となり最大振幅は午前一時三十一分五秒に於て九「ミクロン」振動期一秒一を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分五十一秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は若狹灣附近に發したるものにして丹後の宮津にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

一一一　八月四日午前六時四十八分五十秒の地震

廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	廿一日	全月
一〇	七四一	〇五	五八一							一五八八
〇五	六五七		四八五							二五三〇
六〇	四〇八		二六四					〇九		七四八
三五	二〇六		二五二				〇四	〇七	〇二	六五八
四六	三五		九三				〇五			六二三
五五	三二		一四一				一二			六五二
三四	二五一		二六				一〇			六一五
二七	五九四		一四〇				〇七		〇二	九〇三
三〇	二四〇		二六〇				〇八			六七七
五五	二四五		一〇二		一		〇二			五六四
五五	六〇〇		二四〇							二六六
二〇	六五五		二〇〇							二八九
	六二〇	四二〇	四五七	四二〇			三〇			二六七
一二	五三〇		五三五	五九七		〇二	三八			二八三
二七	二六六		二四〇							七二七
五〇	四八〇	〇五	七二	一八						二二四
三八	四〇〇		二三五				〇四			九二六
四五	四五〇		二〇七	〇七			〇九			九七三
〇二	二〇〇		三〇〇				〇五			六五八
一〇	五四四		二〇〇				五八			七二八
六五	六五		五〇				〇〇			八五一
二〇	二六五		二四〇	三九			二二			六一

管內天氣摘要

●一日概ね晴天●二日概ね晴天天王寺、枚方に雨降り深日、大阪に電光あり●三日概ね曇天にして驟雨時々來り尾崎、長野に雷鳴あり●四日概ね晴天、大阪、新庄、清水に雨降り所々に雷鳴あり大阪に强風吹けり●五日概ね晴天天王、長野に雨降れり●六日概ね晴天●七日概ね晴天大阪に强風吹けり●八日概ね晴天●九日概ね晴天大阪に强風吹けり●十日概ね晴天●十一日概ね晴天●十二日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る尾崎、天王に强風吹けり●十三日前日來の雨午後に至り歇み岸和田、堺に虹霓現はる尾崎、岸和田、長承寺、大阪、天王に强風吹けり●十四日概ね晴天●十五日概ね晴天妙見山、枚方、田原に雨降れり●十六日概ね晴天●十七日概ね晴天天王寺に雨降れり●十八日概ね晴天●十九日概ね晴天●二十日概ね晴天東郷に雨降れり●二十一日概ね晴天●二十二日概ね晴天●二十三日概ね曇天なりしか午前より雨降り翌日に亘る●二十四日前日來の雨午前歇む●二十五日晴曇相半し午後より雨降り翌日に亘る深日、尾崎に强風吹けり●二十六日前日來の雨午前或は午後に歇み深日、尾崎、長承寺、大阪、妙

第五表　管内降水日量

八月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日																						
二日	一〇、八	六、〇	四、〇	一、六	二、四	一、八	四、三		一、三	一、〇	五、六	〇、二		三、七	三、〇	四、五				一、五		
三日				〇、三			一、二	〇、四		二、五	一、〇	四、二	三、〇	一、四	五、六	一八、八	一四、〇	六、五	五、〇	〇、四	三、〇	二、〇
四日				〇、三				一、〇		一、一												
五日														〇、二						〇、八		
六日																						
七日																						
八日																						
九日																						
十日																						
十一日																						
十二日	一三、五	一二、一	九、四	九、八	一〇、〇	九、九	一一、七	九、四	九、八	六、五	五、五	一、〇	六、二	八、五	六、五	三、〇	八、七	三、一	二、五	三、七	二四、五	三、八
十三日	〇、二	二、三	一、一	二、二	二、〇	一、六	三、二	二、五	二、八	四、五	六、〇	三、〇	四、八	八、四	四、三	三、五	四、〇	七、五	三、五	二、〇	三、四	四、一
十四日																						
十五日												三、〇						一、四				
十六日																						
十七日								〇、〇														
十八日																						
十九日																						
二十日																						
廿一日																						〇、〇

觀測所	空氣ノ温度 平均最高	平均最低	平均	平均 本年ノ平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量	本年ノ平年ヨリ	最多日量	起日	午前十時（柏原ハ午前九時） 氣温	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	三二、一	二三、八	二八、三	▲一、五	三五、一	二	二一、四	一四	一五八、八	▲四三、五	七四、一	三	三〇、四	七七	四、五	北	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	七	二
尾崎	三四、〇	二三、四	二八、七	▲一、七	三七、五	四二	二一、〇	二六	一三五、〇	▲二七、九	六五、七	三一	三〇、〇	六八	三、五	南西	六	〇	〇	〇	〇	一	〇	一六	五	五
岸和田	三一、六	二三、四	二七、五	▲〇、四	三三、九	三	二〇、三	三〇	七四、八	三七、七	四〇、八	三一	二九、二	六五	三、一	西	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一八	六	二
長承寺	三一、九	二三、九	二七、九	▲〇、七	三四、九	六	二〇、三	一七	六五、八	三六、三	三一、六	三一	三〇、七	六五	五、六	東	二	〇	〇	〇	〇	一	〇	一六	八	三
濱寺	三四、二	二三、六	二八、九	—	三七、七	六	二一、一	二四	六一、三	—	三一、五	三	三一、三	六五	三、九	西	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	一〇	三
堺	三二、七	二四、三	二九、〇	▲一、一	三六、五	三	二二、〇	一七	六五、一	三二、五	三一、二	三一	三〇、〇	六五	四、七	西	七	〇	〇	〇	〇	一	〇	一四	一二	一
天王寺	三四、一	二四、四	二九、三	▲二、〇	三六、六	六	二一、五	一四	六一、五	三八、二	三五、一	三一	三一、二	六四	四、〇	西	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	一四	六	〇
大阪	三二、六	二四、五	二八、五	▲一、〇	三四、九	六	二一、三	一四	九〇、三	三〇、九	五九、四	三一	三〇、一	六七	四、六	西	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	一二	九	七
福島	三四、六	二四、〇	二九、三	▲一、八	三七、六	一〇	二〇、六	二	六七、七	三八、七	三四、〇	三一	三〇、六	六五	四、四	北東	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一四	八	二
新庄	三二、〇	二三、五	二八、二	▲一、三	三五、八	一〇	二〇、九	一四	五六、四	五六、七	二四、五	三一	二九、六	六九	四、八	東	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一二	一〇	〇
池田	三二、二	二三、〇	二八、一	▲一、〇	三五、五	一〇	一九、六	一四	一三六、六	▲一三、四	六八、〇	三一	三〇、〇	六六	五、三	東	八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	一〇	〇
妙見山	二七、三	二〇、七	二四、〇	▲一、四	三〇、三	八	一六、三	一四	一〇三、九	▲四八、二	六三、五	三一	二四、一	九一	五、二	北	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一八	七	一
東郷	三一、六	二〇、六	二六、〇	▲〇、五	三四、五	六	一七、三	一四	一三六、七	▲七六、五	六一、〇	三一	二八、二	七一	四、四	南	八	〇	〇	〇	〇	一	〇	二	六	〇
天王	三〇、二	一九、四	二四、八	▲一、四	三四、〇	六	一五、〇	一四	一八〇、四	二、八	五三、〇	三	二七、一	七五	三、八	南	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一三	五	三
茨木	三四、〇	二三、九	二八、五	▲一、〇	三六、五	二	一九、三	一四	七二、七	五三、五	三六、六	三一	三一、八	六五	二、九	東	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇	四	〇
清水	三二、二	二三、二	二七、七	▲一、四	三四、六	一〇	二〇、〇	一五	一二一、四	三三、五	四八、〇	三一	二九、七	七五	五、四	東	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	一〇	〇
枚方	三二、八	二三、一	二八、四	▲〇、八	三七、〇	六	二〇、〇	一四	九三、六	二九、二	四〇、〇	三一	三〇、四	六〇	四、三	南北	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	五	〇
田原	三二、一	二二、九	二七、〇	▲一、〇	三五、七	二	一九、四	一四	九七、三	三四、八	四三、〇	三一	二九、七	七一	五、一	東	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	九	〇
八尾	三四、五	二三、四	二九、〇	▲一、四	三七、二	七	二〇、五	一六	六五、八	四九、二	三三、二	三一	三一、一	六四	三、九	南西	七	〇	〇	〇	〇	一	〇	一六	七	〇
柏原	三二、九	二二、八	二七、九	▲〇、六	三七、二	三	一八、〇	三〇	七一、八	六〇、三	三五、四	三一	二九、九	六六	四、四	西	九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	七	〇
富田林	三四、四	二三、〇	二八、二	▲一、〇	三六、一	五	一九、四	一七	八五、一	三六、一	[illegible]	三一	三〇、四	六四	三、五	西	七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	八	〇
長野	三一、七	二一、四	二六、六	▲〇、九	三三、四	二	一八、二	一四	七八、一	五四、八	三六、五	三一	二八、八	八〇	四、一	北	八	〇	〇	〇	〇	二	〇	一四	六	〇

たるを以て平年より多量となりたれ共之れ元より驟雨性降雨なるが故全般に亘らすして其他は平年より少なかりき要するに本月は氣温高くして晴燥の日多く盛夏の狀態を發揮し順當の裡に經過せしものなり更に氣温、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は西部天王寺及福島の二十九度三より北部妙見山の二十四度〇の間にありて之れを平年に比すれは一般に高く其差多きは二度に達せり而して最高は其起日區々なりと雖も概して上旬中に現はれたるもの多く南部濱寺の三十七度七西部福島の三十七度六を高極とし之れに亞くは南部尾崎の三十七度五東部八尾、柏原の三十七度二西部枚方の三十七度〇等にして其他は三十六度より三十四度の間にあり又最低は概ね十四日に現はれ北部天王の十五度〇を低極とし北部妙見山の十六度三仝東郷の十七度三東部柏原及長野の十八度〇之れに亞き其他は二十度乃至二十一度を示せり之れを要する本月の氣温は最高三十七度七より最低十五度〇の間にありて其較差二十二度七に達せり

降水

總量は北部東郷の二百三十六粍七より南部濱寺の六十一粍三の間にありて之れを平年に比すれは南部深日、尾崎及北部の山間は多量なりしも其他は一般に少なく就中東部の山間は平年の約半に過きさりき而して日量の最多は二十三日の豪雨の際にありて其最も多きは南部深日の七十四粍一にして之れに亞くは池田の六十八粍〇尾崎の六十五粍七妙見山の六十三粍五東郷の六十一粍〇にして日量の五十粍以上なりしは大阪、天王の二ヶ所仝四十粍以上なりしは岸和田、清水、枚方、田原の四ヶ所仝三十粍以上なりしは長承寺、濱寺、堺、福島、柏原、富田林の六ヶ所にして其他は二十六粍乃至二十三粍を示せり

雷雨

本月中に雷雨を觀測したるは三日、四日の二回のみにして孰れも區域狹き微雷なりき

（表中▲印は高又は多）

時量最多	—	—	二二、〇	二三	—	—	濕度	七三、〇	七四、一	七一、〇	七〇、九	六八、八	七四、八		
蒸發量	二五一、八	▲二三、〇	一〇、六	二八	二、四	二三	平年に比し	三、四	▲〇、九	五、〇	二、六	四、二	▲〇、六		
日照時數	二八四、一五	▲八、一八	一二、三〇	六	—	—	飽差	八、三八	七、九四	八、二三	八、四四	九、一四	七、二三		
地中溫度 地皮	三一、八一	▲二、〇四	五六、九	一〇	二〇、六	一四	平年に比し	▲一、九八	▲〇、六七	▲一、四九	▲一、一一	▲一、六一	▲〇、一八		
十糎	二九、八五	▲一、三〇	三三、六	八	二五、四	一四	降水量	二、四	〇、一	一二、八	〇、〇	五五、三	二三、〇		
二十糎	二九、八三	▲一、四四	三一、八	八	二七、四	一四	平年に比し	一一、三	一七、八	▲八、二	二三、七	三四、六	二、二		
三十糎	二九、六五	▲一、五〇	三一、一	八 九	二八、〇	一四	雲量	四、二	三、七	六、五	二、三	三、二	四、五		
六十糎	二八、〇七	▲一、三〇	二八、七	一二	二七、五	一四	平年に比し	一、四	一、一	▲〇、二	一、七	一、〇	〇、一		
百二十糎	二四、八五	▲一、二一	二五、五	二九	二三、八	一	日照時數	五四、三〇	五二、三〇	三四、七五	五四、一〇	四四、五〇	四三、一〇		
三百糎	一七、一九	▲〇、三三	一七、八	三〇	一六、五	一	平年に比し	▲一七、三四	▲六、六九	九、四一	▲九、九八	▲一、二〇	二、五六		
五百糎	一六、〇八	▲〇、〇七	一六、三	二一	一五、八	五	風速度	四、九七	五、三九	五、六九	三、八三	四、七二	四、九五		
七百糎	一六、四五	▲〇、一五	一六、七	四	一六、〇	二四	平年に比し	▲〇、五七	▲〇、四〇	▲〇、七二	一、〇二	〇、〇	〇、四〇		
風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率				
觀測回數	一〇四	一五八	五五	二三	五一	一九三	一三五	二四	一	北七六度西	一五				
平年比較	三五	二〇	五	三	▲四	▲四九	▲二七	一六	一						

大阪府管內氣象概況

前既に詳記せるか如く八月は雲量少なく晴燥の天氣殆んと固定し暑氣最も旺盛なる時にして氣溫は前月より引續き高溫を繼承し本月に入り年中の高極を現示するを常とし日射強烈なるの結果雷雨の發生を促し爲めに豪雨を注下すること往々あり今本年八月の氣候を調査し之れを平年に比するに天氣は好晴の日多かりしを以て一般に高溫を保ち全月平均に於て一度乃至二度の過高を呈せり又降水量は和泉の南端及北部の山間に二十三日及二十五日に豪雨あり

廿二日	三一、八	二九、九	二九、八	二九、六	二八、一	二一、九
廿三日	二六、四	二八、三	二九、一	二九、三	二八、一	二三、九
廿四日	二八、二	二八、三	二八、五	二八、六	二七、九	二三、三
廿五日	二七、七	二八、四	二八、六	二八、七	二七、八	二三、三
廿六日	二七、三	二八、一	二八、四	二八、六	二七、七	二三、三
廿七日	二九、三	二九、〇	二八、七	二八、六	二七、七	二一、九
廿八日	二七、七	二八、六	二八、九	二八、九	二七、八	二〇、七
廿九日	二六、八	二七、七	二八、五	二八、七	二七、八	二一、四
三十日	二九、七	二八、二	二八、三	二八、四	二七、七	二四、二
卅一日	三一、四	二九、一	二九、〇	二八、八	二七、七	二一、八
全月	三一、八	二九、八	二九、八	二九、六	二八、一	二三、二

朝薄露あり
午前八時四十分より降雨午後二時四十八分より時々大雨を交へ午後九時三十七分歇む
午前零時二十分より降雨となり斷續して仝六時五十分歇む、夜薄露あり
朝薄露あり、午後一時十五分より降雨斷續して翌日に到る
前日來の降雨斷續して午前六時八分歇む、午前七時より十一時迄强風吹けり、夜露あり
朝露、夜薄露あり
朝露あり
朝薄露あり、午前九時より午後五時及午後十一時より夜半迄强風吹けり、午後一時三分より小雨斷續して七時十六分歇む、午後五時五十分より六時三十五分迄虹霓現る、
午前一時より六時まで强風吹けり
午後八時五分より九時二十分迄南東方に電光あり、仝九時十八分より九時二十四分迄微雨

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高又は多、强）

種目	全月觀測成績 平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七五六、八〇	〇、〇九	七六二、四	七	七四九、〇	二九
氣溫 平均	二八、二七	▲一、二三	—	—	—	—
氣溫 最高	三二、五八	▲一、〇一	三四、九	六	—	—
氣溫 最低	二四、四九	▲一、二八	—	—	二一、三	一四
氣溫 較差	八、〇九	〇、二七	一一、一	二〇	—	—
水蒸氣張力	二〇、三二	▲〇、九一	二五、四	四	一四、五	一三
濕度	七二、一	一、九	—	—	三九	一九
飽差	八、一四	▲〇、九七	二三、三	一九	〇、九	二三 二四
降水 月量	九四、四	一一、七	—	—	—	—
降水 日量最多	—	—	五五、三	二三	—	—

種目	半旬期觀測成績 自七月三十日至八月三日	自八月四日至八月八日	自八月九日至八月十三日	自八月十四日至八月十八日	自八月十九日至八月二十三日	自八月二十四日至九月二十八日
氣壓	七五三、九二	七五八、三六	七五七、九四	七五七、六七	七五六、八八	七五五、三九
平年に比し	二、三四	▲一、七七	〇、一四	▲一、一〇	▲〇、六四	一、二三
氣溫	二九、六四	二九、三九	二八、〇〇	二七、九三	二七、九四	二七、七五
平年に比し	▲二、七三	▲五、一四	▲〇、四三	▲〇、六八	▲一、〇三	▲〇、七四
最高氣溫	三三、六〇	三三、四六	三一、六二	三二、九二	三三、二二	三三、一〇
平年に比し	▲二、七六	▲二、〇二	〇、二二	▲一、一九	▲一、四六	▲一、三六
最低氣溫	二六、二八	二五、七二	二四、五二	二三、一二	二三、九〇	二四、一二
平年に比し	▲二、六二	▲二、八〇	▲〇、二三	〇、〇〇	▲一、一八	▲〇、九八
水蒸氣張力	二二、三〇	二二、三三	一九、六八	一九、五六	一八、八二	二〇、四二
平年に比し	▲二、二五	▲三、四一	〇、八九	[illegible]	▲[illegible]	▲〇、九八

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

八月	地中溫度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	三六、〇	三三、九	三〇、三	二七、七	二四、七	—	朝露あり、午後八時三十分より北西に電光起り翌曉に亘る
二日	三五、三	三二、四	三〇、〇	二七、九	三、五	前夜來の電光午前二時五十分に到る、全三時十五分より小雨斷續して午後八時五十七分歇む	
三日	三三、三	三三、三	三〇、〇	二六、〇	三、八	午前一時四十三分より一時五十七分迄小雨、全十一時三分より十一時十三分迄日暈現る、午後二時四十七分より三時十三分迄東方に遠雷あり、全二時より七時迄強風吹けり、全七時四十五分より八時十五分迄小雨、全十一時四十二分より南方に電光起り十一時四十五分より遠所の電雷を聞きしか十一時四十七分より電光のみとなり十一時五十二分に到る	
四日	三四、八	三二、四	三〇、九	二六、一	三、五	朝夜露あり	
五日	三五、九	三二、六	三〇、六	二六、三	三、九	朝露あり	
六日	三三、三	三二、三	三〇、七	二六、四	三、〇	午後二時強風吹けり、全七時二十分より八時三十五分迄北方に電光あり	
七日	三三、九	三二、六	三〇、七	二六、五	三、九	午前五時より七時迄烟霧あり	
八日	三六、〇	三二、七	三〇、八	二六、六	四、六	朝露あり、午後五時強風吹けり、全十一時五十分より日暈現はれ翌曉に到る	
九日	三四、二	三二、三	三〇、三	二六、六	三、二	前夜來の月暈午前一時十五分消ゆ、夜露あり	
十日	三五、二	三二、三	三〇、〇	二六、六	三、六	朝露あり、午後一時十五分より三時二十五分迄日暈現る、夜露あり、午後十時四十分より月暈現はれ翌曉に亘る	
十一日	三三、〇	三〇、八	三〇、八	二六、六	三、三	前夜來の月暈午前四時三十八分に到る、午前七時四十分より午後二時五分迄日暈現る、全九時四十二分より小雨翌日に亘る	
十二日	三〇、四	二九、六	三〇、三	二六、六	三、七	前日來の降雨午後六時二十五分歇む、午前八時より午後六時迄強風吹けり	
十三日	二四、四	二七、八	二九、九	二六、三	三、三	朝露、夜薄露あり	
十四日	二九、四	二八、一	二九、二	二六、四	二、八	全上	
十五日	三三、三	二九、五	二九、九	二六、七	二、四	全上	
十六日	二四、一	三〇、三	二九、八	二七、九	二、三	全上	
十七日	三三、三	二九、六	二九、七	二八、〇	一九、八	朝薄露あり、午後二時三十五分より午後五時四十分迄微雨斷續す	
十八日	三三、一	二九、七	二九、六	二八、一	二、三	—	
十九日	三三、〇	二九、九	二九、七	二八、〇	二、四	午後五時より六時迄側露あり	
二十日	三三、〇	二九、二	二九、六	二八、二	二、二	朝夜薄露あり	
廿一日	三二、九	三〇、〇	二九、一	二八、三	二、四	夜薄露あり	

合月	卅一日	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日
七五八、六	七六○、八	七五六、八	七五三、三	七五八、五	七五八、五	七五四、四	七五二、一	七五三、四	七五五、一	七五六、四	七五六、八	七五七、五	七五八、六	七五九、三	七五九、七	七五六、八	七五六、六	七五七、一	七五二、六	七五五、七	七五九、五	七六○、九	七六二、一	七六一、五	七六一、九
二八、[illegible]▲	二八、三▲	二七、九▲	二六、五	二八、一▲	二八、○▲	二七、四▲	二七、九▲	二七、四▲	二六、○	二八、五▲	二八、四▲	二八、四▲	二八、三▲	二八、○▲	二七、三▲	二八、四▲	二八、七▲	二七、二	二六、一	二八、四▲	二八、二▲	二八、八▲	二八、六▲	二九、三▲	二九、二▲
[illegible]	一、五	○、九	○、○	一、三	一、一	○、二	○、五	○、六	○、九	二、○	一、六	一、三	一、一	一、一	○、二	一、三	一、二	○、二	○、九	○、七	○、五	○、九	一、○	一、四	一、六
[illegible]	三三、七	三二、一	二九、四	三三、五	三三、○	三○、六	三三、八	三二、六	二九、六	三四、三	三三、九	三四、五	三三、八	三四、一	三三、八	三三、七	三三、七	三三、三	二六、九	三三、三	三五、一	三五、六	三三、三	三五、○	三五、二
[illegible]	三三、八	三五、四	三三、八	三三、六	三四、二	三五、二	三四、六	三四、五	二四、四	三四、一	三三、九	三三、四	三三、七	三三、四	三三、三	三四、五	三四、一	三三、三	三四、八	三四、四	三三、五	三四、八	三五、一	三六、○	三五、○
八、[illegible]	八、九	五、七	五、六	一○、九	七、八	五、四	八、二	七、一	五、二	一○、二	一○、○	一一、一	一○、一	一○、七	一○、五	八、二	八、六	一二、○	二、一	七、八	九、六	八、八	七、二	七、○	八、一
[illegible]	二一、五	二○、一	一八、二	一八、九	二○、五	二一、○	二○、三	二一、二	二○、九	一八、四	一八、四	一八、四	一八、○	一八、四	一八、八	二○、○	二一、三	一九、二	一九、○	一七、四	一九、七	二○、六	二一、六	二三、四	二三、四
[illegible]	七六	七三	七二	六九	七四	七八	七四	七九	八四	六五	六五	六六	六四	六七	七○	七○	七四	七三	七六	六二	七一	七二	七五	七五	七五
八、一	六、九	七、七	七、三	九、四	七、四	五、九	七、六	五、八	三、九	一○、六	一○、三	一○、三	一○、六	九、九	八、三	八、七	七、八	七、五	五、九	一二、○	八、四	八、六	七、二	七、六	七、五
五、一	四、二	七、○	九、一	五、二	三、三	七、七	四、八	三、七	四、四	五、一	五、四	四、四	四、二	四、六	三、七	三、四	三、六	三、九	九、九	五、三	三、四	四、六	五、二	五、四	五、五
一九、四	七、[illegible]	一九、四	一六、○	八、三	五、一	三、七	九、三	八、九	九、二	六、九	九、一	七、○	六、○	九、一	五、四	六、八	七、四	七、五	一六、四	八、四	五、八	九、六	一○、○	七、九	一○、六
西南西	西南西	西南西	北	北東	北	南	南東	南西	東北東	東北東	東北東	西南西	北東	南西	北東	西	南南西	西南西	西	東北東	西南西	南西	南西	西南西	西南西
西南西	西南西	西南西	北	北東	北	南南西	東南東	東北東	東北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北	南南西	南南西	西	北東	南西	南西	西南西	西南西	西南西
[illegible]	一、八	六、六	六、七	○、五	一、八	六、七	七、○	六、七	八、二	二、七	一、一	三、○	○、八	○、○	二、七	三、八	二、七	二、四	九、三	九、六	五、三	三、○	五、四	四、六	二、八
[illegible]▲	二、九▲	八、五	五、○	一二、五	一二、五▲	五、○	八、○	七、一▲	二、三▲	八、九	一二、四▲	一○、八▲	一二、三▲	一二、四▲	一○、九▲	一○、五▲	一○、一▲	一二、三▲	―	四、○	一二、七▲	一二、六▲	七、八	九、三	一二、六▲
[illegible]	四、六	一、五	四、五	○、○	三、四	三、一	二、一	○、三	五、八	○、○	三、○	○、七	○、九	三、七	○、三	三、二	一、○	三、九	六、一	五、三	一、八	○、三	○、一	○、一	三、六
[illegible]	[illegible]		○、八	―	―	七、三	七、一	八、六	三五、三	―	―	―	―	―	○、二	―	―	―	三、四	○、四	―	―	―	―	―
九、八	六、九	七、四	八、四	一○、六	八、五	七、六	七、四	七、五	三、八	八、二	一○、二	九、一	九、六	八、九	七、六	九、四	八、一	八、三	二、四	五、三	七、八	八、五	八、六	七、四	八、六

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

八月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	空氣ノ溫度 本年平年比較	空氣ノ溫度 最高	空氣ノ溫度 最低	空氣ノ溫度 較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 平均速度	風速 最大全上	風速 最多方向	風速 最多方向	雲量 平均	日照時數 本年平年比較	降水量	蒸發量
一日	七五四、五	二九、七▲	三、一	三五、三	二七、〇	六、三	二、一四	七、〇	九、三	五、九	八、一	南西	南西	四、七	二、八▲	四、一	一、〇
二日	七五二、七	二九、七▲	二、五	三五、六	二七、九	七、九	二、二五	七、〇	九、〇	四、五	七、一	南南西	南西	四、七	三、〇▲	一、一	九、九
三日	七五一、六	二九、三▲	二、七	三五、三	二六、二	七、一	二、九	七、六	七、二	四、五	七、六	南西	南西	九、〇	一、六	〇、〇	七、二
四日	七五二、三	二九、七▲	四、〇	三五、六	二七、六	五、一	二、九	七、七	六、八	七、一	一四、六	四西南西	四西南西	七、八	七、四▲	一、一	〇、〇
五日	七五六、二	二九、五▲	三、三	三五、七	二七、七	七、九	二、一	六、九	九、〇	五、一	一〇、六	西	南西	一、八	二、七▲	〇、六	一、〇
六日	七五九、九	二九、四▲	二、七	三五、六	二七、七	六、六	二、一九	七、九	八、六	七、一	一四、六	四西	北	一、〇	三、〇▲	一	九、六

午前	一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	午後	夜牛平均
氣壓	七五六、五六	七五六、三二	七五六、〇八	七五六、〇三	七五五、九六	七五六、〇三	七五六、三五	七五六、六九	七五七、〇四	七五七、一〇	七五七、一四		七五七、三
空氣ノ溫度 平均 本年	二一、三三	二一、七八	二一、七一	二一、四一	二〇、三二	二九、五一	二八、四四	二七、八三	二七、三九	二七、〇六	二六、六四		二六、三五
空氣ノ溫度 平均 平年	一九、八四	一九、九四	一九、六六	一九、八〇	二〇、二七	二〇、五八	二一、一三	二一、一四	二一、〇〇	二〇、七〇	二〇、三一		二〇、九二
空氣ノ溫度 平均 最高	五七、〇	五八、一〇	五七、一	五八、一	六一、一	六七、五	七三、二	七六、一	七七、三	七九、六	八一、〇		七二、一
空氣ノ溫度 平均 最低	一三、三三	一四、一一	一四、一六	一三、七八	一二、〇四	九、七一	七、四三	六、六〇	五、八九	五、三五	五、〇七		四、五九
空氣ノ溫度 平均 較差	五、九五	六、二七	六、八二	六、八三	六、五一	六、二六	五、九五	五、五九	五、〇八	四、四九	四、五五		四、四一
水蒸氣張力 平均	四、一	三、八	四、一	四、四	五、三三	四、九	四、八	三、一	三、一	三、六	三、八		四、五
濕度 平均	六六、五五	五五、六五	五六、〇〇	五五、二〇	二二、一〇	一七、三五	一九、〇						二六四、一五
飽差 平均	二、一	二、七	二、九	一、七	一、五	二、七	三、二	二、四	〇、二	〇、〇	〇、八		〇、五
風速 平均速度	四五、五八	四六、六九	四二、一四	三八、二〇	三八、七	三五、〇五	三〇、九〇	二〇、〇五	二六、四五	二六、一二	二五、六八		二五、一一
風速 最大全上	二九、七九	二九、七一	二九、六四	二九、二三	二九、四五	二九、二四	二九、二二	二九、八〇	二九、五五	二九、二九	二九、八八		二九、七五
風速 最多方向	二九、四四	二九、五一	二九、八一	二九、九四	二九、六四	二九、二四	二九、二二	二九、二四	二九、二四	二九、二三	二九、一六		二九、八八
風速 最多方向	二七、七五	二七、七二	二七、七一	二七、七二	二七、七五	二七、七四	二七、七四	二七、七七	二七、七七	二七、七八	二七、七六		二七、七六
雲量 平均	二七、七六	二七、七七	二七、七六	二七、七六	二七、七六	二七、七六	二七、七六	二七、七六	二七、七六	二七、七六	二七、七六		二七、七八
日照時數 本年平年比較	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七		二、七
降水量	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七	二七、七		二七、七
蒸發量	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇	二七、〇		二七、〇

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後八時乃至十時同三十糎にありては午前一時に生し、最低は地皮にありては午前五時地中十糎にありては午前八時同二十糎にありては午前十時同三十糎にありては午後二時乃至三時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

地溫最低　平均は二十二度二四にして平年に比すれは一度三二高く月中の最低溫度は十四日午前五時の十八度七なり

天氣日數　快晴は八日にして平年より二日多く曇天は四日にして平年に等しく電雷は一日にして平年より一日少し

尙詳細は左に揭ぐる氣象觀測成績表を參照すべし

第一表　大阪每時氣象觀測成績

八月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前 一時	七五六、九〇	二六、〇四	二〇、八一	八二、五	四、〇六	四、二三	五、一	—	二、七	二五、二九	二九、五五	三〇、〇七	二九、八三	二八、〇八
二時	七五六、七四	二五、七五	二〇、四九	八二、九	四、〇三	四、一一	三、七	—	六、〇	二四、八六	二九、三二	二九、九九	二九、八一	二八、〇八
三時	七五六、七六	二五、四三	二〇、三四	八四、一	三、七一	四、一〇	四、五	—	三、五	二四、五八	二九、一一	二九、九〇	二九、八〇	二八、〇九
四時	七五六、七七	二五、二七	二〇、〇〇	八三、五	三、八二	三、九六	四、四	—	一、三	二四、三七	二八、九二	二九、八二	二九、七九	二八、〇八
五時	七五六、九二	二四、九四	一九、九一	八四、九	三、四七	三、四九	四、七	—	三、四	二四、〇三	二八、七四	二九、七三	二九、七四	二八、〇八
六時	七五七、二〇	二四、九七	二〇、〇四	八五、〇	三、四二	三、三三	五、〇	〇、四〇	七、〇	二四、二八	二八、五六	二九、六〇	二九、六九	二八、〇七
七時	七五七、三二	二六、四〇	二〇、〇三	七八、三	五、三七	三、九四	五、一	一四、六五	三、〇	二六、四七	二八、三八	二九、五三	二九、六六	二八、〇七
八時	七五七、三五	二八、〇五	二〇、〇一	七一、一	七、八六	四、二八	四、九	二二、九五	〇、二	三一、〇五	二八、三七	二九、四六	二九、六四	二八、〇七
九時	七五七、三八	二九、二〇	二〇、一一	六六、九	九、五七	四、五七	四、六	二四、三五	〇、七	三四、八九	二八、五四	二九、四一	二九、五九	二八、〇八
十時	七五七、四二	三〇、〇六	一九、九三	六三、二	一一、二三	四、九九	四、六	二三、六五	三、四	三九、四五	二八、八四	二九、三九	二九、五七	二八、〇八
十一時	七五七、[illegible]	[illegible]	[illegible]	六[illegible]、九	[illegible]	五、三七	四、三	二六、七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

降水及蒸發量　降水日數は九日にして平年に比すれは一日少く其水量は九十四粍四にして平年に比すれは十一粍七少し又一日中の最多量は二十三日の五十五粍三一時間の最多量は同日午後六時の二十二粍〇なり

地中溫度及最低地溫　地皮溫度の平均は三十一度八一にして平年に比すれは二度〇四高く月中の最高は十日午後一時の五十六度九最低は十四日午前六時の二十度六なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて四十六度六九最低は午前五時にありて二十四度〇三を示し其較差は二十二度六六なり

地中十糎の溫度　平均は二十九度八五にして平年に比すれは一度三〇高く月中の最高溫度は八日午後四時乃至五時の三十三度六最低は十四日午前七時の二十五度四なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて三十一度四五最低は午前八時にありて二十八度三七を示し其較差は三度〇八なり

地中二十糎の溫度　平均は二十九度八三にして平年に比すれは一度四四高く月中の最高は八日午後七時乃至十時の三十一度八最低は十四日午前八時乃至十一時の二十七度四なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至十時にありて三十度二四最低は午前十時にありて二十九度三九を示し其較差は零度八五なり

地中三十糎の溫度　平均は二十九度六五にして平年に比すれは一度五〇高く月中の最高溫度は八日午後十一時乃至翌日午前二時の間にありて三十一度一最低は十四日午後二時の二十八度〇なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時にありて二十九度八三最低は午後二時乃至三時にありて二十九度四九を示し其較差は零度三四なり

地中六十糎の溫度　平均は二十八度〇七にして平年に比すれは一度三〇高く月中の最高は十二日午前三時乃至五時の二十八度七最低は十四日午後十一時の二十七度五なり但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

十八日にして平年より二日多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて三十一度七八最低は午前五時にありて二十四度九四を示し其較差は六度八四なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は二十粍三一にして平年に比すれは零粍九一高く月中の最高は四日午前七時の二十五粍四最低は十二日午後二時の十四粍五なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時にありて二十一粍一四最低は正午にありて十九粍八四を示し其較差は一粍三〇なり

濕度の平均は七十二、一にして平年に比すれは一、九少く月中の最少は十九日午後三時の三十九なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前六時にありて八十五、〇最少は午後三時にありて五十七、一を示し其較差は二十七、九なり

飽差の平均は毎立方米中八瓦一四にして平年に比すれは零瓦九七多く月中の最多は十九日午後三時の二十三瓦三最少は二十三日午後七時及二十四日午前七時の零瓦九なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて十四瓦四四最少は午前六時にありて三瓦四二を示し其較差は十一瓦〇二なり

風

平均速度は毎秒五米一〇にして平年に比すれは零米一五强く月中の最大速度は三十日午前二時乃至三時の毎秒十九米四(一間平方面を垂直に壓する力は三十九貫八百目)の西南西風なり又强風以上の吹きたる日數は七日にして平年に比すれは二日少く其吹續時間は三十八時にして平年に比すれは二時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時にありて七米二〇最少は午前六時にありて三米三二を示し其較差は三米八八なり風向は南西風最も多く北東風之れに亞き西風も稍々多し而して南東風は最も少し之れを平年に比すれは南西、及、西風は多くして北風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、三にして平年に比すれは〇、三少く日照時數は二百八十四時一五にして平年に比すれは八時一八多く一日中日照時間の最も長かりしは六日の十二時三〇なり

大正三年八月 大阪氣象概況

八月は一年中に於て暑氣最も烈しき時期にして風は晝間南西風吹き夜間は北東風となり好晴の天氣多く雨量は年中に於て最も少き時期なりしも時々雷雨發生し大雨を棄注し又は颱風襲來して暴風雨を起すことあり、然り而して本年八月の氣候を調査するに氣温は平年より著しく高く近年になき高温を呈したり、而して日照時數は平年より多く降雨は少くして顯著なる暴風雨なく順當に經過せり

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し、

但本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ケ年平均なり

氣壓

平均は七百五十六粍八〇にして平年に比すれは零粍〇九低く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は三回にして其他は微小なり而して月中の最高は七日午後九時の七百六十二粍四最低は二十九日午前七時の七百四十九粍〇なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前十時にありて七百五十七粍四二、第一の最低は午後五時にありて七百五十五粍九六を示し又第二の最高は午後十一時にありて七百五十七粍一四、第二の最低は午前二時にありて七百五十六粍七四を示し其主なる最高低の較差は一粍四六なり

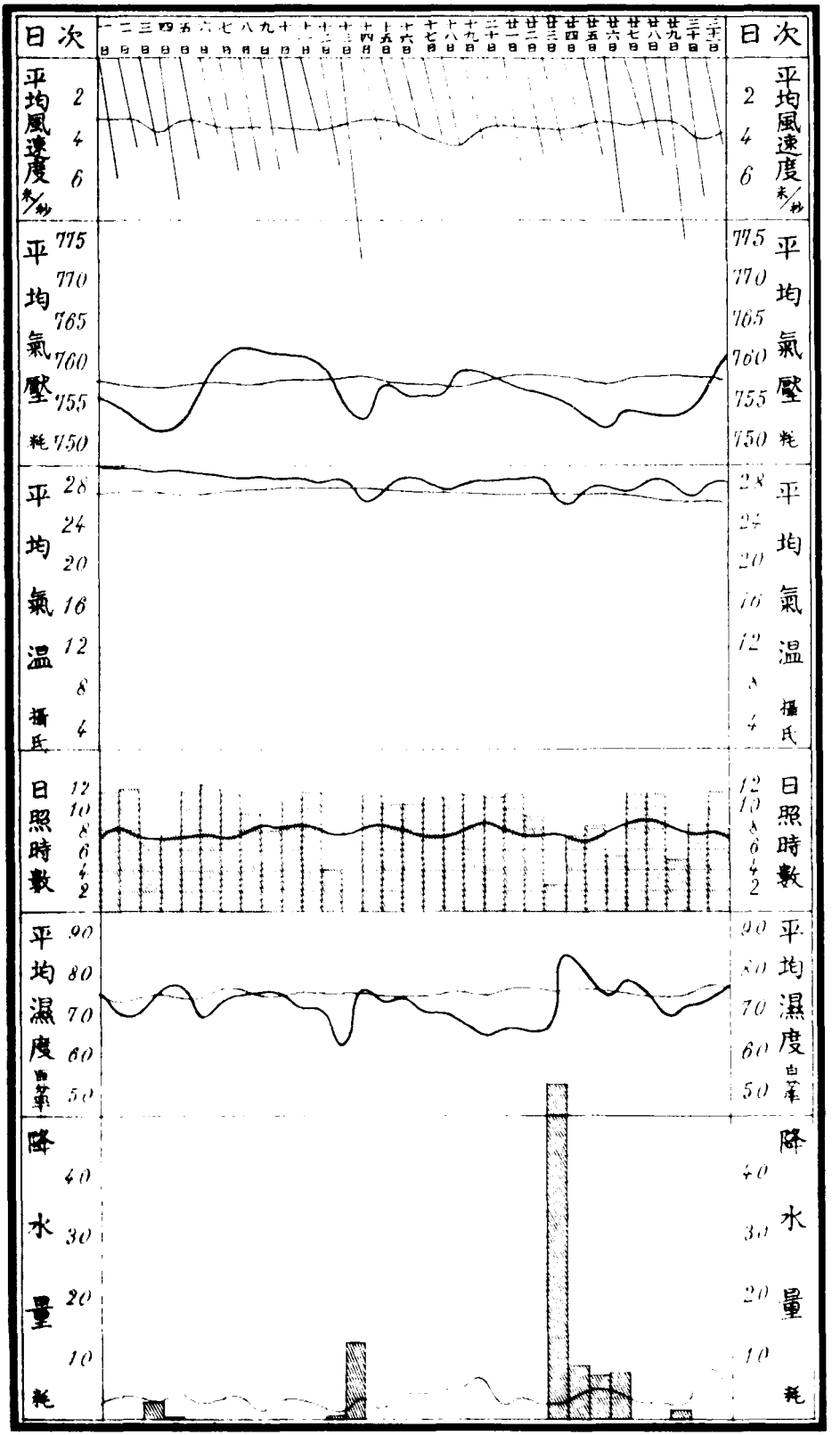
氣温

平均は二十八度二七にして平年に比すれは一度二三高く平均氣温日々の變化は氣象圖に示すか如く十三、十四、二十三の三日は平年より稍々低かりしも其他は著しく高温に經過したり而して最高は六日午後四時の三十四度九、最低は十四日午前六時の二十一度三なり又最高氣温の三十度以上に昇りたる日數は二

大正三年八月

大阪氣象圖

August 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年——平年——日照時數ハ本年▒▒平年——降水量ハ本年▒▒平年——

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一濕度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高濕度及降水量共に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣目數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡	市町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝德
尾崎	全國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	全國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	全國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度二二分	前川由太郎
濱寺	全國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度二二分	今井富次
堺	全國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度二五分	吉村正輔
天王寺	摂津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	全國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	全國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	全國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田鑑照
池田	全國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	全國豐能郡	東郷村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東郷	全國豐能郡	東郷村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	全國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	全國三島郡	茨木町	一三五度二四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	全國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	全國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	全國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	全國中河内郡	八尾町	一三五度二六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	全國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	全國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	全國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

LIBRARY
DEC 24 1914
Weather Bureau

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

August 1914

大阪測候所月報

大正參年八月

第拾五年第八號

目次

○本年八月大阪氣象概況 附圖
○本年八月大阪府管內氣象概況
○本年八月大阪地震觀測概況
○八月の顯著暴風雨
○本年土用後の氣象概況
○大阪府管內の初霜季節
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否調査
○新刊寄贈書目

大正三年九月五日印刷
仝　年九月六日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

一秋田縣氣象月報　大正三年五月　一　秋田測候所
一山梨縣氣象月報　同年三、四月　二　甲府測候所
一氣象要報　同年二月　一　神戸測候所
一朝鮮氣象月報　同年五月　一　朝鮮總督府觀測所
一長崎氣象月報　大正二年十一月十二月　二　長崎測候所
一新潟縣氣象報　第十年五號　一　新潟測候所
一氣象月報　大正二年自六月至八月　三　宮崎測候所
一佐賀縣氣象月報　同年自二月至六月　五　佐賀測候所
一佐賀氣象年報　大正元年　一　同　所
一大正二年長野縣氣象年報　一　長野測候所
一福島縣氣象年報　大正二年　一　福島測候所
一地震報告　千九百十四年自二月至四月　三　ウツクル觀測所
一氣象月報　同上　三　チアバリー觀測所
一氣象及地震月報　千九百十三年十一、十二月　二　モンテカシノ觀測所
一地震報告　千九百十四年壹、弐月　二　ギルドホールド觀測所
一千九百十四年五月三十六日に起りし地震報告　一　ダルムスダット觀測所
一天氣圖　千九百十四年五月　一　アルゼンチン觀測所
一天氣圖　同上　一　羅馬觀測所
一地震波の解說　二　エナー觀測所
一地震報告　千九百十二年自六月至八月　三　同　所
一地震報告　千九百十四年六月　一　イルクツク觀測所
一天氣圖　同年七月　一　ジカウエー觀測所
一英國地震學會紀要　千九百十三年十一月　一　シャイド觀測所
一千九百十四年六月廿六日地震報告　一　ダルムスダット觀測所
一天氣月報　千九百十四年三月　一　トロント觀測所

一地震報告　同年六月　一　マニラ觀測所
一地震報告　同年自一月至四月　四　ナガサキ觀測所
一第三十一次衛生年報　一　大阪府
一通俗衛生　第百九十二號　一　大阪私立衛生會
一滬華津　第十六號　一　大倉商業學校
一貿易通報　六月號　一　大阪商業會議所
一大阪府立圖書館年報　第十　一　大阪府立圖書館
一養鶏指針　第百二十八號　一　重枝養禽園
一海之世界　第八卷第七號　一　日本海員掖濟會大阪支部
一學燈　別刊第十八年七號　二　丸善株式會社大阪支店
一農事試驗場歐文報告　第二卷第一號　一　四ケ原農事試驗場
一商船學校校友會雜誌　第百八十六號　一　商船學校々友會
一日下部博士地震學講義　一　神奈川縣測候所
一遞信公報　大正三年七月　一　遞信省

十九日	三、一五	二、九〇	三、一〇	二、九〇	二十三日	二、四五	二、四五	二、四八	二、三〇	二十七日	二、六〇	二、四〇	二、五二	二、三八
二十日	二、九五	二、六五	三、〇〇	二、七〇	二十四日	二、四〇	二、五五	二、三〇	二、二七	二十八日	二、九〇	二、八〇	二、七八	二、九〇
二十一日	二、八五	二、七〇	二、八五	二、七〇	二十五日	二、七五	二、五五	二、七〇	二、六〇	二十九日	二、六〇	二、二〇	二、六九	二、三〇
二十二日	二、七五	二、五五	二、七八	二、六〇	二十六日	二、五五	二、四五	二、六〇	二、四八	三十日	二、二〇	一、八五	二、一六	一、八八
平均水位 廣瀨 三尺二寸八分					大月 三尺二寸一分					卅一日	二、〇五	一、八〇	一、九二	一、七〇
最高水位 十尺(十二日午後八時)					七尺九寸六分(十三日午後六時)									

地方天氣豫報暴風警報適否調查

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三一	二六	五	〇	九二
	天氣	三一	二七	四	〇	九四
	溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報		〇	—	—	—	—

新刊寄贈書目

一滋賀縣氣象月報	大正三年五月	一 彥根測候所
一岐阜縣氣象月報	同上	一 岐阜測候所
一氣象報告	同上	一 福岡測候所
一氣象月報	同上	一 濱田測候所
一千葉縣氣象報	同上	一 銚子測候所
一大正二年千葉縣管內地震報告		一 同所
一大正二年千葉縣管內雷雨報告		一 同所
一一大正二年利根川水位報告		一 同所
一奉天氣象表	同年六月	一 奉天觀測支所
一別子山氣象表	同上	一 住友別子礦業所
一新居濱氣象表	同上	一 同所
一四阪島氣象表	同上	一 同所
一大連氣象表	同上	一 關東都督府觀測所
一旅順氣象表	同上	一 同所
一愛媛縣氣象月報	同上	一 松山測候所
一大正三年六月氣象		一 樺太廳測候所
一氣象月報	同年自二月至四月	一 高知測候所
一靜岡縣氣象略報	同年四月	一 沼津測候所
一對馬氣象月報	同年三月	一 嚴原測候所
一氣象報	第三百二號	一 愛知縣測候所
一大正二年愛知縣氣象年報		一 同所
一大正二年愛知縣雷雨年報		一 同所
一境測候所氣象月報	第三十二年五號 自明治三十年至同四十三年	一 境測候所
一福井氣象十四年報		一 福井測候所
一福井氣象成績	自大正二年八月至大正三年四月	九 同所
一氣象要覽	大正三年五月	一 中央氣象臺
一中央氣象臺月報	大正二年十一月	一 同臺
一天氣圖	大正三年七月	一 同臺
一秋田縣氣象年報	大正二年	一 秋田測候所

發をなす可けれは噴火口に近つくは尙ほ危險なりと知るへし、又た今後湯の平にて微動を夥く觀測することありとすれは即ち活動再發の前驅と見做すへきものなるへく、兎に角調査を怠る可かさるは肝要なりとす。（大正三年七月二十四日認）

●大流星

技手　大橋龍太郎觀測

去る八月四日午後八時五十七分頃大阪測候所構内に於て可なり大なる流星を觀たり其位置は頂上即ち天琴星座の南端より現はれ北々西に向つて落下し高度約四十度位にして層積雲の爲めに隱れ間もなく約三十五度位の所にて雲の隙間より再ひ其光を認しか瞬間にして又雲の爲め見ること能はさりき而して其大さは普通電燈位と思しく之れに約七度位の尾を曳き其速度は稍々遲き樣に思はれたれとも僅々五秒時間ならき

因に記す市内にても此流星を觀たりとて電話にて尋ね來りし者數名あり翌四日市内東區農人町壹丁目なる田中種次郎氏は書面を以て昨夜午後八時五十分頃自宅屋上より北に向つて長き尾を引きたる流星の如きものを看たり果して流星なるか或は火球なるかを問合せ來れり又大阪朝日新聞社員も此流星を看たりと云ふ

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀨ノ累年平均水位　四尺〇寸二分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　四尺一寸九分

七月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	七月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時	七月	廣瀨 午前六時	廣瀨 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	三、七五	三、四五	三、六〇	三、二〇	七日	三、一〇	三、二五	三、三〇	三、五五	十三日	七、七〇	五、五五	七、九六	五、五〇
二日	三、五〇	三、二五	三、五〇	三、二〇	八日	四、〇〇	三、四〇	三、六〇	三、四五	十四日	四、八〇	四、二五	四、七〇	三、三五
三日	三、五〇	三、二五	三、五〇	三、二〇	九日	三、三五	三、九〇	三、三五	三、〇〇	十五日	四、〇五	三、六五	四、〇〇	三、七〇
四日	三、二〇	三、九五	三、二〇	三、〇〇	十日	二、九五	三、六五	三、三〇	三、八五	十六日	三、六五	三、三五	三、六七	三、三二
五日	三、九五	三、七〇	三、五〇	三、二五	十一日	三、一〇	四、六五	三、二〇	三、三五	十七日	三、三〇	三、〇〇	三、四八	三、三五
六日	三、〇五	三、六五	三、〇〇	三、八五	十二日	五、四五	九、六〇	四、八〇	七、一〇	十八日	三、一〇	三、〇〇	三、一〇	二、八〇

明治十八年	百十二度六	仝 二十三年	百十一度六
仝 十九年	百〇三度三	仝 二十四年	百十一度二
仝 二十年	百十三度四	仝 二十五年	百〇六度九
仝 二十一年	百〇九度九	仝 二十六年	百〇五度四
仝 二十二年	百十一度七	仝 二十七年	百〇五度一

●淺間山の狀況に就きて

理學博士　大森房吉

本年も淺間山湯の平觀測所に於て例年の如く長野測候所員と震災豫防調査會技手と交互に微動計觀測に從事したるか去る五月一日より本月十六日迄てに微動計記錄上に現はれたる局部地震及ひ噴火の概數は左の如し

五月中	微震 四回	噴火 九回	
六月中	五回	六回	
七月(十六日迄て)	四回	四回	
合計	十三回	十九回	

即ち二ヶ月半間を通して僅々微震十三回、噴火十九回を算するに過きさりき、而して噴火の中、强く爆發せるは五月五日の破裂一回のみにして他は些少の痕跡を微動計記錄上に印せるに止まれり、今微動計觀測によれは前年來の淺間地震噴火の回數は

明治四十四年(六月より十月迄て)	(地震三百七十八回 噴火五百七十七回)	
明治四十五年大正元年(五月より十月迄て)	(地震六百八十七回 噴火千百十一回)	

あり就中四十五年七月十六日には淺間より激震を發し、昨年に及ひては强烈なる爆發數十回を發し實に天明以來最大の活動を現出したりしが、本年に入りては地震も噴火も非常に減少し、明治四十二年に近時初回の强き噴火をなしたる以來始めて著しく活動鎮靜の傾向を示すに至れり、顧ふに先年來淺間と前後して大活動を開始せる燒岳、伊豆大島、霧島山、櫻島等は既に破裂を終り、淺間山の活動も其都度年限あるものにして、本年の如く仝山の地震、噴火か減退せるは即ち目下の活動期か一と先つ終局に近つけるの徵候なりと推せらるゝ、今後も勿論時々强弱の爆

新潟に於ける明治四十二年八月六日の三十九度一より僅か零度一低かりしのみにして全所觀測創始以來の最高より高きこと一度一に達し之れに亞くは佐世保の三十八度一（華氏百度六）全二度一の高度を現せり其他臺灣の臺北、琉球の那覇、土佐の高知及足摺、甲斐の甲府等孰れも高温を示し觀測創始以來の新記錄を作れり而して我か大阪府管内は如何と云ふに七日を除く外一般に三十度以上にして下旬に入りては特に甚しく就中二十四日は其最たるものにして最高は河内の南部柏原に於て三十七度六（華氏九十九度七）全北部の枚方及和泉の南部尾崎に於て三十七度五（華氏九十九度五）河内の中部八尾に於て三十七度三（華氏九十九度一）に達し之れに亞くは大阪市の北部福島に於て三十六度八（華氏九十八度二）にして其他も三十六度より三十三度を示し觀測創始以來七月に於ける新記錄を作れり又日射温度は更に高温にして華氏百度以上を示し二十三日は百三十五度三に昇り二十五日は尚高く百三十八度四を示したり

因に地球上に於て暑氣最も烈しきは何れの土地なるやを看るに平均氣温は赤道の南北各二三十度位の所に高くして極地に至るに從ひ低温となり殆んと緯度に平行して低下する筈なるか海陸の配置に關係し稍々複雜となれり而して最高は地勢に依りて著しく差異を生し仮令赤道直下附近にても小島嶼は比較的高からす却て赤道を離れし所にても内陸に高度を示し其最も高温なるは濠洲の中央部即ち西及南濠洲「ニュー、サウスウエルス」「クインスランド」及濠洲北部地方にて圍まれたる内部は百十三度以上に達し北米合衆國の「ニューメキシコ」「テキサス」「アリゾナ」より南方「メキシコ」に至る一帶は全百十三度以上なれ共南米は稍々低く其中央部なる「アルゼンチン」附近は百四度内外を示し又亞弗利加より亞細亞南部に至る間は高温の區域甚た廣く「トリポリ」「エジプト」「ペルシヤ」「印度」「スダン」等に取り圍まれたる地方は全百十三度以上を示し印度の「ヒルコット」の如きは千八百七十三年に於て百二十五度〇に達し全「バクバドラ」に於ては百二十三度六を示せり而して「シヤム」及「ビルマ」邊は稍々低く百四度内外を示せり今埃及の「カイロー」に於て明治十八年より全二十七年に至る十年間觀測したる夏季最高温度を表記すれは左の如し

●七月二十四日より二十八日に至る暴風雨概況

七月二十三日朝呂宋の東方二百五十浬許の所に顯はれたる颱風は北西に進行し二十四日朝沖繩島の南東方洋上に來りて著るしく發達し七百四十二粍を示し尙ほ北西に進み二十五日拂曉沖繩島を通過したる時は最も甚しく那覇にては午前三時氣壓七百〇六粍二に降り風雨頗る烈しく沖繩島は一帶に被害少からさりき爾後颱風は徐々北西に進行し二十七日朝上海の東方約七十浬の所に到りたるか此時朝鮮南部にては東風强く曇天となり九州も亦た影響を被り南東風頗る强く九州西部は特に甚たしかりし而して颱風は進路を北北東に轉し二十八日朝朝鮮全羅南道の海岸に接近し朝鮮南岸にては二十七日夜來暴風雨となり釜山より木浦に至る南岸は特に甚たしく京阪以西は南西風强く雨天となり京阪以東も亦た概ね曇天にして東京附近にては雨天の所尠からす爾後颱風は朝鮮半島を荒らし日本海に入り二十九日朝浦鹽港附近に到り本邦中部は概ね曇天にして南東乃至南西風强く北海道にては雨を催ふせる所少からさりしか颱風は北東に進行し西比利亞東部に到りたるか故に京阪以西は天候恢復し快晴となりたれとも以東は概ね曇天にして北海道東部にては風雨の所あり此颱風の通過に際し大阪にては二十八日午後八時より南の强風吹き起り二十九日午前一時最も强く毎秒速度十三米九に達し後稍々衰へたれとも午前四時頃まて强風吹き續けり

●本年七月の高溫に就て

技手　芝野　彊

抑も暖冷の原因たるや地形狀に依りて其差異を生することは言を俟たす然りと雖も之れを支配する主因なるものは空氣の濃淡即ち高低氣壓の位置如何に依りて定まるものなるへし故に高氣壓北にありて南に低氣壓あるときは其中間にては北風吹きて寒氣を覺ゆ之れと反對なるときは南より暖風吹き來りて暑氣を感ず依りて本年七月の高低氣壓の配置を看るに小笠原島附近より琉球附近に亘りて高氣壓擴張し滿州より西比利亞東部に低氣壓ありし日最も多く爲めに本邦は南洋より吹き來る暖風の影響を享け連日氣溫上昇を告げ且つ晴天の日多かりしを以て倍々暑氣旺盛となり其最高氣溫を看るに臺灣の南東部なる臺東に於ては三十九度〇(華氏百二度二)にして本邦の最高氣溫なる越後

●七月十三日十四日臺灣暴風雨概況

七月十日午後呂宋の東方に現はれたる颱風は十一日朝宮古島の南方約二百浬の洋上に來りて北西に進行し十二日朝八重山群島の南方約三十浬の海上に來りて著るしく發達し其中心は七百三十六粍を示し八重山群島にては十一日夜來暴風雨となり十二日朝に至りて風勢著るしく增進し石垣島に於ては每秒三十三米に達せり然れとも雨量は比較的少かりし而して爾後颱風は臺灣北部に向ひて進み倍々優勢となり其中心は午後二時七百三十粍を示し十三日朝臺灣北部を掠め十四日朝支那南部に進入せり故を以て八重山群島及臺灣にては十二日夜來非常なる暴風雨となり石垣島にては十三日朝風速度每秒四十五米に達し臺灣北部にては大雨沛然として至り雨量百粍に及へる所あり然れとも本邦內地には格別影響なかりしか臺灣にては非常なる慘害を被むれり今內務省に報告せる被害概數を摘記すれは左の如し

本島人	死亡	二六	人
	重輕傷	二一	
	行方不明	一〇	
	救助人員	二三六四	
	給食人員	七五二六	
內地人（重傷）		一	頭
家畜	死亡	二八二六	
	流失	二一五四	戶
住家	全壞	一二七三	
	半壞	二一七九	
	流失	二二六	
	浸水	二六七九七	
	大破	二三三四	
	小破	二五三	
非住家	全壞	五六九	
	半壞	九七一	
	流失	三四	

田園	浸水	五七一八	
	大破	七一七	
	小破	三	町
	流失	二七	
	浸水	一八三四五	
	砂入	一八三三	
	埋沒	一三一	
	荒廢	五四	間
道路	流失	四〇	ヶ所
	破損	一八一	
橋梁	流失	四四二三	ヶ所
	破損	三二二	
	落橋	六三	
堤防	流失	一〇	ヶ所
	破損	一六一	
官設鐵道	破損	一〇	
	鐵橋破損	四	
		七三	間
		四〇二二	
		五二	

私設鐵道	流失	一〇	ヶ所
	破損	六〇	
	鐵橋流失	三五	
	破損	二	
船舶	流失	三九八	間
	轉覆	三三七八	
	難破	一	
	坐礁	一	隻
壞	欠潰	七二	ヶ所
	流失	七	
		二三三〇	間
		一〇五	

二度以上を示せり而して日照時數は平年より多く降水量は平年より少し

今本年土用中日々の氣溫、日照時數を平年及昨年に比し昨今両年の降水量を表記すれば左の如し

（本表中▲ハ高又ハ多）

月日	種目	空氣の溫度 平均 本年	平年より	昨年より	最高 本年	平年より	昨年より	最低 本年	平年より	昨年より	日照時數 本年	平年より	昨年より	降水量 本年	昨年
七月二十日		二八、八	▲二、〇	▲三、三	三三、一	▲二、二	▲三、五	五五、三	▲一、九	▲一、一	六、五	▲四、七		〇、	
仝 二十一日		二九、一	▲二、一	▲二、三	三三、一	▲一、四	▲二、九	五五、五	▲二、〇	▲一、六	一〇、一	▲二、〇	▲一、九		
仝 二十二日		二九、一	▲三、三	▲〇、九	三三、七	▲一、五	▲〇、八	五六、六	▲三、三	▲〇、八	一三、三	▲五、一	▲八、九		
仝 二十三日		二八、九	▲二、四	▲〇、六	三三、七	▲一、八	▲〇、六	五五、一	▲一、九	▲〇、四	一〇、五	▲三、四	▲二、三		
仝 二十四日		二八、六	▲一、七	▲一、五	三四、八	▲三、五	▲四、八	五五、三	▲一、九	▲一、六	九、七	▲三、一	▲三、一	〇、一	〇、〇
仝 二十五日		二八、五	▲一、四	▲一、七	三三、八	▲一、二	▲一、一	五五、〇	▲一、四	▲三、一	五、八	▲一、五	▲五、四	〇、二	
仝 二十六日		二八、七	▲二、〇	▲一、六	三三、四	▲一、〇	▲〇、八	五五、三	▲二、〇	▲三、一	九、八	▲二、八	▲二、八	〇、〇	
仝 二十七日		二八、九	▲二、二	▲一、五	三三、八	▲一、七	▲〇、七	五五、二	▲二、〇	▲三、二	一〇、三	▲二、〇	▲二、〇		
仝 二十八日		二八、八	▲一、六	▲一、五	三三、三	▲〇、五	▲〇、三	五五、二	▲二、〇	▲三、三	八、五	▲四、六		四、八	
仝 二十九日		二八、六	▲二、四	▲一、四	三二、一	▲〇、三	▲〇、四	五六、九	▲四、五	▲三、九	一、六	▲二、一	▲四、一		
仝 三十日		二八、八	▲二、八	▲二、〇	三三、〇	▲二、〇	▲一、一	五六、四	▲二、九	▲三、三	五、〇	▲四、一	▲二、〇		
仝 三十一日		二七、七	▲二、六	▲二、〇	三二、八	▲二、四	▲四、六	五六、一	▲一、四	▲五、一	一三、三	▲五、三	▲三、三		〇、六
八月一日		二七、七	▲二、七	▲二、五	三三、三	▲一、二	▲二、五	五六、〇	▲二、六	▲六、一	一二、八	▲二、六	▲五、〇		
仝 二日		二七、七	▲二、七	▲二、五	三三、六	▲一、五	▲三、六	五五、七	▲二、二	▲五、九	一二、一	▲四、八	▲〇、六		
仝 三日		二七、二	▲二、二	▲二、一	三三、二	▲一、二	▲二、六	五六、二	▲二、九	▲六、〇	六、〇	▲一、二	▲四、八		
仝 四日		二七、七	▲二、七	▲二、〇	三三、七	▲〇、九	▲二、四	五七、六	▲四、三	▲七、三	七、四	▲〇、〇	▲二、八		
仝 五日		二七、五	▲二、六	▲二、〇	三三、六	▲二、〇	▲四、〇	五七、七	▲二、八	▲六、〇	一二、七	▲四、一	▲〇、一		
仝 六日		二七、四	▲二、三	▲二、〇	三四、九	▲二、二	▲三、三	五四、二	▲〇、九	▲三、八	一三、三	▲四、八	▲〇、二		
仝 七日		二七、二	▲二、〇	▲一、八	三三、一	▲一、二	▲三、〇	五五、〇	▲一、二	▲三、八	一二、八	▲四、八	▲一、一		
平均又ハ合計		二七、二	▲二、二	▲二、八	三三、二	▲一、八	▲二、〇	五五、七	▲二、四	▲三、六	一八、八	▲四、〇	▲七、六	〇、七	九、七

「ミクロン」振動期六秒七、南北動は午前四時三十一分二十八秒に於て二十「ミクロン」振動期七秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十四分十六秒、南北動は二十四分五十二秒なり

附記　此地震は豐後海峽に發したるものにして大分にては人身に感覺なきも地震計に感したり

一〇八、　七月二十一日午前六時二十二分四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれとも最大振幅は午前六分二十三分八秒に於て四「ミクロン」振動期二秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は六分九秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は鹿島灘に發したるものにして筑波山にては性質急なる微震を感し岩代の福島にては人身に感覺なきも地震計に感したり

一〇九　七月三十一日午前八時二十五分三十六秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時二十六分三十五秒に於て二十「ミクロン」振動期一秒七、南北動は午前八時二十六分二十八秒に於て二十二「ミクロン」振動期一秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五分三十三秒、南北動は五分三十秒なり

附記　此地震は紀伊南部に發したるものにして潮岬にては弱震を、和歌山及鐘島にては微震を感し、伊勢の津にては人身に感覺なきも地震計に感したり

●本年土用中の氣象實況

例年梅雨期は陰鬱の天氣多く爲めに氣温の上昇遲緩となり比較的冷氣なりしも梅雨期を過くれは忽ち夏の土用となり俄然氣温上昇し盛夏の狀態に遷るを常とす然るに本年は梅雨早く去り六月末より晴天となり氣壓の配置は小笠原島附近より琉球の東方に高くして支那北部に低く全く夏季の狀態となり爲めに當地方は主として南西風吹き晴天引續き暑氣酷烈となり近年になき高温度を示せり之れを詳記すれは左の如し

本年土用（七月二十日より八月七日に至る）十九日間の氣象を看るに平均氣温は土用中を通して日々平年より二度内外高く最高は八月六日に於て三十四度九（華氏九十四度八）を示し平年より二度七高く土用中を通して日々三十

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は六分零秒、第二は五分三十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後四時三十九分三十秒に於て十二「ミクロン」振動期十一秒〇、南北動は午後四時三十八分二十六秒に於て十五「ミクロン」振動期十五秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十六分四十七秒、南北動は五十八分零秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならされとも各地にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

水澤	午後四時一三分二七秒
大阪	仝　四時一四分一九秒
シカウエー	仝　四時一五分四六秒

一〇五　七月十八日午後五時十分四十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後五時十三分二十二秒に於て二十七「ミクロン」振動期五秒八、南北動は午後五時十三分十三秒に於て二十二「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十二分三十三秒、南北動は二十二分一秒なり

附記　此地震は鹿島灘に發したるものにして水戸及筑波にては微震を感し東京、宇都宮にては人身に感覺なきも地震計に感したり

一〇六　七月十九日午後十時四十九分四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならされとも最大振幅は午後十時五十分十九秒に於て五「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分五十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊南部に發したるものにして潮岬にては人身に感覺なきも地震計に感したり

一〇七　七月二十一日午前四時二十五分十四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならされとも最大振幅は東西動は午前四時三十一分五十二秒に於て二十二

東西動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動 P	六時三六分一〇秒	—	—
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	仝 三七分三九秒	—	—
主要動 M	仝 三八分一〇秒（十）	二二二	七、二
終期 F	仝 五五分五五秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動 P	六時三六分一〇秒	—	—
初期微動 S	—	—	—
主要動 L	仝 三七分三九秒	—	—
主要動 M	仝 三八分一〇秒（一）	二七二	五、三
終期 F	仝 五七分五二秒	—	—

附記

此地震は羽後國に發したるものにして震域廣く北方は北海道の函館に南方は東京、横濱附近に達し南西方は加賀の金澤邊より駿河の沼津附近に亘れり而して秋田にては弱震を感し東京、横濱、熊谷及水戸等にては微震を感し微動は遠く九州北部に達したり

一〇三　七月十四日午後零時十九分四十一秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれとも最大振幅は東西動は午後零時四十五分十七秒に於て二十二「ミクロン」振動期十三秒四、南北動は午後零時四十五分四十五秒に於て三十二「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十二分七秒、南北動は一時十一分三十四秒なり

附記

此地震は遠距離の所に發したるものにして未た震源に詳ならざれとも各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝し

ジカウエー（支那上海）	午後零時一八分一〇秒	
大連	仝 零時一八分五四秒	
大阪	仝 零時一九分四一秒	
仁川	仝 零時二〇分三一秒	

一〇四　七月十七日午後四時十四分十九秒の地震

今各地の發震時を列記すれば左の如し

石垣島	午後三時三六分〇〇秒	弱(弱き方)地鳴あり
臺北	仝 三時三七分四六秒	弱(弱き方)時計止る
基隆	仝 三時三八分〇〇秒	弱(弱き方)性質急
臺東	仝 三時三八分〇六秒	弱(弱き方)性質急時計止る
臺中	仝 三時三八分一〇秒	弱(弱き方)上下動あり家屋動搖す
恒春	仝 三時三八分二五秒	微 性質急
臺南	仝 三時三八分二六秒	微 性質急
澎湖島	仝 三時三八分二七秒	微 性質緩
那覇	仝 三時四〇分二〇秒	微(感覺なし)
父島	仝 三時四〇分五八秒	微(感覺なし)
大阪	仝 三時四一分一七秒	微(感覺なし)

一〇一　七月十三日午前二時五十八分四十四秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時五十九分四十四秒に於て七十二「ミクロン」振動期二秒〇、南北動は午前二時五十九分五十三秒に於て六十二「ミクロン」振動期二秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十一分三十秒、南北動は十二分五十一秒なり

附記　此地震は内海の東部に發したるものにして德島にては人身に感覺なきも地震計に感したり

一〇二　七月十三日午前六時三十六分十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前六時三十八分十秒に於て二百二十二「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午前六時三十八分十秒に於て二百七十二「ミクロン」振動期五秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十九分四十九秒、南北動は二十一分四十二秒なり即ち次表に示すか如し

名		
瀬	午前二時四九分一六秒	強(弱き方)性質急、地鳴あり家屋動搖す
邪	〃 二時五〇分〇〇秒	弱(弱き方)性質急、地鳴あり家屋動搖す
蘭	〃 二時五〇分〇六秒	微(感覺なし)
北	〃 二時五〇分一五秒	微
大分	〃 二時五〇分二一秒	微(感覺なし)
多度津	〃 二時五〇分二三秒	微(感覺なし)
大阪	〃 二時五〇分二三秒	微(感覺なし)
父島	〃 二時五〇分三四秒	微(感覺なし)
新居濱	〃 二時五一分二二秒	微(感覺なし)
津	〃 二時五一分五〇秒	微(感覺なし)

九九　七月五日午前八時四十六分十六秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は五分二十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時五十四分三十二秒に於て六十二「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は二十八分四秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども小笠原島にては人身に感覺なきも地震計に感したり

一〇〇　七月六日午後三時四十一分十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は三分十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時四十五分五十五秒に於て百四十「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午後三時四十六分三十六秒に於て百五十二「ミクロン」振動期七秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十三分四十六秒、南北動は四十二分五十二秒なり

附記　此地震は臺灣の東方海底に發したるものにして臺灣及石垣島は性質急なる弱震を感し家屋動搖し臺北及臺東にては振子時計の運轉を停止し奄美大島及小笠原島にては人身に感覺なきも地震計に感したり又微動は遠く畿内附近及朝鮮等に達したり

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波又は主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十三回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものも亦た一回もなかりしか無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは十回にして鹿島灘、紀伊南部、臺灣附近各二回羽後國、内海東部、豐後海峽、奄美大島の東方海底各一回なり又遠距離地震は三回にして未だ震源詳ならす今其觀測概況を列記すれは左の如し

九七　七月三日午前九時二十五分七秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならされとも最大振幅は午前九時二十六分四十三秒に於て七「ミクロン」振動期五秒〇を現し全振動時間は六分四十九秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は臺灣附近に發したるものにして臺北及臺南にては人身に感覺なきも地震計に感じたり

九八　七月五日午前二時五十分二十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時五十四分五十二秒に於て二百二十二「ミクロン」振動期六秒七を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は三十八分四十九秒なり

附記　此地震は奄美大島の東方海底に發したるものにして震域廣く南西方は臺灣北部に東方は小笠原列島に北東方は四國の北部及伊勢の津附近に達し奄美大島の名瀬にては性質急なる強震を感し地鳴あり那覇にても性質急にして地鳴を伴ひたる烈震を感し又微動は遠く朝鮮及本州北部に達したり

今各地の發震時を列記すれは左の如し

管内天氣摘要

●一日概ね晴天新庄に濃霧あり●二日東郷、天王、清水、長野に雷雨妙見山、八尾に雨降れり●三日概ね晴天●四日概ね晴天妙見山に濃霧大阪に強風吹けり●五日概ね晴天深日に虹霓現はれ新庄、天王に雨降り深日、長承寺、大阪に強風吹けり●六日概ね曇天なりしが夜に入り雨降り翌日に亘る、深日に電光あり大阪に強風吹けり●七日前日來の雨午後に至り歇む●八日概ね晴天●九日晴曇相半し大阪に強風吹けり●十日概ね曇天夜に入り雨降り翌日に亘る南部に雷鳴あり深日、大阪に強風吹けり●十一日前日來の雨一旦歇みしか午後より再び降雨となり翌日に亘る、深日、妙見山、東郷、天王に雷鳴あり長承寺、長野に電光あり大阪に強風吹けり●十二日前日來の雨午前歇み一般に雷鳴あり●十三日概ね晴天所々に雷鳴あり大阪、天王に雨降れり●十四日概ね晴天●十五日概ね晴天●十六日概ね晴天●十七日概ね晴天●十八日概ね晴天大阪に強風吹けり●十九日概ね晴天堺、大阪、新庄に雨降れり●二十日概ね晴天●二十一日概ね晴天大阪に強風吹けり●二十二日概ね晴天大阪に強風吹けり●二十三日概ね晴天●二十四日概ね晴天なりしか午後に至り雷雨となり所々に強風吹けり●二十五日晴曇相半し所々に雷雨あり大阪に強風吹けり●二十六日概ね晴天東部に雷鳴あり深日に雨降り大阪に強風吹けり●二十七日概ね晴天所々に雷鳴あり天王、清水、枚方に雨降れり●二十八日末明より雨降り斷續して午後歇む、深日、尾崎、大阪に強風吹けり●二十九日概ね晴天新庄、妙見山に雨降り尾崎、大阪に強風吹けり●三十日概ね晴天新庄に雨降れり●三十一日概ね晴天

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
三、三	—	—	四、三	二九、〇	〇、八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一九、七	四、九	—	九、六	—	—	—	—	八九、二
七、三	—	—	四、一	三〇、三	一、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、五	四、一	—	八、〇	—	—	—	—	八三、七
八、〇	—	—	四、四	四二、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二〇、〇	六、〇	—	六、八	—	—	—	—	一三一、一
〇、七	—	—	一〇、三	二七、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六、五	二、七	—	六、七	—	—	—	—	九七、八
八、三	—	—	二、二	五〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、五	—	—	五、七	—	—	—	—	一三三、四
四、七	—	—	一九、七	四四、三	—	—	—	—	—	—	—	〇、七	—	—	—	—	〇、四	〇、七	—	五、七	〇、三	—	—	—	一二七、三
—	—	—	一五、六	三五、七	一、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	四、四	—	—	—	—	八二、九
一、一	—	—	一四、四	三二、六	—	—	—	—	—	—	—	一、九	—	—	—	—	〇、〇	〇、一	—	四、四	〇、〇	—	—	—	八〇、五
—	—	—	六、九	三三、八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、五	—	—	三、八	—	—	—	—	六九、四
〇、三	〇、一	—	八、七	四〇、〇	〇、二	〇、三	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	—	一三、七	〇、二	—	五、五	—	〇、一	〇、〇	—	八九、一
—	—	—	四、八	六四、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	五、〇	一、〇	—	—	—	九四、六
—	—	—	四三、〇	六二、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七、二	二、五	—	—	—	一四四、二
—	—	—	五、六	五六、二	—	〇、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	五、〇	—	—	—	—	八八、三
—	—	〇、四	六、五	三五、五	—	一、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	〇、三	—	三、二	〇、五	—	—	—	八五、二
—	—	—	一三、〇	六三、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、〇	—	—	—	—	一〇六、七
—	—	—	一七、〇	七〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六、〇	—	—	—	—	一二六、四
一、〇	—	—	二一、〇	三六、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇、一	一、〇	—	六、〇	—	—	—	—	一〇〇、〇
〇、四	—	—	二〇、〇	三六、八	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三、七	四、三	—	三、五	一、〇	—	—	—	一〇五、三
二、〇	—	—	一四、五	二四、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七、五	一、五	—	五、六	—	—	—	—	九〇、四
五、一	—	—	五、五	一八、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一五、[illegible]	—	—	三、[illegible]	—	—	—	—	一二五、三
八、四	—	—	二、四	四六、八	七、五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四、九	—	—	三四、[illegible]	三、五	—	—	—	[illegible]
五、七	—	—	二、五	六一、二	〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一四、四	一、[illegible]	—	一六、[illegible]	—	—	—	—	一四八、一

第五表　管內降水日量

七月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二、一	—	六、七	—	三、四	—	—	〇、三	—	—	—
三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	五、五	—	—	—	—	—	—	—	—
六日	一七、六	一六、五	三〇、九	三三、五	三三、七	二〇、八	二六、〇	二七、〇	二二、六	二〇、〇	一九、五	二七、三	二二、[illegible]	二四、九	一八、七	二二、[illegible]	五、[illegible]	[illegible]	五、[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	三二、二	三二、六	二六、九	三〇、七	三〇、一	三二、七	三一、九	三三、三	三一、八	三三、八	三三、一	三三、八	三一、八
二日	二四、二	二三、九	二〇、六	二〇、八	一九、七	二三、一	二三、七	二三、三	二三、一	二四、〇	二三、五	二三、一	二三、八
三日	二八、二▲	二七、八▲	二三、八▲	二五、七▲	一五、〇▲	二七、九▲	二七、[illegible]▲	二八、三▲	二七、〇▲	二八、九▲	二七、八▲	二八、五▲	二七、三▲
四日	二、六	二、四	一、八	一、六	二、八	二、[illegible]	一、九	二、二	二、二	二、七	一、七	二、七	二、二
五日	三六、五	三五、五	二九、九	三三、〇	三三、〇	三六、四	三四、七	三七、五	三五、五	三七、三	三七、六	三六、二	三四、八
六日	二四	二四	二二	二四 二八	一八	二四	二六	二三 二四	二四	二四	二四	二四	二九
七日	一九、九	一八、一	一六、三	一六、八	一五、九	一九、三	一九、六	一九、六	一八、七	二〇、五	一九、〇	一八、七	一八、三
八日	一五	一五	七	一五	八	九 五	七	一五	一五	八 一五	一五	一五	一五
九日	八九、一	九四、六	一四四、一	八八、三	八五、一	一〇六、七	一一六、四	一〇〇、〇	一〇五、三	九〇、四	一一五、三	一五〇、一	一四八、一
十日	六一、九	六四、五	三六、〇	九五、三	一〇五、〇	七二、四	六五、七	七五、三	一二二、九	七五、八	六二、五	一一、三	—
十一日	四〇、〇	六四、三	六二、〇	五六、二	三五、五	六三、〇	七〇、〇	三六、〇	三六、八	三五、〇	三八、七	四六、八	六一、二
十二日	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	六	二	二
十三日	二九、二	三〇、二	二三、三	二八、一	二六、四	二九、六	二九、二	三〇、七	二九、四	三〇、四	二九、六	三〇、五	二八、九
十四日	七二	六四	八八	七二	七七	七二	七七	六八	六八	六七	六八	六五	七九
十五日	六、五	四、〇	四、三	四、四	四、二	四、九	五、一	五、六	六、〇	四、七	五、六	五、〇	四、九
十六日	西	南西	北東 南東	南	南	西	南	西	西	南西	北西	南西 西西	北
十七日	一三	五	六	五	一〇	四	五	七	八	八	六	八	八
十八日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十九日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十一日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十二日	三	二	一	四	五	四	一	二	二	六	四	三	六
二十三日	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十四日	六	一〇	一三	一一	八	一〇	八	五	二	一三	七	一一	四
二十五日	一七	七	八	八	四	九	八	九	一三	八	一一	八	六
二十六日	〇	〇	〇	〇	〇	一	〇	一	一	一	一	一	一

れも六十粍内外の降雨を豪注し其他と雖も四十粍乃至三十粍の降雨ありたり

二十四日迚日晴天にして日射甚しく特に本日は一層旺盛を極め前項記載の如く月中の最高氣温に達し炎熱燒くか如かりしか午後一時頃より南方に積雲現はれ亞て仝一時過南方に遠雷起り漸次北方に進行しつゝありしか午後二時頃に至り濃灰色を呈せる積雲叢々として押し寄せ來り間もなく强烈なる急風砂塵を卷て起り强雨之れに伴ひ南部の沿岸最も烈しく暫時にして二十三粍を量り東部之れに亞き十五粍内外を降下せり雷も亦其中心經路に當りし地方は頗る强く大阪市に於ては北區善源寺八滿神社西の道路電柱に落雷し電柱及避雷針を粉碎し又東區瓦屋町四番町及空堀の二ヶ所電柱に落雷あり府下にありては南河内郡喜志村大字櫻井農業巽丑松方住家北東隅屋根に落雷し又仝村字市新野村の田園にも落雷あり孰れも人畜に死傷なかりしと云ふ

第四表　管内氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均	最高極	起日	最低極	起日	降雨量 總量	最多日量	起日	水午前七時（柏原八午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	降水	雪	霰	霜	雷電	地震	快晴	曇	雨	雪	霧	晴	天氣日數 午前十時天氣			
深日	三二、七	二四、三	二六、五	二九、二	三、二	二八、一	三、二五	八九、二	八四、七	二、二	三三、三	六六	四、七	北	八	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	九	五	三	〇	二	二	二	二
尾崎	二四、五	二四、三	二九、四▲	三三、五	三、五	三〇、五七	三、五五	八三、七	五二、三	二、三	二九、九	七	三、三	南西	八	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇	五	五	二	〇	二	二	二	二
岸和田	二三、三	二四、二	二七、七▲	三〇、七	三、七	三三、七	三、七	八六、二	四二、〇	二、二	二九、二	七	三、六	西	七	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇	二	四	〇	〇	二	四	〇	二
長承寺	三三、二	三三、八	二七、六▲	一六	三、二	三三、二	三、二	九七、八	五、二	二、二	二六、六	六六	三、三	西	七	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇	二	七	四	〇	二	四	三	二
濱寺	三四、一	四、一	二六、八	—	三、七	三三、二	三、二	一三、四	五、二	二、二	二、二	七	四、八	西	六	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇	四	四	〇	〇	二	四	〇	〇
堺	三三、八	二四、七	二六、八▲	三三、五	三、五	二、八	二、八	二七、二	四、四	二、二	二、一	六	四、二	西	九	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	四	八	一	〇	二	六	〇	〇
天王寺	三三、二	二四、九	二九、二▲	三三、四	三、四	三三、九	三、九	八三、九	八、二	二、一	二、七	七	三、七	西	六	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	二	六	〇	〇	二	六	〇	〇
大阪	三三、九	二四、八	二六、二▲	三三、八	三、八	三八、八	三、八	八〇、五	三、六	二、二	二、五	六	三、七	南西	七	〇	〇	〇	〇	〇	五	〇	〇	七	三	〇	二	四	〇	〇
福島	三三、九	二四、三	二七、二▲	三三、七	三、七	三〇、五八	三、五	八六、四	八、六	二、八	二、三	六	四、〇	西	五	〇	〇	〇	〇	〇	四	〇	五	六	二	〇	二	二	二	二

にして東部柏原に於て三十七度六(華氏九十九度七)の最高に達し月平均氣溫に於ても平年より二度乃至三度の高溫を呈せり又降水量は七日及十二日に大雨を降注したれ共其他晴天の日多かりしを以て一般に少なく平年の半に達せさる所多かりき更に氣溫、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣溫

平均は南部尾崎の二十九度四より北部妙見山の二十三度八の間にありて之れを平年に比すれは一般に高く其差大なるは三度五に達せり而して最高は概ね二十四日に現はれ東部柏原の三十七度六南部尾崎、西部枚方の三十七度五を高極とし其他は三十七度三より三十二度七の間にあり又最低は概ね八日及十五日に現はれ北部天王の十五度九を最低とし仝妙見山の十六度三之れに亞き其他は十八度乃至二十度を示せり之れを要するに本年七月の氣溫は最高三十七度六より最低十五度九の間にありて其較差二十一度七に達せり

降水

總量は東部富田林の百五十粍一仝長野の百四十八粍一より西部福島の六十九粍四の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく就中深日、尾崎、天王寺、大阪、福島、東郷、天王、田原の如きは平年の二分の一に達せさりき而して日量の最多は概ね十一日より十二日に亘りし大雨の際にありて其最も多かりしは清水の七十粍〇之れに亞くは池田の六十四粍三茨木の六十三粍〇妙見山の六十二粍〇長野の六十一粍二にして其他五十粍以上なりしは濱寺、東郷の二ヶ所、四十粍以上なりしは岸和田、堺、新庄、富田林の四ヶ所、三十粍以上なりしは尾崎、長承寺、天王寺、大阪、福島、天王、枚方、田原、八尾、柏原の十所にして獨り深日は二十九粍に止まれり

雷雨

本月中に雷雨を觀測したるは九回にして其内十二日及二十四日に起りしものは強雷にして且つ廣區域に亘りたれ共其他は微雷なり今之れ等顯著なるものに付き詳記すれは左の如し

十二日午前四時頃北部の山間に雷雨起り漸次南に進み大阪附近に來りて進路を南東に轉し仝八時過紀和國境に經過せしものゝ如く其中心經路に當りし地方は強雷となり豪雨之れに加り北部及東部の南方最も烈しく孰

時量最多	—	—	一四、二	三	—	—	温度	七九、二	七七、三	八二、四	七五、〇	七四、八	七五、二
蒸發量	二四九、〇	▲三七、〇	一一、七	二九	一、三	一九	平年に比し	〇、一	▲一、六	▲三、七	一、二	一、七	一、五
日照時數	二八二、八〇	▲三一、七〇	一三、五〇	一八	—	—	飽差	五、八一	五、七八	四、八九	七、一六	七、五三	三、五〇
地中温度 地皮	三〇、七八	▲一、七六	五五、三	二三	二三、七	八	平年に比し	▲二、〇六	▲〇、二九	▲〇、二五	▲一、五八	▲一、一六	一、九五
十糎	一九、〇三	▲一、七一	三三、四	三一	二四、四	八	降水量	—	二八、二	四六、三	二、一	〇、一	五、〇
二十糎	二八、六〇	▲一、七〇	三一、六	三一	二五、六	八	平年に比し	四二、二	▲一〇、九	▲三三、七	▲一、七	一三、四	四、三
三十糎	二八、一〇	▲一、六六	三〇、六	三一	二五、七	八	雲量	四、六	八、八	六、〇	五、〇	三、一	五、〇
六十糎	二五、八三	▲一、六二	二七、六	三一	二三、二	一	平年に比し	二、四	▲二、一	▲〇、八	〇、九	三、〇	〇、六
百二十糎	二二、二三	▲一、〇三	二三、八	三一	二〇、一	一	日照時數	五五、五〇	三〇、六五	四一、八五	五二、〇五	四九、一〇	四一、四五
三百糎	一六、〇一	▲〇、二一	一六、五	三〇 三一	一五、五	一	平年に比し	▲二四、三六	七、八四	六、二五	▲二、三〇	▲一一、三九	▲二、一五
五百糎	一五、七七	▲〇、〇五	一六、〇	三〇	一五、六	一	風速度	五、一九	五、一九	四、八二	三、九六	四、一八	五、三三
七百糎	一六、六五	▲〇、二八	一六、八	一	一六、五	三〇 三一	平年に比し	▲〇、五九	▲〇、一七	〇、二五	一、三九	〇、三七	▲〇、六一

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
觀測回數	七一	五三	一七	三六	八四	二五八	一九二	二〇	一三	南六一度西	四九
平年比較	二四	二七	一九	▲一六	▲一九	▲三八	▲一〇	二〇	▲七		

大阪府管內氣象概況

前既に詳悉せるか如く七月上旬は尙梅雨季に屬し降雨多くして暑氣の加はること遲緩となるも中旬に入り梅雨霽ると同時に暑氣激增し盛夏の狀態を呈し南西風卓越して吹き晴燥の天氣を持續するを常とす然り而して本年七月の氣候を調査するに上旬の始めは晴天なりしか仝旬の半頃より降雨を催ふし中旬の始めに於て梅雨は全く其跡を斷ち暑氣日を追ふて加はり下旬に入りて最も烈しく連日三十二度（華氏九十度）を超ゑ特に二十四日の如きは其最たるもの

廿二日	三四、一	三〇、四	二九、九	二九、二	二六、七	二三、二	朝露あり、午後二時より七時迄強風吹けり
廿三日	三五、一	三〇、五	三〇、〇	二九、四	二六、九	二三、三	朝夜薄露あり
廿四日	三三、八	三〇、二	三〇、〇	二九、六	二七、〇	二三、一	朝露あり、午後一時五十五分より一時五十八分迄及仝二時〇五分より二時三十五分迄小雨、午後二時強風吹けり、午後一時五分南に當り雷鳴起り仝二時十五分より電雷となり東を經て北東に廻り仝三時三十五分收聲す仝八時四十分北東に電光起り翌日に到る
廿五日	三二、八	二九、八	二九、七	二九、四	二七、一	二三、九	前夜來の電光二時三十分北東より北方に到りて歇む、午前三時五十三分より四時五分迄微雨あり、午前三時四分より西方に雷鳴起り五時十分南西に到り收聲す、午前七時十七分より微雨斷續して十一時四十三分歇む、午後一時十五分より三時四十分迄東に雷鳴あり、午後六時強風吹けり午後七時四十分より東方に電光起り翌曉に亘る
廿六日	三四、七	三〇、四	二九、九	二九、四	二七、一	二三、九	前日來の電光午前二時五分に到る、午前一時五分より一時十分迄微雨、午後二時より四時迄強風吹けり、午後七時三十分より九時三十分迄南東方に電光あり、夜薄露あり
廿七日	三五、三	三〇、五	三〇、一	二九、六	二七、二	二三、四	朝露あり、午後二時三十五分より三時五十分迄南方に雷鳴あり、午後五時九分より五時五十分迄微雨斷續す、夜薄露あり
廿八日	二九、五	三〇、〇	三〇、一	二九、六	二七、二	二三、五	朝薄露あり、午前二時五分より小雨斷續して十一時三十五分歇む、午後九時より夜半迄強風吹けり
廿九日	三四、二	三〇、二	二九、八	二九、四	二七、三	二五、七	午前一時より四時及午後二時より七時迄強風吹けり
三十日	三六、〇	三〇、九	三〇、三	二九、八	二七、四	二三、九	朝夜露あり
卅一日	三六、四	三一、五	三〇、八	三〇、一	二七、五	二四、六	朝薄露あり
全月	三〇、八	二九、〇	二八、六	二八、一	二五、八	二三、四	

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高又は多、強）

種目	全月觀測成績 平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日	種目	半旬期觀測成績 自六月三十日至七月四日	自七月五日至七月九日	自七月十日至七月十四日	自七月十五日至七月十九日	自七月二十日至七月二十四日	自七月二十五日至七月二十九日
氣壓	七五六、九五	〇、一四	七六一、六	二	七五三、一	一八	氣壓	七五九、一五	七五六、九三	七五七、六二	七五六、三一	七五七、三一	七五五、二八
氣溫 平均	二八、〇一	▲二、〇三	—	—	—	—	平年に比し	▲一、七五	〇、二七	一、〇一	一、五七	▲一、〇四	〇、二二
氣溫 最高	三一、七七	▲二、一〇	三四、八	二四	—	—	氣溫	二七、七八	二五、九七	二七、五一	二八、一一	二八、八九	二八、八八
氣溫 最低	二四、六六	▲一、九六	—	—	二〇、八	八	平年に比し	▲三、八二	▲二、〇〇	▲一、九四	▲〇、七六	▲一、八五	▲一、七八
氣溫 較差	七、一一	▲〇、一四	九、八	一四 一五	—	—	最高氣溫	三一、三三	二九、一〇	三一、〇八	三二、二四	三三、三二	三三、四六
水蒸氣張力	二一、五〇	▲二、一三	二五、〇	一一	一二、五	八	平年に比し	▲三、九七	▲一、五〇	▲一、七三	▲一、二〇	▲二、五一	▲一、三七
溫度	七七、一	〇、二	—	—	四六	八	最低氣溫	二四、六四	二二、八八	二四、二六	二四、二八	二五、三二	二五、七〇
飽差	六、五六	▲〇、七五	一八、一	二四	〇、四	一五	平年に比し	▲三、七〇	▲二、二六	▲二、一六	〇、〇二	▲一、六〇	▲二、一六
降水 月量	八一、七	三〇、四	—	—	—	二	水蒸氣張力	二一、八一	一九、一六	二二、三三	二一、〇三	二一、九〇	二二、〇八
降水 日量最多	—	—	三一、九	二二	—	—	平年に比し	▲四、二六	▲〇、四	▲三、九	▲〇、九七	▲一、六八	▲一、六[illegible]

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

七月	地中溫度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	二九、七	二七、九	二六、九	二六、一	二三、四	二一、九	朝露あり、午後八時五分より八時十五分迄月光環現る、夜薄露あり
二日	二九、六	二八、三	二七、四	二六、五	二三、九	二一、〇	朝露あり、午後零時三十分より四時二十分迄日暈、午後九時五分より十時三十五分迄月暈現る、夜薄露あり
三日	三〇、三	二八、八	二七、八	二七、〇	二四、二	二三、四	朝露あり、午後七時より十一時二十分迄月暈現る
四日	二九、九	二八、九	二八、一	二七、三	二四、五	二三、九	午前十時三十二分より午後零時二十五分迄仝二時四十分より五時十分迄日暈現る、午後一時強風吹けり
五日	二九、四	二八、五	二八、〇	二七、四	二四、八	二三、八	午前十一時五十分より午後一時五十五分迄日暈現る、午後三時乃至六時強風吹けり
六日	二八、三	二八、二	二七、九	二七、三	二四、〇	二一、八	午前九時より正午迄及午後三時より五時迄強風吹けり、午後八時四十七分より降雨翌日に到る
七日	二四、九	二六、〇	二六、九	二六、八	二五、〇	一九、七	前日來の降雨斷續して午後七時十五分歇む
八日	二七、一	二六、一	二六、一	二六、〇	二四、八	一八、〇	午前九時四十五分より十時三十一分迄及十一時より午後零時三十分迄日暈現る、夜薄露あり
九日	二七、九	二六、八	二六、五	二六、二	二四、七	二〇、三	朝露あり
十日	二八、九	二七、九	二七、一	二六、六	二四、七	二四、〇	午前九時強風吹けり、午後一時四十二分より四時二十五分迄五時五十五分より六時十五分迄日暈現る、午後十一時四十五分より降雨時々大雨を交へ翌日に到る
十一日	二九、一	二八、三	二七、六	二七、二	二四、九	二三、四	前日來の降雨午前一時三十五分歇む、午後三時四十二分より降雨斷續し八時三十五分歇む、午前一時より二時迄及四時より七時迄強風吹けり、午後八時十分より九時四十五分迄南西方に電光あり
十二日	二八、四	二七、八	二七、五	二七、三	二五、三	二三、九	午前零時二十分より一時五十五分迄小雨、午後零時〇五分より一時五十五分迄東方より南東に當り電光あり、午前四時五分より北方に電雷起り西を經て南東方に到り八時三十分收聲す、午前五時四十分より降雨時々大雨を交へ九時五十五分歇む、夜露あり
十三日	二九、三	二八、四	二七、八	二七、四	二五、四	二一、三	朝露あり午後四時八分北方に雷鳴起り北東に來り六時十二分收聲す、夜薄露あり
十四日	三〇、〇	二九、〇	二八、三	二七、七	二五、五	一九、八	朝露あり、午前二時四十分より五時二十分迄薄霧あり、夜薄露あり
十五日	二八、二	二七、九	二八、一	二七、七	二五、八	一七、八	朝露あり、午前零時五十分より三時三十分迄月光環あり、午後一時十分より三時十分迄日暈現る、夜薄露あり
十六日	三〇、三	二八、九	二八、三	二七、八	二五、八	二三、五	朝薄露あり、午後零時三十五分より一時二十八分迄日暈現る
十七日	二九、八	二九、〇	二八、七	二八、二	二六、〇	二一、九	午後一時二十分より一時三十分迄日暈現る
十八日	三〇、二	二九、五	二九、〇	二八、四	二六、二	二三、三	朝露あり、正午強風吹けり、夜薄露あり
十九日	三〇、二	二九、五	二九、二	二八、七	二六、三	二二、六	朝露あり、午後七時一分より七時十八分迄降雨
二十日	三〇、〇	二九、四	二九、二	二八、八	二六、五	二二、一	朝露、夜薄露あり
廿一日	三〇、九	二九、九	二九、四	二八、八	二六、五	二二、八	朝薄露あり

全月	卅一日	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日
七五六、九	七五五、二	七五五、七	七五四、九	七五四、四	七五四、八	七五五、三	七五七、四	七五八、三	七五七、四	七五六、八	七五七、六	七五六、五	七五四、七	七五四、六	七五六、八	七五七、九	七五八、五	七五七、三	七五八、三	七五八、三	七五七、七	七五六、八	七五七、五	七五九、〇	七五七、一
二六、一	二九、七	二九、八	二九、六	二六、六	二六、九	二八、七	二八、五	二八、六	二六、九	二九、一	二九、一	二八、八	二八、五	二九、一	二八、五	二八、四	二八、一	二六、一	二七、六	二八、三	二七、三	二八、〇	二八、六	二五、三	三〇、六
▲[illegible]	▲二、[illegible]	▲二、四	▲一、七	▲一、六	▲一、七	▲一、七	▲二、一	▲二、四	▲三、〇	▲一、四	▲一、一	▲一、三	▲〇、八	▲一、三	▲〇、九	▲一、一	〇、三	▲一、五	▲一、五	▲〇、九	▲二、六	▲三、一	▲二、三	▲一、一	〇、五
[illegible]、八	三[illegible]、八	三四、〇	三三、二	三三、[illegible]	三三、八	三三、四	三二、八	三四、八	三三、七	三二、七	三三、三	三三、一	三三、四	三三、六	三三、九	三三、五	三〇、八	三三、七	三二、四	二九、四	三二、四	三〇、五	三〇、六	二九、八	三四、一
二四、七	二八、二	二八、四	二七、九	二五、一	二五、三	二六、三	二五、〇	二五、三	二五、一	二六、六	二五、五	二五、二	二五、六	二五、三	二四、〇	二五、五	二二、〇	二三、九	二四、〇	二三、九	二五、二	二八、三	二三、九	二〇、八	二二、五
七、一	七、七	七、六	四、三	七、一	七、五	七、二	七、八	九、六	七、六	七、一	七、八	七、九	六、八	七、三	八、九	七、[illegible]	九、八	九、八	七、四	六、五	六、二	四、二	七、七	九、〇	二、八
[illegible]、五	三三、九	三二、七	三三、六	三、九	三三、九	三五、一	三、八	三〇、七	三、七	三三、二	三三、七	三三、三	三、[illegible]	三[illegible]、[illegible]	三〇、九	三三、〇	一八、六	三〇、四	三三、〇	三、八	二四、三	三、三	三〇、五	一五、八	一八、三
七[illegible]	七五	七四	七[illegible]	七[illegible]	七四	七六	七六	七三	七四	七五	七六	七六	七五	七五	七三	七〇	七五	七三	八四	八六	八九	七九	七九	六八	八九
六、六	八、一	八、三	七、八	七、〇	七、六	七、〇	六、九	八、三	七、七	七、四	七、三	七、〇	七、三	七、四	七、八	六、五	六、七	七、九	四、五	三、四	[illegible]	五、七	五、三	八、〇	二、一
四、八	五、一	四、七	九、一	五、五	四、〇	四、一	四、〇	三、六	四、九	[illegible]、六	四、七	二、〇	三、三	五、五	四、〇	三、三	三、八	二、九	三、四	三、三	七、六	七、[illegible]	三、六	三、八	二、一
[illegible]、九	九、九	六、六	三、九	三、三	九、四	一〇、五	一〇、一	二、三	九、三	三、四	一〇、三	五、〇	六、六	一〇、九	六、四	五、九	七、四	五、一	六、五	六、四	三、五	二、一	一〇、二	八、三	五、七
[illegible]	南西	西南西	南	南	西南西	西南西	南西	南	西	西南西	西南西	西	南西	南西	西南西	西南西	西	北	南西	西南西	西南西	南西	西	南西	北
西南西	西南西	南西	西南西 南西	南	西南西	西	北北東	北北東	西	西南西	西南西 北東	西	南西	西南西	西南西	西南西	西	北	南西	西南西	南西	西南西	西	北 南西	南
[illegible]	一、四	一、[illegible]	[illegible]、四	七、五	[illegible]、九	三、六	六、四	二、九	四、二	一、七	二、五	四、四	四、三	二、六	五、二	五、九	七、二	一、七	五、二	七、九	九、[illegible]	六、二	八、九	七、〇	一〇、〇
[illegible]、九	一二、八	一二、六	一二、二	三、一	九、六	八、六	四、九	九、四	一[illegible]、一	一[illegible]、一	一二、[illegible]	六、八	九、[illegible]	一二、八	九、九	七、八	六、九	一二、[illegible]	八、〇	五、一	四、〇	九、五	三、五	九、一	—
▲[illegible]	▲六、五	▲四、五	▲[illegible]、〇	三、六	▲一、八	〇、一	▲一、[illegible]	▲一、七	▲三、六	▲六、六	▲〇、四	〇、九	〇、四	▲三、三	▲〇、[illegible]	一、三	▲〇、四	▲一、八	▲〇、七	五、〇	三、四	〇、三	三、四	▲一、八	三、四
八、七	—	—	—	四、八	〇、〇	〇、二	二、〇	〇、一	—	—	—	—	三、一	—	—	—	—	—	—	二、九	二、五	〇、九	—	—	三、四
[illegible]	一〇、[illegible]	九、一	二、七	八、五	七、八	八、〇	八、五	六、九	九、〇	九、八	九、四	六、九	一、三	八、九	八、九	七、七	六、八	八、八	七、二	六、三	六、九	八、六	六、七	七、一	二、一

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

七月	氣壓平均	氣温ノ平均 本年	氣温ノ平均 平年比較	氣温 最高	氣温 最低	氣温 較差	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風 速度平均	風 最大速度	風 最大全上方向	風 最多方向	雲量平均	日照時數 本年	日照時數 平年比較	降水量	蒸發量
一日	七六〇、七	二七、五	▲二、八	三二、二	二四、三	六、九	二一、六	八〇	五、六	四、五	六、五	西南西	西南西	三、四	一一、四	▲三、三	｜	八、〇
二日	七六〇、一	二八、〇	▲四、二	三二、六	二四、二	七、四	二三、三	八〇	五、六	四、一	七、七	南西	南西	六、八	八、三	▲四、九	｜	七、一
三日	七五八、四	二八、七	▲四、四	三三、六	二五、五	七、一	二三、〇	七九	六、三	四、四	八、〇	南南西	西南西	六、〇	八、六	▲六、八	｜	八、九
四日	七五六、六	二七、九	▲三、八	三〇、七	二五、九	四、八	二一、三	七六	六、四	七、八	一〇、九	西南西	西	五、一	一〇、五	▲四、〇	｜	九、〇
五日	七五五、六	二七、九	▲三、七	三〇、九	二五、九	五、〇	二〇、八	七四	七、〇	七、七	一二、八	南西	南西	八、九	五、八	二、八	｜	九、六
六日	七五四、六	二七、四	▲三、三	三〇、一	二三、五	六、六	二〇、四	七六	六、五	八、七	一三、六	西南西	南西	九、四	八、三	〇、〇	三、八	六、四

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
正午	七五七、一六	三〇、四二	二一、三〇	六五、七	一〇、六九	五、一五	五、〇	二五、五五	〇、〇	三九、一六	二八、八三	二八、一七	二七、九五	二五、八三
午後一時	七五六、七九	三〇、七三	二一、四〇	五四、六	一一、〇四	五、六七	四、九	二七、三〇	〇、〇	四〇、〇五	二九、四六	二八、三三	二七、九三	二五、八三
二時	七五六、六二	三〇、八七	二一、四四	六五、〇	一一、一四	六、四五	五、一	二六、九〇	〇、六	三九、六四	二九、八九	二八、三三	二七、九三	二五、八四
三時	七五六、四二	三〇、七七	二一、五九	六五、七	一〇、九二	六、九〇	四、八	二五、一五	〇、三	三七、九四	三〇、三八	二八、五〇	二七、九五	二五、八五
四時	七五六、二九	三〇、六八	二一、五九	六六、一	一〇、七七	六、六四	四、七	二五、五五	〇、一	三五、九五	三〇、六一	二八、六六	二七、九六	二五、八五
五時	七五六、一六	三〇、〇五	二一、七九	六九、二	九、五〇	六、七四	六、〇	二〇、八〇	〇、〇	三二、九五	三〇、七一	二八、八	二八、〇二	二五、八六
六時	七五六、二八	二九、一三	二一、八八	七三、二	七、八三	六、八三	六、八	一四、〇五	〇、〇	三〇、六六	三〇、六五	二八、九五	二八、〇六	二五、八六
七時	七五六、四六	二八、一七	二二、一〇	七七、九	六、〇六	六、一九	六、九	五、三〇	〇、〇	二九、一八	三〇、四五	二九、〇二	二八、一二	二五、八七
八時	七五六、六五	二七、七〇	二一、九七	七九、五	五、五〇	五、五六	五、五	｜	二、三	二八、三三	三〇、一五	二九、〇九	二八、一九	二五、八八
九時	七五六、九四	二七、三五	二一、八八	八〇、九	四、九九	五、〇五	二、六	｜	〇、一	二七、七六	二九、八三	二九、〇八	二八、二五	二五、八九
十時	七五七、〇八	二七、〇二	二一、八九	八二、五	四、四五	四、五六	二、七	｜	〇、七	二七、九九	二九、六〇	二九、一〇	二八、二八	二五、八九
十一時	七五七、〇五	二六、七五	二一、八九	八三、六	四、一一	四、二五	二、三	｜	一、六	二六、九八	二九、七七	二九、〇五	二八、三五	二五、九二
夜半	七五六、九五	二六、四九	二一、六三	八四、〇	四、〇〇	四、二六	三、八	｜	一、三	二六、七〇	二九、〇一	二八、九六	二八、三五	二五、九二
平均	七五六、九五	二八、〇二	二一、七〇	七七、一	六、五六	四、七八	五、三	二六二、八〇	八二、七	三〇、七六	二九、〇三	二八、六〇	二八、一〇	二五、八[illegible]

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後五時、同二十糎にありては午後十時、同三十糎にありては午後十一時に生し、最低は地皮にありては、午前五時、地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十時乃至十一時、同三十糎にありては午後一時乃至二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得へし

最低地溫　平均は廿二度三八にして平年に比し一度九九高く月中の最低は十五日午前五時の十七度八なり

天氣日數　快晴は四日にして平年より一日多く曇天は五日にして平年より五日少く電雷は二日にして平年に等し

尙詳細は左に揭ぐる氣象觀測成績表を參照すへし

第一表　大阪每時氣象觀測成績

七月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前 一時	七五七、〇二	二六、一四	二一、七五	八六、〇	三、三九	四、三〇	四、二	—	一六、一	二六、四四	二八、六四	二八、八一	二八、二〇	二五、七七
二時	七五六、九五	二五、八四	二一、五九	八七、二	三、一〇	三、六〇	四、八	—	五、八	二六、一七	二八、三九	二八、七一	二八、一九	二五、七七
三時	七五六、九六	二五、五六	二一、六三	八八、八	二、六九	三、〇九	五、一	—	六、四	二五、九三	二八、一八	二八、六三	二八、一七	二五、六八
四時	七五六、九八	二五、三三	二一、二六	八八、三	二、七二	三、一六	六、四	—	七、二	二五、六九	二七、九四	二八、五五	二八、一六	二五、七七
五時	七五七、一五	二五、一八	二一、〇八	八八、三	二、六九	三、三三	六、七	—	三、一	二五、四四	二七、八一	二八、四五	二八、一五	二五、七九
六時	七五七、三五	二五、四七	二一、〇〇	八六、五	三、一五	三、二五	六、四	三、九	二、八	二五、六八	二七、六四	二八、三七	二八、〇九	二五、七九
七時	七五七、五〇	二六、六四	二一、一六	八一、四	四、七三	三、五一	六、四	一六、九〇	一五、四	二六、八一	二七、四九	二八、二八	二八、〇七	二五、八〇
八時	七五七、六一	二七、八二	二一、一五	七六、三	六、五一	三、六八	六、五	二〇、九五	九、三	二九、二六	二七、四八	二八、二二	二八、〇三	二五、八〇
九時	七五七、五七	二八、七七	二一、一二	七二、一	八、〇二	三、七〇	六、五	二三、九〇	六、〇	三三、二七	二七、六九	二八、一五	二七、九九	二五、八〇
十時	七五七、五[illegible]	二九、五三	二一、〇三	六八、八	九、三五	四、二三	六、[illegible]	二二、三五	二、三	三五、二七	二八、〇[illegible]	二八、一三	二七、九八	二五、八二
十一時	七五七、[illegible]九	[illegible]九、九三	[illegible]、九[illegible]	六六、九	一〇、〇八	四、五八	五、八	二四、三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

降水及蒸發量

降水日數は九日にして平年に比すれは一日其水量は八十一粍七にして平年に比すれは卅粍四孰れも少く又一日中の最多量は十二日の卅一粍九一時間の最多量は同日午前六時乃至七時の十四粍二なり又蒸發總量は二百四十九粍〇にして平年に比すれは卅七粍〇多く一日中の最多量は廿九日の十一粍七なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は卅度七八にして平年に比すれは一度七六高く月中の最高は廿三日午後一時の五十五度三最低は八日午前四時及五時の廿二度七なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて四十度〇五、最低は午前五時にありて廿五度四四を示し其較差は十四度六一なり

地中十糎の溫度　平均は二十九度〇三にして平年に比すれは一度七一高く月中の最高は三十一日午後四時乃至五時の三十三度四、最低は八日午前七時乃至八時の二十四度四なり又平月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて三十度七一、最低は午前八時にありて廿七度四八を示し其較差は三度二三なり

地中二十糎の溫度　平均は二十八度六〇にして平年に比すれは一度七〇高く月中の最高は三十一日午後八時乃至十時の三十一度六、最低は八日午前九時乃至午後一時の二十五度六なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後十時にありて二十九度一〇、最低は午前十時乃至十一時にありて二十八度一三を示し其較差は零度九七なり

地中三十糎の溫度　平均は二十八度一〇にして平年に比すれは一度六六高く月中の最高は三十一日午後十一時乃至夜半の三十度六、最低は八日午後一時乃至四時の二十五度七なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後十一時にありて二十八度三三、最低は午後一時乃至二時にありて二十七度九三を示し其較差は零度四〇なり

地中六十糎の溫度　平均は二十五度八三にして平年に比すれは一度六二高く月中の最高は三十一日午後二時乃至夜半の二十七度六、最低は一日午前一時の二十三度二なり但し此深さにありては殆ど一日中の變化を認め難し

而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて三十度八七最低は午前五時にありて二十五度一八を示し其較差は五度六九なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は二十一粍五〇にして平年に比すれは二粍二三高く月中の最高は十一日午前十一時、午後五時及十時の二十五粍〇、最低は八日午前十一時の十二粍五なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後七時にありて二十二粍一〇最低は午前十一時にありて二十粍九一を示せり其較差は一粍一九なり

濕度の平均は七十七、一にして平年に比すれは〇、二少く月中の最少は八日午前十一時及十五日午後二時の四十六なり、而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前三時にありて八十八、八、最少は午後二時にありて六十五、〇を示し其較差は二十三、八なり

飽差の平均は毎立方米中六瓦五六にして平年に比すれは零瓦七五多く月中の最多は二十四日正午の十八瓦一、最少は十二日午前七時乃至八時の零瓦四なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて十一瓦一四、最少は午前五時にありて二瓦六九を示し其較差は八瓦四五なり

風

平均速度は毎秒四米八七にして平年に比すれは零米〇九弱く月中の最大速度は二十九日午前一時の毎秒速度十三米九（一間平方面を垂直に壓する力は十八貫百目）の南風なり又强風以上の吹きたる日數は十四日にして平年に比すれは二日多く其吹續時間は四十二時にして平年に比すれは一時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時にありて六米九〇最小は午前三時にありて三米〇九を示し其較差は三米八一なり風向は南西及西風は多くして北西及東風は少し之れを平年に比すれは南西風は多く北及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は五、三にして平年に比すれは〇、八少く日照時數は二百八十二時八〇にして平年に比すれは三十一時七〇多く一日中日照時間の最も長かりしは十八日の十三時五〇なり

大阪測候所月報

大正三年七月 大阪氣象概況

七月は前月より引續き梅雨期中にあるを以て上旬は陰鬱なる天氣多く中旬より漸次天候恢復し晴天となり頓に暑氣加わり盛夏の狀態に遷るを常とす然るに本年は梅雨早く去り六月末より晴天となり氣温著しく上昇し全く盛夏の狀態を呈し最高は日々三十度以上を示し七月十六日より一層暑氣加わり特に二十四日は最も甚しく最高氣温は三十四度八を示し全日の累年平均最高より三度五高かりし而して日照時數は平年より多く降水日數及其水量は平年より少し又强風以上の吹きたる日數は平年より稍々多きも其時數は平年に略ほ等し

但し本項に記す所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ケ年平均なり

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

氣壓

平均は七百五十六粍九五にして平年に比すれは零粍一四低く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は二回にして其他は微なる昇降數回ありたり而して月中の最高は二日午前八時の七百六十一粍六最低は十八日午後五時の七百五十三粍一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前八時にありて七百五十七粍六一第一の最低は午後五時にありて七百五十六粍一六又第二の最高は午後十時にありて七百五十七粍〇八、第二の最低は午前二時にありて七百五十六粍九五を示し其較差は一粍四五なり

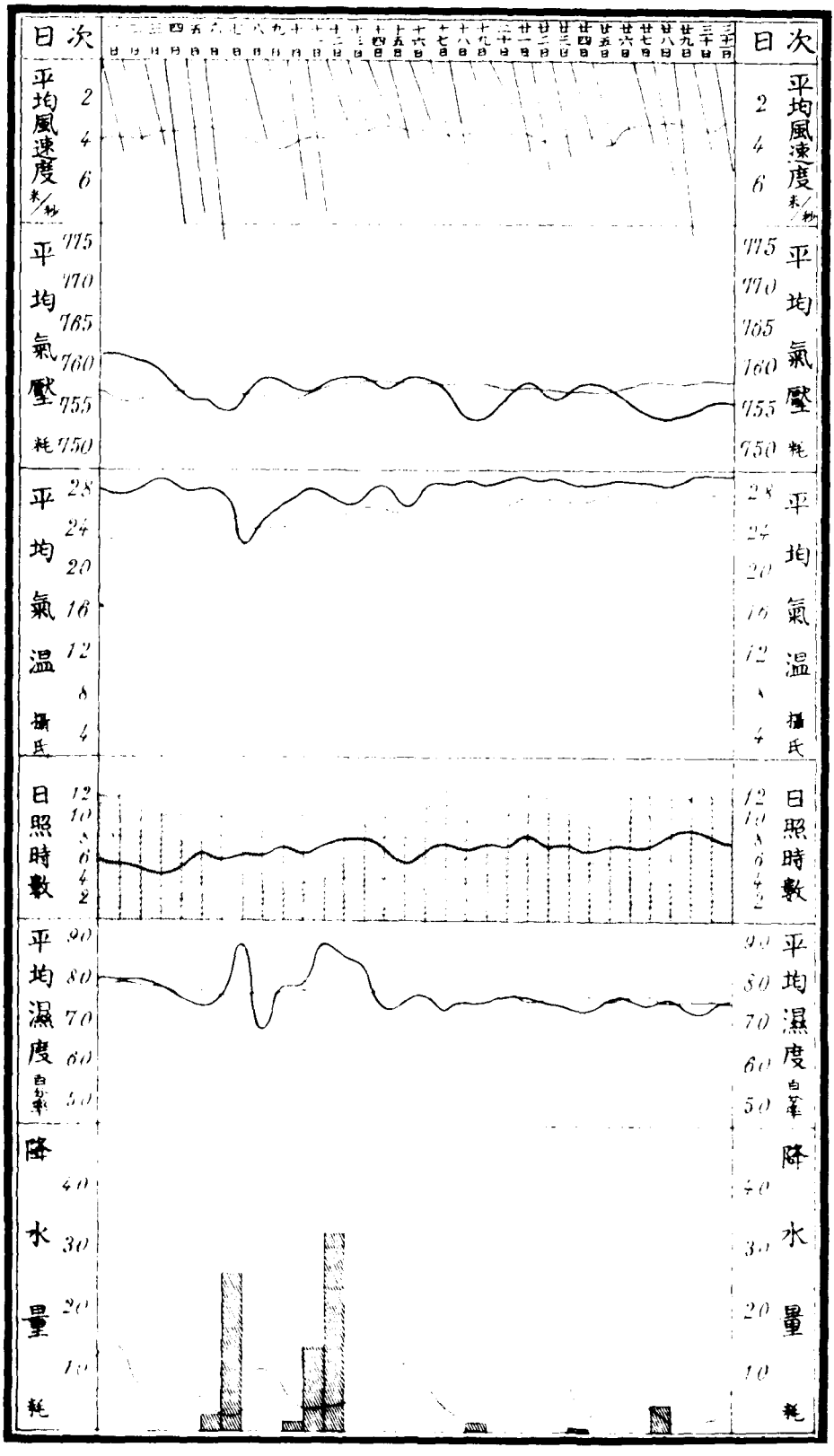
氣溫

平均は二十八度〇一にして平年に比すれは二度〇三高く平均氣温日々の變化は氣象圖に示すか如く七日は平年より低かりしも其他は平年より高く月中の最高は二十四日午後二時頃の三十四度八、最低は八日午前五時頃の二十度八なり又最高氣温の三十度以上に昇りたる日數は二十八日にして平年より十一日多し

大正三年七月

大阪氣象圖

July 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス、風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年——平年——日照時數ハ本年▮▮平年——降水量ハ本年▮▮平年——

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを攝載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（一）を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量非に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零匁二七）にて示す

一溫度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの、一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡	市町村	緯度 北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分 三四度一九分	北野孝德
尾崎	仝 泉南郡	尾崎村	一三五度一六分 三四度二二分	高尾章
岸和田	仝 泉南郡	岸和田町	一三五度二三分 三四度二七分	森内清次
長承寺	仝 泉北郡	鳳村	一三五度二七分 三四度三二分	前川由太郎
道寺	仝 泉北郡	高石村	一三五度二六分 三四度三二分	今井富次
堺	仝 堺市	車ノ町	一三五度二九分 三四度三五分	吉村正輔
天王寺	摂津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分 三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝 大阪市	西區一條通	一三五度二六分 三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝 國大阪市	北區上福島	一三五度二九分 三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝 國西成郡	新庄村	一三五度三一分 三四度四五分	植田鑑照
池田	仝 國豐能郡	池田町	一三五度二六分 三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝 國豐能郡	東郷村	一三五度二八分 三四度五六分	阪部文二郎
東郷	仝 國豐能郡	東郷村	一三五度二九分 三四度五七分	山田四郎
天王	仝 國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分 三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝 國三島郡	茨木町	一三五度二四分 三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝 國三島郡	清水村	一三五度三六分 三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分 三四度四九分	家村八五郎
田原	仝 國北河内郡	田原村	一三五度四二分 三四度四三分	東尾重藏
八尾	仝 國中河内郡	八尾町	一三五度三六分 三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝 國南河内郡	柏原村	一三五度三七分 三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	仝 國南河内郡	富田林町	一三五度三七分 三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝 國南河内郡	長野町	一三五度三五分 三四度二七分	松本速水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

July 1914

大阪測候所月報

第拾五年第七號

大正參年七月

LIBRARY
OCT - 8
Weather Bureau

目次

○七月本年大阪氣象概況　附圖
○七月本年大阪府管內氣象概況
○七月本年大阪地震觀測概況
○本年土川中の氣象實況
○七月十三日十四日の臺灣暴風雨概況
○七月二十四日より二十八日に至る暴風雨概況
○本年七月の高温に就て
○淺間山の狀況に就て
○大流星
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報通否
○新刊寄贈書目

大正三年八月一日印刷
仝　年八月二日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀三三四一番）

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緣威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野町	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度二十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

一埼玉縣氣象月報　大正三年二、三月　二　熊谷測候所
一香川縣氣象年報　大正二年　一　多度津測候所
一大正二年香川縣管內降水量月表　一　同　所
一山梨縣氣象月報　大正三年二月　一　甲府測候所
一大正二年石川縣氣象報告　一　金澤測候所
一石川縣氣象報告　大正二年自七月至十二月　六　同　所
一大正二年山口縣氣象年報　一　下關測候所
一氣象五年報　第十七號　一　同　所
一下關測候所氣象報告　大正二年自九月至十二月　四　同　所
一天氣圖　大正三年六月　一　中央氣象臺
一天氣圖　千九百十四年五、六月　二　ジカウエー觀測所
一地震報告　同年自三月至五月　三　同　所
一高低氣壓の進路圖　自千九百十三年七月至千九百十四年三月　九　同　所
一地震報告　千九百十四年五月　一　イルクツク觀測所
一地震報告　同年三、四月　二　ポリビヤ觀測所
一地震報告　同年一月　一　ウツクル觀測所
一天氣圖　同年四月　一　アルゼンチン觀測所
一天氣圖　同上　一　ローマ觀測所
一地震報告　同年自一月至三月　三　コニゾスベルヒ觀測所
一地震報告　千九百十三年八、九月　二　シヤイド觀測所
一地震報告　千九百十四年三月　一　グラナダ觀測所
一天氣月報　同年二月　一　北米加奈太氣象局
一地震報告　同年五月　一　マニラ觀測所
一地震年報　千九百十三年　一　同　所
一雜誌イベリア　第十九號　一　グラナダ觀測所

一氣象及地震報告　千九百十三年自八月至十月　三　モンテカシノ觀測所
一地震報告　千九百十四年三、四月　二　サンフエルナンド觀測所
一大阪市勢一覽　大正元年　一　大阪市役所
一通信便覽　一　安治川郵便局
一沖南會月報　第百二十六號　二　沖南會大阪出張所
一養禽指針　第百二十七號　一　重枝養禽園
一貿易通報　五月號　一　大阪商業會議所
一商船學校々友會雜誌　第百八十五號　一　商船學校々友會
一學鐘　第十八年第六號　一　丸善株式會社大阪支店
一逓信公報　六月　一　逓信省

十九日	四、五〇	三、七五	四、一〇	四、四五	二十三日	五、二〇	四、七五	四、九〇	四、六〇	二十七日	四、四五	四、七五	四、二三	四、五〇
二十日	三、五五	三、六五	三、八〇	三、七〇	二十四日	四、四〇	四、四〇	四、三七	四、二五	二十八日	四、六〇	五、二五	四、四七	四、七五
二十一日	五、六五	七、三五	五、二〇	七、四五	二十五日	四、六〇	四、二〇	四、四八	四、二三	二十九日	五、一〇	四、六五	四、八〇	四、五〇
二十二日	六、四〇	五、三〇	六、三〇	五、一五	二十六日	四、一〇	三、九〇	四、〇〇	三、七八	三十日	四、三〇	三、九〇	四、二五	三、八八

平均水位 廣瀨 三尺九寸三分
最高水位 七尺四寸(二十一日午後七時)
大日 三尺九寸二分
七尺四寸五分(二十一日午後六時)

地方天氣豫報暴風警報適否調查

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三〇	二二	八	〇	八七
	天氣	三〇	二六	四	〇	九三
	溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報		三	二	一	〇	八三

新刊寄贈書目

一岐阜縣氣象月報	大正三年四月	一 岐阜測候所
一氣象月報	同上	一 濱田測候所
一千葉縣氣象報	同上	一 銚子測候所
一氣象報告	同上	一 福岡測候所
一氣象報	同上	一 愛知縣測候所
一秋田縣氣象月報	同上	一 秋田測候所
一滋賀縣氣象月報	同上	一 彥根測候所
一滋賀縣降水量調査報告		一 同所
一境測候所氣象月報	第三十二年第四號	一 境測候所
一新潟縣氣象報	第十年第四號	一 新潟測候所
一氣象要覽	大正三年四月	一 中央氣象臺
一中央氣象臺月報	大正二年十月	一 同臺
一奉天氣象表	大正三年五月	一 奉天觀測支所
一新居濱氣象表	同上	一 住友別子鑛業所
一別子山氣象表	同上	一 同所
一四阪島氣象表	同上	一 同所
一福島縣氣象略報	同上	一 福島測候所
一愛媛縣氣象月報	同上	一 松山測候所
一山形縣氣象月報	同上	一 山形測候所
一大正三年五月臺灣氣象概況		一 臺北測候所
一富山縣氣象報	同上	一 伏木測候所
一明治四十五年三重縣氣象年報		一 津測候所
一三重縣氣象月報	大正三年一月	一 同所
一靜岡縣氣象月報	同年三、四月	二 濱松測候所
一濱松氣象年報	大正二年	一 同所
一氣象年報	同上	一 高知測候所
一氣象月報	大正三年一月	一 同所
一北海道氣象月報	同年三月	一 札幌測候所
一靜岡縣氣象略報	同上	一 沼津測候所

因に記す大阪府下南河内郡富田林にても此大流星を觀測したりと云ふ

●大阪港潮汐觀測

種目＼月日	四月	五月	六月
平均潮位	一〇五、二糎	一一三、六糎	一一七、六糎
平均干滿の差	一〇八、七糎	一〇四、八糎	九六、三糎
滿潮の極	一八三糎	一八〇糎	一八六糎
其日時	十四日 午前六時四十分	九日 午前六時	八日 午後七時四十五分
干潮の極	二八糎	二一糎	二九糎
其日時	二十八日 午後三時卅五分	十日 午後二時 十一日 午後二時四十分	七日 午後一時十分
干滿最大差	一四四糎	一五四糎	一五六糎
其日	十一日	十日	八日
干滿最小差	六七糎	三六糎	一七糎
其日	二十日	十九日	三日

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位 三尺四寸二分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位 二尺九寸〇分

六月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	三、九五	三、四五	四、二五	三、六六
二日	三、五〇	三、九五	三、五五	三、七二
三日	五、一五	四、六〇	四、六五	四、六〇
四日	四、一五	三、八〇	四、三五	三、八八
五日	三、六五	三、三五	三、八〇	三、五五
六日	三、三五	三、〇五	三、四八	三、三五

六月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
七日	三、〇五	二、八〇	三、二五	三、〇五
八日	二、八五	二、六〇	二、〇〇	二、八四
九日	三、九五	四、八五	三、九七	四、五五
十日	四、〇〇	三、四五	四、二六	三、六〇
十一日	三、三〇	二、九五	三、四五	三、二二
十二日	三、〇五	二、七五	三、二二	二、九六

六月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十三日	二、九五	二、九五	三、一七	三、四四
十四日	二、九五	二、五〇	三、二二	二、七五
十五日	二、五五	二、二五	二、七五	二、四三
十六日	二、四〇	二、一五	二、三五	二、二〇
十七日	二、九五	四、二〇	二、一〇	四、一五
十八日	四、九〇	四、九五	四、六五	四、八〇

害尠からさりし由なるか此地震は當所の微動計にも顯著なる震波を記錄せり斯は本報「地震觀測概況」の項に記載せしか東京帝國大學地震學教室の微動計にも顯著なる遠震を記錄せし由にて大森理學博士より左の調査書を送付せられたれは同君の好意を感謝し爰に掲載することゝせり

大正參年六月二十六日朝の遠震

理學博士　大森房吉

大學構内据付の微動計は二十六日早朝に於て一の顯著なる遠震を記錄したり其發震時は午前四時十六分四十六秒にして第一初期微動七分五十九、二秒第二初期微動五分二十六、六秒を經て主要動に入り約二十五分間繼續したる後終期微動となり初より約四時間を經て鎭靜に歸したり其最大水平動は東西一、七「ミリメートル」、南北三「ミリメートル」にして世界的地震の性質を具備せり

初期微動繼續時間より震源距離を求むれは約六千「キロメートル」となる而して初期微動に於ける震動の方向は南五十二度西なれは之より推するに震源は蓋し「スマトラ」の南方海中なるへし

記象を仔細に撿するに終期微動中に於て午前六時三十三分及午前七時五十三分に於て更に少しく振動を增大し其週期約二十五秒なる波動を見る是れ本地震の主要部第三期に相當するものにして前者は地球の反對の側を經て來りしもの後者は最初東京に達せるものか更に地球を一周して復ひ戻れるものなり本文を草したる後昨二十八日諸新聞の外國電報として載せたるものを見るに「スマトラ」島に激震起り損害大なりしとあり本地震と能く符合す

● 大流星

技手　山田顯吉觀測

去る七月三日午後十一時五十分頃大阪測候所構内に於て頗る巨大なる流星を觀たり、其位置は北方凡そ高度五十度、星座「カシオペイア」の邊より約四十五度の傾斜を以て東方に落來り高度四十度位の所にて爆聲を發し無數碎片を生しつゝ東に向つて墜下せしものゝ如し、最初其火球は月位の大さにて赤色を帶ひ落ち來るに從ひ光を殘し恰も尾を曳きたるか如く見へ爆發と共に無數の小火球現はれ頗る美觀を呈せり

西に進み二十九日朝呂宋の東方に到りて漸次北上し三十日朝八重山群島の南方約三十浬の所に達し著るしく發達し七百三十八粍を示し八重山群島にては暴風雨となれり然れども風域極めて狹小にして臺灣にては疾風以上に達せざりしが爾後颱風中心は倍々發達し七百三十粍を示し仝日午後三時頃石垣島の西方を通過して北西に進み支那東海に入り臺灣北部を掠め支那大陸に進入せり故に本邦内地には格別の影響なかりしも臺灣にては非常なる暴風雨にして甚大の損害を醸したりと云ふ

今内務省に達したる臺灣の被害概數を摘記すれは左の如し

死亡	（本島人）	五一	
負傷	（仝）	九	
行方不明	本島人	一三	
	内地人	三	
家畜	死亡	三五六	
	流失	五五	
住家	全壞	九五二	
	半壞	一九七	
	流失	五五〇	
	浸水	二三四八	
	大破	一一二九	
	小破	二〇八九	
	全壞	二〇六	
	半壞	一四五	
其他	流失	一	
	浸水	三二〇九	
	大破	一三一	
	小破	二二三	

田園	流失	三二五町	
	浸水	六一六八	
	砂入	三三八	
	坪浸	二一九	
	荒廢	一五	
道路	流失	二八ヶ所	
	破損	八六ヶ所	
橋梁	流失	五二一間	
	破損	一六八六	
	落橋	一八三	
堤防	流失	三五	
	破損	四ヶ所	
鐵道破損		四ヶ所	
鐵橋破損		六七間	
私設鐵道	流失	二九〇	
	破損	二ヶ所	
輕便鐵道橋梁	流失	二ヶ所	
	破損	一	
流船坐礁		八ヶ所	
船	流失	一	
	顚覆	二二四	
	破損	三	
		一九	

●南洋「スマトラ」の大震

六月二十六日「スマトラ」島の南方に大震あり同島附近の海底電線等を破壞し被

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
六月三日	午前一時	七五〇	一九〇	北西	一五	〇五	雨
仝	仝 二時	七五九	一八八	北北東	一七	〇二	雨
仝	仝 三時	七五八	一八七	東北東	一二	〇二	曇
仝	仝 四時	七五三	一八七	東北東	一〇	一	曇
仝	仝 五時	七五九	一八九	東北東	二四	〇二	曇
仝	仝 六時	七五六	一九六	北東	二五	一	曇
仝	仝 七時	七五四	二〇二	東北東	三五	一	曇
仝	仝 八時	七四七	二四二	北東	三四	〇二	晴
仝	仝 九時	七四一	二五〇	北北東	三七	一	快晴
仝	仝 十時	七三二	二六六	東	二八	〇二	雨
仝	仝 十一時	七二八	二七六	東	二五	〇二	曇
仝	正午	七二〇七	二八〇	南	五〇	一	曇
仝	午後一時	七四九七	二七四	南	六〇	一	曇
仝	仝 一時半分	七四九〇	二六九	南	三二	〇二	曇
仝	仝 二時	七四九〇	二六六	南	四二	一	曇
仝	仝 二時半分	七四九〇	二五九	南	三三	〇二	雨
仝	仝 三時	七四八四	二五六	南	三三	〇二	曇
仝	仝 三時半分	七四八一	二五五	南	三三	〇二	曇
仝	仝 四時	七四七〇	二六〇	南	三二	〇二	曇
仝	仝 四時半分	七四七七	二六〇	南	三〇	〇二	曇
仝	仝 五時	七四七七	二五四	南	二六	一	曇
仝	仝 五時半分	七四七六	二五四	南	二九	〇二	曇
六月三日	午後六時	七四七八	二四四	南	一五	一	曇
仝	仝 六時半分	七四七六	二四六	南南西	一六	〇二	雨
仝	仝 七時	七四八六	二三〇	南南西	一八	〇二	曇
仝	仝 七時半分	七四九一	二二六	南南西	一六	〇二	曇
仝	仝 八時	七四九四	二二四	南南西	一五	〇二	晴
仝	仝 八時半分	七五一	二二六	南西	一七	〇二	曇
仝	仝 九時	七五一九	二二一	南西	一五	〇二	曇
仝	仝 九時半分	七五一四	二二四	西南西	一七	〇二	曇
仝	仝 十時	七五二三	二二四	西南西	一七	〇二	曇
仝	仝 十時半分	七五二七	二一〇	西南西	一六	〇二	曇
仝	仝 十一時	七五一八	二九八	西南西	一五	〇二	曇
仝	仝 十一時半分	七五二三	二九六	西南西	一六	〇二	曇
仝	夜半	七五三五	二九三	西南西	一二	〇二	曇
六月四日	午前一時半分	七五三七	二九〇	南西	一四	〇二	曇
仝	仝 一時	七五三九	二八八	南西	一三	〇二	曇
仝	仝 一時半分	七五四一	二九六	南西	一四	〇二	曇
仝	仝 二時	七五四三	二八六	南西	一三	〇二	曇
仝	仝 二時半分	七五四九	二八〇	西南西	一五	〇二	快晴
仝	仝 三時	七五四九	二八〇	西南西	一五	〇二	晴
仝	仝 四時	七五五一	二七八	西南西	一三	〇二	晴
仝	仝 五時	七五五六	二七五	西南西	一四	〇二	晴
仝	仝 六時	七五六〇	二八〇	西南西	一三	〇二	晴

●六月三十日より七月一日に至る暴風雨概況　六月二十七日小笠原島の南方に顯はれたる颱風は北

十八粍以下に降り臺灣及琉球は暴風雨となり九州より關東までは概ね雨天、關東以北は概ね曇天となれり爾後颱風は北東に進行し三日朝九州南西部に殺到し其中心は甑島附近にありて示度七百三十五粍に降り九州は暴風雨となり長崎にては仝日午前七時氣壓七百三十九粍を示し風速度は毎秒十九米を測れり又九州以東奥羽地方までは概ね雨を催ふし京阪以西は大雨の所尠からす而して颱風は尙ほ北東に進み仝午後二時日本海南部に來りて倍々發達し七百三十粍を示し日本海岸に沿ふて進み四日朝日本海北部に到りて七百三十四粍を示し北海道は暴風雨となり東北地方は南西風强く概ね曇天なれとも關東以西九州までは天候恢復し晴天となれり

此颱風の通過に際し其經路附近は非常の暴風雨にて被害尠からす就中九州及山陰地方最も甚たしく家屋の倒潰夥しく其他家屋の浸水堤防の缺潰、列車の轉覆、交通機關の不通及農作物の被害等枚擧に遑あらす海上にては船舶の流失又は沈沒したるもの尠からす所に依り死傷者を出し行方不明のものも亦多かりしと言ふ、

今大阪の氣象觀測を概記するに●氣壓　六月一日來異狀なかりしか二日朝より徐降し三日午前六時に至る二十四時間に低下すること五粍八を示し後下降急となり午後四時七百四十七粍二の最低に達し後微なる昇降を呈し仝七時頃より漸次上昇せり●風　一日朝來方向區々の軟乃至和風吹き二日朝より北東風となり稍々增力し疾風となりしか午後は漸次衰へ仝夜十時頃より軟風となりしか三日午前十一時風向東より南に順轉し仝時に風力加はり午後一時三十分より强風となり仝九時三十分最も强く毎秒速度十七米九に達し後稍々減力せしも尙ほ四日午前三時頃まて强烈風吹續せり此强風以上の吹續時間は十四時にして內强風九時間、烈風は五時間に亘れり●天氣　一日朝來概して曇天にして午前五時二十五分より時々小雨斷續せしか二日午前零時五十五分より降雨となり午後四時五十五分一旦歇みしか仝七時十五分より再ひ降雨となり三日午前二時五分歇む後時々驟雨あり此總雨量は三十粍七にして最も强かりし二日午後一時より二時に至る一時間に三粍二を藥注せり更に當所毎時觀測の結果を記すれは左の如し

六月二十四日	三五、一	▲〇、三	二六、八	三一、〇	九〇、〇	▲一〇、四	一八、七	五、〇	〇、[illegible]	西南西	八、八	西南西
仝二十五日	二四、三	▲一、三	二九、三	三一、一	七四、〇	五、一	〇、〇	八、六	▲三、四	北	六、三	北
仝二十六日	三一、四	▲一、四	三一、七	三〇、一	九〇、三	▲一〇、五	三、[illegible]	—	四、[illegible]	北北東	四、五	北東
仝二十七日	二四、九	▲一、七	二九、四	三〇、六	八八、一	▲九、七	三、三	六、三	▲一、[illegible]	西	六、八	西
仝二十八日	二五、九	▲三、七	二九、七	三一、四	八三、六	▲四、五	〇、九	八、四	▲[illegible]、五	西北西 南西	六、[illegible]	南南西
仝二十九日	二六、三	▲[illegible]	三〇、九	三一、四	八三、四	▲四、[illegible]	—	一〇、九	▲五、八	北西	八、[illegible]	西
仝三十日	二六、八	▲[illegible]、六	三〇、五	三一、三	八〇、三	▲一、五	—	一三、一	▲六、[illegible]	西	九、九	南西
七月一日	二七、五	▲四、三	三一、六	二四、二	七九、七	▲〇、一	—	一三、三	▲七、[illegible]	西南西	六、五	南西 西南西
仝二日	二八、〇	▲四、九	三一、六	二四、六	八〇、五	▲一、三	—	九、八	▲五、[illegible]	南西	七、[illegible]	南西
仝三日	二六、七	▲五、四	三三、六	二五、五	七九、〇	[illegible]	—	一一、七	▲六、五	西南西	八、[illegible]	南南西
仝四日	二七、九	▲四、六	三〇、七	二五、九	七六、五	[illegible]	—	一〇、五	▲四、四	西	三、九	西南西
仝五日	二七、九	▲四、一	三〇、九	二五、九	七四、三	三、四	—	六、九	▲〇、四	南西	三、八	南西
仝六日	二七、四	▲三、一	三〇、二	二三、五	七五、六	一、二	—	一〇、三	▲四、四	南西	三、六	西南西
仝七日	三二、六	一、八	二四、一	三一、三	八九、五	▲三、六	二、八	—	四、[illegible]	南	七、七	北
仝八日	二五、三	▲〇、八	二九、八	三〇、八	六七、九	九、二	三五、四	九、五	▲三、五	南西 北	八、三	南西
仝九日	二五、六	▲二、一	三〇、六	三二、九	七九、五	▲三、六	—	三、九	三、四	西	二、二	西
仝十日	二六、〇	▲三、四	三〇、五	二六、三	七九、四	▲一、四	〇、九	一〇、七	▲四、五	西南西	三、一	南西
仝十一日	二七、五	▲三、四	三一、四	二五、三	八八、九	▲三、四	一三、五	三、七	三、五	南西	三、五	西南西
平均合計又ハ極	二四、二	▲一、〇	三三、六	一四、六	八一、三	▲三、五	三五、四	一九〇、四	▲三、四	南西	[illegible]、八	西南西

之れを要するに本年の梅雨は所謂片降り片旱りにして即ち梅雨期の上半は降雨多く稍々冷氣なりしか下半は降雨少く暑氣烈しく全く盛夏の狀態を呈せり而して降雨は平年さ大差なかりし

●六月三日より四日に至る暴風雨概況

五月三十一日呂宋の東方洋上に在りし颱風は北西に進行し六月一日朝呂宋の北部に來り進路を北に轉し二日朝石垣島の南西方洋上に到りて著るしく發達し中心の示度は七百三

は約三十日とせり今本年梅雨期間（六月十二日より七月十一日まで三十日間とす）の降雨を看るに其日數は十七日にして平年より二日多く其量は二百五粍四にして平年より六粍六少し而して本年は梅雨前降雨稍々多く六月に入り入梅日までに七日の雨天ありしか後晴天となり枯梅雨ならんかと疑ふものもありしか六月十六日より梅雨の狀態を呈し二十八日に至る十三日間は殆んと連日降雨にして二十九日より七月五日までは晴天打續き盛夏の狀態を呈し暑氣旺盛となり七月三日の最高氣温は三十二度六（市内天王寺觀測所は三十三度二、福島觀測所は三十四度六を報せり）を示し梅雨期には稀なる高度なりき而して七月六日七日に降雨ありて稍々冷氣を催ふし十日十一日十二日に又降雨あり斯くして梅雨期は經過し去れり

今本年梅雨期間の日々の氣象を表記すれは左の如し

（表中▲印は高或は多し）

月日	空氣の溫度 平均	平年に比し	溫度 最高	最低	平均	平年に比し	降水量	日照時數	平年に比し	風 最多方向	最大速度	全上方向
六月十二日	二九、二	〇、六	三〇、二	二五、五	七七、七	▲二、三	四、七	〇、七	五、二	北	五、五	北
全十三日	二〇、二	一、五	二五、五	二四、六	七二、〇	六、七	〇、〇	二、二	▲五、八	北東	八、九	北東
全十四日	二二、三	〇、二	二五、八	二五、二	六二、四	〇、五	—	三、九	▲八、〇	西南西	六、二	西南西
全十五日	二三、三	▲〇、九	二六、六	二六、五	六六、七	七、七	—	二、〇	▲五、四	南西	二、〇	南西
全十六日	二三、五	▲〇、七	二四、八	二〇、七	七七、二	▲一、〇	一〇、九	—	五、四	南南西 北東	九、九	南南西
全十七日	二二、六	▲〇、五	二三、三	二一、九	九八、八	▲八、〇	二二、二	—	六、八	西南西	二、六	西南西
全十八日	二二、二	〇、二	二六、二	二八、三	七三、四	二、七	八、四	四、〇	二、八	北	五、七	北
全十九日	二二、九	一、九	二四、二	二六、五	八、九	▲六、〇	二、八	二、〇	四、二	西南西	五、五	西南西
全二十日	二八、九	二、九	二二、二	二七、九	九、二	▲七、九	四、七	—	六、四	北東	七、八	北東
全二十一日	二二、五	二、九	二二、二	二八、四	九、二	▲二五、九	二、四	—	五、二	北東	五、二	北東
全二十二日	二二、七	二、〇	二二、二	二九、七	九二、〇	▲二五、五	九、〇	—	五、〇	北北東	五、〇	北北東
全二十三日	二二、五	〇、二	二五、九	二九、四	九五、七	▲八、六	〇、七	九、〇	▲四、〇	南西	六、四	南西

岐阜	前午四時一六分二八秒
東京	仝　四時一六分四六秒
水戸	仝　四時一六分五八秒
水澤	仝　四時一七分四八秒
ギルドホールド	仝　四時二〇分二三秒

九五　六月二十六日午後二時零分十五秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分四十八秒、第二は七分三十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後二時二十三分一秒に於て四十「ミクロン」振動期十四秒四、南北動は午後二時十六分三十七秒に於て百五「ミクロン」振動期十五秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二分二十七秒、南北動は一時二分二十七秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならされとも各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

室北	午後一時五八分二六秒
マニラ	仝　一時五九分五三秒
大阪	仝　二時〇〇分一五秒
水澤	仝　二時〇〇分一九秒
函館	仝　二時〇〇分三六秒

九六　六月二十六日午後三時二分四十二秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し初期微動の繼續時間は十六分十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時二十四分五十九秒に於て十「ミクロン」振動期八秒六、南北動は午後三時二十五分六秒に於て十五「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五十八分二十秒、南北動は五十九分八秒なり

附記　此地震は前記地震の餘震なるへし

●本年の梅雨實況

梅雨は年に依り多少早晩あれとも曆面に載する所の入梅は六月十二日にして梅雨期間

九四　六月二十六日午前四時十六分十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は七分七秒、第二は六分二十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前四時四十分三十八秒に於て三百二十五「ミクロン」振動期十六秒八、南北動は午前四時三十二分四十四秒に於て六百二十「ミクロン」振動期二十八秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時二分三十六秒、南北動は二時九分四十秒なり即ち次表に示すか如し

東西動地動計觀測

	發現時	振幅	振動期
初期微動 P	四時一六分一九秒	(ミクロン) —	秒 —
初期微動 S	仝 二三分二八秒	—	—
主要動 L	仝 二九分五四秒	—	—
主要動 M_1	仝 三五分三六秒(ナ)	一四二	一九、二
主要動 M_2	仝 四〇分三八秒(ニ)	三二五	一六、八
終期 F	六時一八分五五秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	振幅	振動期
初期微動 P	四時一六分一九秒	(ミクロン) —	秒 —
初期微動 S	仝 二三分二八秒	—	—
主要動 L	仝 二九分五四秒	—	—
主要動 M_1	仝 三二分四四秒(ト)	六二〇	二八、八
主要動 M_2	仝 四一分四四秒(ナ)	四六二	二四、〇
終期 F	六時二五分五九秒	—	—

附記

此地震は南洋「スマトラ」島附近に發したるものにして全島にては家屋倒潰し多數の死傷者を出せり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を抄記すれば左の如し

マニラ	午前四時一三分〇二秒
臺北	仝 四時一四分〇六秒
福岡	仝 四時一五分四〇秒
長崎	仝 四時一五分四四秒
仁川	仝 四時一五分五四秒
大阪	仝 四時一六分一九秒

計百二十倍の觀測）

附記　此地震は大阪灣に發したるものにして本府管内なる和泉の岸和田にては上下動を伴ひたる弱震を感し又尾崎にても微震を感したり

九一　六月二十三日午前十一時六分三十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時八分三十八秒に於て四十六「ミクロン」振動期四秒六、南北動は午前十一時八分二十三秒に於て四十七「ミクロン」振動期四秒三を現し全振動時間は東西動は十八分十一秒、南北動は十八分零秒なり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したるものにして震域頗る廣く北方は北海道の函館に南方は八丈島に西方は越前の福井邊に達し東海岸一帶に性質急なる弱震を感し家屋動搖せり又東京、熊谷、前橋、秋田、八丈島にては微震を感したり

九二　六月二十四日午前九時二十八分三十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十四秒にして主要動となり最大振幅は午前九時二十九分十三秒に於て四十二「ミクロン」振動期二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊南部に發したるものにして震域北方は越前の福井邊に北東方は名古屋邊に西方は德島附近に達し紀伊潮岬にては性質急なる弱震を感し和歌山及大和の八木にては微震を感したり

九三　六月廿四日午前十一時十二分三十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時十四分二十二秒に於て十二「ミクロン」振動期四秒八、南北動は午前十一時十四分三十五秒に於て十「ミクロン」振動期五秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十四分二十四秒、南北動は十四分三十九秒なり

附記　此地震は羽後國に發したるものにして秋田にては弱震を感し石巻にては微震を感し青森及宮古にては人身に感覺なきも地震計に感したり

マニラ（比律賓島）　午後四時二九分四四秒
大阪　仝　四時三〇分〇八秒
福岡　仝　四時三〇分〇九秒
岐阜　仝　四時三〇分一〇秒
水澤　仝　四時三〇分一三秒
鑿北　仝　四時三〇分三五秒
シカウエー（支那上海）　仝　四時三〇分四三秒
長春（滿州）　仝　四時三〇分四三秒
大泊（樺太）　仝　四時三一分〇〇秒
ギルドホールト（英吉利）　仝　四時四〇分一五秒

八八　六月二十日午後七時三十四分十六秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれとも最大振幅は東西動は午後七時五十三分二十一秒に於て十「ミクロン」振動期九秒六、南北動は午後七時五十六分四秒に於て二十「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十九分五十七秒、南北動は五十六分五秒なり

附記　此地震は前記地震の餘震なるへし

八九　六月二十二日午前一時一分十五秒の地震

此地震は極めて緩微にして振動の各部判明ならざれとも全振動時間は東西動は二十七分四十八秒、南北動は二十八分十八秒なり

附記　此地震は前記地震の餘震なるへし

九〇　六月二十二日午後二時五十八分四十九秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二秒にして主要動となり最大振幅は午後二時五十八分五十五秒に於て七十一「ミクロン」振動期一秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は三分三十秒なり（南北動微動

附記　此地震は房總沖に發したるものにして震域廣く北方は羽後の秋田邊に西方は伊勢の津附近に南方は八丈島に達し銚子、横濱にては弱震を感し宇都宮、熊谷、水戸及筑波山等にては微震を感したり

八五　六月十五日午前五時三十分五秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は午前五時三十分五十五秒に於て十八「ミクロン」振動期五秒〇を現し全振動時間は十分零秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は本州に發したる極微なる地震にして水澤にては午前五時三十一分四秒に此地震を感せり

八六　六月二十日午前六時四十七分五十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十五秒にして主要動となり最大振幅は午前六時五十分二秒に於て十七「ミクロン」振動期四秒三、南北動は午前六時五十分一秒に於て二十五「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十五分零秒、南北動は十四分五十秒なり

附記　此地震は浦賀水道に發したるものにして震域北方は岩代の福島邊に北西方は信州長野附近に南方は八丈島に達し横須賀、布良、横濱にては弱震を感し家屋動搖せり

八七　六月二十日午後四時三十分八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は八分二秒、第二は七分十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後四時四十九分二十六秒に於て百七「ミクロン」振動期十九秒二、南北動は午後四時五十分四十五秒に於て百五十「ミクロン」振動期十九秒二を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五十二分十秒、南北動は一時五十二分零秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝し

たり

八一　六月八日午後八時二十分四秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども全振動時間は東西動は十一分五十四秒南北動は十一分十一秒時間繼續せり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したる微震にして震域北方は陸前の石巻に南方は東京横濱等に達し南西方は甲府及沼津邊に及ひたり

八二　六月九日午後二時二十五分五十四秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれども東西動は午後二時三十分三十秒に於て十七「ミクロン」振動期六秒七を現し全振動時間は東西動は二十四分五十六秒、南北動は二十二分五十六秒に及ひたり

附記　此地震は沖繩島附近の海低に發したるものにして那覇にては上下動を伴ひたる弱震を感し奄美大島及石垣島にては人身に感覺なきも普通地震計に感し微動は遠く畿内附近及西比利亞南部に達したり

八三　六月九日午後八時五十七分二十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十一秒にして主要動となり最大振幅は午後八時五十八分三十八秒に於て二十三「ミクロン」振動期二秒八を現し全振動時間は八分零秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は浦賀水道に發したるものにして震域北方は越後の新潟に西方は名古屋邊に達し横須賀、横濱、沼津にては性質急なる弱震を感し家屋動搖せり

八四　六月十三日午前八時十五分五十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前八時十七分三十七秒に於て百二十「ミクロン」振動期四秒八、南北動は午前八時十五分五十六秒に於て二百十「ミクロン」振動期六秒二を現し全振動時間は東西動は二十二分二十秒、南北動は二十二分五秒なり

ね未明歇み後晴曇相半す●二十四日未明より雨降り午前或は午後歇む●二十五日概ね晴天所々に雨降れり●二十六日未明より雨降り翌日に亘る●二十七日前日來の雨概ね午前歇み天王に雷鳴あり●二十八日概ね晴天所々に雨降り大阪、東郷、天王に雷鳴あり長承寺に強風吹けり●二十九日概ね晴天●三十日概ね晴天長承寺に強風吹き田原に濃霧あり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二期初期微動仝上、Lは長波又は主要部仝上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十七回にして人身に感覺ありたるものは二十二日午後二時五十八分四十九秒大阪灣に發したるもの一回人身に感覺なく普通地震計に感したるものは二十四日午前九時二十八分三十六秒紀伊南部に發したるもの一回なり而して無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは九回即ち本州東海岸沖、浦賀水道各二回、羽後國、房總沖、江濃地方、沖繩島附近及本州の各一回なり又遠距離地震は六回にして就中顯著なりしは六月二十六日午前四時十六分十九秒南洋「スマトラ」島附近に發したるものにして其他の五回は未た震源詳ならす今其觀測概況を列記すれは左の如し

八〇　六月七日午前九時十五分三十二秒の地震

此地震は極めて微にして振動の各部判明ならされとも全振動時間は五分二十秒なり(南北動微動計百二十倍の觀測)

附記　此地震は江濃地方に發したるものにして[illegible]根、岐阜にては性質急なる微震を感[illegible]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
廿三日	二、〇	三、四	四、三	九、一	八、九	三、〇	三、八	一八、九	二一、[illegible]	四、[illegible]	四、三	三八、〇	一六、〇	一七、五	三、五	三五、〇	四、[illegible]	六、九	四、七	三、六	三、[illegible]	九、[illegible]
廿四日	一、〇	一、〇	一、四	一、二	〇、六	〇、四	〇、四	二、〇	〇、三	〇、五	一、三	一、〇	三、〇	三、五	—	—	[illegible]	〇、八	[illegible]	[illegible]	一、三	一、三
廿五日	一、二	五、三	六、六	八、〇	七、五	七、三	一、三	一、八	一、三	〇、三	三、五	三、七	三、〇	〇、七	—	〇、八	—	[illegible]	一、三	〇、八	六、九	四、六
廿六日	三七、九	三、〇	三六、二	三、〇	三三、九	一七、八	三三、〇	一九、七	一六、七	三、八	八、五	三、八	一五、〇	一六、〇	四四、三	三、五	九、[illegible]	九、[illegible]	[illegible]	七、[illegible]	一七、[illegible]	三、四
廿七日	三、三	三、三	—	—	—	〇、四	—	〇、八	—	〇、九	—	—	—	一、五	—	—		一、三	三、〇	一、五		一、五
廿八日	一、三	一、三	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	三、〇	—		—		—	—		
廿九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—		—	—	—	
三十日	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—						
全月	三八、九	三四、九	三九、〇	四六、三	一八七、九	三九、五	一〇六、九	三六、一	[illegible]	三五、〇	三六、三	[illegible]	三八、三	一四、八	三一、七	六五、二	五一、[illegible]	五一、三	一九、一	[illegible]	一〇、八	六七、五

管內天氣摘要

●一日午前或は午後より雨降り斷續して翌日に亘る●二日前日來の雨斷續して翌日に亘りし所多し●三日前日來の雨概ね午前歇み南部及大阪、妙見山、枚方、八尾に强風吹けり●四日晴曇相半し大阪に强風吹けり●五日概ね晴天●六日概ね晴天所々に微雨あり●七日概ね晴天●八日概ね晴天なりしか午後より雨降り翌日に亘り南部及大阪、枚方に强風吹けり●九日前日來の雨午前歇み後概ね晴天大阪に强風吹けり●十日概ね晴天●十一日概ね晴天堺に雨降れり●十二日朝より雨降り午後に至り歇む●十三日概ね晴天所々に雨降り池田、茨木に雷鳴あり●十四日概ね晴天池田に雨降れり●十五日概ね晴天大阪に强風吹けり●十六日概ね曇天正午頃より雨降り翌日に亘り尾崎に强風吹けり●十七日前日來の雨終日歇ます翌日に亘り尾崎、長承寺、大阪に强風吹けり●十八日前日來の雨未明歇み後晴曇相半す●十九日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●二十日前日來の雨斷續して翌日に亘り長承寺に强風吹けり●廿一日前日來の雨斷續して翌日に亘る●二十二日前日來の雨斷續して翌日に亘りし所多し●二十三日前日來の雨概

第五表　管內降水日量

六月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	三三、五	一九、三	一九、五	一六、五	一四、六	一五、〇	一三、八	一四、二	一三、九	一四、一	一五、三	一九、〇	一三、〇	一四、	一五、五	一七、四	一五、	一五、三	八、七	一三、四	一五、六	七、五
二日	三五、五	四一、〇	一五、五	一三、三	一三、一	三、五	一三、三	一五、六	一三、〇	一三、五	二三、五	一四、〇	一四、〇	一四、五	一六、	一八、八	一六、	一五、	三、五	一四、六	一、三	八、〇
三日	—	一、三	—	〇、四	—	—	—	—	—	〇、一	—	〇、四	一、〇	一、六	—	—	—	—	—	一、三	—	一、八
四日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五日	—	—	—	〇、〇	—	—	一、〇	〇、八	一、三	〇、一	〇、五	—	—	—	〇、三	—	—	一、六	—	—	—	—
六日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	六三、三	四六、三	四五、〇	四一、〇	三七、四	二五、〇	二〇、〇	二六、三	一六、八	二七、三	三七、〇	四五、〇	一八、九	三三、〇	三五、三	五八、〇	一六、	一四、五	一八、五	三六、〇	四六、〇	五三、一
九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四、〇
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一日	三、〇	五、三	二、七	〇、四	三、八	二、七	二、〇	二、三	二、六	三、〇	二、〇	一、〇	〇、四	〇、三	三、〇	二、〇	七、	七、一	一、	一、八	一、六	五、〇
十二日	八、八	三、四	三、八	二一、〇	二、六	二一、〇	三、三	二、一	二、三	三、五	五、五	七、〇	三、八	三、七	二、〇	六、	一三、	三、七	五、	三、九	四、一	四、六
十三日	—	—	—	—	—	—	—	〇、〇	〇、〇	一、五	一、〇	七、〇	一、〇	一、三	五、六	三、一	—	—	—	—	—	—
十四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十五日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、三	—	—	〇、三	—	—	四、〇	—	—	—	—	—
十六日	三三、五	一九、一	四、九	一七、三	一九、四	二一、〇	一九、八	二三、〇	一三、〇	一八、三	二四、五	二四、〇	四二、	二三、五	三二、〇	三九、	三〇、	二二、八	二二、五	一四、五	一、三	一、
十七日	二三、八	一八、三	一九、二	二一、〇	一、一	一八、三	一六、三	一六、四	二六、六	二四、五	六二、〇	五一、〇	六五、	七七、三	三、	四二、〇	一六、	二七、五	一八、〇	四、	一九、六	一八、八
十八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十九日	二四、一	二四、六	二三、八	二〇、三	二〇、三	二二、〇	一八、三	一九、六	二八、一	八、四	五、七	六、〇	二、〇	四、	三、五	五、二	二〇、	一七、一	二〇、	一八、	一九、九	四六、〇
二十日	二三、四	二四、三	二四、三	二六、〇	二五、四	一八、〇	四五、〇	四五、〇	四三、八	四二、六	二〇、五	二二、五	一六、〇	一八、八	三、五	一九、	三、	四七、五	三六、	三三、五	三三、九	五〇、
廿一日	二〇、三	五、四	四、四	一五、三	二、七	二二、一	一、三	一、一	二、六	二、五	九、〇	一、五	二、	二、六	一、	三、五	二、	八、七	三、五	一、八	三、三	四、
廿二日	七、三	一三、三	八、八	八、六	八、〇	一四、〇	七、五	七、三	三、一	八、三	五、	一、〇	三、三	一、	八、〇	五、	六、	一、八	七、五	八、七	一、八	一、八

觀測所	氣温 平均最高	氣温 平均最低	氣温 平均 本年	氣温 平均 平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日
深日	二六、四	一七、九	二二、一	▲〇、五	三二、〇	三〇	一三、〇	七
尾崎	二七、四	一八、四	二二、九	▲一、一	三三、六	[illegible]	一四、〇	一三
岸和田	二六、〇	一七、七	二二、八	▲〇、一	二九、九	二九	一四、〇	一三
長承寺	二六、八	一七、三	二二、〇	▲〇、一	三三、〇	二九	一三、二	一三
濱寺	二六、七	一八、〇	二二、三	—	三二、二	三〇	一三、七	一五
堺	二六、九	一八、一	二二、五	▲〇、五	三二、六	二九	一三、〇	一四
天王寺	二六、八	一八、四	二二、六	▲〇、七	三三、七	二九	一四、二	一三
大阪	二六、一	一八、七	二二、四	▲〇、三	三〇、九	二九	一四、六	一三
福島	二七、七	一七、九	二二、八	▲〇、七	三四、〇	二九	一三、七	一三
新庄	二六、七	一七、九	二二、三	▲〇、一	三三、五	二九	一三、九	一三
池田	二五、八	一六、八	二一、四	〇、四	二九、〇	二八	一三、一	一三
妙見山	二三、五	一四、八	一八、二	▲〇、三	二七、一	二九	一〇、九	一〇
東郷	二六、〇	一五、三	二〇、六	▲〇、三	三二、〇	二九	九、九	一〇
天王	二三、九	一四、一	一九、〇	▲〇、七	三〇、八	三〇	九、一	一〇
茨木	二六、八	一七、〇	二二、〇	〇、三	三三、三	二九	一三、六	一三
清水	二七、〇	一六、七	二二、九	▲〇、四	[illegible]	三〇、二九	一三、六	一三
枚方	二七、七	一七、五	二二、六	▲〇、一	三三、〇	二九	一三、五	一三
田原	二六、七	一六、四	二二、五	▲〇、六	三二、九	二九	一三、〇	一二
八尾	二七、九	一八、二	二二、〇	▲〇、七	三二、五	二九	一三、〇	七
柏原	二七、七	一六、三	二二、七	〇、五	三三、四	二九	一二、二	一五
富田林	二七、二	一七、〇	二三、一	〇、〇	三三、八	二九	一三、五	一一
長野	二六、二	一六、九	二二、七	▲〇、七	三二、五	二九	一三、五	一〇

觀測所	降水 總量 本年	降水 總量 平年ヨリ	日最多量	起日	午前十時（柏原ハ午前九時）氣温	濕度	雲量	最多風向
深日	一九八、九	▲八六、四	六三、二	八	二三、二	七七	七、四	北
尾崎	二六四、五	▲七七、一	四六、二	八	二三、一	七九	六、四	南西
岸和田	二三九、〇	▲四四、九	四五、〇	八	二二、九	七一	六、[illegible]	西
長承寺	二四六、三	▲六〇、〇	四一、二	八	二四、三	八〇	五、八	西
濱寺	一八七、九	—	三七、四	八	二四、一	七四	七、一	西
堺	二三九、五	▲五三、九	二八、〇	二	二四、三	八〇	六、四	北東
天王寺	二〇六、九	▲一七、八	四五、二	三	二四、三	七三	五、四	西
大阪	二三六、一	▲一五、二	四五、一	二	二三、三	七四	八、〇	南北
福島	二三三、〇	▲一三、一	四二、八	三	二四、一	七一	六、一	北東
新庄	二五〇、〇	▲三五、一	四二、六	三	二三、三	七六	六、九	東
池田	二六六、三	▲七二、四	六三、〇	一七	二三、三	七一	六、六	北西東
妙見山	一六三、一	▲七二、四	五一、〇	一七	一八、[illegible]	九一	五、[illegible]	南東
東郷	二三八、三	▲一二、四	六五、〇	一七	二一、三	七五	五、九	南西
天王	二三四、八	三三、七	七七、三	一七	二三、〇	七一	五、八	西
茨木	二三一、七	▲一九、七	三五、三	八	二三、六	七五	六、四	東
清水	二六五、二	▲七六、五	三八、〇	八	二二、九	八二	五、九	東
枚方	二五二、一	▲五一、四	三六、一	八	二三、九	七七	六、[illegible]	西
田原	二五一、三	▲二六、七	四七、五	三	二三、七	七五	六、九	東
八尾	一九三、一	▲八、三	六八、〇	三	二四、二	七四	五、八	南西
柏原	二三三、〇	▲一七、四	三六、〇	八	二三、八	七一	七、[illegible]	北
富田林	二〇一、八	▲一二、〇	四六、〇	八	二三、七	七七	七、〇	北東北
長野	二六七、五	▲一〇四、〇	五三、一	八	二三、四	八二	六、六	北

觀測所	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	濃霧	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	一七							[illegible]	一九	一
尾崎	一八		〇	〇				七	[illegible]	四
岸和田	一五							八	[illegible]	一
長承寺	一六	〇			〇			七	[illegible]	六
濱寺	一五	—	—	—	—	—	—	六	[illegible]	[illegible]
堺	一六			〇				七	一六	[illegible]
天王寺	一六	〇	〇	〇				八	[illegible]	一
大阪	一七	〇						[illegible]	[illegible]	六
福島	一六	〇	〇	〇				八	[illegible]	[illegible]
新庄	一九							八	一七	
池田	一六	〇						[illegible]	一四	[illegible]
妙見山	一七				〇			[illegible]	一四	[illegible]
東郷	一七							六	[illegible]	[illegible]
天王	一九							五	[illegible]	
茨木	一五							七	一五	
清水	一五							七	[illegible]	
枚方	一五		〇					[illegible]	一七	[illegible]
田原	一七	〇		〇				四	一七	
八尾	一六	〇			〇			[illegible]	一四	一
柏原	一七	〇						六	一七	[illegible]
富田林	一五		〇					七	一九	[illegible]
長野	一八	〇			〇	〇		一	一五	[illegible]

三十三度八及南部尾崎に於て三十三度六を示し其他二三の地を除き一般に三十三度乃至三十一度を示せり又降水量は八日、十七日、二十日に大雨ありたるを以て各地とも平年より多量を示せり要するに本年六月は降水量稍々多くして氣溫は平年より高く即ち順當に經過せり更に氣溫、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣溫　平均は東部八尾の二十三度〇より北部妙見山の十八度二の間にありて之れを平年に比すれは北部池田、西部茨木、東部柏原は低かりしも其他は一般に高き方にあり而して最高は二十九日乃至三十日に現はれ西部福島の三十四度〇東部富田林の三十三度八、南部尾崎の三十三度六、東部八尾の三十三度五を高極とし東部柏原の三十三度四、西部枚方の三十三度〇之れに亞き其他は三十二度乃至三十一度を示したれとも南部岸和田は二十九度九、北部池田は二十九度〇、仝妙見山は二十七度一に止まれり又最低は概ね中旬に現はれ北部天王の九度一、仝東郷の九度九を低極とし其他は十一度乃至十四度の間を示せり之れを要するに本年六月の氣溫は最高三十四度〇より最低九度一の間にありて其較差二十四度九に達せり

降水　總量は南部深日の二百九十八粍九より東部八尾の百九十三粍一の間にありて之れを平年に比すれは北部天王は稍々少きも其他は一般に多量を示せり而して日量の最多は八日、十七日及二十日の大雨の際にありて北部天王の七十七粍三を最多とし之れに亞くは仝東郷の六十五粍〇、南部深日の六十三粍二、北部池田の六十二粍〇にして其他五十粍以上は妙見山、清水、長野の三ヶ所、四十粍以上は尾崎、岸和田、長承寺、天王寺、大阪、福島、新庄、田原、富田林の九ヶ所三十粍以上なりしは濱寺、茨木、枚方、八尾、柏原の五ヶ所にして堺は二十八粍に過きさりし

雷雨　は十三日、二十七日、二十八日の三回ありたれとも孰れも北部の山間にありたる微雷なりき

時量最多	蒸發量	日照時數	地皮	地中溫度 十糎	二十糎	三十糎	六十糎	百二十糎	三百糎	五百糎	七百糎
—	二六、八	一八二、〇五	二三、四二	二三、六九	二二、三八	二三、一五	二〇、八六	一八、七七	一五、一五	一五、七〇	一六、六二
—	九、八	六、二九	〇、四二	〇、一二	〇、一二	〇、一六	〇、五〇	〇、五五	〇、一六	〇、〇五	〇、一八
九、九	九、三	一三、九〇	二七、七	二九、七	二七、二	二六、一	二三、二	二〇、二	一五、五	一五、八	一六、七
二〇	三〇	一四	二九	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
—	〇、五	—	一五、八	一八、九	一九、五	一九、七	一九、〇	一七、五	一四、七	一五、六	一六、五
—	二〇	—	二三	二	二	三	四	二一	二	二	二

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
濕度	七九、五	七六、五	六八、四	七九、八	九〇、四	八三、七					
平年に比し	▲ 二、九	〇、一	一、〇	▲ 一、八	▲ 二、一	五、五					
飽差	三、七六	五、〇九	六、〇三	四、一二	一、八六	三、九〇					
平年に比し	〇、六一	▲ 〇、六七	▲ 一、九二	〇、四四	二、〇八	〇、八〇					
降水量	三〇、七	二八、〇	四、七	四三、二	九一、五	二三、四					
平年に比し	▲ 一〇、一	▲ 五、九	四、六	二三、五	▲ 五八、二	四、三					
雲量	九、四	六、三	六、〇	九、二	九、七	七、三					
平年に比し	▲ 二、〇	一、〇	一、九	▲ 一、四	▲ 一、九	▲ 一、〇					
日照時數	一八、六〇	四七、八	四三、六	一六、四五	一四、〇	一四、〇					
平年に比し	一六、三一	▲ 一三、四	▲ 二一、八	一三、七一	一一、九四	▲ 一、〇					
風速度	四、七〇	四、六五	三、五二	四、四九	三、八五	三、三六					
平年に比し	▲ 〇、一九	▲ 〇、九	〇、四	〇、六六	一、〇六	一、二					

觀測回數	平年比較
二四	六
一五九	三
四一	三
三	一
五七	▲ 一
一六四	▲ 八
三六	▲ 二
三	▲ 三
三	北五度四
三	九

大阪府管內氣象概況

前既に述へたるか如く六月は夏季の狀態に移らんとし氣溫逐日上昇を告くるも中旬より梅雨季に入るを以て陰鬱の天氣となり爲めに氣溫は稍々上昇を中止し降水量は劇增して一年中に於ける最多量を示すを常とす而して本年六月の氣候を調査するに上旬より中旬の半に亘りては晴天の日多く中旬の半以後は梅雨の特徵を發揮し霖雨殆んと旬日に涉り月末に至りて梅雨一度霽るゝや暑氣頓に旺盛となり最高氣溫は西部福島に於て三十四度〇東部富田林に於て

廿二日	二〇、八	二一、一	二一、二	二一、三	二一、〇	一八、三	午前七時二分より小雨斷續して翌日に到る
廿三日	二四、一	二三、五	二一、七	二一、五	二〇、九	一八、一	前日來の小雨午前一時五十五分歇む午前十一時四十分より午後二時二十分迄日暈現る夜露あり
廿四日	二四、八	二三、六	二三、九	二三、五	二一、一	二〇、一	朝露あり午前一時五十分より降雨時々大雨を交へ午前九時三十分歇む
廿五日	二六、三	二四、七	二三、七	二三、三	二一、四	一九、〇	午前五時三十分より五時五十分迄小雨午前十一時四十分より午後零時十分迄及四時三十分より六時二十五分迄日暈現る
廿六日	二三、六	二三、[illegible]	二三、五	二三、四	二一、八	一七、六	午前三時十五分より降雨翌日に到る午後十時五十分より薄霧あり
廿七日	二六、〇	二四、三	二三、四	二三、二	二一、九	二〇、二	前日の降雨時々大雨を交午前二時五十分歇む前夜來の薄霧午前零時十五分消散せしか全三時二十分より六時二十二分迄薄霧あり午後九時五十分より十時三十分迄小雨
廿八日	二八、〇	二六、三	二四、八	二四、三	二二、一	二〇、九	午前四時廿三分より小雨斷續して六時十七分歇む午後五時廿分より五時廿五分迄北方に當り雷鳴あり
廿九日	二九、六	二七、〇	二五、七	二五、〇	二三、六	一九、五	朝夜露あり
三十日	二九、一	二七、五	二六、四	二五、七	二三、〇	一九、八	朝露あり
全月	二三、四	二三、七	二三、四	二三、一	二〇、九	一六、〇	

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高又は多、強）

種目	全月觀測成績 平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日	種目	半旬期觀測成績 自五月二十一日至六月四日	自六月五日至六月十日	自六月十一日至六月十五日	自六月十六日至六月二十日	自六月二十一日至六月二十五日	自六月二十六日至六月三十日
氣壓	七五七、三八	▲〇、九五	七六三、二	一五	七四七、六	三	氣壓	七五八、二六	七五四、一三	七五七、三六	七五八、三〇	七五九、四三	七五七、〇〇
氣溫 平均	二一、九九	▲〇、四二	—	—	—	—	平年に比し	〇、八五	二、九五	一、五七	▲二、五[illegible]	▲三、七〇	▲二、二[illegible]
氣溫 最高	二五、七二	▲〇、三五	三〇、九	一九	—	—	氣溫	一九、九七	二二、四七	二二、三四	二三、一[illegible]	二二、一六	二四、五五
氣溫 最低	一八、五四	▲〇、四二	—	—	一四、六	一三	平年に比し	〇、四四	▲一、七七	〇、三五	〇、三三	▲〇、八	▲一、三八
氣溫 較差	七、一七	〇、〇八	一四、〇	一一	—	—	最高氣溫	二三、五八	二七、四四	二四、九八	二五、[illegible]	二三、六四	二八、四四
水蒸氣張力	一五、七一	▲〇、八五	二三、二	二九	九、四	一一	平年に比し	一、〇一	▲二、五六	▲〇、六四	一、九五	一、二七	▲一、四四
濕度	八〇、一	▲二、二	—	—	三、九	一一	最低氣溫	一六、八六	一七、八四	一五、二二	一九、三六	一九、三[illegible]	二二、五三
飽差	四、三	〇、二九	一七、〇	一一	〇、二	二七	平年に比し	▲〇、二三	▲〇、八四	一、八七	▲一、一七	▲一、一一	▲一、六八
降水 月量	二二一、五	▲三八、四	—	—	—	—	水蒸氣張力	二三、七二	一五、二四	一一、八八	一五、六五	一六、八七	一九、一四
降水 日量最多	—	—	四一、七	二〇	—	—	平年に比し	▲〇、一	▲一、四五	二、二四	〇、〇	▲〇、〇	▲一、六六

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

六月	地中溫度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	二〇、八	二〇、五	二〇、四	二〇、三	一九、二	一四、二	午前五時二十五分より雨斷續して午後十時三十五分歇む
二日	一八、七	一九、四	一九、九	二〇、一	一九、三	一四、二	午前零時五十五分より雨となり午後四時五十五分一旦歇み斷續して翌日に到る午後六時四十五分より七時三十分迄薄霧あり
三日	二一、七	二〇、八	二〇、一	二〇、〇	一九、二	一七、一	前日來の雨午前二時零五分歇む全四時三十四分より雨斷續して午後七時零七分歇む午前二時四十分より午後六時十五分迄薄霧あり午後二時強風吹き翌日に到る午前十時卅五分より七時卅八分迄紅霓現る
四日	二一、八	二一、三	二〇、七	二〇、五	一九、三	一三、九	前日來の強風午前三時迄吹續せり午前九時五十分より同十一時五分迄及午後一時三十五分より同二時十分迄日暈同午後八時三十五分より九時三十分迄月暈現る夜露あり
五日	二三、六	二一、九	二一、一	二〇、七	一九、四	二一、九	朝露あり午前五時三十分より六時四十分迄薄霧あり夜露あり
六日	二四、五	二二、九	二二、〇	二一、四	一九、六	一四、六	朝露あり午前三時四十分より五時三十三分迄薄霧あり午前五時三十三分より六時二十分迄小雨午前八時三十分より十時三十七分迄日暈現る夜露あり
七日	二五、三	二三、四	二三、六	二三、〇	二〇、〇	一四、九	朝露あり午前四時十分より五時四十分迄薄霧あり午後一時四十五分より五時五分迄及六時二十五分より六時五十分迄日暈現る
八日	二四、四	二三、五	二三、一	二三、四	二〇、三	一六、八	朝露あり午前八時五十分より九時三十五分迄日暈現る午後三時四十五分より雨斷續して翌日に到る午後八時乃至十時強風吹けり
九日	二四、六	二三、七	二三、一	二三、七	二〇、七	一五、三	前日來の雨斷續して午前一時二十分歇む午前一時四十分より一時五十五分迄月光環現る午前六時及九時強風吹けり午前六時十分より九時五十五分迄及午後一時三十分より二時五十分迄日暈現る
十日	二三、四	二二、六	二三、七	二三、六	二一、〇	一三、八	午前十一時十分より午後一時四十分迄日暈現る夜露あり
十一日	二三、〇	二二、二	二二、二	二二、一	二一、〇	一一、七	朝露あり午前十一時四十五分より午後二時三十五分迄日暈現る
十二日	一九、四	二〇、九	二一、九	二一、九	二一、〇	一〇、七	午前六時三十五分より小雨斷續して午後五時五十分歇む夜露あり
十三日	二二、三	二二、一	二二、一	二二、二	二〇、七	一〇、三	朝露あり午後八時四十分より九時二十五分迄東方に電光あり午後九時廿分より十時十八分迄微雨あり
十四日	二三、三	二三、二	二二、八	二二、六	二〇、七	一〇、九	朝露あり
十五日	二四、一	二二、六	二二、四	二二、一	二一、〇	一二、七	朝露あり午後三時より五時迄強風吹けり
十六日	二三、四	二二、四	二二、五	二二、三	二一、〇	一八、八	午前十一時三十九分より雨斷續して翌日に到る
十七日	二三、七	二二、五	二二、四	二二、三	二一、二	二〇、三	前日來の雨終日歇ます翌日に到る午後九時及十一時強風吹けり
十八日	二四、二	二三、〇	二三、七	二三、四	二二、三	一七、八	前日來の雨午前四時十五分歇む夜薄露あり
十九日	二一、九	二二、三	二三、五	二三、五	二二、四	一五、九	朝露あり午前四時三十五分より七時二十五分迄薄霧あり午前八時三十分より十時三十五分迄日暈現る午後二時五十五分より小雨翌日に到る
二十日	一九、八	二〇、九	二一、六	二一、九	二一、四	一六、八	前日來の雨終日歇ます翌日に到る
廿一日	二〇、四	二〇、七	二一、〇	二一、二	二一、一	一七、三	前日來の雨時々大雨を交へ午後零時二十分歇む

七日	七五六,三	二三,七▲	一,九	二七,八	一七,九	九,九	一五,七	七八	五,〇	四,四	九,三	西	西	七,一	一,〇▲	三,九	|	六,七
八日	七五一,七	二三,六▲	二,八	二六,九	二〇,三	八,七	一七,五	八三	四,二	四,九	六,三	南西	南西	九,七	一,九	三,八	五,八	四,三
九日	七五一,〇	二五,〇▲	二,一	二七,二	二〇,三	八,六	一四,五	七一	六,三	六,九	一二,九	西南西	西南西 南西	八,三	三,二▲	三,九	[illegible],四	七,四
十日	七五五,二	二〇,四▲	〇,五	二四,三	一五,四	八,九	一二,四	六五	六,五	四,三	七,五	西南西	南西	七,四	六,四▲	三,二	|	六,三
十一日	七五六,三	二一,八▲	一,六	二九,二	一五,〇	一四,三	一二,三	六六	八,三	三,六	七,七	北	北	六,八	三,三▲	六,三	[illegible]	七,三
十二日	七五五,五	一八,一	二,三	二〇,一	一五,五	四,六	一二,九	七八	三,三	三,一	五,五	北	北	八,一	〇,八	五,三	四,七	三,三
十三日	七六八,五	二〇,一	一,四	二五,五	一四,六	一〇,九	一三,三	七一	五,八	三,四	八,九	北東	北東	六,一	二,三▲	一,四	[illegible]	六,六
十四日	七六一,三	二二,三	〇,三	二五,八	一五,一	一〇,七	一三,四	六七	六,五	三,三	六,一	西南西	西南西	一一,八	二,九▲	五,六	[illegible]	六,三
十五日	七六一,七	二三,三▲	〇,二	二六,六	一六,五	一一,一	一三,六	七一	六,四	四,五	一二,三	南西	南西	七,三	一,一▲	三,九	[illegible]	六,七
十六日	七五八,二	二三,三▲	〇,三	二四,八	二〇,七	四,一	一五,七	七九	四,二	三,四	九,九	南南西	南南西 東	一〇,〇	[illegible]	一,九	[illegible],九	一,三
十七日	七五五,三	二三,六▲	〇,四	三三,三	二一,七	一,四	一九,三	九五	一,二	八,三	一二,六	西南西	西南西	一〇,〇	[illegible]	六,七	三,三	一,三
十八日	七五七,三	二三,一	一,三	二六,三	一九,三	七,一	一四,三	七三	五,五	三,八	五,七	北	北	九,五	四,三	四,[illegible]	八,四	四,七
十九日	七五九,一	二一,三	〇,九	二四,一	一八,五	五,六	一五,四	八三	三,四	二,五	五,五	西南西	北	九,〇	二,三	三,八	一,八	一,九
二十日	七五八,四	一八,九	二,三	三〇,三	一七,[illegible]	三,三	一五,一	九三	一,一	四,八	七,六	北東	北東	一〇,〇	[illegible]	三,七	四一,七	〇,五
廿一日	七五九,六	二〇,五	〇,三	三三,三	一八,四	四,八	一六,三	九〇	一,八	三,七	五,一	北東	北東	一二,〇	[illegible]	四,三	二,四	一,四
廿二日	七六一,一	二〇,七▲	〇,三	三三,一	一九,七	二,四	一六,九	九六	一,三	三,九	五,[illegible]	北北東	北北東	九,九	[illegible]	四,[illegible]	九,[illegible]	[illegible],五
廿三日	七六〇,四	二三,五▲	〇,五	二五,九	一九,五	六,四	一七,三	八六	二,〇	三,六	六,四	南西	南西	八,八	九,三▲	八,[illegible]	〇,七	三,[illegible]
廿四日	七五七,四	二三,五▲	一,一	二六,八	二一,〇	五,八	一八,九	九〇	二,三	四,二	八,八	西南西	西南西	九,七	五,[illegible]	一,七	八,七	九,三
廿五日	七五五,九	二四,三▲	〇,九	二九,〇	二一,一	七,九	一六,六	七四	六,〇	三,九	六,三	北	北	八,六	八,六	[illegible],五	[illegible]	六,〇
廿六日	七五六,七	二一,四	〇,六	三一,七	二一,一	二,六	一七,三	九〇	一,八	二,四	四,五	北東	北北東	九,六		二,七	三,[illegible]	[illegible],六
廿七日	七五六,一	二四,九▲	一,六	二九,四	二〇,六	八,八	二〇,五	八八	三,〇	三,三	六,八	西	西	八,三	六,三	〇,五	三,三	五,三
廿八日	七五七,〇	二五,九▲	二,三	二九,七	二三,四	六,三	二〇,七	八四	四,一	三,三	六,一	南南西	北西 南西	七,一	八,四▲	一,三	[illegible],九	六,八
廿九日	七五九,三	二六,三▲	二,七	二〇,九	二三,四	八,五	二〇,七	八六	四,七	三,八	八,一	西	北西 西	一,四	一,九▲	三,五	[illegible]	七,三
三十日	七五九,九	二六,八▲	一,〇	二〇,五	二三,三	七,[illegible]	二〇,六	八〇	五,三	五,一	九,九	南西	西	一,六	一,三▲	五,四	[illegible]	九,三
全月	七五七,四	[illegible]▲	〇,四	二五,七	八,五	七,[illegible]	一五,七	八	四,一	四,三	七,九	西南西	北東	七,七	八,[illegible]	六,[illegible]	[illegible]	六,八

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印は高又は多）

六月	氣壓 平均	空氣 平均 本年	空氣 平均 平年比較	溫度 最高	溫度 最低	溫度 較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 平均	風速 最大	風向 全日	風向 最多	雲量 平均	日照時數 本年	日照時數 平年比較	降水量	蒸發量
一日	七五二、五	一九、二	〇、四	二二、二	一六、一	七、一	二二、九	七、六	二、七	二、七	五、〇	西南西	東北東	一〇、〇	七、八	一、七	二、二	一、七
二日	七五九、六	一七、八	二、〇	二九、六	二二、二	七、四	二〇、〇	九、〇	二、二	四、九	九、一	北東	北東	一、〇	一、〇	四、四	二、八	一、七
三日	七五二、七	二、八▲	一、四	二八、四	一八、五	九、九	二六、四	八、〇	四、四	八、〇	一〇、九	西南西	南	九、四	四、二▲	〇、七	〇、七	八、八
四日	七五〇、七	一、二	二、〇	二九、六	二二、七	七、四	二二、三	七、〇	四、〇	四、七	八、〇	西南西	南西	八、〇	七、八▲	〇、二	一	四、五
五日	七五二、三	二、四▲	〇、四	二六、四	一五、〇	一一、四	二三、九	七、六	四、〇	三、七	一二、九	南南西	北東	一、二	二、四▲	六、八	一	四、五
六日	七五六、七	一、六▲	一、六	二六、九	一五、七	九、四	二二、四	七、七	五、四	六、八	一六、九	南西	南西	四、四	一、四▲	一、八	一、六	六、七

夜半 平均	午後 十一時	午後 十時	午後 九時	午後 八時	午後 七時	午後 六時	午後 五時	午後 四時	午後 三時	午後 二時	午後 一時	正午
七五七、五	七五七、五	七五七、五	七五七、八	七五七、九	七五六、六	七五六、五	七五六、二	七五六、四	七五六、五	七五六、九	七五七、一	七五七、五
二〇、六	二一、九	二一、三	二一、五	二一、九	二三、四	二四、二	二四、三	二四、五	二四、六	二四、七	二四、六	二四、五
一五、七	一五、八	一五、九	一六、〇	一五、九	一六、〇	一六、二	一六、三	一六、四	一六、五	一六、六	一六、六	一六、六
八、二	八、五	八、九	八、三	八、一	七、五	七、六	七、三	七、二	七、八	七、五	七、一	六、八
四、三	三、八	二、九	三、〇	三、三	四、二	五、〇	六、〇	六、七	六、四	六、九	六、九	七、〇
四、二	四、七	四、四	五、二	五、七	五、六	五、四	五、二	五、八	五、五	五、〇	四、四	四、四
七、七	六、八	六、四	五、二	七、八	八、〇	八、五	八、二	八、〇	七、七	七、四	七、五	七、七
一	一	一	一	一	四、三	三、〇	三、四	三、七	五、四	七、四	六、九	七、〇
三、〇	二、〇	九、二	九、八	八、七	八、六	七、一	三、	六、八	六、五	八、一	六、九	四、八
二、七	三、一	三、六	三、二	三、六	三、七	四、一五	五、二	六、四	七、三五	八、四	六、八	六、七
三、六	三、六	三、八	三、四	三、六	四、二	四、一九	四、一	四、四	三、八	三、四	三、九	三、六
一、六	一、七	一、八	一、八	一、八	一、五	一、五	一、五	一、四	一、七	一、一	一、七	一、六
二、九	二、七	二、四	二、八	二、九	三、一七	二、九	二、八	二、八	二、九	二、九	二、九	二、八
一、九	一、九	一、九	一、八	一、九	二、八九	二、九	二、八	二、八	一、八	一、七	二、八	二、八
二、八	二、九	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八	二、八

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時、地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後九時乃至夜半、同三十糎にありては夜半に生し、最低は地皮にありては午前五時、地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十時、同三十糎にありては午後一時乃至二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得へし

最低地溫　平均は十六度〇五にして平年に比すれは零度三五高く月中の最低は十三日午前二時の十度三なり

天氣日數

快晴は二日にして平年に等しく曇天は十九日にして平年より三日多し

尙詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すへし

第一表　大阪毎時氣象觀測成績

六月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	地下十糎	地下二十糎	地下三十糎	地下六十糎
午前一時	七五七、五〇	一九、九七	一五、三一	八七、五五	二、一四	三、三六	六、八	—	一〇、九	二〇、五九	二二、二三	二二、五五	二二、二五	二〇、八二
二時	七五七、四三	一九、六六	一五、二八	八九、〇	一、八四	三、四五	七、四	—	一二、五	二〇、三八	二二、一四	二二、四二	二二、二二	二〇、八二
三時	七五七、四二	一九、四二	一五、一六	八九、七	一、七二	三、四五	六、八	—	一二、〇	二〇、一七	二二、九二	二二、四一	二二、二四	二〇、八二
四時	七五七、五二	一九、一九	一五、〇三	九〇、一	一、六四	二、九二	七、七	—	一三、六	二〇、〇〇	二二、七五	二二、三六	二二、二六	二〇、八二
五時	七五七、七七	一九、〇八	一五、一五	九一、〇	一、三八	二、五〇	八、二	—	一六、六	一九、八九	二二、六一	二二、二六	二二、二八	二〇、八二
六時	七五七、九九	一九、四二	一五、〇五	八八、五	一、八五	二、六九	八、七	二、九〇	八、四	二〇、一〇	二二、四九	二二、一八	二二、一五	二〇、八四
七時	七五八、〇八	二〇、四五	一五、一四	八三、八	二、八二	二、八五	八、八	九、〇〇	一一、	二〇、六五	二二、三五	二二、一〇	二二、二二	二〇、八四
八時	七五八、〇七	二一、六一	一五、二六	七九、五	三、八九	二、九七	八、六	三、二〇	七、七	二〇、二二	二二、二四	二二、五	二二、〇九	二〇、八二
九時	七五八、〇八	二二、四七	一五、一八	七二、八	四、八七	三、五八	八、三	二、八五	七、	二〇、八二	二二、四五	二二、九	二二、四	二〇、八五
十時	七五七、九四	二三、三三	一五、六九	七三、六	五、七四	三、四二	八、	一、八〇	八、	二〇、八四	二二、七	二二、九五	二二、二	二〇、八五
十一時	七五七、七九	二四、〇〇	一五、七二	七一、三	六、五三	三、六四	七、八	一、七〇	五、	二〇、四二	二二、九	二二、九	二二、九九	二〇、八五

降水及蒸發量

降水日數は十九日にして平年に比すれは四日多く其水量は二百二十一粍五にして平年に比すれは三十八粍四多し又一日中の最多量は二十日の四十一粍七、一時間の最多量は同日午後十一時の九粍九なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は二十三度四二にして平年に比すれは零度四二低く月中の最高は二十九日午後一時の三十七度七、最低は十三日午前五時の十五度八なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて二十八度九八最低は午前五時にありて十九度八九を示し其較差は九度〇九なり

地中十糎の溫度　平均は二十二度六九にして平年に比すれは零度一一高く月中の最高は三十日午後五時の二十九度七最低は二日午前十一時乃至午後一時の十八度九なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて二十四度一九、最低は午前八時にありて二十一度三四を示し其較差は二度八五なり

地中二十糎の溫度　平均は二十二度三八にして平年に比すれは零度一一高く月中の最高は三十日午後九時乃至十時の二十七度二、最低は三日午前八時の十九度五なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時乃至十一時にありて二十二度八四最低は午前十時にありて二十一度九五を示し其較差は零度八九なり

地中三十糎の溫度　平均は二十二度一五にして平年に比すれは零度一六高く月中の最高は三十日午後十時乃至夜半の二十六度一、最低は二日夜半三日午前零時より仝八時の十九度七なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて二十二度四一最低は午後一時乃至二時にありて二十一度九七を示し其較差は零度四四なり

地中六十糎の溫度　平均は二十度八六にして平年に比すれは零度五〇高く月中の最高は三十日午後五時より夜半の二十三度二、最低は三日午前五時より翌午前五時の十九度二なり、但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

は二十九日午後四時の三十度九、最低は十三日午前五時の十四度六なり又最高氣溫の三十度以上に昇りたる初日は二十九日にして平年より七日早し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて二十四度七七最低は午前五時にありて十九度〇八を示し其較差は五度六九なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十五粍七一にして平年に比すれは零粍八五高く月中の最高は二十九日午後一時の二十三粍二、最低は十一日夜半の九粍四なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十六粍三二最低は午前四時にありて十五粍〇二を示し其較差は一粍三〇なり

濕度の平均は八十、一にして平年に比すれは二、三多く月中の最少は十一日正午の三十九なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて九十一、〇最少は正午にありて六十九、〇を示し其較差は二十二、〇なり

飽差の平均は毎立方米中四瓦一二にして平年に比すれは零瓦二九少く月中の最多は十一日午後三時の十七瓦〇、最少は二十七日午前一時の零瓦二なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後二時にありて六瓦九七最少は午前五時にありて一瓦三八を示し其較差は五瓦五九なり

風

平均速度は毎秒四米一六にして平年に比すれは零米三六弱く月中の最大速度は三日午後九時の毎秒速度十七米九（一間平方面を垂直に壓する力は三十三貫九百目）の西南西風なり又強風以上の吹きたる日數は六日にして平年に等しく其吹續時數は二十四時にして平年より四時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後八時にありて五米七一最少は午前五時にありて二米五〇を示し其較差は三米二一なり風向は南西風最も多く北東風之れに亞き南東風最も少し之れを平年に比すれは南西及西風は多くして東及北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は七、七にして平年に比すれは〇、二多く、日照時數は百八十二時〇五にして平年に比すれは六時二九少く一日中日照時間の最も長かりしは十四日の十二時九　なり

大阪測候所月報

大正三年六月

大阪氣象概況

此月は前月來氣温上昇し南西風吹き夏季の狀態を呈すれとも中旬頃より梅雨となり陰鬱濕潤の天氣持續し爲めに氣温の上昇遲緩となり暖冷常ならすして往々不時の冷氣を催ふすことあり然れとも偶々天氣好晴となる時は俄かに暑氣加わり蒸熱甚たしく不快を感することあるを常とす而して本年六月の氣候を調査するに平年に比すれは降雨稍々多く暖冷定らさりしか月末に至り氣温著しく上昇し高温を呈せり、而して日照時數は平年より少く降水日數及其水量は平年より多し

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

氣壓

平均は七百五十七粍三八にして平年に比すれは零粍九五高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は約三回にして其他は微なる昇降數回ありたり而して月中の最高は一日午後八時及十五日午前八時の七百六十三粍二、最低は三日午後四時の七百四十七粍六なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前七時にありて七百五十八粍〇八、第一の最低は午後五時にありて七百五十六粍三八を示し、第二の最高は午後十一時にありて七百五十七粍五九、第二の最低は午前三時にありて七百五十七粍四二を示せり而して其主なる較差は一粍七〇なり

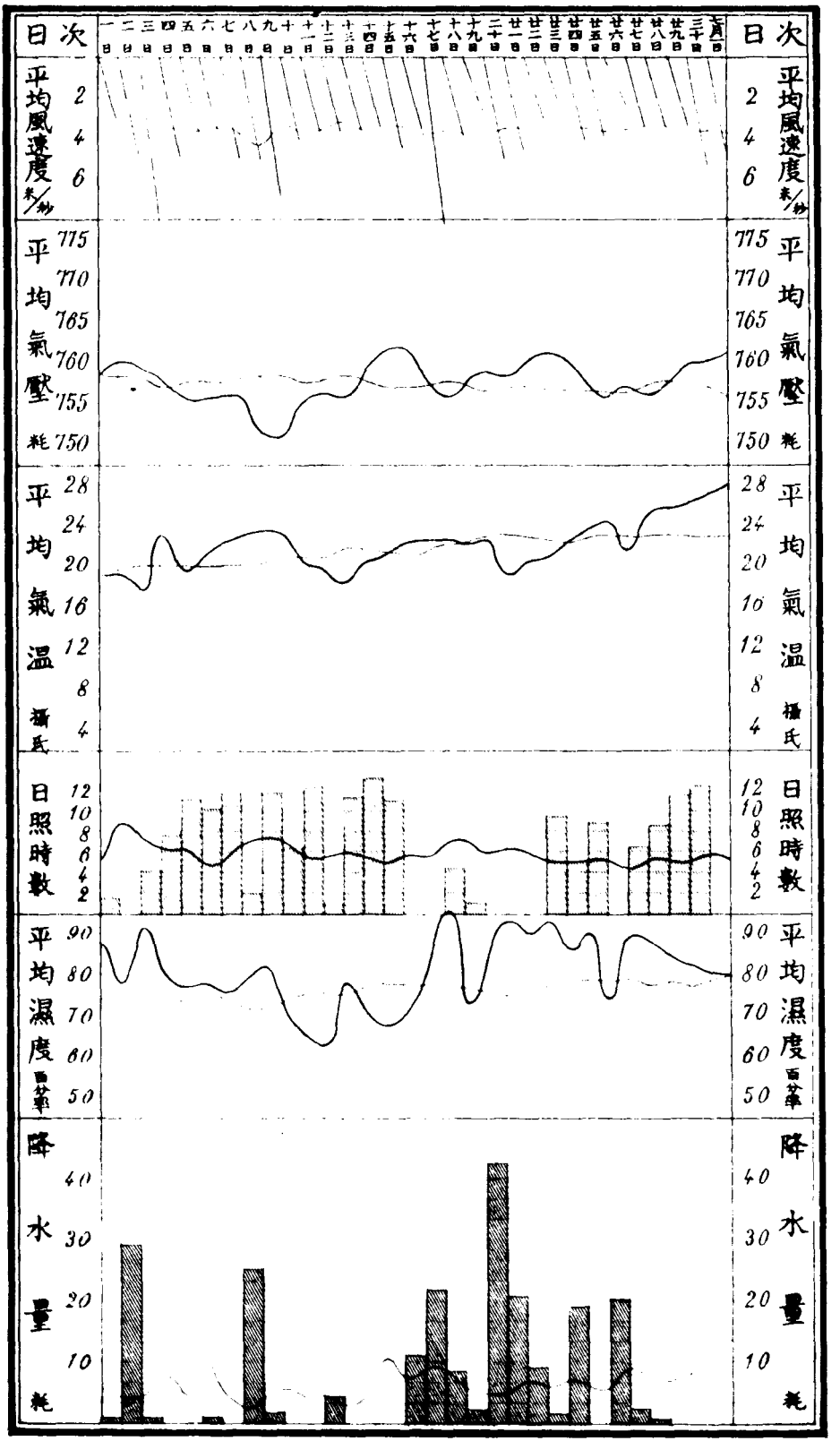
氣温

平均は二十一度九九にして平年に比すれは零度四二高く平均氣温日々の變化は氣象圖に示すか如く上旬は平年より稍々高く中旬以後は平年と大差なかりしか下旬の末に至り著しく高温となりたり而して最高

大正三年六月

大阪氣象圖

June. 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年——平年—— 日照時數ハ本年▌▌平年—— 降水量ハ本年▌▌平年——

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量幷に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動かすもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管內氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緣威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝德
尾崎	仝國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	仝國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森內清次
長承寺	仝國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	攝津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田靈顯
池田	仝國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	仝國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝國北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	仝國中河內郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝國南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	仝國南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝國南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

June 1914

大阪測候所月報

大正參年六月

第拾五年第六號

目次

○本年六月大阪氣象概況　附圖
○本年六月大阪府管内氣象概況
○本年六月大阪地震觀測概況
○本年の梅雨實況
○六月三日より四日に至る暴風雨概況
○六月卅日より七月一日に至る暴風雨概況
○南洋「スマトラ」の大震
○大流星
○大阪港の潮汐觀測
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否
○新刊寄贈書目

大正三年七月十七日印刷
仝　年七月十八日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）
大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

一白耳義國氣候表	自千八百八十三年至千八百九十八年	一三	同臺
一氣象及地震報告	千九百十三年自九月至十二月	四	ナポリ觀測所
一地震報告	同年自七月至九月	三	シドニー觀測所
一天氣月報	千九百十四年一月	一	加奈太氣象局
一氣象年報	千九百十年第一、第二卷	二	同局
一氣象及地震年報	千九百十三年	一	セントルイス觀測所
一地震報告	同年自一月至三月	三	同所
一地震調査報告		一	ゼオルジトン觀測所
一墨國地學協會報告	第四卷自二號至十號	一	墨國地學協會
一英國地震學會紀要	千九百十三年六、七月	二	シヤイド觀測所
一地震報告	同年自四月至九月	六	リック觀測所
一貿易通報	四月號	一	大阪商業會議所
一工業陳列館報告	大正三年三月	一	市立大阪工業學校
一沖商會月報	第百二十五號	一	沖商會大阪出張所
一大阪府立圖書館一覽	大正三年三月	一	大阪府立圖書館
一養鷄指針	第百二十六號	一	重枝養禽園
一商船學校々友會雜誌	第百八十四號	一	商船學校々友會
一大阪市人口統計書	大正元年	一	大阪市役所
一大阪市靜態人口統計書	大正二年	一	同所
一通俗衛生	第百九十號	一	大阪私立衛生會
一學鐙	第十八年五號	一	丸善株式會社大阪支店
一大阪府立農學校第二十一次年報		一	大阪府立農學校
一大阪府職員錄	大正三年三月	一	大阪府知事官房
一遞信公報	大正三年五月	一	遞信省

地方天氣豫報暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緑威東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野村	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	仝木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
難波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	仝木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東鄉	攝津國豐能郡	東鄉村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東鄉村役場

一氣象報告	大正三年三月	一	福岡測候所
一對馬氣象年報	大正二年	一	嚴原測候所
一對馬氣象月報	大正三年二月	一	同　所
一北海道氣象月報	同年一、二月	二	札幌測候所
一靜岡縣氣象月報	同　上	二	濱松測候所
一山形縣氣象月報	同年三、四月	二	山形測候所
一別子山氣象表	同年四月	一	住友別子鑛業所
一四阪島氣象表	同　上	一	同　所
一新居濱氣象表	同　上	一	同　所
一奉天氣象表	同　上	一	奉天觀測支所
一富山縣氣象報	同　上	一	伏木測候所
一愛媛縣氣象月報	同　上	一	松山測候所
一福島縣氣象月報	同　上	一	福島測候所
一長崎縣氣象年報	明治四十五年 大正元年 大正二年	二	長崎測候所
一境測候所氣象月報	第三十二年第三號	一	境測候所
一石川縣管內氣象月報	明治四十五年 大正元年	一	金澤測候所
一氣象月報	大正三年自一月至三月	三	水戸測候所
一眞幸地震ト噴火報告		一	宮崎測候所
一震災豫防調査會歐文紀要第六卷第二號		一	震災豫防調査會
一明治四十四年廣島縣氣象年報		一	廣島測候所
一嚴手縣宮古氣象月報	大正二年自八月至十二月	五	宮古測候所
一京都府氣象月報	大正二年三月	一	京都府測候所
一氣象要覽	大正三年三月	一	中央氣象臺
一中央氣象台月報	大正二年九月	一	同　臺
一天氣圖	大正三年五月	一	同　臺

一氣象報文	降水ノ部	一	奈良縣測候所
一新潟縣氣象報	第十年三號	一	新潟測候所
一石川縣管內氣象月報	大正二年自一月至六月	六	金澤測候所
一横濱ト英、佛、獨、米トノ氣候		一	神奈川縣測候所
一大正三年四月臺灣氣象概況		一	臺北測候所
一氣象要報	大正三年一月	一	神戸測候所
一氣象磁氣及地震觀測年報	千九百十三年	一	ブラックバーン觀測所
一地震報告	千九百十四年一、二月	二	ゲラッダ觀測所
一氣象及地震月報	千九百十三年六、七月	二	モンテカシノ觀測所
一地震報告	千九百十四年自二月至四月	三	イルクック觀測所
一地震報告	千九百十三年自七月至十二月	六	コニヴスベルヒ觀測所
一マウントウエザー觀測所紀要第六卷第四號		一	北米合衆國天氣局
一千九百十三年地震年報		一	ギルドホード觀測所
一地震報告	千九百十四年三、四月	二	同　所
一地震報告	千九百十二年六、七月	二	エナ觀測所
一千九百十三年十二月分天氣報		一	トロント氣象局
一天氣圖	千九百十四年二月	一	同　局
一天氣圖	千九百十四年二、三月	二	マルビンチン觀測所
一天氣圖	千九百十四年二、三月	二	羅馬觀測所
一地震報告	自千九百十二年十二月至千九百十四年一月	三	チノバリー觀測所
一天氣圖	千九百十四年四、五月	二	ジカウエー觀測所
一地震報告	同年二、三月	二	同　所
一地震報告	同年三、四月	二	マニラ觀測所
一白耳義氣象年報	自千八百七十七年至千八百九十七年	七	白耳義氣象臺
一天氣圖	千九百十三年十月	一	同　臺

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位　三尺五寸二分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位　三尺〇寸九分

五月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	二、二五	二、〇五	二、四二	二、一九
二日	二、二〇	二、二五	二、三二	二、二八
三日	二、六五	二、六〇	二、六六	二、七〇
四日	二、六〇	二、三五	二、八四	二、五〇
五日	二、二〇	二、二五	二、五二	二、二五
六日	二、二〇	二、一〇	二、三九	二、一五
七日	二、二〇	二、〇〇	二、二七	二、〇四
八日	二、一五	二、〇五	二、一九	一、九五
九日	二、〇五	一、七五	二、〇三	一、五五
十日	一、九五	一、七五	一、九八	一、七〇

五月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	一、九〇	一、七〇	一、八七	一、七〇
十二日	二、二〇	二、二〇	二、二二	二、二二
十三日	二、二五	二、一〇	二、四八	二、二七
十四日	二、二〇	一、九〇	二、二四	二、二四
十五日	二、二〇	二、二五	二、一	二、五〇
十六日	四、四五	三、九五	三、六五	三、九〇
十七日	四、二五	四、五〇	四、〇二	四、三〇
十八日	四、一五	三、七五	四、二〇	三、八〇
十九日	三、四五	三、〇五	三、五二	三、二
二十日	二、九五	三、〇五	三、一五	二、八五

五月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	六、四五	七、二〇	五、一五	六、四五
二十二日	五、六五	四、四五	五、八七	四、四六
二十三日	三、一五	三、六〇	四、	三、七一
二十四日	三、五五	三、二五	三、六四	三、二五
二十五日	三、〇五	三、一五	三、四〇	三、一六
二十六日	二、九〇	二、八	三、一	二、八九
二十七日	二、六五	二、二五	二、八六	二、六五
二十八日	二、三	二、一五	二、六	二、四五
二十九日	二、三	二、一五	二、五二	二、七
三十日	三、四五	七、二	三、	五、五
三十一日	五、九〇	四、五〇	五、九〇	四、六〇

最均水位 廣瀬三尺
平高水位 廣瀬七尺四寸（三十日午後十時）
大日三尺〇寸一分
六尺四寸五分（二十一日午後六時）

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三一	二五	六	〇	九三
	天氣	三一	二四	七	〇	八九
	溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報		四	四	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一岐阜縣氣象月報　大正三年三月　一岐阜測候所
一滋賀縣氣象月報　大正三年三月　一彦根測候所
一氣象月報　同上　一濱田測候所
一秋田縣氣象月報　同上　一秋田測候所
一朝鮮氣象月報　同上　一朝鮮總督府觀測所
一千葉縣氣象報　同上　一銚子測候所
一氣象報　同上　一愛知縣測候所
一愛知縣河川水量年報　大正二年　一同所
一大正二年度氣象報告　一福井測候所
一靜岡縣氣象略報　同上　一沼津測候所
一大正二年度福岡縣氣象年報　一福岡測候所

大阪の觀測

器／月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
ジョーダン	一六〇、四	一六八、一	一五〇、四	一五一、〇	一六五、九	一六五、四	一九二、一	二七〇、五	一六二、三	一四四、七	一四四、〇	一九五、九	一六六、一
カンベル	一五一、一	一五八、五	一九九、三	一五五、三	一九二、七	一六八、三	一九五、四	二〇〇、四	一四七、三	一五〇、三	一五四、四	一四四、〇	一六六、七
比	九〇	八八	七六	八三	八五	八四	九四	九三	八一	八八	九五	九九	八八
ジョーダン	一五六、三	一六八、一	一九四、九	一八〇、九	二三七、〇	一七三、五	一六〇、一	一六六、三	二〇二、四	一六九、九	一四九、九	一四七、〇	一六六、七
カンベル	一五〇、七	一五〇、五	一六四、四	一五六、三	二二二、五	一六〇、一	一八〇、五	一五六、一	一八一、五	一七一、一	一四八、七	一四七、〇	一六六、七
比	九六	八九	八四	八六	九四	九二	九四	九六	八九	九二	九九	九六	九

大阪市の煤煙

大正二年中當市各方面にて觀測したる降煤量は本年一月號に掲載したるか今又大正二年一月より仝四月迄の降煤量分析を終へたるを以て其結果を表示すれは左の如し

但し四平方呎の煤煙計に溜りたる一ヶ月間の沈澱物を瓦にて表はす

地名	炭素量 一月	二月	三月	四月	計	灰量 一月	二月	三月	四月	計	平均
築港方面	〇、二五	〇、二六	〇、二八	〇、二七	一、二六	一六、二	一八、六	一九、一	一四、一	八八、五	四、八
四九條方面	〇、二五	一、二九	二、〇二	四、二五	八、三	六七、九	七六、九	二二、六	二四、九	五二、六	二、六
福島方面	一、四六	〇、八四	〇、八七	一、二五	四、四二	五四、七	二二、七	二二、四	四八、九	一八、一	一、二
難波方面	〇、九二	一、二四	〇、九二	一、八	三、九六	六、九五	四、一	二、七四	四、二	一、九五	一、二
天滿方面	一、八三	一、八七	一、九五	一、九五	七、二九	七、九	八、二	八、二	八、四	二、九	九、二
船場方面	〇、二五	〇、二九	〇、二五	〇、二五	一、四	一二、七	一四、二	一、六	四、一	一、二	五、二
天王寺方面	〇、二六	〇、二二	〇、二〇	〇、二九	〇、九八	一二、八	一、二四	一、〇五	一、二	八、八	四、八

●日照計に就て

技手　山田顯吉

現今各測候所に於て日照時間を觀測するに用ゆるものは「ジョーダン」形日照計と唱へ直徑六糎半、長さ十二糎の黑塗眞鍮製の圓筒て其内に時の線を引ける用紙に青寫眞液を塗りたるものを挿入し之れを正北に緯度の角度に傾けて太陽の方に其面を向けると其圓筒には小さき穴ありて日光か圓筒内の用紙に射りて印象するか故に之れに依りて日照のありたる時間を計算するのてある又中央氣象臺其他重なる測候所にては「ジョーダン」形日照の外に「カンベル」形日照計を以て日照の觀測なせるか其器は玻璃球に依り太陽の光線を集め焦點にて時の線を引きたる用紙面を燒かしめ以て日照のありたる時間を計算するのて即ち前者は光の方より後者は熱の方より日照時間を觀測するのてある而して此両器に依りて日照時間を觀測したるものを試に比較するに「ジョーダン」形日照計の觀測時數は常に「カンベル」形日照計の夫れより多く其比は「ジョーダン」形の一〇〇に對し「カンベル」形は約九〇に當れり是れは大阪のみならず東京及名古屋等にて觀測したるものも略ほ同一の結果を得たり

今大正二年中に觀測したる両者の時間を對照し「ジョーダン」形を一〇〇とし其比を擧くれは左の如し

東京の觀測

器＼月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
ジョーダン	二〇五、七	一五三、一	二一六、五	一五八、五	二三四、八	一五六、〇	一五六、〇	二二一、二	一八八、一	一三〇、一	一五三、一	二〇一、七	二九三、六
カンベル	一八八、七	一三三、七	一七二、三	一三〇、三	一八五、二	一一九、二	一三六、六	一九八、六	一一九、七	一〇一、八	一三六、二	一七九、七	一七八一、八
比	九二	八七	八〇	六六	八二	七六	八一	九四	八七	八五	八九	八九	八七

名古屋の觀測

器＼月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年

十九秒より感し始め第一初期微動の繼續時間は七分七秒、第二は六分二十六秒にして主要動となり東西動は午前四時四十分四十八秒に於て三百二十五「ミクロン」振動期十六秒八、南北動は午前四時三十二分四十四秒に於て六百二十「ミクロン」振動期二十八秒八を示し總振動時間は東西動は二時二分三十六秒、南北動は二時九分四十秒に亘りたり即ち次表に示すか如し

東西動地動計觀測

	發現時	振幅 (ミクロン)	振動期 (秒)
初期微動 P	四時一六分一九秒	—	—
初期微動 S	仝 二三分二八秒	—	—
主要動 L	仝 二九分五四秒	—	—
主要動 M_1	仝 三五分三六秒(十)	一四二	一九、二
主要動 M_2	仝 四〇分三八秒(一)	三二五	一六、八
終期 F	六時一八分五五秒	—	—

南北動地動計觀測

	發現時	振幅 (ミクロン)	振動期 (秒)
初期微動 P	四時一六分一九秒	—	—
初期微動 S	仝 二三分二八秒	—	—
主要動 L	仝 二九分五四秒	—	—
主要動 M_1	仝 三二分四四秒(十)	六二	二八、八
主要動 M_2	仝 四一分四四秒(十)	四六二	二四、〇
終期 F	六時二五分五九秒	—	—

因に大阪にて觀測したる南洋の大震にして本年の地震より強かりしもの又は殆と同し位の顯著なるものを擧くれは左の如し

明治四十年一月四日	ジャバ島附近	仝四十四年八月十七日	カロリン群島の北西方
仝四十一年十二月十二日	スマトラ島の南方	大正元年八月十八日	ミンダナオ島附近
仝四十二年六月四日	スマトラ島附近	仝 九月三十日	カロリン群島附近
仝四十三年六月十六日	ニユウギネア島附近	仝 二年三月十四日	ミンダナオ島の東方
仝四十四年七月十二日	ミンダナオ島附近		

此地震は「マニラ」にては午後十一時二十七分四十六秒より感し始め主要動に入り大震波の來りたる爲め南北動は描針逸出し最大振幅を測るを得さりしか東西動は午後十一時四十七分二十一秒に於て最大一千二百八十五「ミクロン」を示せりと云ふ又臺北にては午後十一時二十九分二十二秒より感し始め主要動に入り描針逸出せりと云ふ

今各所の觀測に依りて震央地までの距離を看るに「マニラ」よりは約二千粁、臺北よりは約三千粁にして長崎よりは三千九百四十粁、大阪よりは四千二百三十粁、樺太の大泊よりは約六千百粁なり又發震時は「マニラ」最も早く臺北之れに亞き漸次北方に行くに從ひ遲延せるか故に震源は南方にありて即ち比律賓島の南方「セレベス」島附近に當れり

更に各所の報告に依り發震時と震央地までの距離を抄記すれは左の如し

	發震時	震央地までの距離(粁)
マニラ	午後一一時二七分四六秒	二〇〇〇
臺北	仝 一一時二九分二二秒	三〇〇九
ジカウエー	仝 一一時二九分四六秒	約四〇〇〇
長崎	仝 一一時二九分四六秒	三九四〇
大阪	仝 一一時二九分五六秒	四二三〇
東京	仝 一一時二九分五九秒	四二四四
仁川	仝 一一時三〇分二五秒	四五六〇
水澤	仝 一一時三〇分三三秒	—
長春	仝 一一時三一分一四秒	四九二〇
大泊	仝 一一時三一分二九秒	六一〇〇
イルクック	仝 一一時三二分五五秒	六七九〇

又第三は六月廿六日午前四時過南洋に發したるものにして爪哇「バタビヤ」の電報に依れは「スマトラ島に激烈なる地震あり海底電線陸上電線切斷し家屋倒潰し多數の死傷者を出せり」と而して此地震は大阪にては午前四時十六分

にては十日頃より此の現象を認むるに至れり依りて考ふるに蒙古或は河南省邊に大なる旋風起り黃砂を高く吹き上げて西風に送られ日本海の方に擴り更に北東の風に送られて南下し其風息んてから樺太の方へ流れたるものならんと云へり

●南洋の大震

技手　圓岡平太郎

南洋「スマトラ」島附近より「ニユウギネア」島及「カロリン」群島邊には一の地震帶ありて時々大震を起せり現に大阪へ地動計を据付てより僅に拾余年間に此方面の大震を觀測したる數は拾數回に達し本年に入りても既に三回の大震を觀測せり第一は四月十二日午前一時卅九分四十一秒「ニユウギネア」島の東方「ギルバート」島附近に發したるものにして最も著しき震波を現はせり（本報三月號參照）又第二は五月廿六日午後十一時過「ニユウギネア」の西方「セレベス」島附近に發したるものにして大阪にては午後十一時二十九分五十六秒より此地震を感し始め第一初期微動の繼續時間は五分五十三秒、第二は三分四秒にして主要動となり東西動は午後十一時四十七分八秒に於て二千百八十七「ミクロン」振動期二十三秒○南北動は午後十一時五十分四十一秒に於て四千三百○五「ミクロン」振動期二十八秒八を示し總振動時間は東西動は三時二十九分零秒、南北動は三時三十二分三十七秒に亘れり即ち次表に示すか如し

東西動地動計觀測

	發現時	振幅	振動期
初期微動 S	二三時二九分五六秒	(ミクロン) —	秒 —
初期微動 P	仝　三五分四九秒	—	—
主要動 L	仝　三八分五三秒	—	—
主要動 M_1	仝　四七分〇八秒	(十) 二一八七	二三、〇
主要動 M_2	仝　五〇分〇九秒	(一) 一七五七	二三、五
終期 F	仝　翌日 二時五八分五六秒	—	終期

南北動地動計觀測

	發現時	振幅	振動期
初期微動 S	二三時二九分五六秒	(ミクロン) —	秒 —
初期微動 P	仝　三五分四九秒	—	—
主要動 L	仝　三八分五三秒	—	—
主要動 M_1	仝　四三分〇七秒	(十) 三九七七	二四、〇
主要動 M_2	仝　五〇分四一秒	(一) 四三〇五	二八、八
終期 F	仝　翌日 三時〇二分三三秒	—	終期

頃には太陰面平常ならす著しく銅色を帶ひ後倍々濃厚となり間もなく紫赤色に變し遂に地平線下に沒するに至れり然れとも天空には左のみ異狀を認めさりしか太陽東天に現はれたるを見るに同しく銅色を呈し漸次高度を增すに從ひ濃色となり天色亦朦朧として日光の壁等に映する所を見るに赤色を呈し午後五時過よりは特に著しく太陽全く赤色と化し夜に入りても大差なく太陰銅色を繼續し天空一帶に朦朧たり翌九日に至るも晴れす依然として朦朧たる太氣は天を包圍し爲めに太陰、太陽皎々たる光輝を放射する能はす只銅色の鈍光を呈するのみにして午後に至り稍々薄らきしも鍋色は依然たり越ゐて十日には非常に減退し四圍に煙霧を認め太陽及太陰面には多少異狀を呈し居たれとも八日、九日の如く甚しきものに非すして十一日には全く平常に復せり元來如斯現象の起る原因に就ては今日迄學者の研究したるものを綜合するに火山か爆發して其灰燼か空中に昇騰して生するか或は大なる山火事の際其灰か舞ひ上りて生するか又は蒙古乃至河南省邊に大なる旋風起り黃砂を高く吹き上て生するかに基因すへく今其二三の例を擧けんに一、天明三年「アイスランド」の火山爆發したる時全年六月半より全七月半に亘りて北半球の全部は太陽及天色に異狀を呈し本邦にても全年七月淺間山爆發し後三日間太陽色なく四方打曇りて春霞の如くなりたるとあり二、明治十六年八月二十七日クラカトワ火山爆發して灰燼を空中に昇騰したる結果本邦にては全年八月三十日より約一週間に亘りて太陽に光なく銅色を呈し日蝕とも思はしめたる程の異變ありたり三、明治四十五年六月十日頃北亞米利加アラスカのカタマイナ火山爆發して灰燼昇騰し北米、歐洲、亞細亞即ち世界の大半に亘りて同樣の現象を呈せり四、年月日不詳なれとも露國に山火事ありし際其灰か舞ひ上りし爲め瑞典、諾威に亘りて同樣の現象を呈したりと云ふ

因に今回の現象は　岡田博士の談に依れは山火事にもなく火山の爆發にもなくして蒙古又は河南省邊より來りたる黃砂ならんと其理由とする所は九州以南即ち球琉諸島より臺灣に亘りては此の現象なく且つ滿洲の長春にては五日、六日は非常に黃砂あり本邦にては九州以東は八日、九日に甚しき異狀を呈し十日には稍々薄らきしに埠太

平均年輪厚さ六粍五なるは十六ヶ年。其中生長時期の平均月雨量四吋五〇以上は十三ヶ年なりき。

平均年輪厚さ七粍二なるは七ヶ年。其中生長時期の平均月雨量四吋六〇以上は四ヶ年にして、五吋〇以上の年は三ヶ年なりき。

今右に依りて見れは、年輪の厚さは全數の七十二パーセントは平均厚さより大なるを知り。又全數の六十一パーセントは、生長時期の平均月雨量は、六七月の平均雨量よりも大なることを知る。

又年輪厚さか四粍五より少き十三ヶ年に就きて觀るに其三ヶ年は其生長時期の平均月雨量は、平年の同期の雨量と同しく。年輪厚さ四粍三より少きもの八ヶ年に就きて生長時期の雨量か平年の雨量なりしは只一ヶ年なりき。

結論

六七月の降水量の多少は樹の年輪の厚さに大影響を及ほすものゝ如し。即ち平均の厚さより零粍五以上の厚さに減少あれは、之れ夏季に異常の少き雨量なりしことを示す。

之に反して厚さ増加し居ることは此例に見るときは六十一パーセント適中し居るとは雖も必しも特別なる多量の雨量ありしものとは限らす。

併し何れの場合と雖も厚さと雨量とは正比例にて必ず變化するものなり。只勢力を妨くる幾多の未知の原因、例へは温度、虫害、周圍の林木の狀態等ありて妨けらるゝを以て、其比例を示す能はさるに由るものなり

此等の結論を尙調査し、且つ進んて研究し幾多の同樣なる實驗に依りて、其觀測所に近き位置の樹にて觀測せは其以前の時代の降水量の記錄を推定することを得む。

●五月八日より仝十日に亘る天空異常に就て

技手　芝野　弼

五月七日は終日曇天なりしか八日午前一時頃より俄に一天拭ふか如き晴天となり曉月皎々として西天に輝き仝三時

さることゝす。又年輪は時に一年に二個出來せしことなきにしも非す、然りとせは計算の根底を破壞するものなり。又時に虫害の作用に由り生長の妨害ありしことも存せむ。又其他の原因なきにしも非すと雖も此等の誤算なきと假定し觀測せしものなり。

降水量の材料を研究するに、年雨量は何等の效果を有せす、之れ凍結せる地下には到達せさる降雪等あり、而して植物の生育に關係を有せされはなり。故に植物の生長期間の降雨量のみを比較するを要す。

「ハーチヒ」氏に依れは、樅樹の生長時期は四ヶ月なりとし。「フリードリヒ」氏に依れは、四月の後半に生長を初め五月を過き六月の半頃には稍割合に減するも夫れよりして七月の中は生長最も盛にして八月半頃に止むものなりと。此事實に徵すれは、六七月の雨量と年輪の厚さとの關係よりも更に密接の關係あるか如く見ゆるものゝ如し。

今其切斷口に就きて觀るに生長の中心点は眞の其材の中心より北西にありたり。但し其中心より北方には鋸齒目を存し年輪を觀測するを得さりき。故に余の觀測したるは、東方、南東方及南方の三部の半徑につきて行ひしものなり。

余は平均を此三半徑より取り、而して之れより得たるものを眞の年輪の厚さとなせり。外部の年輪の狹きは其樹の生長の緩慢なりしを示す。

温度も試驗せしと雖も結局、生長に關して熱の影響につき特に何の結論を得さりき。

次に七十五年間の試驗の材料より左の事實を得たり。

此年代の間の年輪の平均厚さは四粍九なり。「ロチエスター」に於ける三月一日より九月一日に至る平年雨量は十四吋四六にして、六七両月の雨量は六吋二六なり。

三十一ヶ年間の平均年輪厚さは五粍八强にして、此三十一ヶ年中、生長時期につき其平均一ヶ月の雨量四吋以上なりしは二十六ヶ年なりき。但し平均月雨量は最多と雖も三吋二一なりき。

時八分三十七秒に於て五十五「ミクロン」振動期五秒一、南北動は午後六時八分四十三秒に於て四十七「ミクロン」振動期四秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十三分三十六秒、南北動は十四分四十一秒なり

附記　此地震は金華山沖に發したるものにして震域北方は北海道の函館に南方は東京、横濱附近に達し西方は信州飯田邊に達し長徑九十九里短徑六十六里を有し弱震を感したる面積は六千九百九十四方里有感微微震部は二萬〇五百十七方里に亘れり而して陸前の石巻にては性質急なる强震を感し振子時計の運轉を停止し宮古及金山にても弱震を感し家屋動搖せり

●樹の生長と降水量との關係

技手　山田顯吉

予は北米合衆國天氣局マウントウエザー觀測所紀要第四十一卷第九號に掲載せられたる「ミルロー、エヌ、ステワート」氏及ひ其共同觀測者の實驗に依る同題の記事を讀み趣味ある實驗と思考し。近時我邦耕地整理等の施行せらるゝに當り、往々大木の切斷せらるゝものあるを見、其切斷口に就きて此實驗をなさは或は過去の降水量に關して有益なる結果を得ることなきかと思考したり。依て茲に抄譯せんとす

嘗て余は「エルソース、ハンチングトン」の著「大木の秘密」を讀みぬ。同著者の研究及其趣味ある結論を讀みて余は余か近隣の槲樹の切斷口を觀測するに志しぬ。之れ能ふへくんは過去に於ける降水量は直接に年輪の厚さと關係を有するか、又年輪の厚さの觀測よりして吾人の記錄を有せさる年代の雨量の比較的數量を決定せんとする目的に出てたるなり。

此槲樹は一千九百十三年二月に切斷せり。斷口の觀測は同年七月と八月とに行ひたり。其年輪の數は總數百三十二ありき。但し外部の七十五ヶ年につき觀測を爲しぬ、之れ內部は器械を以てするに非すんは正確に斗る能はさる程壓縮せられ居たれはなり。

此七十五ヶ年に就きての結果は初め希望せし如くならすと雖も併し生長と雨量とは相關を示すを知りぬ。只遺憾に堪へさるは雨量の記錄を此地より最近なる測候所ロチエスターより得たりと雖も、同所は尙余の實驗地より北方二十五哩距り居ることなり。勿論同測候所と余か地方とは其雨量相異なるは明なれとも之れを採用する外止むを得

最大振幅は東西動は午後二時二十二分十八秒に於て八十五「ミクロン」振動期十一秒五、南北動は午後二時十八分三十六秒に於て百四十七「ミクロン」振動期十八秒七を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十九分四十一秒、南北動は一時二十九分二十六秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして震源は未だ詳ならざれども各所の觀測に依りて看るに南洋「スマトラ」島の南西方海底に發したるもの〻如し今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

マコラ	午後一時五三分〇三秒
臺北	仝　一時五三分一七秒
ジカウエー	仝　一時五四分三三秒
福岡	仝　一時五五分二七秒
長崎	仝　一時五五分二八秒
大阪	仝　一時五六分〇六秒
水澤	仝　一時五六分五二秒
國館	仝　一時五七分〇〇秒

七八　五月三十日午前二時三十六分十五秒の地震

此地震は極めて微にして振動の各部判明ならざれども最大振幅は東西動は午前二時三十六分五十三秒に於て二十四「ミクロン」振動期一秒五、南北動は仝時刻に於て十一「ミクロン」振動期一秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分十九秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は畿内附近に發したるものにして伊賀の上野及岐阜にては性質急なる微震を感し伊勢の津にては人畜に感覺なきも韓國地震計に感したり

七九　五月三十一日午後六時六分二十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後六

七四　五月二十五日午後九時五十九分二十八秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならざれとも最大振幅は午後九時三分二十八秒に於て十七「ミクロン」振動期六秒二を現し全振動時間は二十一分三十秒なり

附記　此地震は陸奥沖に發したるものにして函館にては性質緩なる微震を感し青森にては人身に感覺なきも地震計に感したり

七五　五月二十六日午後十一時二十九分五十六秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は五分五十三秒、第二は三分四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時四十七分八秒に於て二千百八十七「ミクロン」振動期二十三秒〇、南北動は午後十一時五十分四十一秒に於て四千三百〇五「ミクロン」振動期二十八秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は三時二十九分零秒、南北動は三時三十二分三十七秒なり

附記　此地震は南洋「セレベス」島附近に發したる大震なるへし（別項「南洋の大震」參照）

七六　五月二十七日午前十一時三十九分四十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前十一時四十五分四十八秒に於て四十七「ミクロン」振動期五秒八、南北動は午前十一時四十三分三十六秒に於て七十五「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十四分二十五秒、南北動は三十一分二十二秒なり

附記　此地震は本州東海岸沖に發したるものにして震域北方は函館、青森邊より南方は常陸に達し西方は秋田及駿河の沼津附近に及へり而して微動は支那上海邊に達したり

七七　五月二十九日午後一時五十六分六秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時時は八分四十八秒、第二は七分零秒にして主要動となり

前記の最大動を現し後微となり靜止せり

附記　此地震は備後國に發したるものにして震域北方は日本海岸に南方は四國の南部に達し東方は駿河の沼津邊に西方は九州北部に達し長徑六十三里短徑五十里を有し弱震を感したる面積は一千八百〇五方里有感覺微震部は九千八百九十一方里に亘れり而して伯州境にては性質急なる强震を感し岡山、多度津、高知、京都、宮津にては弱震を感し家屋動搖し微動は遠く支那上海等に達したり

七二　五月二十五日午後零時十七分六秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し振動の各部判明ならされとも最大振幅は南北動は午後零時三十九分三秒に於て七「ミクロン」振動期十三秒八を現し全振動時間は四十二分十九秒なり

附記　此地震は臺灣の南方海底に發したるものにして臺灣の南部なる恒春にては性質急なる微震を感し全島一帶に人身には感覺なきも地震計に感したり而して微動は支那上海及畿內附近に及へり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

臺東	午後零時一三分四〇秒	
臺北	仝零時一四分〇六秒	
マニラ	仝零時一五分〇三秒	
ジカウエー	仝零時一五分二八秒	
大阪	仝零時一七分〇六秒	

七三　五月二十五日午後六時三十七分四十五秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明ならされとも全振動時間は十九分五十一秒に達せり

附記　此地震は奄美大島附近の海底に發したるものにして名瀨にては性質緩なる微震を感し家屋動搖せり而して微動は支那上海及畿內附近に達したり今其發震時を列記すれは左の如し

名瀨	午後六時三七分〇四秒	
大阪	仝六時三七分四五秒	
ジカウエー	仝六時三九分一二秒	

大　　阪	仝	一時四八分四七秒
ジカウエー	仝	一時五〇分一九秒
イルクツク	仝	一時五〇分〇五秒

七〇　五月二十一日午前一時六分五十一秒の地震

此地震は極めて微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれとも最大振幅は午前一時八分二十四秒に於て二十六「ミクロン」振動期三秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分零秒なり（南北動微動計百二十倍觀測）

附記　此地震は極めて微にして震源未た詳ならず

七一　五月二十三日午後零時三十八分二十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分二十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時三十九分二十七秒に於て二百九十五「ミクロン」振動期一秒八、南北動は午後零時三十九分二十秒に於て二百八十「ミクロン」振動期二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十九分五秒、南北動は十七分二十五秒なり今普通地震計の觀測を記すれは左の如し

繼續時間	〔水平動 上下動〕	三分四十三秒 二分四十秒	
發震より最大動に至る時間	〔水平動 上下動〕	零分三十秒 零分三十二秒	
最大振幅	〔水平動 上下動〕	全振幅 一粍八二 全振幅 零粍一一	振動期 一秒八 振動期 一秒九
震動方向	南三十三度東―北三十三度西		
震度	微感覺あり		
性質	緩		
記事	此地震は水平上下兩動共に起り水平動は發震より第三十秒目に於て前記の最大動を現し後一分二十秒時間は明々著しき波動を持續せしも漸次微となり靜止せり上下動は發震より第三十二秒目に於て		

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十六秒にして主要動となり最大振幅は午前零時四十五分四十八秒に於て十六「ミクロン」振動期一秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして潮岬にては性質急なる弱震を感じ德島にては人身に感覺なきも普通地震計に感じたり

六八　五月十九日午前八時五十分九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し振動の各部判明ならされとも最大振幅は東西動は午前九時一分二秒に於て六「ミクロン」振動期四秒八、南北動は仝時刻に於て五「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十一分三秒、南北動は三十分二十九秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして震源は未た詳ならされとも各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

水澤	午前八時五〇分〇三秒
大阪	仝　八時五〇分〇九秒
マニラ	仝　八時五〇分四一秒
ジカウエー	仝　八時五一分二〇秒

六九　五月十九日午後一時四十八分四十七秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならされとも全振動時間は東西動は三十七分二十七秒、南北動は四十分十九秒なり

附記　此地震は前記地震と仝地帶に發したるものにして震源は未た詳ならされとも各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

水澤	午後一時四七分一三秒
マニラ	仝　一時四八分二五秒

六五　五月十日午前四時四十分二十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十三秒にして主要動となり最大振幅は午前四時四十三分三秒に於て十一「ミクロン」振動期四秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分三十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は九州北部に發したるものにして佐賀にては上下動を伴ひたる弱震を感し鹿原、佐世保にては性質急なる微震を感したり

六六　五月十一日午前一時十八分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分四十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時二十一分四十四秒に於て九十五「ミクロン」振動期四秒八、南北動は午前一時二十一分五十九秒に於て百四十七「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十九分十二秒南北動は二十九分四十六秒なり

附記　此地震は臍振灣南方沖に發したるものにして震域北方は樺太南部に南方は東京より沼津附近に達し長徑三十六里短徑三十一里を有し弱震を感したる面積は三千五百五十三方里にて函館にては弱震を感し青森、富山にては性質急なる微震を感したり又微動は遠く支那上海及西比利亞南部に達したり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

函館	午前一時一五分四六秒	
水澤	仝	一時一七分〇一秒
大泊	仝	一時一八分〇七秒
大阪	仝	一時一八分四四秒
福岡	仝	一時一九分二九秒
ジカウエー	仝	一時二一分〇一秒
イルクツク	仝	一時二二分〇三秒

六七　五月十四日午前零時四十四分五十一秒の地震

二秒に於て四「ミクロン」振動期一秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分二十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は熊内附近に發したる微震なるべし

六三　五月八日午後八時五十二分五十二秒の地震

此地震は最初より緩微なる波動を呈し振動の各部判明ならざれども全振動時間は東西動は三十五分五十四秒、南北動は三十六分二十六秒時間繼續せり

附記　此地震は伊太利南部の「シシリー」島に發したる大震にして家屋の破壞、水道鐵管の破裂等其他被害甚しく多數の死傷者を出せり

六四　五月九日午前九時四十四分五十四秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は六分八秒、第二は五分三十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時五十九分四十秒に於て七「ミクロン」振動期九秒六、南北動は午前九時五十八分五十六秒に於て十七「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十八分二十六秒南北動は四十六分三十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所の觀測に依りて看るに南洋「カロリン」群島に發したるものならん今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝し

マニラ	（比律賓島）	午前九時四四分〇〇秒
大阪		仝　九時四四分五四秒
水澤		仝　九時四五分〇四秒
ジカウエー	（支那上海）	仝　九時四五分〇八秒
函館		仝　九時四六分〇八秒
イルクツク	（西北利亞）	仝　九時四七分五九秒

吹けり●二十一日前日來の雨概ね午前歇み大阪に强風吹けり●二十二日概ね晴天●二十三日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●二十四日前日來の雨概ね午前歇む●二十五日概ね晴天●二十六日概ね晴天●二十七日概ね晴天大阪に强風吹けり●二十八日概ね晴天大阪に强風吹けり●二十九日未明より大雨を灌注し午後に至り稍々衰へ翌日に亘り枚方に强風吹けり●三十日前日來の雨概ね午前歇む●三十一日晴曇相半し長承寺、妙見山、清水、富田林に雨降れり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波又は主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又十は南北動にありては北、東西動にありては東、一は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十八回にして就中人身に感覺ありたるものは二十三日午後零時三十八分二十九秒備後國に發したるもの一回、人身に感覺なく普通地震計に感したるものは一回もなかりしか無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは十回即ち幾内附近二回膽振灣南方沖、陸奥沖、本州東海岸沖、金華山沖、紀伊水道、九州北部、奄美大島附近の海底、臺灣の南方海底各一回と震源未詳一回なり又遠距離地震は六回にして就中最も顯著なりしものは五月二十六日南洋「セレベス」島附近に發したるものにして其他南洋「スマトラ」「カロリン」群島及伊太利南部各一回あり而して其他の二回は震源詳ならず今其觀測概況を列記すれは左の如し

六二　五月六日午前三時六分四十六秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十三秒にして主要動となり最大振幅は午前三時七分二十

廿三日	三、〇	三、一	二、八	二、五	二、四	一、三	一、三	一、四		一、六				三、九		一、二		〇、八	二、五	二、一	二、二	二、七
廿四日								〇、〇												〇、一		
廿五日																						
廿六日																						
廿七日																						
廿八日	六、〇	六、二	七、六	八、一	八、二	八、〇	六、六	六、四	七、三	六、〇	三、〇	二、〇	六、五	六、〇	四、六	五、〇	五、一	五、〇	六、六	七、四	四、四
廿九日	九四、六	九四、五	六五、五	五三、五	四一、五	五八、〇	七三、五	七七、〇	五七、九	六九、二	四二、〇	三五、六	六一、〇	四五、五	六四、〇	七四、五	六七、〇	六九、五	五〇、三	六三、五	四六、三	五一、九
三十日		〇、二		〇、四		〇、九		〇、四		二、二				〇、四								
卅一日	〇、五	〇、四	七、〇	〇、七		〇、三															二、四	
全月	二六八、二	二九一、一	二三六、六	二五七、二	二三六、〇	二七二、五	二四四、七	二四七、二	二〇六、二	二三四、三	二二四、六	二八五、九	二五八、四	二八三、二	二三三、五	二四七、三	二〇八、三	二四〇、五	二五〇、九	二五一、五	二三一、〇	二三三、九

管内天氣摘要

●一日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る大阪に強風吹けり●二日前日來の雨斷續して午後歇み大阪に強風吹けり●三日概ね曇天大阪、天王に雨降れり●四日概ね晴天長承寺、天王、田原に霜あり●五日晴曇相半し所々に雨降れり●六日概ね晴天新庄に雨降れり●七日晴曇相半し所々に雨降れり●八日概ね晴天●九日概ね曇天●十日晴曇相半し北部の山間に雷鳴あり●十一日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る大阪に強風吹けり●十二日前日來の雨概ね午前歇む●十三日概ね晴天午後より雨降り翌日に亘る●十四日前日來の雨斷續して翌日に亘る●十五日前日來の雨斷續して翌日に亘る●十六日前日來の雨一旦歇みしか午後に至り復々降雨となり翌日に亘る●十七日前日來の雨概ね午前歇み大阪、東郷、天王に遠雷を聞く●十八日概ね晴天大阪に強風吹けり●十九日概ね晴天午後より雨降り翌日に亘る東郷に雷鳴あり●二十日前日來の雨斷續して翌日に亘りし所多く大阪に雷鳴、南部より西部に至る沿岸は強風

第五表　管內降水日量

五月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	六、七	七、二	七、二	四、七	四、四	三、八	五、三	五、五	四、九	五、四	七、三	一六、五	一〇、〇	九、五	五、五	六、三	四、〇	五、〇	四、〇	三、九	四、三	五、五
二日	一六、一	二三、二	一七、〇	一七、八	一三、一	二〇、三	一三、〇	一三、四	一三、〇	一一、六	一三、三	二一、〇	一七、五	一三、五	一一、〇	一三、八	一〇、〇	一〇、五	二〇、五	一七、二	一五、一	一九、五
三日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四日	—	—	—	—	〇、一	—	—	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、二	〇、九
五日	〇、〇	—	〇、〇	〇、〇	—	〇、三	—	〇、〇	〇、〇	—	—	—	—	—	—	—	—	二、三	二、〇	三、四	三、一	三、四
六日	—	一、九	—	〇、一	—	—	—	〇、〇	—	〇、二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	—	—	一、二	九、九	—	—	—	—	—	—	—	—
八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、五	—	—	—	—	—	—	—	—
十一日	一〇、九	八、二	六、九	八、五	七、四	一五、〇	一四、七	一七、〇	一三、六	二〇、〇	二五、〇	三二、〇	二八、〇	三四、〇	二三、五	二六、六	一七、〇	一三、〇	一二、〇	一一、一	九、三	九、三
十二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	—
十三日	一五、〇	一八、二	一〇、〇	一一、〇	一一、八	一八、〇	八、八	九、八	六、九	八、四	八、四	三五、〇	八、五	九、〇	七、二	六、五	四、三	七、一	一〇、〇	一二、三	一一、四	九、〇
十四日	四六、〇	四五、四	三八、二	六五、一	六五、一	五七、三	二八、二	二八、九	一九、九	二三、〇	一六、五	二一、八	二〇、〇	一五、〇	二一、五	一八、〇	一三、〇	二九、五	二五、五	三九、二	三九、二	三一、七
十五日	一六、三	二七、二	二〇、三	二一、四	二四、五	二一、五	一三、四	一三、七	一三、二	一七、五	一〇、四	一七、〇	一四、〇	一三、五	一四、〇	九、四	二六、〇	一六、一	一五、六	二三、五	二〇、八	一八、九
十六日	一三、九	一四、一	九、〇	一〇、三	一一、一	一三、五	一四、〇	一六、九	一三、六	七、八	一四、二	二〇、〇	一八、二	八、八	一〇、〇	七、七	一一、〇	一六、五	一三、〇	九、五	一六、〇	九、〇
十七日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	二、〇	—	—	—	〇、三	一〇、〇	—	—	—	—	—	—
十八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十九日	一、二	四、一	三、二	二、五	二、三	三、四	三、九	五、八	六、七	五、一	一三、五	二二、〇	一五、〇	三二、〇	一〇、〇	一四、八	一、〇	四、八	六、〇	一、六	二、八	二、一
二十日	三九、〇	二八、二	四一、九	五〇、五	四七、七	五二、〇	六二、〇	五二、九	五一、二	五七、〇	六九、〇	六二、〇	六三、〇	七一、二	六〇、五	六三、九	五〇、〇	六〇、三	八四、五	五七、五	五五、三	五五、六
廿一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廿二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	總量 平年ヨリ	最多日量	起日	午前十時（柏原ハ午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	電雷	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	二三、〇	一四、四	一八、七	▲一、五	二七、六	一九 二〇	三、九	四	二六八、二	▲一四三、一	九四、六	二九	一九、九	七四	七、五	北	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	二〇	〇
尾崎	二三、四	一三、九	一八、六	▲一、三	二八、五	一九	四、六	四	二九一、一	▲一七〇、二	九四、五	二九	一九、四	七五	六、六	北東	一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	一八	一
岸和田	二三、四	一三、九	一八、二	▲〇、九	二六、五	二〇	四、八	四	二六六、六	▲一三一、九	六五、五	二九	一九、六	六七	五、八	北	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	一四	一
長承寺	二三、三	一三、九	一八、一	▲〇、五	二七、六	一九	二、八	四	二五七、二	▲一四九、九	六五、一	一四	二一、〇	七〇	五、九	北東	一五	〇	〇	〇	一	〇	〇	九	一五	一
濱寺	二三、六	一三、四	一八、五		二七、九	一九 二六	四、〇	四	二三六、〇		六五、一	一四	二〇、九	六七	七、五	北	一四							六	二三	三
堺	二三、四	一三、七	一八、五	▲〇、六	二七、一	一九	五、〇	四	二七二、五	▲一七〇、三	五八、〇	二九	二〇、八	六四	六、七	北東	一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	一九	一
天王寺	二三、五	一三、九	一八、七	▲〇、九	二八、二	一九	四、八	四	二四四、七	▲一二八、九	七三、五	二九	二一、三	六五	六、三	西	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	一八	〇
大阪	二三、五	一四、四	一八、四	▲〇、九	二六、七	一九	五、五	四	二四七、一	▲一二三、三	七七、〇	二九	二〇、〇	六七	七、三	北	一三	〇	〇	〇	〇	二	一	七	二二	九
福島	二三、九	一四、一	一九、〇	▲一、三	二八、五	一九	五、〇	四	二〇六、二	▲八二、〇	五七、九	二九	二一、〇	六八	六、四	北東	一一	〇	一	〇	〇	〇	〇	九	一八	〇
新庄	二三、五	一三、七	一八、六	▲一、〇	二七、四	一九 二八	三、九	四	二三四、三	▲一二〇、二	六九、二	二九	一九、九	七六	七、二	東	一六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	二〇	一
池田	二三、二	一三、一	一八、二	▲〇、六	二七、五	一八 一九	三、一	四	二二四、六	▲一〇四、一	六九、〇	二〇	二〇、七	六八	六、三	東	一二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	一四	〇
妙見山	一八、四	一〇、一	一四、二	▲〇、四	二三、六	一八	二、九	四	二八五、九	▲一六二、三	六二、〇	二〇	一五、七	八三	五、二	南	一一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一二	一四	〇
東郷	二三、〇	一一、八	一七、二	▲一、二	二五、二	一八	三、〇	四	二五八、四	▲一一〇、六	六三、〇	二〇	一八、七	七一	五、八	北南	一二	〇	〇	〇	〇	三	〇	九	一六	〇
天王	二〇、六	一〇、一	一五、三	▲一、四	二四、九	一九	〇、一	四	二八三、二	▲一一三、七	七一、二	二〇	一七、三	七五	六、二	南西	一五	〇	〇	〇	一	二	〇	六	一二	〇
茨木	二四、一	一二、三	一八、二	▲〇、四	二八、一	一八	四、三	四	二三三、五	▲一〇四、四	六四、〇	二九	二〇、三	七四	六、四	北東	一二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇	一八	〇
清水	二三、四	一二、五	一七、九	▲〇、九	二七、八	一九	三、九	四	二四七、三	▲一二三、八	七四、五	二九	二〇、二	六七	六、七	東	一四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	一九	〇
枚方	二四、四	一三、二	一八、八	▲〇、八	二八、五	一八	四、〇	四	二〇八、三	▲七七、〇	六七、〇	二九	二一、六	七三	六、五	南西	一一	〇	〇	〇	〇	〇	一	九	一八	二
田原	二三、三	一〇、二	一六、八	▲〇、五	二八、三	一九	〇、四	四	二四〇、五	▲一〇六、七	六九、五	二九	一九、九	七一	七、三	東	一三	〇	〇	〇	一	〇	〇	四	二〇	〇
八尾	二四、四	一二、六	一八、五	▲〇、五	二八、五	一九	三、一	四	二五〇、九	▲一四六、四	八四、五	二〇	二一、一	七一	五、四	西	一三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一四	一五	〇
柏原	二四、四	一二、四	一八、四	▲〇、九	二八、〇	一九	七、二	四	二五一、五	▲一三七、八	六三、五	二九	二〇、〇	六七	六、六	西	一四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	一八	〇
富田林	二三、七	一二、五	一八、一	▲〇、五	二七、七	一九	三、五	四	二三七、〇	▲一二三、七	五五、三	二〇	二〇、六	七〇	六、七	北西	一六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	九	二〇	〇
長野	二二、七	一二、二	一七、五	▲一、三	二六、八	一九	二、七	四	二二三、九	▲一一五、九	五五、六	二〇	一九、四	七七	六、〇	北	一四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	一四	〇

極とし其他は二十八度三より二十三度六の間を示せり又最低は四日に現はれ北部天王の零度一を低極とし東部の田原零度四之れに亞き其他は二度七より五度五の間にあり之れを要する本年五月の氣温は最高二十八度五より最低零度一の間にありて其較差二十八度四に達せり

降水　總量は南部尾崎の二百九十一粍一より西部福島の二百〇六粍二の間にありて之れを平年に比すれは著しく多量にして南部、東部又西部の沿海地方は平年の二倍以上に達し其他と雖も百粍内外の多量を示せり而して日量の最多は二十日及二十九日の大雨の際にありて其最も多かりしは南部深日の九十四粍六仝尾崎の九十四粍五にして東部八尾の八十四粍五之れに亞き其他七十粍以上なりしは天王寺、大阪、天王、清水の四ヶ所六十粍以上なりしは岸和田、長承寺、新庄、池田、妙見山、東郷、茨木、枚方、田原、柏原の十ヶ所にして他は五十八粍〇より五十五粍三の間にあり

雷雨　十日、十七日、十九日、二十日の四回を觀測したれとも孰れも遠雷にして暫時にして收聲す

（表中▲は平年より高又は多なるを示す）

第四表　管内全月氣象觀測成績

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
觀測回數	一六八	二九	四六	二九	六八	一三四	一〇二	四五	三	北三九度西	一〇
平年比較	▲ 一五	三〇	二五	▲ 二	▲ 三五	▲ 三	二	▲ 二	▲ 一		

大阪府管内氣象概況

前既に詳悉せるか如く五月は氣温上昇を促し漸次夏季の狀態に遷らんとする即ち氣候變遷期なるを以て低氣壓の來去頗る頻繁となり天氣の變化亦之れに伴ひ著しく複雜となれとも四月に比すれは稍々晴燥の天氣多く從て降水量は前月より減少するを常とす今本年五月の氣候を調査するに上旬は冷氣にして四日は特に著しく一般に最低の極を現はし北部天王、東部田原、南部長承寺等には晩霜を認め之れを本府管内の最終霜とす爾後日を逐ふに從ひ温暖となり中旬の末に於て最高の極に達し而して一ヶ月を平均すれは平年より一度内外の過高を呈せり又降水量は二十日及二十九日に大雨を棄注したるを以て平年の二倍以上に達せし所多かりき要するに本年五月の氣候は上旬は晴燥霽雨にして冷氣なりしか中旬以後は降雨多く且つ高温に經過せり更に氣温、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣　温

氣温平均は西部福島の十九度〇より北部妙見山の十四度二の間にありて之れを平年に比すれは一度五乃至零度四高く月中の最高は概ね十九日に現はれ南部尾崎、西部福島、仝枚方、東部八尾の二十八度を高

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高或は多、強）

全月觀測成績

種目	平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七六〇、八五▲	〇、六四	七九、七	三	七五、一	三
氣溫 平均	一八、一七▲	〇、九〇	—	—	—	—
氣溫 最高	三三、五〇▲	〇、六四	二六、七	一九	—	—
氣溫 最低	三、八五▲	一、〇五	—	—	五、五	四
氣溫 較差	八、六五	〇、四一	三、二	四	—	—
水蒸氣張力	二、九二▲	一、一二	一八、〇	二〇	五、三	三
濕度	七〇、〇▲	二、七	—	—	三五	三
飽差	三、八二	〇、二二	二三、四	三	〇、二	二五
降水 月量	二五〇、五▲	九三、三	—	—	—	—
降水 日最多	—	—	五二、二	二〇	—	—
降水 時量最多	—	—	一七、〇	二〇	—	—
蒸發量	二九、二	三、二	六、九	二六	〇、五	二五
日照時數	一九八、一〇	三三、六〇	三〇、〇〇	二六	—	—
地皮	一九、九▲	〇、一七	五、一	二八	九、二	四
地溫 中 十糎	一九、二四▲	〇、五〇	二四、一	一九	一、五	四
地溫 中 二十糎	一八、九四▲	〇、五四	二、〇	一九	一四、三	四
地溫 中 三十糎	一八、六五▲	〇、四七	二、二	一九	一五、二	四
地溫 中 六十糎	一七、四四▲	〇、五一	一九、七	二九	一五、二	四
地溫 中 百二十糎	一五、五五▲	〇、二七	一七、五	三一	一五、八	一
地溫 中 三百糎	一四、六二▲	〇、二二	一四、八	三〇	一四、四	三
地溫 中 五百糎	一五、八四▲	〇、〇五	一六、〇	一	一五、七	八
地溫 中 七百糎	一六、六二▲	〇、一〇	一六、八	二	一六、五	二五

半旬期觀測成績

種目	自五月一日至五月五日	自五月六日至五月十日	自五月十一日至五月十五日	自五月十六日至五月二十日	自五月二十一日至五月二十五日	自五月二十六日至五月三十日
氣壓	七六四、四五	七五九、九三	七五七、〇二	七五九、五二	七六一、七九	七六二、四二
氣溫 平均 平年に比し	▲一、九七	〇、八二	〇、二九	〇、七七▲	〇、九一▲	二、九三▲
氣溫 最高	二四、七〇	一七、八九	一八、二四	一九、九七	一八、三〇	一九、五七
氣溫 最低	〇、八〇▲	一、六七▲	一、七七▲	一、九▲	〇、七七▲	〇、三九
氣溫 最高氣溫	一九、三六	三、一〇	二一、九八	二四、一三	二三、四三	二三、六四
氣溫 平年に比し	〇、五九▲	〇、九四▲	一、四五▲	一、三〇▲	一、一八	〇、一七
氣溫 最低氣溫	九、六四	三、四八	五、〇二	六、〇二	三、八二	一五、五〇
氣溫 平年に比し	一、二〇▲	二、二▲	二、四二▲	二、三八▲	〇、三七▲	〇、八〇▲
水蒸氣張力	九、〇四	一、六五▲	一、九五▲	一四、五八	一〇、五八	一三、六九
氣溫 平年に比し	〇、五四▲	一、八〇▲	二、二七▲	二、四〇▲	〇、一八▲	〇、一八▲
濕度	七一、九	七七、四	八〇、五	八四、五	六八、二	六九、一
飽差	三、五五	三、七五	二、七〇	二、九〇	〇、五	〇、四
蒸發量	〇、三▲	四、八▲	七、一▲	六、六▲	〇、五▲	〇、四▲
降水 日量最多	一、九七	〇、七七	二、〇七	二、四〇▲	〇、三七▲	〇、二七▲
降水 時量最多	一、二▲	三、〇▲	一、四▲	〇、七▲	〇、二▲	〇、二▲
降水量	七、〇	七、八	七、〇▲	五四、七▲	一、九▲	四、七▲
日照時數	三一、五五	一、六三	一、〇三	〇、五二	三、八八	〇、六四▲
風速度	三、八	二、八四	三、九〇	三、九五	三、八八	五、〇〇
平年に比し	〇、八三	一、六三	一、〇三	〇、五二	〇、六四▲	〇、二四

八日	二〇、八	八、二	七、五	六、〇	八、三
九日	八、七	八、四	七、四	六、四	二、三
十日	八、九	八、一	七、九	六、五	二、九
十一日	八、四	八、五	八、六	六、八	三、八
十二日	八、四	八、一	八、〇	六、九	一〇、七
十三日	二、六	八、〇	八、〇	六、九	八、三
十四日	八、四	八、七	八、四	七、二	一四、三
十五日	九、八	八、〇	八、五	七、三	二〇、〇
十六日	九、六	九、〇	八、八	七、四	五、八
十七日	二、六	九、〇	九、五	七、六	三、三
十八日	二、六	九、七	九、七	七、九	二、三
十九日	四、三	二、二	二、二	八、三	一四、三
二十日	二、九	二、四	二、九	八、七	三、七
廿一日	二、三	二、〇	二、二	八、八	二、七
廿二日	二、五	九、八	九、七	八、八	七、七
廿三日	二、二	九、九	九、七	八、七	九、七
廿四日	九、九	二、〇	九、八	八、七	九、二
廿五日	二、五	九、八	九、七	八、八	五、八
廿六日	二、九	二、〇	二、二	八、八	九、六
廿七日	二、六	二、二	二、九	八、九	一〇、七
廿八日	二、二	二、二	二、七	九、二	二、〇
廿九日	八、七	二、〇	二、七	九、四	一四、二
三十日	九、九	九、六	九、七	九、三	五、五
卅一日	二、六	二、八	二、二	八、六	一四、五
全月	九、九	九、二	八、八	七、四	一〇、九

朝露あり、午後十一時四十分より月暈現はれ翌曉に亘る（前一時霧あり、前後朱の月暈三十分迄薄霧あり、午前二時五十五分消め、朝薄露あり、午前五時二十五分より七時二十分迄月暈現はる、午前七時乃至午後四時烟霧あり、夜露あり）午前零時五十五分より二時十五分迄月暈現はる、朝露あり、午前五時乃至八時烟霧あり、午後零時五十七分より降雨斷續して翌日に到る、午後五時より全八時迄強風吹けり

前日來の降雨斷續して午前七時五十分歇む、夜薄露あり

朝露あり、午前一時五十五分より三時四十分迄月暈現はる、午後四時三分より六時四分迄薄霧あり、午後零時九十分より四時四十五分迄日暈現はる、午後七時四十五分より小雨斷續して十一時五十分歇む

午前零時十分より降雨斷續して翌日に到る

前日來の降雨時々大雨を交へ翌日に到る

前日來の降雨斷續して翌日に到る

前日來の降雨午前六時七分歇む、午後一時五十五分より北西に雷鳴起り北に廻り二時三十二分收聲す、夜露あり

朝露あり、午後六時強風吹けり、夜露あり

朝露あり、午前二時十分より三時四十五分迄月暈現はる、午前五時十分より六時五十分迄薄霧あり、午後二時乃至三時強風吹けり、午後八時二十四分より降雨斷續して翌日に到る、前日來の降雨斷續して時々大雨を交へ翌日に到る、午前十一時十五分より午後二時五十四分迄南西に當り雷鳴を聞く午後一時乃至五時強風吹けり

前日來の雨午前四時三十分歇む、午前十時強風吹けり

朝露あり、午前八時烟霧あり、夜露あり

朝露あり、午後十時四十三分より小雨翌日に到る

前日來の小雨斷續して午後一時十八分歇む、夜露あり

朝露あり、夜薄露あり

朝夜露あり

朝露多し、午後二時より六時迄強風吹けり、午後五時五分より五時四十五分迄日暈現はる、夜露あり

朝露多し、午前四時より七時迄烟霧あり、午後四時乃至五時強風吹けり

午前三時三十八分より降雨斷續して翌日に到る

前日來の降雨時々大雨を交へ斷續して午後十一時十五分歇む

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十九日	七六二、三	二一、五	▲一、六	二六、七	一七、一	九、六	一四、七	七八	四、四	三、八	一二、二	西南西	西	六、〇	一〇、〇	▲〇、八	〇、六	四、三
二十日	七五四、七	一九、九	▲〇、二	二三、七	一五、一	八、六	一五、八	九二	一、六	六、三	一三、四	南南西	北	一〇、〇	—	四、六	五二、一	一、九
廿一日	七五六、九	一八、五	▲〇、六	二四、四	一五、〇	九、四	一〇、〇	六六	五、九	五、二	一〇、〇	北	北	四、九	七、〇	▲二、四	七、七	二、八
廿二日	七六五、〇	一八、〇	▲〇、七	二三、五	一一、九	一一、六	九、三	六三	六、三	三、四	五、五	北	北	〇、〇	三、六	▲一、五	—	六、七
廿三日	七六三、三	一八、八	▲一、三	二三、六	一三、四	一〇、二	一二、六	七三	四、七	三、九	九、七	南西	東南東	八、三	六、九	一、四	〇、九	四、六
廿四日	七五九、一	一八、〇	▲〇、七	二二、二	一三、一	九、一	一二、八	七七	三、七	三、四	八、四	北	北	六、一	四、七	五、三	〇、七	五、四
廿五日	七六四、八	一八、二	▲〇、七	二三、四	一〇、七	一二、七	一〇、二	六六	五、七	三、四	七、〇	南西	南西	〇、四	三、八	▲〇、四	—	六、七
廿六日	七六七、八	二〇、二	▲〇、六	二四、七	一四、三	一〇、四	一三、二	七二	五、六	四、四	八、九	西南西	北	〇、八	三、〇	▲三、五	—	六、九
廿七日	七六五、三	一九、六	▲〇、四	二三、九	一四、五	九、四	一三、五	七五	四、六	五、三	一二、一	西南西	南 西南西	五、七	三、三	▲五、五	—	六、八
廿八日	七六三、四	二〇、四	▲一、一	二五、七	一五、三	一〇、四	一二、五	六七	六、五	四、七	一二、六	南西	東北東 西	八、六	二、二	▲二、四	—	五、六
廿九日	七五九、〇	一八、二	〇、四	二〇、五	一六、八	三、七	一三、四	八〇	三、一	五、六	八、一	東北東	北東	一〇、〇	—	〇、九	三〇、八	五、四
三十日	七五七、六	一九、五	▲〇、一	二三、四	一六、六	六、八	一四、七	八八	二、〇	四、九	八、九	北東	北東	一〇、〇	〇、三	三、三	五二、〇	三、三
卅一日	七六一、〇	二二、〇	〇、二	二三、九	一七、〇	六、九	一三、〇	六九	五、五	三、二	五、九	北	北	九、七	四、九	四、六	—	四、七
全月	七六〇、八	一八、二	▲〇、九	二二、五	一三、八	八、六	一二、九	七七	三、八	三、九	一四、一	北東	北	六、九	一九八、一	三三、六	一五〇、五	一二九、一

五月	地中温度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
一日	一八、六	一七、五	一七、一	一六、五	一五、四	九、八	朝薄露あり、午前十時四分より小雨斷續して仝十一時七分歇む、午後六時乃至七時強風吹けり、午後十時四十分より降雨翌日に到る
二日	一五、八	一六、八	一七、一	一六、八	一五、六	一〇、六	前日來の降雨斷續して翌日に到る、午後二時乃至三時強風吹けり
三日	一四、九	一五、四	一五、九	一六、一	一五、六	四、三	前日來の降雨斷續して午前二時三十五分歇む、午後零時五十五分より二時四十五分迄日暈現る、夜露あり
四日	一六、三	一四、九	一五、三	一五、四	一五、四	一、三	朝露あり、午前六時四十分より七時五十分迄薄霧あり、午後零時五分より仝一時二十五分迄日暈午後七時四十分より月暈現はれ翌曉に到る、夜薄露あり
五日	一七、四	一六、二	一六、〇	一五、八	一五、三	七、四	前夜來の月暈午前一時十五分消ゆ、朝露あり、午前九時五十五分より十時三十八分迄微雨、午後八時十五分より月暈現はれ翌曉に亘る
六日	一八、六	一七、二	一六、八	一六、三	一五、四	七、九	前夜來の月暈午前一時五分消ゆ、朝露多し、午前十時五分より午後三時四十九分迄日暈現はる、夜露あり
七日	二〇、〇	一八、三	一七、六	一六、九	一五、七	一三、〇	朝露あり、午前三時三十分より小雨斷續して仝八時十分歇む、午後一時四十四分より二時二十分迄日暈現はる

夜中平均	七六一、〇九	一六、三八	一三、二一	八六、四	一、八八	二、五八	七、一	—	一八、四	一七、二〇	一九、一八	一九、三五	一八、九一	一七、五一
	七六〇、八五	一八、一一	一二、九二	七七、〇	三、八二	三、八八	六、九	一九八、一〇	二五〇、五	一九、九三	一九、一四	一八、九四	一八、六五	一七、四四

第二表　大阪每日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

五月	氣壓平均	空氣ノ溫度 平均 本年	空氣ノ溫度 平均 平年比較	空氣ノ溫度 最高	空氣ノ溫度 最低	空氣ノ溫度 較差	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風 速度平均	風 最大速度	風 全上方向	風 最多方向	雲量平均	日照時數 本年	日照時數 平年比較	降水量	蒸發量
一日	七六四、七	一七、三▲	一、〇	二一、四	一三、五	八、九	一〇、一	六九	四、七	四、一	一〇、七	南	南西 西南西	八、三	六、三▲	一、三	〇、六	三、二
二日	七六〇、九	一四、七	〇、五	一七、四	一三、五	四、九	一一、四	九一	一、一	四、四	一一、三	北	北北西	一〇、〇	—	六、二	一八、五	一、一
三日	七六五、六	一三、二	二、〇	一七、七	七、四	一〇、三	七、一	六四	四、四	四、五	九、四	北北西	北北西	六、九	五、三	三、二	〇、二	四、五
四日	七六七、五	一二、七	二、一	一八、七	五、五	一三、二	七、二	六八	四、一	三、四	六、九	南西	南西	二、八	一二、三▲	四、八	—	四、九
五日	七六三、五	一五、五	〇、四	二二、六	一〇、三	一一、三	九、五	七二	三、九	二、六	五、九	南東	南東	六、九	七、七▲	〇、五	〇、〇	四、六
六日	七六二、四	一六、五▲	〇、九	二二、〇	一一、二	九、八	一一、五	八三	二、七	二、五	七、〇	西南西	西	八、一	七、八▲	二、〇	—	三、三
七日	七五八、九	一八、一▲	一、二	二二、七	一五、四	六、三	一一、七	七七	三、八	三、四	七、五	西南西	南西	九、七	五、四	三、一	〇、〇	四、九
八日	七五九、〇	一八、〇▲	一、六	二二、四	一一、九	一〇、五	一一、一	七四	四、四	二、八	五、六	南	北	二、六	一一、一▲	一、二	—	四、九
九日	七五九、六	一七、九▲	二、一	二二、九	一三、九	八、〇	一一、四	七五	四、〇	一、八	四、一	南南西	南南西	一〇、〇	四、〇	四、八	—	二、四
十日	七五九、七	一八、九▲	二、六	二四、〇	一五、〇	九、〇	一二、六	七八	三、八	三、七	七、三	西南西	西南西 北北東	八、五	六、七	三、八	—	四、九
十一日	七五六、七	一八、六▲	一、七	二四、六	一五、〇	九、六	一二、一	七八	三、九	六、九	一四、一	北東	北東	一〇、〇	二、八	五、七	一二、五	二、九
十二日	七五五、九	一七、七	〇、〇	二二、二	一四、七	六、五	一一、九	七九	三、一	三、六	八、〇	北北西	南	六、五	三、〇	二、〇	五、三	三、五
十三日	七五九、六	一八、三▲	一、六	二三、一	一二、五	一〇、六	一一、七	七六	四、二	三、〇	五、一	南西	西南西	七、四	一〇、四▲	五、一	〇、〇	四、〇
十四日	七五七、七	一七、七▲	二、四	一九、四	一五、七	三、七	一三、九	九二	一、二	三、二	八、九	南西	北東	一〇、〇	—	三、六	一四、六	〇、九
十五日	七五五、二	一八、八▲	三、三	二二、六	一七、二	四、四	一五、一	九三	一、一	二、八	四、七	北北東	南南西	一〇、〇	—	五、八	二七、七	〇、六
十六日	七五六、六	一八、六▲	二、八	二二、二	一七、二	四、〇	一三、九	八七	二、〇	二、九	四、七	北北東	北	一〇、〇	—	六、七	一五、八	二、五
十七日	七六〇、〇	一九、六▲	二、六	二三、六	一六、七	六、九	一四、五	八六	二、五	二、五	七、一	西南西	南西	四、六	七、九	一、〇	一〇、五	四、九
十八日	七六四、〇	一〇、二▲	一、七	二五、四	一四、〇	一一、四	一四、〇	八〇	三、八	四、三	一〇、一	西南西	南西	一、〇	一一、七▲	一、七	—	六、二

五月	午前 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
平均氣壓	七〇一、九九	七〇一、八二	七〇一、七五	七〇一、八四	七〇一、〇	七〇一、二七	七〇一、五〇	七〇一、五三	七〇一、四八	七〇一、四六	七〇一、二五	七〇〇、九八	七〇〇、九五	七〇〇、六六	七〇〇、七七	七〇〇、七〇	七〇〇、九五	七〇一、〇九	七〇一、四〇	七〇一、七〇	七〇一、〇一	七〇一、二五	七〇一、二二
平均氣溫	一五、六六	一五、五六	一五、一六	一四、八八	一四、六六	一四、九四	一六、二九	一七、八六	一九、〇五	一九、〇四	一〇、八〇	二〇、二六	二一、二七	二二、二〇	二二、一二	二二、〇八	二〇、八八	二〇、〇八	一八、一四	一八、二四	一七、七〇	一七、三五	一六、九九
平均水蒸氣張力	一一、九〇	一一、七三	一一、四一	一一、〇〇	一一、二八	一一、三二	一一、四七	一一、六二	一一、七七	一一、七三	一一、七三	一一、一八	一一、〇八	一一、〇三	一一、〇一	一一、一五	一一、二三	一一、〇〇	一一、一二	一一、〇五	一一、〇七	一一、〇〇	一一、一六
平均濕度	八六、九	八七、七	八七、〇	八九、四	八九、八	八八、五	八一、六	七六、一	七一、四	六七、一	六四、五	六四、四	六七、一	六六、三	六六、〇	七〇、二	七〇、〇	七〇、九	七七、六	七七、〇	八〇、四	八〇、〇	八四、五
平均飽差	一、七四	一、五六	一、五五	一、三三	一、二七	一、四七	二、〇〇	二、六八	三、四四	四、〇四	五、八七	六、七三	六、六八	六、〇〇	六、三一	五、九九	五、七七	四、八一	三、九七	三、〇〇	二、九九	二、六二	二、九九
平均風速度	二、七六	二、五五	二、五五	二、六八	二、六二	二、五四	三、〇〇	三、六六	三、四四	三、八七	四、〇四	四、〇四	四、〇三	五、六〇	四、九七	五、九〇	五、八五	五、四九	五、〇四	四、四〇	三、七〇	三、九五	三、七六
平均雲量	六、六	六、〇	六、二	七、三	七、五	七、二	六、八	七、〇	七、五	七、〇	七、五	六、七	七、〇	七、二	七、〇	六、八	六、七	六、六	六、八	六、〇	六、九	六、八	六、八
日照時數	—	—	—	—	—	一、二〇	一、〇〇	一、五五	五、九〇	六、二〇	五、九〇	七、〇〇	七、四五	八、〇〇	九、六五	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇	一〇、〇〇
降水量	三、〇	一四、四	一七、一	三三、〇	二五、五	一一、七	二二、三	八、四	三、〇	一、四	二、八	二、三	二、〇	一、三	六、〇	二、五	一、九	六、六	一七、七	五、六	七、〇	二、六	二、六
地中溫度（平均）地皮	一六、九〇	一六、五五	一六、三二	一六、一三	一五、九一	一六、〇六	一七、〇八	一八、六五	一四、五六	一二、六二	一四、五六	一五、〇〇	一五、五七	一四、六六	一三、二四	一二、八一	一二、〇四	一一、六六	一一、二四	一一、〇〇	一〇、七五	一〇、九五	一〇、五
十種	一八、八五	一八、八四	一八、八〇	一八、一三	一八、〇三	一七、九一	一七、四四	一七、〇七	一八、〇〇	一八、一三	一八、一八	一八、九八	一九、一五	一九、八一	一九、四五	一九、〇二	一九、〇二	一九、〇六	一九、一五	一九、二〇	一九、二五	一九、一五	一九、四三
二十種	一九、一八	一九、〇九	一九、〇〇	一八、九〇	一八、八一	一八、七三	一八、六六	一八、五五	一八、四六	一八、四〇	一八、四四	一八、四八	一八、五五	一八、六四	一八、七五	一八、八六	一八、九六	一九、〇六	一九、一六	一九、二六	一九、二六	一九、二六	一九、二七
三十種	一八、七九	一八、七七	一八、七四	一八、七二	一八、六九	一八、六六	一八、六二	一八、五七	一八、五四	一八、五二	一八、五二	一八、五四	一八、五七	一八、五九	一八、六二	一八、六四	一八、六六	一八、六八	一八、七五	一八、八〇	一八、八一	一八、八五	一八、八八
六十種	一七、三九	一七、四一	一七、四一	一七、四三	一七、四三	一七、四一	一七、四一	一七、四一	一七、四二	一七、四二	一七、四三	一七、四三	一七、四三	一七、四三	一七、四三	一七、四三	一七、四三	一七、四八	一七、四七	一七、四五	一七、〇〇	一七、三一	一七、三二

地中三十糎の溫度　平均は十八度六五にして平年に比すれは零度四七高く月中の最高は二十九日午前一時の二十一度二、最低は四日正午乃至午後四時の十五度一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて十八度九一、最低は午後二時にありて十八度四七を示し其較差は零度四四なり

地中六十糎の溫度　平均は十七度四四にして平年に比すれは零度五二高く月中の最高は二十九日午後十時及夜半の十九度七、最低は四日午後十一時乃至夜半及五日午前一時の十五度二なり但し此深さにありては一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては正午乃至午後一時、地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後九時乃至十時、同三十糎にありては夜半に生じ最低は地皮にありては午前五時、地中十糎にありては午前八時、同二十糎にありては午前十時、同三十糎にありては午後二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は九度九〇にして平年に比すれは一度〇六高く月中の最低は四日午前六時の一度三なり

天氣日數

快晴は四日にして平年より一日少く曇天は十六日にして平年より五日多し

尙詳細は左に揭くる氣象觀測成績表を參照すへし

第一表　大阪毎時氣象觀測成績

東及東の風は少し

雲量及日照時數　雲量の平均は六、九にして平年に比すれは一、〇多く日照時數は百九十八時一〇にして平年に比すれは三十三時六〇少く一日中日照時間の最も長かりしは二十六日の十三時〇〇なり

降水及蒸發量　降水日數は十六日にして平年に比すれは四日多く其水量は二百五十粍五にして平年に比すれは九十三粍三多く又一日中の最多は二十日の五十二粍一、一時間の最多は同日午後四時乃至五時の十七粍〇なり又蒸發總量は百二十九粍一にして平年に比すれは二十二粍一少く最多は二十六日の六粍九なり

地中溫度及最低地溫　地皮溫度の平均は十九度九三にして平年に比すれは零度一七高く月中の最高は二十八日正午の三十五度一、最低は四日午前五時乃至六時の九度一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は正午及午後一時にありて二十五度九五、最低は午前五時にありて十五度九一を示し其較差は十度〇四なり

地中十糎の溫度　平均は十九度一四にして平年に比すれは零度五〇高く月中の最高は十九日午後四時乃至五時の二十四度二、最低は四日午前七時及八時の十二度五なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて二十度六五、最低は午前八時にありて十七度七一を示し其較差は二度九四なり

地中二十糎の溫度　平均は十八度九四にして平年に比すれは零度五四高く月中の最高は十九日午後九時乃至十時の二十二度〇、最低は四日午前十時乃至正午の十四度三なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時乃至十時にありて十九度四六、最低は午前十時にありて十八度四三を示し其較差は一度〇三なり

の變化を看るに最高は午後二時にありて二十一度三〇、最低は午前五時にありて十四度六三を示し其較差は六度六七なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は十一粍九二にして平年に比すれは一粍一一高く月中の最高は二十日午後一時及三時の十八粍二最低は三日午後四時の五粍三なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十二粍四六最低は午前五時にありて十一粍二八を示し其較差は一粍一八なり

濕度の平均は七十七、〇にして平年に比すれは二、七多く月中の最少は二十二日午前十一時の三十五なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて八十九、八最少は正午にありて六十四、四を示し其較差は二十五、四なり

飽差の平均は毎立方米中三瓦八二にして平年に比すれは零瓦二一少く月中の最多は二十一日午後三時の十三瓦四、最少は十五日午前五時及三十日午前四時の零瓦二なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は正午にありて六瓦七二、最少は午前五時にありて一瓦二七を示し其較差は五瓦四五なり

風

平均速度は毎秒三米八八にして平年に比し零米七六弱く月中の最大速度は十一日午後五時乃至六時の毎秒速度十四米一（一間平方面を垂直に壓する力は二十一貫目余）の北東風なり又强風以上の吹きたる日數は九日にして平年に比すれは二日其吹續時數は二十三時にして平年に比すれは十四時孰れも少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時にありて六米三二最小は午前六時にありて二米五四を示し其較差は三米七八なり風向は北風最も多く南西風これに亞き南東風最も少し之れを平年に比すれは南及南西の風は多くして北

大阪測候所月報

大正三年五月 大阪氣象概況

五月は前月來氣温上昇し稍々夏季の狀態に移り主として南西の風吹き降雨は前月より稍々減少すれとも此月は氣候變遷期にして高低氣壓の去來繁く爲めに天氣の變化甚だ多く同一の天氣を持續すること極めて少く且つ暖冷の氣交々來りて不揃の氣候を呈せり然り而して本年五月の氣候を調査するに概して平年より温暖にして日照時數は平年より少く降水日數は平年より少きも其水量は多し而して風は概して弱し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

氣壓

平均は七百六十粍八五にして平年に比すれは零粍六四高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は約四回にして他の二回は稍々微なり而して月中の最高は三日夜半の七百六十九粍七、最低は十二日午前二時の七百五十一粍一なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前八時にありて七百六十一粍五二、第一の最低は午後五時にありて七百五十九粍九三を示し第二の最高は午後十一時にありて七百六十一粍二一、第二の最低は午前三時にありて七百六十粍七五を示し其較差は一粍五九なり

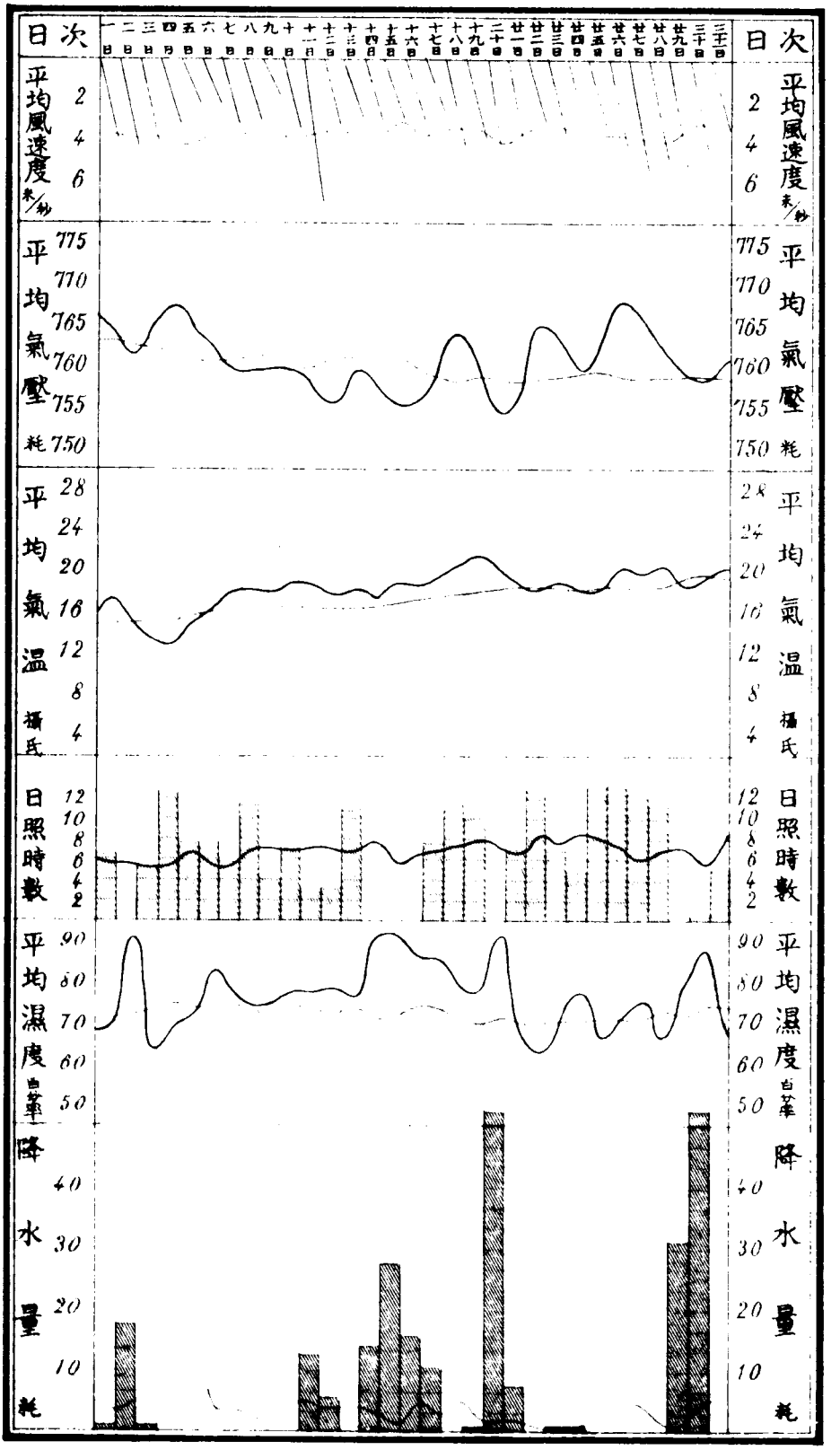
氣溫

平均は十八度一七にして平年に比すれは零度九〇高く日々の變化は氣象圖に示すか如く上旬の初めは平年に比し稍々冷氣なりしも爾後温暖となり中旬は特に甚しく下旬に入り平年と大差なきに至れり而して最高の極は十九日午前十一時頃の二十六度七、最低の極は四日午前六時の五度五なり又月平均に就きて一日中

大正三年五月

大阪氣象圖

May 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年——平年——日照時數ハ本年▮▮平年——降水量ハ本年▮▮平年——

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを揭載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（一）を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零匁二七）にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの

一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動すもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動すもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國	郡	市	町	村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國	泉南郡		深日	村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝德
尾崎	仝	國泉南郡	尾崎	村		一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	仝	國泉南郡	岸和田	町		一三五度二三分	三四度二七分	森內清夫
長承寺	仝	國泉北郡	鳳	村		一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝	國泉北郡	高石	村		一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝	國堺	市車	ノ町		一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	摂津國	大阪	市南區天王寺			一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝	國大阪	市西區一條通			一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝	國大阪	市北區上福島			一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝	國西成	郡新庄	村		一三五度三一分	三四度四五分	植田鑑照
池田	仝	國豐能	郡池田	町		一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝	國豐能	郡東	郷村		一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東郷	仝	國豐	能郡	東郷	村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	仝	國豐	能郡	根	村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝	國三	島郡	茨木	町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝	國三	島郡	清水	村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國	北河內	郡枚	方	町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝	國北河內	郡田	原	村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾竜蔵
八尾	仝	國中河內	郡八	尾	町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝	國南河內	郡柏	原	村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	仝	國南河內	郡富	田林	町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝	國南河內	郡長	野	町	一三五度三五分	三四度二七分	松本遠水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

MAY 1914

大阪測候所月報

第拾五年第五號

大正參年五月

LIBRARY
AUG - 6 1914
Weather Bur

目次

○本年五月大阪氣象概況 附圖
○本年五月大阪府管內氣象概況
○本年五月大阪地震觀測概況
○樹の成長と降水量との關係
○五月八日より十日に亘る天空異常に就て
○南洋の大震
○日照計に就て
○淀川の水位
○大阪市の煤煙
○地方天氣豫報暴風警報適否
○新刊寄贈書目

大正三年六月十七日印刷
仝　年六月十八日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）

大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合資會社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

一滬華津　第十四十五號　二　大倉商業學校
一養鷄指針　第百二十五號　一　重枝養禽園
一沖商會月報　第百二十四號　一　沖商會大阪出張所
一商船學校々友會雜誌　第百八十三號　一　商船學校々友會
一通俗衛生　第百八十九號　一　大阪私立衛生會
一府立大阪工場試驗場報告　第七回　一　府立大阪工業試驗場
一遞信公報　大正三年四月　一　遞信省

一氣象月報　同上　一濱田測候所
一氣象報　同上　一愛知縣測候所
一氣象要覽　同上　一中央氣象臺
一中央氣象臺月報　大正二年七、八月　二同臺
一筑波山氣象年報（歐文）　明治四十四年明治四十五年　二同臺
一中央氣象臺年報　大正元年　一同臺
一奉天氣象表　大正三年三月　一奉天觀測支所
一別子山氣象表　同上　一住友別子鑛業所
一新居濱氣象表　同上　一同所
一四阪島氣象表　同上　一同所
一富山縣氣象報　同上　一伏木測候所
一愛媛縣氣象月報　同上　一松山測候所
一福島縣氣象月報　同上　一福島測候所
一廣島縣氣象月報　大正二年自五月至十月　六廣島測候所
一岐阜縣氣象月報　大正三年二月　一岐阜測候所
一再版美濃氣候論　一同所
一境測候所氣象月報　三十二年第二號　一境測候所
一氣象年報　明治四十五年大正元年　一朝鮮總督府觀測所
一朝鮮氣象月報　大正三年二月　一同所
一滿州氣象概況　大正二年大正三年二月　二關東都督府觀測所
一大連氣象表　同年三月　一同所
一旅順氣象表　同上　一同所
一氣象月報　大正二年自十月至十二月　三德島測候所
一氣象月報　同年十一、十二月　二高知測候所
一對馬氣象月報　大正三年一月　一嚴原測候所

一山梨縣氣象月報　同上　一甲府測候所
一靜岡縣氣象略報　同年一、二月　二沼津測候所
一鹿兒島縣氣象月報　同上　二鹿兒島測候所
一三重縣氣象月報　大正二年十一、十二月　二津測候所
一宮城縣氣象報告　第十四卷　一石卷測候所
一新潟縣氣象報　第十年第二號　一新潟測候所
一氣象要報　大正二年十二月　一神戶測候所
一埼玉縣氣象年報　大正二年號　一熊谷測候所
一埼玉縣氣象月報　大正二年十二月大正三年一月　二同所
一多度津氣象年報　大正二年　一多度津測候所
一震災豫防調査會報告　第七十八號　一震災豫防調査會
一大正二年度德島縣氣象年報　一德島測候所
一德島縣年氣象一覽　一同所
一京都府管內降水一覽　一京都府測候所
一京都府氣象月報　大正二年六月　一同所
一大正三年三月臺灣氣象概況　一臺北測候所
一天氣圖　大正三年四月　一中央氣象臺
一天氣圖　千九百十三年四月　一ウカウエー觀測所
一天氣圖　同年三月　一北米加奈太氣象局
一天氣圖　同年二月　一アルゼンチン觀測所
一地震報告　同年一、二月　二サンフエルナンド觀測所
一氣象年報　千九百十二年　一バタビヤ觀測所
一地震報告　千九百十三年二月　一ボリビヤ觀測所
一學燈　第十六年三、四號　二丸善株式會社大阪支店
一貿易通報　三月號　一大阪商業會議所

四月十六日	午後七時	七五二、二	二、六	北西	六、一	—	曇
仝	仝 八時	七五二、九	一、七	北	四、八	〇、〇	雨
仝	仝 九時	七五四、三	九、七	北	八、五	〇、二	曇

四月十六日	午後十時	七五四、八	八、九	北北西	八、八	—	晴
仝	仝十一時	七五五、六	八、六	北北西	六、四	—	快晴
仝	夜半	七六六、四	八、八	北北西	七、四	—	曇

●淀川の水位

三島郡島本村大字廣瀬ノ累年平均水位 三尺六寸三分
北河内郡庭窪村大字大日ノ累年平均水位 三尺二寸

四月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	三、四五	三、一五	三、六〇	三、三〇
二日	三、一五	三、〇〇	三、二七	三、二〇
三日	三、一五	二、九〇	三、二〇	三、〇六
四日	二、九〇	二、七五	三、一〇	二、九〇
五日	二、八五	二、六五	二、九八	二、九五
六日	二、八〇	二、六五	二、九三	二、七七
七日	二、六五	二、六五	二、八五	二、七五
八日	二、九五	二、八五	三、〇六	三、〇〇
九日	二、九〇	二、八〇	三、〇五	三、〇四
十日	二、九〇	二、八〇	三、一〇	三、〇〇

平均水位 廣瀬 二尺八寸三分
最高水位 廣瀬 三尺四寸五分（一日午前六時）
大日 一尺九寸七分
大日 三尺九寸五分（二十日午後六時）

四月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	二、九〇	二、七五	二、九三	二、八二
十二日	二、八〇	二、六〇	二、九五	二、七五
十三日	二、七〇	二、五五	二、八七	二、七〇
十四日	二、九五	三、〇五	三、〇〇	三、〇二
十五日	三、二五	二、九〇	三、二五	三、〇二
十六日	二、九五	二、九五	三、一〇	三、〇五
十七日	三、二五	三、一五	三、一五	三、二九
十八日	三、二五	二、九五	三、二〇	三、一二
十九日	三、〇〇	二、八五	三、一五	三、〇六
二十日	二、八〇	二、七五	二、九六	二、九五

四月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	二、九五	二、八五	三、〇六	二、九七
二十二日	二、九〇	二、七〇	二、九五	二、八七
二十三日	二、六五	二、六〇	二、八〇	二、七〇
二十四日	二、六〇	二、五五	二、七五	二、五六
二十五日	二、六〇	二、五五	二、七五	二、五五
二十六日	二、九〇	二、八〇	二、九二	二、九〇
二十七日	二、九〇	二、六〇	二、九五	二、七五
二十八日	二、八五	二、六五	二、八五	二、七二
二十九日	二、八五	二、五〇	二、八八	二、六五
三十日	二、五五	二、二五	二、七〇	二、四〇

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	三〇	二六	四	〇	九三
	天氣	三〇	二六	四	〇	九三
	溫度	〇	—	—	—	—
暴風警報		二	二	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一滋賀縣氣象月報	大正三年二月	一 彥根測候所
一千葉縣氣象報	同上	一 銚子測候所
一山形縣氣象月報	同上	一 山形測候所
一秋田縣氣象月報	同上	一 秋田測候所
一氣象報告	同上	一 福岡測候所

秒十九米五の最大に達し爾後減力し仝五時に至れり●天氣十五日朝來好晴なりしか十六日午前八時頃より曇天となり南西方に雷雲現はれ亞て仝九時五分仝方向に當り遠雷を聞き仝九時二十七分より降雨となり仝八時三十分雷は西方に移り仝九時三十六分北西に移動するや漸次强雷となり且つ烈風大雨之れに加はり仝十時二十分より仝十時四十分の間は最も强烈にして風雨共に甚たしく一時悽愴の念を懷かしめしか漸次雷の北方に經過するに從ひ稍々衰へ仝十時五十分收聲し仝時に風雨も亦た收まり後一旦晴天となりしか午後二時再ひ西の烈風吹き起り曇天となり時々小雨を催ふせしか概して降雨は少く總量は九粍三に過きさりしも雷雨の最も强かりし午前十時より十一時に至る一時間には五粍九に達せり此雷雨は別項に記するか如く本府管內一般に强く十六日午前十時五十二分頃河內北方に落雷あり又沿海地方にては小船舶の沈沒又は難波したるものありたり

更に當所に於ける每時觀測の結果を記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
四月十六日	午前一時	七六八、五	七、五	北	二、六	—	快晴
仝	仝 二時	七五七、七	七、一	東北東	三、	—	快晴
仝	仝 三時	七五六、八	六、九	北東	三、三	—	快晴
仝	仝 四時	七五六、〇	六、六	北東	二、八	—	快晴
仝	仝 五時	七五五、八	六、六	北東	四、二	—	快晴
仝	仝 六時	七五四、八	七、二	東北東	五、五	—	快晴
仝	仝 七時	七五三、九	九、二	北東	三、九	—	晴
仝	仝 八時	七五二、五	一一、七	北東	四、七	—	曇
仝	仝 九時	七五〇、四	一三、二	北東	四、七	—	曇
仝	仝九時三十分	七四九、五	一三、二	北西	七、	〃	雷雨

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
四月十六日	午前十時	七四九、三	一一、七	北西	三、九	二、六	雷雨
仝	仝十時三十分	七五〇、五	一一、九	西北西	一五、[illegible]	〃	雷雨
仝	仝十一時	七五一、三	一〇、三	西	一三、九	五、九	曇
仝	正午	七五〇、三	一三、五	南南東	四、[illegible]	—	晴
仝	午後一時	七四九、九	一三、一	西	七、三	—	曇
仝	仝 二時	七四九、四	一三、九	西	一七、	—	晴
仝	仝 三時	七四九、四	一三、三	西南西	一八、三	—	曇
仝	仝 四時	七四九、七	一三、五	西	一九、五	〃六	曇
仝	仝 五時	七五〇、九	一三、八	西北西	一四、三	—	曇
仝	仝 六時	七五一、六	一三、三	西北西	六、	—	曇

し夕廣島灣の第一艦隊は演習を中止して非常の用意をなし難破船數隻を救助したり

出雲 松江

十五日夜雷鳴甚しく數十回に及ひ十六日午前七時市内田町に落雷し柱を碎き土塀を落したるも人畜に死傷なし

因幡 鳥取

十六日午前十時二十分稍々強き雷鳴疾雨ありたり

讃岐觀音寺

十六日午前六時半俄然暴風起り雷鳴あり風倍々強く難波船四五隻行方不明者數名を出せり

讃岐善通寺

十六日午前八時過約五分間雷雨と共に雹降りたり

讃岐 丸亀

十六日朝烈風俄に吹き起り同時に雷鳴を聞き約五分時にして豆大の降雹あり障子紙を打抜かれたる家多く又海上には一二の小難波船ありたり

備前 岡山

十六日午前八時頃雷雨あり三十分許にして晴れたるが英田郡豊田村の農家に落雷し爲めに養蠶室及納屋を全焼したるが午前十一時頃最も強く風速度は十五米なりき

阿波 松坂

十六日午前十時頃より天候變り雨となり時ならぬ強き雷鳴あり

紀伊和歌山

十六日午前九時より一時間風雨雷鳴あり東牟婁郡新宮町最も激しく縣社速玉神社境内の杉其他に落雷あり和歌山新宮間の電話線障害を受けしが午後三時半開通せり

尾張名古屋

十六日午前十一時頃より大雷雨あり市内新出來町、大津町其他一二箇所に落雷せり鳴響甚めて激烈なりし爲め縣廳を始め高層なる建物は硝子障子を破りたるもの少からず頗る大雷雨なりき

今大阪の氣象觀測を記するに●氣壓は十五日午後より徐々下降せしが十六日午前一時より急降し一時間に約一粍の下降をなし全十時七百四十九粍三の最低に達し後ち稍々上昇を始め午後五時頃より漸次上昇せり●風は十五日夜來北東の軟乃至和風なりしが十六日午前十時頃氣壓の最低に達すると殆んと同時風向北東より北西を經て西に逆轉し俄然烈風吹き起り全十時三十分には毎秒十五米一を吹送せしが後減力し正午風向南南東に移るや一時風力衰へ毎秒四米内外に過きさりしが後再ひ風向西に轉し漸次增力し午後二時より俄然烈風となり倍々增勢し全四時最も強く毎

四月	三日	午後十時	六六、五	四、五	北	五、四			曇	四月	三日	夜半	六五、二	四、二	北	六、〇	
仝		仝十一時	六五、〇	四、三	北	四、二			曇								

●四月十六日の暴風雷雨概況

四月十五日午後支那東海に顯はれたる低氣壓は北東に進み十六日朝日本海南部に來りて著るしく發達し其中心示度は七百五十粍を示し九州北部より內海西部は風雨雷鳴起り近畿地方より關東地方は今尙晴天なりしか爾後低氣壓は本州日本海岸に沿ふて進み敦賀灣附近より本州中部を橫斷し倍々發達し仝夜銚子附近に到りて七百四十六粍を示し風雨の範圍著るしく擴り臺灣より本州北部に至る一帶は風雨となり十七日朝房總沖に去り九州地方より本州中部に至るまては天候恢復し晴天となりしも其他は概ね曇天にして東北地方は尙風雨なりき此低氣壓に伴ひ關西地方は所々に雷雨降雹あり其通信を記すれは左の如し

筑前福岡　十六日午前二時突如として暴風起り次て雨を加へ拇指大の雹を降らし猛烈なる雷鳴あり爲めに電信電話線にも多少の被害あり又各所に落雷あり菜花、桑其他の作物に被害尠からす

豐前門司　十六日午前二時頃より天候險惡となり南風強く雷鳴雨を加へ五時二十分より南西の暴風急激に發來し港內の波濤高く碇泊の胴間船及浮船等は避難の隙なく約六七十隻沈沒し損害約二十一萬圓餘に上れりと云ふ斯る多數の沈沒船を出したるは門司港開始以來始めての事なりと

長門下關　十六日午前二時頃より北西の烈風海岸に波濤打寄せ鐵道棧橋に繫船すること危險なるに依り朝來關門聯絡船は發着を中止して風波の收まるを待ち聯絡船客も其開通を待ちつゝあり之れか爲め十六日朝着したる特別急行列車の郵便物及九州より九時五十分發急行列車に積み込むへき郵便物並に小荷物は停滯せり關釜聯絡線の釜山行書便も停止し小雨ありしか正午頃には風波稍々收まり午後一時聯絡航海を開始せり

周防山口　十六日午前六時激しき雷鳴と共に大豆大の雹降ること三回に及ひ引き續き風雨激しく天候不穩なり

安藝呉　十六日午前五時雹降りて強風となり波濤しく荒れ狂ひ軍艦港灣、欠損其他各種の汽船、通船、在泊和船等十餘隻沈沒し且他被害多

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
四月二日	午前一時	七六〇、八	一四、一	北東	三、四	—	曇
仝	仝二時	七六〇、八	一三、二	北	三、九	—	曇
仝	仝三時	七六〇、五	一三、〇	北東	四、七	—	曇
仝	仝四時	七六〇、五	一三、七	北東	五、五	—	曇
仝	仝五時	七六〇、二	一三、一	北北東	六、一	—	曇
仝	仝六時	七六〇、九	一三、三	北東	四、二	—	曇
仝	仝七時	七六〇、四	一二、八	北	五、八	〇、〇	曇
仝	仝八時	七六〇、八	一二、九	北北東	五、一	〇、〇	雷雨
仝	仝九時	七六一、一	一二、六	北	四、三	〇、六	雷雨
仝	仝十時	七六一、二	一二、三	北	四、四	〇、五	雨
仝	仝十一時	七六〇、九	一二、一	北北東	三、四	一、六	雨
仝	正午	七六〇、三	一二、四	北東	四、七	一、〇	雨
仝	午後一時	七五八、五	一三、六	北北東	七、六	〇、三	曇
仝	仝二時三十分	七五七、七	一三、五	北北東	九、六	×	晴
仝	仝二時	七五七、八	一四、一	北	九、二	—	快晴
仝	仝二時三十分	七五七、九	一五、二	北北東	七、七	×	晴
仝	仝三時	七五七、一	一五、七	北北東	七、四	—	快晴
仝	仝三時三十分	七五七、二	一五、三	北北東	八、五	×	快晴
仝	仝四時	七五七、一	一四、一	北	一〇、五	—	快晴
仝	仝五時	七五八、六	一二、三	北	一七、七	—	曇
仝	仝六時	七六〇、一	九、九	北北西	一九、〇	—	曇
仝	仝七時	七六〇、二	九、一	北	二〇、二	—	曇
仝	仝八時	七六一、四	八、七	北	一六、六	—	曇
仝	仝九時	七六一、七	八、一	北	一〇、八	—	曇

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
四月二日	午後十時	七六二、〇	七、九	北	一〇、六	—	曇
仝	仝十一時	七六二、六	七、一	北	一三、四	—	曇
仝	夜半	七六三、三	七、〇	北	一〇、七	—	曇
四月三日	午前一時	七六二、七	六、九	北	一〇、六	—	曇
仝	仝二時	七六三、〇	七、一	北	一〇、六	—	曇
仝	仝三時	七六三、五	七、〇	北	七、六	—	曇
仝	仝四時	七六三、九	六、五	北	一〇、九	—	曇
仝	仝五時	七六四、一	五、九	北	一二、九	—	曇
仝	仝六時	七六四、二	五、九	北	一〇、〇	—	曇
仝	仝七時	七六四、七	六、三	北	八、九	—	曇
仝	仝八時	七六五、二	七、二	北北西	八、七	—	曇
仝	仝九時	七六五、五	七、一	北	一〇、二	—	曇
仝	仝十時	七六五、八	七、三	北	一三、六	—	晴
仝	仝十一時	七六五、八	七、八	北	一五、六	—	曇
仝	正午	七六六、〇	七、二	北	一三、六	—	曇
仝	午後一時	七六五、七	七、四	北	一二、七	—	曇
仝	仝二時	七六五、五	六、三	北	一三、〇	—	曇
仝	仝三時	七六五、四	六、九	北	九、三	—	曇
仝	仝四時	七六五、二	六、五	北	一三、七	—	曇
仝	仝五時	七六五、九	五、八	北	一二、〇	—	曇
仝	仝六時	七六六、一	五、四	北	五、七	—	曇
仝	仝七時	七六六、五	五、〇	北	四、三	—	曇
仝	仝八時	七六六、八	四、七	北	四、〇	—	曇
仝	仝九時	七六六、五	四、五	北	五、四	—	曇

●四月二日の暴風概況

四月一日午後楊子江下流にありし低氣壓（七百五十二粍）は東に進み支那東海に入り二日朝九州南部に上陸し中心の示度は七百五十粍に降り京阪以西は雨天となり以東は概ね曇天にして北西風稍々強く四國南東部には雷雨を起せり爾後低氣壓は尙東に進み三日朝八丈島の南方海上に經過し去り本邦は概ね曇天にして關東及北海道は雨降り奥羽は雪降れり然れども關西は概して天候恢復し晴天となれり而して此低氣壓の經過するに際し高氣壓は蒙古にありて七百七十五粍を示し南東方に壓迫し來りて氣壓の勾配は急となり爲めに本邦は一般に北西の强烈風吹き起り著るしく冷氣となり所々に降雪を觀るに至りたり

今大阪の氣象觀測を記すれは●氣壓は四月一日朝來徐降し二日正午より下降急となり一時間に約一粍の下降を呈し仝三時七百五十七粍一の最低に達し後漸次上昇せり●風は二日午前は北乃至北東の和乃至疾風なりしか氣壓の最低に達したる午後四時頃より北の强風となり仝五時俄然烈風となり仝七時は最も强く毎秒二十米二に達せしか爾後稍々減力し仝九時より强風となり三日午後五時に至れり其强烈風は二十二時間にして內烈風は五時間强風は十七時間に亘れり●天氣は一日朝來一の雲翳たに認めす晴朗なりしか午後二時過きより卷層雲西より流れ來り仝三時には滿天を蔽ひ淡曇となり仝六時五十五分より七時四十分まて月暈現はれ爾後上層雲は漸次垂下し濃密となり天候倍々險惡となり二日午前六時二十八分より微雨を催ふし間もなく仝六時二十九分より西南西方に遠雷起り雨は暫時にして歇みしも雷は漸次接近し來り仝七時五十八分より降雨再ひ來り雷雨となり仝八時十五分雷は西方を經て仝九時十分北西方に移り仝九時四十分收聲し雨も亦た仝十時四十分頃より衰へ午後零時五十五分歇む此雨量は四粍なり

更に當所毎時觀測の結果を記すれは左の如し

美濃岐阜 四日朝降雪あり積ること一寸餘

尾張名古屋 両三日來天候激變し三日の如き曉來寒風吹き荒み寒中にも稀に見る寒さに人心避易し花見時の今日此頃今更の如く冬衣裘を纏ふ抔今後の天候を氣遣ひ居たるが果然四日午前二時頃霏々たる降雪あり積雪二寸餘に及ひ全市滿目銀世界を呈したるも今尚ほ歇まず午前十時頃霙に變し子供等は物珍らしけに朝來嬉々として雪遊ひに餘念なく節句過の今日路上所々に雪達磨を作られ居る等近來稀に見る現象を呈し名古屋市附近にては參州足州最も多く降雪を見たり

三河岡崎 四日午前三時頃より降り出したる雪は四時半頃より霙に變し八時半に至り雨となりたるが一時は一寸許り積り滿開の櫻花に對し美觀極りなし

駿河靜岡 極寒中にても茲十年來降雪を見ず偶々冬季中一分間位の吹雪はあるも寒冷左程にあらず然るに四日拂曉より降雪あり午前六時頃より一變六花紛々として降り頻り開綻せる茶芽及桑葉等被害尠からず

駿河沼津 三日俄に氣溫下降し全夜は雨しとゞ降り風も寒く嚴寒かと思ふ程の氣候となりしが四日午前四時頃より遂に雪となり絶へ間なく降り頻り正午過きには二寸餘も積れり此の地に於て鳴春櫻花の時節に雪を見る據のことは昔より稀んとなしと

相摸箱根 三日の午後より寒氣俄に激しく箱根、足柄の連山白皚々積ること三尺乃至四尺に及ひ四日午後二時頃は降りつゝあり小田原地方は四日午前五時頃より降雪尚盛なり國府津より大磯に掛けて一層甚たしかりしか避寒地として有名なる熱海は地上五分の積雪を見る尚ほ歇ます

武藏東京 滿都花盛りの最中四日朝來の雨は午前八時を過くる頃より雪となり夕にも尚ほ歇まず銀座街頭積ること寸餘に及へり

加賀金澤 三日午後三時より降雪あり

越中富山 四日朝來降雪あり積ること二寸

信濃上諏訪 上諏訪にては四日朝來雪盛に降り今尚ほ歇まず積ること一寸餘

讃岐琴平　琴平山は櫻花開渡たるに四日朝より雪降り出て白皚々として櫻の花と相映し美觀なり阿波讃岐國境の連山積雪あり

讃岐善通寺　四日朝降雪阿讃國境の山々白し

讃岐丸亀　三日夜氣溫低に降りて雪降り四日朝山々白雪を戴く平年より二十七日既往二十年間の最晩なる明治四十二年三月二十六日よりも尚ほ八日遲し

阿波德島　三日來非常に寒く夜に入りて霙降り大瀧山の櫻は雪に混りて散る

周防德山　寒氣激しく須々萬村以北三日夜より雪積むこと二三寸

安藝吳　三日夜や寒氣激しく四日朝四方の山眞白に雪降り積る市中は五分位なるも山間は二三寸に達せり吳市の老人も春雪は四五十年來なしと珍らしがり居れり

備後福山　三日午後より春風寒く身に沁み夜に入りて霙となり夜半雪となりて四日降り積ること二寸に達せり

備中玉島　玉島地方は二日以來寒氣を覺へしが三日夜半降雪あり四面白皚々たり

備前岡山　岡山縣小田郡矢掛町地方にては三日來寒氣激しく四日未明より降雪あり仝八時に至り積雪三寸餘に及ひ又都窪郡玉島町附近にも四日朝降雪あり

紀伊和歌山　四日朝雪降る明治三十一年來のことなり

紀伊妙寺　三日夜來降雪寒氣強し

伊勢山田　三日夜來より寒氣激しく四日朝よりは雪さへ降り出せるか四月の降雪は五十年來のことなり

伊勢津　三日夜來寒氣甚しく四日午前四時より降雪あり

伊賀上野　當地は二日夜より寒氣強く四日朝より雪降りつゝあり

山城京都　三日朝から寒風吹き荒み午後一時過には雪降りたり

近江彦根　四日朝寒氣強く四日午前七時頃より屋上薄化粧す仝十一時歇む

ものにして冬季蒙古附近の氣壓著るしく增嵩し本邦に擴張し來る時は大阪地方は西乃至北西の寒風吹き寒氣甚たしきも本年二三月頃の如く高氣壓は西比利亞東部に移動する時は大阪地方は北風吹き寒さ甚たしからす寧ろ温暖に經過せり然るに四月に入り氣壓は冬季の配布となり上中二旬は蒙古邊より支那中部に高氣壓ありて東方に擴展し來りたること多かりしか故に再ひ寒の來りたるか如く寒くなり霜雪を觀るに至りたるのである

今氣候の變動最も甚たしかりし本年三月三十日より四月二十日に至る日々の氣温を列記すれは左の如し

月日	平均氣温 本年	平均氣温 平年より	最高氣温 本年	最高氣温 平年より	最低氣温 本年	最低氣温 平年より
三月三十日	一〇、六	▲〇、四	一三、二	二、五	七、七	▲二、五
三十一日	一一、七	▲二、三	一五、六	▲〇、四	七、九	▲三、二
四月一日	一三、七	▲三、六	一八、七	▲二、七	六、二	▲一、〇
二日	一二、三	▲〇、六	一六、〇	▲〇、三	七、〇	▲一、二
三日	一六、二	四、五	八、六	六、六	四、二	二、〇
四日	一四、六	六、四	六、九	九、〇	二、五	三、六
五日	一六、二	五、四	一〇、五	五、八	二、八	三、七
六日	一七、九	三、四	一三、四	三、六	二、六	四、二
七日	一六、四	五、〇	八、〇	八、〇	四、二	二、二
八日	一八、二	三、六	一三、二	四、四	二、九	三、三
九日	一八、〇	四、二	一八、九	六、〇	二、六	三、四
十日	一八、九	三、七	一五、〇	二、九	一、七	五、八

月日	平均氣温 本年	平均氣温 平年より	最高氣温 本年	最高氣温 平年より	最低氣温 本年	最低氣温 平年より
四月十一日	一一、五	二、四	一八、八	▲一、九	四、五	二、五
十二日	一二、三	一、三	一六、四	▲一、三	五、五	一、九
十三日	一三、四	一、七	一四、二	四、八	一〇、二	▲二、九
十四日	一四、二	▲〇、八	一六、四	二、六	一二、八	▲二、四
十五日	一二、二	一、二	一六、八	二、二	八、二	〇、四
十六日	一〇、二	三、二	一四、二	四、四	六、五	二、二
十七日	九、二	四、八	一三、九	六、二	五、八	三、八
十八日	九、六	四、八	一五、六	四、二	三、四	六、一
十九日	一二、七	一、八	八、一	一、四	一、一	一、一
二十日	一二、二	一、六	一四、七	五、七	一、一	▲二、五
二十一日	一五、九	▲一、一	一九、九	〇、二	一二、八	▲二、九

前表中氣温の最も低かりしは四月四日にして此日は各地とも概ね寒冷にして所に依り降雪さへありたり其通信を列記すれは左の如し

れか爲め淀川改修の議起り今日にては竣工したるを以て市内に大水害を來すことは殆んどなきに至りたれとも郡部には尚ほ出水の害を被むること尠からす故に今日にありても出水豫報は必要缺くへからさるものとす故を以て農商務省に於ても丹波國周山及大和國松山に森林測候所を設置せられ二十四時間の雨量五十粍以上又は八時間の雨量四十粍以上ありたる時は淀川出水豫報材料として直に當所へ雨量電報を發する旨山林局長より本府知事へ通知ありたれは出水豫報上一大便利を得たりと云ふへし然り而して本年も既に出水時期に至りたれは最も注意を要すへきなりとす今明治十六年より大正二年に至る三十一年間に本府管内に於ける淀川上流なる三島郡島本村大字廣瀬の水位十五尺以上に達したる年月日及東成郡城北村大字毛馬の水位等を表記すれは左の如し

年月日	廣瀬ノ水位 最高水位	廣瀬ノ水位 增水高	毛馬ノ水位 最高水位	毛馬ノ水位 增水高
明治十八年七月二日	八、二〇	三、四〇	五、七〇	二、九〇
仝 二十二年八月二十日	六、八〇	三、八〇	四、八〇	三、六〇
仝 二十九年七月廿二日	五、五〇	四、〇〇	三、〇〇	九、四〇
仝 年八月卅一日	六、六〇	三、〇〇	三、七〇	二、九〇
仝 年九月八日	八、二〇	三、四〇	五、四〇	二、四〇

年月日	廣瀬ノ水位 最高水位	廣瀬ノ水位 增水高	毛馬ノ水位 最高水位	毛馬ノ水位 增水高
明治三十六年七月九日	七、三〇	三、三〇	三、五〇	三、四〇
仝 三十七年九月十七日	五、六〇	三、八〇	九、七〇	九、七〇
仝 四十年八月廿五日	五、八五	二、九〇	四、〇〇	二、八〇
大正元年九月廿三日	六、三五	五、三五	四、四〇	四、〇〇
大正二年十月四日	六、五	五、八〇	三、七〇	三、〇〇

●本年四月上、中二旬の冷氣に就て

技手　藤川秀吉

本年二月乃至三月は例年に比し西乃至北西の寒風少く著るしく温暖なりしか四月に入りても月初めは尚ほ高温にして三日より俄に氣候激變し二十日に至る十八日間は概して冷氣にして特に三日より十日に至る八日間は最も甚たしく例年より四度乃至九度も低く人々奇異の思をなせり斯る現象は四五月頃には往々看る所なれとも本年の如く甚たしきことは稀なる現象と云ふへし今其原因を通俗的に一と口に云へは元來氣候の變動は主として氣壓の配布に依る

振動期十一秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十六分二十三秒、南北動は三十六分八秒なり

附記　此地震は本州南東方遠洋に發したるものにして小笠原列島の父島にては人身に感覺なく普通地震計に感したりと云ふ今各所に於て地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

父島（小笠原島）	午後七時一一分一五秒	
大阪	仝	七時一一分四四秒
水澤	仝	七時一二分一五秒
ジガウエー	仝	七時一三分四八秒
マニラ	仝	七時一六分〇〇秒

●出水豫報に就て

本府管内は淀川の下流に位し一朝大雨ある時は近江、伊賀、大和、丹波、山城等より流入する所の雨水は頗る多量なるか爲め沿岸地方は忽ち出水の害を被むれり故に出水豫報は最も必要なるを以て去る明治十六年以來實施し其成績は明治十六年より仝三十六年までを一括し淀川出水豫報調査報告として刊行配附し爾後は毎年氣象年報に掲載することゝせしか此調査に要する雨量觀測は淀川流域なる近江、伊賀、大和、丹波、山城其他摂津、河内等に亘り約二十ヶ所より二十四時間の雨量五十粍以上に達したる時は直に當所へ電報し當所は各地の雨量と當時の氣象觀測とを參照し夫々出水豫報を發し又水位は内務省大阪土木出張所より各所の觀測を受け最高水位の到達時間等を計算し來れり

去る明治十八年の洪水は六月十七日に本府管内に於ける淀川上流なる三島郡島本村大字廣瀬の水位十四尺六寸に達し出水前より十尺以上の增嵩を示し一旦減水せしか仝七月二日に至り又大雨出水ありて仝所の水位は十八尺二寸に達し甚大なる水害ありたり超て明治二十九年に至り又洪水あり八月三十一日には仝所の水位十六尺六寸に達し出水前より十三尺の增嵩を示し一旦減水せしか九月八日又大雨出水し仝所の水位十八尺一寸に達し被害尠からさりし之

水澤	仝	八時三九分一四秒
マニラ	仝	八時四〇分〇〇秒

五九　四月二十九日午後零時二十七分三秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し振動の各部判明せざれども最大振幅は東西動は午後零時三十一分五十一秒に於て七「ミクロン」振動期五秒八、南北動は午後零時三十一分三十七秒に於て三十五「ミクロン」振動期九秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十分八秒、南北動は三十一分四十秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども陸中の水澤にても午後零時二十九分六秒に此地震を觀測したり

六〇　四月二十九日午後五時三十三分十三秒の地震

此地震は前地震と同地帶に發したるものにして緩なる波動を呈し振動の各部判明せざれども最大振幅は東西動は午後五時三十七分四十九秒に於て二十「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午後五時三十七分五十七秒に於て四十七「ミクロン」振動期九秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十八分二十二秒南北動は四十七分二十四秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれば左の如し

大阪	午後五時三三分一三秒	
水澤	仝	五時三四分〇二秒
マニラ	仝	五時三七分〇〇秒
ジカウエー	仝	五時四〇分〇二秒

六一　四月三十日午後七時十一分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分二十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時十七分四十九秒に於て四十七「ミクロン」振動期九秒一、南北動は午後七時十八分一秒に於て三十七「ミクロン」

此地震は振幅微にして振動の各部判明せざれとも最大振幅は午後十一時四十三分十四秒に於て二十二「ミクロン」振動期一秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分二十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は臺灣の南方に發したるものにして臺灣全島は人身に感覺なきも普通地震計に感し又微動は本州中部に達したり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝し

マニラ（比律賓島）	午後一一時三九分〇七秒	
臺北	仝	一一時四〇分四二秒
長崎	仝	一一時四二分〇七秒
大阪	仝	一一時四二分〇四秒
岐阜	仝	一一時四二分三八秒

五八　四月二十八日午後八時三十七分五十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分五十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時四十二分三十秒に於て百五十「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午後八時四十一分五十七秒に於て百十「ミクロン」振動期五秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十五分二十九秒、南北動は三十一分二秒なり

附記　此地震は奄美大島の北方海底に發したるものにして名瀬にては震動時間長き弱震を感し九州一帶に微震を感したり又微動は遠く比律賓島「マニラ」支那上海及本州北部に達したり今各所にて地動計を以て觀測したる發震時を列記すれは左の如し

福岡	午後八時三七分〇九秒	
長崎	仝	八時三七分一〇秒
大阪	仝	八時三七分五七秒
ジカウエー（支那上海）	仝	八時三八分〇〇秒

五四　四月十二日午前一時三十九分四十一秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は七分二十二秒、第二は六分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時五十七分五秒に於て六百三十二「ミクロン」振動期二十秒二、南北動は午前一時五十八分一秒に於て七百四十七「ミクロン」振動期二十一秒六を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時十分四十七秒、南北動は二時十四分九秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所の觀測に依りて看るに南洋「ギルバート」島附近に發したるものなるべし（前號「遠距離の大震」の項參照）

五五　四月十九日午前二時二十七分五十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十八秒にして主要動となり最大振幅は午前二時二十九分三十八秒に於て二十九「ミクロン」振動期一秒六を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分四十一秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は相模附近に發したるものにして震域北方は羽後の秋田附近に、南方は伊豆の八丈島に及ひ西方は丹後の宮津に達し弱震を感じたる面積は九百九十方里有感微震部は四千百九十方里に亘れり

五六　四月二十二日午後三時二十八分五十一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時三十分三十七秒に於て二十二「ミクロン」振動期五秒〇、南北動は午後三時三十分三十六秒に於て二十七「ミクロン」振動期六秒五を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十二分八秒、南北動は十分三十五秒なり

附記　此地震は鹿兒島附近に發したるものにして九州一帶に微弱震を感し就中鹿兒島にては性質急なる弱震を感じ家屋動搖せりと云ふ

五七　四月二十五日午後十一時四十二分四秒の地震

風吹けり●十四日前日來の雨概ね午前歇み南部及大阪に強風吹けり●十五日概ね晴天●十六日午前殆んど全管内に亘りて雷雨あり南部及西部に強風吹けり●十七日概ね晴天なりしか所々に雨降り新庄は霰、天王は雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●十八日概ね晴天南部を除く外所々に霜あり●十九日概ね晴天富田林、長野に霜あり大阪に強風吹けり●二十日未明より雨降り翌日に亘る●二十一日未明雨降り後概ね晴天●二十二日概ね晴天深日に濃霧あり●二十三日晴曇相半し尾崎、大阪に強風吹けり●二十四日晴曇相半し午後より雨降り斷續して翌日に亘れり●二十五日前日來の雨午前或は午後歇み尾崎、大阪に強風吹けり●二十六日概ね晴天東郷、茨木に雨降れり●二十七日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●二十八日前日來の雨午前歇み尾崎、大阪に強風吹けり●二十九日概ね晴天●三十日概ね晴天尾崎、大阪に強風吹けり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありて百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又(十)は南北動にありては北、東西動にありては東、(一)は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」(粍の千分一)を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は八回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものも亦一回もなかりしか無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは五回即ち相模附近、鹿兒島附近、奄美大島の北方海底、本州南東方遠洋、臺灣の南方各一回なり又遠距離地震は三回にして内一回は南洋「ギルバート」島附近に發したる顯著なる地震にして其他の二回は震源未だ詳ならす今其觀測概況を列記すれは左の如し

全月	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日
九八、三	—	三、〇	一、一	—	一四、四	—	—	—
九九、九	—	三、二	二、二	—	一八、〇	—	—	—
七七、六	—	二、〇	〇、三	—	二四、三	—	—	—
八三、〇	—	二、七	〇、三	—	二二、七	—	—	—
八〇、〇	—	二、六	—	—	二二、四	—	—	—
七八、六	—	三、五	〇、三	—	一七、三	—	—	—
七三、三	—	二、五	三、七	—	九、八	—	—	—
六八、八	—	二、〇	〇、五	—	一〇、六	—	—	—
六六、九	—	二、一	七、〇	—	九、四	—	—	—
六五、三	—	一、四	六、九	—	六、七	—	—	—
一〇〇、七	—	四、三	一六、〇	〇、三	五、〇	—	—	—
一九、三	—	九、〇	一三、〇	—	六、〇	—	—	—
一〇九、八	—	九、三	一五、〇	一、三	六、〇	—	—	—
一〇九、七	—	三、五	一一、〇	—	六、五	—	—	—
六六、七	—	一、五	四、五	—	五、一	—	—	—
七八、〇	—	一、〇	四、〇	—	五、七	—	—	—
八三、〇	—	六、六	六、〇	—	九、〇	—	—	—
六四、三	—	〇、五	六、〇	—	八、五	—	—	—
七七、四	—	二、〇	八、〇	—	一〇、〇	—	—	—
六八、一	—	一、七	〇、五	—	四、八	—	—	—
八八、九	—	二、六	〇、五	—	三、八	—	—	—
九三、三	—	二、三	一、〇	—	四、三	—	—	—

管内天氣摘要

●一日概ね晴天天王に霜あり大阪、新庄に強風吹けり●二日未明より雨降り南部及大阪、長野に雷鳴あり、尾崎、大阪、枚方、柏原に強風吹けり●三日概ね曇天天王に雪降り尾崎、大阪、新庄、枚方に強風吹けり●四日概ね曇天南部の沿岸及田原、富田林、長野に雪霰を降らせり●五日晴曇相半し所々に霰降り妙見山、天王は雪、新庄、柏原には雹降り尾崎、大阪に強風吹けり●六日概ね曇天岸和田、大阪に雨降れり●七日概ね曇天なりしか一般に降雨となり天王は雪、長野は霰を混し尾崎、新庄に強風吹けり●八日概ね晴天岸和田、長承寺、新庄、天王、富田林、長野に霜あり富田林、長野は結氷し午後に至り所々に雨降り尾崎、大阪、八尾に強風吹けり●九日概ね曇天大阪に霜あり所々に雨降り尾崎、大阪、八尾に強風吹けり●十日概ね晴天所々に霜あり富田林に結氷せり●十一日概ね晴天池田、天王、富田林に霜あり大阪に強風吹けり●十二日概ね晴天●十三日未明より雨降り翌日に亘り深日、尾崎に強

第五表　管內降水日量

四月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東鄉	天王	茨木	淸水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	四、〇	三、〇	二、七	一、六	一、六	〇、九	〇、九	一、一	一、九	一、〇	一、〇	二、五	二、三	二、〇	一、〇	一、〇	〇、五	〇、五	一、〇	[illegible]	〇、九	三、六
二日	一三、三	六、八	二、五	二、〇	二、〇	二、八	二、二	三、〇	一、八	—	—	二、〇	一、九	〇、三	—	—	二、〇	二、六	二、五	二、八	—	一、二
三日	〇、八	四、三	〇、三	〇、七	—	〇、五	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、二	三、六	二、〇
四日	—	—	—	〇、二	—	—	—	〇、〇	—	〇、四	—	—	—	一、五	—	—	—	〇、〇	〇、一	〇、三	四、五	一、〇
五日	—	—	〇、四	—	—	〇、〇	—	〇、一	〇、五	〇、〇	二、五	—	—	二、二	—	—	一、五	—	—	—	〇、〇	—
六日	三、〇	二、四	二、二	〇、二	一、四	—	一、〇	〇、五	〇、五	—	〇、五	〇、四	〇、二	〇、三	〇、五	一、五	二、〇	〇、三	—	—	二、〇	〇、〇
七日	一八、六	一七、九	一四、四	一六、二	一五、〇	七、〇	一三、七	一三、四	一〇、〇	一二、〇	一三、〇	一三、〇	一八、〇	一四、五	一一、五	一四、一	一〇、〇	一四、五	一六、五	一六、一	一五、〇	一七、四
八日	—	〇、六	—	〇、六	—	—	—	〇、二	—	一、八	四、四	七、八	一〇、〇	一二、九	二、〇	二、一	五、〇	—	〇、一	—	—	—
九日	—	—	—	〇、二	〇、四	—	—	〇、八	—	—	—	—	—	〇、七	—	—	—	一、八	—	〇、二	一、五	—
十日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十一日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇、一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二日	一、二	一、四	一、二	〇、四	〇、六	一、七	一、八	〇、八	二、〇	三、〇	一、五	一、二	〇、四	一、三	〇、五	五、一	三、〇	一、五	二、〇	一、一	一、一	〇、〇
十三日	七、〇	七、八	四、九	七、〇	八、七	九、五	一〇、三	一二、五	一一、四	一〇、八	二六、〇	一九、二	一八、五	一三、五	一四、五	一五、〇	一一、〇	八、七	八、〇	七、五	七、一	一〇、五
十四日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一、五	—	〇、五	—	—	—	—	—	—	—	—
十五日	五、〇	六、四	七、八	〇、三	〇、二	〇、七	〇、五	三、〇	〇、四	七、〇	〇、三	〇、六	〇、五	—	〇、二	〇、五	五、〇	—	二、七	—	〇、〇	〇、二
十六日	一二、八	一四、三	三、一	一三、〇	一三、三	一八、〇	一一、一	五、九	七、八	一、〇	一四、〇	一四、四	九、〇	一六、五	八、五	一三、〇	九、〇	七、四	八、〇	一〇、二	一六、七	二〇、〇
十七日	—	—	—	—	〇、二	—	—	〇、二	—	〇、九	〇、六	—	三、五	一、五	三、〇	一、〇	—	〇、四	—	〇、六	—	—
十八日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十九日	四、五	三、四	三、四	三、二	三、〇	三、〇	六、七	—	二、九	一、五	八、〇	三、〇	一、〇	一、〇	三、〇	三、五	三、〇	一、五	四、〇	一、八	三、四	二、四
二十日	九、五	八、二	八、二	一〇、四	一〇、六	一三、六	一〇、〇	一四、一	九、二	一二、八	一三、五	一五、四	一三、〇	一一、〇	一一、〇	一一、五	九、五	一〇、〇	一三、五	一一、〇	七、〇	七、四
廿一日	—	—	—	〇、三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廿二日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

觀測所	空氣ノ溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年ヨリ	最高極	日起	最低極	日起
深日	一七、五	七、七	一二、六	▲〇、八	三三、五	二六	一、一	一〇
尾崎	一七、七	七、四	一二、六	▲〇、七	三四、九	二六	一、一	一〇
岸和田	一六、六	七、七	一二、一	▲一、一	三三、二	二〇	一、四	一〇
長承寺	一七、四	六、七	一二、一	▲一、五	三四、一	二六	〇、三	一四
濱寺	一六、九	六、九	一二、九	/	三四、五	[illegible]	一、〇	二〇
堺	一七、四	七、九	一二、六	▲一、〇	三四、二	二六 二三	一、三	一一
天王寺	一七、九	七、四	一二、五	▲一、二	三四、五	[illegible]	一、三	[illegible]
大阪	一六、七	八、二	一二、四	▲一、九	三三、[illegible]	二六	一、七	[illegible]
福島	一八、一	七、六	一二、八	▲一、四	三四、七	二四	〇、七	一一
新庄	一七、二	七、[illegible]	一二、一	▲一、四	三三、四	二七	〇、[illegible]	一〇
池田	一七、九	六、四	一二、二	▲一、二	三四、〇	[illegible]	〇、[illegible]	一五
妙見山	一三、〇	二、八	八、二	▲一、九	三二、一	[illegible]	二、五	八
東郷	一六、六	四、四	一〇、二	▲一、二	三四、五	二七 二五	一、〇	[illegible]
天王	一四、二	三、六	八、九	▲一、一	三三、四	[illegible]	二、九	八
茨木	一八、二	六、四	一二、二	▲一、五	三四、九	二六	〇、二	二〇 六
清水	一七、二	五、四	一二、二	▲一、二	三五、三	二六	〇、五	六
枚方	一八、二	六、八	一二、四	▲一、四	三四、五	二三 二三	〇、〇	[illegible]
田原	一六、九	四、五	一〇、七	▲一、七	三五、〇	二七	一、六	一〇
八尾	一七、七	六、八	一二、一	▲一、七	三四、五	[illegible]	一、〇	一〇
柏原	一七、八	六、〇	一二、九	▲一、六	三四、五	二〇	〇、六	一〇
富田林	一八、三	六、二	一二、二	▲一、二	三四、六	二六	一、五	一九
長野	一六、七	五、二	一〇、九	/	三四、一	二六	一、八	一九

觀測所	降水 總量 本年	總量 平年ヨリ	最多日量	日起	午前十時(柏原ハ午前九時) 氣溫	濕度	雲量	最多風向
深日	九八、三	▲四五、七	一八、六	七	一四、五	七七	六、四	北
尾崎	九九、九	▲四九、九	一八、二	二七	一三、四	七〇	五、一	北東
岸和田	七七、六	▲五一、二	一四、一	[illegible]	一一、七	六七	五、三	西
長承寺	八三、一	▲四三、八	一三、七	二七	一四、二	六六	五、四	西
濱寺	八〇、〇		一二、四	二七	一四、七	六六	五、五	西
堺	七八、六	▲四九、七	一八、〇	二六	一四、[illegible]	六一	五、三	西
天王寺	七三、二	▲五〇、九	一二、七	七	一四、九	六八	五、[illegible]	西
大阪	六六、八	▲七一、四	一四、一	二	一一、六	六五	五、五	北
福島	六六、九	▲七七、四	一二、四	二	一四、八	六七	五、三	北東
新庄	六五、三	▲七九、四	一二、八	二	一三、七	六七	六、二	西
池田	一二〇、七	▲二八、二	一六、〇	二三	一四、五	六四	五、六	北西
妙見山	一二九、二	▲二一、二	一九、二	二三	八、〇	七八	五、七	北東
東郷	一〇九、八	▲四五、七	一八、五	二三	一三、八	七一	六、二	北
天王	一一九、七	▲六一、七	一六、五	二六	一一、五	七一	五、七	西
茨木	六六、七	▲八一、〇	一四、五	二三	一四、四	六九	五、四	西
清水	七八、〇	▲六六、五	一五、〇	二三	一三、四	七二	六、二	南
枚方	八二、一	▲七四、五	一一、〇	二三	一四、三	七三	五、七	南南東
田原	六四、三	▲一一一、七	一四、五	七	一三、七	七一	五、六	西
八尾	七七、四	▲五三、四	一六、五	七	一四、二	六六	五、七	西
柏原	六六、一	▲六六、九	一六、一	七	一三、五	七四	六、四	北
富田林	八八、九	▲四三、〇	一三、八	二七	一四、五	六二	五、六	西北
長野	九三、二		二四、二	二七	一三、五	六八	六、九	北

觀測所	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	一四	一			[illegible]	[illegible]	〇	八	一五	[illegible]
尾崎	一五	一	一			[illegible]		一	[illegible]	一四
岸和田	一五	一	一		[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]	二
長承寺	一八	一			[illegible]	[illegible]		九	[illegible]	二
濱寺	一四							[illegible]	一五	七
堺	一三					[illegible]		[illegible]	一四	一
天王寺	一三							[illegible]	[illegible]	一
大阪	一七				四			[illegible]	一三	五
福島	一四					一		九	二	一
新庄	一五			一	[illegible]			三	一六	四
池田	一六					一		九	[illegible]	
妙見山	一五					一		一	一五	
東郷	一六					一		六	一四	
天王	一八	四			五	一		六	[illegible]	
茨木	一四				[illegible]	一		[illegible]	[illegible]	
清水	一四				[illegible]	一		四	一	
枚方	一五				[illegible]	一		[illegible]	五	
田原	一四	一	一		[illegible]	一		九	[illegible]	
八尾	一四				[illegible]			[illegible]	一四	
柏原	一三			一	[illegible]			八	七	一
富田林	一五	一	一		五			[illegible]	一六	
長野	一四	一	一		四	[illegible]		[illegible]	一六	

部長野の零下一度八全田原の零下一度六全富田林の零下一度五之れに亞き其他は零下一度〇より一度七の間にあり要するに本年四月の氣温は最高二十五度三より最低零下二度九の間にありて其較差二十八度二に達せり

降水

總量は北部妙見山の百十九粍二より東部田原の六十四粍二の間にありて之れを平年に比すれは一般に五十粍内外の寡量にして就中大阪、福島、新庄、茨木、田原、柏原は平年の二分の一に達せさりき而して日量の最多は其起日一定せされとも十三日より十四日に亘りし降雨の際に於けるもの最も多く池田の二十六粍〇を最多とし岸和田、長野の二十四粍二、富田林の二十三粍八、長承寺の二十二粍七之れに亞き其他は十九粍より十一粍の間にありき

雷雨

二日、十六日の二回にして十六日の雷雨は廣區域に亘り且つ強雷なりき今左に其概況を叙述せん

二日午前六時過紀伊水道附近より雷雨襲來し漸次西に向ひて進行し其經路附近に當りし深日地方は最も烈しく強雨之れに伴ひしか雷の北西方に去ると共に平靜に歸せり

十六日午前九時過紀淡海峽附近より雷雨襲ひ來り西に向ひて進行し本府に接近するや管内一般に強雷となり六甲山附近より北折するに當りては增々強鳴を發し且つ大雨暴風之れに加はり一時は閃々たる電光眼を射轟々たる雷鳴耳を劈きしか雷の北方に經過するに從ひ漸次微弱となり靜穩に歸せり因に此の雷雨中南河内郡長野町大字古野に落雷せしも幸に人畜に死傷なかりき

第四表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又は多）

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
觀測回數	一二六	一二〇	二六	二三	二五	一二	一二七	四五	八	北二四度西	三
平年比較	▲四	三	二六	▲三	一	▲三	七	▲	▲五		

大阪府管內氣象概況

前既に述へたるか如く四月は氣候變遷期にして高低氣壓の來去頻繁なるか故に天氣の變化甚しく一暖一冷交々來り不時の寒氣を催し桑葉、茶芽等の凍害を被るは概ね此の時期にあり而して本年四月の氣候を調査するに上旬は冷氣にして四日及五日は所々に雪霰を降らし東北の両山間部は一帶に氣温零下に降りて時々結霜あり中旬に入りては稍々恢復したりと雖も尙ほ平年より低く下旬に至りて漸く温暖となりたれとも一ヶ月を平均すれは平年より一度乃至二度の過低となれり又降水量は平年より少なく所によりては二分の一に達せさりしも其日數は月の半以上を示せし所多かりき要するに本年四月の氣候は上中二旬は冷氣に失し下旬に至りて温暖となり且つ晴燥の日多かりし更に項を追ふて氣温、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は西部福島の十二度八より北部妙見山の八度二の間にありて之れを平年に比すれは一度乃至二度の過低を示せり而して最高は概ね下旬に現はれ北部清水の二十五度三東部田原の二十五度〇を高極とし南部尾崎西部茨木の二十四度九之れに亞き其他は二十四度乃至二十三度を示し妙見山は二十一度一に止まれり又最低は概ね上旬に現はれ山間部は一帶に零下に降り北部天王の零下二度九仝妙見山の零下二度五を低極とし東

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は高或は多、強）

全月觀測成績

種目	平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七六一、八	〇、六	七六九、五	一九	七四九、八	一六
氣溫 平均	一一、七	一、七	—	—	—	—
氣溫 最高	一六、八	一、八	三〇、〇	一六	—	—
氣溫 最低	七、五	一、五	—	—	一、七	一〇
氣溫 較差	八、九▲	〇、七	一四、三	二	二、五	三
水蒸氣張力	七、六四	〇、六九	一三、三	三、五	三、五	三
濕度	七二、〇	〇、五	—	—	二、九	六
飽差	三、〇七	〇、一七	一一、四	六	〇、一	三
降水 月量	七五、六	四、七	—	—	—	—
降水 日量最多	—	—	一七、三	三	—	—
降水 時量最多	—	—	五、九	六	—	—
蒸發量	二七、二	二、八	八、五	六	〇、六	三
日照時數	二六、五▲	四、四八	三、〇〇	元	—	—
地皮	二、八四	一、二二	五、〇	五	四、五	八
地溫 中 十糎	三、五	〇、九一	〇、一	六	七、一	降水量 八
地溫 中 二十糎	三、二	〇、七二	五、八	六	八、六	平年に比し 八
地溫 中 三十糎	三、四	〇、六二	五、七	七	九、六	雲量 八
地溫 中 六十糎	三、六	〇、七	五、七	六	一〇、九	平年に比し 九
地溫 中 百二十糎	三、四▲	〇、二	五、七	六	一二、八	一日照時數 一
地溫 中 三百糎	四、六四▲	〇、五	四、七	七	一四、五	平年に比し 五
地溫 中 五百糎	六、一▲	〇、〇	五、四	六	一五、九	風速度 五
地溫 中 七百糎	六、九▲	〇、六	五、七	六	一六、五	平年に比し 元

半旬期觀測成績

種目	自四月一日 至四月五日	自四月六日 至四月十日	自四月十一日 至四月十五日	自四月十六日 至四月二十日	自四月二十一日 至四月二十五日	自四月二十六日 至四月三十日
氣壓	七六二、四五	七六一、六	七六九、九四	七六一、九	七五九、三四	七六一、〇九
氣溫 平均	一、四九	一、五▲	〇、八▲	〇、九▲	〇、二	〇、八▲
氣溫 最高	七、三四	七、九	三、二	一、〇	五、八五	一五、三七
氣溫 最低	〇、四	三、六	〇、五	三、二五	〇、四▲	〇、五九
氣溫 較差	三、三四	三、三四	六、六	一四、一▲	一、七	一三、四
水蒸氣張力	一、四一	三、五七	一、二	一、四一▲	〇、五▲	〇、五七
濕度	四、五〇	六、〇	七、八	六、八	一二、六	一、六
飽差	〇、九	三、〇	〇、五九	一、六	〇、八	〇、六
降水 月量	五、九	五、四	七、五	七、六	一〇、七	八、八
降水 日量最多	〇、九	三、〇七	〇、五八	〇、五	〇、八	〇、六
降水 時量最多	七、七	六、六	七、七	七、九	八、四	六、七
蒸發量	〇、八	四、四	一、八	四、九▲	一、八	五、四
日照時數	三、五	三、九	三、五	六、五	三、六	四、八
地皮	〇、六	〇、五	〇、六	一、四	〇、五▲	〇、八四
地溫 中 十糎 降水量	四、二	四、九	一四、〇	六、八	一、四	一、四
地溫 中 二十糎 平年に比し	八、七▲	〇、五▲	五、八▲	九、四▲	〇、五	〇、五
地溫 中 三十糎 雲量	七、〇	五、四	五、四	四、八	〇、九	〇、九
地溫 中 六十糎	一、〇	一、七	〇、六▲	〇、四	〇、四	〇、四
地溫 中 百二十糎 一日照時數	三、六	三、五	五、八	五、〇	一、七▲	五、〇
地溫 中 三百糎 平年に比し	四、九四▲	三、五四	〇、五	四、九▲	一、四▲	四、九
地溫 中 五百糎 風速度	五、〇	五、四九	五、四八	五、〇	四、九	五、〇
地溫 中 七百糎 平年に比し	〇、二▲	〇、五八▲	〇、二	〇、九二	〇、七▲	〇、七

八日	一〇、四	九、五	九、五	九、九	一〇、九	一、二	朝薄霜あり午後一時より強風吹き起り翌日に到る午後三時三十六分より小雨斷續して仝十時五十五分歇む
九日	九、五	一〇、〇	一〇、〇	一〇、五	一一、〇	一、七	午前零時四十分より一時十六分迄及同六時五十五分より小雨斷續し午後一時四十分歇む前日來の強風午前九時に到り歇む夜微霜あり
十日	一二、二	一〇、四	一〇、三	一〇、五	一一、二	二、三	朝微霜あり午前四時より七時二十分迄薄霧あり夜露あり
十一日	一二、六	一一、五	一一、〇	一一、一	一一、一	〇、三	朝露あり午前四時より六時五十分迄薄霧あり午後四時乃至六時強風吹けり夜薄露あり
十二日	一三、七	一三、〇	一三、八	一三、七	一三、四	〇、三	午前零時三十分より一時十五分迄月暈現はる朝薄露あり午後二時五分より二時十五分迄及同四時二十分より五時二十分迄日暈現はる午後十時十五分より月暈現はれ翌曉に到る
十三日	一三、〇	一三、三	一三、三	一三、三	一三、六	七、六	前夜來の月暈午前零時二十五分消ゆ午前三時五十五分より小雨斷續して翌日に到る
十四日	一四、二	一三、三	一三、八	一三、四	一三、八	九、三	前日來の小雨斷續して午前六時二十八分歇む午前六時より午後六時迄強風吹けり
十五日	一五、三	一三、七	一三、四	一三、九	一三、三	四、九	夜薄露あり
十六日	一三、〇	一三、五	一三、九	一三、〇	一三、五	三、九	朝露あり午前九時五分より西方に遠雷起り同九時二十分電雷となり西を經て北西に至り強雷となりしか同十時五十分北方に至りて收聲す午前九時二十七分より降雨時々大雨を交へ同十時五十分一旦歇み午後三時二十七分より斷續し八時二十二分歇む午前十一時及午後二時より五時迄強風吹けり
十七日	一三、四	一三、三	一三、五	一三、六	一三、五	〇、三	午前十一時より午後二時及五時強風吹けり午前十一時五十四分より午後零時十二分迄小雨夜露あり
十八日	一三、〇	一三、一	一三、三	一三、四	一三、四	〇、七	朝霜あり夜露あり
十九日	一五、二	一三、三	一三、〇	一三、八	一三、五	三、八	朝露あり午後一時三十五分より二時十八分迄及三時四十二分より四時二十五分迄日暈現はる午後二時より七時迄強風吹けり
二十日	一三、五	一三、七	一三、七	一三、五	一三、七	一〇、一	朝薄露あり午前五時二十五分より降雨翌日に到る
廿一日	一七、六	一五、三	一四、四	一三、八	一三、〇	一一、三	前日來の降雨午前四時三十分歇む夜露あり
廿二日	一九、六	一七、一	一六、〇	一五、〇	一三、四	九、六	朝夜露あり
廿三日	一七、三	一六、八	一六、五	一五、八	一四、〇	六、九	朝露多し午前三時五十五分より六時四十五分迄霧あり午前十一時より午後一時迄強風吹けり午後二時七分より五時二十二分迄日暈現はる
廿四日	一六、七	一五、六	一五、六	一五、四	一四、三	七、〇	午後二時五十八分より小雨斷續して十一時二十分歇む
廿五日	一七、七	一六、七	一六、二	一五、七	一四、五	一一、八	午前四時五十九分より小雨斷續して午後六時四十分歇む午後二時及四時強風吹けり夜薄露あり
廿六日	一九、五	一七、四	一六、六	一六、〇	一四、七	八、六	朝露あり夜薄露あり
廿七日	一七、五	一七、二	一七、一	一六、五	一五、〇	一一、三	朝露あり午後三時三十四分より小雨斷續して翌日に到る
廿八日	一七、一	一六、七	一六、八	一六、四	一五、二	四、八	前日來の小雨午前五時四十分歇む午前八時より午後七時迄強風吹けり夜薄露あり
廿九日	一七、一	一五、七	一五、八	一五、九	一五、二	〇、九	朝薄露あり
三十日	一八、六	一六、五	一六、三	一六、〇	一五、二	六、八	朝薄露あり午後二時強風吹けり
全月	一三、八	一三、一	一三、一	一三、〇	一三、七	四、〇	

	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	全月
	七六七、六	七六四、四	七六三、八	七六二、二	七六〇、七	七五九、一	七[illegible]三、四	七五九、〇	七五七、四	七五八、[illegible]	七六四、一	七六六、三	七六一、二
	三、七	一三、三	一五、九	一七、二▲	一五、〇	一四、七	一六、四	一七、五▲	一六、八▲	一五、一▲	一三、〇	一五、四▲	二、八
	一、二	一、三	〇、三	〇、四	一、八	一、一	〇、五	〇、九	一、五	〇、七	一、七	〇、一	一、三
	一八、一	一四、七	一九、九	二二、七	二〇、三	二〇、九	二〇、九	二三、〇	二三、八	一九、六	一八、一	二〇、七	一六、三
	六、一	三、三	三、六	三、四	九、一	九、〇	一四、二	一一、九	一三、四	九、九	六、七	九、二	七、三
	三、〇	二、五	七、三	八、三	二、一	二、九	六、七	二、一	八、四	九、七	二、四	二、五	八、九
	七、九	一〇、二	二、三	三、三	八、六	九、四	三、〇	一〇、三	二、三	七、六	六、三	八、八	七、六
	七三	九〇	八五	八五	七〇	七五	八六	七〇	八〇	六〇	五七	六八	七三
	三、三	一、三	二、三	二、四	四、一	三、二	一、九	四、八	二、九	五、二	五、一	四、五	三、二
	五、〇	三、五	四、九	三、九	六、二	四、二	五、四	三、七	三、五	八、九	四、〇	五、二	五、三
	三、二	六、六	八、〇	八、一	五、八	八、六	三、四	八、九	六、五	五、[illegible]	六、九	二、〇	三、[illegible]
	西南西	北東	南西	西	北	北東	南西	西南西	西	北	南西	西	北
	西南西	北東	西南西 北北東	西南西	北	北東	西南西	南南西	北北東	北	北	西南西	北
	五、四	一〇、〇	四、一	三、三	六、二	九、五	八、一	〇、〇	七、五	四、一	一、六	五、〇	五、四
	九、[illegible]	—	九、八▲	九、九▲	八、七▲	四、四	三、一	二、四▲	三、四	八、三	三、〇▲	一、九▲	六、一▲
	一、一	四、七	〇、九	三、九	二、五	一、一	四、四	三、六	三、六	二、八	四、三	六、一	四、五
	—	一七、三	一、八	—	—	一、九	、九	—	五、七	五、五	—	—	[illegible]
	四、一	〇、八	四、〇	五、〇	六、〇	二、四	三、八	五、五	三、八	八、五	六、三	六、四	[illegible]

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

四月	地中温度（不均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温
一日	一四、二	一三、七	一三、五	一三、一	一二、七	三、八
二日	一三、四	一三、八	一三、九	一三、六	一二、九	六、三
三日	九、七	一〇、八	一一、七	一三、三	一三、一	二、七
四日	八、二	九、五	一〇、五	一二、一	一二、九(−)	〇、九
五日	八、〇	八、九	九、六	一〇、四	一二、六(−)	三、三
六日	一〇、三	九、四	九、七	一〇、三	一二、五(−)	三、三
七日	七、九	九、一	九、八	一〇、四	一二、二	三、三

諸現象の摘要

一日　朝露あり午後四時乃至五時強風吹けり午後六時五十五分より七時四十分迄月暈現はる

二日　（午前六時二十八分より六時四十三分迄小雨仝八時五十八分より降雨となり午後零時五十五分歇む午前六時二十九分より西南西方に遠雷起り仝八時十八分西を經て仝九時十分北西に才り仝四十分收聲す午後四時より強風吹き起り翌日に到る

三日　前日來の強風殆ど終日吹續せり

四日　夜薄露あり

五日　（朝薄露あり午前十時五十分より小雨となり時々霰を交へて斷續し午後三時二十五分歇む午後六時強風吹けり夜霜あり

六日　（朝霜あり午前六時四十分より六時五十五分迄微雨あり午後三時五分より四時三十八分迄日暈午後六時五十分より九時四十分迄月暈現はる

七日　午前六時二十分より六時五十分迄及同九時六分より午後八時四十分迄小雨

第二表　大阪每日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

四月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	本年平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力 平均	溫度 平均	飽差 平均	風 速度 平均	最大 速度	全上 方向	最多 方向	雲量 平均	日照時數 本年	平年比較	降水量	蒸發量
一日	七二一一	三九▲	三四	一八七	六一	三六	八二	七四	三三	四七	二八	西南西	北東	四三	九四▲	一	四一	一二
二日	七二八	一二▲	一八	一六〇	七〇	九〇	七九	七	二〇	三二	三〇	北	北	八七	四二▲	一	四一	一二
三日	七五六	六一	三七	八六	四一	四五	四一	五九	三〇	九三	一五六	北	北	九五	三六▲	一八	一	二九
四日	七二一	四六	三七	六九	三五	四四	四八	七六	一六	三三	四六	南東	南中	九一	一	五一	一	一
五日	七二六	六一	三〇	一〇五	二八	七七	四六	六六	二五	三六	一〇七	北北西	北北東北	五二	四二	一二	一	二八
六日	七二一九	七九	二四	一三一	二九	一〇八	五〇	六四	二六	二八	六七	西南西	西南西	八六	四五	一二	一	三九
七日	七九二	六四	三二	八三	四三	四〇	五四	七五	二八	五九	五八	西	北東	八九	一	七五	一二八	一四
八日	七七一	八二	三二	一二九	三六	八三	五四	六九	二七	二八	六四	西	西	四一	九九▲	一	〇二	五
九日	七二一七	八〇	三八	一二九	三六	八三	五四	六九	二七	九〇	一四九	西	北北西	五二	四二▲	一二	〇九	三三
十日	七四一	八九	二六	一五〇	一七	一三	五九	七一	二〇	六一	六一	南南西	南南西北	一四	二八▲	五二	一	四二
十一日	七六一八	一〇五	一四	八八	四五	一四	六一	六八	二五	二九	七四	北	南南西	一九	四四	一	一	五一
十二日	七四一八	一二	〇八	八四	五五	三九	六三	六四	三九	三二	五一七	西南西	東北東	五二	八九▲	一八	一	三七
十三日	七五九一九	三四▲	〇三	一四二	一〇二	四〇	九〇	八三	一八	四二	一六一	北東	北東	一一	一	八八	一	一八
十四日	七二一	一四一▲	〇五	一六四	二二	五三	九三	七一	二七	九五	一七八	西南西	西南西	七〇	五一	三五	一	五五
十五日	七五九一	二二	二四	一六〇	八一	七九	六五	六三	四二	五一	九四	北北西	北北西	三一	九九▲	四六	一	四六
十六日	七五二一五	一〇三	三五	一四〇	六五	七五	六九	七三	二六	七五	一九五	西	北東	五九	五六	一六	九二	二七
十七日	七二八	九一	二六	一三九	五九	七〇	五四	六一	二六	六八	二六	北	北北西	三一	一二五▲	三一	一	四一
十八日	七七一五	九六	三一	一六六	二四	三二	六五	七五	二七	二一	八四	西	西南西	〇一	一二六▲	一六	一	三八

四月	午前 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午	午 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
氣壓平均	七六〇三	七六〇四	七六〇〇	七六〇〇	七六〇二	七六〇四	七六〇九	七六〇六	七六〇六	七六〇六	七六〇四	七六〇〇	七六〇六	七六〇四	七六〇〇	七五九八	七五九六	七五九四	七五九二	七五九二	七五九〇	七五九〇	七五九〇
氣溫平均	九、四四	九、八八	八、九四	八、〇三	八、六六	八、三三	九、九九	二、三三	三、六六	三、五五	三、三〇	四、二七	四、〇四	五、〇〇	五、〇七	四、七二	四、二二	三、七五	三、二四	二、五五	二、二八	一、八二	一、五三
水蒸氣張力平均	七、四八	七、三五	七、三〇	七、二六	七、一九	七、一八	七、二一	七、二五	七、三五	七、三五	七、三八	七、九七	八、〇六	七、九一	七、八〇	七、六八	七、五八	七、四八	七、三八	七、二五	七、一八	七、〇五	七、〇四
溫度平均	八、五	八、二	八、八	八、四	八、一	七、九	七、〇	六、四	六、四	六、三	六、二	六、四	六、六	六、二	六、三	六、四	六、六	六、七	六、八	六、八	六、七	六、九	六、九
飽和差平均	一、六四	一、八二	一、五四	一、四七	一、二五	一、一四	一、九八	二、二二	二、二二	二、二二	二、二二	一、九一	一、七四	一、五二	一、二二	一、〇二	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	二、〇〇	一、九二
風速平均	三、五九	三、六二	三、九四	三、九〇	四、三八	四、一二	四、〇〇	四、一八	四、三三	四、〇〇	四、〇〇	四、七五	五、〇五	五、一一	五、一四	五、一八	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	五、二二	四、七〇	四、三
雲量平均	五、〇	四、六	五、五	四、五	六、二	六、四	五、九	六、五	五、八	五、五	五、三	五、三	五、〇	四、九	四、八	四、五	五、〇	六、〇	六、〇	六、〇	五、五	五、五	五、〇
日照時數	一	一	一	一	一	〇、三	〇、〇	九、〇〇	七、〇〇	九、〇	七、〇五	七、〇五	五、〇五	二、九五	一、八五	〇、五	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇	〇、〇
降水量	二、八	二、六	三、三	一、九	〇、三	〇、七	〇、九	〇、七	〇、〇	四、五	一〇、〇	四、九	三、四	二、七	〇、三	〇、〇	四、〇	四、八	五、〇	五、〇	二、六	一、八	五、九
地中溫度（平均）地皮	一、六	一、六八	一〇、〇六	一〇、〇〇	九、八五	九、九一	一〇、七二	一一、〇	一一、九	一一、六六	一一、六八	一一、八八	一一、九八	一二、八八	一二、五五	一二、二五	一二、〇五	一一、九五	一一、八五	一一、八五	一一、八五	一一、七五	一一、七五
十糎	一、八	一、六	一、四	一、八	一、二	一、八	一、七	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六
二十糎	一、六	一、六	一、六	一、六	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五	一、五
三十糎	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六
六十糎	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六	一、六

二十七日午前一時の十六度七最低は八日午前十一時乃至午後二時の九度六なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて十三度二九最低は午後二時にありて十二度八六を示し其較差は零度四三なり

地中六十糎の温度　平均は十二度六六にして平年に比すれは零度一七低く月中の最高は二十八日午前十一時乃至夜半の十五度三最低は九日午前一時乃至七時の十度九なり但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

以上列記する地中温度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後九時同三十糎にありては夜半に生し最低は地皮にありては午前五時地中十糎にありては午前八時同二十糎にありては午前十一時同三十糎にありては午後二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得へし

最低地温　平均は四度〇四にして平年に比すれは一度七四低く月中の最低は五日午後十一時の零下三度二なり又零下に降りたる日數は七日にして平年に比すれは四日多し

天氣日數

快晴は五日にして平年より一日多く曇天は九日にして平年より一日少く霰は一日電雷は二日にして孰れも平年に等しく霜は六日にして平年より四日多し

尙詳細は左に揭くる氣象觀測成績表を參照すへし

に最大は午後四時にありて八米〇七最少は午前一時にありて三米五九を示し其較差は四米四八なり風向は北風最も多く西風之れに亞き南東風最も少し之れを平年に比すれは北風は多くして北東乃至東風は少し

雲量及日照時數　雲量の平均は五、四にして平年に比すれは〇、六少く日照時數は二百六時一五にして平年に比すれは四時四八多く一日中日照時間の最も長かりしは二十九日の十二時〇〇なり

降水及蒸發量　降水日數は十五日にして平年に等しく其水量は七十五粍六にして平年に比すれは四十六粍七少く一日中の最多量は二十日の十七粍三、一時間の最多量は十六日午前十一時の五粍九なり又蒸發量は百十七粍一にして平年に比すれは二粍八少く一日中の最多量は二十八日の八粍五なり

地中溫度及最低地溫　地皮溫度の平均は十三度八四にして平年に比すれは一度二一低く月中の最高は三十日午後一時の三十度〇最低は八日午前六時の四度五なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて二十度九八最低は午前五時にありて九度八五を示し其較差は十一度一三なり

地中十糎の溫度　平均は十三度一五にして平年に比すれは零度九一低く月中の最高は二十六日午後七時の二十度一最低は八日午前八時の七度一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて十四度六七最低は午前八時にありて十一度七六を示し其較差は二度九一なり

地中二十糎の溫度　平均は十三度一一にして平年に比すれは零度七一低く月中の最高は二十六日午後九時乃至十時の十七度八最低は八日午前九時乃至十一時の八度六なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後九時にありて十三度七一最低は午前十一時にありて十二度五二を示し其較差は一度一九なり

地中三十糎の溫度　平均は十三度〇四にして平年に比すれは零度六二低く月中の最高は二十六日夜半乃至翌

氣溫

平均は十一度七七にして平年に比すれは一度二七低く日々の變化は氣象圖に示すか如く上旬の初め二日間は前月來の高溫を繼承し溫暖なりしも爾後氣候激變し冷氣となり中旬より徐々溫暖に向ひしも十五日頃より又冷氣となり下旬に入り平年と大差なきに至れり而して最高は二十六日午後五時頃に於て二十三度〇を示し最低は十日午前五時頃に於て一度七を示せり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて十五度〇七最低は午前五時にありて八度六八を示し其較差は六度三九なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は七粍六四にして平年に比すれは零粍六九低く月中の最高は二十二日午後九時及二十五日正午の十三粍三最低は三日午後五時及十時の三粍五なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて八粍〇七最低は午前六時にありて七粍一八を示し其較差は零粍八九なり

濕度の平均は七十二、二にして平年に比すれは〇、五少く月中の最少は二十八日午後三時及五時の二十九なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前四時にありて八十二、四最少は午後三時にありて六十一、二を示し其較差は二十一、二なり

飽差の平均は毎立方米中三瓦〇七にして平年に比すれは零瓦一七少く月中の最多は二十八日午後三時の十一瓦四最少は二十三日午前四時乃至六時の零瓦一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にありて五瓦一七最少は午前五時にありて一瓦四六を示し其較差は三瓦七一なり

風

平均速度は毎秒五米三一にして平年に比すれは零米二四弱く月中の最大速度は二日午後六時乃至七時にありて二十米二（一間平方面を垂直に壓する力は四十三貫二百目）の北風なり又強風以上の吹きたる日數は十五日にして平年に等しく其時數は九十三時にして平年に比すれは十時多し又月平均に就きて一日中の變化を看る

大阪測候所月報

大正三年四月 大阪氣象概況

冬季より春季に移るに從ひ氣候温暖となるか故に冬季亞細亞大陸にありたる高氣壓は漸次に衰へ四月には殆んと消散し爲めに西乃至北西風は殆と其跡を絶ち南西風となり氣温上昇し前月に比すれは五度内外の高温を呈せり然れとも此月は氣候變遷期なるを以て高低氣壓の去來頻繁にして天氣定らす同一の天氣を持續することは極めて少く氣温も亦た一高一低定らすして往々氣候順を失し不時の結霜を觀ることあり然り而して本月の氣候を調査するに概して平年より冷氣にして日照時數は稍々多く降水日數は平年に等しきも其水量は少し又强風以上の吹きたる日數は平年に等しきも其吹續時數は平年より多し而して終霜は十八日にして平年に比し八日遲かりし

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ケ年平均なり

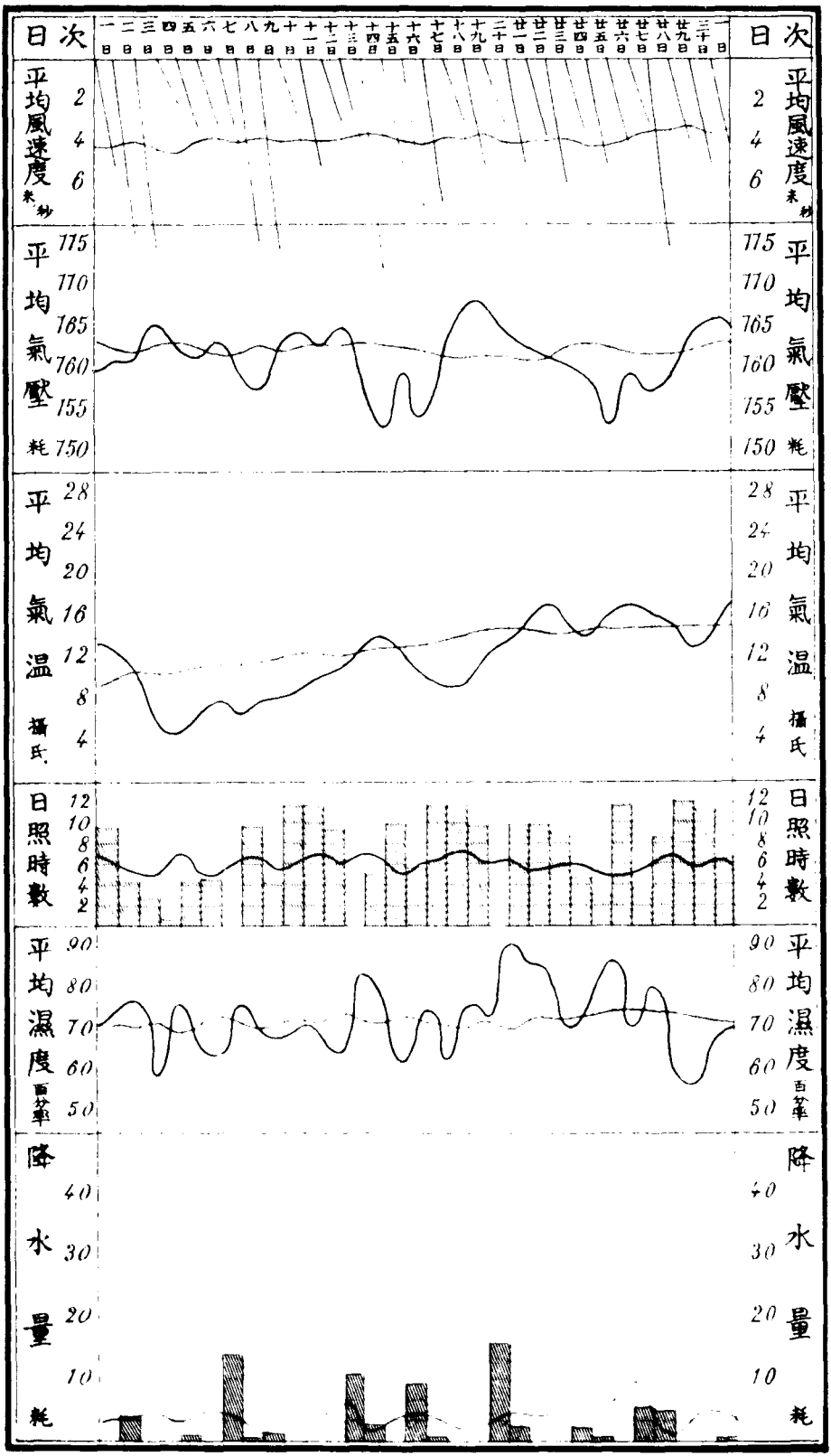
氣壓

平均は七百六十一粍一八にして平年に比すれは零粍七八低く日々の變化は氣象圖に示すか如く稍々著明なる昇降は三回にして其他は微少なり而して月中の最高は十九日午前九時の七百六十九粍五最低は十六日午前十時及午後二時乃至三時の七百四十九粍八なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時乃至十時にありて七百六十一粍六八第一の最低は午後四時にありて七百六十粍一七を示し第二の最高は午後九時及十一時にありて七百六十一粍七二第二の最低は午前四時にありて七百六十一粍〇一を示せり而して其主なる最高低の較差は一粍五五なり

大正三年四月

大阪氣象圖

April. 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度、ハ本年 ―― 平年 ―― 日照時數ハ本年 ▒▒ 平年 ―― 降水量ハ本年 ▒▒ 平年 ――

例言

一本報は當測候所及管內各觀測所に於て觀測したる每月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管內各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量幷に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一步面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動すもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動すもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管內氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝德
尾崎	仝國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	仝國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森內清次
長承寺	仝國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	仝國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝國大阪市	北區上福島	一三五度三一分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田靈照
池田	仝國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	仝國豐能郡	枳根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河內國北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝國北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	仝國中河內郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	水谷芳松
柏原	仝國南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿內農事試驗支場
富田林	仝國南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝國南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本連水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

APRIL 1914

大阪測候所月報

大正參年四月

第拾五年第四號

LIBRARY
JUL 13 1914
Weather Bureau

目次

○四本年大阪氣象概況　附圖
○四本年大阪府管內氣象概況
○四本年大阪塩霧觀測概況
○出水豫報に就て
○本年四月上中二旬の冷氣に就て
○四月二日の暴風概況
○四月十六日の暴風雷雨概況
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否
○新刊寄贈書目

大正三年六月一日印刷
仝　年六月二日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）

大阪市西區江戸堀下通三丁目二十五番地
印刷所　合會資社三交堂
（電話土佐堀二三四一番）

一大正三年二月臺灣氣象概況		一	臺北測候所
一壇測候所氣象月報	第三十二年一號	一	境測候所
一靜岡縣氣象月報	大正二年自十月至十二月	三	濱松測候所
一大正二年八月廿七日暴風雨出水報告		一	熊谷測候所
一群馬縣管內氣候月報	大正二年自六月至九月	四	前橋測候所
一氣象要報	同年十一月	一	神戸測候所
一長崎縣氣象月報	同年自八月至十月	三	長崎測候所
一濱寺ノ氣候	大正二年度	一	石神療養所測候部
一廣島縣氣象月報	自大正元年十二月至大正二年四月	五	廣島測候所
一那覇氣象累年報一覽		一	那覇測候所
一三重縣氣象月報	大正二年十月	一	津測候所
一靜岡縣氣象略報	同年十一、十二月	二	沼津測候所
一飛驒氣象年報	大正二年	一	高山測候所
一京都府氣象月報	同年四、五月	二	京都府測候所
一神奈川縣氣象月報	大正三年一月	一	神奈川縣測候所
一神奈川縣管內氣象年報	大正二年	一	同所
一横濱氣象年報	同上	一	同所
一氣象年報	明治四十二、四十三年	二	熊本測候所
一氣象月報	自明治四十二年一月至同四十三年十二月 大正二年自一月至十二月	三六	同所
一天氣圖	千九百十四年二月	一	ジカウエー觀測所
一地震報告	自千九百十三年十月至千九百十四年二月	五	同所
一地震報告	千九百十三年同年十二月	二	グラナダ觀測所
一地震報告	千九百十四年二月	一	ギルドホールド觀測所
一氣象報告	千九百十三年自九月至十二月	四	ベーロット觀測所
一地震報告	千九百十四年二月	一	イルクツク觀測所
一地震報告	千九百十三年自九月至十二月	四	バタビヤ觀測所
一天氣圖	千九百十四年一月	一	アルセンチン觀測所
一天氣圖	同年一月	一	羅馬觀測所
一地震報告	同年二月	一	マニラ觀測所
一比律賓島に於ける地質の構造と地震動の關係		一	同所
一地震の記錄	千九百十三年	一	同所
一マウントウエザー觀測所紀要 第六卷第三號		一	北米合衆國天氣局
一氣象年報	千九百九、十年	二	ベネジア觀測所
一氣象月報	千九百十一、十二年	二四	同所
一天氣圖	千九百十四年一月	一	トロント觀測所
一地震報告	千九百十三年自八月至十一月	四	ボリビヤ觀測所
一英國地震會紀要	同年四、五月	二	シヤイド觀測所
一英國地震調査委員會第十八回報告		一	同所
一天氣圖	大正三年三月	一	中央氣象臺
一會報	大正元年 仝二年	二	煤煙防止研究會
一沖商會月報	第百二十三號	一	沖商會大阪出張所
一學燈	第十八年二號	一	丸善株式會社大阪支店
一貿易通報	二月號	一	大阪商業會議所
一養鵝指針	第百二十四號	一	重枝養禽園
一商船學校々友會雜誌	第百八十二號	一	商船學校々友會
一通俗衛生	第百八十八號	一	大阪私立衛生會
一遞信公報	大正三年三月	一	遞信省

最大干滿差	一七八糎	一六二糎	一八五糎
其日	十四日	十二日	十三日
最小干滿差	二一糎	三八糎	五二糎
其日	二十二日	二十一日	二十三日

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報 風向	三一	二九	二	〇	九七
天氣豫報 天氣	三一	二八	三	〇	九五
天氣豫報 溫度	〇	一	一	一	—
暴風警報	四	三	一	〇	八七

新刊寄贈書目

一秋田縣氣象月報　大正三年一月　一秋田測候所
一岐阜縣氣象月報　同上　一岐阜測候所
一山形縣氣象月報　同上　一山形測候所
一氣象月報　同上　一濱田測候所
一朝鮮氣象月報　同上　一朝鮮總督府觀測所
一滋賀縣氣象月報　同上　一彥根測候所
一千葉縣氣象月報　同上　一銚子測候所
一氣象月報　同上　一愛知縣測候所
一氣象報告　同上　一福岡測候所
一滿州氣象概況　同上　一關東都督府觀測所
一大連氣象表　同年一、二月　二間所
一旅順氣象表　同上　二關東都督府觀測所
一福島縣氣象月報　同上　二福島測候所
一奉天氣象表　同年二月　一奉天觀測支所
一四阪島氣象表　同上　一住友別子鑛業所
一新居濱氣象表　同上　一同所
一別子山氣象表　同上　一同所
一愛媛縣氣象月報　同上　一松山測候所
一氣象要覽　臨時增刊　一中央氣象臺
一氣象要覽　第百七十號　一同臺
一山梨縣氣象月報　大正二年十二月　一甲府測候所
一新潟縣氣象報　同上　一新潟測候所
一富山縣氣象報　同上　一伏木測候所
一北海道氣象月報　同上　一札幌測候所
一飛驒氣象月報　同上　一高山測候所
一鹿兒島縣氣象月報　同上　一鹿兒島測候所
一對馬氣象月報　同上　一嚴原測候所
一氣象略報　同年自一月至十二月　一二多度津測候所
一多度津每時氣象五年報　自明治三十九年至大正四十三年　一同所
一明治四十一年香川縣管內降水量日表　四十二年　二同所
一上高地溫泉氣象農藝氣象調査　一松本測候所

●淀川の水位

三島郡島本村廣瀬ノ累年平均水位　三尺〇寸〇分
北河内郡庭窪村大日ノ累年平均水位　二尺四寸五分

三月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
一日	一、九五	一、六五	二、〇八	二、〇〇
二日	一、九〇	一、八五	二、九〇	二、一〇
三日	三、一〇	三、四五	二、七五	三、二〇
四日	二、二五	二、九〇	三、五〇	三、一六
五日	二、八〇	二、五五	三、〇二	二、八〇
六日	二、五〇	二、七〇	二、七二	二、五九
七日	二、九〇	四、一〇	二、七五	三、七二
八日	四、二〇	三、六〇	四、一五	四、二五
九日	三、四〇	三、四五	三、九五	三、八五
十日	三、八五	三、四五	三、七五	三、七〇

平均水位 廣瀬三尺一寸七分
最高水位 廣瀬四尺七寸五分（十五日午後六時）

三月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
十一日	三、四〇	三、二五	三、四八	三、三〇
十二日	三、三〇	三、二五	三、三八	三、二〇
十三日	三、二五	三、〇五	三、三〇	三、二五
十四日	三、三	三、八〇	三、二八	三、六〇
十五日	四、二〇	四、七五	四、二〇	三、九二
十六日	三、七〇	三、三五	三、七〇	三、五五
十七日	三、四五	三、二〇	三、四二	三、三〇
十八日	三、二五	三、二〇	二、三三	二、〇三
十九日	三、三五	三、二五	三、四〇	三、二五
二十日	三、一五	二、九	三、二五	三、一五

大日 三尺二寸四分
四尺二寸五分（八日午後六時）

三月	廣瀬 午前六時	廣瀬 午後六時	大日 午前六時	大日 午後六時
二十一日	三、〇〇	二、八	三、一	三、五
二十二日	二、九五	二、七五	三、	二、八八
二十三日	二、八〇	二、七五	二、九五	三、〇〇
二十四日	三、一〇	三、七〇	三、一五	三、六五
二十五日	三、九〇	三、七〇	三、八五	三、九〇
二十六日	三、五五	三、五〇	三、六五	三、四〇
二十七日	三、三〇	三、〇〇	三、四五	三、四〇
二十八日	三、二五	二、九	三、二〇	三、一三
二十九日	三、〇〇	二、八五	三、一九	三、〇八
三十日	二、九五	三、〇五	三、一二	三、一五
三十一日	三、七五	三、七五	三、六〇	三、七六

●大阪港潮汐觀測

種目＼月別	一月	二月	三月
平均潮位	一〇三、〇糎	九九、六糎	一一五、三糎
平均干滿差	一一二、二糎	一一二、八糎	一一三、二糎
滿潮の極	二〇三糎	一七八糎	二一七糎
其日時	七日 午後五時	二十六日 午前八時	七日 午前五時十分
干潮の極	二糎	一二糎	二二糎
其日時	十三日 午前三時十五分	十一日 午前二時三十分	十三日 午前一時三十五分

下流なる東成郡城北村大字毛馬の量水標の示す所とを掲けしか毛馬量水標は本年二月限り之れを廢止したるを以て毛馬より少しく上流なる北河内郡庭窪村大字大日の量水標の示す所を本月より掲載することゝせり

今淀川本支流域の量水標位置及高低並距離を列記すれは左の如し

淀川本流

量水標所在地	一定基線上の高	各量水標間の距離
近江國滋賀郡石山村大字鳥居川	二百八十尺二寸	
山城國久世郡宇治町大字宇治	五十尺七寸	自石山至宇治　五里十五町
仝　紀伊郡向島村大字橋詰町	四十尺二寸	自宇治至向島　一里十八町
仝　仝　納所村大字納所	三十五尺一寸	自向島至納所　一里十二町
攝津國三島郡島本村大字廣瀨	三十尺一寸	自納所至廣瀨　一里六町
河内國北河内郡庭窪村大字大日	十四尺九寸	自廣瀨至大日　四里十七町四十八間
攝津國東成郡城北村大字毛馬	六尺四寸	自大日至毛馬　一里二十八町十一間
		自毛馬至大阪灣　三里十二町

支流桂川筋

山城國葛野郡嵯峨村大字天龍寺	百十一尺一寸	自嵯峨至羽東師　三里十一町
仝　乙訓郡羽東師村大字鴨川	三十八尺九寸	自羽東師至納所　一里十四町

支流木津川筋

山城國相楽郡上狛村大字上狛	百〇尺八寸	自上狛至八幡　六里十一町
仝　綴喜郡八幡村大字八幡	三十五尺三寸	自八幡至廣瀨　一十三町

計算するに五千四百六十五粁となり大阪より稍々近く樺太太泊の觀測に依れは五千九百九十四粁にして東京及大阪より遠し更に比律賓島「マニラ」觀測所の報告に依り同法を以て震源距離を計算するに六千百二十二粁にして以上の三ヶ所より遠し其他九州、上海、西比利亞南部等の觀測を綜合するに其震源は本邦の南東方にありて東經百七十五度北緯二度許なる「ギルバート」島附近に當れり今各所の發震時と震央地までの距離を別記し他日の參考に供す

	發震時	震央地までの距離
東京	午前一時三九分三五秒	五四六五
水澤	仝 一時三九分三七秒	—
大阪	仝 一時三九分四一秒	五九六五
マニラ	仝 一時三九分一〇秒	六一二二
福岡	仝 一時三九分四四秒	六一四九
長崎	仝 一時三九分四四秒	六〇八九
奉北	仝 一時三九分四五秒	—
函館	仝 一時三九分五六秒	—
ジカウエー	仝 一時四〇分一〇秒	六三〇〇
仁川	仝 一時四〇分二四秒	—
太泊	仝 一時四〇分二八秒	五九九四
イルクツク	仝 一時四二分二七秒	八九〇〇
ギルドホールド	仝 一時五三分一八秒	—

備考 「マニラ」の發震時は約三十秒許早きやの感あり尚瓜哇「バタビヤ」、濠洲「シドニー」等の報告を待て再報する所あるへし

●淀川の水位

從來淀川の水位は本府管内に於て上流地方なる三島郡島本村大字廣瀬の量水標の示す所と其

三月二十六日	一〇、九	北	午前八時	二	二	—	三月二十八日	三、八	西	午後五時	二	六
仝 二十七日	二、八	西南西	午後五時	二	二	—						

●遠距離の大震

技手　圓岡平太郎

四月十二日午前一時過當所に備付ある大森博士發明の地動計は稍々著しき遠距離の地に發したる大震の波動を記錄せり其發震時は午前一時三十九分四十一秒にして第一初期微動の繼續時間は七分二十二秒、第二は六分零秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時五十七分五秒に於て六百三十二「ミクロン」振動期二十秒二、南北動は午前一時五十八分一秒に於て七百四十七「ミクロン」振動期二十一秒六を現し後漸次に微となり靜止せしか總振動時間は東西は二時十分四十七秒、南北動は二時十四分九秒に亘れり即ち次表に示すか如し

東西動地動計觀測

發現時			最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動	P	一時三九分四一秒	—	— 秒
	S	仝 四七分〇三秒	—	—
主要動	L	仝 五三分〇三秒	—	—
	M_1	仝 五七分〇五秒	(十) 六三二	二〇、二
	M_2	二時〇〇分二七秒	(十) 一六七	一四、四
終期	F	三時五〇分二八秒	—	—

南北動地動計觀測

發現時			最大振幅（ミクロン）	振動期
初期微動	P	一時三九分四一秒	—	— 秒
	S	仝 四七分〇三秒	—	—
主要動	L	仝 五三分〇三秒	—	—
	M_1	仝 五八分〇一秒	(一) 七四七	二一、六
	M_2	仝 五九分三五秒	(十) 六四七	二〇、二
終期	F	三時五二分五〇秒	—	—

前表中第一初期より第二初期に至る點は稍々判明を缺けるか故に全初期微動の繼續時間に依り大森博士の算式を用ひ震央地までの距離を計算するに五千九百六十五粁を得又東京帝國大學地震學教室の觀測に依り同法を以て距離を

仝五日	一六、六	西北西、西	午前九時、午後一時		一三	五
仝七日	一〇、六	北	午後五時	一	一	|
仝十二日	一三、六	西	午後八時	一	一	|
仝十三日	一三、六	西南西	午後三時	八	八	|
仝十四日	一四、五	西	午前六時	一〇	一	|
仝十七日	一三、二	西	後八時三十分	二三	四	一八
仝十八日	一〇、六	北北西	午前四時		一	|
仝十九日	一三、八	西	午後十二時	一三	三	|
仝二十日	一三、九	西	午前三時		一一	|
仝二十三日	一五、七	西	午前十二時		一六	一
仝二十四日	一三、八	西	午前三時	四一	二三	|
仝二十五日	一〇、七	西北西	午前二時		二	|
仝二十八日	一三、五	西	午後五時	三	三	|
仝二十九日	一〇、七	南西	午後二時	一	一	|
仝三十日	一八、八	西	午後七時		五	一〇
仝三十一日	一二、〇	西	午前七時	三二	七	八
大正三年一月一日	一〇、九	西	午前一時		二	|
仝二日	一三、二	西	午後五時		三	八
仝三日	一〇、八	西南西	午前十二時	三七	三	二一
仝四日	一四、〇	西	午前一時		二	|
仝七日	一四、七	西	午後五時	三二	三	一三 內颶風四
仝八日	一六、五	西南西	午前二時		六	一〇
仝十四日	一七、六	西南西	午後四時	二四	二	一一
仝十五日	一〇、五	西南西	午前一時		九	二
仝十六日	一四、八	西	午前二時	一二	一二	|
仝二十一日	一四、六	北	午後二時	九	九	|
仝二十五日	一五、五	西	午後四時	九	七	二
仝二十六日	一三、四	西南西	午後二時	六	六	|
仝二十七日	一四、四	西	午前七時、午前六時	一一	一一	|
仝二十九日	一三、五	西南西、南西	午前[illegible]時、夜[illegible]時	五	五	|
仝三十日	一三、四	西南西	午後五時		六	|
仝三十一日	一〇、二	西	午前一時	七	一一	|
二月一日	一〇、九	南西	午後二時	五	五	|
仝二日	一〇、三	西南西	午前一時	二	二	|
仝六日	一〇、四	南南西	午後二時	一一	一	|
仝七日	[illegible]	北北西	午後三時	一一	一一	|
仝八日	一三、八	北東	仝四[illegible]	三	三	|
仝九日	一〇、四	北	午後三時	二	二	|
仝十九日	一三、八	北北東	午前七時	一三	一三	|
仝二十三日	一〇、三	北	午後三時	[illegible]	二	|
仝二十六日	一一、九	西南西、西	夜半、午後十二時	三	[illegible]	|
仝二十七日	一〇、一	西	午前一時		[illegible]	|
三月二日	一七、一	東	夜[illegible]三十分	一〇	九	一
仝七日	一六、八	西南西	午前九時	五	[illegible]	六
仝八日	一三、五	西	午前一時		五	
仝十一日	[illegible]	北東	午前六時	六	二	|
仝十二日	一〇、七	北東	午前二時		四	|
仝十四日	一四、九	北	午後六時	一三	一二	|
仝十五日	一三、一	南西	午後二時	一	一	|
仝十九日	一〇、四	北北西	午後一時	三	三	|

大阪地方は冬になると西の風烈しく數日間吹き續くことは業に已に報導せしか大正二年十一月より仝三年三月に至る五ヶ月間の概況を記せんに強風以上の吹きたる日數は六十五日にして平年に比すれは十日少く其時數は四百四十八時にして平年に比すれは百四十八時少く本冬季は近年稀なる強風少き年なりき而して其吹續時間の最も長かりしは十二月三日より仝月五日に至る五十一時間之れに亞くは十二月二十三日より二十五日に至る四十一時間なり而して其三十時間以上吹き續きたるは三回、二十時間以上は二回にして其他は二十時間以下なり又最大風速度は一月七日の毎秒三十四米三之れに亞くは十二月十七日の毎秒三十一米二なり

今各月に就て強風以上の吹きたる日數及時數を看るに十二月は最も多く十九日にして平年より一日、時數は百八十四時にして平年より三十八時孰れも多く之れに亞くは一月にして日數は十六日を算し平年より一日少く、時數は百五十四時にして平年より十五時多し而して二月は強風甚た少く其日數は十日にして平年より六日、時數は三十一時にして平年より百十六時少し斯く西の強風少かりしは大年二月の温暖なりし一因なるへし

今大正二年十一月より仝三年三月に至る期間の強風以上の最大速度と吹續時間等を表記すれは左の如し

年月日	最大風速度	其方向	仝上起時	強風以上 吹續時間	強風以上 強風時數	烈風以上時數	年月日	最大風速度	其方向	仝上起時	強風以上 吹續時間	強風以上 強風時數	烈風以上時數
大正二年十一月五日	二〇、六	北北東	午後二時	一	一	一	全二十二日	二〇、四	北北東	午前一時	一	一	一
仝七日	二〇、五	西北西	午後一時	二	二	一	全二十四日	三〇、二	北北東	午後四時	三	三	一
仝十日	三〇、四	北西	午前六時	四	四	一	全二十八日	二〇、六	西北西	午後二時	八	八	一
仝十四日	二〇、〇	西北西	午前五時	二	一	一	十二月二日	二〇、〇	北北東	午後八時	一	一	一
仝十七日	二〇、〇	東	午後二時	一	一	一	全三日	二〇、五	北西	午後八時		四	九
仝二十一日	二〇、四	北北東	午後十時		一	一	全四日	二〇、三	北西	午後二時	五一	一四	六

今當所に於ける毎時觀測の結果を記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣	月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
三月七日	第零時	七五〇、八	一六、七	南	八、〇	×	曇	三月七日	午後四時	七五三、一	一四、四	南西	八、四		雪
仝	一時	七五一、〇	一七、九	南	八、六		霧	仝	五時	七五一、〇	一三、五	西南西	四、一		霧
仝	二時	七五〇、三	一八、六	南	二、二	×	曇	仝	六時	七五四、一	一三、七	西南西	一、九		晴
仝	三時	七四九、七	一九、〇	南	九、七		曇	仝	七時	七五四、四	一二、九	南西	七、九		快晴
仝	四時	七四九、一	一八、六	南	一二、四	×	雨	仝	八時	七五三、三	一二、七	南西	六、一		快晴
仝	五時	七四七、四	一七、三	南	三、七		雨	仝	九時	七五二、一	一二、五	南南西	六、五		快晴
仝	六時	七四七、六	一七、八	南南東	一〇、六	×	雨	仝	十時	七五〇、五	一三、五	南南西	八、〇		快晴
仝	七時	七四八、七	一七、三	南南東	九、五		雨	仝	十一時	七五一、一	一四、九	南西	三、八		快晴
仝	八時	七四八、七	一七、八	南	五、三	×	雨	夜	午	七五〇、七	一三、八	南西	四、〇		晴
仝	九時	七四八、九	一八、四	西南西	一六、八		雨	八日	午前一時	七五〇、九	一三、	西	二、五		曇
仝	十時	七四九、七	一七、二	南南西	九、九		雨	仝	二時	七五〇、六	一二、九	西南西	一、〇		快晴
仝	十一時	七五〇、九	一三、〇	西南西	一〇、五		雨	仝	三時	七五〇、九	一二、八	西南西	一、〇		快晴
仝	十二時	七五一、一	一三、二	西南西	一〇、九		曇	仝	四時	七五八、六	一〇、九	南西	二、〇		快晴
仝	一時	七五二、八	一三、五	西南西	一〇、五		晴	仝	五時	七五九、六	一〇、五	南西	八、六		快晴
仝	二時	七五二、一	一三、九	西南西	一〇、二		晴	仝	六時	七六〇、一	一〇、二	西南西	七、二		晴
仝	三時	七五三、八	一四、八	西南西	九、一		快晴	仝	七時	七六〇、八	一〇、三	南西	四、八		曇
仝	四時	七五四、一	一四、四	南西	一〇、七		晴	仝	八時	七六一、一	一一、四	西南西	六、四		晴
仝	五時	七五四、五	一四、四	南西	一〇、七		晴	仝	九時	七六一、八	一二、九	南西	五、九		晴
仝	六時	七五四、三	一五、一	南西	九、五		快晴	仝	十時	七六二、八	一三、六	西南西	八、七		快晴

技手　藤川秀吉

三月	二日	午後十時	七五九、一	九、九	東	一二、五	七、〇	雷雨	三月	二日	夜半	七五六、八	一、〇	北東	八、五	〇、〇	曇
仝		仝十一時	七五六、九	一、〇	東北東	一二、五	六、五	雨									

●三月七日の暴風概況

三月四日午後楊子江上流に顯はれたる低氣壓（七百五十六粍）は北東に進み六日朝山東半島に來りて著しく深厚となり中心の示度は七百三十五粍に降り滿州及朝鮮は暴風雨となり仁川附近にては雷雨發生し九州西部は烈風又は颶風吹き天氣は概ね曇天にして雨將に至らんとする模樣あり而して該低氣壓は尙ほ北東に進み黃海北部に入りて七百三十二粍を示せしか爾後二個に分裂し東に進み七日朝滿州東部と日本海東部とに到りて孰れも七百四十二粍を示し高氣壓は南海岸沖にありて氣壓の勾配は甚大となり九州は天候恢復し晴天となりしも京阪以東は暴風雨となれり爾後低氣壓は北海道方面に經過し去ると同時に支那北部に高氣壓發生し黃海に擴張し來りたるか故に恰も冬季の狀態を呈し本邦は一般に西乃至北西の强風吹き奥羽以北は風雪烈しかりしも關東以西は天候恢復し快晴となれり

大阪にては五日朝來氣壓微降し六日より下降急となり夜に入り倍々急降し七日午前四時七百四十七粍四の最低に達し爾後漸次上昇せり、天氣は五日朝來好晴にして和風吹きしか午後一時過きより卷層雲西より流れ來り滿天を蔽ひ仝二時三十分より仝四時四十分まて日暈現はれしか爾後上層雲消散し再び快晴となり仝九時頃より上層雲南東方の天際に現はれ漸次擴りつゝ垂下し濃密となり六日午前一時には層積雲滿天を蔽ひ曇天となりしか時々微雨を催ふし夜に入り風向南に轉し漸次增力し七日午前一時三十分より强風となり仝二時二十分より降雨之れに加はり暴風雨となり仝四時五十分頃より雨勢稍々衰へ仝六時四十五分歇む此總雨量は三十二粍六にして最も甚たしき七日午前四時より仝五時に至る一時間には十八粍八にして三月中には稀なる大雨なりし而して風は尙ほ吹き續き仝九時に於て每秒速度二十五米八の最大に達し後漸次減力せり

夜に入り倍々急降し三日午前四時最低七百五十六粍三を示し爾後漸次上昇せり●天氣は一日朝來好晴にして靜穩なりしか正午過きより卷層雲西方より流れ來り午後二時頃より滿天を蔽ひ淡曇となり仝二時二十五分より三時四十一分まで日暈現はれ天候變調を呈せしか爾後上層雲は漸次垂下し濃密となり二日午前八時三十四分より小雨を催ふし仝十一時頃風向北東より東に轉し強風となり午後一時三十分には毎秒十七米〇の最大に達し後稍々減力せしも仝十一時まで強風吹けり雨は二日午後斷續せしか仝四時二十分南西方に遠雷起り漸次接近し仝五時五分には南方に來り仝五時四十分より雷雨となり時々大雨沛然として來り仝七時五十分南東方に到り仝十時十分電雷共に収り雨も亦た仝十時四十二分より衰へ仝十一時二十分歇む此雷雨の繼續時間は六時間にして其降水量は三十三粍一又最も強かりし二日午後九時より十時に至る一時間には七粍〇を測れり而して三月中に斯る雷雨のありたるは既往三十一年間に於て五回なりしか本年は就中強き方にありたり

今當所に於ける毎時觀測の結果を記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
三月二日	午前八時	七六六、三	一〇、一	東北東	六、八	—	曇
仝	仝九時	七六六、三	一〇、二	北東	五、八	〇、二	雨
仝	仝十時	七六五、四	九、六	北東	五、〇	三、四	雨
仝	仝十一時	七六三、八	一〇、〇	東北東	八、八	〇、八	曇
仝	仝十一時三十分	七六二、七	一一、八	東北東	一〇、三	×	曇
仝	正午	七六二、	一三、八	東	一一、三	—	曇
仝	午後零時三十分	七六一、四	一四、四	東	一三、五	×	晴
仝	仝一時	七六〇、八	一五、〇	東	一三、四	—	快晴
仝	仝一時三十分	七六〇、二	一五、五	東	一七、〇	×	晴

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
三月二日	午後二時	七五九、六	一五、三	東	一五、		晴
仝	仝二十分	七五九、五	一四、	東	一、六	〇	雨
仝	仝三時	七五八、八	一五、四	東	一、三	〇	曇
仝	仝四時	七五八、九	一四、〇	東	一〇、八	〇	曇
仝	仝五時	七五八、八	一三、六	北東	一〇、四	〇、四	雷雨
仝	仝六時	七五九、三	一二、四	北北東	七、六	一、六	雷雨
仝	仝七時	七六〇、五	一一、八	北	七、八	四、九	雷雨
仝	仝八時	七五八、九	一〇、七	北東	一一、五	六、八	雷雨
仝	仝九時	七五八、七	一〇、六	東北東	一一、三	一、三	雷雨

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして和歌山にては性質急なる微震を感し伊勢の津にては人身に感覺なきも普通地震計に感したり

五二　三月三十日午前三時二十四分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十二秒にして主要動となり最大振幅は午前三時二十六分十二秒に於て七「ミクロン」振動期二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分三十七秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は陸前沖に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は水戸附近に達し右卷にては上下動を伴ひたる劇震を感したり

五三　三月三十一日午前五時五十二分十一秒の地震

此地震は稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前五時五十二分五十四秒に於て二十五「ミクロン」振動期三秒六、南北動は仝時刻に於て三十七「ミクロン」振動期三秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分八秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして阿波の德島にては性質急なる微震を感し丹後の宮津にては人身に感覺なきも普通地震計に感したり

●三月二日の暴風、雷雨概況

二月二十八日午後臺灣の東方海上に顯はれたる低氣壓（七百六十四粍）は北東に進み三月一日朝九州南西方海上に來り爲めに九州及四國南部は雨天となり九州西部は南西の强風吹き起りしか其他は概ね晴天なり、二日朝低氣壓は九州西岸に接近し著るしく發達して七百五十六粍を示し京阪以西は概ね風雨となり關東は曇天にして奥羽以北は尙快晴なりき、爾後低氣壓は東に進み九州中部を横きり四國南部を掠め南海岸に沿ふて東進し雷雨を伴ひたり、三日朝房總沖に到りて七百五十四粍を示し東京灣は一時暴風雨となり關東、東北地方は雨天となれり然れども九州、四國は天候恢復し晴天となりたる所あり

大阪にては三月一日朝は氣壓著るしく高く七百七十三粍二を示せしか爾後徐々下降し二日午後より下降急となり

より二千五百粁、「イルクツク」より三千〇三十粁にして大阪よりは約四千百粁なり而して地動計に記する所は昨年十二月二十二日西藏の東方即ち支那雲南に發したるものと酷似せるも稍々弱く振幅は約二分一にして且つ少しく遠き所に發したるものと推せらる故に其震源は西藏の東方山間即ち雲南より少しく西方にあるならん今其發震時を列記すれば左の如し

ジカウエー	午後七時四九分四七秒
マニラ	仝　七時四九分三六秒
イルクツク	仝　七時五〇分三四秒
仁川	仝　七時五〇分三六秒
大阪	仝　七時五〇分五八秒
水澤	仝　七時五二分一九秒
函館	仝　七時五二分二三秒

五〇　三月二十九日午前二時十八分十一秒の地震

此地震は性質稍急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時十九分三十五秒に於て六十「ミクロン」振動期二秒四、南北動は午前二時十九分四十三秒に於て百四十「ミクロン」振動期二秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十七分四十三秒、南北動は十七分五秒なり

附記　此地震は下野國の北西部に發したる強震にして震域北方は北海道の南部に南方は東京、横濱附近に達し西方は丹後の宮津邊に及へり而して足尾にては水平上下兩動の強震を感し家屋動搖し布良、東京、横濱、熊谷、水戸、宇都宮等にても震を感したり

五一　三月二十九日午後二時六分四十九秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十六秒にして主要動となり最大振幅は午後二時七分七秒に於て二十八「ミクロン」振動期一秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分四十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

東京	仝 二時五〇分四四秒
大阪	仝 二時五〇分五七秒
福岡	仝 二時五三分三一秒
ツカウエー	仝 二時五三分二三秒
臺北	仝 二時五三分三九秒
イルクツク	仝 二時五五分〇九秒

四九　三月二十八日午後七時五十分五十八秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は五分十秒、第二は三分三十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時六分五十八秒に於て百七「ミクロン」振動期九秒一、南北動は午後八時四分五十八秒に於て九十二「ミクロン」振動期十八秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西は一時四分十四秒、南北動は一時四分四十六秒なり即ち左表の如し

東西動地動計觀測

發現時		最大振幅	振動期
初期微動	P	一九時五〇分五八秒	ミクロン	秒
	S	仝 五六分〇八秒	—	—
主要動	L	仝 五九分四四秒	—	—
	M	二〇時〇六分五八秒	一〇七	九、二
終期	F	二〇時五五分一二秒	—	—

南北動地動計觀測

發現時		最大振幅	振動期
初期微動	P	一九時五〇分五八秒	ミクロン	秒
	S	仝 五六分〇八秒	—	—
主要動	L	仝 五九分四四秒	—	—
	M	二〇時〇四分五八秒	九二	一八、二
終期	F	二〇時五五分四四秒	—	—

附記

此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所の觀測に依りて看るに震央地までの距離は「ツカウエー」

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十五秒にして主要動となり最大振幅は午前四時二十二分七秒に於て二十九「ミクロン」振動期一秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分三十五秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は琵琶湖の東岸に發したるものにして震域東方は名古屋邊に南方は伊勢の津附近に達し西方は備前の岡山附近に北方に越前の福井邊に及ひて長徑二十八里短徑二十里にして面積一千七百方里に亘り養根にては性質急なる微震を感したり

四七　三月二十七日午前十時一分二十六秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明せざれとも最大振幅は東西動は午前十時十四分二十八秒に於て三十五「ミクロン」振動期十四秒四、南北動は午前十時十六分十三秒に於て二十七「ミクロン」振動期十五秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十二分二十二秒、南北動は一時二十八分四十二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未た震源は詳ならざれとも水戸にても午前十時一分五十六秒に此地震を觀測したり

四八　三月二十八日午前二時五十分五十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前二時五十四分三秒に於て百十五「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午前二時五十三分三十九秒に於て百九十二「ミクロン」振動期十八秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十四分七秒、南北動は三十四分六秒なり

附記　此地震は三月十五日羽後國仙北及由利郡に發したる烈震の餘震にして震域北方は北海道の南部に南方は東京附近に達し南西方は沼津邊に及ひて長徑四十五里短徑三十三里にして面積四千五百方里に亘り秋田及石巻にては上下動を伴ひ振子時計の運轉を停止したる所あり又微動は遠く西比利亞南部及樂灘附近に達したり今其發震時を列記すれば左の如し

水澤　午前二時四九分二九秒

六分零秒に於て六十三「ミクロン」振動期五秒〇、南北動は午後八時十六分十七秒に於て百六十「ミクロン」振動期四秒八を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は十九分二十四秒、南北動は十六分三十四秒なり

附記　此地震は鹿島洋に發したるものにして震域北方に北海道の南部に南方は東京、横濱附近に達し西方は信州飯田邊より駿河の沼津附近に及ひて長徑四十三里短徑三十五里にして面積四千五百十方里に亘り金山、水戸及宇都宮等にては性質急なる烈震を感し家屋動搖せり又微動は遠く西比利亞南部に達したり

四五　三月二十一日午前七時五十一分三十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時五十三分五十六秒に於て百五十「ミクロン」振動期五秒〇、南北動は午前七時五十三分四十九秒に於て二百八十「ミクロン」振動期五秒四を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十九分二秒、南北動は二十七分四十六秒なり

附記　此地震は三月十五日午前五時頃羽後國仙北及由利郡に發したる烈震の餘震にして震域北方は北海道の南部に南方は東京、横濱邊に達し南西方は信州飯田及駿河の沼津邊に亘り秋田、宮古、石巻、山形等にては上下動を伴ひ家屋動搖せり又微動は遠く支那上海及西比利亞南部等に達したり今其發震時を列記すれば左の如し

水澤	午前七時四九分五八秒	
東京	仝	七時五一分一二秒
大阪	仝	七時五一分三七秒
福岡	仝	七時五二分一五秒
イルクツク	仝	七時五五分四一秒
ジカウエー	仝	七時五五分五五秒

四六　三月二十三日午前四時二十一分十八秒の地震

イルクツク	仝	一時二六分五九秒
長崎	仝	一時二七分一七秒
マニラ	仝	一時二九分一五秒
ギルドホールド	仝	一時三〇分一二秒

四三　三月十八日午後三時二十三分三十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は四分五十六秒、第二は四分四十三秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時三十七分四十三秒に於て三十五「ミクロン」振動期十四秒四、南北動は午後三時三十七分二十四秒に於て六十「ミクロン」振動期十四秒九を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十分八秒、南北動は一時二十七分三十秒なり

附記　此地震は前地震の餘震にして各所の發震時は左の如し

大泊	午後	三時二一分二六秒
函館	仝	三時二一分五二秒
水澤	仝	三時二二分一七秒
水戸	仝	三時二二分四三秒
大阪	仝	三時二三分三五秒
長崎	仝	三時二三分五六秒
イルクツク	仝	三時二四分〇九秒
マニラ	仝	三時二七分〇二秒

四四　三月二十日午後八時十四分二十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後八時十

イルクツク　　仝　七時五一分二七秒

四二　三月十八日午後一時二十六分十秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は四分五十六秒、第二は四分三十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時三十七分五十二秒に於て七十五「ミクロン」振動期十四秒四、南北動は午後一時三十九分四十三秒に於て百四十七「ミクロン」振動期十六秒八を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時五十一分零秒、南北動は一時四十八分二十五秒なり即ち次表に記するか如し

東西動地動計觀測

	發現時	振幅	振動期
初期微動 P	一三時二六分一〇秒	(ミクロン)	秒
初期微動 S	仝　三一分〇六秒		
主要動 L	仝　三五分三八秒		
主要動 M	仝　三七分五二秒	(一)七五	一四、四
終期 F	一五時一七分一〇秒		

南北動地動計觀測

	發現時	振幅	振動期
初期微動 P	一三時二六分一〇秒	(ミクロン)	秒
初期微動 S	仝　三一分〇六秒		
主要動 L	仝　三五分三八秒		
主要動 M	仝　三九分四三秒	(一)一四七	一六、八
終期 F	一五時一四分三五秒		

附記

此地震は本月七日午前四時十一分過勘薩加附近に發したるものと同震源帶に發したるものにして前の地震に比すれは稍々強き方にあり今其發震時を列記すれは左の如し

大泊	午後一時二三分五七秒	
函館	仝　一時二四分三五秒	
水澤	仝　一時二五分〇四秒	
水戸	仝　一時二五分三三秒	
大阪	仝　一時二六分一〇秒	

附記

此地震は羽後國仙北及由利郡に發したるものにして死者九十四名、傷者三百二十四名、全潰家六百四十棟、半潰家五百七十五棟を出し激震區域は約七十方里にして雄物川流域の沖積層上にある町村の被害大なりき、由利郡大澤鄉村に於ては山割れ山潰れ土地の龜裂砂水を噴出せしもの所々に散在し井水は激震區域内に於ては大抵濁りたり、由利郡正手澤附近の雄物川の川中に高さ三十間幅二十間長さ二町の島を生したり斯は其岸に近き山岳崩壞して地殼の一部を壓迫せしめたる爲めに生じたるものにして蓋し近年稀なる被害多き地震なりき而して強震を感したるは二千八百五十方里、弱震は一萬二千五百四十方里に亘り微動は西比利亞南部の「イルクツク」及比律賓島の「マニラ」に達し尙英國の「ギルドホールド」にも及びたり（本報二月號參照）

四一　三月十七日午前七時四十八分五十秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分四十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前七時五十六分五秒に於て五十五「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午前七時五十五分四十八秒に於て八十七「ミクロン」振動期六秒七を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十一分五十七秒、南北動は三十一分三十九秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならざれども各所の觀測に依りて看るに南洋「ミンダナオ」島の北東方海底に發したるもの、如し今其發震時を列記すれば左の如し

マニラ	午前七時四四分四三秒	
秋北	仝　七時四七分四一秒	
福岡	仝　七時四七分四九秒	
長崎	仝　七時四八分一三秒	
大阪	仝　七時四八分五〇秒	
岐阜	仝　七時四八分五九秒	
水澤	仝　七時四九分三一秒	

ギルドホールド（英吉利）　仝　四時一七分二四秒

三九　三月十一日午後六時五十三分四十九秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十九秒にして主要動となり最大振幅は午後六時五十四分三十四秒に於て二十一「ミクロン」振動期一秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分二十秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は備後洋に發したるものにして震域南方は四國の南部に達し北方は岡山附近に亘り四國は一般に弱震を感ず（就中新居濱及多度津は上下動を伴へり

四〇　三月十五日午前五時二分三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分三十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前五時三分五十三秒に於て千九百五十「ミクロン」振動期十二秒〇、南北動は午前五時三分五十八秒に於て千六百八十七「ミクロン」振動期十二秒〇を現し後漸次微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十六分七秒、南北動は一時十八分五十五秒なり即ち次表に記するか如し

東西動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動 P	五時〇二分〇三秒		
初期微動 S			
主要動 L	五時〇三分三四秒		
主要動 M	仝　〇三分五三秒	一九五〇	一二、〇
終期 F	六時一八分一一秒		

南北動地動計觀測

	發現時	振幅（ミクロン）	振動期（秒）
初期微動 P	五時〇二分一三秒		
初期微動 S			
主要動 L	五時〇三分三四秒		
主要動 M	仝　〇三分五八秒	一六八七	一二、〇
終期 F	六時二〇分五八秒		

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならされとも各所の發震時を列記すれば左の如し

大阪	午前零時三〇分一二秒
マニラ（比律賓島）	仝　零時三一分〇〇秒
ウカウエー	仝　零時三一分二二秒
イルクツク	仝　零時三三分一六秒

三八　三月七日午前四時十一分二十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は四分三十秒、第二は四分二十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前四時二十九分五十九秒に於て五十五「ミクロン」振動期十二秒〇、南北動は午前四時二十九分三十七秒に於て九十七「ミクロン」振動期十二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十七分十二秒、南北動は一時二十八分五十二秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならされとも各所の觀測に依りて看るに震央地までの距離は大阪より三千二百粁、「イルクツク」より三千五百粁にして發震時は樺太、北海道及本州北東部は早くして西方に到るに從ひ遲延せるが故に其震源は北東方にありて即ち勘薩加附近の地震帶より發したるものなるべし今各所の發震時を列記すれば左の如し

大泊（樺太）	午前四時〇八分四三秒
函館	仝　四時〇九分三四秒
水澤	仝　四時一〇分〇五秒
水戸	仝　四時一〇分二八秒
大阪	仝　四時一一分二五秒
イルクツク	仝　四時一二分〇九秒
マニラ	仝　四時一四分三七秒

三五　三月一日午前七時二十九分三十四秒の地震

此地震は極めて微にして振動の各部判明せざれとも最大振幅は午前七時三十分二十九秒に於て九「ミクロン」振動期二秒三を現し全振動時間は五分三十一秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　畿内附近に發したる微震なるべし

三六　三月三日午後十時十六分四十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は二分三十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十時二十分八秒に於て三十二「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午後十時二十分十一秒に於て四十「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十五分二十七秒、南北動は二十五分零秒なり

附記　此地震は北海道根室灣に發したるものにして根室にては性質緩なる微動を感じ石卷、福島にては人身に感覺なきも普通地震計に感じ微動は遠く支那上海及西比利亞南部等に及びたり今是等の發震時を列記すれば左の如し但し時刻は日本中央標準時に依る以下皆仝じ

水澤	午後	一〇時一四分〇五秒
岐阜	仝	一〇時一六分一八秒
大阪	仝	一〇時一六分四二秒
ジカウエー（支那上海）	仝	一〇時一八分四〇秒
イルクツク（西比利亞）	仝	一〇時一九分四六秒

三七　三月五日午前零時三十分十二秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明せざれとも最大振幅は東西動は午前一時十二分三十六秒に於て八「ミクロン」振動期十三秒〇、南北動は午前一時十三分四十二秒に於て二十「ミクロン」振動期十四秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時十分四十八秒、南北動は一時十二分四十五秒なり

雨降り翌日に亘る●十八日前日來の雨概ね午後歇み尾崎に強風吹けり●十九日概ね晴天所々に霜あり天王に雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十日概ね晴天所々に霜あり●二十一日概ね晴天清水に雨降れり●二十二日概ね晴天●二十三日未明より雨降り翌日に亘る●二十四日前日來の雨概ね午後歇む●二十五日晴曇相半し長承寺、大阪に雨降れり●二十六日概ね曇天大阪は雨に霰を混し天王に雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十七日概ね晴天所々に霜あり大阪、新庄、東郷、田原に雨、天王に雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●二十八日概ね晴天所々に霜あり新庄、田原に雨降り北部の山間は雪霰を混し尾崎、大阪、新庄に強風吹けり●二十九日晴曇相半し所々に霜あり●三十日未明より雨降り午後に至り歇み岸和田、大阪、新庄に虹霓あり●三十一日概ね晴天

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記せり極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

P は第一初期微動の發震時、S は第二初期微動全上、L は長波又は主震部全上、M は主震部の最大動、C は終期の最大動、F は振動の終とす又（十）は南北動にありては北、東西動にありては東、（一）は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」（粍の千分の一）を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十九回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものも亦た一回もなかりしか無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源の本邦内にありたるものは十二回にして羽後國仙北及由利郡三回、紀伊水道二回、畿内附近、北海道根室海、備後洋、鹿島洋、琵琶湖の東岸、下野の北西部、陸前沖の各一回なり又遠雷離地震は七回にして薩摩加附近に發したるもの三回、「ミンダナオ」島の北東方海底に發したるもの一回、西藏の東方に發したるもの一回、其他の二回は未た震源詳ならす今其觀測概況を列記すれは左の如し

廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日	卅一日	全月
三〇、八	〇、九	—	—	—	—	六、七	三三、二	—	一六六、九
二八、三	一、三	—	—	—	—	六、四	三三、四	—	一六五、八
二四、三	三、[illegible]	—	—	—	—	三、二	四〇、二	—	一九二、二
二一、九	一、三	—	—	—	—	三、七	二四、五	—	一五四、六
一九、七	一、八	—	—	—	—	六、五	三三、一	—	一九九、六
二二、〇	三、〇	—	—	—	—	四、[illegible]	三五、〇	—	一六二、四
二五、二	一、七	—	—	—	—	五、一	二四、一	—	一六四、〇
一九、六	〇、七	—	〇、〇	〇、〇	—	五、一	三三、一	—	一六八、〇
一七、三	一、〇	—	—	—	—	四、八	二四、[illegible]	—	一五三、三
三三、三	一、三	—	—	〇、一	一、三	四、九	三一、〇	—	一五四、八
二七、七	二、〇	—	—	—	—	六、五	二六、二	—	一六七、三
二七、〇	一、〇	—	—	—	—	七、五	二九、〇	—	二三六、五
三五、三	三、五	—	—	二、五	—	七、三	三三、八	—	二〇〇、五
一五、九	六、七	〇、三	一、九	二、七	〇、七	三、九	二五、三	—	二三三、七
二五、〇	五、〇	—	—	—	—	六、五	三二、〇	—	一六七、一
一六、三	三、二	—	—	—	—	五、二	三三、〇	—	一八九、六
三二、〇	二、四	—	—	—	—	一、八	二、[illegible]	—	一六五、三
二四、三	三、三	—	—	〇、一	一、四	四、三	二四、八	—	一七七、三
三二、七	一、〇	—	—	—	—	一、[illegible]	二九、[illegible]	—	一九八、〇
三二、二	二、八	—	—	—	—	一、[illegible]	[illegible]	—	一六九、五
一九、五	四、[illegible]	—	—	—	—	二、[illegible]	[illegible]	—	一九〇、八
三三、五	二、[illegible]	—	—	—	—	一、〇	三、七	—	七、[illegible]

管内天氣摘要

●一日概ね晴天岸和田、大阪に霜あり●二日概ね曇天なりしか午後より雷雨となり且つ強風之れに加りたる所多し●三日概ね曇天所々に雨降れり●四日概ね晴天所々に霜あり●五日概ね晴天長承寺、天王、田原に霜あり●六日概ね曇天尾崎、枚方に強風吹き大阪に雷鳴所々に雨降れり●七日未明一般に大雨強風ありて大阪に雷鳴ありしか後晴天となれり●八日概ね晴天なりしか午後より雨降り翌日に亘り尾崎、大阪に強風吹けり●九日前日來の雨午後に至り歇む●十日概ね曇天、天王に雨降れり●十一日概ね曇天所々に雨降り大阪、新庄、枚方に強風吹けり●十二日概ね曇天所々に雨降り大阪、新庄、柏原に強風吹けり●十三日概ね曇天なりしか午後より雨降り斷續して翌日に亘る●十四日前日來の雨、天王には雪を混し概ね午後に至り歇み尾崎、大阪に強風吹けり●十五日概ね晴天大阪、池田に霜あり所々に雨降り山間部は雪或は霰降れり●十六日概ね晴天所々に霜あり●十七日概ね晴天所々に霜あり午後より

第五表　管内降水日量

三月	深日	尾崎	岸和田	長承寺	濱寺	堺	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
一日	一・六	四・八	五・六	〇・四	四・一	一・五	二・三	三・四	二・〇	〇・〇	一・五						三・五	〇・七	五・〇		四・〇	二・四
二日	一八・〇	一六・三	二三・七	一六・三	二五・九	二七・七	二〇・〇	二〇・六	二七・六	三〇・二	三〇・〇	二四・五	三四・四	二七・五	三〇・〇	三三・五	二五・〇	二四・五	二五・〇	二七・〇	二一・〇	二三・三
三日										〇・一				〇・八								
四日																						
五日	一・二	〇・三												〇・一								
六日	二八・二	二七・四	三二・〇	二一・三	二七・二	二六・五	四二・〇	三三・九	二三・八	一九・二	二〇・〇	二七・三	四二・二	二七・〇	二七・〇	三〇・七	二八・〇	三一・八	二二・〇	二四・〇	二二・〇	二〇・二
七日					〇・五																	
八日	一四・八	一〇・四	一五・六	一六・〇	一四・三	二〇・〇	一六・〇	一六・一	一六・一	一六・〇	一二・〇	一五・五	一三・五	一七・〇	一四・〇	二二・七	一五・〇	一六・五	一四・〇	一四・八	一五・〇	一四・〇
九日	一・五	二・三	〇・五	〇・八	〇・九	〇・五	一・三	〇・七	〇・五	〇・三	〇・三	一・〇	一・三	一・五	一・五	〇・六	六・〇	一・八	三・〇	三・三	二・五	二・九
十日	〇・三	〇・三	一・七	〇・五	〇・四		〇・〇	〇・〇											〇・三	〇・一	二・五	二・三
十一日	三・〇	一・六	〇・七	一・〇	一・九	一・〇	二・七	三・一	二・八	三・二	六・二	七・四	六・〇	七・〇	五・〇	七・四	四・五	二・五	一・〇			〇・二
十二日								〇・一	一													
十三日	五・二	二・〇	一九・〇	一九・〇	一七・七	二一・〇	一九・〇	一八・〇	一九・二	一七・六	二三・六	一七・〇	二八・二	二三・九	一五・〇	一四・五	二六・〇	二一・七	一〇・〇	一八・〇	一一・〇	一九・三
十四日	一〇・〇	一・四	一・〇	〇・六	一・二	〇・五	一・二	一・二	〇・九	一・二	一・〇	〇・六	〇・五	〇・六	〇・五	〇・八	一・〇	一・七	一・六	二・八	一・〇	一・八
十五日				〇・二				〇・一		一・五	一・〇			〇・三		一・八	一・六		〇・八			
十六日	一〇																					
十七日	六・八	五・八	六・四	〇・六	四・七	一〇	八・二	八・七	九・四	九・五	一一	一二・五	一五・〇	一五・五	一一・五	一三・八	九・〇	七・八	七・四	六・八	七・八	七・八
十八日	〇・二	一・六	一・〇	〇・二	〇・八	〇・五	一・一	〇・六	〇・五	〇・三	〇・二	一・〇	一・〇	三・二	一・〇	一・五	〇・〇	一・〇	〇・〇	四・〇	一・〇	一・四
十九日																						
二十日																						
廿一日																						
廿二日	四・〇	三・一	三・三	〇・八	一・七	〇・五	三・一	四・〇	三・一	四・八	七・四	一〇・二	六・一	一三・〇	五・〇	一四・〇	一一・二	〇・四	一・〇	一・〇	二・四	一・五

觀測所	氣溫 平均最高	氣溫 平均最低	氣溫 平均 本年	氣溫 平均 平年ヨリ	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	降水 總量 平年ヨリ	日最多量	起日	午前十時 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	雷電	地震	午前十時天氣 快晴	曇天	暴風
深日	一五、[illegible]	五、九	一〇、三	▲一、四	三一、[illegible]	[illegible]	(一)〇、九	[illegible]	一八六、九	▲九九、五	三五、一	[illegible]	一二、九	六九	六、五	北	[illegible]	〇	[illegible]	[illegible]	〇	[illegible]	[illegible]	八	一六	[illegible]
尾崎	一五、四	五、[illegible]	一〇、六	▲一、四	三一、〇	六	(一)〇、四	二六	一六五、八	▲五四、三	三三、四	[illegible]	一〇、八	六六	五、四	北東	一七	[illegible]	[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]	二	[illegible]	九
岸和田	一四、[illegible]	五、九	一〇、一	▲一、[illegible]	三一、四	六	(一)〇、六	六	一九一、二	▲九七、三	[illegible]	[illegible]	一〇、八	六九	四、八	西	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	五	[illegible]	[illegible]	一四	一二	一
長承寺	一四、六	五、二	九、八	▲一、九	三一、四	二五	(一)[illegible]	[illegible]	一五四、六	▲六〇、〇	三四、五	[illegible]	一二、三	六四	四、八	東	一七	〇	[illegible]	[illegible]	五	[illegible]	[illegible]	一四	一三	[illegible]
濱寺	一五、[illegible]	四、九	一〇、[illegible]	／	三一、〇	二五	(一)一、五	六	一九九、六	／	三三、二	[illegible]	一二、[illegible]	七〇	五、[illegible]	北	一七	[illegible]	[illegible]	[illegible]		[illegible]	[illegible]	一四	五	六
堺	一五、[illegible]	六、[illegible]	一〇、六	▲一、五	三一、[illegible]	二五	(一)一、[illegible]	二六	一六一、四	▲七〇、一	[illegible]	[illegible]	一一、四	六三	五、五	北東	一五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	五	[illegible]
天王寺	一五、[illegible]	五、八	一〇、三	▲一、四	三一、一	二五	(一)一、三	六	一八四、〇	▲八〇、八	四〇、[illegible]	六	一二、[illegible]	六七	五、[illegible]	北	一五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一四	四
大阪	一四、〇	六、[illegible]	一〇、[illegible]	▲一、六	三一、六	二五	一、[illegible]	六	一六八、二	▲六九、一	三三、九	六	一〇、七	六八	六、[illegible]	北	一七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一	三	[illegible]	[illegible]	八	[illegible]
福島	一五、〇	[illegible]	一〇、六	▲一、[illegible]	三一、六	二五	(一)〇、六	六	一五三、三	▲五四、五	三七、六	二	一二、五	七三	五、五	北東	一五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一四	[illegible]
新庄	一四、七	五、四	一〇、〇	▲一、[illegible]	三〇、〇	二五	(一)一、〇	二六	一五四、八	▲六三、〇	三〇、三	二	一〇、三	七三	六、七	東	八	〇	〇	〇	七	[illegible]	[illegible]	九	八	五
池田	一四、六	四、三	九、五	▲一、七	二九、五	六	(一)二、五	六	一六七、三	▲六九、七	三七、七	二三	一二、三	六四	五、六	北西	一六	[illegible]	〇	〇	九	一	[illegible]	三	一四	[illegible]
妙見山	一〇、一	一、六	五、九	▲一、四	二七、六	二五	(一)四、五	六	二二六、五	▲一二九、七	三七、〇	二三	五、八	九〇	六、一	東	一四	三	〇	一	〇	一	[illegible]	二	七	一
東郷	一三、四	三、二	八、三	▲一、七	三〇、五	二三	(一)三、五	一	二〇〇、五	▲九一、七	四三、二	六	一二、三	六八	五、五	南	一五	三	一	〇	三	〇	[illegible]	八	一二	[illegible]
天王	一二、三	一、八	六、六	▲一、七	二八、二	二二	(一)四、九	八、六	二〇一、七	▲五八、三	三七、五	二三	八、三	七三	五、七	西	二	六	〇	〇	五	[illegible]	[illegible]	七	一二	[illegible]
茨木	一四、五	四、三	九、四	▲一、五	三一、〇	二三	(一)一、五	九	一六七、〇	▲六三、七	三〇、〇	二三	一二、四	七三	五、三	西	一四	〇	〇	〇	四	一	[illegible]	一二	一三	二
清水	一三、五	三、〇	八、三	▲〇、八	二九、四	二五 二三	(一)四、二	七	一八九、六	▲八八、五	三三、五	二三	一〇、一	六三	七、[illegible]	南	一五	〇	〇	〇	六	一	[illegible]	五	一八	一四
枚方	一五、[illegible]	五、二	一〇、二	▲一、四	三〇、五	二三	(一)一、五	六	一六五、三	▲六〇、四	二八、〇	六	一三、〇	六四	五、九	北	一六	〇	〇	〇	五	一	[illegible]	一四	一七	一四
田原	一四、七	三、六	八、七	▲一、二	三一、〇	二三	(一)三、四	二〇	一六七、二	▲五五、〇	二二、八	六	一〇、八	六九	六、三	西東	一七	〇	〇		六	一	〇	六	一四	一
八尾	一五、四	五、三	一〇、四	▲一、五	三一、〇	二三、二五	(一)一、〇	三〇、六	一五八、〇	▲六三、二	二九、〇	二三	一二、五	六九	五、[illegible]	西	一七	〇	〇		三	一	[illegible]	一三	一四	二
柏原	一五、二	四、四	九、八	▲一、〇	三一、六	二三	(一)二、一	二六	一六九、五	▲六六、〇	三四、〇	六	一〇、七	七七	五、五	西北	一四	〇	〇	〇	四	一	[illegible]	一三	一四	一三
富田林	一五、四	四、六	一〇、一	▲一、八	三一、五	二三	(一)一、三	一〇	一九二、八	▲九四、八	三五、〇	八	一二、四	六八	四、九	南西 北東	一五	〇	一	〇	二三	一	[illegible]	六	一四	[illegible]
長野	一四、三	四、六	九、四	／	三〇、五	二三	(一)三、三	三〇	一七〇、二	／	三一、七	三〇	一〇、七	六八	五、七	北	一六	〇	〇	〇	二三	一	[illegible]	一〇	一三	二

の零下四度五全清水の零下四度二を低極とし全東郷の零下三度五東部田原の零下三度四之れに亞き其他も一般に零下に降りたれとも西部の西端大阪は零下に達せすして零度二を最低とせり之れを要するに本月の氣温は最高二十二度四より最低零下四度九の間にありて其較差二十七度三に達せり

降水

總量は北部妙見山の二百十六粍五より西部福島の百五十三粍二の間にありて之れを平年に比すれは一般に五十粍以上の多量にして就中岸和田、妙見山の如きは平年の二倍以上に達せり而して日量の最多は其日區々なりと雖も二日、六日及三十日に現はれたるもの最も多くして東郷の四十三粍二、天王寺の四十三粍〇、岸和田の四十粍二を最とし其他は三十粍以上なりしも福島、天王、枚方、八尾は二十八粍内外なりき

雷雨

は二日、六日、七日、二十四の四回にして其中二日に起りし雷雨は稍々顯著にして其他は極めて微弱なりき今二日の雷雨に就て詳記すれは左の如し

二日午後四時過大阪灣の西方より起り漸次東進して大阪附近より上陸し淀川を遡上して山城國境に經過せしものゝ如く其經路には三十粍以上の降雨あり且つ大阪控訴院に落雷し電線に感電して一時に燃え上りしも幸に人畜には被害なかりしと云ふ

第四表　管内全月氣象觀測成績

（表中▲印は高又八を

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
觀測回數	二二	一七	四十	二〇	三八	一二六	六二	四五	一	北一度東	二四
平年比較	▲ 一五	三	三	▲ 一	一	▲ 一九	二九	七			

大阪府管內氣象概況

前項に於て既に叙述したるか如く三月は亞細亞大陸の高氣壓漸次低減し爲めに西乃至北西の寒風稍々衰へ氣溫著しく上昇を促し漸く春季の狀態に遷らんとするに至り月の初終両端の差異は甚た大なり而して降水量は前月に比すれは著しく增加するを常とす今本年三月の氣候を調査するに上旬は前月の高溫を繼承して溫暖に經過し中旬に入りては氣候の變化著しく十三日には概ね最高の極に達し十五日頃より冷氣となり十六日には殆んと氣溫零下に降りて最低の極を現はし山間部には雪霰を降せり爾後稍々冷涼なりしか下旬に入りては復々溫暖となり以て翌月に入れり而して降水は一般に多く月の半以上は雨天にして其量も亦多く平年の二倍以上に達せし所あり要するに本月は氣溫高く降水量多く所謂溫暖多雨に經過せしものなり更に氣溫、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣溫　平均は南部尾崎仝堺及西部福島の十度六より北部妙見山の五度九の間にありて之れを平年に比すれは一般に高く其差大なるは三度一に達せり而して最高は概ね十三日に現はれ南部長承寺の二十二度四及濱寺、堺の二十二度〇を高極とし西部福島東部柏原の二十一度六之れに亞き其他は二十一度乃至二十度を示せしか北部天王は十八度二仝妙見山は十七度六に止れり又最低は概ね十六日に現はれ北部天王の零下四度九仝妙見山

第三表　全月及半旬期觀測成績

（表中▲印は多或は高、強）

全月觀測成績

種目	平均	平年比にし	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七六三、七九	▲〇、一一	七七三、七	一	七四七、八	七
氣溫 平均	九、八四	▲一、六四	—	—	—	—
氣溫 最高	一四、二八	▲一、七五	二〇、六	一三	—	—
氣溫 最低	五、七五	▲一、七二	—	—	〇、二	一六
氣溫 較差	八、五四	▲〇、〇四	一四、二	二〇	—	—
水蒸氣張力	七、八五	〇、九一	一五、三	七	三、一	一五
濕度	七四、三	▲二、七	—	—	三、六	一九
飽差	二、四九	▲〇、〇三	九、四	一三	〇、一	一三
降水 月量	一六七、一	▲五八、六	—	—	—	—
降水 日量最多	—	—	三三、一	二	—	—
降水 時量最多	—	—	一八、八	七	—	—
蒸發量	九三、九	▲六、五	四、八	七	〇、九	二三
日照時數	一七八、〇五	▲一、一一	一一、四〇	一九	—	—
地中溫度 地皮	一〇、八二	▲一、〇九	二三、九	二三	三、二	一
地中溫度 十糎	一〇、五四	▲一、二四	一五、三	二五	五、六	一
地中溫度 二十糎	一〇、五四	▲一、二八	一四、〇	二五	六、八	一
地中溫度 三十糎	一〇、五七	▲一、一八	一三、一	二五	七、五	一
地中溫度 六十糎	一〇、四七	▲〇、九二	一二、〇	二六	八、四	一
地中溫度 百二十糎	一〇、九一	▲〇、五一	一一、九	三一	九、八	三
地中溫度 三百糎	一五、〇八	▲〇、一二	一五、七	一	一四、七	二一
地中溫度 五百糎	一六、五六	▲〇、一九	一六、八	一	一六、三	二〇
地中溫度 七百糎	一六、七三	▲〇、〇一	一六、八	一	一六、七	二四 三一

半旬期觀測成績

種目	自三月二日至三月十一日	自三月十二日至三月十一日	自三月十二日至三月十一日	自三月十二日至三月十一日	自三月二十一日至三月二十一日	自三月二十二日至三月二十一日
氣壓	七六一、八五	七六一、四二	七六三、七五	七六六、九二	七六一、五七	七六五、六二
平年に比し	一、五一	一、三九	▲〇、三四	▲三、六〇	二、〇九	▲〇、二六
氣溫	一〇、七四	九、八八	八、六八	九、〇七	一二、三〇	八、六九
平年に比し	▲二、八六	▲二、五六	▲一、四九	▲一、〇二	▲三、三一	一、一七
最高氣溫	一五、七八	一二、七二	一三、九二	一四、一〇	一五、八八	一三、〇八
平年に比し	▲三、九六	▲一、五六	▲一、九二	▲一、八〇	▲二、六九	一、五四
最低氣溫	六、二四	七、二四	四、六四	四、一二	九、〇〇	四、〇八
平年に比し	▲二、三四	▲三、六六	▲一、八二	▲〇、一一	▲三、七二	〇、五六
水蒸氣張力	七、五〇	六、六六	六、二〇	六、二九	八、四八	六、二七
平年に比し	▲〇、三四	▲〇、一四	▲〇、七一	▲〇、一八	▲二、三七	〇、二九
濕度	七七、八	七、二六	七一、一	七三、〇	七八、〇	七四、四
平年に比し	▲六、〇	▲二、〇	▲〇、八	一、九	▲八、〇	▲二、三
飽差	二、三五	二、六四	二、五二	二、六〇	二、三七	二、五五
平年に比し	〇、二	▲二、四	▲一、一	▲四、二	三、二	四、一
降水量	三三、一	五二、三	二〇、一	九、四	二五、〇	二七、〇
平年に比し	▲一四、一	▲三〇、九	▲六、〇	一八、三	四八、七	▲一〇、二
雲量	六、一	八、〇	五、九	三、五	七、二	四、二
平年に比し	▲〇、六	▲一、八	〇、三	二、三	▲一、二	▲〇、二
日照時數	二〇、四〇	一八、九五	二九、九〇	四二、九五	一九、二〇	二九、七〇
平年に比し	三、四〇	七、二五	▲四、六〇	▲一五、一五	一〇、〇〇	▲一、〇〇
風速度	四、二六	七、二三	五、九五	四、〇九	四、五〇	四、二一
平年に比し	一、四六	▲一、二四	▲一、〇八	一、五〇	〇、五一	〇、七一

八日	三、二	二、九	二、八	二、四	一〇、三	四、九	前日來の強風午前四時迄及午前十一時強風吹けり午後三時四十分より五時十分迄日暈、午後六時二十分より七時五十分迄月暈現はる、午後九時五十分より小雨翌日に到る
九日	八、八	一〇、〇	一〇、八	二、〇	一〇、六	四、四	前日來の小雨斷續して午後六時二十分歇む
十日	八、四	九、〇	九、六	一〇、二	一〇、五	二、二	午前零時四十分より一時二十五分迄及午後九時二十五分より十時四十二分迄月暈現はる
十一日	八、八	九、一	九、四	九、八	一〇、三	五、五	午前八時三十五分より小雨斷續して翌日に到る、午後十時より夜半迄強風吹けり
十二日	一一、〇	一〇、四	一〇、〇	一〇、〇	一〇、二	七、四	前日來の小雨午前二時二十五分歇む同九時四十分より十時三十分迄小雨午前二時より八時迄強風吹けり、午後十時五十分より月暈現はれ翌曉に到る、夜薄露あり
十三日	三、二	一一、四	一九、〇	一〇、六	一〇、三	四、六	前夜來の月暈午前四時十五分消ゆ、朝薄露あり、午後三時四十分より小雨斷續して十一時三十五分歇む
十四日	九、三	一〇、五	一一、〇	一一、〇	一〇、六	二、四	午前零時五十分より降雨同十一時四十五分歇む、午前三時乃至六時及午後一時乃至九時強風吹けり
十五日	八、八	八、八	九、五	一〇、〇	一〇、五	(一)三、二	朝霜あり午後五時四十分より微雨斷續して同六時五十分歇む
十六日	九、〇	八、七	九、〇	九、七	一〇、四	(一)三、八	朝霜あり午前九時烟霧あり夜半薄露あり
十七日	一〇、四	九、五	九、五	九、八	一〇、三	(一)二、七	朝霜あり、午前四時二十分より同七時五十分迄霧あり、午前十一時十五分より午後三時四十九分迄日暈現はる午後六時五十五分より小雨翌日に到る
十八日	九、四	一〇、〇	一〇、一	一〇、二	一〇、四	五、九	前日來の小雨斷續して午後三時三十五分歇む、夜薄露あり
十九日	九、七	九、五	九、七	一〇、〇	一〇、四	(一)二、二	朝薄露あり、午前十時及正午乃至午後一時強風吹けり夜微霜あり
二十日	一〇、七	九、四	九、六	九、九	一〇、四	(一)二、三	朝霜あり、夜薄露あり
廿一日	一三、九	一一、九	一一、二	一〇、七	一〇、五	五、四	朝露あり、午前九時煙霧あり、夜薄露あり
廿二日	一三、七	一三、六	一三、一	一一、六	一〇、八	四、八	朝露あり、午前六時五十五分より八時三十五分及午後二時五十分より五時四十五分迄日暈現はる午前九時より十時迄煙霧あり、夜薄露あり
廿三日	一三、一	一三、三	一三、三	一三、〇	一一、二	八、九	朝薄露あり、午前五時五十分より降雨斷續して翌日に到る
廿四日	一三、七	一三、二	一三、七	一三、三	一一、五	二、一	前日來の降雨時々大雨を交へ斷續して午後八時三十二分歇む
廿五日	一四、五	一三、七	一三、二	一三、七	一一、六	七、二	午前二時五十五分より三時十五分迄微雨、朝薄露あり、午前十時四十五分より十一時二十分迄及午後二時十六分より二時三十分迄日暈現はる
廿六日	一〇、三	一一、七	一三、四	一三、六	一三、〇	(一)一、八	午前八時より九時迄強風吹けり、午後四時四十分より四時五十三分迄微雨同五時三十六分より小霰を交へ五時四十分歇む
廿七日	一〇、五	一〇、一	一〇、八	一一、五	一一、八	(一)一、五	午前四時より五時迄強風吹けり、午後四時十五分より四時二十五分迄微雨夜微霜あり
廿八日	一〇、七	一〇、三	一〇、七	一一、二	一一、六	(一)二、一	朝霜あり、正午より午後五時迄強風吹けり夜薄露あり
廿九日	一〇、九	一〇、五	一〇、八	一一、一	一一、五	(一)一、三	朝微霜あり、午前五時二十分より八時四十分迄薄霧あり、午前七時より午後三時三十分迄日暈現はる
三十日	一〇、九	一一、一	一一、二	一一、三	一一、五	五、七	午前二時五十分より降雨斷續して午後六時十分歇む、午後六時五分より六時十六分迄紅霓現はる
卅一日	一三、三	一三、三	一一、八	一一、五	一一、六	四、二	午前九時四十五分より十時五十分迄日暈現はる、夜薄露あり
全月	一〇、八	一〇、五	一〇、五	一〇、六	一〇、五	二、九	

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

十九日	七七一、○	七、二	○、○	一二、七	二、五	九、三	四、三	五八	三、五	七、一	一○、四	北北西	北	○、六	二、四▲	五、一	｜	四、四
二十日	七六八、五	八、六▲	○、八	一四、九	○、七	一四、三	五、八	七三	二、七	二、四	三、九	北北東	北北東	一、四	二、○▲	一、八		三、五
廿一日	七六三、○	三、三▲	三、一	一九、○	八、五	一○、五	八、三	七五	三、三	三、一	七、三	南西	南西	三、○	極▲	四、○		四、○
廿二日	七六三、三	三、一▲	三、五	一九、一	七、九	一三、三	八、四	七六	三、○	三、一	五、七	南西	南西	四、七	八、三▲	一、六		三、七
廿三日	七六○、九	三、九▲	三、九	一五、四	一二、○	四、四	九、五	八五	一、六	四、九	七、一	北東	北東	九、九	[illegible]	四、五	一○、六	、九
廿四日	七六六、三	四、○▲	五、一	一六、七	一三、八	一三、九	一二、三	九四	○、七	四、四	八、五	南西	北東	九、九	｜	三、七	一四、四	一、六
廿五日	七五三、一	四、一▲	四、九	一八、一	九、九	八、三	八、四	七一	三、六	四、一	七、一	北	北	五、九	八	○、三	、	三、八
廿六日	七六六、三	七、四	○、九	一○、一	三、四	六、七	四、九	六四	二、九	七、一	一○、九	北	北	五、六	三、九	五、三	、	、六
廿七日	七五九、三	五、九	三、四	一○、四	三、○	八、四	四、三	六三	二、九	五、七	二、八	西南西	南南西	三、三	一、一▲	三、六	、	四、一
廿八日	七七○、七	六、七	三、六	一二、九	○、八	一二、一	五、三	七三	二、三	五、一	三、八	西	西南西	三、一	一、三▲	三、○	｜	三、七
廿九日	七六九、五	八、四	一、七	一四、三	三、○	一三、三	五、九	七四	二、六	三、○	七、○	西	北北東	六、九	七、七▲	八	｜	三、三
三十日	七五八、八	一○、六	○、四	一三、三	七、七	五、五	八、八	九一	○、八	三、四	六、四	南南西	北東	八、六	、四	五、八	三七、三	一、三
卅一日	七五九、六	二、七▲	一、三	一五、六	七、九	七、七	七、三	七六	三、一	三、四	八、一	西南西	西南西	一、○	二、三▲	一、七	｜	三、六
全月	七六三、八	九、八▲	一、六	一四、三	五、七	八、五	六、八	七四	二、五	五、○	三五、八	西南西	北	五、八	三六、一▲	一、一	一六、七	九六、九

三月	地皮	地中溫度（平均）十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地溫
一日	八、五	七、六	七、六	七、八	八、五	（一）一、六
二日	八、九	八、七	八、五	八、四	八、六	五、七
三日	九、六	九、七	九、四	九、一	八、八	三、三
四日	九、九	九、六	九、三	九、三	九、○	（一）○、四
五日	一○、六	九、九	九、七	九、六	九、三	○、八
六日	一二、三	一○、八	一○、四	一○、三	九、五	七、三
七日	一三、六	一三、七	一二、七	一二、○	九、九	九、三

諸現象の摘要

朝露及微霜あり、午後二時二十五分より三時四十一分迄日暈現る（午前八時三十四分より十時四十六分迄小雨、午後二時十九分より降雨夜に入り時々大雨を交へ、斷續し午後十一時二十四分歇む、午後四時二十分南西方に遠雷起り九時四十分南に來り雷電となり十一時十分南東に到りて收聲す）（正午乃至午後五時及八時乃至十一時強風吹けり）

朝濃露あり

朝露及微霜あり、午前五時五十五分より八時五十分迄濃霧あり、午前九時烟霧あり夜濃露あり

朝露あり、午後二時三十分より四時四十分迄日暈現はる夜濃露あり

朝濃露あり、午前六時二十分より八時四十五分迄濃霧あり、午前十時三十五分より十一時四十分迄及（午後九時二十五分より九時三十五分迄微雨、午前十一時十八分南西方に遠雷あり）（午前二時二十分より降雨時々大雨を交へ六時四十五分歇む、午前三時乃至午後二時、六時及十時より翌日に亘り強風吹けり）

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の一

（表中▲印ハ高又ハ多）

三月	氣壓 平均	空氣ノ溫度 平均	空氣ノ溫度 本年平年比較	空氣ノ溫度 最高	空氣ノ溫度 最低	空氣ノ溫度 較差	水蒸氣張力 平均	濕度 平均	飽差 平均	風速 平均	風速 最大	風向 全上	風向 最多	雲量 平均	日照時數 本年平年比較	日照時數	降水量	蒸發量
一日	七六、一	八、一▲	〇、四	一五、四	一、五	一三、九	五、四	六八	三、〇	五、二	一七、〇	北東	北東	五、	六、九▲	一、	一、	三、四
二日	七六、二	一〇、七▲	三、六	一五、七	七、二	八、五	六、七	七二	三、〇	八、六	一七、二	東	北東	九、二	一、七	三、七	一、	四、七
三日	七六、九	一一、〇▲	二、三	一二、〇	七、四	五、九	八、〇	八八	二、二	六、四	一〇、一	西南西	北北東	八、八	一、四	一、九	一、	一、八
四日	七六、〇	八、七▲	一、六	一四、一	三、三	一一、〇	六、六	七九	二、〇	八、二	五、五	南西	北	一、五	八、六▲	一、	—	三、六
五日	七六四、八	一〇、一▲	三、五	一六、六	七、六	一四、〇	六、八	七四	二、九	八、二	一二、五	西	北	一、八	八、七▲	一、八	一、	三、五
六日	七九、六	一四、一▲	三、一	一八、一	九、八	八、三	九、三	七八	三、七	五、五	七、〇	南	東北東	九、六	一、	二、三	一、	一、七
七日	七六、二	一四、七	四、四	一九、二	一〇、〇	七、二	七、二	七二	三、五	三、二	二五、八	西南西	南	四、二	九四▲	六、八	一、	四、八
八日	七六、二	二一、〇▲	三、七	二四、二	七、〇	七、一	六、二	六五	二、九	六、九	二二、五	西	南西	六、一	八、七▲	一、四	一、六	四、一
九日	七六、二	七、〇▲	〇、四	八、二	五、六	二、六	六、三	八五	二、五	四、四	八、二	北	北	九、九	—	五、九	五、五	二、二
十日	七六、一	七、〇▲	一、〇	一〇、四	四、八	五、六	五、二	六九	二、五	五、二	八、〇	北	北	九、七	八	三、九	—	三、三
十一日	七四、四	九四▲	三、四	一二、七	六、八	六、七	六、七	七六	二、六	七四	一二、三	北東	北東	一〇、	—	三、六	一、	三、四
十二日	七六、二	一三、〇▲	四、五	一六、二	九、五	六、七	七九	七七	二、六	七、七	一〇、七	北東	北東	七、五	六、七	一、九	一、	三、三
十三日	七六、〇	一三、〇▲	四、〇	一六、六	七、九	三、七	四、九	八九	二、七	三、四	九、九	北	北	九、九	三、三	一、八	一、	一、三
十四日	七六、二	七四▲	〇、二	一三、七	四、二	八、六	五、八	七九	二、〇	九、九	一四、一	北	北	九、七	一、二	六、八	一、	三、三
十五日	七六、九	五、二	〇、八	九、九	一、五	八、〇	三、九	五九	二、八	三、九	一二、五	南西	北西北	三、五	九、一▲	一、九	一、	三、三
十六日	七六、二	五、八	〇、三	一〇、六	〇、四	一〇、六	四、四	五六	二、八	四、五	七、二	南西	西南西	一、	一、▲	七、二	一、	三、六
十七日	七九、四	七、九▲	〇、二	一三、四	一、五	一二、九	一、五	七四	二、九	六、四	一〇、七	西南西	西南西	六、	九、五▲	六、四	一、	三、八
十八日	七六、六	八、九▲	一、〇	一二、七	七、四	四、一	七、四	八七	二、四	二、八	一一、〇	西	北北東	七、七	一、九	三、二	一、	三、八

三月	午前 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時	正午	午後 一時	二時	三時	四時	五時	六時	七時	八時	九時	十時	十一時
平均氣壓	七四〇一〇	七四〇九七	七四〇九一	七四〇五八	七四〇八三	七四〇〇七	七四〇三八	七四〇五七	七四〇七五	七四〇六六	七四〇三二	七四〇〇〇	七四〇〇〇	七四〇〇七	七四〇〇一	七四〇〇四	七四〇〇八	七四〇〇一	七四〇〇四	七四〇〇五	七四〇〇九	七四〇〇八	七四〇〇八
平均氣溫	八〇〇七	七〇八五	七〇五四	七〇三四	七〇〇八	六〇八八	七〇〇〇	八〇二一	九〇五六	一〇〇〇	一二〇六六	一三〇三五	一三〇三五	一三〇六八	一三〇五〇	一二〇九九	一二〇〇五	一〇〇五	一〇〇一九	九〇三五	九〇六六	九〇一四	八〇八七
平均水蒸氣張力	六〇七七	六〇六九	六〇五九	六〇五五	六〇五五	六〇四五	六〇五七	六〇四七	六〇二〇	六〇六八	六〇八〇	六〇七八	六〇七九	六〇七九	七〇〇八	七〇一六	七〇二九	七〇三六	七〇二七	七〇一七	七〇〇四	六〇九四	六〇九四
平均濕度	八〇一五	八〇一七	八〇一九	八〇三〇	八〇二八	八〇二七	八〇一八	七〇四四	七〇二八	六〇六四	六〇四四	六〇二六	六〇一五	六〇二二	六〇二七	六〇二二	六〇一八	五〇八〇	五〇五六	五〇五四	五〇二二	六〇一	六〇六
平均飽和差	一〇五二	一〇五二	一〇四四	一〇二八	一〇二六	一〇二四	一〇四四	一〇九二	二〇四五	三〇〇九	三〇六六	四〇一三	四〇〇四	四〇二九	四〇三〇	四〇三三	三〇三五	三〇二二	三〇二二	三〇二七	二〇〇〇	一〇九二	一〇七五
平均風速度	四〇三七	四〇四一	四〇二〇	四〇八五	四〇六七	四〇二九	四〇〇二	四〇八三	四〇九五	五〇二五	五〇六九	五〇九六	六〇〇〇	六〇三五	六〇三四	六〇三五	六〇五六	六〇一〇	五〇五五	五〇五九	四〇五〇	四〇二四	四〇四四
平均雲量	五〇七	五〇五	五〇一	五〇一	四〇七	五〇二	六〇〇	五〇八	六〇〇	六〇二	五〇八	五〇八	六〇〇	七〇〇	七〇二	五〇九	六〇八	七〇〇	七〇二	五〇九	四〇六	四〇九	五〇六
日照時數	—	—	—	—	—	—	三〇五〇	一四〇〇	一六〇三五	一七〇〇	一八〇七〇	一八〇二五	一九〇五〇	一八〇九〇	一六〇七五	一四〇〇	一〇〇四〇	四〇五〇	—	—	—	—	—
降水量	二〇六	二〇四	一〇〇八	二六〇三	二七〇〇	一〇〇二	六〇三	二〇九	六〇一	二〇〇	四〇四	〇〇六	一〇六	四〇四	四〇九	五〇九	七〇六	四〇一	五〇六	九〇一	三〇二	八〇二	八〇一
地中溫度（平均）地皮	八〇四六	八〇三五	八〇〇〇	七〇八五	七〇〇〇	七〇四〇	七〇六七	八〇六四	一〇〇〇	一〇三〇九	一四〇四六	一〇〇一〇	一〇〇六一	一〇〇〇三	一〇〇六〇	一〇〇二四	一〇〇二五	一〇〇一〇	一〇〇一四	一〇〇二〇	一〇〇二五	一〇〇二四	九〇〇一
地下十種	一〇〇四一	一〇〇三二	一〇〇一七	九〇九八	九〇七八	九〇八〇	九〇四五	九〇二四	九〇三一	九〇四五	九〇一四	一〇〇一二	一〇〇六一	一〇〇九四	一〇〇八四	一〇〇二五	一〇〇一八	一〇〇一〇	一〇〇一〇	一〇〇一〇	一〇〇二五	一〇〇二八	一〇〇九七
地下二十種	一〇〇六六	一〇〇六七	一〇〇六〇	一〇〇七四	一〇〇一四	一〇〇二四	一〇〇二七	一〇〇二五	一〇〇一八	一〇〇一四	一〇〇一一	一〇〇一一	一〇〇一二	一〇〇一二	一〇〇一四	一〇〇一五	一〇〇一五	一〇〇一一	一〇〇一一	一〇〇一一	一〇〇一一	一〇〇一一	一〇〇一一
地下三十種	一〇〇六六	一〇〇六五	一〇〇六五	一〇〇六四	一〇〇六四	一〇〇六〇	一〇〇五五	一〇〇五〇	一〇〇四八	一〇〇四八	一〇〇四六	一〇〇四一	一〇〇四一	一〇〇四二	一〇〇四四	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四四	一〇〇四四	一〇〇四八
地下六十種	一〇〇四一	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五	一〇〇四五

翌二十六日午前四時の十三度一最低は一日午後二時乃至三時の七度五なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて十度七九最低は午後二時にありて十度三九を示し其較差は零度四〇なり

地中六十糎の温度　平均は十度四七にして平年に比すれは零度九二高く月中の最高は二十六日午前九時及二十七日午前七時の十二度〇最低は一日午後一時乃至五時の八度四なり但し此深さにありては一日中の變化を殆ど認め難し

以上列記する地中温度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後六時同二十糎にありては午後八時乃至十時同三十糎にありては夜半に生し最低は地皮にありては午前六時地中十糎にありては午前九時同二十糎にありては午前十一時同三十糎にありては午後二時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得へし

最低地温　平均は二度八七にして平年に比すれは二度〇三高く月中の最低は十六日午前七時の零下三度八なり又零下に降りたる日數は十一日にして平年に比すれは一日少し

天氣日數　快晴は六日にして平年に比すれは一日多く曇天は十一日にして平年に比すれは二日多く霜は十日にして平年に比すれは一日少く電雷は二日霰は一日にして孰れも例年見さる所のものなり

尙詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すへし

第一表　大阪毎時氣象觀測成績

他の風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は五、八にして平年に略ほ等しく日照時數は百七十八時〇五にして平年に比すれは一時一一多く一日中日照時間の最も長かりしは十九日の十一時四〇なり

降水及蒸發量

降水日數は十三日にして平年に等しく其水量は百六十七粍一にして平年に比すれは五十八粍五多く又一日中の最多量は二日の三十三粍一、一時間の最多量は七日午前四時乃至五時の十八粍八なり又蒸發總量は九十三粍九にして平年に比すれは六粍五多く一日中の最多量は七日の四粍八なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は十度八二にして平年に比すれは一度〇九高く月中の最高は二十二日午後一時の二十三度九最低は一日午前六時乃至七時の三度二なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十六度六一最低は午前六時にありて七度四〇を示し其較差は九度二一なり

地中十糎の溫度　平均は十度五四にして平年に比すれは一度二四高く月中の最高は二十五日午後五時乃至六時の十五度三最低は一日午前八時乃至九時の五度六なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後六時にありて十一度八二最低は午前九時にありて九度三二を示し其較差は二度五〇なり

地中二十糎の溫度　平均は十度五四にして平年に比すれは一度二八高く月中の最高は二十五日午後八時の十四度〇最低は一日午前十一時乃至正午の六度八なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至十時にありて十一度〇七最低は午前十一時にありて十度〇二を示し其較差は一度〇五なり

地中三十糎の溫度　平均は十度五七にして平年に比すれは一度一八高く月中の最高は二十五日午後十時乃至

旬の半頃及下旬の終りは平年より低きも其他は著しく高く最高の極は十三日午後一時の二十度六最低の極は十六日午前六時の零度二なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後三時にありて十三度〇五最低は午前六時にありて六度八八を示し其較差は六度一七なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は七粍八五にして平年に比すれは零粍九一低く最高は七日午前五時の十五粍三最低は十五日午前三時の三粍一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後七時にありて七粍三二最低は午前七時にありて六粍三七を示し其較差は零粍九五なり

濕度の平均は七十四、三にして平年に比すれは二、七多く月中の最少は十九日午後一時の三十六なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて八十三、八最少は午後一時にありて六十一、五を示し其較差は二十二、三なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦四九にして平年に比すれは零瓦〇三多く月中の最多は十三日午後一時の九瓦四最少は同日午前三時の零瓦一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後一時にありて四瓦三四最少は午前六時にありて一瓦二四を示し其較差は三瓦一〇なり

風

平均速度は毎秒五米〇三にして平年に比すれは零米三六弱く月中の最大速度は七日午前八時乃至九時の毎秒速度二十五米八（一間平方面を垂直に壓する力は七十貫四百匁余）の西南西風なり又強風以上の吹きたる日數は十一日にして平年に等しく其吹續時數は五十七時にして平年に比すれは二十一時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後一時にありて六米三四最小は午前七時にありて四米〇二を示し其較差は二米三二なり風向は北風最も多く北東風之れに亞き南東風は最も少し之れを平年に比すれは北及南西風は多くして其

大阪測候所月報

大正三年三月

大阪氣象概況

三月は亞細亞大陸の高氣壓漸く低減し爲めに西の寒風衰へ稍々温暖となるも此月は氣候の變遷期にして高低氣壓の來去頻繁なるを以て天氣の變化極めて多く同一の天氣を持續すること甚だ少しとす、然り而して本月の氣候を調査するに著しく温暖にして平均氣温は既往三十二年間に於て最高度を示せり、日照時數は平年より少く降水日數は平年に等しきも其水量は平年より多し而して風は概して弱し

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ケ年平均なり

氣壓

平均は七百六十三粍七九にして平年に比すれは零粍一一高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は約四回にして其他微かなる昇降數回ありたり而して月中の最高は一日午前八時乃至九時の七百七十三粍七最低は七日午前四時の七百四十七粍八なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十四粍七五第一の最低は午後四時にありて七百六十二粍八一を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十四粍〇八第二の最低は午前四時にありて七百六十三粍五八を示せり而して其主なる最高低の較差は一粍九四なり

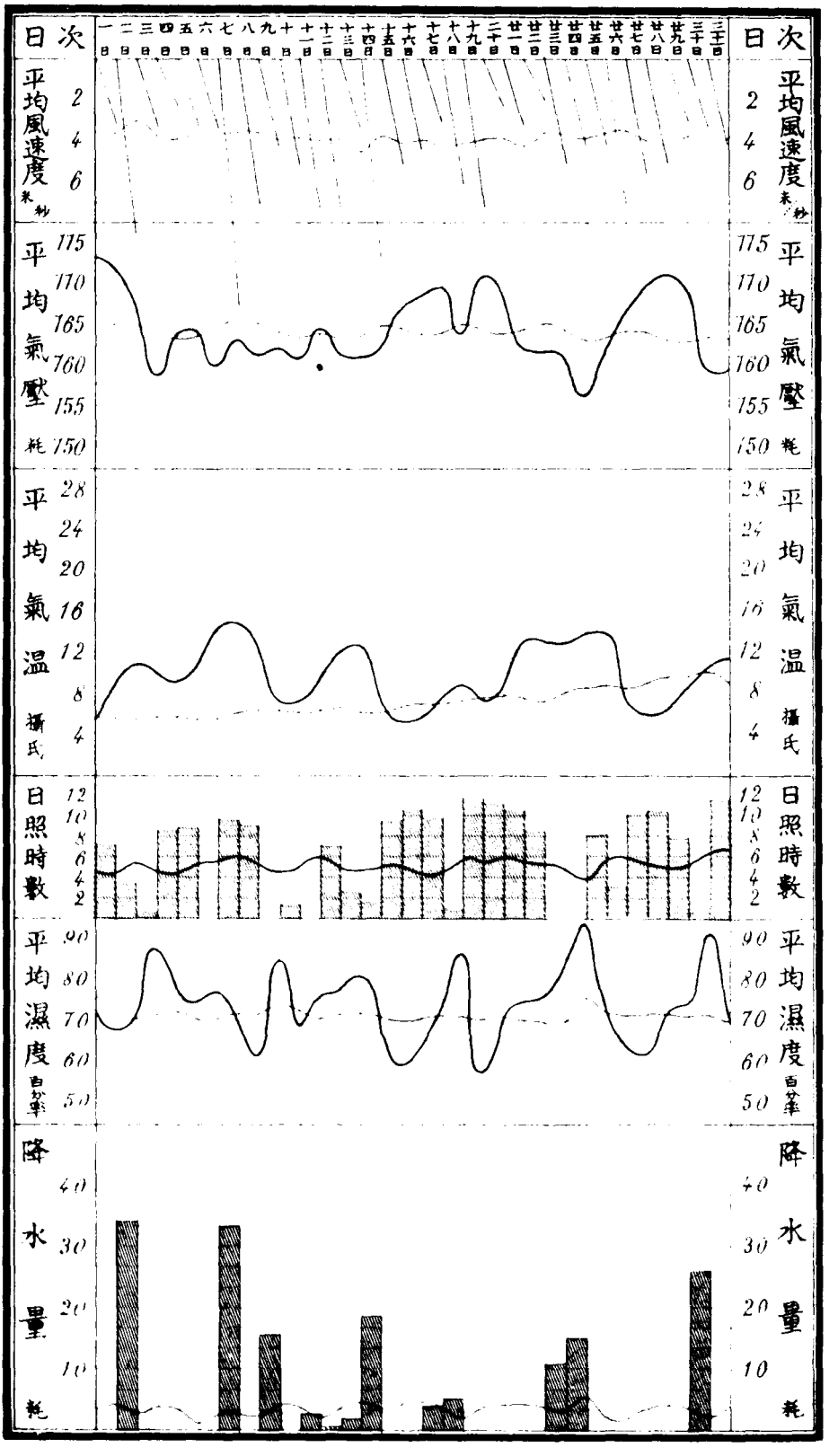
氣温

平均は九度八四にして平年に比すれは一度六四高く平均氣温日々の變化は氣象圖に示すか如く中

大正三年三月

大阪氣象圖

March. 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年——平年——日照時數ハ本年——平年——降水量ハ本年——平年——

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍（曲尺三厘三毛）を以て示す

一濕度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には（一）を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高濕度及降水量并に蒸發量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上けて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦（グラム）（零匁二七）にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米（曲尺三尺三寸）數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直立し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動すもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動すもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣目數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	
尾崎	〃 國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	北野孝德
岸和田	〃 國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	高尾章
長承寺	〃 國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	森内清次
濱寺	〃 國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	前川由太郎
堺	〃 國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	今井富次
天王寺	〃 國大阪市	南區天王寺	一三五度二一分	三四度三九分	吉村正輔
大阪	〃 國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	加藤昭純
福島	〃 國大阪市	北區上福島	一三五度三一分	三四度四二分	府立大阪一等測候所
新庄	〃 國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	笠谷正三郎
池田	〃 國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	植田雄照
妙見山	〃 國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	筱部利作
東鄕	〃 國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	阪部文二郎
天王	〃 國豐能郡	根根莊村	一三五度二三分	三五度〇二分	山田四郎
茨木	〃 國三島郡	茨木町	一三五度二四分	三四度四九分	鈴木重男
清水	〃 國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	太田宗太郎
枚方	河內國北河內郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	山本義一
田原	〃 國北河內郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	家村八五郎
八尾	〃 國中河內郡	八尾町	一三五度二六分	三四度三八分	東尾重藏
柏原	〃 國南河內郡	柏原村	一三五度三七分	三四度二五分	水谷芳松
富田林	〃 國南河內郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	畿內農事試驗支場
長野	〃 國南河內郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	塔本幸太郎
					松本連水

LIBRARY
JUN 24 1914
Weather Bur

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

MARCH 1914

大阪測候所月報

大正參年三月

第拾五年第三號

目次

○三月年大阪氣象概況 附圖
○三月年大阪府管內氣象概況
○三月年大阪地震觀測概況
○三月二日ノ暴風、雷雨概況
○三月七日ノ暴風概況
○大阪ノ季節風
○遠距離ノ大雷
○淀川ノ水位
○大阪港潮汐觀測
○地方天氣豫報暴風警報通否
○新刊書籍書目

大正三年五月五日印刷
仝　年五月七日發行

府立大阪一等測候所
（電話四八九七番）

印刷所　大阪市東區淡路町二丁目四十三番地
山本印刷所
（電話本局五四三五番）

地方天氣豫報及暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緯度東經	北緯	取扱官衙
谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分	安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分	岸和田警察署尾崎分署
佐野	和泉國泉南郡	佐野村	百三十五度十九分	三十四度二十五分	泉南郡佐野町役場
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分	安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
堺	和泉國堺市	吾妻橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分	安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度二十九分	三十四度四十分	安治川水上警察署木津川分署
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十八分	三十四度三十七分	全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
雜波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分	全木津川分署雜波島水上巡査派出所
安治	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十一分	安治川水上警察署
保	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	安治川水上警察署天保町分署
	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分	府立大阪一等測候所
	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度二十七分	三十四度四十一分	十三橋警察署傳法分署
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分	豐能郡東郷村役場

一氣象要　仝　上　一　中央氣象臺
一中央氣象臺月報　仝　年六月　一　仝　臺
一奉天氣象表　大正三年一月　一　奉天觀測支所
一富山縣氣象報　仝　上　一　伏木測候所
一別子山氣象表　仝　上　一　住友別子鑛業所
一四國島氣象表　仝　上　一　仝　所
一新居濱氣象表　仝　上　一　仝　所
一愛媛縣氣象月報　仝　上　一　松山測候所
一氣象月報　大正二年自九月至十一月　三　甲府測候所
一山梨縣氣象月報　大正二年九、十月　二　高知測候所
一京都府氣象月報　仝年七、八月　二　京都測候所
一埼玉縣氣象月報　仝年十、十一月　二　熊谷測候所
一境測候所氣象月報　仝年十一、十二月　二　境測候所
一大分縣氣象報　明治四十五年大正元年　一　大分測候所
一神戸測候所年報　仝　上　一　神戸測候所
一氣象要報　大正二年十月　一　仝　所
一靜岡縣氣象略報　仝　上　一　沼津測候所
一北海道氣象月報　仝　年十一月　一　札幌測候所
一鹿兒島縣氣象月報　仝　上　一　鹿兒島測候所
一對島氣象月報　仝　上　一　嚴原測候所
一氣象月報　仝　年自九月至十二月　四　神奈川縣測候所
一長崎縣氣象月報　仝　年六、七月　二　長崎測候所
一氣象報　仝　年十二月　一　愛知縣測候所
一大正二年臺灣氣象概況　一　臺北測候所
一觀象便覽　大正三年　一　大泊測候所
一震災豫防調査會報告　第二十七號附錄　一　震災豫防調査會
一地震報告　千九百十三年十一月　一　グラナダ觀測所

一天氣圖　千九百十三年十二月、十三月　アルゼンチン觀測所
一天氣圖　千九百十四年一月　ウカウエー觀測所
一氣象月報　千九百十三年自七月至十月　四　仝　所
一氣象年報　千九百十二年　一　リマ觀測所
一氣象月報　同　年七月　一　仝　所
一地震報告　千九百十四年一月　イルクツク觀測所
一地震論文　一　ハンバルヒ觀測所
一地震報告　千九百十三年自十月至十二月　三　セントルイス觀測所
一英國地震會紀要　一　シャイド觀測所
一天氣圖　仝　年三月　一　羅馬氣象臺
一地震報告　自千九百十三年十二月至千九百十四年一月　二　ギルドホールド觀測所
一地震報告　千九百十四年一月　一　マニラ觀測所
一氣象年報　千九百十一年　一　ウイン觀測所
一地震報告　自千九百十二年十月至千九百十三年三月　六　リツク觀測所
一地震報告　千九百十三年十一、十二月二　サンフエナンド觀測所
一貿易通報　一月號　一　大阪商業會議所
一養鷄指針第　百二十三號　一　重枝養禽園
一校友會雜誌　第百八十一號　一　商船學校々友會
一通俗衛生　第百八十七號　一　大阪私立衛生會
一天氣圖　一月中　一　中央氣象臺
一遞信公報　仝　上　遞信省

二月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
一日	一、八〇	一、五〇	一、三五	一、三五
二日	一、七〇	一、六〇	一、二〇	一、三五
三日	一、八〇	一、五五	一、二五	一、四五
四日	一、七五	一、五五	一、三〇	二、六〇
五日	一、七〇	一、五〇	二、六五	一、七〇
六日	一、七〇	一、五〇	一、二〇	一、二五
七日	一、七五	一、六五	一、二〇	一、四〇
八日	一、八〇	一、六〇	一、四〇	一、五五
九日	二、二五	二、〇〇	一、八五	一、七〇
十日	二、三〇	二、〇〇	一、五〇	一、六五

平均水位 最高水位 島本は 一尺九寸五分 三尺二寸(二十日午前六時) 毛馬は 一尺六寸 二尺六寸五分(五日午前六時)

二月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
十一日	二、一五	一、八〇	一、四〇	一、四五
十二日	二、〇五	一、七五	一、二〇	一、四五
十三日	一、九五	一、七〇	一、六〇	一、八五
十四日	一、九〇	一、六〇	一、六〇	一、五五
十五日	一、八五	一、六〇	一、四五	一、六〇
十六日	一、八〇	一、六五	一、四〇	一、六〇
十七日	一、八〇	一、六〇	一、四〇	一、五五
十八日	一、八〇	一、六〇	一、四〇	二、三〇
十九日	二、〇〇	二、五五	二、三五	一、〇〇
二十日	三、二〇	二、八〇	一、八〇	二、〇〇

二月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
二十一日	二、八〇	二、五〇	二〇、〇	一八、〇
二十二日	二、四〇	二、二〇	一、四五	一、四〇
二十三日	二、四五	二、二〇	一、二五	一、九五
二十四日	二、四〇	二、〇〇	一、八〇	一、八〇
二十五日	二、二〇	一、九〇	一、五〇	一、六〇
二十六日	二、二五	二、〇〇	一、四〇	一、六〇
二十七日	二、〇五	一、八五	一、四〇	一九、〇
二十八日	二、〇五	一、八〇	一、八〇	一、八〇

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類		發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
天氣豫報	風向	二八	二六	二	〇	九六
	天氣	二八	二二	六	〇	八九
	溫度	〇	一	一	一	一
暴風警報		一	一	〇	〇	一〇〇

新刊寄贈書目

一美濃氣象報	大正二年十二月	一岐阜測候所
一山形縣氣象月報	仝上	一山形測候所
一氣象月報	仝上	一濱田測候所
一滋賀縣氣象月報	仝上	一彥根測候所
一新潟縣氣象報	仝上	一新潟測候所
一氣象報告	仝上	一福岡測候所
一氣象月報	仝上	一水戸測候所
一秋田縣氣象月報	仝上	一秋田測候所
一千葉縣氣象報	仝上	一銚子測候所
一滿洲氣象概況	仝上	一關東都督府觀測所
一大連氣象表	大正二年、同十二月	二仝所
一旅順氣象表	仝上	二仝所
一朝鮮氣象月報	仝年十二月	一朝鮮總督府觀測所

又地動計を以て微動を觀測したる個所及時刻は

大阪	午前五時〇二分〇三秒
福岡	仝 五時〇二分二七秒
長崎	仝 五時〇二分五一秒
ウカウエー（支那上海）	仝 五時〇四分一五秒
長春（滿州）	仝 五時〇四分二三秒
臺北	仝 五時〇四分五二秒
イルクツク（西比利亞）	仝 五時〇五分五八秒
マニラ（比律賓島）	仝 五時〇六分二二秒
ギルドホールド（英吉利）	仝 五時〇九分一二秒

大阪の地動計觀測　大阪にては午前五時二分三秒より感し始め初期微動の繼續時間は一分三十一秒にして即ち震央地までの距離は七百粁（百七十五里）を示し主要動に入り大震波の來りし爲め描針は一時逸出せしか後戻りて著明なる震波を印象せり之れに由て看るに最大振幅は東西動は午前五時三分五十三秒に於て一千九百五十「ミクロン」以上、南北動は同時三分五十八秒に於て一千六百八十七「ミクロン」以上を示し總振動時間は東西動は一時十六分七秒南北動は一時十八分五十五秒に亘れり

大阪府告示第二十七號

●泉南郡多奈川村字谷川港水上巡査派出所構内に設置の地方天氣豫報暴風警報信號柱修繕竣工に付今般信號標の揚卸を開始す

大正三年二月二十三日　　大阪府知事　大久保利武

淀川の水位

三島郡島本の累年平均水位　二尺四寸二分
東成郡毛馬の累年平均水位　一尺一寸三分

青森	仝?	五時〇〇分〇〇秒	強震時計止る
龍飛崎	仝?	五時〇〇分〇〇秒	強震上下動あり家屋動搖す
石巻	仝	五時〇〇分三七秒	強震家屋動搖す
金山	仝	五時〇一分二〇秒	強震家屋動搖す
新潟	仝	五時〇二分二〇秒	強震時計止る
山形	仝?	五時〇〇分〇〇秒	弱震
宮古	仝	五時〇〇分二五秒	性質急なる弱震にして家屋動搖す
金華山	仝	四時五九分四六秒	弱震
函館	仝	五時〇〇分四八秒	弱震家屋動搖す
前橋	仝	五時〇一分四五秒	弱震
熊谷	仝	五時〇一分五〇秒	弱震家屋動搖す
水戸	仝	五時〇一分〇〇秒	微震
宇都宮	仝	五時〇二分三四秒	微震
沼津	仝	五時〇一分三七秒	微震
長野	仝	五時〇二分一八秒	微震人身に感覺なし
東京	仝	五時〇一分二〇秒	仝上
横濱	仝	五時〇一分一六秒	仝上
甲府	仝	五時〇一分二九秒	仝上
高山	仝	五時〇二分四二秒	仝上
名古屋	仝	五時〇〇分五八秒	仝上
宮津	仝	五時〇一分四五秒	仝上

元來東北地方には一の地震帶ありて往々破壞的地震を發せり今最近に起りたる強震の年月日を記すれは

一	明治二十七年十月二十二日	羽後酒田の強震
二	仝 二十九年八月三十一日	陸羽國境の強震
三	仝 三十年二月二十日	仙臺近傍の強震
四	仝 三十三年五月十二日	陸前北部の強震
五	仝 三十四年八月九日及十日	陸奥八戸の強震
六	仝 三十五年一月三十日	陸中三戸の強震

にして爾後十數年間は格別烈强なる地震なかりしが本年に至り突如として强震を發せり

被害　秋田縣知事報告其他に依りて看るに今回の地震は仙北郡の南西部最も强く强首村にては潰家百二十五戸死者廿二名を出し大澤鄉字北野田は全滅、北楢岡村は潰家四十九戸死傷者十四名、刈和野村は潰家三十四戸死者十四名、大曲村は潰家十二戸死者五名、角館町は地震の爲め火災起り三戸燒失せりと云ふ而して仙北郡全体の死者は八十五名潰家三百八十七戸、平鹿郡は死者四名潰家二十六戸、由利郡は死者四名潰家十八戸、河邊郡は潰家一戸、秋田市は潰家三戸にして合計死者九十三名潰家四百三十五戸なり又大澤鄉村は山崩の爲め四五町歩を失ひ南楢岡村は田九町歩沼となり地盤龜裂せる所より青砂噴出する所多數あり今村理學博士の調査に依れは震源地は仙北郡大澤鄉村圓行寺にして明治二十九年の地震と其性質を同ふし地辷り地震なりと云ふ

震域　今回の强震は三月十五日午前四時五十八分頃に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は東京横濱附近に達し南西方は丹後の宮津邊より名古屋附近に亘り微動は遠く比律賓島「マニラ」及英國「ギルドホールド」に及ひたり今各地の發震時等を列記すれは

地名	發震時	概況
秋田	午前四時五八分四二秒	性質急なる强震にして家屋動搖す

大正三年	五、二	八三、九	三六	二〇	九	二	三	九	一〇	一二	〇
平年	四、一	五三、三	一九	二一	五	二	一	一〇	二一	一八	三

●櫻島強震及ひ秋田地震の震原地の測定

理學博士　大森房吉

現今常用の方法の如く初期微動繼續時間によりて震源距離を算定し、又た震動の最初の動きによりて其方向を定むることは十分器械の感度を鋭敏にし測定の方法を嚴密にすれば殆ど正確なるものを得べし今最近一二の地震に就きて例示せんに

一大正三年一月十二日午後の櫻島強震　大學構内微動計の記錄によれは發震時は午後六時三十分二十一秒にして初期微動繼續時間は二分九、三秒なり之れより得たる震原距離は九百七十八「キロメートル」にして殆ど櫻島迄の距離に等し而して最初の動きは北六十四度東に向ひ同時に上方動を伴ひたれは震原は其反對の方向に當るを知る此方向は正しく櫻島より東京を指すものとす

一大正三年三月十五日朝の秋田地震　大學構内微動計の記錄によれは發震時は午前五時一分九秒にして初期微動繼續時間は五十一、七秒なり之より得たる震源距離は四百十四「キロメートル」にして其最初の動きは北七度東に向ひたり而して震源は實際に東京の北七度東にありて約四百十四「キロメートル」の距離に當れり、即ち觀測の結果は能く實地踏査の結果に適合するを見るべし

要するに器械の調整を惡しくし、不注意なる調査を爲すことをなくして、觀測器械裝置の具合を善くし嚴密の注意を以て其記象を研究するに於ては一ヶ所に於ける微動計觀測により遠近地震の震源を正しく推定し得ること尠なからずとす

●羽後國仙北郡の強震と大阪の地動

技手　圓岡平太郎

本年三月十五日朝秋田縣羽後國仙北郡に發したる地震は全地方にありては十數年來の強震にして被害尠からざりし

方向	本年	平均に比し	方向	本年	平均に比し
北	二四二	多 一〇四	南	一八	少 一三
北東	一三八	少 九	南西	六一	少 二五
東	五七	多 五	西	六六	少 九八
南東	一五	少 六	北西	七二	多 三二

上に記するか如く本年二月は平均に比すれは北風は百〇四回多くして西風は九十八回少く其他の風は大差なし又二月は年中に於て降雨少なき時期なるか本年は北風吹き曇勝にして時々降雨を來たしたるか故に其量八十三粍九に達し既往三十一年間二月の平均に比すれは三十粍六多く平年より五割の増加に當り本年二月の平均氣温五度二にして平年より一度一過高なりし

更に既往三十一年間に於て本年の如く二月に温暖なりしものを看るに明治二十三年、三十一年、三十二年、三十七年、四十四年、四十五年の六年にして明治二十三年、四十五年は本年より一層温暖にして降雨も亦多く仝三十一年は本年より稍々温暖なりしも降雨は少なく其他の三年は本年に略ほ等しく降雨は本年より少かりし今二月の平均氣温、降水總量及風向觀測回數(百分率)を列記するは左の如し

年	平均氣温	降水總量	風の方向觀測回數 百分率 北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩
明治二十三年	七・五	一〇五・二	二〇	三六	八	三	九	七	一一	三	
仝 三十一年	五・四	七〇・八	二三	二二	八	一	五	二二	一八	〇	
仝 三十二年	五・七	四三・〇	一四	二七	一二	一	〇	一八	一六	五	
仝 三十七年	五・三	四四・八	一九	二七	九	二	一〇	一四	一五	二	
仝 四十四年	五・二	四六・三	二八	一九	七	三	五	一四	二〇	〇	
仝 四十五年	七・二	一四九・二	一四	一七	一〇	四	四	一三	二四	四	〇

仝郡 天王	一一、六	三四、四	(一)一六、〇	一八五四、五	五七二、八	八、〇	二七六、五	十月廿日	十月八日	五月二日	五月廿五日	十一月廿七日	十一月六日	四月一日	四月[illegible]日
三島郡 茨木	一五、三	三七、〇	(一)七、九	一四六二、二	五四〇、五	二、三	一八三、一	十一月七日	十月廿四日	四月二日	四月廿五日	十二月廿二日	十一月十一日	三月十日	四月十日
仝郡 清水	一四、七	三七、六	(一)八、〇	一五〇〇、二	五五五、八	五、〇	一九〇、〇	十一月五日	十月廿八日	四月十六日	五月三日	十二月十九日	十一月六日	三月十七日	四月十二日
北河内郡 枚方	一五、五	三八、〇	(一)六、七	一四四三、八	五九八、六	一、二	一六九、三	十一月十二日	十月卅一日	四月二日	五月一日	十二月廿三日	十一月廿七日	三月十日	四月七日
仝郡 田原	一三、九	三七、一	(一)八、八	一六一七、三	七四五、一	一〇、七	二二三、〇	十月卅日	十月十三日	四月廿二日	五月八日	十二月廿三日	十二月十三日	三月廿二日	四月十二日
中河内郡 八尾	一五、四	三七、一	(一)六、〇	一三一三、四	六〇五、〇	四、四	二六二、五	十一月十日	十月廿八日	四月六日	四月十六日	十二月廿八日	十二月十一日	三月七日	四月十二日
南河内郡 柏原	一五、二	三七、八	(一)八、三	一四一六、六	五五六、五	〇、〇	一三三、八	十一月十二日	十月廿九日	四月九日	四月卅日	十二月廿二日	十二月八日	三月十一日	四月十二日
仝郡 富田林	一五、〇	三八、五	(一)七、〇	一三七二、三	六一六、五	二、一	二六〇、四	十一月七日	十月十八日	四月十一日	五月十六日	十二月十八日	十一月十一日	三月七日	四月十二日
仝郡 長野	一四、五	三四、三	(一)七、五	一五二五、八	六七四、九	三、八	二七四、五	十一月九日	十一月二日	四月十三日	四月廿七日	十二月廿二日	十二月十日	三月十八日	四月十二日

●二月の高温に就て

二月は最寒季節なるか故に大陸の冷却することも亦た甚しく爲めに大氣濃密となり支那北部に高氣壓を生し北海道の東方に低氣壓ありて氣壓の勾配は西より東に向ひ急峻となり爲めに西乃至北西の風增勢し大陸より寒氣を吹送し來るを以て氣温冷却し寒威を逞ふせり而して偶々大陸低氣壓發生し氣壓の勾配は一躍急となり西乃至西の强烈風を起し連日吹き續き往々百時間以上に亘ることあり又此の强風吹續中には時々雪霰飛はし寒氣凛冽なるは實に當地方の特態なりとす然れとも此月は比較的好晴の日多く時として低氣壓の南海岸沖を通過する際にありては北風となり曇勝にして降雨を催ふし温暖となれり然り而して本年二月は別項に記するか如く温暖なりしか其何故なるかを試むるに本年に比すれは大陸より高氣壓の發展し來ること比較的少なく爲めに西の寒風著しく減少すると全時に低氣壓の南海岸沖を通過するもの多かりしに北風多く曇勝にして時々降雨を來したるか故に温暖なりしものなるへし尚之れを詳示せんか爲め本年二月の風向觀測回數を最近三年（築港に移轉後即ち明治四十四年四十五年及大正二年の三ヶ年）平均風向觀測回數に比すれは左の如し

風向回數

風向回數

華氏三度位になつたことかあるか日々こんな低いことはないのみならず日出頃から温暖となり霜や雪も解けるようになる只本府管内て氣象上稍顯著なるは冬の季節風てわつて大阪灣附近から和泉の沿海地方ては冬になると西の寒冷なる强風か吹いて來る一事てある尤も氣温は前に述た樣に非常に低いと云ふ譯ではない大陸性の乾燥空氣の吹き來るのて皮膚の熱を奪ふから寒く覺へるか此頃は比較的晴天の日か多いのてあるそうして雨も太平洋又は日本海沿岸地方に較へると少ない方てある尤も梅雨季には三十日間に十五日位の雨天があると九月頃に雨か少し多いか其他には雨勝て困る樣な事は殆んどない東京邊に比へても雨は少ない方てある故に當大阪府は氣候の上から看ると好適地と云ふも敢て過賞てはないのてある

左に本府管内の各觀測所て創業以來昨年迄に觀測した成績表を添付して參考の一端に供す

郡市	町村字	氣温 平均	氣温 最高極	氣温 最低極	降雪 総量	降雪 月量の最多	降雪 月量の最少	降雪 日量の最多	霜 初霜平均	霜 最も早きもの	霜 終霜平均	霜 最も遲きもの	雪 初雪平均	雪 最も早きもの	雪 終雪平均	雪 最も遲きもの
泉南郡	深日	一五、四	三五、六	(一)六、三	一五〇九、〇	六七九、二	〇、四	三二九、〇	十一月廿七日	十一月七日	三月廿五日	四月十三日	一月三日	十一月廿七日	三月廿一日	三月廿一日
仝郡	尾崎	一五、五	三八、〇	(一)六、九	一四三九、三	五五九、七	一、二	二九三、〇	十一月廿一日	十一月二日	三月廿六日	四月十三日	十二月廿五日	十二月八日	三月一日	四月七日
仝郡	岸和田	一五、三	三五、九	(一)四、七	一二九八、二	四九四、二	一、〇	三一八、六	十一月十二日	十月廿一日	四月六日	四月十二日	十二月廿三日	十二月四日	三月二日	四月七日
泉北郡	長尾寺	一五、三	三五、五	(一)七、九	一二七四、九	五二九、五	三、六	二二六、二	十月廿日	十月廿一日	四月三日	四月十四日	五月一日	十二月十九日	三月三日	四月七日
堺市	堺	一五、五	三六、八	(一)七、七	一二四六、三	五一二、三	二、三	一八二、〇	十月廿三日	十月廿一日	四月十二日	四月十四日	十二月廿三日	十一月廿七日	三月六日	三月廿九日
大阪市	天王寺	一五、三	三七、〇	(一)五、五	一二八九、六	六一八、八	四、〇	二二四、〇	十月廿二日	十月廿一日	四月六日	五月四日	十二月廿七日	十二月十一日	三月六日	三月廿六日
仝市	築港	一五、二	三七、六	(一)七、一	一二七九、三	六三九、七	四、九	二〇八、〇	十月廿三日	十月廿日	四月八日	四月廿九日	十二月廿二日	十二月四日	三月十三日	三月晴一日
仝市	福島	一五、二	三六、五	(一)五、五	一三四三、一	六三九、七	四、九	二一六、〇	十月十日	十月廿三日	四月八日	四月廿九日	十二月廿二日	十二月四日	三月十三日	三月十三日
西成郡	新庄	一五、二	三六、三	(一)六、四	一三五〇、九	五九八、四	二、五	一八八、五	十一月十日	十一月一日	四月五日	四月十六日	十二月廿五日	十二月十日	三月十三日	三月晴一日
豐能郡	池田	一五、〇	三六、五	(一)八、九	一三七一、〇	六八四、〇	六、二	二二三、五	十一月八日	十月廿五日	四月十五日	五月一日	十二月十七日	十一月十三日	三月十一日	四月十一日
仝郡	妙見山	一一、〇	三一、四	(一)二、〇	一四二五、二	五五一、八	五、五	二〇、八	十一月九日	十一月一日	四月廿一日	五月五日	十二月廿九日	十一月六日	三月廿五日	四月十二日
仝郡	東郷	一三、六	三五、六	(一)一一、五	一五九一、三	五四六、四	三、七	二五七、〇	十月廿八日	十月十二日	四月十八日	五月八日	十一月晴日	十一月六日	三月廿三日	四月十二日

の期節はいつ頃てあるかと云ふと初霜の平均は大概十一月の十日前後てあるか攝津の山間や河内の山間は十月の下旬てあるそして最も早いのになると攝津や河内の山間ては十月の十日前後に霜のあることか有る又終霜の平均は矢張り山間部か遲くて四月の下旬から五月の上旬に亘つている其の外は大概四月の中旬から上旬てあるか和泉沿海の南の方ては三月下旬に終りを告ける、そうして最も遲かつたのは五月の二十五日にあつた事かある而し之れは山間部の事てもあり且つ珍らしい事てあるか平坦部ても五月の上旬に亘つた事かある

雪

前に述へた樣に本府管内は温度か高い、つまり暖かてあるから雪は餘り降らない一番寒い攝津の山間地方ても一年に四十日から多くて五十日位のものて攝津、河内の平坦部から和泉の沿海地方ては十五六日位てあるか一日中に數時間又は數分時間降るのてあるから從つて地上に積る程の事は少い大阪て一番澤山積つたのか明治四十年の二月十一日て五寸八分になつたことかある之れは稀なる現象て其の他の年にこうゆう大雪を觀測した事は殆んどない山間部地方ても精々一尺内外てあるそれとても地上に堆積している樣な事は殆んどない尤も天王の如き山間部ては三四日位降り續く事もあるけれとも雪か歇んて日か照り始めると直に解けてしまうたから他の地方のように根雪はないやうてある、そうして初雪の平均はいつ頃てあるかと云ふと初霜から見ると凡そ三四十日位後れて有るのか通例てある即ち十一月の下旬に攝津の北部天王あたりから始まつて十二月下旬頃大阪附近に到り翌年一月の上旬に和泉の南端深日邊に達する事になつているそれて最も早かつたのは北部の山間て十一月の上旬てあつて大阪附近から和泉の沿海地方は十二月上旬てある終雪の平均は遲いのか天王て四月一日になつているか大概は三月の中旬か多い又最も遲かつたのは矢張り天王て四月下旬て其の外の山間部ては四月の中旬てあつて平坦部から沿海地方は四月上旬から三月下旬に終つたことになつている

以上述へた樣に我大阪府は割合に氣候か温和てあるから結霜の期間も雪の降る間も短かく最高氣温も華氏の百度位迄昇ることかあるがその高い時間は僅かの間てあつて日か沒するに從つて熱を放散するから涼しくなる最低氣温も

度九、田原では零下八度八に迄下つた事かある大阪あたりては零下七度一に下つたのか最も低いのて之れは明治二十四年一月二十五日てある和泉の沿岸は割合に暖かて零下五六度位か一番低い事になつている

降水量　之れは雨や雪霰や雹等の降つた水の量即ち深さを粍（一粍は曲尺三厘三毛）て示したものてあるか大阪府管内の降水の配布を調へて見ると山岳附近に多くて豊能郡の天王は平均一年の量か千八百五十四粍五即ち五尺五寸六分餘りの深さて一坪の地面には卅三石三斗八升餘の降水量になる、其の次は北河内郡の田原て千六百十七粍二即ち四尺八寸五分餘の深さてある其の外、山に近い所を除くと大した變りはなく大概千三百粍から千二百粍位てあるから三尺九寸から三尺六寸位の深さて一坪の地面へ降つた量は二十三石五斗から二十二石位てあるか和泉の南紀州に近い方へ行くと少し多くなつて深日ては千五百九粍即ち四尺五寸三分計りの深さて一坪の地面へ二十七石一斗六升餘に當るそれて一年中にはどうゆう工合の降り方てあるかと云ふと一、二月は少ないか三月からたん〳〵多くなつて五月になると少し減るか六月には急に多くなつて一年中て一番雨の多い月となる、それから七月は稍々多いか八月には著しく減つて一年中て二番目の少ない月となつて六月の殆んと半分位となる九月は又急に多くなつて年中の第二番目の多い月になるそれからは少なくなつて十二月か一番少ない、この一番多い六月と一番少い十二月とては凡そ五と一程の違ひかある而して一日中雨量の一番多かつたのは明治三十六年の七月八日に和泉の南端深日て三百二十九粍即ち一尺一寸の深さて一坪の地面に五石九斗二升餘も降つている實に大阪府管内としては珍らしいことてある此の日は一帶に雨か多かつたので二百五十粍位降つた所は管内に澤山ある大阪ても二百粍から降つている其の次は明治二十九年八月三十日も隨分多い方て攝津の山間部地方ては二百五十粍から降つている

霜　此の霜は天氣晴朗の朝地より熱を放散する爲め地面か冷却して現はれるものて從つて氣温も亦低い時てある故に植物の凍害を受ける事かある尤も初霜の頃は格別害はないか春の晩霜の頃になると桑や茶の芽か萠出るので一朝此の晩霜に遇ふと凍害を受けるか故に天候に注意して豫防をなす事か肝要てあるそこて本府管内の初霜や終霜

象の觀測をして居るまた此の外に南河内郡の柏原にある農商務省農事試驗場綾内支場からも氣象の觀測をした成績を報告せられているから殆んど大阪府全管内の氣象を知る事が出來る樣になつている然し測候所では每時間即ち一日に二十四回定時に觀測し尙此の外に必要の場合には三十分時間或は十五分時間に觀測するのみならず自記の器械が備てあるから氣象に關する事はどんな事でも分らないことはないが管内の觀測所では午前十時一回に定時の觀測をする外臨時に起つた現象を觀測する丈けてあるから到底細かい事は出來ないが午前十時の觀測を測候所の觀測に較へて其の差異を考へ其の他のものを推察するのてある尤も管内の觀測所にも自記最高最低寒暖計が備へてあるから一日中の一番高い温度と低い温度は分る依つて日々の平均温度は最高最低の温度を平均して知る事が出來る又雨も午前十時に觀測しているから雨量も分るのてあるこれて氣象要素たる氣温と雨量等は確かに分るから之れを農事等に利用せは裨益尠からさるものと思はれる今左に順次其の概要を述へる事にします

氣　温

大阪府管内の年平均氣温は和泉の沿岸から攝津河内の平坦部地方に亘りては攝氏十五度位てあるか河内や攝津の山岳に近い所ては十四度位攝津の山間部にある枳根莊村の天王か十一度半妙見山か一番低くて十一度てあるそれから夏の最高氣温を調へて見ると大正二年七月二十九日全年八月七日及十日に南河内郡富田林て三十八度五華氏て云ふと百一度三になつたのか之れ迄て一番高いのてある次は明治三十六年八月十四日に北河内郡の枚方大正二年七月三十日泉南郡尾崎て卅八度〇華氏百度四その次は明治四十二年八月四日南河内郡の柏原て三十七度八華氏百度大阪と三島郡淸水とか三十七度六華氏九十九度七之れ等か高い方て其の外は三十七度から三十五度位てあるか妙見山は獨立した山てあるから氣候も少しく高山的の觀かある、たから最高氣温も餘り高くはならない漸く卅一度四華氏八十八度五になつたのか頂上てある又冬の最低氣温は明治三十四年二月十三日攝津の北端に當る枳根莊村の天王て零下十六度〇華氏て云ふと三度二其次は妙見山て零下十二度〇（華氏十度四）東郷の零下十一度五（華氏十一度三）之れ等か今迄て一番低いのてある其の外の地方ては未た零下十度に下つた事はないか池田ては零下八

り細かに大阪府管内の地勢より氣候の事を述へます

大阪府は攝津の國大阪市及西成、東成、三島、豐能の四郡と河内、和泉の二國より成りて北は丹波國に境し北東は山城國に隣り東方より南方に至る一帶は山岳連りて大和、紀伊の兩國と境をなして居る又北西は攝津の川邊郡と錯綜して南西は大阪灣に面している而して廣袤は東西二十里はかりに亘り南北二十一里餘に達して其總面積は百十八方里許に渉て居る山脈は南東に始まり蜿蜒して北に達して居るか西は一帶に平原連りて數流の河川か其の中央を流れて皆大阪灣に注いている其の川の内て最も大きくて最も影響を與へるのは淀川てあるこの淀川は近江の琵琶湖を水源として山城を經て河内攝津の境を貫き分岐し復た合流し更に四流となるか皆等しく大阪灣に朝す而して此の淀川の水は近江、山城、丹波、伊賀、大和、河内、攝津の七ヶ國から這入つて來るのてある、たから漕運とか灌漑とかの便は頗る多いか一朝大雨てもある時は沿岸の地方ては時々水害の難を蒙る事かある又山岳は特に峻容壯姿等と云ふものはないか一番高いのは南東偶にある金剛山てある其の高さは海抜三千六百尺許りてある其次は此の山の北隣にある葛城山(三千尺)それから七越山等も高いものてある北の方には餘り高い山はないか能勢の妙見山等は高い方て之れは海抜二千尺はかりてある、こうゆう工合て三方とも山岳を繞しているの内にあるのたから氣候は大阪市と餘り變りはないか只攝津の北部、河内の東部から南東部即ち山に近い方か少し冷氣て雨も稍々多い方てあるこれから大阪府の氣象觀測所の位置や各觀測所て觀測した結果の概略を聚會しましよう

我か大阪府て氣象の觀測を始めたのは明治十五年大阪市に測候所を建設したのか抑も嚆矢てある其の後明治二十四年氣象臺測候所條例施行細則に基き本府知事は訓令を以て泉南、泉北、東成、豐能、三島、北河内、中河内、南河内の八郡役所と堺市役所とに觀測所を設け寒盒晴雨計、乾球濕球寒暖計、最高最低寒暖計、雨量計、風信器等を備へ氣象の觀測を始めた其の後必要に依りて泉南郡深日全尾崎、北河内郡田原、三島郡清水、豐能郡妙見山、東郷、天王、西成郡役所、全郡新庄、南河内郡長野等へ順次觀測所を置き前同樣の器械を備へ現今ては其數二十ヶ所て氣

州の北西海岸に沿ひて北東方に流れ北海道の西岸より間宮海峽に至るのてある又冷流の方は李滿海流と親潮とかあり て其李滿海流は「オホツク」海に起り西比利亞の東岸に沿ひて南下し日本海の北部に沿ふて流れ朝鮮海峽に至り夫れより黃海に入る親潮は「カムチヤツカ」邊に起り千島に沿ひて南西方に流れ北海道の東乃至南岸に沿ひ遂に本州の東岸に來り冬になると往々鹿島洋附近まて來ることかある此の暖流に近い九州の南岸より伊豆附近に至る南海岸は暖かてあるか北海道より本州の三陸邊に至る地方は冷流の爲めに冷き傾きかある之加ならす日本は日本海と支那東海を隔てゝすくに大陸に接しているから島嶼てありなから大陸氣候の影響を受けることか甚た多い其著しき一二の例を擧けて見ますと夏は太陽の輻射熱の爲めに大陸は非常に熱せられますから其上の大氣は著しく稀薄となり輕くなつて爰に低氣壓の部位か出來ますそうして太平洋の方は比較的に涼ひから大氣は重く即ち高氣壓の部位となります夫れ故大氣は重き濃厚の方より輕き稀薄の方に流れて行きますから夏の風は南乃至東となりまして濕暖なる水蒸氣の多い大氣を太平洋より送つて來ますから南海岸は雨か多いのてある冬はどうかと云ふと夏と反對て大陸は非常に冷へますから其上の大氣も亦た冷却して濃厚となり重くなつて爰に高氣壓の部位か出來ます、そうして太平洋の方は比較的温暖てあるから臺灣の南方から北海道の東方か低氣壓の部位となります依て冬の風は北乃至西となり大陸より寒冷なる太氣を送て來るから比較的寒い方てあるか日本海の沿岸には前に云つた通り暖流の支流か流れているから多少氣候を調和している傾きかあろうと思ひますそうして此の風は本州の主山脈に吹き付けるのてあるから裏日本は雨又は雪か非常に多く冬は終日晴天を看ることは甚た稀てあるか若し此の主山脈を越ゑて表日本の方を看ると好晴の天氣て恰も夜の明けた樣な觀かあるのてある先つ大体こうゆう模樣てありますそこて大阪府管内はどうかと云ふに冬は裏日本の如く雨や雪は多くはないか北乃至西の風は瀨戸内海に入り西風となつて吹き來り强風以上に達することは珍しくない夏は表日本の如く雨は多くはないのみならす南乃至東の風は紀伊山脈に遮られて南西の風となりて吹き來り涼氣を覺ゆる位にして强風に達することは甚た稀てある以上は大体のことてありますから是れ

附記　此地震は紀伊水道に發したる微震なるべし

三四　二月二十六日午後二時十七分三十二秒の地震

此地震は緩微なる波動を呈し振動の各部判明せされとも最大振幅は東西動は午後二時四十二分三十一秒に於て二十「ミクロン」振動期九秒一南北動は午後二時四十分四十秒に於て十五「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時三十五分二十四秒、南北動は一時四十三分二十四秒なり

附記　此地震は遠距の所に發したるものにして震源は未だ詳ならす

大阪府管内の氣候一斑

技手　芝野彊

氣象測候は人世百般の事に關係する所尠からされども未だ之れを知悉するもの甚だ少し依て之れを普及せんか爲め曩に當測候所を開放し一般公衆の觀覽に供し爾後通俗講話等をなし新聞紙上に發表せしか本府管内の氣候に關する通俗的講話は爰に掲げて專ら實業者の參考に供せんとす

氣候は地勢に依りて著しく差異かありますから大阪府管内氣候を述ますのには先づ日本か地球上とうゆう所の位置にありて附近の海陸か如何なつているかを申上げませんては分り兼ねる所かあろうと思ひますから一寸地勢と海流の概況を述へて置きます

抑も我日本帝國は亞細亞の東方即ち太平洋の西部に散在せる島嶼て南西方臺灣より起り北東に走りて千島及樺太に至りています夫れて臺灣南部の恒春は一ヶ年の平均温度か攝氏の二十四度三大阪か十四度八樺太の敷香か零下零度八て即ち熱温寒の三帶氣候か含まれています其他日本の近海には暖流と冷流とかありまして多少氣候に影響を與へて居るやうてす其暖流なるものは黑潮と唱へ南西呂宋及臺灣近海に起り北東方に流れて琉球群島の南に至り本支二流に分れ本流は前の方向て進んて九州四國及本州の南方を過き陸前の金華山邊の沖合に至り少しく東に傾いて流れて行くか支流は琉球近傍より北に向つて流れ九州西岸を過き對馬海峽を通つて日本海に入り所謂對馬流となりて本

イルクツク　仝　一一時四八分四〇秒

三一　二月十五日午前十時二十六分三十秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は八分二十六秒にして主要動となり最大振幅は午前十時三十五分四十秒に於て三十七「ミクロン」振動期六秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は三十二分五十二秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未だ震源は詳ならされとも各所の觀測に依りて看るに南洋「マアーシャル」群島に發したるものならん今重なる所の發震時を列記すれは左の如し

マニラ	午前一〇時二六分二二秒
大阪	仝　一〇時二六分三〇秒
イルクツク	仝　一〇時二八分五六秒

三二　二月十七日午前二時二十八分五十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動の呈し初期微動の繼續時間の零分五十九秒にして主要動となり最大振幅は午前二時三十分二十秒に於て十四「ミクロン」振動期二秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十二分二十三秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は鹿島灘に發したるものにして筑波山にては性質急なる微震を感じ震域北方は岩代の福島邊に南方は東京附近に達しなり

三三　二月十八日午前二時三十七分五十三秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十三秒にして主要動となり最大振幅は午前二時三十八分十三秒に於て七「ミクロン」振動期一秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は五分三十六秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

長崎	仝	三時三四分二〇秒
大連	仝	三時三四分三四秒
福岡	仝	三時三四分四七秒
大阪	仝	三時三五分四七秒
臺北	仝	三時三五分五九秒
ジカウエー	仝	三時三六分五七秒
マニラ	仝	三時三七分三〇秒
イルクツク	仝	三時四二分〇七秒

三〇　二月十四日午後十一時三十九分三十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後十一時四十三分三十八秒に於て七十二「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午後十一時四十三分四十八秒に於て六十二「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十八分二十五秒南北動は二十七分五十八秒なり

附記

此地震は前地震と同震源帶に發したるものにして鹿兒島にては緩なる微震を感じ微動は遠く西比利亞南部に及べり今其等の發震時を列記すれは左の如し

鹿兒島	午後	一一時三八分〇〇秒
長崎	仝	一一時三八分〇六秒
福岡	仝	一一時三八分一五秒
大阪	仝	一一時三九分三四秒
ジカウエー	仝	一一時四一分二三秒

二八　二月十三日午前三時二十分零秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時二十五分三十秒に於て四十「ミクロン」振動期六秒七、南北動は午前三時二十五分四十七秒に於て五十三「ミクロン」振動期六秒二を現し後終期に移らんとする時續震來りて重なりたり

附記　此地震は薩摩の硫黄島附近に發したるものにして鹿兒島にては緩なる微震を感し微動は臺灣に及ひたり今是等の發震時を列記すれは左の如し

鹿兒島	午前三時二〇分〇〇秒	
長崎	仝　三時二一分三四秒	
福岡	仝　三時二一分四八秒	
大阪	仝　三時二二分〇〇秒	
大連	仝　三時二二分一三秒	
ウカウエー	仝　三時二二分四四秒	
臺北	仝　三時二一分四一秒	

二九　二月十三日午前三時三十五分四十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間一分十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前三時三十八分十四秒に於て百十二「ミクロン」振動期九秒一、南北動は仝時刻に於て六十五「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は三十三分四十六秒南北動は三十四分四十一秒なり

附記　此地震は前地震と同震源帶に發したるものにして前地震の終らざる内に始まれり而して鹿兒島にては緩なる微震を感し微動は西比利亞南部及比律賓島に及へり今是等の發震時を列記れは左の如し

鹿兒島	午前三時三三分五〇秒

大　阪	仝	三時五二分二八秒
長　崎	仝	三時五三分〇一秒
大　連	仝	三時五四分〇七秒
ジカウエー（支那上海）	仝	三時五四分二二秒
臺　北	仝	三時五四分五四秒
イルクツク（西比利亞）	仝	三時五五分四〇秒
マニラ（比律賓島）	仝	三時五六分二四秒

二六　二月十日午前一時六分二十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時八分九秒に於て百三十五「ミクロン」振動期四秒〇、南北動は午前一時八分十秒に於て百七十七「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十四分五十八秒、南北動は十四分十八秒なり

附記　此地震は上總の東部に發したるものにして安房の南端なる布良にては強震を感じ家屋動搖し銚子、東京、横濱、横須賀等にては性質急なる弱震を感し震域北方は北海道の南部函館に達し西方は越前の福井邊より伊勢の津附近に及ひ地震を感したる面積は五千九百四十方里に亘れり

二七　二月十二日午前三時五十九分二十二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十三秒にして主要動となり最大振幅は午前四時零分五十六秒に於て五十一「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十一分十九秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は相模の中部に發したるものにして横濱にては性質急なる強震を感し横須賀布良等にては弱震を感し震域北方は岩代の福島邊より越後の新潟附近に達し西方は名古屋邊に及ひ地震を感したる面積は四千六百方里に亘れり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計（東西及南北動二十倍）を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Eは振動の終とす又（十）は南北動にありては北、東西動にありては東（一）は南北動にありては南、東西動にありては西なり、振幅は「ミクロン」（粍の千分一）を以て記す

本月中に地震を觀測したる數は十回にして人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものも亦た一回もなかりしが無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは八回即ち薩摩の硫黄島に發したるもの三回、上總の東部、相模の中部、陸奥沖、鹿島灘、紀伊水道の各一回なり又遠距離の地震は二回にして一は南洋「マアーシャル」群島に發したるもの其他の一は震源詳ならず今其觀測概況を列記すれは左の如し

二五　二月七日午後三時五十二分二十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間の二分九秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後三時五十五分二十一秒に於て二百四十「ミクロン」振動期七秒二、南北動は仝時刻に於て四百十「ミクロン」振動期七秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は二十九分五秒、南北動は二十六分二十四秒なり

附記　此地震は陸奥沖に發したるものにして北海道十勝にては劇震を感し地鳴あり又青森にても劇震を感し震域南方は東京附近より名古屋邊に亘り地震を感したる面積は二萬三千四百三十方里に及べり而して微動は西比利亞南部及比律賓島に及ひたり今是等の發震時を列記すれは左の如し但し時刻は日本中央標準時に據る以下皆仝し

函館	午後三時四九分五八秒
東京	仝　三時五一分四〇秒

管内天氣摘要

●一日概ね晴天長承寺、大阪に雨降り大阪に強風吹き所々に霜あり●二日晴曇相半し所々に雪霰を降らし深日、長承寺、大阪に雨を混し大阪に強風吹き新庄に霜あり●三日晴曇相半し所々に雪霰を降らし大阪、新庄、池田、清水に霜あり●四日概ね晴天所々に霜あり●五日概ね曇天所々に霜あり午後に至り雨或は雪降り翌日に亘る●六日前日來の雨雪概ね未明歇み尾崎、大阪に強風吹けり●七日概ね曇天長承寺に雨、岸和田、大阪、妙見山、天王に雪降り尾崎、大阪に強風吹けり●八日概ね曇天一般に雨或は雪降り長承寺、大阪、東郷に霰を混し尾崎、大阪、新庄、八尾、柏原に強風吹けり●九日晴曇相半し所々に雨、天王に雪、柏原に霰降り尾崎、大阪に強風吹けり●十日概ね晴天所々に雪降り大阪、新庄に霜あり●十一日概ね晴天所々に霜あり●十二日概ね晴天一般に霜あり●十三日概ね晴天天王に雪降り一般に霜あり●十四日概ね晴天所々に霜あり●十五日概ね晴天新庄に雨降り所々に霜あり●十六日概ね晴天所々に雨降り池田、東郷、天王に霜あり十七日概ね晴天所々に霜あり●十八日概ね曇天午後より雨降り翌日に亘る●十九日前日來の雨概ね午前歇み尾崎、大阪、新庄、柏原に強風吹けり●二十日概ね曇天所々に雨降れり●廿一日晴曇相半し長野に雨降れり●二十二日概ね曇天妙見山、天王は雪降り其他は一般に雨降り翌日に亘る●二十三日前日來の雨或は雪午前歇み大阪に強風吹けり●二十四日概ね晴天岸和田、大阪、新庄、清水、枚方に霜あり●二十五日概ね曇天一般に雨降り八尾に霜あり●二十六日晴曇相半し所々に雨(天王は雪)降れり●二十七日晴曇相半し大阪に雨天王に雪降り大阪、新庄、清水に霜あり●二十八日概ね晴天所々に霜あり

月	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日
六二·九	一	一	一	五二·二	一	一	一〇·三	一	一	一·一	二一·八	一	一	一·八	一	一	一	一	一	一	二二·〇	〇·二	一
八〇·九	一	一	一	七二·二	一	一	一一·三	一	一	五·四	二四·二	一	一	三·二	一	一	一	一	一	一	一六·二	一	一
七五·八	一	一	一	五二·二	一	一	一二·〇	一	一	二·三	二九·二	一	一	一·三	一	一	一	一	〇·〇	一	一六·三	一	〇·〇
八二·六	一	一	一	五·八	一	一	一二·五	〇·〇	〇·二	二·八	二八·五	一	一	一·七	一	一	一	一	〇·〇	〇·〇	一七·〇	〇·六	〇·一
八·一	一	一	一	一五·一	一	一	一二·五	〇·一	一	二·五	二四·四	一	一	二·一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
八三·四	一	一	一	五·六	一	一	一五·〇	一	一	二·〇	二八·七	一	一	〇·四	一	一	一	一	〇·〇	一	一七·〇	〇·二	〇·八
八四·四	一	一	一	六·〇	一	一	一〇·〇	〇·三	一	一·九	三二·〇	一	一	〇·四	一	一	一	一	一	一	二四·三	〇·二	一
八三·二	一	〇·〇	〇·〇	六·六	一	〇·〇	九·六	〇·二	一	一·五	三一·二	一	一	〇·七	一	一	一	一	〇·六	〇·〇	二四·二	〇·一	〇·一
七四·二	一	一	一	六·七	一	一	七·八	〇·二	一	一·四	二七·七	一	一	〇·五	一	一	一	一	〇·〇	一	二二·一	〇·二	〇·一
七八·一	一	一	一	七·〇	一	一	八·二	一·一	一	一·四	二六·五	一	一	〇·二	一	一	一	一	〇·七	一	二七·一	一	一·〇
六六·八	一	一	一	七·七	一	一	六·七	一	一	一·四	二三·七	一	一	一	一	一	一	一	〇·五	一	二二·〇	一	一·〇
六八·六	一	一	一	一二·五	一	〇·〇	一·二	一	一	一·〇	二〇·二	一	一	一	一	一	一	一	〇·〇	一	二〇·二	一	一·〇
七六·六	一	一	一	五·〇	一	一	六·二	一	一	二·〇	二五·二	一	一	一	一	一	一	一	〇·四	一	二〇·五	一	一·〇
七二·四	一	一	一	一·六	〇·五	一	五·七	一	一	三·〇	二一·〇	一	一	一	一	〇·三	一	一	〇·五	一·二	一	〇·五	一
七二·五	一	一	一	八·〇	一	一	八·〇	〇·五	一	二·〇	二三·四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二〇·二	一	一·〇
六八·六	一	一	一	八·五	一	一	九·五	一	一	二·〇	二三·〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二〇·二	一	一·〇
九〇·二	一	一	一	七·五	一	一	七·〇	一	一	一·五	三〇·〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二五·〇	一·〇	三·〇
八〇·六	一	一	一	五·八	一	一	九·八	一	一	三·五	二九·〇	一	一	〇·四	一	一	一	一	一	一	二四·〇	一	一·二
八九·五	一	一	一	八·〇	一	一	一三·五	一·五	一	二·〇	二三·〇	一	一	一·五	一	一	一	一	一·〇	一	二三·〇	〇·五	一·〇
八三·六	一	一	一	五·五	一	一	一二·六	〇·一	一	二·〇	二一·三	一	一	一·三	一	一	一	一	〇·八	一	一七·七	一	一·〇
八五·〇	一	一	一	八·〇	一	一	一二·五	三·五	一	四·〇	二六·〇	一	一	三·〇	一	一	一	一	一	一	一七·〇	〇·五	一·〇
八七·〇	一	一	一	五·八	一	一	一三·三	四·五	一	三·五	二八·五	一	一	三·五	一	一	一	一	一	一	一四·三	〇·〇	一

第五表 管内降水日量

天王寺	九、二 一、三	四、三 高 〇、三	一五、五	一六 (一) 四、一 一三	八四、四 多	三二、三	三二、〇 一八	五、九	七〇	五、七	西北	一二	四	〇	〇	八	〇	〇	七	一二	〇
大阪	九、五 一、七	五、六 高 一、三	一五、六	一六 (一) 二、五 一三	八三、二 多	二七、四	三一、一 一八	六、三	六六	六、五	北	一三	五	四	〇	一六	〇	〇	九	一七	一〇
福島	一〇、三 一、一	五、六 高 一、三	一六、四	一六 (一) 三、五 一一	七四、三 多	一八、四	二七、七 一八	六、九	七〇	六、一	北東	一一	三	一	〇	一三	〇	〇	八	一四	一
新庄	九、六 〇、八	五、三 高 〇、四	一五、六	一六 (一) 三、二 一三 五	七八、一 多	二三、四	二六、五 一八	五、七	七〇	六、四	東	一一	三	〇	〇	一五	〇	〇	六	一五	一
池田	一〇、一 〇、一	五、一 高 〇、六	一六、五	一六 (一) 三、八 一二 五四	六六、八 多	八、八	二三、七 一八	六、七	六五	九、九	北東北	八	二	〇	〇	七	〇	〇	七	一三	〇
妙見山	三、六 (一) 二、六	〇、五 高低 令一	一一、一	一七 (一) 八、五 一三	六八、九 多	一二、五	三〇、二 一八	〇、八	八四	五、七	北	七	八	〇	〇	〇	〇	〇	七	一三	〇
東郷	八、七 (一) 〇、九	三、九 高 〇、六	一五、〇	一六 (一) 六、五 一三	七六、六 多	一七、二	三二、五 一八	五、八	七二	四、六	北	九	五	一	〇	七	〇	〇	一二	一一	〇
天王	五、七 (一) 二、三	一、七 高 一、一	一三、四	一七 (一) 九、九 一三	七二、四 少	九、四	三一、〇 一八	三、一	七六	六、四	北	一五	一一	三	〇	五	〇	〇	四	一二	〇
茨木	一〇、三 〇、三	五、三 高 〇、四	一六、五	一六 (一) 四、一 一三 二五	七二、五 多	一四、七	二五、〇 一八	七、二	六九	六、〇	西	八	三	〇	〇	九	〇	〇	七	一三	〇
清水	一〇、〇 (一) 〇、九	四、六 高 〇、四	一五、七	一七 (一) 四、五 五	六八、六 多	一六、三	二三、四 一八	六、七	六五	七、〇	南	八	三	一	〇	一四	〇	〇	四	一六	〇
枚方	一〇、九 一、〇	六、〇 高 一、二	一七、八	一七 (一) 三、五 五	九〇、三 多	三一、九	三四、〇 一八	七、五	五八	六、一	西	九	二	〇	〇	九	〇	〇	八	一五	〇
田原	九、五 (一) 一、二	四、三 高 〇、八	一七、〇	一七 (一) 六、四 五	八〇、六 多	二四、九	二九、〇 一八	六、三	七〇	六、二	西	九	二	〇	〇	七	〇	〇	七	一四	〇
八尾	九、七 〇、四	五、〇 高 〇、三	一五、五	一七 六 (一) 三、〇 一二 五	八九、五 多	三四、九	二五、〇 一八	六、四	六六	六、三	北西	一三	二	〇	〇	六	〇	〇	六	一三	二
柏原	九、五 (一) 〇、三	四、九 高 〇、三	一六、三	一六 (一) 四、三 一三 五	八三、六 多	三〇、三	二八、三 一八	五、四	八二	六、四	南西	一一	二	〇	〇	五	〇	〇	六	一五	二
富田林	一〇、八 〇、三	五、五 高 一、〇	一七、五	一七 (一) 三、九 一三	八五、〇 多	二八、〇	二六、〇 一八	七、三	六四	六、〇	西北	一一	三	〇	〇	五	〇	〇	五	一三	〇
長野	八、五 (一) 〇、三	四、一	一四、七	一六 (一) 四、九 一三	八七、〇		二八、五 一八	六、一	六七	五、九	北	九	三	〇	〇	四	〇	〇	四	一一	〇

二月	一日	二日	三日	四日	五日
深日	―	一、五	―	―	八、一
尾崎	―	四、〇	〇、三	―	九、二
岸和田	―	〇、〇	〇、〇	―	九、五
長承寺	〇、二	一、一	―	―	一三、〇
濱寺	〇、四	一、一	―	―	一二、〇
堺	―	一、〇	―	―	一三、〇
天王寺	―	一、五	―	―	八、〇
大阪	〇、〇	二、七	〇、〇	―	七、五
福島	―	一、〇	〇、〇	―	六、六
新庄	―	〇、〇	〇、〇	―	五、五
池田	―	―	〇、〇	―	三、九
妙見山	―	〇、〇	〇、〇	―	三、〇
東郷	―	〇、〇	一、〇	―	三、二
天王	―	一、二	一、六	―	二、〇
茨木	―	一、〇	―	―	五、〇
清水	―	〇、八	―	―	三、五
枚方	―	一、〇	―	―	五、二
田原	―	〇、三	―	―	六、五
八尾	―	二、〇	―	―	一〇、五
柏原	―	三、三	―	―	一一、九
富田林	―	一、五	―	―	一〇、〇
長野	―	三、五	―	―	一一、三

之れに亞き其他の地方は零下五度より零下二度五の間にあり要するに本年二月の氣溫は最高十七度五より最低零下九度九の間にありて其較差は實に二十七度四に達せり

降水量　總量は西部枚方の九十粍二より南部深日の六十二粍九の間にありて之れを平年に比すれは天王に除く外に一般に多量にして西部より東部の大部は約六割の増量を示せり而して一日中の最多量は十八日より十九日に亘りし降雨の際にありて其最も多きは西部枚方にして三十四粍〇を量りたり又三十粍以上に達したるは天王寺、大阪、妙見山、天王の四ヶ所にして其他は二十九粍より二十二粍の間にあり

第四表　管内全月氣象觀測成績

觀測所	空氣の溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年比較	最高 極	最高 日	起 極	最低 極	起 日	降水 總量 本年	平年比較	最多 日量	起 日	午前十時（柏原は午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	電雷	地震	午前十時天氣 快晴	全天	暴風
深日	一〇、三	一、八	六、〇	高〇、八	一四、六	一七	(一)	二、六	一三五	六二、九	多	九、四	二一、八	一八	七、七	六五	六、一	北	九	一	〇	〇	七	〇	〇	九	一四	〇
尾崎	九、九	一、八	五、九	高〇、五	一三、九	一六	(一)	二、六	一三五	八〇、九	多	二五、七	二四、二	一八	六、七	六二	五、〇	北	九	二	〇	〇	五	〇	〇	一〇	一〇	六
岸和田	九、〇	一、七	五、四	高〇、三	一五、二	一六	(一)	三、二	五	七五、〇	多	二二、四	二九、二	一八	六、六	六二	五、二	北	七	三	一	〇	七	〇	〇	九	一二	〇
長承寺	九、六	〇、七	五、一	高〇、二	一四、九	一六	(一)	四、一	一一五	八二、六	多	三〇、一	二八、五	一八	七、一	六八	四、八	北東西	一二	三	一	〇	九	〇	〇	一二	九	〇
濱寺	一〇、一	〇、六	五、三	/	一五、七	一六	(一)	四、一	一三	八三、一	/	/	二四、四	一八	六、四	六四	五、二	西	一〇	一	〇	〇	一	〇	〇	一四	一四	四
堺	九、七	一、二	五、四	高〇、三	一五、二	一六	(一)	五、一	一三	八三、四	多	三一、九	二八、七	一八	六、六	六六	五、四	西	八	二	〇	〇	六	〇	〇	一一	一三	〇

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
觀測回數	二四二	一三八	七七	一五	一七	六一	六六	七二	三	北一度	四一
平年比較	多 七八	少 七	多 四	少 四	少 一〇	少 一九	少 七三	多 二四	仝 一		

大阪府管內氣象概況

前項に詳悉したるか如く二月は主として西乃至北西の寒風吹き氣温冷却し年中の低極を現すこと多く時々西の寒風雪霰を伴ひ來ることあるも天氣は概して晴燥の日を多しとす然りと雖も下旬に至れは西風減殺し寒氣稍々衰へ温暖となるを常とす今本年二月の氣候を調査するに上半月は寒氣凜冽にして降雪連日に亘り氣温最低は北部天王に於て零下九度九に降りしか下半に入りては頓に温暖となり最高氣温は十七日東部富田林に於て十七度五を示し且つ十八日午後より十九日午前に亘りて大雨あり其量多きは三十粍以上に達し爾後漸次温暖に經過せり而して降水量は八日及十八日に多量の降雨ありたるを以て平年より約五割の多量を呈したり更に氣温、降水量に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は南部深日西部枚方の六度〇より北部妙見山の零度五の間にありて之れを平年に比すれは一般に一度内外の過高を呈せり而して最高は十六日乃至十七日に現はれ東部富田林の十七度五を高極とし東部田原、西部枚方の十七度〇之れに亞き其他は十六度乃至十三度にして妙見山は十一度一に過きす又最低は五日及十三日に現はれ北部天王の零下九度九を低極とし妙見山の零下八度五、東郷の零下六度五、田原の零下六度四

全月觀測成績

種目	平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓	七六五·六六	高 〇·〇八	七七四·三	二八	七五六·四	九八
氣溫 平均	五·一七	低 〇·四一	一五·五	一六 (一)	三·三	一三
氣溫 最高	九·四八	低 〇·一三	一五·六	一六	一	一
氣溫 最低	一·七二	低 〇·二六	一	一 (一)	二·五	一三
氣溫 較差	七·七五	高 〇·一四	一四·一	一五	一	一〇
水蒸氣張力	四·七〇	低 〇·三一	七·八	二〇	二·九	一〇
濕度	七一·八	多 〇·七	一	一	三六	一五 一六
飽差	二〇·八八	〇·〇三	八·一	一六	〇·二	市
降水 月量	八三·九	多 二·一	一	一	一	一
降水 日量最多	一	一	二三·九	一九	一	一
降水 時量最多	一	一	六·四	一九	一	一
蒸發量	六四·九	少 二·七	六·二	一三	〇·五	八
日照時數	一二四·二五	少 二三·九七	一〇·八〇	二八	一	一
地溫 地皮	五六·一	低 〇·五五	一五·八	二四 (一)	〇·五	一三
地溫 十糎	六〇·二	高 一〇·一	九·三	二〇	二·八	一三
地溫 二十糎	六四·三	高 一二·六	八·六	二一	四·二	一三
地溫 三十糎	六八·五	低 〇·〇一	八·四	二一	五·三	一三
地溫 六十糎	七八·八	高 〇·一〇	八·五	二一	七·一	一四
地溫 百二十糎	九八·八	高 〇·〇八	一〇·四	二一 四	九·五	二〇 二一
地溫 三百糎	一五·九二	高 〇·一五	一六·五	二	一五·五	二六 二八
地溫 五百糎	一六·九四	高 〇·〇四	一七·二	一八	一九·七	二七 二五
地溫 七百糎	一六·七九	高 〇·〇二	一六·九	二	一六·七	二五

半旬期觀測成績

種目	自一月一日 至二月四日	自二月五日 至二月十四日	自二月十五日 至二月十九日	自二月廿五日 至三月廿四日	自三月廿五日 至三月一日
氣壓	七六五·三三	七六三·一八	七六六·六四	七六七·二三	七六五·〇二
平年に比し	高 〇·一九	高 〇·五二	低 〇·三九	高 一·七七	低 一·二八
氣溫	三·八三	三·九四	三·一二	七·四七	六·七三
平年に比し	低 一·二三	低 一·〇三	低 一·三二	高 一·二七	低 〇·三八
最高氣溫	八·〇二	七·五二	八·四三	一二·二四	一〇·一二
平年に比し	低 〇·七五	低 一·三五	高 〇·二〇	高 一·九八	低 〇·二七
最低氣溫	〇·四四	一·四二	九·九〇	二·八三	四·四八
平年に比し	低 一·四〇	低 〇·一一	高 一·四八	高 〇·一五	高 一·一六
水蒸氣張力	三·九三	二·二二	四·一三	五·三〇	五·三七
平年に比し	低 〇·七四	低 一·六三	低 〇·一七	高 〇·二一	低 〇·〇六
濕度	六六·二	七二·九	七三·六	七〇·二	七二·六
飽差	二·二二	一·七一	一·七六	二·六三	二·〇九
平年に比し	多 四·〇	多 六·七	多 三·九	多 〇·九	少 一·四
降水量	三·三	二九·六	〇·五	三·三〇	九·七
平年に比し	多 〇·一三	少 〇·五八	多 〇·一九	多 〇·四〇	多 〇·四二
雲量	五·二	七·九	三·六	六·二	八·一
平年に比し	少 〇·二	多 二·八	多 〇·六	多 〇·三	少 〇·六
日照時數	二七·〇〇	一三·三〇	三·三	二四·九〇	一〇·六〇
平年に比し	多 一·九五	少 一四·三〇	多 二六·六九	多 四·六一	少 一〇·三二
風速度	四·七二	四·三一	三·三三	四·一六	三·五三
平年に比し	多 一·三三	多 一·六九	多 二·〇三	多 一·八三	多 〇·七一

八日	三〇	四四	五三	六三	七七	〇三	(午前三時五十分より小雨降り始め全九時五十五分より霰を交へ全十時〇五分より雪、霰となり全十一時二十二分より雨を交へ午後零時二十分より全く雨となり全十一時十八分歇む午後三時乃至五時強風吹けり
九日	四七	四九	五三	五八	七五	二八	朝微霜あり、午前十一時三十三分より微雨斷續して午後零時五十七分歇む午後三時及五時強風吹けり
十日	三三	四四	五二	五九	七五	四五	(午後一時十分より微雪降り初め斷續して午後四時三十分歇む、夜微霜あり、午後九時五十五分より月暈現れ翌曉に到る
十一日	三七	四二	四九	五六	七五	四二	前夜來の月暈午前五時卅分消ゆ、朝霜あり、午前十時四十分より午後零時四十五分迄日暈現る夜霜あり
十二日	三一	四三	四九	五七	七三	六四	朝霜多し、夜に入り又霜あり
十三日	三七	四一	四八	五五	七三	七五	朝霜多し、午前七時二十五分より八時四十五分迄薄霧あり、夜微霜あり
十四日	五二	五一	五三	五七	七二	五〇	朝霜多し、午前五時四十五分より九時七分迄薄霧あり、午前十時烟霧あり、夜霜あり
十五日	五八	五五	五八	六一	七三	四二	朝霜あり、午前四時二十分より八時二十分迄薄霧あり
十六日	七三	七〇	六八	七四	七四	〇二	午前三時五十分より七時二十五分迄小雨、夜薄露す
十七日	六八	七八	七〇	七一	七六	三七	朝微霜あり、午前十時乃至十一時烟霧あり
十八日	六五	七一	七三	七四	七八	〇八	朝微露あり、午後七時四十分より小雨及小霰降り始め後雨となり翌日に到る
十九日	六九	六九	七一	七三	七八	二四	(前日來の雨時々大雨を交へて斷續し午前十一時十五分歇む、午前二時乃至午後二時強風吹けり、午後七時四十分より十一時四十分迄小雨
二十日	八六	八三	八〇	七九	八〇	五九	午前一時三十分より小雨斷續し八時十分歇む
二十一日	七九	八二	八二	八三	八三	四四	—
二十二日	六四	七四	七九	八一	八九	二三	午前四時三十分より小雨時々凍雨を交へ後小雨となり斷續して翌日に到る
二十三日	六五	七〇	七四	七八	八四	〇二	前日來の小雨斷續して午後一時三十一分歇む、午後三時強風吹けり、夜半薄露あり
二十四日	六九	六九	七一	七六	八四	三二	朝微霜あり、夜薄露あり
二十五日	六二	六七	七二	七六	八三	〇二	朝薄露あり、午前十一時五分より小雨斷續して翌日に到る
二十六日	七三	七六	七六	七七	八三	一四	前日來の小雨斷續して午後一時二十分歇む、午後十時より強風吹き始め翌日に到る
二十七日	六五	六八	七二	七七	八四	二八	(前日來の強風午前一時に至る、朝霜あり、午前十一時六分より十一時二十分迄及午後二時四十五分より三時三十五分迄微雨　午後一時二十分より二時十分迄日暈現る、夜半微霜あり
二十八日	六九	六八	七一	七六	八四	四七	朝微霜あり　夜露あり
全月	五六	六〇	六四	六八	七九	二〇	

十九日	七六二・七	八・〇高	三・〇	一〇・六	四・〇	六・六	六・五	八一	一・六	八・六	一一・八	北北東	北北東	一〇・〇	〇・六少	二・一	二三・九	一・八
二十日	七六四・三	八・七高	三・三	一一・八	七・四	四・四	六・七	八一	一・七	三・〇	七・六	北北西	北	一〇・八	〇・六少	六・〇	〇・四	一・七
廿一日	七六五・二	八・一高	一・九	一一・七	六・一	五・六	五・二	六六	二・五	四・七	九・五	北	北	九・四	一・三少	三・九	—	二・四
廿二日	七六四・三	五・八低	二・一	八・三	三・七	四・五	五・四	七九	一・五	二・四	四・七	北	北	九・七	一少	〇・四	八・〇	一・二
廿三日	七六三・八	五・三低	一・三	八・六	三・三	五・三	四・九	七四	一・九	三・五	一〇・二	北	北	八・五	〇・九少	二・三	一・三	一・九
廿四日	七六七・六	五・八高	一・〇	一〇・三	一・九	八・四	四・五	六七	二・五	三・三	六・九	北北西 北	北	二・七	七・九多	二・三	—	二・一
廿五日	七六三・四	五・八低	〇・八	九・三	二・三	六・九	五・八	八三	一・二	二・六	五・四	北北東	北東	七・六	〇・三少	四・九	七・一	〇・七
廿六日	七六〇・八	七・一高	〇・三	一一・四	四・七	六・七	五・四	七二	三・二	五・二	一二・九	西南西 西	北北西	六・四	四・一少	〇・四	〇・〇	一・二
廿七日	七六九・〇	五・〇低	一・五	九・五	一・一	八・四	四・二	六六	二・四	四・六	一〇・一	西	北	四・七	三・六少	一・四	〇・〇	二・一
廿八日	七七三・〇	五・五低	二・一	一一・六	〇・四	一一・二	四・七	七二	二・二	二・五	四・三	西南西	北東	一・三	一〇・八多	三・三	—	二・九
全月	七六五・七	五・二低	〇・四	九・五	一・七	七・七	四・七	八二	二・一	四・〇	一三・八	北東	北東	六・〇	一二四・二少	二三・六	八三・九	二三・二

第二表

大阪毎日氣象觀測成績の二

二月	地中溫度(平均) 地皮	一呎	二呎	三呎	六呎	最低地溫	諸現象の摘要
一日	五・三	五・六	六・三	六・八	八・〇	(−)五・六	朝霜あり、午前十時及午後一時より五時まで強風吹けり、午後六時五分より六時十分迄微雨
二日	五・三	五・七	六・四	六・八	八・〇	(−)〇・六	午前一時及五時強風吹けり、午前十一時廿五分より微雪降り初め時々霰を交へ以て斷續し午後九時七分歇む
三日	四・五	五・五	六・三	六・八	八・一	(−)四・〇	朝霜あり、午前十一時十八分より微雪降り初め時々霰を交へて斷續し午後四時五十三分歇む夜半微霜あり
四日	四・三	五・〇	五・八	六・六	八・〇	(−)五・二	夜霜あり
五日	四・一	四・六	五・四	六・三	八・〇	(−)五・二	朝霜あり、午後七時五十五分より小雨降り初め翌日に到る
六日	六・一	六・〇	六・三	六・五	七・八	(−)〇・五	前日來の小雨斷續して午前七時五十二分一旦歇み歇たるも午後四時二十九分より又斷續し五時四十四分歇む、午後二時強風吹けり
七日	四・四	五・四	六・三	六・七	七・九	(−)三・二	朝霜あり、午前八時七分より八時二十五分迄微雪、午後三時強風吹けり

夜半平均	七六五、八七	三、六三	四、七一	七九、一	一、三三	三、一二	五、〇	—	四、六	三、八三	六、一七	六、七四	六、九九	七、九一
	七六五、六六	五、一七	四、七〇	七一、八	二、〇八	三、九九	六、〇	一二四、二五	八三、九	五、六一	六、〇二	六、四三	六、八五	七、八八

第二表　大阪每日氣象觀測成績の一

二月	氣壓平均	空氣の溫度 平均	空氣の溫度 本年平年比較	空氣の溫度 最高	空氣の溫度 最低	空氣の溫度 較差	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風 速度平均	風 最大速度	風 全上方向	風 最多方向	雲量平均	日照時數 本年	日照時數 平年比較	降水量	蒸發量
一日	七六三、九	四、七	低 〇、六	八、六(一)	〇、四	九、〇	三、九	六二	二、七	六、九	一〇、九	南西	西南西	四、〇	七、四多	三、六	〇、〇	三、六
二日	七六二、七	三、六	低 一、四	八、〇	一、一	六、九	三、九	六六	二、一	五、一	一〇、三	西南西	北	七、〇	三、七多	〇、二	三、一	二、二
三日	七六六、二	三、一	低 一、七	六、九	〇、七	六、二	三、八	六七	二、〇	四、五	七、八	北北西	北北西	四、七	六、八多	〇、五	〇、〇	二、三
四日	七六八、九	三、六	低 一、一	八、七(一)	〇、二	八、九	三、八	六五	二、三	三、七	五、八	南南西	北	二、八	六、四多	一、七	—	一、八
五日	七六七、三	三、二	低 二、二	九、二(一)	一、五	一〇、七	四、二	七五	一、七	二、一	三、二	北北西	北東	六、七	三、一多	二、六	四、六	一、五
六日	七六一、五	五、五	低 〇、九	九、五	二、九	六、六	五、五	八一	一、三	四、六	一〇、四	南南西	北東	七、一	三、七多	〇、八	三、二	一、八
七日	七六七、〇	三、八	低 〇、六	六、九	二、〇	四、九	三、七	六二	二、四	四、三	一〇、〇	北北西	北北西	六、七	二、八多	二、四	〇、〇	二、一
八日	七六一、三	二、六	低 一、八	四、〇	一、四	二、六	四、五	八二	一、〇	五、九	一三、八	北東	北東	一〇、〇	—多	六、〇	二一、八	〇、五
九日	七五八、七	四、六	高 〇、四	八、〇	二、三	五、七	四、三	六九	二、一	四、六	一〇、四	北	北	八、八	三、七多	三、二	〇、〇	四、〇
十日	七六四、七	二、四	低 一、〇	五、四	〇、〇	五、四	三、七	六九	一、八	四、四	八、一	南南西	北北西	五、五	二、一多	五、三	〇、五	一、一
十一日	七六五、二	二、七	低 〇、四	八、七(一)	〇、七	九、四	四、〇	七四	一、七	二、四	五、一	北	北	七、一	七、二多	一、八	—	二、二
十二日	七六六、三	二、六	低 一、〇	八、四(一)	一、一	九、五	三、七	七〇	二、〇	三、一	八、七	北	北	二、〇	六、七多	〇、一	—	三、二
十三日	七六七、六	三、一	低 〇、七	八、八(一)	二、五	一一、三	四、二	七五	一、七	三、四	八、九	南南西	西南西	一、六	七、七多	一、五	—	六、二
十四日	七六九、四	四、八	低 一、〇	一〇、八(一)	〇、七	一一、五	五、〇	七九	一、七	三、二	九、七	南西	南西	一、九	八、五多	四、一	—	三、三
十五日	七七〇、一	六、〇	低 一、五	一三、五(一)	〇、六	一四、一	四、四	六七	二、九	二、一	三、三	西	北東	三、六	九、三多	三、六	—	三、二
十六日	七六七、九	九、一	高 一、三	一五、六	五、六	一〇、〇	五、〇	六〇	三、九	三、五	五、七	北東	北北東	四、一	六、四多	〇、四	一、三	五、二
十七日	七六八、一	七、一	高 一、四	一二、三	一、一	一一、二	五、七	七六	二、〇	二、四	四、九	西南西	東北東	四、四	八、六多	二、一	—	二、一
十八日	七六七、三	七、〇	高 二、〇	九、二	四、〇	五、二	四、九	六七	二、七	四、一	七、六	北	北	八、九	—多	四、四	八、七	二、六

二月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地中溫度（平均）地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎
午前一時	七六五、六五	三、三四	四、五九	七八、八	一、三二	三、〇五	五、二	－	七、三	三、五五	五、九一	六、六三	六、九六	七、八九
午前二時	七六五、七〇	三、〇七	四、五九	八〇、一	一、二一	三、〇七	四、九	－	六、六	三、三四	五、七七	六、五七	六、九八	七、八九
午前三時	七六五、六〇	二、八六	四、五八	八一、〇	一、一五	三、一五	五、四	－	四、四	三、二九	五、六二	六、四九	六、九六	七、八九
午前四時	七六五、四五	二、八八	四、五六	八〇、七	一、一七	三、三一	四、五	－	二、二	三、一五	五、五二	六、四四	六、九六	七、八九
午前五時	七六五、五六	二、六八	四、五四	八一、六	一、一一	三、三五	四、三	－	二、六	三、〇二	五、三七	六、三五	六、九五	七、八九
午前六時	七六五、七二	二、六六	四、五二	八一、〇	一、一三	三、一三	五、三	－	二、一	二、九五	五、二九	六、三〇	六、九二	七、八九
午前七時	七六五、九九	二、七九	四、五五	八〇、九	一、一六	三、一七	六、六	－	一、八	二、九六	五、一八	六、二二	六、八六	七、八七
午前八時	七六六、二七	三、六二	四、六二	七七、九	一、四二	三、〇〇	六、六	八、一〇	〇、八	三、五八	五、〇九	六、一六	六、八三	七、八六
午前九時	七六六、三七	四、八四	四、七四	七三、四	一、八二	三、一七	七、〇	一二、九〇	〇、六	五、〇五	五、〇五	六、一〇	六、八一	八、八七
午前十時	七六六、二八	六、一九	四、七〇	六六、四	二、四八	三、五七	六、五	一三、三〇	〇、二	七、〇九	五、一二	六、〇六	六、七九	八、八七
午前十一時	七六六、一九	七、一九	四、七一	六一、九	二、九九	三、七四	七、五	一三、四五	〇、八	八、八〇	五、三四	六、〇三	六、七七	八、八七
正午	七六五、七三	七、八一	四、七二	六〇、二	三、三三	四、五四	七、三	一四、九五	三、一	一〇、一七	五、六三	六、〇六	六、七六	八、八七
午後一時	七六五、二〇	八、二九	四、七一	五八、一	三、六一	五、一四	八、〇	一三、三五	三、五	一〇、七二	六、〇〇	六、〇九	六、七五	八、八七
午後二時	七六四、九〇	八、三七	四、八〇	五九、一	三、五五	五、九五	七、三	一三、三五	三、七	一〇、二〇	六、三七	六、一六	六、七三	八、八七
午後三時	七六四、八九	八、二九	四、八九	六〇、三	三、四六	六、三六	七、二	一二、六〇	四、〇	九、四五	六、七一	六、三〇	六、七二	八、八七
午後四時	七六四、八六	八、〇五	四、七五	五九、六	三、四五	六、三三	六、六	一二、五〇	三、六	八、〇九	六、九三	六、四四	六、七三	七、八八
午後五時	七六四、九九	七、一一	四、七九	六三、六	二、九二	五、七五	六、九	八、二五	六、一	六、七五	七、〇五	六、五六	六、七七	七、八八
午後六時	七六五、二七	六、一七	四、八七	六九、一	二、三七	五、二二	六、〇	一、五〇	五、九	五、六六	七、〇四	六、六七	六、七九	七、八八
午後七時	七六五、五四	五、六六	四、八四	七一、〇	二、〇九	四、二三	五、八	－	一、八	五、二〇	六、九二	六、七四	六、八二	七、八九
午後八時	七六五、七四	五、三三	四、八二	七一、九	一、九四	三、五〇	五、三	－	二、二	四、九五	六、八一	六、八一	六、八七	七、八九
午後九時	七六六、〇〇	四、九〇	四、七九	七三、八	一、七九	三、三三	四、九	－	四、六	四、五六	六、六六	六、八一	六、九一	七、九〇
午後十時	七六六、〇二	四、四七	四、七五	七五、三	一、六四	三、三九	五、〇	－	五、八	四、二九	六、五〇	六、八〇	六、九三	七、九〇
午後十一時	七六五、九四	三、九二	四、七四	七八、〇	一、四〇	三、二〇	四、九	－	五、六	四、〇七	六、二三	六、七六	六、九六	七、九一

九時の八度六最低は十三日午後一時の四度二なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至九時にありて六度八一最低は午前十一時にありて六度〇三を示し其較差は零度七八なり

地中三十糎の溫度　平均は六度八五にして平年に略ぼ等しく月中の最高は二十一日午後十一時乃至夜半の八度四最低は十三日午後一時乃至四時の五度三なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は夜半にありて六度九九最低は午後三時にありて六度七二を示し其較差は零度二七なり

地中六十糎の溫度　平均は七度八八にして平年に比すれは零度一〇高く月中の最高は二十二日午前九時乃至夜半にありて八度五最低は十四日午前七時乃至十一時にありて七度一なり但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後五時同二十糎にありては午後八時乃至九時同三十糎にありては夜半に生し最低は地皮にありては午前六時地中十糎にありては午前九時同二十糎にありては午前十一時仝三十糎にありては午後三時に生せり之に依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得べし

最低地溫　平均は零下一度九六にして平年に比すれは零度八三低く月中の最低は十三日午前七時の零下七度五なり又零下に降りたる日數は十九日にして平年より一日少し

天氣日數　快晴は三日にして平年に等しく曇天は八日にして平年より二日多く霧は五日にして平年より四日多く雪は五日にして平年に等しく霜は十六日にして平年より四日多し

尙詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すべし

第一表　大阪每時氣象觀測成績

風

平均速度は毎秒三米九九にして平年に比すれは一米五六弱く月中の最大速度は八日午後四時乃至四時三十分の間にありて十三米八（一間平方面を垂直に壓する力は二十貫二百目）の北東風なり又強風以上の吹きたる日數は十日にして平年に比すれは五日少く其時數は三十時にして平年に比すれは八十八時少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後三時にありて六米三六最小は午前一時にありて三米〇五を示し其較差は三米三一なり、風向は北風最も多く北東及北西風之れに亞き南及南東風は最も少し之れを平年に比すれは北風は多くして西風は少し

雲量及日照時數　雲量の平均は六、〇にして平年に比すれは〇、五多く日照時數は百二十四時二五にして平年に比すれは二十三時五七少く一日中日照時間の最も長かりしは二十八日の十時八〇なり

降水及蒸發量　降水日數は十二日にして平年に比すれは一日多く其水量は八十三粍にして平年に比すれは二粍一多く一日中の最多量は十九日の二十三粍九、一時間の最多量は同日午前零時乃至一時の六粍四なり又蒸發量は六十四粍九にして平年に比すれは二粍七少く一日中の最多量は十三日の六粍二なり

地中溫度及最低地溫　地皮溫度の平均は五度六一にして平年に比すれは零度五低く月中の最高は二十四日午後一時の十五度八最低は十三日午前七時の零下零度五なり又地皮溫度の零下に降りたる日數は一日にして平年より二日少し而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて十度七二最低は午前六時にありて二度九五を示し其較差は七度七七なり

地中十糎の溫度　平均は六度〇二にして平年に比すれは一度〇一高く月中の最高は二十日午後五時乃至六時の九度三最低は十三日午前九時乃至十時の二度八なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後五時にありて七度〇五最低は午前九時にありて五度〇五を示し其較差は二度〇〇なり

地中二十糎の溫度　平均は六度四三にして平年に比すれは一度二六高く月中の最高は二十一日午後八時乃至

氣

溫

平均は五度一七にして平年に比すれは零度四一低く（爰に記する平年は明治四十四年より大正三年に至る四ヶ年の平均なり而して明治四十五年二月は非常に溫暖にして平均は七度一七を示し本年より二度〇〇高く又明治四十四年二月も溫暖にして平均は五度二〇を示し本年より零度〇三高く大正二年は平年と大差なく四度七八を示し本年より零度三九低し斯くの如く此四年間の内一ヶ年を除くの外は非常に溫暖なりしか故に四ヶ年の平均數は眞の平均數より過高を示せるを以てなり）日々の變化は氣象圖に示か如し而して本月は概して溫暖にして最高は十六日午後三時頃に於て十五度六に達し最低は十三日午前七時頃に於て零下二度五を示し孰れも平年より一度以上の過高なり又最低氣溫の零下に降りたる日數は八日にして平年に等し而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後二時にありて八度三九最低は午前六時にありて二度六六を示し其較差は五度七三なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は四粍七〇にして平年に比すれは零粍二一低く月中の最高は二十日午前九時の七粍八最低は十日午前五時の二粍九なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後三時にありて四粍八九最低は午前六時にありて四粍五二を示し其較差は零粍三七なり

濕度の平均は七十一、八にして平年に比すれは〇、七多く月中の最少は十五日午後三時乃至四時及十六日午後一時の三十六なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前五時にありて八十一、六最少は午後一時にありて五十八、一を示し其較差は二十三、五なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦〇八にして平年に比すれは零瓦〇三少く月中の最多は十六日午後三時の八瓦一最少は五日午前四時乃至五時の零瓦二なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後一時にありて三瓦六一最少は午後五時にありて一瓦一一を示し其較差は二瓦五〇なり

大阪測候所月報

大正三年二月

大阪氣象概況

多季大陸の冷却するに從ひ太氣濃厚となり爰に高氣壓を生ずるは普通の現象なるか二月は殆ど其高極に達し北海道の東方に低氣壓ありて氣壓の勾配は西より東に頗る急となり爲めに西乃至北西風著しく增勢し且つ寒氣を吹送せるを以て氣候は此風に支配せられ寒冷となり雪霰を降らし濃霜堅氷を生ずるを常とす、今本月の氣候を概叙するに上旬は寒暖交々至り平年と大差なかりしも中下の二旬は溫暖にして降雨多く日照時數は少く例年二月は西の寒冷なる强風多かりしに本年は極めて少く其時數は平年の約四分の一に過ぎざりき而して其吹き續ける最長時間は例年二月は五十時乃至百時に達するも本年二月は僅かに十三時間に過ぎず、之れを要するに本年二月は寒冷なる西の季節風極めて少く爲めに溫暖にして曇天又は雨天多く從て降水量多くして日照時數少し

今各氣象要素に就き列記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の地に於て明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年觀測の平均なり

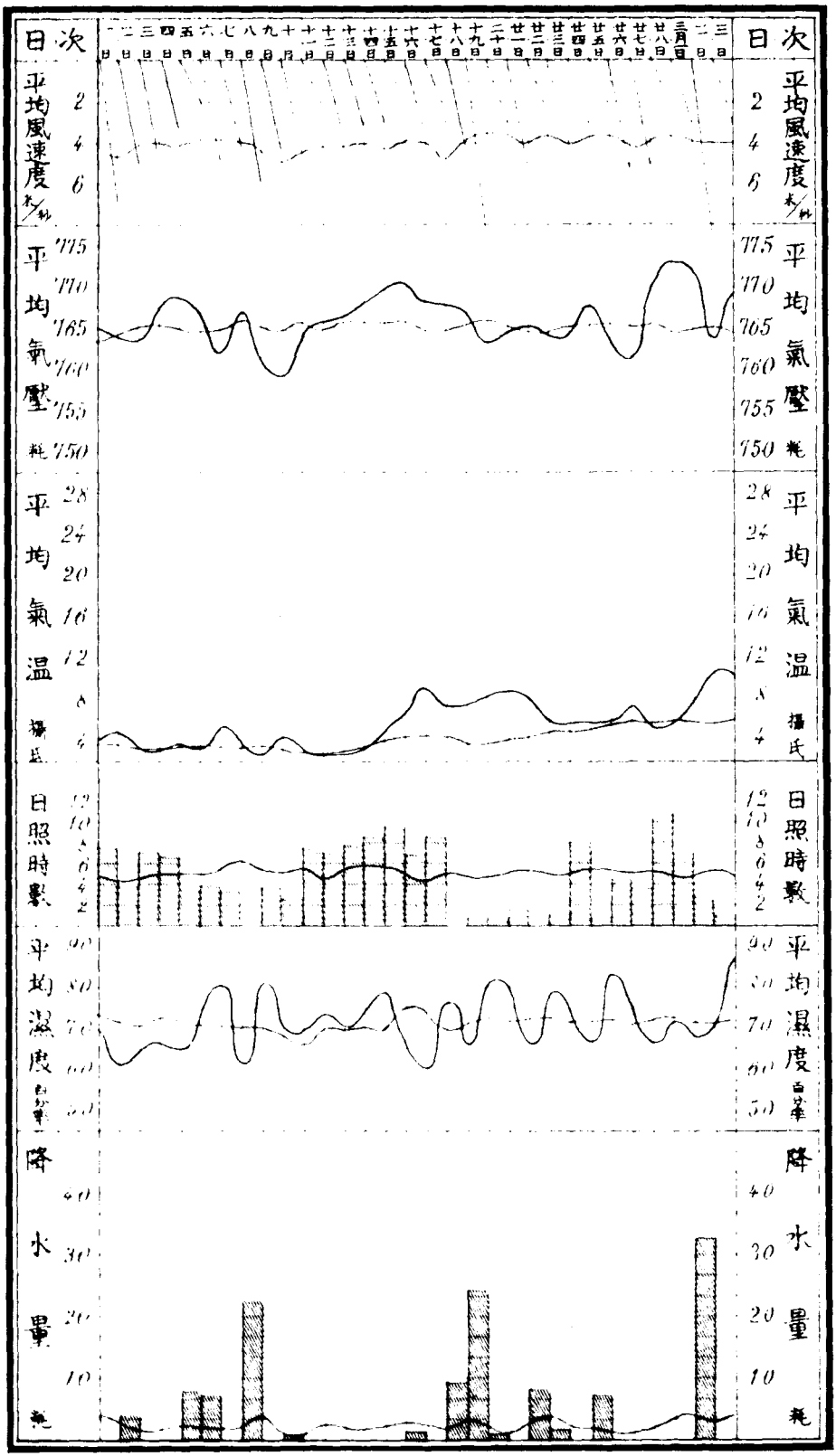
氣壓

平均は七百六十五粍六六にして平年に比すれは零粍〇八高く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は約四回にして其他微少なる昇降數回あり而して月中の最高は二十八日午前九時の七百七十四粍三最低は八日午後十時乃至夜半及九日午前一時乃至四時の七百五十六粍四なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にありて七百六十六粍三七第一の最低は午後四時にありて七百六十四粍八六を示し第二の最高は午後十時にありて七百六十六粍〇二第二の最低は午前四時にありて七百六十五粍四五を示し其主なる最高低の較差は一粍五一なり

大正三年二月

大阪氣象圖

February, 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年——平年——日照時數ハ本年[illegible]平年——降水量ハ本年[illegible]平年——

例言

一本報は管測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は管測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺五厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘じ五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量并に降水量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に編入せり

一觀差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零点二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩間に水量一升八合三勺を散布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして僅令は煙全く直上し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動すもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は强風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は暴風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らず降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下晴天とは八以上の日を示す

大阪府管内氣象觀測所位置

觀測所	郡市	町村	緯度	經度	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝雄
尾崎	仝 國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度一二分	高尾章
岸和田	仝 國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	仝 國泉北郡	高石村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝 國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富大
堺	仝 國堺	堺市車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	摂津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝 國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝 國大阪市	北區上福島	一三五度二九分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝 國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田雅雄
池田	仝 國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	笹部利作
妙見山	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	飯部文二郎
東鄕	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	山岡四郎
天王	仝 國豐能郡	箕面村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木富男
茨木	仝 國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝 國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	寒村八五郎
田原	仝 國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾憲藏
八尾	仝 國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	吉永勇造
柏原	仝 國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	仝 國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝 國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本道水

JUN 24 1914
Weather Bureau

Monthly Report of the Osaka Meteorological Observatory.

FEBRUARY, 1914.

大阪測候所月報

大正參年貳月

第拾五年第貳號

目次

○二月大阪氣象概況　附圖
○二月大阪府管內氣象概況
○二月大阪地震觀測概況
○大阪府管內の氣候一座
○二月の高溫に就て
○櫻島强震及秋田地震の震源地の測定
○羽後國仙北郡の强震と大阪の地動
○地方氣象標揭卸開始の告示
○淀川の水位
○地方天氣豫報氣象警報發否
○新刊書籍目

大正三年四月五日印刷
仝　年四月六日發行

府立大阪一等測候所
（電話西八九七番）

大阪市西區靭北通三丁目九十七番屋敷
印刷所　岩井活版印刷所
（電話土佐堀二四二三番）

谷川	和泉國泉南郡	多奈川村	百三十五度九分	三十四度十九分
尾崎	和泉國泉南郡	尾崎村	百三十五度十六分	三十四度二十二分
佐野	和泉國泉南郡	佐野村	百三十五度十九分	三十四度二十五分
岸和田	和泉國泉南郡	岸和田町	百三十五度二十一分	三十四度二十七分
堺	和泉國堺市	晉要橋通	百三十五度二十七分	三十四度三十五分
木津川	攝津國大阪市	西區南堀江	百三十五度三十一分	三十四度四十二分
北加賀屋	攝津國東成郡	敷津村	百三十五度二十九分	三十四度三十八分
難波島	攝津國大阪市	西區中口町	百三十五度二十九分	三十四度三十九分
安治川	攝津國大阪市	北區安治川通	百三十五度二十八分	三十四度四十二分
天保町	攝津國大阪市	西區天保町	百三十五度三十一分	三十四度四十二分
大阪	攝津國大阪市	西區一條通	百三十五度二十六分	三十四度三十九分
傳法	攝津國西成郡	傳法町	百三十五度三十一分	三十四度四十二分
東郷	攝津國豐能郡	東郷村	百三十五度二十九分	三十四度五十七分

安治川水上警察署谷川港水上巡査派出所
岸和田警察署尾崎分署
泉南郡佐野町役場
安治川水上警察署岸和田港水上巡査派出所
安治川水上警察署堺港水上巡査派出所
安治川水上警察署木津川分署
全木津川分署北加賀屋水上巡査派出所
全木津川分署難波島水上巡査派出所
安治川水上警察署
安治川水上警察署天保町分署
府立大阪一等測候所
十三橋警察署傳法分署
豐能郡東郷村役場

一氣象要覽	仝上	一	中央氣象臺
一中央氣象臺月報	仝年五月	一	仝臺
一別子山氣象表	仝年十二月	一	住友別子鑛業所
一四阪島氣象表	仝上	一	仝所
一新居濱氣象表	仝上	一	仝所
一富山縣氣象報	仝上	一	伏木測候所
一愛媛縣氣象月報	仝上	一	松山測候所
一長春氣象表	仝上 大正二年	二	長春觀測支所
一奉天氣象表	仝上	二	奉天觀測支所
一營口氣象略報	大正二年	一	營口觀測支所
一福島縣氣象月報	仝年十一、十二月	二	福島測候所
一氣象要報	仝年八、九月	二	神戸測候所
一北海道氣象月報	仝年十月	一	札幌測候所
一氣象月報	仝年自七月至九月	三	德島測候所
一大正二年十二月臺灣氣象概況		一	臺北測候所
一天氣圖	自千九百十三年十二月一日至千九百十四年一月十五日		ジカウエー觀測所
一地震報告	千九百十三年自十二月十二日同至二十九日		仝所
一地震報告	千九百十二年四、五月	二	エナー觀測所
一マントウエザー觀測所紀要 第六卷第二號		一	北米合衆國天氣局
一天氣圖	千九百十四年一月一日	一	仝局
一北半球の等壓等溫線圖		一	仝局
一英國地震會紀要	千九百十三年一月二月	二	シヤイド觀測所
一天氣圖	千九百十三年自十一月七日至仝二十七日		アルゼンチン觀測所
一地震報告	仝年自十二月三日至仝二十三日		イルクツク觀測所
一天氣圖	仝年十一月	一	羅馬觀測所
一地震報告	仝年十二月	一	マニラ觀測所
一地震報告	仝年四、五月	二	モンテカシノ觀測所
一地震報告	仝年自十月至十二月		サンタクラヽ觀測所
一天氣圖	大正三年一月中		中央氣象臺
一沖商會月報	第百二十二號	一	沖商會大阪出張所
一校友會雜誌	第百八十號	一	商船學校々友會
一通俗衛生	第百八十六號	一	大阪私立衛生會
一學鐙	第十八年一號	一	丸善株式會社大阪支店
一遞信公報	大正三年一月		遞信會

地方天氣豫報及暴風警報信號標所在地

所名	國郡市	町村	緣威東經	北緯	取扱官衙

淀川の水位

三島郡島本の累年平均水位　二尺二寸四分
東成郡毛馬の累年平均水位　零尺九寸〇分

一月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
一日	二、〇〇	一、六五	一、〇五	一、二〇
二日	一、九五	一、六五	一、〇〇	一、〇〇
三日	一、八〇	一、五五	〇、九〇	〇、八〇
四日	一、九〇	一、六〇	〇、八〇	一、五五
五日	一、九五	一、七〇	一、三五	一、五五
六日	一、九五	一、八五	一、四五	一、五〇
七日	一、九五	一、八五	一、五〇	一、五〇
八日	一、七五	一、七五	一、三五	一、三〇
九日	一、九五	一、八五	一、三五	一、三五
十日	一、九〇	一、九五	一、六〇	一、六〇

十二月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
一日	一、九五	一、七五	一、四〇	一、六〇
二日	一、九〇	一、七五	一、四五	一、六〇
三日	一、九〇	一、七五	一、四五	一、七五
四日	一、八五	一、九五	一、七五	二、〇〇
五日	一、九五	一、七五	二、一五	二、〇五
六日	一、九〇	一、七〇	二、〇五	一、〇〇
七日	一、九〇	一、七〇	二、〇五	一、二〇
八日	一、八五	一、八〇	一、〇〇	一、八〇
九日	一、九五	一、七〇	一、〇〇	一、八〇
十日	一、九五	一、八〇	一、〇〇	一、八〇

十二月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
十一日	一、九五	一、七五	一、四〇	一、六〇
十二日	一、九〇	一、七五	一、四五	一、六〇
十三日	一、九〇	一、七五	一、四五	一、七五
十四日	一、八五	一、九五	一、七五	二、〇〇
十五日	一、九五	一、七五	二、一五	二、〇五
十六日	一、九〇	一、七〇	二、〇五	一、〇〇
十七日	一、九〇	一、七〇	二、〇五	一、二〇
十八日	一、八五	一、八〇	一、〇〇	一、八〇
十九日	一、九五	一、七〇	一、〇〇	一、八〇
二十日	一、九〇	一、八〇	一、〇〇	一、八〇

十二月	島本の水位 午前六時	島本の水位 午後六時	毛馬の水位 午前六時	毛馬の水位 午後六時
二十一日	二、〇五	一、九五	一、八〇	一、八五
二十二日	二、一〇	一、九五	二、〇〇	二、〇〇
二十三日	二、〇五	一、九〇	一、九〇	二、〇五
二十四日	二、〇〇	一、八〇	一、九〇	一、九〇
二十五日	一、九〇	一、七五	一、八〇	一、七〇
二十六日	一、九五	一、七〇	一、七〇	一、七〇
二十七日	一、九〇	一、七〇	一、七〇	一、七〇
二十八日	一、八〇	一、七〇	一、六〇	一、六〇
二十九日	一、九〇	一、七〇	一、六〇	一、六〇
三十日	一、八〇	一、六〇	一、五五	一、六〇
三十一日	一、八〇	一、六五	一、五〇	一、五〇

平均水位
最高水位

島本は一尺八寸四分
二尺一寸（廿二日午前六時）

毛馬は一尺五寸三分
二尺〇寸五分（十五日、十六日、十七日、十八日）

地方天氣豫報暴風警報適否調査

種類	發布數	正中	偏中	不中	正中百分比例
風向	三一	二六	五	〇	九二
天氣豫報 天氣	二一	二八	三	〇	九四
天氣豫報 溫度	〇	一	一	一	一
暴風警報	五	四	〇	一	八〇

新刊寄贈書目

大正二年十一月

一飛彈氣象月報　一高山測候所
一千葉縣氣象報　一銚子測候所
一美濃氣象報　一岐阜測候所
一山形縣氣象月報　一山形測候所
一新潟縣氣象報　一新潟測候所
一秋田縣氣象月報　一秋田測候所
一氣象報告　一臨時測候所
一氣象月報　一濃田測候所
一滿洲氣象概況　一關東都督府觀測所

百分率	平均											
	四、〇	四、三	一、七	三、〇	〇、七	一、〇	〇、三	〇、七	〇、七	〇、二	二、七	一八、七
	二、一	二、三	九	二、一	四	五	二	一	二	四	二	一四

●大阪市の煤煙

大阪は工業の都市として將又商業の覇者として亞細亞に冠たり從て濛々たる煤煙は天に冲し高所より之れを望めは大阪市は恰も灰色の大塊に包圍されつゝあるを以て大氣の汚染さるゝことら亦甚大なるへし依て當市の有志者相謀り煤煙防止會なるものを組織し其第一着手として降煤の測定を昨年の三月より開始せり當所に於ても全年八月より煤煙計を据付け煤煙量の觀測を始めたるを以て左に其結果を表示すへし

煤煙計に溜りたる一ヶ月間の沈澱物を瓦にて表はす

地名	炭素				灰				量			
	九月	十月	十一月	十二月	計	九月	十月	十一月	十二月	計	平均	
築港方面	〇、四六	〇、三六	〇、五九	〇、二八		一、六九	一、〇五	一、四三	二、三七	一、一三	五、九七	一、九一
四九條方面	一、九七	一、三六	一、〇六	一、五五		五、九四	八、〇一	七、七五	五、八〇	七、八四	二九、四〇	八、八三
福島方面	〇、九九	〇、七四	〇、七〇	〇、六五		三、〇八	二、七九	三、二一	三、七五	一、九四	一一、六九	三、六九
難波方面	〇、六一	〇、八九	一、三四	〇、八三		三、六七	二、七二	三、八〇	五、七四	三、二二	一五、四七	四、七八
天滿方面	一、一一	四、四七	一、九〇			七、四八	三、三九	一六、二〇	八、五六		二八、〇九	一一、八四

上表を看るに天滿方面最も多く一ヶ月平均十一瓦八四の降下沈澱物ありて西九條方面之れに亞き八瓦八三を示し築港方面最少にして一瓦九一なれは最も多き天滿方面に比すれは六分の一に達せす而して一年中に一平方哩の降下量を推算するに天滿方面は實に八百六十三噸六七にして五ヶ所の平均一ヶ年一平方哩の降下量は四百八十八噸九六となり當市の面積二十二、〇五平方哩に就て計算するに一ヶ年空氣中に放撒する量は一萬〇七百八十噸の割合なり

因に器械は一邊二尺の方形即ち四平方尺の面積を有する漏斗にして此の漏斗を約五尺の高さに組み立て屋上障碍物なき所に据付け其下部ガラス瓶を置き之れに煤煙及雨水を受けしむ裝置なり

五月一日	二一・一	西南西	午後二時前分	五時間	午後二時ヨリ仝八時マデ	二	三	一	西南西	低氣壓襲來
六月二十八日	一七・八	南南西	仝三時	十五時間	午前九時ヨリ翌日一瓦ル	五	一〇	一	南南西	仝
七月四日	一五・三	西	仝二時	十五時間	午前零時ヨリ午後六時マデ	一五	一	一	南南西	仝
十月三日	三五・六	北北東	仝六時十五分	八時間	午後二時ヨリ夜半マデ	三	二	三	北東北北東	颱風襲來
十二月三日	二七・五	北西	仝八時	十三時間	午前零時ヨリ午後九時ヨリ翌日ニ亘ル	四	九	一	北西	季節風
仝四日	一八・三	北西	仝二時	二十時間	前日ヨリ連続翌日ニ亘ル	一四	六	一	北西	仝
仝五日	一六・六	北北西	午前九時午後一時	十八時間	前日ヨリ連続午後六時マデ	一三	五	一	北西	仝

前表に依れは低氣壓又は颱風襲來し荷役不可能となりしは十九日内僅に六日にして其他の十三日は冬の西乃至北西の季節風增勢し强風以上に達したる時にありたり而して十九日の内一月七日は比較的風力弱かりしも荷役不可能なりしは强風十一時間も吹き續きたる爲めなるへし要するに西方の風にして毎秒速度十五米内外に達し十時間も吹き續くときは概して荷役不可能なるへし

更に最近三年間に於ける荷役不可能の日數を調査するに總日數は五十六日にして平均一ヶ年十九日となり十二月より四月に至る間最も多く日數の八割は實に此期間にあり而して夏秋の暴風季節に荷役不可能なりしは僅々二割に過きす卽ち次表に示すか如し

最近三ヶ年の荷役不可能の日數

年別	月次	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
明治四十四年		三	四	四	二	一	二	一	一	一	一	一	四	二〇
大正元年		四	三	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一七
大正五年		五	六	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一九
合計		一二	一三	五	六	三	二	三	二	二	二	一	八	五六

備考　外港とは大機橋より西方間突堤内にして機橋の南邊を第一區北邊を第二區とす内港とは機橋より南東方陸地に接する所にして其中央より南方を第一北方を第二區とす

前表日子を月に區別すれは

月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年
日數	五	六	一	一	二	二	一	一	一	一	一	三	一九

にして十二月、一月、二月、は稍々多きも其他は少し

又荷役不可能の日に於ける風力及風向等を調査すれは左の如し

月日	最大風速度 速度	方向	起時	強風以上の吹續時間 時間	全上始終時	強風以上の時數 強風	烈風	颶風	最多方向	記事
一月七日	一二、二	西北西	正午	十一時間	前日ヨリ連吹午後四時マテ	一二	一	一	西	季節風
仝十二日	二〇、四	西北西	午前十時	二十時間	午前四時ヨリ翌日二百ルル	五	二五	一	西北西	仝
仝十八日	一七、〇	西	午前四時	十時間	正午ヨリ翌日二百ルル	三	七	一	西北西	仝
仝二十二日	一四、七	北北西	午後二時	九時間	午前三時ヨリ午後四時マテ	九	一	一	北東	低氣壓襲來
仝三十日	一八、一	北西	午前二時	二十時間	前日ヨリ連吹午後八時マテ	四	一六	一	西北西	季節風
二月七日	一六、七	西南西	午後五時	十六時間	午前八時ヨリ翌日二百ルル	一四	二	一	西	仝
仝八日	一七、六	西北西	午前三時	二十二時間	前日ヨリ連吹翌日二百ルル	二〇	二		西	仝
仝九日	一六、四	西	午前二時	二十四時間	前日ヨリ連吹翌日二百ルル	二二	二	一	西	仝
仝十日	一九、四	西	午後一時	二十四時間	前日ヨリ連吹翌日二百ルル	八	一六	一	西	仝
仝二十七日	一八、五	西	午後四時	十九時間	前日ヨリ連吹翌日二百ルル	一五	四	一	西	仝
仝二十八日	一七、三	西	正午	十三時間	前日ヨリ連吹午後七時マテ	一〇	三	一	西	季節風
四月二十三日	二〇、七	西	午後十一時	十三時間	午前十時ヨリ翌日二百ルル	九	四	一	西南西	低氣壓襲來

一月七日	自午前十一時至午後五時	外港一、二區內港二區安治川河口	十時間六時間	大棧橋起點南北岸內港一、二區岸	六時間
仝十二日	自午前七時至午後五時	外港一、二區內港二區	四時間	安治川河口右側岸を除く外全部	十時間
仝十八日	自正午後五時	外港一、二區內港二區	十時間三時間	大棧橋起點南北岸內港一、二區岸安治川河口左側岸	六時間五時間
仝二十二日	自午前十一時至午後五時	外港一、二區內港二區	十時間三時間	大棧橋起點南北岸	六時間
仝三十日	自午前七時至午後五時	外港一、二區內港二區	十時間三時間	大棧橋起點南北岸、內港一、二區岸安治川河口左側岸	十時間三時間
二月七日	自午前十一時至午後五時		十時間	大機橋起點南北岸內港二區岸	六時間
仝八日	自午前五時至午後十時		十時間	大棧橋起點南北岸內港二區岸	七時間六時間
仝九日	自午前七時至午後五時	外港一、二區	三時間	安治川河口兩側岸を除く外全部	十時間
仝十日	自午前七時至午後五時	外港一區、內港二區外港二區	十時間六時間	安治川河口右側岸を除く外全部	十時間
仝廿七日	自午前七時至午後五時	外港一區外港二區、內港二區安治川河口	四時間三時間二時間	大棧橋起點南北岸內港二區岸內港一區岸安治川河口左側岸	十時間四時間
仝廿八日	自午前七時至午後五時		十時間	大棧橋南北岸內港一區岸安治川河口左側岸	十時間七時間五時間
四月廿三日	自午前十時至午後五時	外港一、二區內港二區內港一區、安治川河口	三時間二時間	大棧橋起點南北岸內港一、二區岸安治川河口左側岸	七時間二時間
五月一日	自午後一時至午後五時	外港一、二區內港二區安治川河口內港一區	四時間三時間	全部	四時間
六月廿八日	自午前七時至午後五時	外港一、二區內港二區安治川河口	九時間	內港一、二區岸其他各岸	六時間十時間
七月四日	自午前七時至午後五時	外港一、二區	十時間	內港二區岸、外港一、二區岸安治川河口左側岸	十時間七時間
十月三日	自午後二時至午後五時	港內全部	二時間	大棧橋北岸內港一區岸安治川河口左側岸大棧橋南岸安治川河口右側岸、內港二區岸	三時間二時間
十二月三日	自正午後五時	外港二區、內港二區外港一區	三時間二時間	大棧橋南北岸內港一區岸安治川河口左側岸	六時間四時間
仝四日	自午前七時至午後五時	外港一、二區	六時間	大棧橋南北岸、安治川河口左側岸內港二區岸	十時間五時間
仝五日	自午前七時至午後五時	外港一、二區、內港二區	十時間	大棧橋南北岸、內港二區岸安治川河口左側岸	十時間

月日	種目	不可能時間	沖荷役 不可能場所	沖荷役 一時間	岸接荷役 不可能場所	岸接荷役 時間
一月十四日	午前九時	七五四、八	一〇、二	東北東	五、三	五、三	晴
	仝十時	七五三、九	一一、〇	北	四、九	〇、〇	曇
	仝十一時	七五三、五	一二、六	南西	五、一	〇、五	雨
	正午	七五三、〇	一三、〇	西南西	一七、一	〇、〇	曇
	午後一時	七五二、八	一二、五	西南西	一四、二	—	曇
	仝二時	七五二、七	一二、七	西南西	一六、四	—	曇
	仝三時	七五二、八	一二、四	西南西	二一、七	—	曇
	仝四時	七五三、五	一二、〇	西南西	二七、三	—	晴
	仝五時	七五四、六	一一、四	西南西	二三、九	—	快晴
	仝六時	七五五、五	一一、一	西南西	一七、八	—	快
	仝七時	七五五、九	一一、二	西南西	一五、七	—	晴
	仝八時	七五六、六	一〇、五	西南西	一七、二	—	快晴
	仝九時	七五七、二	九、八	西南西	一六、六	—	快晴
	仝十時	七五七、七	九、四	南西	一五、六	—	快晴
	仝十一時	七五八、四	九、〇	西南西	一三、六	—	快晴
	夜半	七五九、二	八、七	西	一六、〇	—	快晴
一月十五日	午前一時	七六〇、一	八、四	西南西	二〇、三	—	曇
一月十五日	午前二時	七六〇、八	八、〇	西	一六、六	—	曇
	仝三時	七六一、二	七、四	西南西	一〇、九	—	快晴
	仝四時	七六一、四	七、二	西南西	一四、三	—	快
	仝五時	七六二、〇	七、〇	西南西	一三、二	—	快晴
	仝六時	七六二、八	七、二	西南西	一二、八	—	曇
	仝七時	七六三、四	六、九	西南西	一一、四	—	快晴
	仝八時	七六四、〇	七、四	西	一一、九	—	快晴
	仝九時	七六五、一	八、三	西	九、五	—	快晴
	仝十時	七六五、〇	八、九	西	一一、七	—	快晴
	仝十一時	七六四、三	九、六	西	一一、九	—	快晴
	正午	七六三、六	九、九	西南西	九、一	—	快晴
	午後一時	七六三、三	九、七	西南西	九、一	—	快晴
	雪二時	七六三、二	九、七	西南西	九、二	—	快晴
	仝三時	七六三、四	九、六	西南西	一〇、一	—	快晴
	仝四時	七六三、四	九、二	西南西	八、四	—	快晴
	仝五時	七六三、六	七、九	西南西	九、〇	—	快晴
	仝六時	七六三、五	七、六	西南西	六、七	—	快晴

●大阪港に於ける荷役不可能と天候

大正二年中に於て荷役不可能なりしは合計十九日にして冬より春に亘る西の季節風旺盛なる期間に最も多しとす而して其他低氣壓の襲來したる時又は夏秋の候颱風襲來したる時は往々荷役不可能のことあるも是等は極めて少し、今大阪市役所港灣部の調査に係る荷役不可能の日子を記すれは左の如し

過き十五日阿哥斯克海に入るに及んで中心の示度七百三十六粍を示せり本邦太平洋岸にては天氣晴朗なれども日本海に面する地方にては曇天にして所々降雨し北海道にては雪降れり而して此の低氣壓の日本海を北東に進行すると仝時に大陸の高氣壓は支那北部より楊子口に擴張し七百七十粍を示し其一端は支那東海に迫りたるか故に氣壓の勾配は急となり本邦一帶に西乃至北西の强烈風を吹き所に依り颶風に達したる所ありたり

大阪地方にては●氣壓　十三日午前六時には七百七十粍九の高度を示せしか爾後徐々下降し夜に入り下降稍々急となり十四日午前六時に至る二十四時間に十四粍三の下降を呈し仝日午後二時七百五十二粍七の最低に達し後漸次上昇せり●風　十三日朝來靜穩なりしか十四日午前十時過風向北より東を經て南西に順轉し後西となり正午より烈風吹き起り午後二時より倍々增勢し仝四時には毎秒速度二十七米三の最大に達し後稍々減力せしも十五日午後三時まて强烈風吹き續けり其吹續時間は二十四時にして內烈風は十三時間强風は十一時間に亘れり●天氣　十三日未明は晴朗なりしか午前七時頃卷層雲西より頻りに流れ來る仝十時には滿天を蔽ひ曇天となり午後七時三十分より月暈現はれ仝十時四十五分消失し爾後上層雲漸次垂下し濃密となり十四日午前二時より層積雲南西より流れ來ること頻りなりしか仝六時十二分より仝時四十二分まて微雨を催ふし仝七時十六分より降雨となり時々大雨を交へしも暫時にして衰へ斷續し仝十一時六分歇む此總量は十一粍三にして最も甚しき午前七時より九時に至る二時間には十粍八を測れり其詳細は次表に記するが如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
一月十四日	午前一時	七六〇、六	八、五	北東	三、九	一	曇
	仝二時	七五九、九	八、四	北	三、三	一	曇
	仝三時	七五九、〇	八、四	北	三、二	一	曇
	仝四時	七五八、二	九、〇	北東	三、八	一	曇

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
一月十四日	午前五時	七五七、八	九、五	東北東	二、四	一	曇
	仝六時	七五六、六	九、五	東	四、七	一	曇
	仝七時	七五五、四	一〇、五	北東	三、四	〇、〇	曇
	仝八時	七五五、七	九、九	北北東	六、三	五、五	雨

一月七日	午後九時	七五五・四	一・七	西南西	二三・八	〇・〇	微雨	
	仝十時	七五五・七	一・七	西南西	二四・一	一	晴	
	仝十一時	七五五・八	二・一	西南西	二五・五	一	曇	
一月八日	午後	七五五・五	二・三	西南西	二六・〇	一	晴	
	仝一時	七五五・五	二・五	西南西	二五・四	一	曇	
	仝二時	七五五・八	三・一	西南西	二六・三	一	曇	
	仝三時	七五六・一	三・三	西南西	二八・五	一	雨	
	仝四時	七五六・八	三・一	西南西	二七・五	一	晴	
	仝五時	七五七・一	二・七	西南西	二三・七	一	微雨	
	仝六時	七五七・六	二・三	西	二二・三	一	微雨	
	仝七時	七五八・九	二・三	西	二一・九	一	晴	
	仝八時	七六〇・一	二・三	西	一七・九	一	晴	
	仝九時	七六〇・九	二・八	西	一七・七	一	晴	
	仝十時	七六一・九	三・四	西	一七・四	一	微雨	
	仝十一時	七六二・〇	四・二	西	一四・四	一	雨	
	午後一時	七六二・三	五・三	西	一四・五	〇・〇	霧	
一月八日	午後二時	七六三・二	三・九	西	一二・九	〇・〇	霧	
	仝三時	七六三・八	五・二	西	八・八	〇・〇	霧	
	仝四時	七六四・四	五・一	西	八・七	一	晴	
	仝五時	七六五・三	四・〇	西	七・一	一	晴	
	仝六時	七六六・一	三・五	西	八・三	一	微雨	
	仝七時	七六六・八	三・三	西	七・三	一	微雨	
	仝八時	七六七・七	三・〇	西	九・三	一	微雨	
	仝九時	七六八・一	二・八	西	一一・六	一	微雨	
	仝十時	七六八・四	二・六	西	八・八	一	微雨	
	仝十一時	七六八・五	二・三	西	一一・〇	一	微雨	
	午前一時	七六九・一	二・〇	西	八・三	一	微雨	
一月九日	仝二時	七六九・三	一・三	北北西	六・七	一	微雨	
	仝三時	七六九・五	〇・五	西北西	二・六	一	微雨	
	仝四時	七六九・六	一・二	東北東	一・九	一	微雨	
	仝五時	七六九・九	一・〇	西	二・三	一	微雨	
	仝六時	七七〇・四	一・九	西南西	五・九	一	微雨	

(三)一月十四日より十五日に至る暴風概況　一月十二日午後楊子江上流に顯はれたる低氣壓(七百六十四粍)は江に沿ひて東に進み十三日朝漢口附近を通過し仝日午後二個に分裂し一は黄海北部に他の一は上海附近に來り著るしく發達し孰れも七百五十四粍を示し仝夜朝鮮を横きり十四日朝一は日本海中部に到りて七百四十六粍他の一は日本海西部にありて七百四十四粍を示し本邦にては概して曇天にして本州中部以西九州北部に至るまて一帶に雨天となり日本海岸にては南西の風頗る強く暴風となりたる所多し爾後低氣壓は日本海を北東に進み倍々發達し仝夜北海道を

行方不明		二
住家（小破損）	棟	一六
非住家 全損	一二	一八
非住家 小破損	一	一〇
電線切斷		一三
煙突倒壞		一〇
看板墜落		一〇〇
沈沒船		四
破損船		五
離破船		五
電柱轉倒		一

更に毎時氣象觀測の結果を記すれは左の如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
一月七日	午前一時	七五六、九	五、九	東北東	三、一	一	曇
	全二時	七五六、二	五、九	北	三、三	一	曇
	全三時	七五四、五	六、〇	北	三、〇	一	曇
	全四時	七五四、〇	六、二	北	三、九	一	曇
	全五時	七五三、六	五、九	北東	三、一	一	晴
	全六時	七五三、四	五、三	南東	二、六	一	快晴
	全七時	七五四、〇	七、一	西	八、五	〇、〇	曇
	全八時	七五四、四	五、五	西	一四、三	〇、二	曇
	全九時	七五四、六	六、八	北西	一一、二	〇、〇	晴
	全十時	七五四、二	八、〇	南西	六、九	〇、一	晴
	全十一時	七五四、〇	七、五	西南西	一三、九	〇、〇	晴
	全十時半分	七五二、九	七、二	西南西	二三、三	×	曇
	正午	七五二、八	七、〇	西南西	三〇、一	一	晴
	午後[illegible]時半分	七五二、二	八、一	西南西	二八、一	×	晴

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
一月七日	午後一時	七五二、二	七、五	西	二八、二	一	快晴
	全一時三十分	七五二、四	七、四	西南西	二八、六	×	快晴
	全二時	七五一、七	七、〇	西	二四、五	一	快晴
	全二時三十分	七五一、七	六、八	西南西	二九、五	×	晴
	全三時	七五一、九	六、三	西	[illegible]	一	曇
	全三時三十分	七五一、九	六、〇	西南西	三二、五	×	快晴
	午後四時	七五二、〇	五、五	西	[illegible]	一	曇
	全四時三十分	七五一、九	四、七	西	[illegible]	×	晴
	全五時	七五二、四	四、五	西	三四、[illegible]	一	快晴
	全五時三十分	七五二、九	三、六	西	三一、[illegible]	×	快晴
	全六時	七五三、四	二、三	西	二九、八	一	曇
	全六時三十分	七五四、一	二、五	西	二八、八	×	晴
	全七時	七五四、一	三、一	西南西	二六、二	一	曇
	全八時	七五五、〇	二、五	西南西	[illegible]	〇、〇	晴

明治十八年七月一日	七三六、〇	三三、三	西	一	一	一	一	一	一	一
仝二十一年八月三十一日	七二五、八	三二、三	東北東	一	一	一	一	一	一	一
仝二十九年八月三十日	七二六、二	三三、七	北西	一六時間	自三十日午前九時至三十一日午後四時	五	八	三	三	三
仝四十四年六月十九日	七三三、二	三〇、一	南西	九時間	自十九日午前三時至仝日正午	三	六	一	一	一
大正元年九月二十三日	七一四、九	三七、〇	西南西	一九時間	自二十二日午前三時至二十三日午後二時	一二	四	三	三	三
仝二年十月三日	七四三、五	三五、六	北北東	七時間	自三日午後二時至仝日夜半	二	一	四	四	四
仝二年十二月十七日	七五四、九	三一、二	西	二三時間	自十七日午前二時至十八日午前四時	五	一八	一	一	一
仝三年一月七日	七五一、七	三四、三	西	三二時間	自七日午前七時至八日午後十一時	九	一九	四	四	四

降水及天氣　五日午前八時層積雲頻りに西方より流れ來り正午に至り滿天を蔽ひ雲天となり午後二時五十七分より三時九分まて微雨を催ふし仝七時過下層雲漸次東方に流れ去り仝時に卷層雲西より流れ來り仝七時二十分より月暈現はれ仝九時過より漸次雲消散し暈も亦九時三十四分消失し仝十一時より快晴となりしか六日午前十時又た上層雲現はれ雲天となり午後零時五分より二時三十五分まて日暈及五時三十五分より七時三十八分まて月暈現はれ後漸次上層雲垂下し濃密となり天候倍々際惡となり七日午前六時十五分より降雨となり西の强風吹き起り風雨となりしか雨は十時二十分歇み後晴天となりしも西風猛烈にして時々雪霰を降らし築港埠頭附近は此西風に煽られ海水卉騰し護岸を打越し陸上に押し寄せ來りたり

又當日は早朝より暴風警報ありし爲め築港にありし帆船以下の小船は全部安治川口の上流に避難し他の五百噸以上のものは南船渠に早くより避難せし爲め左したる被害はなかりし

今本府管内の被害統計を擧くれは左の如し

一月七日八日の暴風被害

死者	一	（警察部調）軒燈墜落	二四
負傷者	四	墻壁倒壞	六一

西の風頗る強し爾後低氣壓は北東に進み仝夜本邦北部を横きり八日朝根室附近に到りて倍々發達し中心の示度七百三十五粍以下に降り九州より三陸に至る太平洋に面する地方は快晴なれども日本海岸及內海にては雪を降らし氣溫著るしく下り寒氣強く山陽及九州にても氣溫零下に降れり而して大陸の高氣壓は著るしく發展し七百七十五粍以上を示し支那北部より楊子江を經て支那東海に擴張し來りしか故に氣壓の勾配は頗る急となり爲めに七日以來本邦一帶に西乃至北西の暴風を起し近年稀なる暴風雨又は暴風雪にして被害尠からざりし

今大阪の氣象觀測を概記すれは左の如し

氣壓　前日來徐々下降し六日午前二時には七百六十一粍五を示し前日午後二時に比すれは五粍三の低下にして爾後稍々上昇を呈し仝十時には七百六十三粍二を示せしも後又下降を始め七日午前十時に至る十二時間に五粍九仝十時より午後二時に至る四時間に二粍五の急降を呈し仝二時に於て七百五十一粍七の最低に達し爾後徐々に上昇を呈せり

風　六日晝間は南西風にして夜間は北東風吹き靜穩なりしか七日午前五時過風向北東より南を經て西に順轉し俄然強烈風吹き起り仝十一時過より倍々增勢し正午には颶風となり狂暴を逞ふし仝五時最も強く每秒速度三十四米三の最大に達し後稍々減力せしも仝十一時まで強風吹き續けり其吹續時間は三十二時にして內颶風四時間、烈風十九時間強風は九時間に亘れり斯の如く強大なる風力に達したるは大正元年九月二十三日及仝二年十月三日熱帶颶風の襲來したる時にありしのみにして冬季にありては未た曾て見さる所の現象なりとす

今當所創立以來三十一年間に於て最大風速度每秒三十米以上に達したる年月日及最低氣壓並に最大風速度等を表記すれは左の如し

種目	氣壓	風					
午月日	最低	最大速度	仝上方向	強風以上の時間			
				時間	仝上終始時	強風	烈風	颶風

一月二日	午後四時	七五八、〇	九、二	西	一七、五	〇、〇	晴
	仝五時	七五八、六	七、四	西	二二、一	〇、〇	[illegible]
	仝六時	七五八、九	七、八	西	一六、〇	―	[illegible]
	仝七時	七五九、一	八、二	西	二〇、一	―	[illegible]
	仝八時	七五九、一	七、五	西	一九、一	―	快晴
	仝九時	七五九、四	七、五	西	一六、二	―	快晴
	仝十時	七五九、七	六、八	西	一四、一	―	快晴
	仝十一時	七五九、八	六、四	西	一四、〇	―	快晴
	夜半	七六〇、〇	六、〇	西	一六、三	―	快晴
一月三日	午前一時	七六〇、二	五、二	西	一五、三	―	快晴
	仝二時	七六〇、七	四、八	西	一六、五	―	快晴
	仝三時	七六〇、八	四、三	西	一六、五	―	快晴
	仝四時	七六〇、九	四、六	西	一六、四	―	快晴
	仝五時	七六〇、五	四、四	西	一七、七	―	快晴
	仝六時	七六〇、五	四、六	西	一五、一	―	晴
	仝七時	七六〇、九	四、三	西	一六、五	―	晴
	仝八時	七六一、一	三、九	西	一五、四	〇、〇	晴
	仝九時	七六一、三	四、七	西	一五、四	―	快晴
	仝十時	七六一、七	四、七	西南西	一九、五	―	快晴
	仝十一時	七六一、三	四、五	西南西	二〇、八	―	快晴
一月三日	正午	七六一、一	四、四	西	二〇、二	―	晴
	午後一時	七六一、一	四、六	西	二〇、七	―	快晴
	仝二時	七六一、〇	三、九	西	一九、四	〇、〇	快晴
	仝三時	七六一、八	三、九	西	一九、三	―	晴
	仝四時	七六二、四	三、九	西	一七、九	―	快晴
	仝五時	七六三、四	三、一	西	一七、一	―	晴
	仝六時	七六四、四	二、七	西南西	一六、五	―	晴
	仝七時	七六五、一	二、三	西南西	一六、五	―	晴
	仝八時	七六六、〇	一、九	西南西	一六、五	―	晴
	仝九時	七六六、四	一、四	西	一六、六	―	晴
	仝十時	七六七、二	一、五	西	一四、四	―	晴
	仝十一時	七六七、四	一、八	西	一四、七	―	快晴
	夜半	七六七、四	一、一	西	一四、九	―	快晴
一月四日	午前一時	七六七、九	一、二	西	一四、〇	―	快晴
	仝二時	七六七、八	一、〇	西北西	一〇、七	―	快晴
	仝三時	七六八、〇	(一)〇、七	北北東	二、四	―	快晴
	仝四時	七六八、一	〇、一	北	一、二	―	快晴
	仝五時	七六八、一	(一)一、二	北東	二、七	―	快晴
	仝六時	七六八、二	(一)一、七	東北東	一、九	―	快晴

(二)一月七日より八日に至る暴風概況　一月六日午後支那東海南部にありたる低氣壓(七百六十二粍)は北東に進み全夜朝鮮海峡を通過し七日朝日本海中部に來りて著るしく發達し七百五十粍を示し九州地方及内海西部は天候恢復し晴天となりたれども其他は概ね曇天にして紀伊半島より本州東部に至る一帶は雨天にして本邦西部沿岸にては

北部の海岸にては氣壓七百七十二粍以上に昇り本邦にては一帶に西乃至北西の强烈風吹き山陰より北海道に至る日本海岸にては概ね曇天にして加越地方及北海道西岸にては風雪强く盛岡及仙臺附近にても亦降雪し内海及太平洋岸にては天氣晴朗なり

今大阪の氣象觀測を概記するに●氣壓　一月一日午前十時には七百七十一粍一を示せしか爾後徐降し仝日午後十時に至る十二時間に四粍八の低下なりしか後稍々下降急となり二日午後二時に至る十六時間に九粍一の低下を示し仝時最低七百五十七粍二に達し爾後徐々と上昇を呈せり●風　一日夜間は北東風にして晝間は南西風吹き靜穩なりしか二日午前八時過風向東より南を經て南西に順轉し俄然風力增勢し仝日午後二時氣壓の最低に達すると殆んと仝時に西の强風吹き起り仝三時には烈風となり仝五時最も强く每秒速度二十二米一に達せり之れを今回の最大とす而して爾後稍々減力せしも夜半より再ひ增力し烈風となり吹き續き三日午前十時より午後一時の間は每秒速度二十米以上に達し後漸時衰へ四日午前三時風向西より北に廻り靜穩に復せり其强風以上の吹續時間は三十七時にして内烈風は二十九時間强風は八時間に亘れり●天氣　一日は概して晴朗にして二日午後三時五十七分より四時十分まて驟雨あり三日午前七時三十分より七時三十四分まて及午後一時五分より一時四十五分まて僅に雪霰降れり其詳細は次表に記するが如し

月日	時	氣壓	氣溫	風向	風速度	雨量	天氣
一月二日	午前六時	七六一、九	二、九	北北東	三、五	一	快晴
仝七時	七六一、三	二、三	東北東	四、〇	一	快晴	
仝八時	七六〇、九	二、九	北北東	二、六	一	快晴	
仝九時	七六〇、一	七、四	東	一、九	一	快晴	
仝十時	七五九、七	一二、三	南南西	一、七	一		
一月二日	仝十一時	七五九、一	一三、八	南南西	八、三	一	快晴
正午	七五八、〇	一四、四	南西	八、七	一	快晴	
午後一時	七五七、四	一三、四	西	九、〇	一	曇	
仝二時	七五七、三	一一、八	西	一三、四	一	曇	
仝三時	七五七、四	一〇、五	西	一八、八	一	曇	

明治四十一年	四、八	一七、九	(一)三、一	一三	一二〇、三	三八、〇	九	三	一九	四
仝四十二年	四、一	一二、六	(一)二、四	九	一一〇、六	七五、三	一三	四	二一	一
仝四十三年	四、九	一六、〇	(一)三、八	一〇	一二〇、九	六九、〇	一九	四	一三	四
仝四十四年	四、六	一五、七	(一)三、三	一四	一三六、六	五六、三	一二	三	一四	二
仝四十五年	四、六	一一、五	(一)二、五	六	一六九、〇	三四、〇	八	五	一六	四
大正二年	三、九	一一、四	(一)三、三	一一	一四四、〇	四〇、九	六	三	一九	四
仝三年	五、〇	一三、九	(一)一、五	八	一六八、三	二六、六	八	八	二一	六
平年	三、九	一三、五	(一)三、八	一六	一三八、三	五〇、七	九	四	一九	二

●本年一月中の暴風概況

冬季は大陸の冷却するに從ひ太氣濃厚となり爰に高氣壓を生し北太平洋北部即ち北海道の東方に低氣壓ありて其氣壓の勾配は西より東に向ひ急となるか故に西又は北西の風增勢せり然るに偶々大陸低氣壓發生し日本海を過通して北海道附近に到る時は氣壓の勾配は一增急となり西乃至北西の風强烈となり數日間吹き續くることあるを當地方の常とす而して本年一月は顯著なる暴風三回あり就中一月七日の暴風は最も甚たしく最大風速度は每秒三十四米三に達し既往三十一年間に於て强さ方より第三位に居るも他の二回は孰れも夏秋季に颱風襲來したる時にありたるも本年は然らす冬季に於て此大風を起し颶風四時間に亘り烈風は十九時間强風は九時間合計三十二時間暴風吹き續けり斯る現象は當所創立以來見さる所のものとす

今順次項を追て暴風概況を記すへし

(一)一月二日より四日に至る暴風概況　一月一日朝滿州にありし低氣壓(七百五十六粍)は東に進み二日朝浦鹽港の南方海上に來りて著るしく發達し中心の示度既に七百四十五粍以下に降り本邦にては南西の風吹き海岸にては風勢强く奥羽より九州まては天氣晴朗にして寒氣稍々衰ふるに至れり然れとも北海道にては南風强く雨雪降れり爾後低氣壓は北東に進み仝夜北海道を襲ひ三日朝阿哥斯克海に去りて七百四十四粍を示し大陸の高氣壓著しく發展し支那

又最近十年間寒中の氣象を列記すれは左の如し

年次	空氣の温度 平均	空氣の温度 最高極	空氣の温度 最低極	最低氣温零下の日數	日照時數	降水量	降水日數	降雪日數	結霜日數	降霰日數
明治三十八年	五、六	一三、〇	(−)三、五	七	一一三、六	五六、八	一一	一	一九	—
仝三十九年	三、一	一二、四	(−)五、二	二〇	一五四、四	一〇四、九	一一	九	四三	五
仝四十年	五、〇	一四、八	(−)五、五	一〇	一五三、五	五一、六	八	三	一九	—

一月十九日	四、五	高 一、〇	高 〇、八	一〇、九	高 三、一	高 三、〇	(−)〇、五	低 〇、一	低 〇、七	八、〇	多 三、七	多 一、二	—	〇、〇
仝二十日	六、〇	高 二、二	高 二、七	一一、三	高 三、二	高 四、三	三、〇	高 三、二	高 三、九	三、三	少 一、五	多 三、〇	—	—
仝二十一日	四、三	高 〇、八	低 二、九	七、三	低 〇、三	低 三、七	一、二	高 一、五	高 二、三	七、一	多 三、四	多 六、八	〇、四	—
仝二十二日	二、六	低 一、七	低 五、八	五、四	低 三、三	低 六、〇	〇、三	高 〇、三	低 四、八	二、二	少 二、七	多 〇、八	〇、〇	二三、七
仝二十三日	二、八	低 〇、九	低 二、三	八、六	高 〇、七	低 〇、五	(−)一、五	低 一、二	低 三、二	七、二	多 一、九	多 一、九	—	〇、〇
仝二十四日	四、五	高 〇、八	高 〇、七	九、二	高 一、二	高 二、一	(−)〇、三	低 〇、一	低 〇、八	五、八	少 一、五	多 一、二	—	—
仝二十五日	六、三	高 二、九	高 三、八	一一、〇	高 三、四	高 四、五	〇、三	高 〇、六	高 一、一	六、四	多 二、六	多 四、六	〇、四	—
仝二十六日	五、一	高 一、三	高 四、五	七、九	低 〇、四	高 三、一	(−)〇、九	低 〇、六	高 一、六	九、二	多 四、八	多 二、六	—	〇、〇
仝二十七日	四、五	高 〇、二	高 二、一	七、一	低 一、七	高 一、五	二、五	高 二、三	高 三、〇	五、八	多 二、二	多 四、八	〇、〇	—
仝二十八日	四、八	高 〇、七	高 二、五	九、四	高 〇、六	高 一、四	〇、七	高 〇、九	高 三、一	四、四	多 少なし	少 三、〇	—	—
仝二十九日	五、九	高 二、〇	高 一、二	九、八	高 一、四	高 二、〇	〇、一	高 〇、一	低 〇、四	六、七	多 一、九	多 六、七	—	九、九
仝三十日	七、〇	高 三、一	高 四、四	一〇、三	高 二、三	高 四、八	三、八	高 四、〇	高 二、八	八、七	多 三、九	多 少なし	—	〇、〇
仝三十一日	四、一	高 〇、二	高 〇、四	七、九	低 〇、三	高 一、一	一、〇	高 〇、八	高 〇、八	三、四	少 一、二	少 一、六	〇、二	〇、〇
二月一日	四、七	高 〇、八	高 〇、七	八、六	高 〇、五	高 二、六	(−)〇、四	低 〇、七	低 二、二	七、四	多 三、四	多 一、八	〇、〇	〇、〇
仝二日	三、六	高 〇、二	高 一、三	八、〇	高 〇、三	高 一、六	一、一	高 一、五	高 二、五	三、七	少 一、四	少 一、一	三、一	—
仝三日	三、一	低 〇、一	低 一、八	六、九	低 〇、七	低 四、〇	〇、七	高 一、四	高 〇、四	六、八	多 一、七	多 一、六	〇、〇	—
仝四日	三、六	高 〇、三	低 一、四	八、七	高 一、三	低 二、三	(−)〇、三	高 〇、三	低 〇、四	六、四	多 一、〇	少 二、二	—	—
平均又は合計	五、〇	高 一、一	高 一、二	九、一	高 〇、七	高 一、一	一、三	高 一、三	高 〇、八	一六八、二	多 二四、〇	多 二四、二	二六、六	四〇、九

一度二を示し平年より一度三高く其低極は一月二十三日に於て零下一度五に降りたり而して降水日數は八日にして平年より一日少く其水量は二十六粍六にして平年より二十四粍一少く平年の約二分一に過ぎす日照時數は百六十八時二にして平年より二十四時〇多く强風以上の吹きたる日數は十四日にして平年より一日少く其時數は百二十二時にして平年より二十六時間少なし而して最大風速度は一月七日の毎秒三十四米三にして當所創立以來冬季に於て未た曾て見さる所の最大なりとす之れを要するに本年寒中は西の季節風稍々多く風力も亦た强き方にありしも其吹續時間は比較的に短く且つ早朝曇天のこと多かりしか故に平年に比すれは溫暖なりし

今本年寒中の氣溫、日照時數を平年及昨年に比し昨今両年の降水量を表記すれは左の如し

月日 ＼ 種目	空氣の溫度 平均 本年	平均 平年より	平均 昨年より	最高 本年	最高 平年より	最高 昨年より	最低 本年	最低 平年より	最低 昨年より	日照時數 本年	日照時數 平年より	日照時數 昨年より	降水量 本年	降水量 昨年
一月六日	六、七	高 二、四	高 二、一	一二、九	高 三、六	高 五、四	一、六	高 一、三	低 〇、八	六、五	多 一、八	少 〇、七	—	—
仝七日	五、一	高 〇、九	低 〇、三	八、四	低 〇、三	低 〇、四	一、五	高 一、四	低 一、二	四、二	少 〇、九	少 四、一	〇、三	—
仝八日	三、三	低 一、四	低 〇、六	五、八	低 三、七	低 三、三	二、一	高 一、八	高 三、〇	七、七	多 二、九	少 〇、四	〇、〇	—
仝九日	三、六	低 一、〇	高 一、〇	七、四	低 二、一	高 一、六	(一) 一、二	低 一、七	低 一、三	四、〇	少 〇、四	多 四、〇	—	〇、二
仝十日	四、九	高 〇、五	高 〇、三	八、三	低 〇、七	低 一、五	〇、〇	低 〇、六	低 〇、七	〇、三	少 三、七	少 二、七	〇、七	—
仝十一日	六、八	高 二、八	高 三、二	一〇、九	高 二、三	高 〇、七	三、七	高 三、八	高 四、一	六、〇	多 一、二	多 一、七	〇、〇	〇、〇
仝十二日	四、三	高低なし	高 一、二	一一、二	高 二、四	高 五、六	〇、〇	低 〇、四	低 〇、一	八、一	多 二、八	少 〇、七	—	—
仝十三日	五、五	高 一、二	高 二、八	一一、六	高 三、二	高 五、八	(一) 〇、八	低 一、二	低 一、四	六、七	多 二、三	少 一、九	—	—
仝十四日	一〇、五	高 六、三	高 九、〇	一三、九	高 五、三	高 七、四	八、一	高 七、八	高 一一、一	二、〇	少 二、五	少 四、三	一一、三	—
仝十五日	八、一	高 四、二	高 六、四	一〇、六	高 二、四	高 二、五	六、七	高 六、七	高 九、九	八、八	多 四、七	多 二、一	—	—
仝十六日	六、〇	高 二、一	高 二、〇	八、九	高 〇、二	低 〇、七	二、二	高 二、三	高 三、二	四、八	少 〇、五	多 三、一	〇、〇	二、二
仝十七日	四、一	高 〇、五	低 二、〇	八、五	高 〇、三	低 〇、九	〇、三	高 〇、四	低 四、二	五、九	多 一、六	多 四、九	—	四、五
仝十八日	三、六	高低なし	低 一、九	五、八	低 二、二	低 四、〇	一、三	高 一、五	低 一、一	〇、四	少 五、一	少 五、九	一〇、二	〇、四

三十日	一	百四十四	三
三十一日	五	百三十	三
二月一日	六	百十七	九
二日	四	百〇八	一

即ち強き噴火は一月十七日乃至二十日は尙ほ一日平均六十回内外の多數を發したるも二十一日乃至二十七日には著しく減少して一日に平均三十回内外となり、更に二十八日以後に及ひては漸く十回内外の數に止まるに至れり、之に反して小噴火は強き噴火とは反比例に增減するの傾きを示したり、又た地震回數も漸次減少せるも強き噴火の回數とは之れ亦た反比例に增減するの傾向あり」爰に「強き噴火」と稱するは噴火に際し比較的大なる地動を與ふるものゝ謂にして單に強き音響を發するものゝ事には非さるなり去る七日午前十一時二十五分頃の鍋山方面より發せる噴火の如きは甚大の鳴響を與へたるも其の地動は微々たりき、要するに噴火には二種あり、(甲)鳴響は格別强からさるも割合に大なる地動を伴ふもの、即ち峯乃深き個所より噴火發するものと、(乙)鳴響のみ大なるも地動は微小なるもの、即ち噴口か一時閉塞せらるゝ爲めに爆破をなすものとの區別あると思はる、而して「強き噴火」か漸次減少せること前記の如くなれは櫻島活動は順序好く鎭靜に歸しつゝあるものなりと認めらる　(完)

●寒中の氣象概況　一年中の最寒季節は既往三十一年間の觀測に依れば一、二の兩月にありて就中最も著るしきものは二回に現はれ其第一は一月二十一日前後にして第二は二月十二日前後に來るものゝ如し而して本年は一月五日に於て第一の最低に達し全日の最低氣温は零下二度四を示し爾後稍々上昇し第二の最低は二月十三日に於て零下二度五を示せり

今本年寒中(一月六日より二月四日に至る三十日間)の氣象を概記するに平均氣温は五度〇にして平年より一度一高く最高氣温の平均は九度一を示し平年より一度一高く其高極は一月十四日に於て十三度九に達し最低氣温の平均は

々即ち十年に一、二回は強震の襲ふ所となるべきも普通の日本風家屋を全潰せしむるか如き程度の震災は被ることと無かるへしと信ず、今回の噴火に際しては一月十二日午後六時半頃一回の強震あり、櫻島には全く震害無きに關せず却つて鹿兒島市及び附近に於て十數人の死者を出したるは不完全なる石塀等の潰倒せるか爲なり。

櫻島噴火の微動計觀測　去る一月十六日以降鹿兒島縣廳構内の度量衡檢定所内に余か出張の際携帶せる震災豫防調査會の簡單微動計(倍率二百倍)を据へ付け黑阪助手をして不斷觀測に從事せしめ本月八日を以て更に全器械を櫻島古里に移し、當分鹿兒島測候所員をして全く觀測事業を負擔せしむることゝなせり、今迄一月七日より二月二日迄ての鹿兒島縣廳内に於ける觀測により櫻島の日々の噴火及び地震の回數を示せは左の如し

月日	強き噴火	連續す	小なる噴火	地震
一月十七日	六十七回			十一回
十八日	五十三	八十四回		二十
十九日	七十四		三十九	三
二十日	六十五		七十八	五
二十一日	三十七		七十七	七
二十二日	二十九		九十三	四
二十三日	三十四		八十二	二
二十四日	四十		七十八	一
二十五日	三十六		六十三	五
二十六日	二十九		百〇一	〇
二十七日	三十五		百三十六	四
二十八日	十四		百四十八	二
二十九日	十七		百四十七	八

次第に安定の狀況に歸するにより其の都度震動となるものにして其の微弱なると其の數か急速に減少するとを特性とす若し又大地震の先驅（前き搖れ）なるに於ては數日にして大震となるへけれは極めて注意を要すへきものとす、然るに噴火性地震は餘震の如き順序を經ること無く却つて反對に初發より數日間に急速に震數を增加し其內稍々强き地震を發するも爲めに震數を減せさるを普通とす、然のみならす局部的變動なれは發震地の附近に於てのみ感覺を與へ、且つ性質は急激なるも繼續時間か短くして一秒內外に止るを多しとす、又地震の大さ及ひ震動の强さに於ても兩種の地震に相違わり、寶永四年安政元年等の如き大なる破壞的地震は何れも非噴火的にして本邦東南の太平洋底即ち琉球大島の南東沖、土佐灣より東海道の海中に亘り陸岸より二三十里の距離に發するを多とし、九州內陸よりは特發せさるものと思はる、爆發の地響き、若くは火山破裂の前後に火山下より發する地震のみならす、縱令火山か破裂することなきも火山活動力と關係わり火山の附近より發するものをも噴火性地震と稱すへきものにして、近年北海道有珠山及ひ淺間山より發せる數多の地震若くは安永、天明、寬政の頃大島、淺間、櫻島、溫泉岳等の噴火に前後して起れる震動、又明治元年の布哇島「マウナ、ロア」火山の噴火に伴へる地震の例を見るに何れも普通の木造日本風家屋を全潰せしむるか如き强さに達せさりしものとす、要するに火山直接の附近よりは大破壞的地震を發せさるものと信すへきなり、即ち大地震は地下に非常なる大不安定の個所わり、其の遂に變動を起す結果なるも火山所在地方は地殼弱く地下に充分なる歪を積加するに至らすして既に噴火となり若くは地震となるへけれは大地震を　し得さるものなるへし」有珠山櫻島等の破裂に先たちて無數の地震を發するは噴火の前驅現象にして地下の火山　の爲めに瓦斯鎔岩等を噴出せんとするも通路を有せさるの結果、變動を起して地下に裂罅等を生し其の都度地震となるなり故に地震わりて噴火すへき通路を先つ構成するものとす」鹿兒島半島より發生する地震は霧島、櫻島、開聞岳等の活火山に關する火山性地震なりと考へらる、從つて鹿兒島市を始め薩摩半島の各部は今後と雖も時

連結する主要火山脈の方面に列置せらるゝものと見做し得く此脈に沿ふては海底噴火を生し易からんも今回の噴口線は主要脈とは直角をなせる第二位の裂罅と謂ふへきものにして大なる變動を繰り返さゝるへし」(乙)今回の噴火口を發せる瀬戸附近より横山附近に延長する一地震帶に鍋山及ひ鳥島も屬するものと見るを得へきか而して今後新に噴孔を生することあるも鳥島瀬戸附近との両端の間に於て發すへきものならんか、即ち安永諸島等の附近海底より今後多少の噴火をなすは不可能には非さるへきも其の機會は少なかるへしと思はるゝなり、要するに現下の横山方面と鍋山方面との噴火か共に著しく鎮靜に歸するに及へは一時地震を幾分頻繁ならしめ、次きて震數の減するに於ては少しく噴火の勢力を增し、此く交互して其變化を繰り返へし以て次第に鎮靜に歸するならんか、但し櫻島全般に關する大變動は既に最盛期を經たれとも今後數年間は多少局部的の活動に對して注意せんことを望まさるを得す。

鹿兒島市と噴火、鹿兒島縣下の地震　鹿兒島市と噴火の關係に就きては一月十七日に左の意見を發表せり

(噴火)　櫻島の新破裂孔は鹿兒島市より約一里半の距離にあり重量二三百匁の溶岩塊か落下するは淺間山の如き強裂なる爆發にても約一里を限りとし爆發勢力の寧ろ弱き櫻島の破裂の爲め鹿兒島市に迄ても降石の危險を及ほすことなきものと認む」(地震)先般來より屢々發起する頻繁なる地震は火山性の地震にして此種の地震は如何に強きも普通の木造家屋を全潰するに至る程の大地震とならさるは確實なり、但し不安定なる煉瓦烟突、石塀の類は危險にして倒れ易けれは注意するを要す」(津浪)櫻島山岳か大部分急激に海中に崩壞するか如き場合には多少津浪の注意を要すれとも此の如き大變動か發起すへき形跡無けれは杞憂を抱くに及はすと信す」(噴火の瓦斯)噴火の瓦斯を甚しく鹿兒島市に次き付くることあるも中毒窒息等の患無けれは安心すへし。

鹿兒島縣下の地震に關して述へんに地震には噴火性地震と非噴火性地震との區別あり非噴火的地震は時として極めて頻繁に發生することあれとも大震の後に起るものは餘震と稱し大震の爲め地殼内にて擾亂せられたる個處か

鹿島市の安危に關しては次回に述ふる如く比較的簡單なる問題となれとも櫻島に關しては終夜爐底の上次の如き意見を一月二十日付を以て發表したり櫻島の變動は去る十二日の强震に續きて多量の鑛岩を湧出せるあり、飯に最大活動の時期を經過し漸次鎭靜の狀態に向ひつゝあれは櫻島の避難民も塲所に依りては歸還するも差支なしと思はる但し噴火現象は急に一時に靜止すへきものに非すして多少の降灰を見るは數ヶ月に亘るへし今後數ヶ年の間時々局部的に幾分の活動なきを保せされは櫻島に於て更に多數の地震を感し、或は强震を發する等の塲合には避難其他の注意を怠らさらん事を望ひ、又た燃島等は安永大噴火後に出現せしものなれは其居住者は特に平常の注意を必要とす」上文に就き少しく解說を加へんに先つ參考に資すへきは舊來の噴火の習慣なり、例之は有球山の加きは其の寬文年間の破裂に於ても、又た文政年間の破裂に於ても明治四十三年噴火の塲合と全しく三四日前より地震鳴動を始ゑたり、櫻島か安永八年に噴火せるときも九月二十九日午後十一時頃より地震を發すること甚しく翌十月朔日午前十一時頃に及ひては島中の井水悉く沸騰し、所々水迸り出つ、又海水紫色に變す、午後二時頃に至りて山上兩中の地より忽ち一帶の黑烟立登るあり、須臾にして大に鳴動し東西兩所一時に炎上り、泥土を流し、黑烟空を覆ひ白日變して暗夜となり火炎は天を燒き、焰を閃すこと疾電の縱橫するか如くなりしと云ふ、其噴火狀況并に噴火前の兆候は殆と全然今回の破裂に於けると異なる所なきを見るへし安永噴火の際には二週間を經て十月十四日に一島を湧出し翌年十月十三日迄て卽ち滿一ヶ年間に合計八個の新島を成生し後燃島外四個の五島となりて現存し、安永島と總稱するもの是れなり、今回の噴火も安永の例を追ふものとすれは追々新島湧出の頃なるへきならんか次の甲、乙二個條の理由に依り斯かる出來事か寧ろ無かるへしと思はるゝなり。(甲)安永薩島は櫻島の東北海中にあり三國名勝圖會所說の如く大隅國分附近の國分小島も鹿島沖小島も亦皆な前時の海底の噴火に依りて出現せるものなるへく燃島大燃崎の如きも共に噴火の結果なり、今此等の配列を按するは鳥島を除けは他は凡て霧島山、櫻島、開聞岳を

か第三回の激き爆發をなせるあり、十一日午前三時より十二日朝六時迄に三百三十七回の地震ありたる趣の電報を十二日朝十時頃に接手したれは、地下活動の大なるに驚き、直ちに鹿兒島に出張すへきも櫻島の狀態に注意せんことを願む旨の電報を發せんと思料せし中に間も無く櫻島破裂の報に接するに至り、遂に大變動に先きたちて注意を與ふるの機會を逸したるは實に遺憾に堪へさる所なり、曾て明治四十三年七月二十五日北海道有珠山の噴火に先たち數日前より地震鳴動を始めたれは當時の室蘭警察署長たりし飯田警視は噴火の前兆なりとし英斷を以て附近の住民の退去を命したるも、住民中容易に應せさるものありしを以て村會議員等を集めて、明治三十五年島島噴火の後に余か警監學校に於てなせる地震噴火に關する講演の筆記を朗讀し退去を强行命令的に遂行したる結果一人の負傷者も無きを得たり、今回の櫻島の破裂に關しても余等が今一層の注意を拂ひ置きたりしならんには多少は有珠山の場合の如く前知し得へかりしならんに事此に出てさりしは同島民に對して謝するに辭なしとする所なり、安永六年には前記せる如く大島の噴火あり二年を經て安永八年の櫻島噴火とありたるか今回も亦明治四十五年の大島噴火より二年を經て本年の櫻島大破裂を見たるのみならす、淺間山も近時大活動をなす等、全く天明前後の噴火狀態を繰り返せるものと謂ふへし、溫泉岳の如きも平時活動の消長に注意せんことを望む所以なり。

櫻島噴火現象今後の豫想　大地震若くは大噴火か後に至り再ひ變動を繰り返すへきや危險の時期を既に經過せるや否や等の問題に對し災害地人民に滿足なる學理的確答を與へんことは素より容易ならす磐梯山の單純なる大爆發、若くは米國桑港大地震帶等は全一箇所より大動動を再發するに非さるは判明なるのみならす後者の如き場合には地震地帶の關係上次回大震の發起地を推定し得たるも櫻島噴火の如き複雜なる現象の成行きを豫想するは大難問にして若し誤れる意見を發表して他日危害を生ることあらは實に中澤なき事となるへく一度調査に從事せる以上は三年、五年を經て變動か全く無事平穩に復歸し終る迄は決して責任を免るゝ能はさるものと謂ふへし、鹿

なる週期を示すものと見るを得、從つて其の倍數たる百二三十年も亦一の週期に當るへく、今回櫻島の噴火は實に整然たる來歷を示したり、古來本邦の歷史中に於て噴火現象の最も激烈を極めたる時期は今日より百三十年内外前たる安永末より天明を經て寛政四年に亘る約十四ヶ年半の間にして安永六年七月二十九日より伊豆國大島の破裂あり、仝八年十月一日(西暦千七百七十九年十一月八日)櫻島の噴火となり、翌安永九年より伊豆國青ヶ島の噴火を開始し其の未た終らさるに天明三年に及ひては淺間山の活動となり、七月一日より八日に亘りて最後の大變動を生し寛政四年には肥前國島原温泉嶽の破裂となり四月一日に及ひて前山の崩裂あり泥水奔流して有明海に入り島原并に肥後國の海邊を蕩盡せり、安永六年より百三十年を距つる明治四十年十二月に至り信濃飛騨國境の焼岳の爆發を始め翌四十一年よりは淺間山も活動を開始し更に四十五年に及ひては伊豆國大島に破裂をなして盛に鎔岩を噴出せり即ち淺間山大島等は安永天明頃と同しく爰に近年に至り再ひ大噴火の時期に入れるものなるか焼岳は明治四十四年夏期に於て其最盛時期に達して漸次鎮靜に歸し大島は昨年春に至りて全く休止せり、而して淺間山は最後の境遇に臨みつゝあるものなれは、此等富士火山帶に屬する諸火山の活動は正に其の終りに近つきたるものにして天明前後の歷史を多少繰り返すものとすれは次きは九州にも火山活動の發展を見るへきを豫想せし折柄昨年五月十九日より霧島山麓の加久藤、眞幸等の地方に地震を頻繁に發生するに至りたれは余は翌六月直ちに書を鹿兒島縣知事に寄せて鹿兒島縣下は從來地震頻繁にして且つ火山にも富みたる地方なれは火山性微動も多きのみならす、霧島山活動の兆も見へたる際なるを以て鹿兒島測候所に微動計を据ゑ付け地動觀測を開始せんことを冀望する旨を通へ置きたり六月下旬には鹿兒島半島伊集院地方にも強震を發するに至りしか霧島山は遂に十一月八日に至りて強く爆發し十二月九日に第二回の破裂をなせる後鹿兒島縣より出張して霧島山を調査せんことを照會せしか、當時は主として霧島山の活動に重きを置きたれは、都合により一月下旬に出張すへきを回答し置きたり、然るに本年一月八日には霧島山

層大にして三と二の比にあり、櫻島の鎔岩は伊豆大島の鎔岩の如く牛糞狀若くは繩狀に流れ進む甚しき流動性なるものに非らずして却て淺間山の鎔岩流の如く角ばりたる岩塊となり、鎔岩流の厚さは淺間山の場合と全しく最大の個處にては六十「メートル」内外に及ぶ、今平均四十「メートル」(二十二間)と假定すれば櫻島の新鎔岩の流出量は〇、四一立方「キロメートル」即ち三百十立方町となり櫻島の容積(海面上の分)の約六十六分の一に當る、因に櫻島の容積は近江琵琶湖の容積、即ち水量(〇、四七立方里)と殆と相等しきものとす、淺間「鬼押出し」容積は約〇、二七立方「キロメートル」即ち二百十立方町となる、淺間山の容積(信濃高原上より起算して)四、五立方里に比すれば其の約一千分の一に當る。

櫻島より噴出せる降灰の量　鹿兒島縣廳及ひ鹿兒島專賣支局に於て調査せられたる各地の降灰量に基き櫻島及び薩摩、大隅、日向、肥後等の諸地方に降下せる火山灰の總量を概算するに合計〇、六二「キロメートル」即ち四百八十立方町となり流出せる鎔岩の全量約三百十立方町よりも大なること八と五との比にあり、両者の合計は七百九十立方町となり櫻島全容積(海面以上の)に比すれば二十五分一に當る

今回の新噴火口の列排を按するに南東方面は舊側火山たる錫山の南肩に沿ひて並置せられ此等を通して島の中央より横山方面の噴孔を連結すれば概略東東南より西西北に亘る一線を得へし、第二圖中(乙)と記する如く、此回櫻島は下に地裂線を生し其れに沿ひ各所より噴出せるものなるべく、圖中(甲)と記せるもの、即ち霧島山を櫻島と開聞嶽とに連結する大火山脈とは直角の方向をなすものと認むるを得へく、元來一個の火山脈われは之れに直角なるものも又た第二の弱線となるへき原理を指示するものなりと思はる。

噴火の來歴　大体に於て我日本諸島を一個の地震地帶若しくは火山區域と見做せは一定の年限を經て全般に地下歴力の積加を來たせる場合には各地より相續きて破壞的地震を起こし或は大噴火を發することも有るへきならん、而して淺間山の頻繁なる噴火に就きて調査するに噴火の最盛なる時期は平均六十三年餘となる即ち概略は六七十年

は極めて地表に近き個所に既に存在せしものなるへし、要するに櫻島の構造は爆發力に對する抵抗弱くして破裂するは比較的容易なるへく、爲めに顯著なる前驅現象を示す所以なるへし、從て又噴出せる烟、灰等の量は甚た大なるも個々噴出の勢力は淺間山の爆發の如く山より四五里を距つる地點に於ても戸障子を外つすか如き强大ならさりしものとす、斯くて櫻島は十二日午前十時頃終に先つ山の西方半腹にして横山村の上に當る高距約四百米の地點より噴火し次きて十分内外の時を經て島の東南方の半腹に當り高距の仝く約四百米なる鍋山の南肩よりも噴火せり、此等最初の噴出は格別に爆音を伴ふこと無かりしも其れより次第に勢力を增し、當時無風なりしを以て烟を二萬餘尺の高さにまて直上に噴き上け、黑烟の中には縱横に無數の電光を放射し激甚なる燒音を發し、地震動は空氣波と共に間斷なく愈々大噴火となれり櫻島有村邊にては十二日午前五時半强震あり更に仝日午後六時半頃には鹿兒島市及ひ附近に損害を與へたる强震ありしが大に鎔岩の流出を始めたるは十三日午後七時過きなりしか如し、本月二十五六日頃に及ひては島の西方横山方面の噴火は大に勢を減し殆ど鎭靜に歸したるも東南方面の噴火は尙ほ頗る盛なりき此の間に西方面には四五個、又た南東方面には六七個の噴口を生し(後に精査すれは更に多數となるへし)流出せる鎔岩は横山、脇、有村、瀨戸の各村を埋沒し西方面は島の西端袴腰に接して海岸より約十町も海中に延ひて島は全く鎔岩流に覆はれて其の存在を失するに至り南東方面は櫻島と大隅の間なる瀨戸海峽に流入し元來約四丁の幅たりしを次第に埋め殘さんとするの形勢を示し一月二十四日には僅かに幅十二三間の狹水道を餘すのみとなり、遂に仝月二十五日には全く海峽を閉塞せり、而して一月二十二日に視察せる所によれは袴腰附近に於ける鎔岩流は一時間に約一尺の割にて進行を示したり、鎔岩流の爲めに覆はれたる面積は西方面約四百二十平方町、東西方面約四百四十平方町にして合計八百五十平方町(〇、六六平方里)即ち十平方「キロメートル」に達す、天明三年の淺間山の大噴火に際し其の北麓に流下せる鎔岩流、所謂「鬼押出し」の面積〇、四四平方里、即ち五百七十平方町よりは一

回の破裂に先きだちて有村附近に於て著しき前徴を認めたる所以なるへし、村落は西方の横山南西方の有村を始めとし東西兩櫻島に分屬し總斗二十字あり、人口は約二萬千を算したり。

鹿兒島灣の概形は第一圖に示す如く櫻島以南の部と其れより以北の部とに別つを得へく櫻島以南は灣の長さに沿ひ中央に百乃至百二十尋の深處あるも陸岸に接近せる一里内外の間は三四十尋の深さに止まる、櫻島以北の海は概略七十尋内外の等深を示し恰も北海道有珠山の背後に洞爺湖あり樽前山の背後に支笛湖あると趣を等ふせり即ち鹿兒島灣は一種の地溝帶なるも櫻島以北の海面は特に櫻島火山の出現に關係あるへき陷落地にして以南の分とは歴史を異にするあらんかと想像せらる。

噴火の狀況　今回の櫻島噴火は世界の大火山破裂の中に數ふへき變動なりと謂ふへく明治二十一年の磐梯山の如く單純なる爆發性のものを除けは流出せる鎔岩流幷に噴出せる烟、灰、砂、輕石等か多量なる點に於ては彼の有名なる天明三年の淺間山大破裂に次くへきものならんと考へらる。

一月十日より地震を發し十一日には既に頻繁となり、十二日午前八時半頃に及ひては島の南岸脇村、有村の海濱より熱湯を噴出するあり、有村の温泉は三尺も高く吹き上けらるゝに至れり、而して之に先たち仝日未明より櫻島は雲霧に閉されたるも時々糸の如き白烟を騰上せしひるあり、午前八時頃には南岳の頂上より白烟を饅頭形に上空に拋出したり、又た大隅國垂水村にては十一日午後二時頃雲の如き白烟を脇村より上に當る山の中腹の邊に於て認めたりと云ふ、蓋し櫻島今回の噴火は現時の淺間山の如く仝一噴孔より破裂するに非らすして數多の新孔を生し、前時の破裂に於ても噴火後に新島を生せる等の土地變動あり、去る明治四十三年に噴火せる北海道の有珠山の型式に屬し更に強大なるものとす、則ち櫻島の山体(海面以上の)は小にして僅かに〇、四四立方里に達し淺間山の容積(山麓の高原以上)に比すれは恰も十分一に相當するに過きす而かも櫻島の噴火力は強盛なりとすれは其の山下の鎔岩

櫻嶋大噴火概報

理學博士　大森房吉

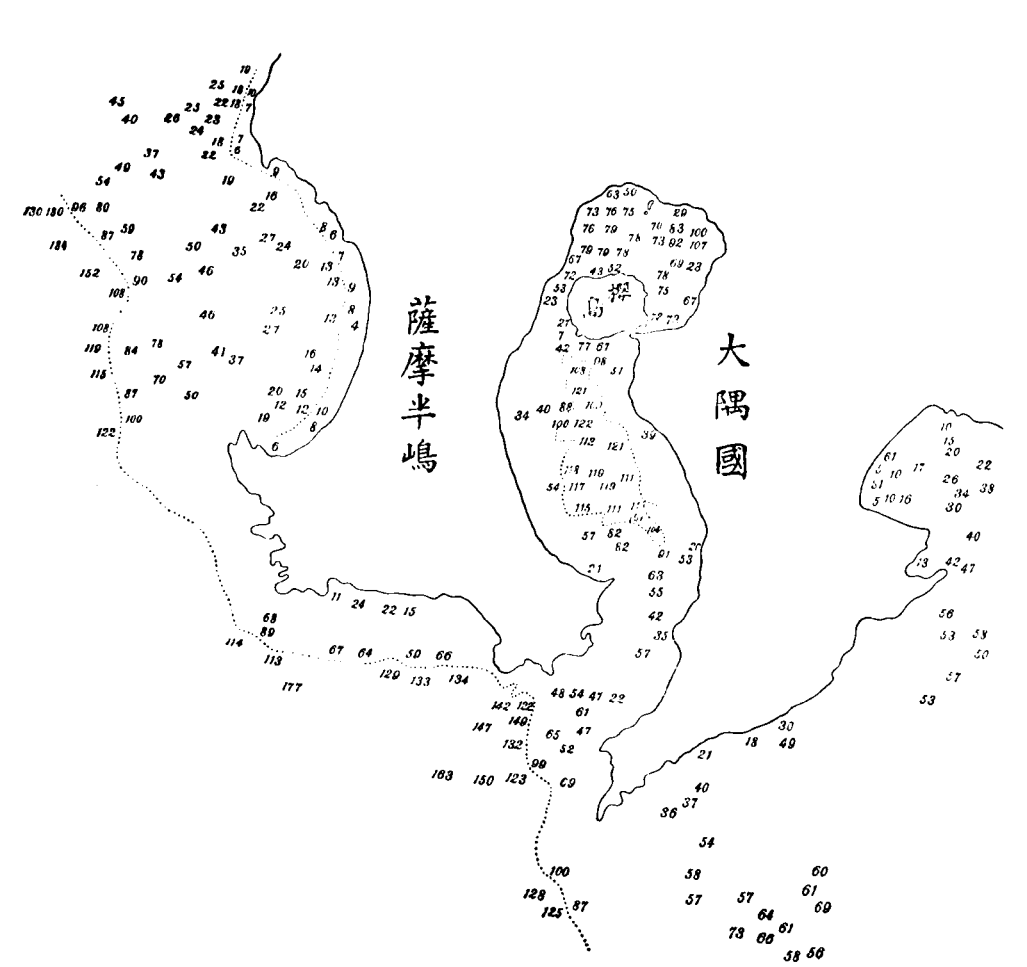
櫻島大噴火に關し大森理學博士より左の一編を當所に寄せられたれは爰に掲けて其好意を感謝す但し前號と多少重復の所なきにあらす看者其れ之れを諒せよ

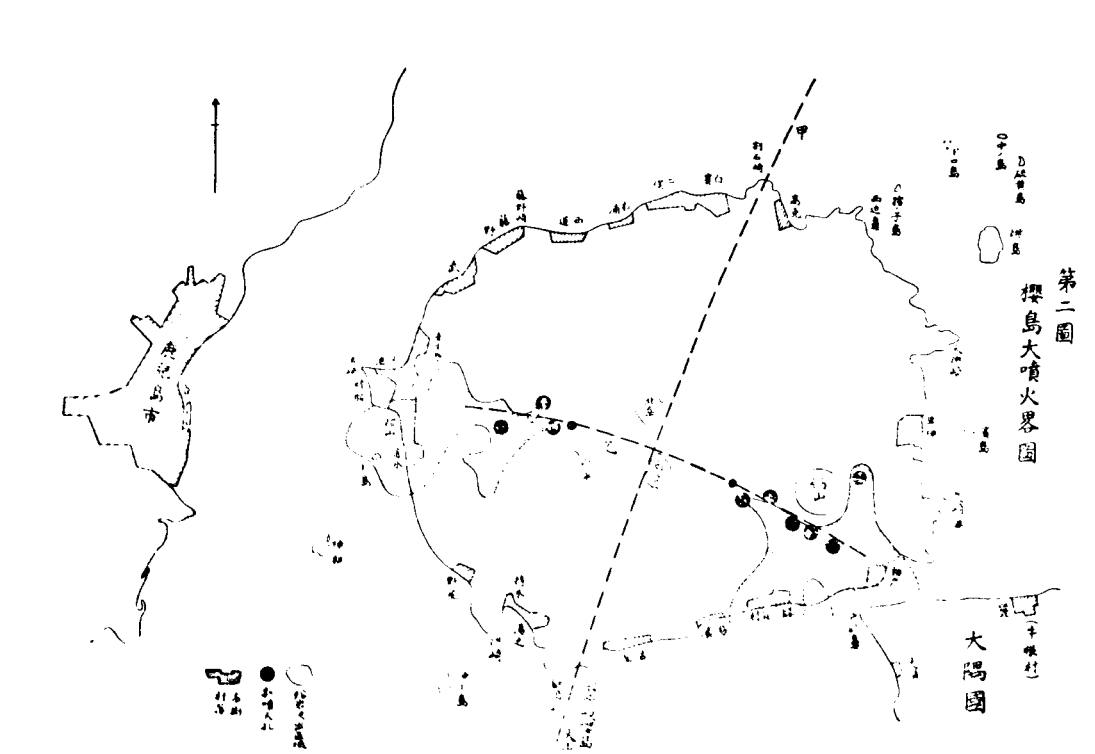
緒言　震災豫防調査會委員として出張を命せられ去る一月十四日東京を發し二十八日歸京せり、思ふに適當なる調査方法を發見するに非すんは噴火研究の如きも進歩せしむること能はさるへし、地質學、地理學、火山學等の諸大家は各自其方面より有益なる研究を遂けられたるは勿論ならんか、余は從來の如く震(噴火)災豫防なる問題を大目的とし地震學上より幷に幾何學的事項より火山の活動を主眼として少しく調査せんことを試みたり、詳細なる報告は異日に期し差當り噴火の狀況噴火の來歴及ひ今後の豫想、鹿兒島地方の地震に就きて略述せんとす。

鹿兒島灣及櫻島　櫻島は鹿兒島灣内の火山島にして東西の長さ約二里三十町、南北の幅約二里あり、島の中央に北岳、御岳及ひ南岳の兩峰あり共に前時の噴火口にして南北に並列し各千百三十三「メートル」と千〇七十「メートル」の高さに達す、島の南東部にある鍋山及ひ南西半腹に聳立する引平等は舊時活動せる側火山にして島の南西端に突出する野尻村附近の燃崎及ひ南岸湯濱附近の辰崎、島の東北岸の大燃崎等は何れも有史時代の噴火に際して生成せるものに外ならす、櫻島の東北海中に散布する安永諸島即ち燃島外四島は安永八年の破裂後海中より噴出せる結果にして櫻島の南西岸に接する烏島及ひ沖小島等も前時の噴火に際して現出せるものなり、又た櫻島の南岸より南東岸に亘り古里、有村、黒神等に溫泉あるは此の方面か噴火に際して特に感し易き狀況にあるものなるへく、今

第一圖

鹿兒嶋灣及附近ノ水深圖





第二圖

櫻島大噴火畧圖

一年三分強ありたり又別項にも記するか如く櫻島の鳴動噴煙は十四日に至り一旦靜まりたるが第二回は十六日に又々大爆發し十七日鹿兒島は前回以上の降灰ありし由なるか大阪地方は十八日午前八時十五分より午後三時四十五分まで降雨ありしか其雨に混して降灰あり之れを採取し前回の降灰に較ふるに殆と仝一物なれは十六日再度大爆發の灰か上層氣流に伴はれて來りたるものなるへし此降灰の區域は甚た廣く第一回は四國中國を越へて東海道に至り第二回は京阪地方及敦賀附近に達したるものゝ如し

たるは所謂爆發の前驅とも云ふへき地震なるへし今其發震時と鹿兒島に感したる震動の强弱とを記すれは左の如し

大阪の地動計に感したる時刻　　鹿兒島の震動强弱

一月十一日	午前四時〇四分四九秒	烈震
仝	仝　六時〇〇分五七秒	仝　上
仝	仝　一〇時〇四分二一秒	强震
仝	午後零時四九分四六秒	仝　上
仝	仝　三時〇二分二三秒	烈震
仝	仝　六時三〇分二九秒	仝　上
仝	仝　八時三〇分三一秒	仝　上
仝	仝　九時一五分四九秒	仝　上
仝	仝　一〇時三〇分五一秒	仝　上
一月十二日	午前六時一〇分二八秒	仝　上
仝	仝　八時三四分〇五秒	仝　上
仝	仝　一〇時頃	櫻島大爆發
仝	午後六時二九分二八秒	烈震

大阪の降灰　安永八年櫻島大噴火の當時大阪にも降灰ありしことは記錄に殘れるか今回も亦た降灰あり第一回は一月十二日午前十時頃櫻島大爆發し噴煙天に漲り鹿兒島は降灰夥しく其上層に昇りたるものは上層氣流に伴はれて東に進み大阪地方は十三日夜半頃より微々降灰を始め十四日午前二時頃には地上霜の如く白くなり仝二時より三時の間最も多く仝五時頃まて斷續せしか其後は漸次微となり且つ仝六時過より小雨降り始めたるか故に仝七時には全く認めさるに至りたり其降灰の量は測るに足らされとも地面を覆ふに至り又四尺平方の板上に積りたる灰の重さは

八分二十五秒、南北動は二時四十四分九秒なり

附記　此地震は遠距離の地に發したるものにして未だ震源は詳ならされとも「ジカウエー」にては當所より俄々早く午後一時二分零秒に感したりと云ふ

櫻島大噴火と大阪の地動幷降灰

技手　圓岡平太郎

鹿兒島地方は一月十日夜より地震頻りに起り十一日午前三時より十二日午前六時までに三百三十七回に達し人心恟々たりしか十二日午前十時頃遂に櫻島の大爆發を見るに至れり其狀況は別項大森理學博士の概報に記せし如くなるか當所の地動計にも一月十一日午前四時四分四十九秒緩微なる地震を感し初期微動の繼續時間は一分十三秒にして震央地までの距離は約五百七十粁となり鹿兒島附近に當れり其後仝六時零分五十七秒にも仝地方の地震を感し爾後此種の地震を感すること頻繁にして十二日午前十時頃の大爆發前までに十二回の地震を感したりしか孰れも初期微動繼續時間は一分十二秒乃至一分十四秒なれは正に櫻島爆發地震なること明かなり

明治四十三年七月二十五日北海道有珠山の噴火したる時の記錄を看るに七月二十一日には有珠山より數回の地震を發し仝二十二日には有珠山より二里を距りたる伊達村西紋鼈に於て二十五回の地震を感し仝二十三日には更に震數を增して百五十回を感したれは山麓諸村落の住民は有珠山の破裂せんことを恐れて他に避難を始めたるか仝二十四日は愈々震數を增して約三百五十回を感し遂に二十五日夜噴煙を始むるに至りたりと云ふ又安永八年今を距る百三十五年前の十月一日（舊曆）櫻島大噴火あり舊記に依るに九月二十九日夜より十月朔日に至り薩城及東南北十數里の間地震ふこと頻りなり其日未の刻（午後二時頃）を過き城下東方對岸櫻島の上火起る、もゆれは地震ひ、地震へは火もへ、聲雷よりもとゞろき、光電よりもかゞやき火騰ること數丈、石を激して空中に相擊つ』云々とあり之れに依て看れは此時の噴火も一二日前より地震を發したること知るへきなり然らは大阪にて爆發前に數回地震を感し

發震より最大動に至る時間	水平動	零分三十一秒		
	上下動	—		
最大振幅	水平動	全振幅	零耗三三	振動期 一秒四
	上下動	全振幅	微	振動期 —
震動方向	南四十三度西	———	北四十三度東	
震度	微(感覺なし)			
性質	急			
記事	此地震は性質急なる波動に起り發震より第三十一秒目に於て前記の最大動を現し後漸次微となり靜止せり上下動は一分三十秒時間繼續したれとも微にして測るに足らず			

附記　此地震は琵琶湖の東岸に發したるものにして震域東方は信州松本邊に西方は備前の岡山附近に及ひ南方は伊勢海に北方は丹後の海岸に達し長半徑三十五里、短半徑三十里を有し地震を感したる面積は三千二百方里に亘りたり

二三　一月二十九日午後四時四十八分二秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十八秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後四時四十九分二十六秒に於て二十六「ミクロン」振動期四秒〇、南北動は午後四時四十九分二十四秒に於て二十五「ミクロン」振動期三秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は八分四十二秒、南北動は九分十七秒なり

附記　此地震は本州中部に發したるものにして震域東方は岩代の福島邊より水戸及東京附近に亘り西方は越前の福井邊より伊勢の津附近に及ひたれとも孰れも微弱なり

二四　一月三十一日午後一時三分三十一秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し第一初期微動の繼續時間は十七分零秒、第二は十三分十四秒を示し主要動となり最大振幅は東西動は午後二時四十分三秒に於て二十二「ミクロン」振動期二十一秒六、南北動は午後二時四十分二十一秒に於て八十七「ミクロン」振動期二十三秒〇を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は二時三十

二一　一月廿日午後九時五分三十九秒の地震

此地震は最初より緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は四分十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時十四分十五秒に於て七十五「ミクロン」振幅期七秒二南北動は午前九時十四分八秒に於て五十五「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は四十六分四秒、南北動は四十六分四十五秒なり

附記　此地震は遠距離の所に發したるものにして未た震源は詳ならされとも各所の觀測に依りて看るに震央地までの距離は大阪より約二千四百粁「イルクツク」より約三千四百粁にして勘薩加附近に當れり今各所の發震時を列記すれは左の如し

大阪	午後九時〇五分三九秒	
長崎	仝	九時〇六分一四秒
イルクツク（西比利亞）	仝	九時〇六分五二秒
ツカウエー（支那上海）	仝	九時〇七分一七秒
臺北	仝	九時〇七分二四秒
マニラ（比律賓島）	仝	九時〇九分〇〇秒
ギルドホールト（英吉利）	仝	九時一〇分〇〇秒

二二　一月二十八日午前四時三十二分三十七秒の地震

此地震は性質急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十五秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前四時三十三分二十二秒に於て五十「ミクロン」振動期一秒五、南北動は午前四時三十三分二十六秒に於て六十二「ミクロン」振動期一秒四を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は六分四十一秒、南北動は六分三十秒なり

更に普[illegible]地震計の觀測を記すれは左の如し

繼續時間	〔水平動	二分十秒
	〔上下動	一分三十秒

・イルクツク（西比利亞）　午後六時三三分五四秒
ギルドホールド（英吉利）　仝　六時四〇分〇〇秒

一八　一月十三日午前一時一分四十四秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十七秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前一時三分五十八秒に於て二十五「ミクロン」振動期六秒二、南北動は午前一時三分五十六秒に於て四十「ミクロン」振動期六秒七を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十五分二秒南北動は十五分十秒なり

附記　此地震は十二日午後六時十二分五十八秒に發したる備後洋の地震と仝震源帶に起りたるものにして多度津にては性質急なる劇震を感し地鳴あり四阪島、新居濱及別子にても劇震を感し廣島及岡山は微震を感したり而して震域の長半徑は三十三里、短半徑は二十六里を有し地震を感したる面積は二千八百三十一方里に亘れり

一九　一月十三日午後四時十一分五十五秒の地震

此地震は振幅微にして振動の各部判明せざれども最大振幅は午後四時十四分四十五秒に於て七「ミクロン」振動期四秒一を現し後微となり靜止せり全振動時間は六分五十四秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　櫻島爆發地震なるへし

二〇　一月十三日午後七時十八分五十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分五十七秒にして主要動となり最大振幅は午後七時十九分五十二秒に於て九「ミクロン」振動期二秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は四分二十九秒なり（南北動微動計百二十倍の觀測）

附記　此地震は浦賀水道に發したるものにして横須賀にては性質急なる劇震を感し震域北方は岩代の福島邊より信州松本附近に亘り地震を感したる面積は二千〇四十六方里に達したり

初期微動		主要動				終期
P	S	L	M_1	M_2	F	
一八時二九分二八秒		一八時三〇分三八秒	仝 三二分一四秒	仝 三三分二四秒	一九時五一分一八秒	
(ミクロン)			(十)	(一)		
一	一	一	四一四〇	四一九七	一	
秒			七・〇	七・二		
一	一	一	一	一	一	

初期微動		主要動				終期
P	S	L	M_1	M_2	F	
一八時二九分二八秒		一八時三〇分三八秒	仝 三二分一四秒	仝 三三分二四秒	一九時四九分一九秒	
(ミクロン)			(十)	(一)		
一	一	一	二七一二	三七四七	一	
秒			六・七	六・二		
一	一	一	一	一	一	

附記

此地震は櫻島附近に發したる激震にして鹿兒島にては烈震を感じ家屋の破壞、石垣の崩壞、人畜死傷等あり其他九州一帶に強烈震を感したり而して震域附方は奄美大島に東方は紀内附近に達し強震を感したる面積は二百三十方里、弱震は一千七百二十五方里、微震は八千三百七十九方里合計一萬〇三百三十四方里にして微動は西比利亞南部の「イルクツク」及比律賓島の「マニラ」に達し尚英國「ギルドホールド」觀測所にも感したりといふ

今各所の報告に依り發震時を列記すれは左の如し但し時刻は日本中央標準時に依る以下皆仝し

福岡	仝	午後六時二八分五八秒
大阪	仝	六時二九分二八秒
仁川	仝	六時二九分一三秒
ウカウエー（支那上海）	仝	六時三〇分〇六秒
大連	仝	六時三〇分一一秒
東京	仝	六時三〇分一三秒
臺北	仝	六時三〇分三二秒
水澤	仝	六時三〇分五五秒
長春	仝	六時三〇分五七秒
マニラ（比律賓島）	仝	六時三二分三三秒

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十一秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午前九時十二分五十五秒に於て六十「ミクロン」振動期三秒五、南北動は午前九時十一分五十七秒に於て七十二「ミクロン」振動期二秒九を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十二分七秒南北動は十一分二十五秒なり

附記　本州東海岸沖に發したる歐震なり

一六　一月十二日午後六時十二分五十八秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分三十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後六時十五分十九秒に於て五「ミクロン」振動期三秒八、南北動は午後六時十五分二十四秒に於て六「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は五分三十五秒、南北動は五分五十八秒なり

附記　此地震は備後洋に發したるものにして震域南方は四國の南部に達し北方は廣島邊より岡山附近に亘り長半徑三十五里、短半徑三十三里を有し地震を感したる面積は三千六百六十五方里に亘り四阪島、新居濱、別子にては性質急なる弱震を感し地鳴あり又奥及多度津にても水平上下兩動の弱震を感したりと云ふ

一七　一月十二日午後六時二十九分二十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後六時三十三分五十九秒に於て四千百九十七「ミクロン」振動期七秒二、南北動は午後六時三十三分二十四秒に於て三千七百四十七「ミクロン」振動期六秒二を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は一時二十一分五十秒、南北動は一時十九分五十一秒なり即ち左表の如し

東西動地動計觀測

發現時	振幅	振動期

南北動地動計觀測

發現時	振幅	振動期

三十四分二秒に於て二十「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分五秒なり

附記　櫻島爆發の前震

一一　一月十一日午後九時十五分四十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十四秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午後九時十八分五十一秒に於て三十「ミクロン」振動期五秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は八分三十五秒なり

附記　櫻島爆發の前震

一二　一月十一日午後十時三十分五十一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午後十時三十四分三十一秒に於て十六「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は九分二十五秒なり

附記　櫻島爆發の前震

一三　一月十二日午前六時十分二十八秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午前六時十三分三十秒に於て二十七(ミクロン)振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分三十秒なり

附記　櫻島爆發の前震

一四　一月十二日午前八時三十四分五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時は一分十三秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午前八時三十七分四十秒に於て二十二「ミクロン」振動期五秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十二分十五秒なり

附記　櫻島爆發の前震

一五　一月十二日午前九時十分五十三秒の地震

附記　櫻島爆發の前震

六　一月十一日午前十時四分三十一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十四秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午前十時八分二十一秒に於て三十七「ミクロン」振動期七秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十八分五十秒なり

附記　櫻島爆發の前震

七　一月十一日午後零時四十九分四十六秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午後零時五十三分三十九秒に於て二十二「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十二分三十秒なり

附記　櫻島爆發の前震

八　一月十一日午後三時二分二十三秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午後三時五分五十一秒に於て二十「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分十五秒なり

附記　櫻島爆發の前震

九　一月十一日午後六時三十分二十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午後六時三十三分十二秒に於て十七「ミクロン」振動期四秒〇を現し後微となり靜止せり全振動時間は十分二十秒なり

附記　櫻島爆發の前震

一〇　一月十一日午後八時三十分三十一秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十三秒にして主要動となり最大振幅(南北動)は午後八時

動の強震を感したりと云ふ

二　一月五日午後一時九分十八秒の地震

此地震は性質稍々急なる波動を呈し初期微動の繼續時間は零分十四秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後一時十分十秒に於て十九「ミクロン」振動期一秒九南北動は仝時刻に於て二十二「ミクロン」振動期一秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は七分三十一秒なり（簡單微動計六十倍の觀測）

附記　此地震は紀伊水道に發したるものにして和歌山にては性質急なる微震を感じ伊勢の津にても微震を感したりと云ふ

三　一月八日午後七時五十四分五十五秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後七時五十六分卅二秒に於て百九十二「ミクロン」振動期六秒七、南北動は午後七時五十六分五十秒に於て二百十七「ミクロン」振動期四秒八を現し後漸次に微となり靜止せり全振動時間は東西動は十三分四十秒南北動は十四分三十秒なり

附記　此地震は房總沖に發したるものにして震域北方は陸羽地方に南方は伊豆八丈島に達し西方は丹後の宮津附近に及へり而して銚子にては性質急なる强震を感したりと云ふ

四　一月十一日午前四時四分四十九秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十三秒にして主要動となり最大振幅（南北動）は午前四時六分二十九秒に於て十二「ミクロン」振動期四秒八を現し後微となり靜止せり全振動時間は十三分四秒なり

附記　櫻島爆發の前震

五　一月十一日午前六時零分五十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分十二秒にして主要動となり最大振幅（南北動）は午前六時四分五十二秒に於て二十七「ミクロン」振動期六秒二を現し後微となり靜止せり全振動時間は十五分零秒なり

ね晴天尾崎、大阪に强風吹き大阪、新庄、茨木、八尾、柏原に霜あり●三十一日晴曇相半し所々に雪或は霰降り尾崎、大阪、枚方に强風吹き大阪、茨木に霜あり

大阪地震觀測概況

爰に記する所は主として大森式地動計(東西及南北動二十倍)を以て觀測したるものを記し極微なる地震にありては百二十倍の微動計其他の器械にて觀測したるものを記せり又振動の各部記號は左の如し

Pは第一初期微動の發震時、Sは第二初期微動全上、Lは長波又は主要部全上、Mは主要部の最大動、Cは終期の最大動、Fは振動の終とす又(+)は南北動にありて、北、東西動にありては東、(−)は南北動にありては南、東西動にありては西なり振幅は「ミクロン」(粍の千分の一)を以て記す

本月中に地震は觀測したる數は二十四回にして就中人身に感覺ありたるものは一回もなく人身に感覺なく普通地震計に感したるものは二十八日午前四時三十二分三十七秒琵琶湖の東岸に發したるもの一回なり無感覺地震にして地動計又は微動計に感し其震源本邦内にありたるものは二十一回即ち櫻島地震十三回にして就中十二日午後六時二十九分二十八秒に發したるものを最大とす其他備後洋二回、陸中洋、紀伊水道、房總沖、本州東海岸、浦賀水道、本州中部の各一回なり又遠距離地震は二回にして勘薩加附近に發したるもの一回其他は震源詳ならす今其觀測概況を列記すれは左の如し

一　一月二日午後零時五十一分二十七秒の地震

此地震は性質緩なる波動を呈し初期微動の繼續時間は一分二十六秒にして主要動となり最大振幅は東西動は午後零時五十三分二十秒に於て百七「ミクロン」振動期五秒〇、南北動も全時刻に於て百四十「ミクロン」振動期五秒三を現し後微となり靜止せり全振動時間は東西動は十七分十八秒南北動は十七分五十秒なり

附記　此地震は陸中洋に發したるものにして震域北方は北海道の南部に南方は東京横濱附近に達し西方は越後の新潟邊より遠州濱松附近に亘りて長半徑八十五里●短半徑五十五里を有し地震を感したる面積は一萬四千九百六十方里に及へり而して陸前金華山にては水平上下兩

卅一日	全月
一	一九・一
一	三〇・八
一	一五・七
一・九	二〇・二
二・二	二七・五
〇・八	一四・五
一	二三・二
〇・一	二五・九
一	二三・一
一・一	二八・一
一	三四・二
一	四七・五
一	三五・八
一	五〇・二
一	三三・一
一	三四・〇
一	三〇・一
一	二九・六
一	一九・三
一	一五・八
七〇	一七・四
〇・〇	二七・六

管内天氣摘要

●一日概ね晴天尾崎、大阪に强風吹き所々に霜あり●二日概ね晴天長承寺、堺、大阪、妙見山、田原に雨降り所々に强風吹き霜あり●三日概ね晴天岸和田以南及大阪、天王、長野に雪或は霰降り所々に强風吹き茨木、田原、八尾に霜あり●四日概ね晴天天王に雪降り尾崎、長承寺、大阪に强風吹き所々に霜あり●五日概ね晴天岸和田に濃霧所々に霜あり●六日晴曇相半し妙見山、清水に雨降り所々に霜あり●七日概ね曇天一般に雨或は雪霰を降らし强風吹けり●八日晴曇相半し所々に雪或は霰降り强風吹き枚方、田原に霜あり●九日概ね晴天所々に霜あり●十日概ね曇天所々に雨降れり●十一日晴曇相半し大阪、池田、妙見山、清水に雨降れり●十二日概ね晴天一般に霜あり●十三日概ね晴天枚方に雨降り一般に霜あり●十四日晴曇相半し一般に雨降り所々に强風吹けり●十五日概ね晴天長承寺に雨降り尾崎、岸和田、大阪、八尾に强風吹けり●十六日概ね晴天岸和田、大阪、清水、柏原、富田林に雨、天王に雪降り岸和田、大阪に强風吹けり●十七日概ね晴天天王に雪降り所々に霜あり●十八日未明より雨或は雪降り岸和田、長野に雷鳴あり●十九日概ね晴天新庄、茨木、清水に濃霧所々に霜あり●二十日概ね曇天長承寺、天王、清水長野に雨降り長野は霰を混せり●二十一日晴曇相半し所々に雨或は雪降り大阪、柏原に强風吹き新庄、茨木に霜あり●二十二日晴曇相半し大阪、茨木及北部に雪降り所々に霜あり●二十三日概ね晴天所々に霜あり●二十四日概ね晴天所々に霜あり●二十五日晴曇相半し長承寺、堺、大阪、清水、田原に雨降り尾崎、大阪に强風吹けり●二十六日概ね晴天大阪に强風吹き所々に霜あり●二十七日概ね晴天所々に雪或は霰降り大阪に强風吹けり●二十八日概ね晴天枚方に强風吹き大阪、新庄、茨木、清水、富田林、長野に霜あり●二十九日概ね晴天所々に霜あり●三十日概

六日	七日	八日	九日	十日	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日
—	〇.〇	—	—	—	—	—	—	五.一	—	—	二.〇	一二.五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	七.〇	三.二	—	六.二	一三.一	—	〇.一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	二.二	〇.二	—	—	二.〇	八.八	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	〇.〇
〇.〇	〇.〇	〇.〇	—	一.七	—	—	一.四	—	一.一	—	四.〇	九.三	—	〇.三	—	—	—	〇.三	—	—	—	—	—	—
〇.二	—	〇.七	—	一.四	—	—	一〇.一	〇.五	—	—	一.九	一〇.三	—	〇.二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一.五	〇.〇	—	—	〇.九	—	—	—	—	—	—	一.〇	九.六	—	—	—	—	—	〇.七	—	—	〇.〇	—	—	—
〇.九	—	—	—	一.〇	—	—	一〇.〇	二.〇	—	〇.一	〇.三	八.九	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—
〇.三	〇.〇	〇.〇	—	〇.六	—	—	一一.〇	〇.七	—	〇.〇	〇.八	一二.〇	—	〇.三	〇.〇	〇.〇	—	〇.一	—	—	〇.〇	—	—	—
—	〇.〇	—	—	二.五	—	—	一一.七	一.〇	—	—	〇.七	七.二	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—
〇.一	〇.二	—	—	一.二	—	—	一三.五	〇.二	—	〇.一	一.五	九.七	—	〇.四	〇.〇	〇.〇	—	〇.一	—	—	〇.〇	—	—	—
〇.一	〇.三	—	—	一.五	—	—	二三.〇	一.〇	—	—	一.〇	七.一	—	—	〇.七	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〇.〇	一.〇	〇.五	—	一.〇	—	—	三四.〇	二.〇	—	—	一.〇	七.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	—
—	一.五	〇.〇	—	〇.六	—	—	二一.一	三.〇	—	—	一.〇	八.〇	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.〇	—	—	〇.〇
—	一.八	一.二	—	〇.六	—	—	一二.〇	六.二	—	—	〇.七	八.八	—	七.八	四.五	〇.三	—	〇.三	—	〇.二	二.〇	—	—	三.〇
〇.一	—	—	—	一.〇	—	—	一八.〇	—	—	—	五.六	八.〇	—	〇.五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〇.二	—	—	—	一.一	—	—	一七.〇	—	—	一.八	〇.二	一一.八	—	一.三	〇.四	—	—	〇.二	—	—	—	—	—	—
一.五	〇.〇	—	—	一.〇	—	—	一四.〇	〇.一	—	—	一〇.〇	二.〇	—	一.〇	—	—	—	〇.二	—	—	〇.一	—	—	—
一.〇	—	—	—	二.四	—	—	六.六	七.九	—	—	一.六	八.三	—	〇.八	—	—	—	〇.二	—		〇.二	—	—	〇.三
〇.五	—	—	—	一.〇	—	—	六.〇	—	—	—	〇.三	九.五	—	一.〇	—	—	—	—	—	—	〇.二	—	—	—
〇.九	—	—	—	〇.九	—	—	二.三	—	—	—	〇.二	七.七	—	二.〇	—	—	—	〇.三	—	—	〇.三	—	—	〇.一
〇.五	一.一	—	—	〇.八	—	—	三.五	—	—	—	一.五	六.五	—	〇.五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	〇.三
一.一	〇.七	〇.〇	—	〇.五	—	—	五.二	—	—	—	—	八.九	—	一.九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第五表 管内降水日量

	天王寺	大阪	福島	新庄	池田	妙見山	東郷	天王	茨木	清水	枚方	田原	八尾	柏原	富田林	長野
1	九、一	九、三	一〇、二	九、一	一〇、二	四、八	八、二	七、二	一〇、二	一〇、〇	一〇、四	九、七	一〇、三	九、九	一一、八	九、九
2	〇、四	一、一	〇、九	〇、〇	(一)〇、七	(一)三、八	(一)一、八	(一)三、一	(一)〇、九	(一)一、三	(一)〇、二	(一)二、一	(一)〇、二	(一)〇、二	〇、一	(一)〇、四
3	四、四	五、二	五、六	四、六	四、八	〇、五	三、二	二、一	四、七	四、四	三、三	三、八	五、〇	四、七	六、一	四、七
4	低〇、四	高〇、九	高一、二	低〇、三	高〇、二	低〇、一	低〇、一	高〇、八	高低[illegible]	高〇、三	高〇、四	高〇、三	高〇、一	高低なし	高一、六	／
5	一五、六	一五、一	一七、五	一六、〇	一六、五	一一、一	一四、〇	一三、四	一六、五	一六、二	一七、〇	一三、五	一六、〇	一六、九	二二、〇	一九、八
6	二	二	二	一四	一四	一三	一四	一四	二	二	二	一四	二	一三	一四	一四
7	(一)三、四	(一)二、四	(一)三、五	(一)三、二	(一)五、一	(一)八、〇	(一)七、三	(一)八、七	(一)五、三	(一)四、九	(一)四、〇	(一)六、四	(一)三、五	(一)四、二	(一)二、九	(一)四、四
8	四	五	九	九五	二三九	九四	九	九	五	九	九五	五	五四	五	三二九五	一二
9	二三、二	二五、九	三三、一	二八、一	三四、二	四七、五	三五、八	五〇、二	三三、一	三四、〇	三〇、一	二九、六	一九、三	一五、八	一七、四	二七、六
10	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少	少
11	三〇、九	二七、一	二九、一	二六、七	一七、一	一〇、三	二四、八	三三、五	二六、八	三四、〇	二六、八	三八、二	三七、四	四三、二	三六、九	／
12	一〇、〇	一二、〇	一一、七	一三、五	二三、〇	三四、〇	二一、一	一二、〇	一八、〇	一七、〇	一四、〇	八、三	九、五	七、七	六、五	八、九
13	一三	一八	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一八	一八	一八	一八	一八
14	五、九	六、三	七、一	五、五	六、一	二、〇	四、三	三、四	六、三	六、七	八、一	六、二	七、六	四、九	六、八	六、三
15	六八	六七	六九	七〇	六四	八四	七三	七二	七一	六六	五一	六九	六五	八三	六五	七〇
16	三、〇	三、七	三、六	四、〇	三、四	三、七	三、七	五、二	三、八	五、〇	五、九	五、〇	三、八	三、〇	四、八	六、一
17	西	西	西	西	北	西	西	西	西	南西	西	西	西	西	西	北
18	七	九	五	一一	八	八	七	一六	六	九	九	一一	七	一〇	一〇	七
19	三	七	三	四	四	五	五	一〇	三	三	一	二	一	一	二	二
20	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	四
21	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
22	一五	一八	一四	二一	七	八	八	五	二三	一一	一一	一二	一四	三	八	七
23	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
24	〇	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	一	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇
25	一九	一七	一六	二〇	一七	一七	一七	一〇	一六	一〇	一〇	六	一七	二〇	一三	五
26	七	九	七	一〇	六	七	七	八	九	八	一五	七	八	六	一二	一二
27	二	一五	五	三	〇	〇	〇	〇	二	四	六	二	四	三	〇	二

一月	一日	二日	三日	四日	五日
深日	—	〇、〇	—	—	—
尾崎	—	一、三	—	—	—
岸和田	—	二、五	—	—	—
長承寺	—	〇、二	—	—	—
濱寺	—	—	—	—	—
堺	—	〇、〇	—	—	—
天王寺	—	—	—	—	—
大阪	—	〇、〇	〇、〇	—	〇、〇
福島	—	—	—	—	—
新庄	—	—	—	—	—
池田	—	—	〇、五	—	—
妙見山	—	—	一、〇	—	—
東郷	—	—	〇、六	—	—
天王	—	〇、五	〇、三	—	—
茨木	—	—	—	—	—
清水	—	—	—	—	—
枚方	—	—	—	—	—
田原	—	〇、四	—	—	—
八尾	—	一、一	—	—	—
柏原	—	一、二	—	—	—
富田林	—	二、〇	—	—	—
長野	—	九、三	—	—	—

るに本年一月の氣温は最高二十二度〇より最低零下八度七の間にありて其較差實に三十度七に達せり

降水　總量は北部天王の五十粍二仝妙見山の四十七粍五より南部堺の十四粍五の間にありて之れを平年に比すれは一般に少なく南部及東部の大部は平年の三分の一其他は二分の一に過ぎさりき又日量の最多は十三日及十八日の降雨の際にありて妙見山の三十四粍〇最も多く池田の二十三粍〇東郷の二十一粍一之れに亞き其他十粍以上なりしは深日、尾崎、濱寺、天王寺、大阪、福島、新庄、天王、茨木、清水、枚方の十一ヶ所にして其他は九粍乃至六粍の間にあり

雷雨　一月十八日午前十一時頃降雨中和泉の山間に雷鳴ありしか極めて微弱なりしを以て暫時にてし消散せり

第四表　管内全月氣象觀測成績

觀測所	空氣の溫度 平均最高	平均最低	平均 本年	平均 平年比較	最高極	起日	最低極	起日	降水 總量 本年	平年比較	最多日量	起日	午前十時（和原は午前九時） 氣溫	濕度	雲量	最多風向	天氣日數 降水	雪	霰	雹	霜	電地雷震	快晴	午前十時天氣 曇天	暴風
深日	一一、四	一、九	六、七	高〇、九	一七、六	一四	(一) 三、一	二三	一九、一	少	四三、六	一二、〇	一八	八、七	五九	四、七	北	三	一	二	〇	七	〇	〇	一〇	八	三
尾崎	一〇、八	一、八	六、三	高〇、四	二〇、〇	一四	(一) 三、〇	二四	三〇、八	少	二六、二	一三、一	一八	七、七	六八	四、九	西	六	一	二	〇	六	〇	〇	九	七	一二
岸和田	一〇、〇	一、三	五、六	高〇、三	一九、九	一三 一四	(一) 三、二	二三	一九、七	少	三四、九	八、八	一八	七、五	六〇	四、五	西	五	四	一	〇	七	〇	〇	一一	八	四
長承寺	一〇、三	〇、二	五、三	高〇、三	一八、一	一四	(一) 四、一	五 一三	二〇、二	少	三一、六	九、三	一八	七四	六五	三、三	西	九	二	二	〇	七	〇	〇	一九	三	四
濱寺	一〇、四	(一) 〇、四	五、二	/	一八、〇	一四	(一) 四、六	五	二七、五	/	/	一〇、三	一八	六、五	六七	四、〇	西	一〇	二	二	〇	一	〇	〇	一七	一〇	一一
堺	一〇、一	一、二	五、六	高〇、四	一六、〇	二	(一) 三、〇	一三	一四、五	少	三六、六	九、六	一八	七、〇	六七	四、四	西	六	二	〇	〇	一〇	〇	一	一一	八	三

風向	北	北東	東	南東	南	南西	西	北西	靜穩	平均方向	百分率
觀測回數	一三五	一四七	五一	二四	二六	一〇五	二〇六	四七	五	北西三度四	二九
平年比較	少一九	少一九	少一八	少六	多三	多三二	多四三	少一九	多三		

大阪府管內氣象概況

前項に詳記せる如く一月は西乃至北西風卓越し好晴の天氣稍々多しと雖も時々驟雨又は雪霰を飛はし氣温も亦此の風に支配せられ著しく低下して往々年中の最低を示すことあり而して本年一月の氣候を調査するに上旬の始めは温暖にして西部地方は月中の最高を示せしか爾後寒氣增進して上旬の末には月中の最低を現はし中旬の半頃には復々温暖となり南、北、東の三部は月中の最高を呈するに至り下旬に入りては殆んと平年と伯仲の間にありたり而して全月の平均は一般に平年より稍々高き方にあり又降水量は極めて少なく平年の三分一に達せさる所あり要するに本年一月の氣候は上旬及下旬は晴燥にして寒冷なりしか上旬の始め及中旬は陰濕高温なりき更に氣温、降水量、雷雨等に就き詳記すれは左の如し

氣温

平均は南部深日の六度七より北部妙見山の零度五の間にありて之れを平年に比すれは一般に稍々高き方にあり而して最高の極は二日及十四日に現はれ東部富田林の廿二度〇南部尾崎の二十度〇を高極とし全岸和田の十九度九東部長野の十九度八之れに亞き其他の沿海部及平坦部は十八度乃至十五度北、東兩山間部は十四度乃至十一度の間を示せり又最低は概ね上旬に現はれ北部天王の零下八度七全妙見山の零下八度〇全東郷の零下七度三を低極とし東部田原の零下六度四之れに亞き其他は零下五度三より全二度四を示せり之れを要す

第三表　全月及半旬期觀測成績

全月觀測成績

種目		平均	平年に比し	最高又は最多	起日	最低又は最少	起日
氣壓		七六五、六五	低 〇、四三	七七三、七	一七	七五二、一	七
氣溫	平均	五、〇七	高 〇、六六	—	—	—	—
	最高	九、三二	高 〇、八七	一五、一	二	—	—
	最低	一、〇九	高 〇、三八	—	—	(一)二、四	五
	較差	八、二三	高 〇、四八	一二、九	二	—	—
水蒸氣張力		四、五〇	高 〇、一三	九、九	一四	二、二	三
濕度		六八、七	少 一、一	—	—	三六	二五
飽差		二、二四	多 〇、一八	六、八	三〇	〇、一	一九
降水	月量	二三、五	少 一八、八	—	—	—	—
	日量最多	—	—	一一、三	一四	—	—
	時量最多	—	—	五、五	一四	—	—
蒸發量		七二、四	多 七、一	四、八	七	〇、七	一〇
日照時數		一七七、六〇	多 一四、二六	九、二〇	二六	—	—
地中溫度	地皮	四、六〇	高 〇、四〇	一二、五	二	(一)〇、四	五、一九
	十糎	五、四四	高 〇、五五	八、四	一五	三、二	二三
	二十糎	六、一一	高 〇、六九	七、七	一四	四、六	二三、二四
	三十糎	六、七七	高 〇、六七	七、八	一六	五、六	二四
	六十糎	八、四八	高 〇、五六	九、五	一	七、八	二五
	百二十糎	一一、二五	高 〇、三一	一二、四	一	一〇、三	三一
	三百糎	一六、八五	高 〇、〇三	一七、五	一	一六、四	三一
	五百糎	一七、二五	高 〇、〇六	一七、五	二	一七、一	三一
	七百糎	一六、七七	高 〇、一一	一六、八	二	一六、七	三一

半旬期觀測成績

種目	自一月一日至一月五日	自一月六日至一月十日	自一月十一日至一月十五日	自一月十六日至一月二十日	自一月廿一日至一月廿五日	自一月廿六日至一月三十一日
氣壓	七六、五四四	七六四、三三	七六五、五四	七六七、一九	七六八、四九	七六三、一三
平年に比し	低 一、一五	低 一、四四	低 〇、二三	高 二、二八	高 二、一〇	低 四、六七
氣溫	四、四一	四、七五	七、〇三	四、八六	四、〇九	五、四六
平年に比し	高 〇、二九	高 〇、四六	高 二、五三	高 〇、七一	低 〇、三九	高 〇、八一
最高氣溫	九、七二	八、五六	一一、六四	九、〇八	八、五〇	八、九〇
平年に比し	高 一、〇〇	高 〇、五七	高 二、九九	高 〇、七七	高 〇、一七	高 〇、六六
最低氣溫	(一)〇、二八	〇、八〇	三、五四	一、二六	〇、〇〇	一、二四
平年に比し	低 〇、〇七	低 〇、〇三	高 二、六六	高 〇、五二	低 〇、四〇	高 〇、二〇
水蒸氣張力	三、八九	四、四八	五、四七	四、九二	四、二三	四、〇五
平年に比し	低 〇、三一	高 〇、一四	高 一、一九	高 〇、五三	低 〇、一三	低 〇、四七
濕度	六二、四	六九、四	七三、四	七七、二	六九、三	六〇、四
平年に比し	少 六、三	少 〇、八	多 六、〇	多 五、三	少 〇、四	少 一〇、二
飽差	二、六二	二、〇八	二、二五	一、六六	二、〇六	二、八二
平年に比し	多 〇、四九	多 〇、〇六	多 〇、〇二	少 〇、二三	少 〇、〇五	多 〇、七八
降水量	〇、〇	一、〇	一一、三	一〇、二	〇、八	〇、〇
平年に比し	少 五、三	少 〇、七	多 五、三	多 五、八	少 七、六	少 一一、八
雲量	二、六	六、〇	四、三	四、九	三、八	五、九
平年に比し	少 〇、七	多 〇、五	多 〇、五	少 〇、九	少 一、六	少 一、四
日照時數	三三、七〇	二二、七五	三一、六五	三三、四〇	二八、八〇	三四、九〇
平年に比し	多 三、〇八	少 〇、〇五	多 〇、七〇	少 一、七二	多 二、九八	多 〇、〇三
風速度	七、六五	八、三四	五、八六	三、八八	四、八六	七、〇四
平年に比し	[illegible] 一、五三	[illegible] 二、三三	[illegible] 一、〇九	[illegible] 一、一三	[illegible] 〇、四二	[illegible] 〇、八七

八日	三、九	五、〇	六、〇	六、八	八、七	(一)	〇、三
九日	三、六	四、七	五、六	六、六	八、七	(一)	五、八
十日	四、六	五、一	五、八	六、五	八、五	(一)	三、三
十一日	五、八	六、三	六、五	六、八	八、五	(一)	〇、二
十二日	四、〇	五、五	六、三	七、〇	八、五	(一)	四、四
十三日	四、三	五、〇	五、八	六、七	八、五	(一)	六、〇
十四日	七、四	七、二	七、〇	七、一	八、五		六、四
十五日	六、四	七、一	七、三	七、六	八、七		二、八
十六日	五、二	六、五	七、一	七、六	八、八	(一)	二、〇
十七日	四、〇	五、三	六、二	七、二	八、七	(一)	四、三
十八日	三、六	五、〇	五、九	六、八	八、六	(一)	二、七
十九日	四、二	四、八	五、五	六、三	八、四	(一)	四、五
二十日	五、五	五、七	六、一	六、六	八、三		〇、一
二十一日	四、七	五、八	六、四	六、九	八、三	(一)	一、六
二十二日	三、一	四、五	五、六	六、五	八、三	(一)	五、六
二十三日	三、〇	四、一	五、〇	六、〇	八、七	(一)	五、三
二十四日	三、八	四、四	五、〇	五、八	八、〇	(一)	三、三
二十五日	五、三	五、七	五、九	六、三	七、九	(一)	五、七
二十六日	四、二	四、九	五、六	六、三	七、八	(一)	七、二
二十七日	四、三	五、一	五、八	六、四	七、九	(一)	一、五
二十八日	四、八	五、一	五、六	六、三	七、九	(一)	四、六
二十九日	五、二	五、七	六、〇	六、五	七、九	(一)	五、四
三十日	六、〇	六、三	六、五	六、八	七、九	(一)	一、二
卅一日	五、五	六、六	六、六	七、〇	八、〇	(一)	五、一
全月	四、六	五、四	六、一	六、八	八、五	(一)	七、二

〔前日來の強風午後二時迄吹續す、午後零時五十分より小霰降り初め仝一時十五分より雪を交へ仝一時二十一分より雪となり仝二時十分歇む、午後九時及十一時強風吹けり〕

朝霜あり

〔朝微霜あり、午前五時三十五分より七時二十五分迄薄霧あり、午後四時五十五分より小雨斷續して翌日に到る〕

〔前日來の小雨午前零時二十八分歇む、午前二時十分より四時五十分迄月暈現る、朝露あり、午前五時五十分より薄霧あり仝七時三十分より稍々濃厚となりしか約一時間薄霧となり仝九時四十分消散す、夜露あり〕

朝夜霜多し

朝霜多し、午後七時三十分より十時四十五分迄月暈現る

午前六時十二分より降雨時々大雨を交へ十一時六分歇む、正午より強風吹續し翌日に到る

前日來の強風午前八時迄吹續し十時乃至十一時及午後三時又強風吹けり

午前一時乃至七時及仝十時乃至午後二時迄強風吹けり、午後一時五十四分より二時四十五分迄微雨夜微霜あり

朝霜あり

午前八時十五分より午後三時四十五分迄小雨、夜霜あり

〔朝霜多し午前五時四十分より薄霧同七時十分より稍々濃厚となりしも暫時にして薄霧となり同九時二分頃消散す、夜露あり〕

朝夜露あり

〔午前二時三十五分より三時十五分迄小雨、午後一時三十分より雪となり斷續して二時五分歇む、午前二時乃至三時七時及十一時乃至午後五時迄強風吹けり〕

朝微霜あり、午後零時四分より仝十八分迄小雪、夜霜あり

朝霜多し、夜霜あり

朝霜あり、夜露あり

午前二時四十五分より五時十分迄小雨斷續せり、正午より午後八時迄強風吹けり、夜微霜あり

朝霜あり、午前四時及仝十時乃至午後二時強風吹けり

午前一時及仝三時乃至正午強風吹けり、午前十一時四十分より雪霰斷續して午後十時二十分歇む

〔朝霜あり、午前六時四十五分より薄霧仝七時三十九分稍々濃厚となりしも暫時にして薄霧となり仝八時五十分消散す〕

朝微霜あり、午後二時乃至四時、及夜半強風吹けり

午後二時四時乃至六時及十一時より夜半迄強風吹けり、夜微霜あり

〔午前一時強風吹けり、午前四時十二分より小雨時々霰、雪を交へ斷續して午後四時三十七分歇む夜微霜あり〕

十九日	七六六、四	四、五 高	〇、七	一〇、九	(一)〇、五	一一、四	五、三	八五	一、三	二、〇	三、七	西	北東	一、五	八、〇 多	二、五	—	一、六
二十日	七六三、一	六、〇 高	一、五	一一、三	三、〇	八、三	五、六	八一	一、四	二、七	六、九	南西	北	七、二	三、三 全	七	—	一、八
廿一日	七六六、六	四、三 低	〇、六	七、三	一、二	六、一	三、九	六三	二、四	八、四	一四、六	北	北北西	四、八	七、一 多	二、一	〇、四	二、九
廿二日	七七二、三	二、六 低	三、八	五、四	〇、三	五、一	三、五	六四	二、一	四、一	九、一	北北西	北、北北西	五、四	二、三 少	一、九	〇、〇	一、九
廿三日	七七一、九	二、八 低	一、三	八、六	(一)一、五	一〇、一	三、九	七二	一、八	二、四	三、五	北	北北東	〇、二	七、二 多	一、一	—	二、〇
廿四日	七六八、五	四、五 高	一、三	九、二	(一)〇、三	九、五	五、〇	八〇	一、四	二、四	三、九	北北東	北東、南西	四、四	五、八 多	〇、三	—	〇、九
廿五日	七六三、一	六、三 高	二、五	一一、〇	〇、三	一〇、七	四、八	六八	二、五	七、〇	一五、五	西	南西	四、一	六、四 多	一、三	〇、四	三、七
廿六日	七六四、八	五、一 高	一、八	七、九	(一)〇、九	八、八	三、二	四九	三、五	八、五	一二、四	西南西	西南西	三、一	九、二 多	三、七	—	四、二
廿七日	七六三、二	四、五 高	〇、五	七、五	二、五	四、六	三、七	五九	二、七	九、〇	一四、四	西	西	五、〇	五、八 多	〇、四	〇、〇	二、六
廿八日	七六三、八	四、八 高	〇、一	九、四	〇、七	八、七	四、〇	六四	二、五	三、三	七、一	西北西	北	六、〇	四、四 少	一、〇	—	一、八
廿九日	七六一、六	五、九 低	〇、三	九、八	〇、一	九、七	四、七	六九	二、四	六、二	一二、五	南西	西南西	三、五	六、七 多	三、五	—	三、二
三十日	七六二、三	七、〇 高	一、八	一〇、三	三、一	六、五	四、六	六一	三、〇	八、二	一三、四	西南西	西	一、七	八、七 多	〇、四	—	三、三
卅一日	七六四、九	四、一 低	一、三	七、九	一、〇	六、九	四、三	七〇	一、九	三、四	一〇、〇	西	北	七、四	三、四 少	〇、六	〇、二	一、六
全月	七六五、六	五、一 高	〇、七	九、三	一、一	八、二	四、五	六九	二、二	六、二	三四、三	西	西	四、三	一七七、六 多	一四、三	二三、五	七二、四

第二表　大阪毎日氣象觀測成績の二

一月	地中温度(平均) 地皮	十糎	二十糎	三十糎	六十糎	最低地温	諸現象の摘要
一日	四、六	五、六	六、四	七、四	九、四	(一)四、五	午前一時乃至二時強風吹けり、朝微霜あり、夜薄霜あり
二日	五、八	六、二	六、八	七、五	九、三	(一)〇、六	朝微霜あり、午後二時より強風吹續し翌日に到る午後三時五十七分より四時十分迄微雨あり
三日	三、七	五、六	六、七	七、五	九、三	(一)〇、八	前日來の強風終日吹き續き翌日に到る午前七時三十分より七時三十四分迄小霰降り午後一時五分より一時四十五分迄小雪降れり
四日	三、〇	四、七	五、九	六、九	九、一	(一)六、三	前日來の強風午前二時歇む、朝微霜、夜露あり
五日	三、四	四、四	五、五	六、五	八、九	(一)五、九	朝霜多し、午後二時五十七分より三時九分迄微雨あり、午後七時二十分より九時三十四分迄月暈現る
六日	五、一	五、五	六、五	六、六	八、七	(一)二、九	朝霜あり、午後零時五分より二時三十五分迄日暈現る、午後五時三十五分より七時三十八分迄月暈現る、夕薄露あり
七日	四、五	五、九	六、五	七、〇	八、七	(一)〇、二	朝薄露あり、午前六時十五分より全十時二十分迄小雨斷續し全七時十分より七時二十六分迄霰となり七時五十分より雪を交へて八時十五分歇む午前八時乃至九時及十一時より強風吹き翌日に到る

夜半平均	七六五、六九	七六五、六五	三、六三	五、〇七	四、三二	四、五〇	七二、七	六八、七	一、七三	二、二四	五、七三	六、一八	三、五	四、三	｜	一七七、六〇	〇、二	二三、五	三、一二	四、六〇	五、四四	五、四四	六、三四	六、一一	六、八六	六、七七	八、四五	八、四八
一月	氣壓平均	空氣の溫度 平均 本年	平均 平年比較	最高	最低	較差	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風 速度平均	最大速度	全上方向	最多方向	雲量平均	日照時數 本年	平年比較	降水量		蒸發量									
一日	七六九、二	五、四	高	一、四	一一、八	(一)	〇、一	一二、一	四、一	六二	二、九	三、九	一〇、九	西	南	一、二	八、二多	二、五	｜	二、七								
二日	七六〇、五	七、二	高	二、八	一五、一		二、二	一二、九	四、八	六四	三、〇	一〇、二	二二、一	西	西	三、二	六、六多	〇、一	〇、〇	四、七								
三日	七六三、一	三、六	高	〇、六	五、六		一、二	四、四	三、〇	五一	三、〇	一七、一	二〇、八	西南西	西	三、一	六、二少	〇、七	〇、〇	三、二								
四日	七六八、九	二、二	低	一、九	七、六	(一)	二、一	九、七	三、三	六三	二、二	四、二	一四、〇	西	西南西	〇、三	九、〇多	一、三	｜	二、八								
五日	七六五、四	三、六	低	一、四	八、五	(一)	二、四	一〇、九	四、二	七二	二、〇	三、〇	四、六	北東	北東	五、二	三、六	仝	〇、〇	一、六								
六日	七六一、九	六、七	高	一、四	一二、九		一、六	一一、三	五、八	七九	一、七	一、九	四、二	南西	北東 北東	五、二	六、五多	〇、八	｜	一、一								
七日	七五四、五	五、一	高	一、三	八、四		一、五	六、九	四、三	六四	二、四	一七、九	三四、三	西	西	七、一	四、二少	〇、八	〇、三	四、八								
八日	七六二、八	三、三	高	〇、一	五、八		二、一	三、七	三、七	六四	二、二	一五、六	二八、五	西南西	西	四、三	七、七多	四、三	〇、〇	二、〇								
九日	七七一、九	三、六	低	〇、二	七、四	(一)	一、二	八、六	三、八	六五	二、三	四、一	九、二	西	西	五、一	四、〇少	〇、六	｜	一、八								
十日	七七〇、六	四、九	低	〇、三	八、三		〇、〇	八、三	四、八	七五	一、七	二、二	四、六	東北東	北東	八、五	〇、三少	二、七	〇、七	〇、七								
十一日	七六八、二	六、八	高	一、一	一〇、九		三、七	七、二	六、〇	八二	一、五	三、〇	八、九	西南西	南西	六、二	六、〇多	一、〇	〇、〇	一、二								
十二日	七七〇、五	四、三	低	〇、一	一一、二		〇、〇	一一、二	四、八	七九	一、六	二、一	四、二	西	北東	〇、五	八、一多	一、七	｜	一、九								
十三日	七六八、六	五、五	高	二、〇	一一、六	(一)	〇、八	一二、四	五、〇	七六	二、〇	二、三	四、一	北東	北東	六、八	六、七少	〇、七	｜	一、六								
十四日	七五六、五	一〇、五	高	六、〇	一三、九		八、一	五、八	六、七	七一	二、八	一一、六	二七、三	西南西	西南西	六、五	二、〇少	三、七	一一、三	三、三								
十五日	七六三、五	八、一	高	三、六	一〇、六		六、七	三、九	四、八	六〇	三、四	一〇、二	二〇、三	西南西	西南西	一、七	八、八多	二、一	｜	三、五								
十六日	七六七、〇	六、〇	高	一、九	八、九		二、二	六、七	四、四	六四	二、七	八、二	一四、八	西	西南西	三、〇	四、八仝	〇、〇	〇、〇	一、六								
十七日	七七二、三	四、一	高	〇、三	八、五		〇、三	八、二	四、四	七二	一、九	二、三	三、六	北東	東北東	三、三	五、九多	〇、二	｜	一、五								
十八日	七六七、一	三、六	低	〇、八	五、八		一、三	四、五	四、九	八三	一、〇	四、二	七、八	北東	北	六、六	〇、四少	四、八	一〇、二	〇、九								

第二表

大阪每日氣象觀測成績の一

一月	氣壓平均	氣溫平均	水蒸氣張力平均	濕度平均	飽差平均	風速度平均	雲量平均	日照時數	降水量	地皮	地中溫度（平均）十糎	二十糎	三十糎	六十糎
午 一時	七六五、七六	三、四六	四、三四	七三、五	一、六四	六、〇七	三、五	一	〇、〇	二、九八	五、四一	六、三〇	六、八九	八、五一
午 二時	七六五、八四	三、三五	四、二八	七三、六	一、六五	五、九三	三、五	一		二、八三	五、二八	六、二四	六、八七	八、五〇
午 三時	七六五、七〇	三、〇六	四、三三	七五、九	一、四九	五、五五	三、九	一	〇、七	二、六七	五、一八	六、一八	六、八七	八、五〇
午 四時	七六五、五五	二、八七	四、二九	七六、〇	一、四九	五、五二	三、〇	一	〇、一	二、五三	五、一〇	六、一三	六、八六	八、五一
午 五時	七六五、五〇	二、七六	四、二四	七五、九	一、四五	五、三八	二、六	一	〇、〇	二、三七	四、九七	六、〇七	六、八四	八、五一
午 六時	七六五、六七	二、五一	四、二六	七七、五	一、三五	五、〇四	三、六	一	〇、〇	二、二八	四、八九	六、〇〇	六、八三	八、五一
午 七時	六六五、九一	二、四四	四、二四	七七、三	一、三六	五、二九	三、一	一	〇、〇	二、一四	四、七八	五、九六	六、八〇	八、五〇
午 八時	七六六、二〇	二、八三	四、三八	七七、八	一、三五	五、三九	四、六	六、二五	五、七	二、五八	四、六七	五、八九	六、七六	八、四九
前 九時	七六六、四一	四、四六	四、六〇	七二、六	一、八〇	四、八一	四、二	一九、二〇	五、八	三、七八	四、六三	五、八三	六、七三	八、四八
前 十時	七六六、三八	六、二一	四、七九	六七、一	二、四三	五、四七	三、七	二四、三〇	〇、四	八、六九	五、八五	五、八〇	六、七一	八、四八
前 十一時	七六六、〇四	七、三五	四、八七	六三、二	二、九五	六、四三	四、一	二四、〇〇	二、五	七、八六	四、八四	五、八〇	六、六九	八、四八
午 一時	七六四、九八	八、二三	四、七二	五七、五	三、九七	七、七八	六、二	二一、二〇	二、一	九、四八	五、四三	五、八〇	六、六六	八、四七
午 二時	七六四、八四	八、一七	四、七五	五八、四	三、五四	七、六九	六、二	一九、一〇	二、三	八、八五	五、七二	五、八六	六、六五	八、四七
午 三時	七六四、八七	八、二八	四、六六	五七、三	三、六五	七、九三	五、七	一八、五五	〇、九	七、九七	六、〇〇	五、九八	六、六四	八、四七
午 四時	七六四、九七	七、八一	四、六五	五八、六	三、三七	七、九四	五、四	一六、九〇	〇、〇	七、三六	六、二〇	六、一〇	六、六二	八、四八
午 五時	七六五、二一	六、八一	四、六五	六二、五	二、八五	七、八一	五、六	六、〇五	〇、一	五、一九	六、二五	六、二九	六、六一	八、四七
午 六時	七六五、四三	六、一一	四、七五	六五、七	二、四九	六、八二	五、六		〇、〇	四、一九	六、二六	六、三七	六、六〇	八、四七
午 七時	七六五、七〇	五、六三	四、五五	六六、六	二、三八	六、〇八	五、〇		〇、〇	四、一九	六、一六	六、三七	六、七九	八、四七
午 八時	七六五、八一	五、〇八	四、五五	六九、〇	二、一一	五、八九	四、五		〇、〇	三、九〇	六、〇四	六、四二	六、七八	八、四六
午 九時	七六五、九〇	四、五三	四、四四	七〇、一	一、九七	五、四八	三、八		〇、〇	三、六五	五、九二	六、四二	六、八二	八、四六
午 十時	七六五、九二	四、一八	四、三六	七〇、三	一、九二	五、〇八	三、四		〇、三	三、三九	五、八一	六、四一	六、八三	八、四六
午 十一時	七六五、八三	三、八九	四、二五	七一、五	一、八三	五、五一	二、八		〇、〇	三、二〇	五、六八	六、三七	六、八四	八、四六
後														

りて六度二六最低は午前九時にありて四度六三を示し其較差は一度六三なり

地中二十糎の溫度　平均は六度一一にして平年に比すれは零度六九高く月中の最高は十四日午後八時乃至九時の七度七最低は二十三日午後一時及二十四日午前十一時乃至午後一時の四度六なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後八時乃至九時にありて六度四二、最低は午前十時乃至午後一時にありて五度八〇を示し其較差は零度六二なり

地中三十糎の溫度　平均は六度七七にして平年に比すれは零度六七高く月中の最高は十六日午前零時乃至一時の七度八最低は二十四日午後三時乃至五時の五度六なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前一時乃至二時にありて六度八九最低は午後二時乃至三時にありて六度六五を示し其較差は零度二四なり

地中六十糎の溫度　平均は八度四八にして平年に比すれは零度五六高く月中の最高は一日午前一時乃至五時の九度五最低は廿五日午前九時乃至午後三時の七度八なり但し此深さにありては殆と一日中の變化を認め難し

以上列記する地中溫度を通觀するに最高は地皮にありては午後一時地中十糎にありては午後六時乃至二十糎にありては午後八時乃至九時乃至三十糎にありては午前一時乃至二時に生し最低は地皮にありては午前七時地中十糎にありては午前九時乃至二十糎にありては午前十時乃至午後一時乃至三十糎にありては午後二時乃至三時に生せり之れに依りて地皮より地中に熱の傳達する梗概を知るを得へし

最低地溫　平均は零下三度〇にして平年に等しく月中の最低は二十六日午前一時の零下七度二なり又零下に降りたる日數は二十八日にして平年に比すれは一日多し

天氣日數　快晴は七日にして平年に比すれは一日多く曇天は一日にして平年に比すれは三日少し又霜は二十二日にして平年に比すれは二日多く雪は七日にして平年に比すれは三日少し

尙詳細は左に掲くる氣象觀測成績表を參照すへし

りて三瓦六五最少は午前六時及八時にありて一瓦三五を示し其較差は二瓦三〇なり

風

平均速度は毎秒六米一八にして平年に比すれは零米三一強く月中の最大速度は七日午後四時乃至五時の毎秒速度三十四米三（一間平方面を垂直に壓する力は百四十一貫二百目）の西風にして之れに亞くは八日午前二時乃至三時の二十八米五の西南西風及十四日の午後三時乃至四時の二十七米三の西南西風なり又強風以上の吹きたる日數は十六日にして平年に等しく其時數は百五十四時にして平年に比すれは十一時多し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最大は午後四時にありて七米九四最少は午前六時にありて五米〇四を示し其較差は二米九〇なり風向は西風最も多く北東風之れに亞き南東風最も少し之れを平年に比すれは西乃至南西風は多く北乃至北東風は少し

雲量及日照時數

雲量の平均は四、三にして平年に比すれは〇、五少く日照時數は百七十七時六〇にして平年に比すれは十四時二六多く一日中日照時間の最も長かりしは二十六日の九時二〇なり

降水量及蒸發量

降水日數は七日にして平年に比すれは二日少く其水量は二十三粍五にして平年に比すれは十八粍八少く又一日中の最多量は十四日の十一粍三、一時間の最多量は仝日午前七時より八時の五粍五なり又蒸發量は七十二粍四にして平年に比すれは七粍一多く一日中の最多量は七日の四粍八なり

地中溫度及最低地溫

地皮溫度の平均は四度六〇にして平年に比すれは零度四〇高く月中の最高は二日午後一時の十二度五最低は四日午前七時及五日午前六時の零下零度四なり而して地皮溫度の零下に降りたる日數は二日にして平年に比すれは十日少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて九度四八最低は午前七時にありて二度一四を示し其較差は七度三五なり

地中十糎の溫度　平均は五度四四にして平年に比すれは零度五五高く月中の最高は十五日午後四時の八度四最低は二十三日午前九時乃至十一時の三度二なり又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後六時にあ

て七百六十六粍四一第一の最低は午後二時にありて七百六十四粍八四を示し第二の最高は午後九時乃至十時にありて七百六十五粍九二第二の最低は午前五時にありて七百六十五粍五〇を示せり而して其主なる最高低の較差は一粍五七なり

氣

溫

平均は五度〇七にして平年に比すれは零度六六高く平均氣溫日々の變化は氣象圖に示すか如し而して本月は平年に比し概して溫暖にして二日は最も高く十五度一を示し同日の累年平均に比すれは六度三高く之れに亞くは十四日の十三度九にして同日の累年平均より五度三高く此日の平均は十度五にして冬季には稀に見る所の高度なり又最低溫度は五日の零下二度四を低極とす之れを同日の累年平均に比すれは二度四低く之れに亞くは四日の零下二度一にして其他は零下二度以下に降りたるものなく例年本月の最低は零下三度六にして本年は一度五の高度なりき而して最低の零下に降りたる日數は九日にして平年に比すれは七日少し又月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午後一時にありて八度三三最低は午前七時にありて二度四四を示し其較差は五度八九なり

水蒸氣張力、濕度及飽差

水蒸氣張力の平均は四粍五〇にして平年に比すれは零粍一三高く月中の最高は十四日午前十一時の九粍九最低は三日午後五時の二粍二を示せり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最高は午前十一時にありて四粍八七最低は午前五時及七時にありて四粍二四を示し其較差は零粍六三なり

濕度の平均は六十八、七にして平年に比すれは一、一少く月中の最少は二十五日午後八時の三十六なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午前八時にありて七十七、八最少は午後三時にありて五十七、三を示し其較差は二十、五なり

飽差の平均は毎立方米中二瓦二四にして平年に比すれは零瓦一八多く月中の最多は二十五日午後三時の六瓦八最少は十九日午前七時乃至八時の零瓦一なり而して月平均に就きて一日中の變化を看るに最多は午後三時にあ

大阪測候所月報

大正三年一月 大阪氣象概況

冬季大陸の冷却せらるゝに際し大氣濃密となり氣壓增高せるか一月は極寒の候なるが故に大陸には廣大なる高氣壓を生し北太平洋北部には低氣壓ありて氣壓の勾配は西より東に向ひ急峻となり爲めに西乃至北西の風增勢し大陸より寒氣を吹送せるを以て寒威凜冽にして氣溫倍々低下し天氣は比較的晴燥寡雨なりき然れとも低氣壓の南洋を通過する時は北風吹き雨又は雪霰を降らし又日本海を通過せは西又は北西の强風吹き起り時々飛雪あるは大阪地方の特態とす然り而して本月の氣候を調査するに概して平年より溫暖にして日照時數多く降水日數及量は少し、而して强風以上の吹きたる日數は平年に等しきも其吹續時數は平年より多く强風の最も長く吹き續きたるは二日より五日に至る三十七時間之れに亞くは七日より八日に至る三十二時間及十四日より十五日に至る二十四時間にして就中風力の最も强かりしは七日夜の暴風にして每秒速度三十四米三卽ち一時間七十六哩七の西風なり斯かる强大なる速度に達したるは當所觀測創始以來三十一年間に於て大正元年九月二十三日の每秒速度三十七米〇、及同二年十月三日の三十五米六の二回颱風襲來したる時に觀測したるのみにして冬季には稀なる現象なり、之れを要するに本年は平年に比し稍々溫暖なりしも强風稍々多く且つ强くして日照時數は多くして雨雪少く比較的晴燥寡雨に經過したり

今各氣象要素に就き詳記すれは左の如し

但し本項に記する所の平年は現今の場にて觀測したる明治四十四年より本年に至る最近四ヶ年平均なり

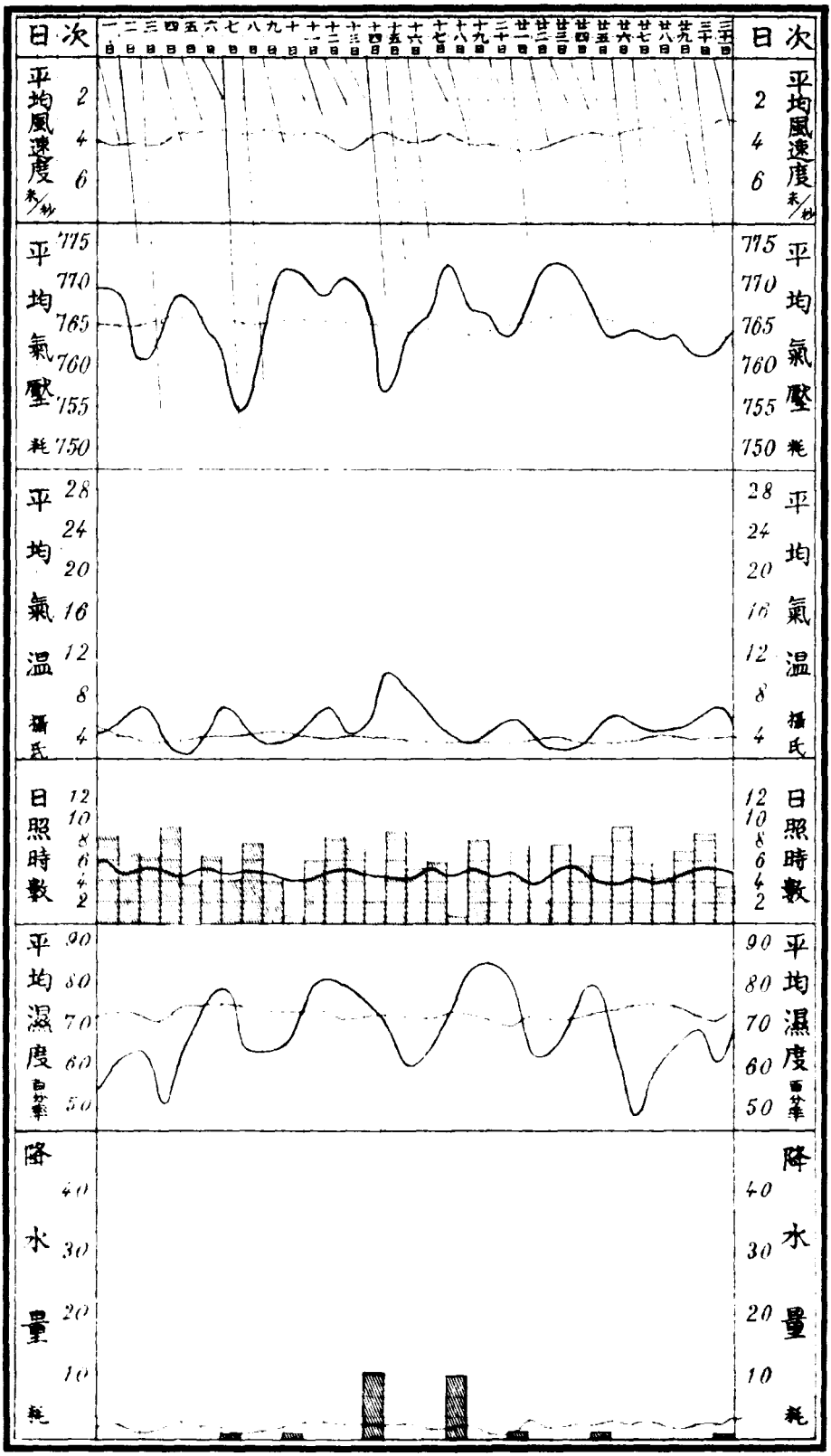
氣壓

平均は七百六十五粍六五にして平年に比すれは零粍四三低く日々の變化は氣象圖に示すか如く顯著なる昇降は四回にして其他微少なる昇降數回を呈せり而して月中の最高は十七日午前九時の七百七十三粍七最低は七日午後二時の七百五十二粍一なり又平均に就きて一日中の變化を看るに第一の最高は午前九時にあり

大正三年一月

大阪氣象圖

January, 1914



本圖ハ日平均又ハ合計ニ依リテ調製ス 風速度、氣壓、氣温、濕度ハ本年——平年—— 日照時數ハ本年 [illegible] 平年—— 降水量ハ本年 [illegible] 平年——

例言

一本報は當測候所及管内各觀測所に於て觀測したる毎月の氣象を調査し之れを掲載する者とす但し日々の觀測は當測候所に於ては二十四回、柏原は午前九時午後二時及五時の三回其他管内各觀測所は午前十時の一回なり

一氣壓、水蒸氣の張力及蒸發量は粍(曲尺三厘三毛)を以て示す

一溫度は凡て攝氏の度を用ゐ零度以下の度には(一)を附記す、但し攝氏の度を華氏に改算せんには九を乘し五にて除し三十二度を加ふへし

一最高溫度及降水量共に降水量の當日午前十時に觀測したるものは之れを前日に繰上げて記入せり

一飽差は一立方米中に含まるへき水蒸氣缺乏の重量を瓦(グラム)(零匁二七)にて示す

一濕度は空氣の最も濕りたるもの即ち水蒸氣を飽和したる者を百とし百分率を以て示す

一降水量は粍を以て其深さを測り之を記す、但し一粍は一歩面に水量一升八合三勺を撒布したるに相當す

一雲量は十分率を以て示す

一風速度は一秒時間の米(曲尺三尺三寸)數なり

一風力は零より六に至る階級に分ち推測を以て之を記す即ち零は靜穩にして假令は煙全く直上し又は樹葉動かさるもの一は軟風にして人をして風の感覺を起さしむるもの、二は和風にして樹葉を動すもの、三は疾風にして小枝を動かすもの、四は強風にして大樹の枝を動かすもの、五は烈風にして大樹の幹を動かすもの、六は颶風にして樹を拔き家を倒すものなり

一風向は北、北東、東、南東、南南西、西、北西の八方位に區分す

一天氣日數中雨とは雨雪霰雹の何たるに拘らす降水量一粍の十分一以上ありたる日にして快晴とは雲量二以下曇天とは八以上の日を云ふ

大阪府管内氣象觀測所位置

氣象觀測所	國郡市	町村	緣威東經	北緯	觀測主任
深日	和泉國泉南郡	深日村	一三五度〇九分	三四度一九分	北野孝雄
尾崎	仝 國泉南郡	尾崎村	一三五度一六分	三四度二二分	高尾章
岸和田	仝 國泉南郡	岸和田町	一三五度二三分	三四度二七分	森内清次
長承寺	仝 國泉北郡	鳳村	一三五度二七分	三四度三二分	前川由太郎
濱寺	仝 國泉北郡	高石村	一三五度二六分	三四度三二分	今井富次
堺	仝 國堺市	車ノ町	一三五度二九分	三四度三五分	吉村正輔
天王寺	摂津國大阪市	南區天王寺	一三五度三一分	三四度三九分	加藤昭純
大阪	仝 國大阪市	西區一條通	一三五度二六分	三四度三九分	府立大阪一等測候所
福島	仝 國大阪市	北區上福島	一三五度三一分	三四度四二分	笠谷正三郎
新庄	仝 國西成郡	新庄村	一三五度三一分	三四度四五分	植田鑑藏
池田	仝 國豐能郡	池田町	一三五度二六分	三四度五〇分	征部利作
妙見山	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二八分	三四度五六分	阪部文二郎
東鄕	仝 國豐能郡	東鄕村	一三五度二九分	三四度五七分	山田四郎
天王	仝 國豐能郡	根雨村	一三五度二三分	三五度〇二分	鈴木重男
茨木	仝 國三島郡	茨木町	一三五度三四分	三四度四九分	太田宗太郎
清水	仝 國三島郡	清水村	一三五度三六分	三四度五三分	山本義一
枚方	河内國北河内郡	枚方町	一三五度三九分	三四度四九分	家村八五郎
田原	仝 國北河内郡	田原村	一三五度四二分	三四度四三分	東尾重藏
八尾	仝 國中河内郡	八尾町	一三五度三六分	三四度三八分	吉永勇造
柏原	仝 國南河内郡	柏原村	一三五度三七分	三四度三五分	畿内農事試驗支場
富田林	仝 國南河内郡	富田林町	一三五度三七分	三四度三〇分	塔本幸太郎
長野	仝 國南河内郡	長野町	一三五度三五分	三四度二七分	松本速水

Monthly Report of The Osaka Meteorological Observatory.

JANUARY. 1914.

大阪測候所月報

第拾五年第壹號

大正參年壹月

LIBRARY
APR 29 1914
Weather Bureau

目次

○一本年月大阪氣象概況 附圖
○一本年月大阪府管內氣象概況
○一本年月大阪地震觀測概況
○櫻島大噴火と大阪の地動并降灰
○櫻島大噴火概報
○寒中の氣象概況
○本年一月中の暴風概況
○大正二年中大阪港の荷役不可能と天候
○大阪市內の煤烟
○淀川の水位
○地方天氣豫報暴風警報適否
○新刊寄贈書目